

不登校に関する調査

集計結果

令和7年3月

栃木県教育委員会

目次

第1章 調査概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査概要	1
1-2-1 児童生徒調査	1
1-2-2 保護者調査	2
1-2-3 教員調査	2
第2章 児童生徒に対する調査	4
2-1 属性	4
2-1-1 性別	4
2-2 欠席意向の有無と実際の欠席状況	6
2-2-1 病気やけが以外の理由による欠席意向の有無	6
2-2-2 「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけ	8
2-2-3 病気やけが以外の理由による欠席状況	15
2-2-4 学校を休んだ時の気持ち	17
2-2-5 学校を欠席したい気持ちを減らせること	19
2-2-6 学校を欠席したときに過ごしたかった自宅以外の場所	25
2-2-7 欠席した時の学習方法	28
2-2-8 欠席についての相談有無	31
2-2-9 欠席についての相談相手	33
2-2-10 相談しなかった理由	35
2-2-11 学校を欠席しなかった理由	37
2-3 現在の状況	40
2-3-1 現在、悩んでいること	40
2-3-2 悩んでいるときに誰に相談したいと思うか	46
2-3-3 相談しやすいと思う方法	52
2-3-4 学校生活に対する気持ち	55
2-3-5 学校生活で安心できると感じる状況	62
2-3-6 学校や先生に期待すること	68
2-3-7 安心して学校生活を送るために児童生徒ができること	74

3-4-8 その他に子供や保護者が利用した相談窓口.....	384
第4章 教員に対する調査.....	388
4-5 属性.....	388
4-5-1 勤務校の学校種.....	388
4-5-2 教職経験年数.....	388
4-5-3 職名.....	390
4-5-4 校務分掌.....	391
4-6 校内の不登校支援体制について.....	393
4-6-1 校内教育支援センターの設置.....	393
4-6-2 不登校児童生徒への別室対応.....	394
4-7 不登校児童生徒や保護者との関わり.....	395
4-7-1 不登校児童生徒や保護者への指導・支援への関わった経験の有無.....	395
4-7-2 関わった児童生徒が学校を休むようになったきっかけ（3つまで）.....	397
4-7-3 不登校児童生徒と直接関わって感じた課題.....	399
4-7-4 不登校児童生徒の保護者と直接関わって感じた課題.....	402
4-8 支援体制等の課題について.....	406
4-8-1 校内教育支援センターや別室等における課題.....	406
4-8-2 スクールカウンセラーの活用に関する課題.....	410
4-8-3 スクールソーシャルワーカーの活用に関する課題.....	414
4-8-4 （市町立学校教員のみ回答）市町の教育支援センター（教育委員会が設置する不登校の児童生徒に対して学習支援や相談等を実施する施設）の活用に関する課題.....	418
4-8-5 （県立学校教員のみ回答）教育支援センター（教育委員会が設置する不登校の児童生徒に対して学習支援や相談等を実施する施設）の課題.....	420
4-8-6 民間の支援機関（フリースクール、居場所等）との連携に関する課題... ..	421
4-8-7 福祉の関係機関（児童相談所、精神保健福祉センター、地域包括支援センター等）との連携に関する課題.....	425
4-8-8 オンラインを活用した支援の課題.....	428
4-8-9 児童生徒や保護者へのきめ細かな対応や不登校の未然防止や早期対応等を充実するために、課題と思うこと.....	432

4-8-10 校内体制の課題.....	436
4-8-11 児童生徒が相談しやすい環境づくりに関する課題.....	440
4-9 現在の状況	444
4-9-1 ケース会議（児童生徒への支援の目標や方向性、具体的な対応策などを検討） の開催	444
4-9-2 不登校の児童生徒や保護者に対して実施している情報提供.....	446
4-9-3 不登校児童生徒及び保護者の対応について、連携している関係機関等...	450
4-10 不登校支援に対する意見.....	452
4-10-1 不登校に関して、あるとよいと思う研修.....	452
4-10-2 不登校の「未然防止」に向けて、取り組んでいること（自由記述）....	454
4-10-3 悩みを抱える児童生徒（不登校になる前の状態）への「早期発見・早期対応」 について、取り組んでいること（取り組んだことがあること）でうまくいったこと（自 由記述）	455
4-10-4 不登校児童生徒への「支援」に向けて、取り組んでいること（取り組んだこ とがあること）でうまくいったこと（自由記述）	456
4-10-5 「学校生活における意識調査」「不登校に関する保護者の支援ニーズ等に関す る調査」結果（概要）を見て感じたこと（自由記述）	457

第1章 調査概要

1-1 調査目的

栃木県の不登校児童生徒数は、小・中学校、高校（全日制）では令和4（2022）年度において、過去10年で最多となっており、未然防止・初期対応・支援の視点からの取組の充実が必要である。このため、不登校の未然防止や初期対応、不登校児童生徒への支援に関する取組の充実に生かすことを目的に、アンケートを実施した。

1-2 調査概要

1-2-1 児童生徒調査

(1)調査対象

県内全ての公立小学校6年生 15,593人、公立中学校2年生 15,827人、県立高校全日制課程2年生 10,666人、計約4万人

(2)調査方法

1人1台端末等によるweb回答

(3)調査時期

令和6（2024）年7月8日（月）～8月20日（火）

(4)回収数

小学校 12,381人、中学校 11,436人、高校 6,980人

※【欠席傾向について】

本資料の一部では、欠席傾向別の集計を行っている。分類方法は、下記の通り。

欠席あり	<ul style="list-style-type: none">□ 病気やけが以外（気がかりなことがあった場合など）の理由で、学校を欠席したいと思ったことがあるか。⇒「よくある」「ときどきある」と回答。□ 病気やけが以外（気がかりなことがあった場合など）の理由で「欠席したい」と思ったとき、実際に学校を欠席したか。⇒「いつも欠席していた」「ときどき欠席することがあった」と回答
欠席意向あるが欠席なし	<ul style="list-style-type: none">□ 病気やけが以外（気がかりなことがあった場合など）の理由で、学校を欠席したいと思ったことがあるか。⇒「よくある」「ときどきある」と回答。□ 病気やけが以外（気がかりなことがあった場合など）の理由で「欠席したい」と思ったとき、実際に学校を欠席したか。⇒「ほとんど欠席することはなかった」「欠席することはなかった」と回答
欠席意向なし	<ul style="list-style-type: none">□ 病気やけが以外（気がかりなことがあった場合など）の理由で、学校を欠席したいと思ったことがあるか。⇒「あまりない」「全くない」と回答。

1-2-2 保護者調査

(1) 調査対象

県内の小学校、中学校、義務教育学校、高校、特別支援学校に在籍している欠席の多い児童生徒の保護者

(2) 調査方法

Web 回答

(3) 調査時期

令和 6 (2024) 年 9 月 4 日 (水) ～ 9 月 30 日 (月)

(4) 回収数

小学校 155 人、中学校 348 人、高校 1,369 人、特別支援学校 94 人

※小学校には義務教育学校（前期課程）を含む。中学校には義務教育学校（後期課程）を含む。

1-2-3 教員調査

(1) 調査対象

令和 6 年度における下記研修等の受講者

主催者	対象者職名	研修名	受講者数
栃木県総合教育センター	教諭	初任者研修、2 年目研修、3 年目研修、5 年目研修、中堅教諭等資質向上研修	2,010 名
	養護教諭	新規採用研修、5 年目研修、中堅研修	60 名
	教頭	新任教頭研修、2 年目研修	328 名
宇都宮市教育委員会	主幹教諭・教諭	中堅教諭等資質向上研修、教職 20 年目研修、キャリアマネジメント研修、宮・リーダー研修	154 名
高校教育課	教諭	令和 6 年度県立学校生徒指導連絡協議会	86 名
計			2,638 名

(2) 調査方法

Web 回答

(3) 調査時期

令和 6 (2024) 年 11 月～令和 7 (2025) 年 2 月

(4) 回収数 1,033 人

小学校 523 人、中学校 261 人、高等学校 185 人、特別支援学校 64 人

※小学校には義務教育学校（前期課程）を含む。中学校には義務教育学校（後期課程）を含む。

職種	小学校	中学校	高校	特別支援学校	合計
教諭	375	193	147	54	769
養護教諭	25	9	3	2	39
主幹教諭	1	2	1	0	4
教頭・副校長	122	57	34	8	221
合計	523	261	185	64	1,033

教職年数	小学校	中学校	高校	特別支援学校	合計
1～2年	86	39	25	10	160
3～5年	198	101	75	27	401
6～10年	69	43	25	10	147
11～20年	34	9	16	6	65
21～30年	44	29	20	4	97
31年以上	92	40	24	7	163
合計	523	261	185	64	1,033

第2章 児童生徒に対する調査

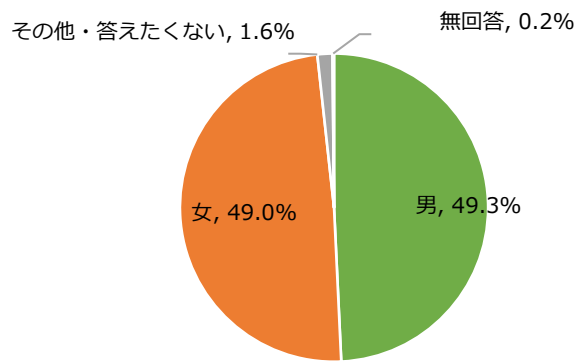
2-1 属性

2-1-1 性別

1 (2) あなたの性別を教えてください。

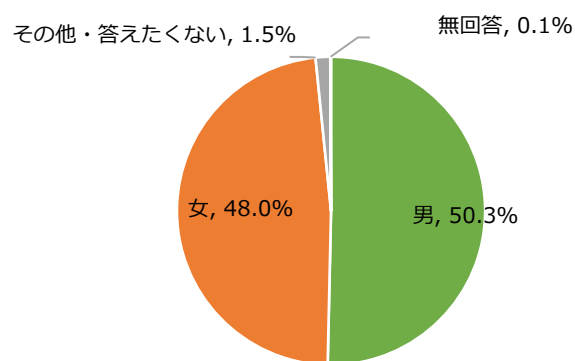
(1) 小学校

図表 2-1 性別 (小学校 n=12,381)



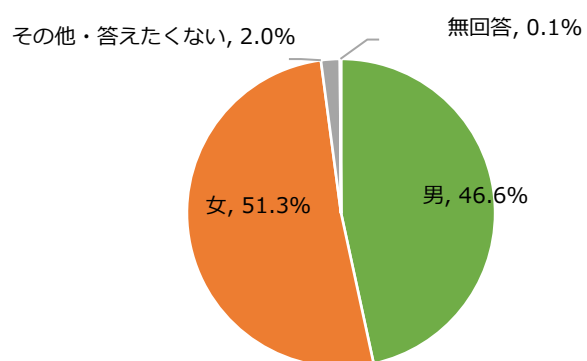
(2) 中学校

図表 2-2 性別 (中学校 n=11,436)



(3)高等学校

図表 2-3 性別（高等学校 n=6,980）



2-2 欠席意向の有無と実際の欠席状況

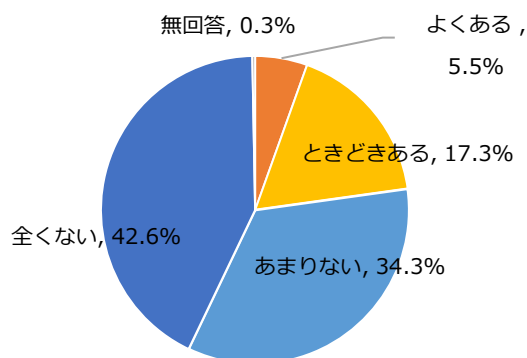
2-2-1 病気やけが以外の理由による欠席意向の有無

2(1) 現在の学校生活で、病気やけが以外（気がかりなことがあった場合など）の理由で、学校を欠席したいと思ったことがありますか。あなたの気持ちに一番近いものを選んでください。

(1)小学校

病気やけが以外（気がかりなことがあった場合など）の理由で、学校を欠席したいと思ったことがあるかみると、小学校では22.8%が「ある（よくある＋ときどきある）」と回答した。

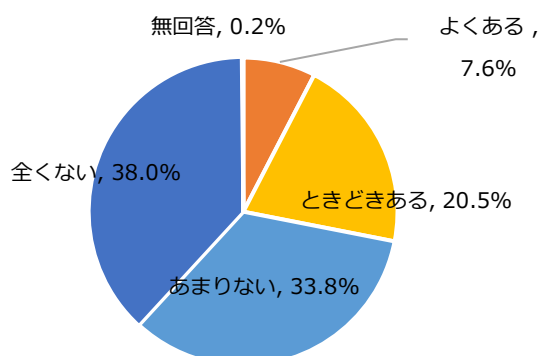
図表 2-4 病気やけが以外の理由による欠席意向の有無（小学校 n=12,381）



(2)中学校

中学校では28.1%が「ある（よくある＋ときどきある）」と回答した。

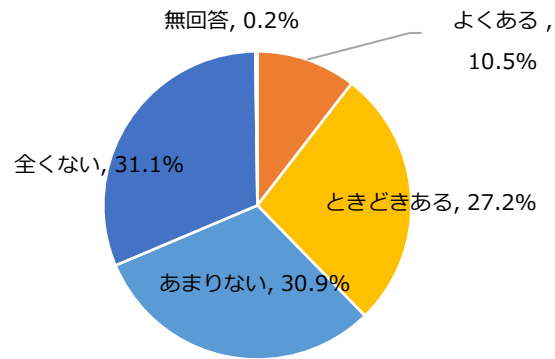
図表 2-5 病気やけが以外の理由による欠席意向の有無（中学校 n=11,436）



(3)高等学校

高等学校では37.7%が「ある（よくある＋ときどきある）」と回答した。

図表 2-6 病気やけが以外の理由による欠席意向の有無（高等学校 n=6,980）



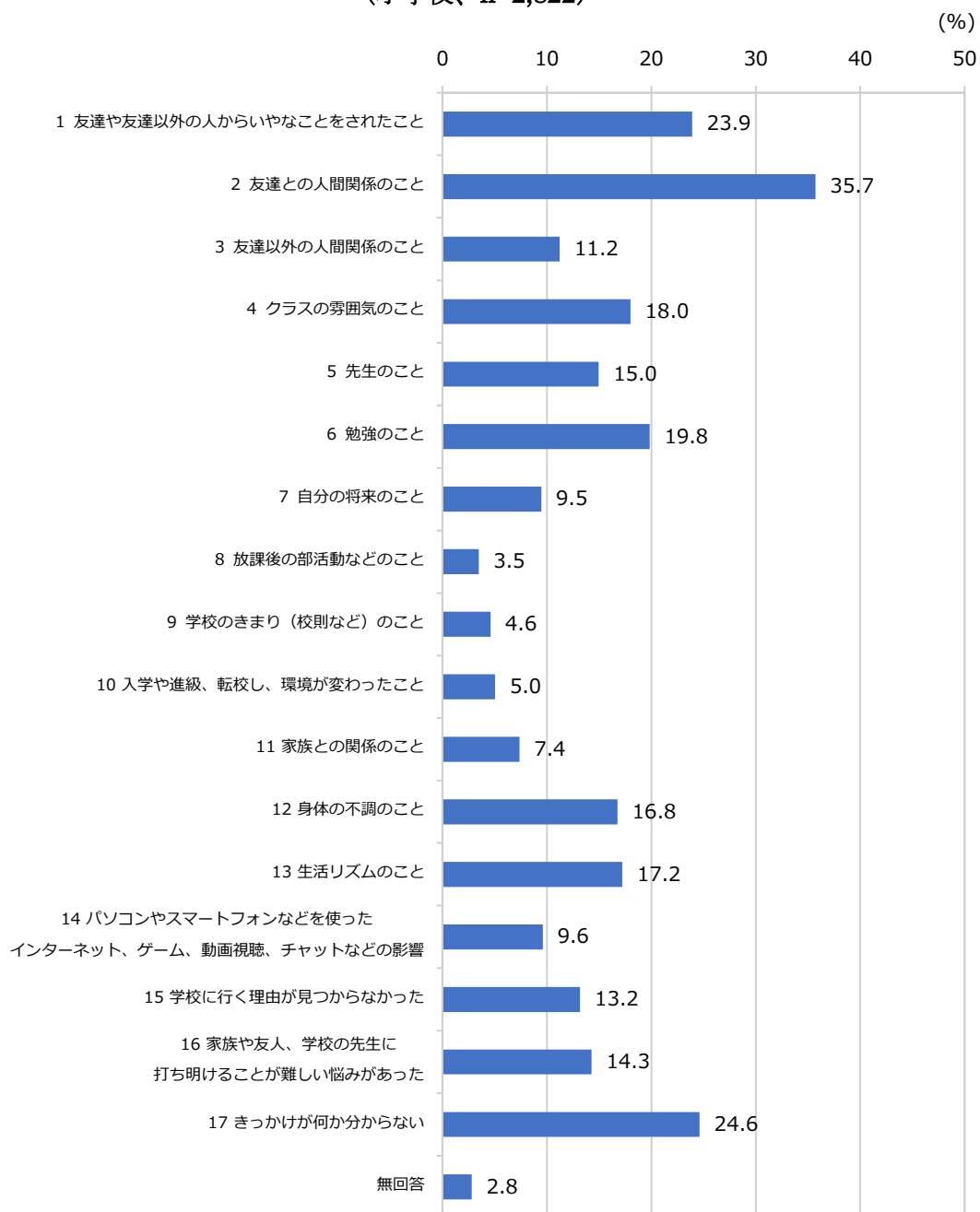
2-2-2 「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけ

2(2) 2(1)で「よくある」または「ときどきある」と回答した人にお聞きします。あなたが病気やけが以外（気がかりなことがあった場合）の理由で「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけは何でしたか。あてはまるものにすべてチェックをつけてください。

(1)小学校

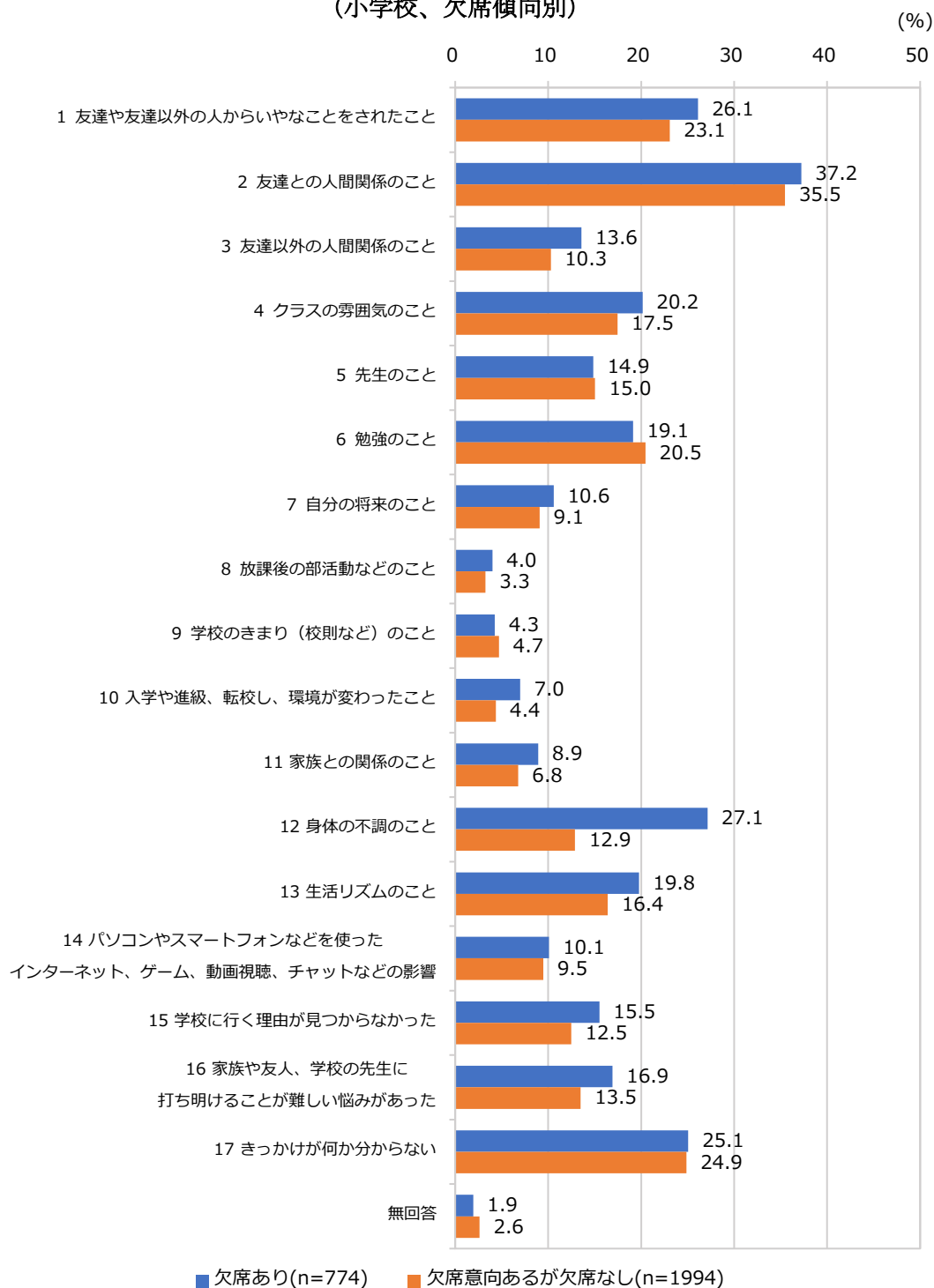
「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけについてみると、小学校では、「友達との人間関係のこと」が35.7%と最も割合が高く、次いで「きっかけが何か分からない」が24.6%となっている。

図表 2-7 病気やけが以外の理由で「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけ
(小学校、n=2,822)



欠席傾向別にみると、小学校では、欠席ありの児童は欠席意向あるが欠席なしの児童と比べて「身体の不調のこと」の割合が高い。

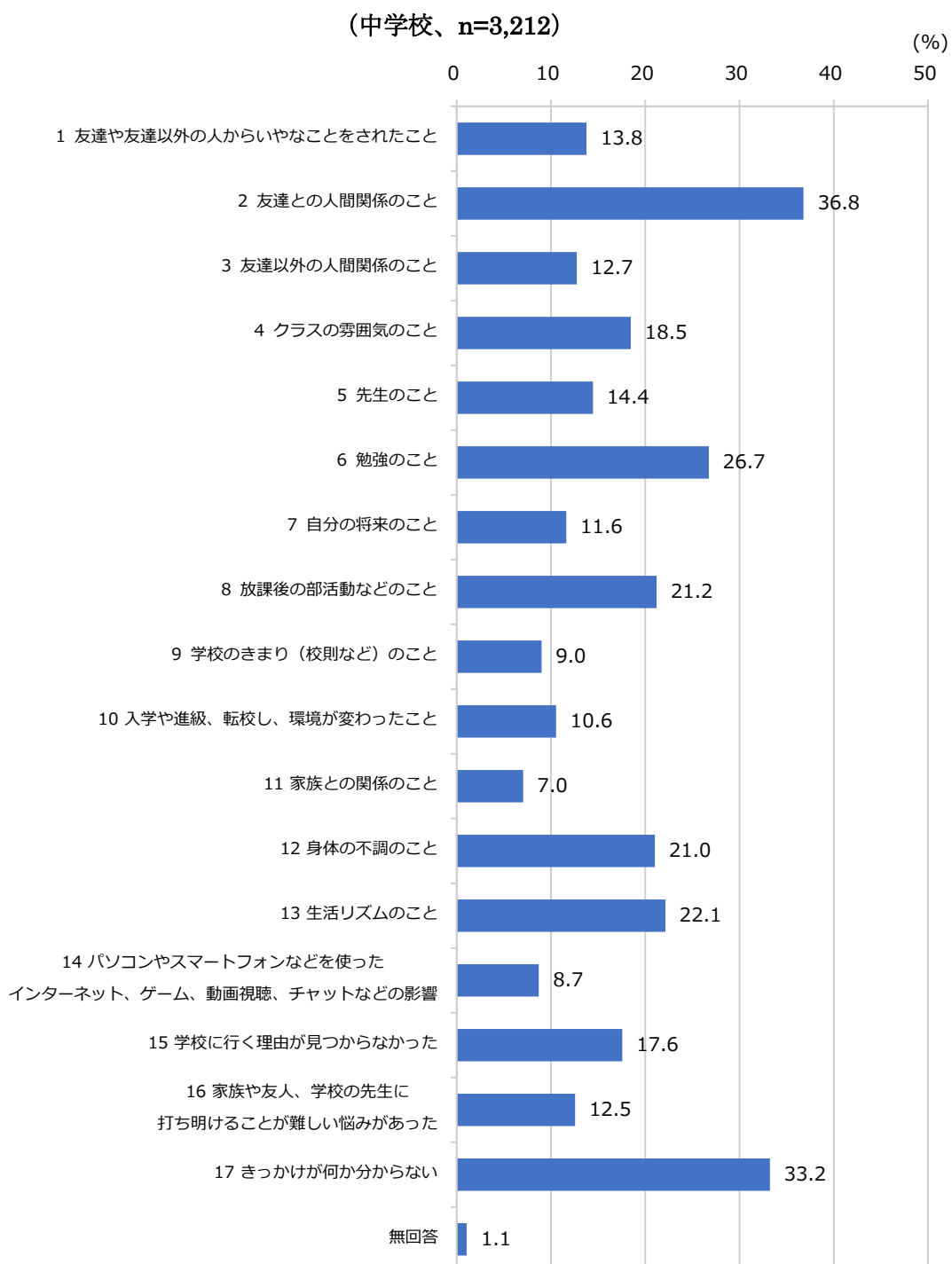
図表 2-8 病気やけが以外の理由で「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけ
(小学校、欠席傾向別)



(2)中学校

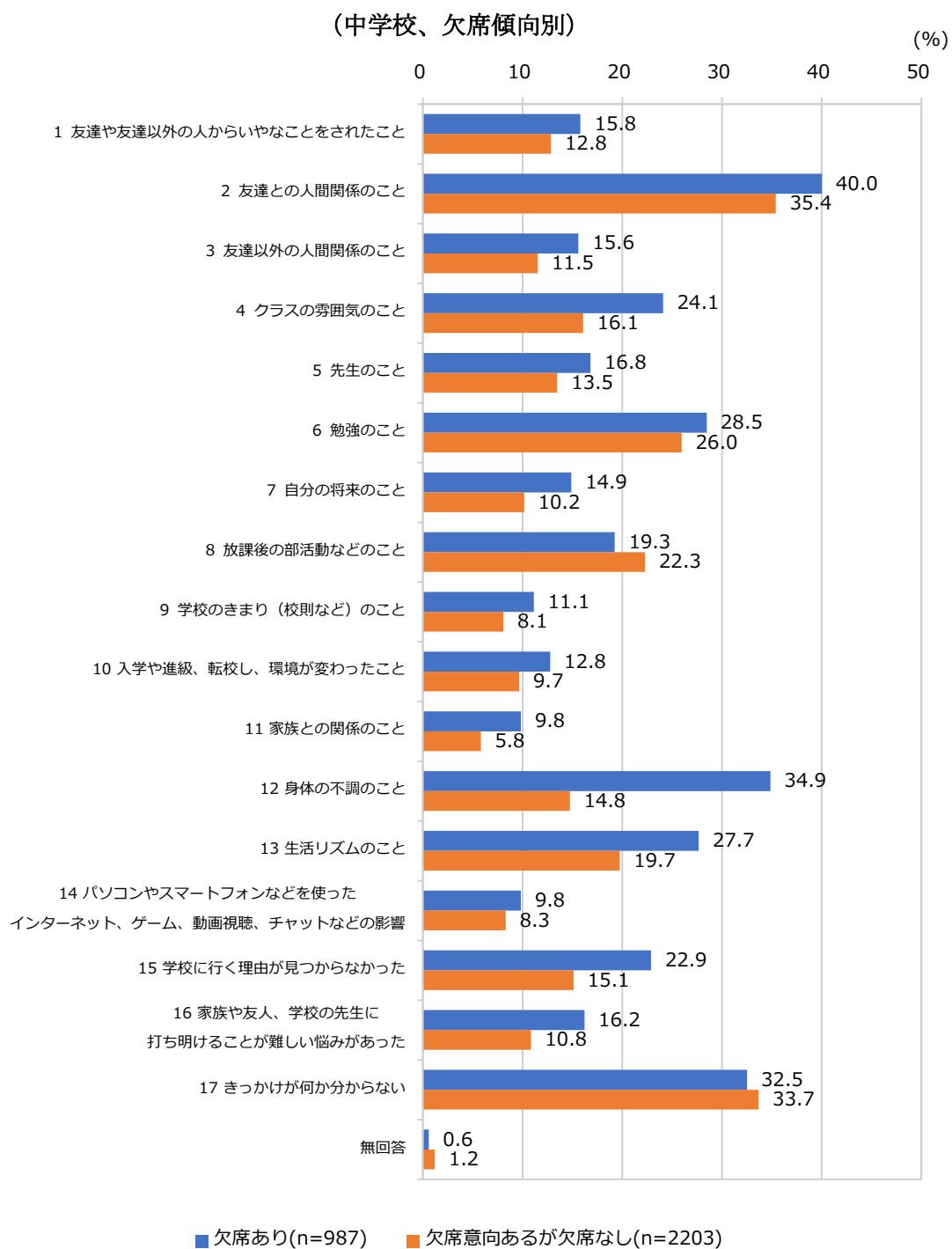
中学校では、「友達との人間関係のこと」が36.8%と最も割合が高く、次いで「きっかけが何か分からない」が33.2%となっている。

図表 2-9 病気やけが以外の理由で「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけ



欠席傾向別にみると、中学校では、欠席ありの生徒は欠席意向あるが欠席なしの児童と比べて「身体の不調のこと」「クラスの雰囲気のこと」「生活リズムのこと」「学校に行く理由が見つからなかった」の割合が高い。

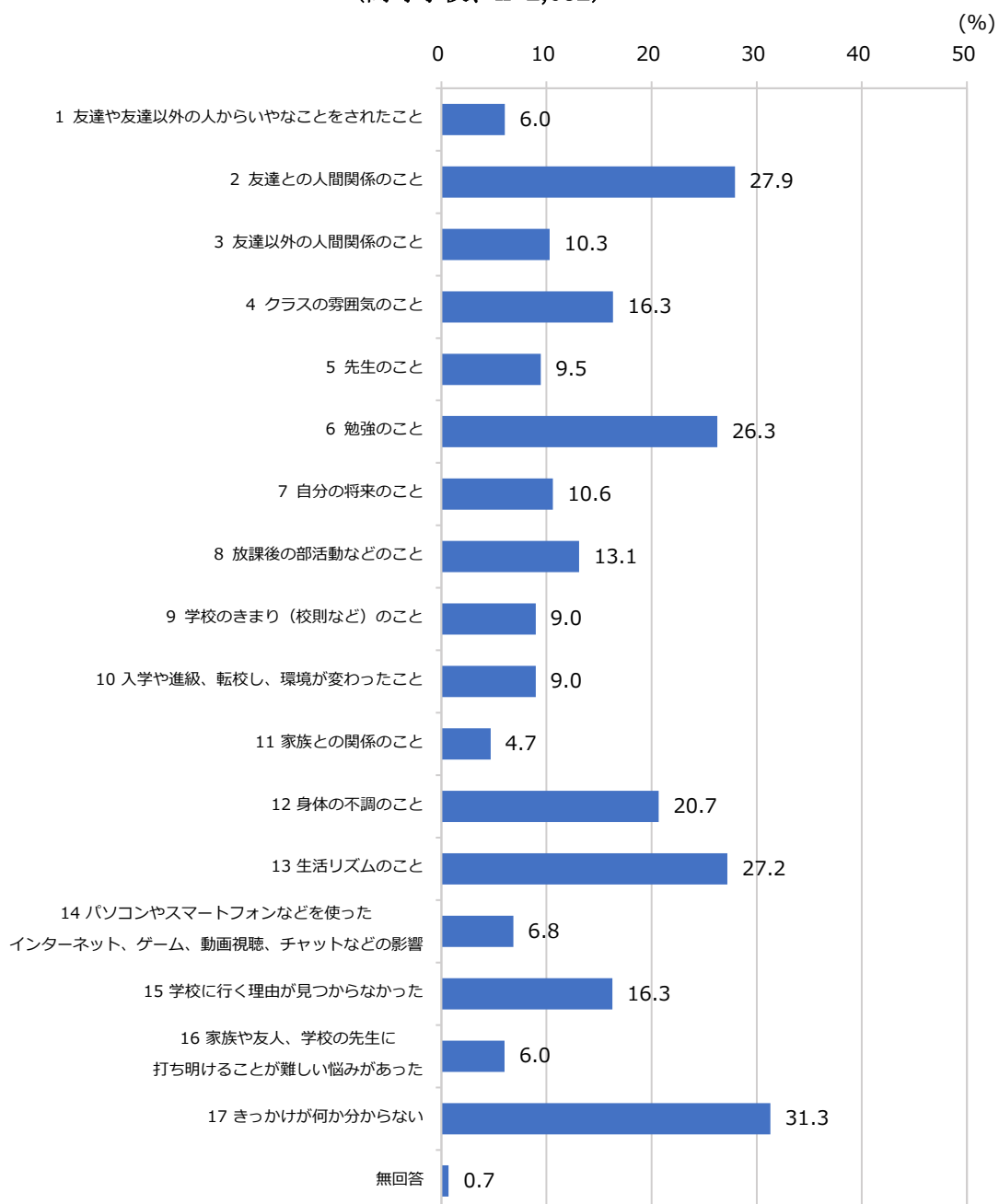
図表 2-10 病気やけが以外の理由で「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけ



(3)高等学校

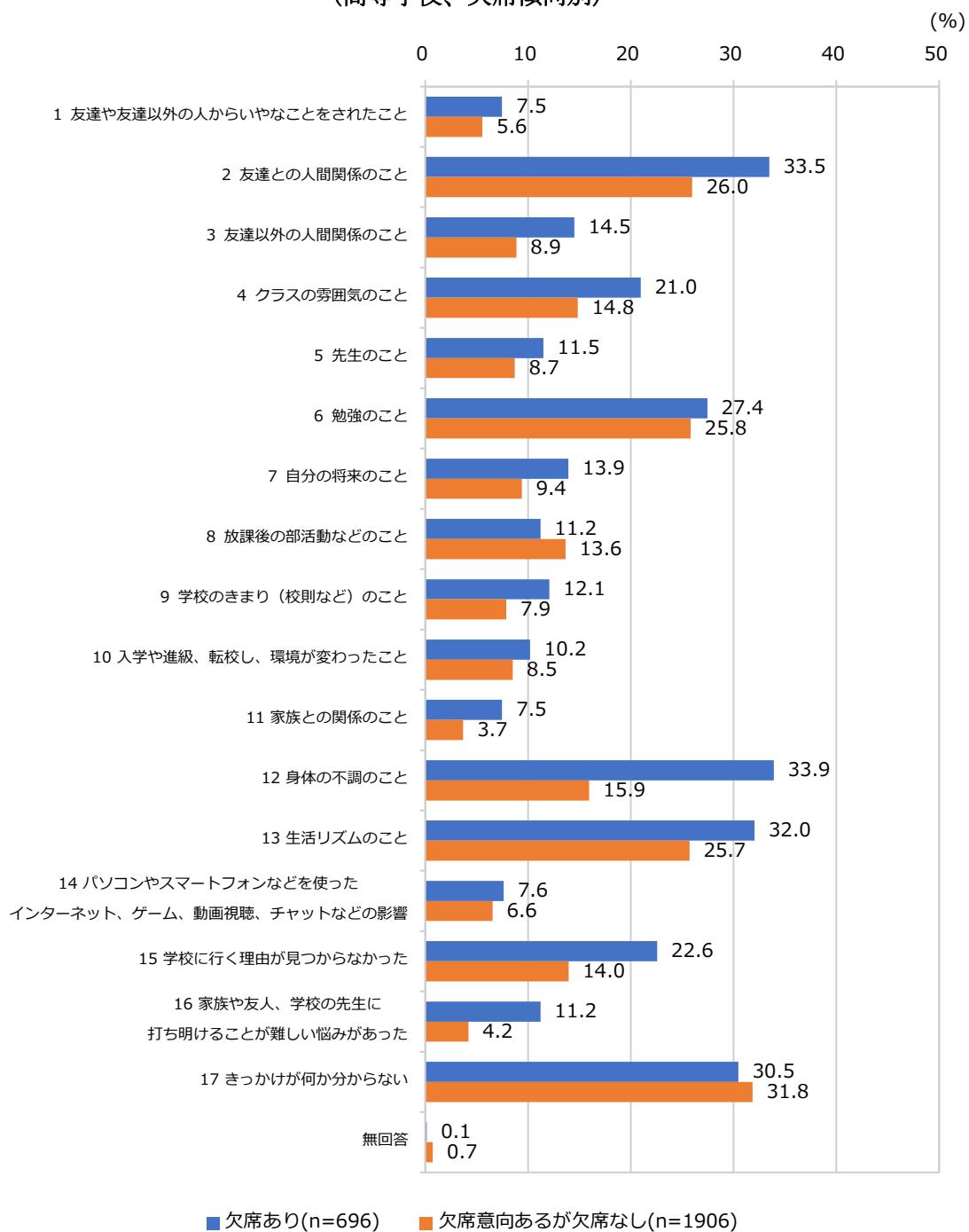
高等学校では、「きっかけが何か分からない」が31.3%と最も割合が高い。次いで「友達との人間関係のこと」「生活リズムのこと」「勉強のこと」「身体の不調のこと」が2割を超え高い。

図表 2-11 病気やけが以外の理由で「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけ
(高等学校、n=2,632)



欠席傾向別にみると、高等学校では、欠席ありの生徒は欠席意向あるが欠席なしの児童と比べて「身体の不調のこと」「学校に行く理由が見つからなかった」「友達との人間関係のこと」「家族や友人、学校の先生に打ち明けることが難しい悩みがあった」の割合が高い。

図表 2-12 病気やけが以外の理由で「学校を欠席したい」と思ったときのきっかけ
(高等学校、欠席傾向別)



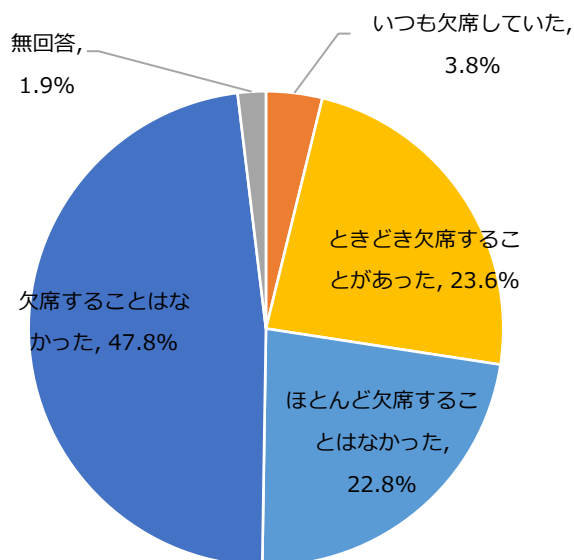
2-2-3 病気やけが以外の理由による欠席状況

2(3) 2(1)で「よくある」または「ときどきある」と回答した人にお聞きします。あなたが病気やけが以外（気がかりなことがあった場合など）の理由で「欠席したい」と思ったとき、実際に学校を欠席しましたか。

(1)小学校

「欠席したい」と思ったとき、実際に学校を欠席したかをみると、小学校では 27.4%が「欠席した（いつも欠席していた＋ときどき欠席することがあった）」と回答した。

図表 2-13 病気やけが以外の理由で「欠席したい」と思ったときの実際の欠席状況
(小学校、n=2,822)

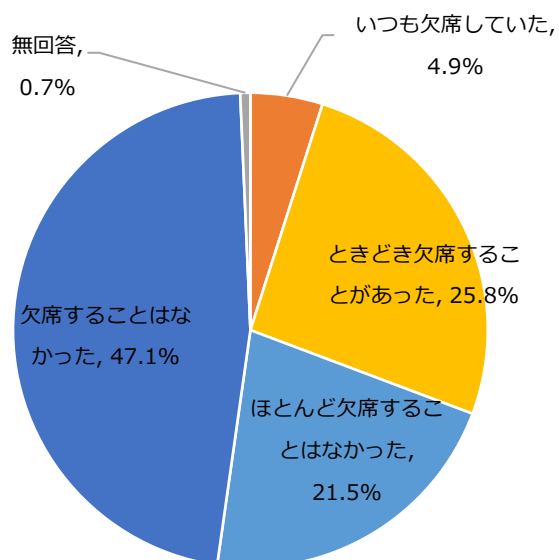


(2)中学校

中学校では 30.7%が「欠席した（いつも欠席していた＋ときどき欠席することがあった）」と回答した。

図表 2-14 病気やけが以外の理由で「欠席したい」と思ったときの実際の欠席状況

(中学校、n= 3,212)

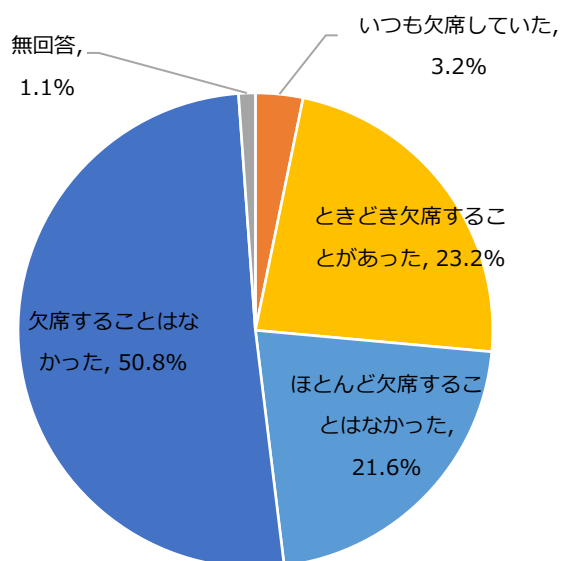


(3)高等学校

高等学校では 26.4%が「欠席した（いつも欠席していた+ときどき欠席することがあった）」と回答した。

図表 2-15 病気やけが以外の理由で「欠席したい」と思ったときの実際の欠席状況

(高等学校、n= 2,632)



2-2-4 学校を休んだ時の気持ち

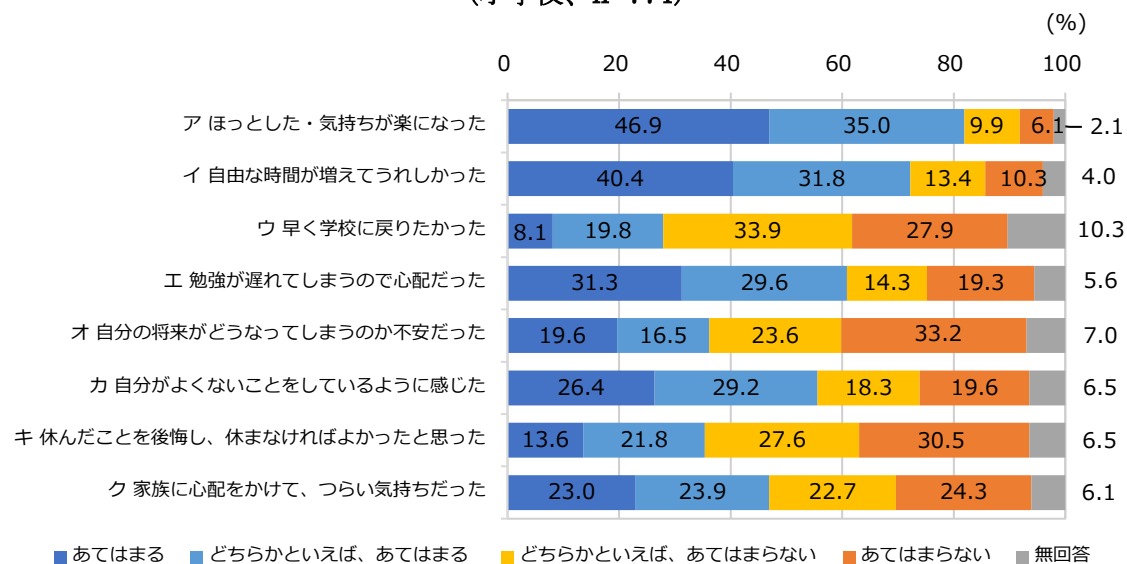
2(4) 2(3)で「いつも欠席していた」または「ときどき欠席することがあった」と回答した人にお聞きします。学校を休んだ時のあなたの気持ちに一番近いものを選んでください。

(1)小学校

学校を休んだ時の気持ちについてみると、小学校では、「ほっとした・気持ちが楽になった（81.9%）」「自由な時間が増えてうれしかった（72.2%）」にあてはまる（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）割合が高い。一方、「勉強が遅れてしまうので心配だった」にあてはまる児童も6割を超えている。

図表 2-16 学校を休んだ時の気持ち

(小学校、n=774)

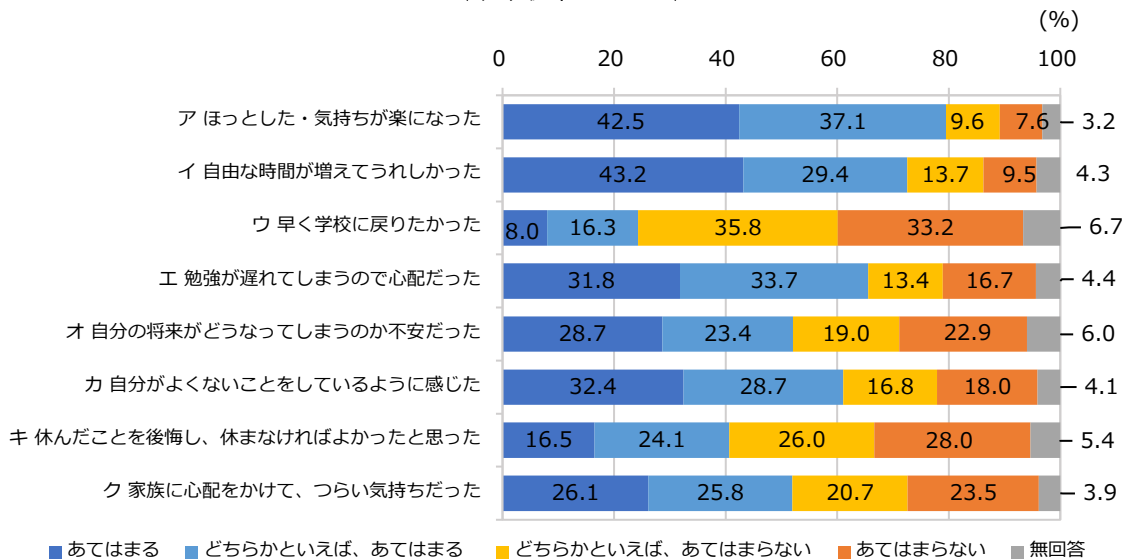


(2)中学校

中学校では、「ほっとした・気持ちが楽になった（79.6%）」「自由な時間が増えてうれしかった（72.6%）」にあてはまる（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）割合が高い。一方、「勉強が遅れてしまうので心配だった」「自分がよくないことをしているように感じた」にあてはまる生徒も6割を超えている。

図表 2-17 学校を休んだ時の気持ち

(中学校、n= 987)

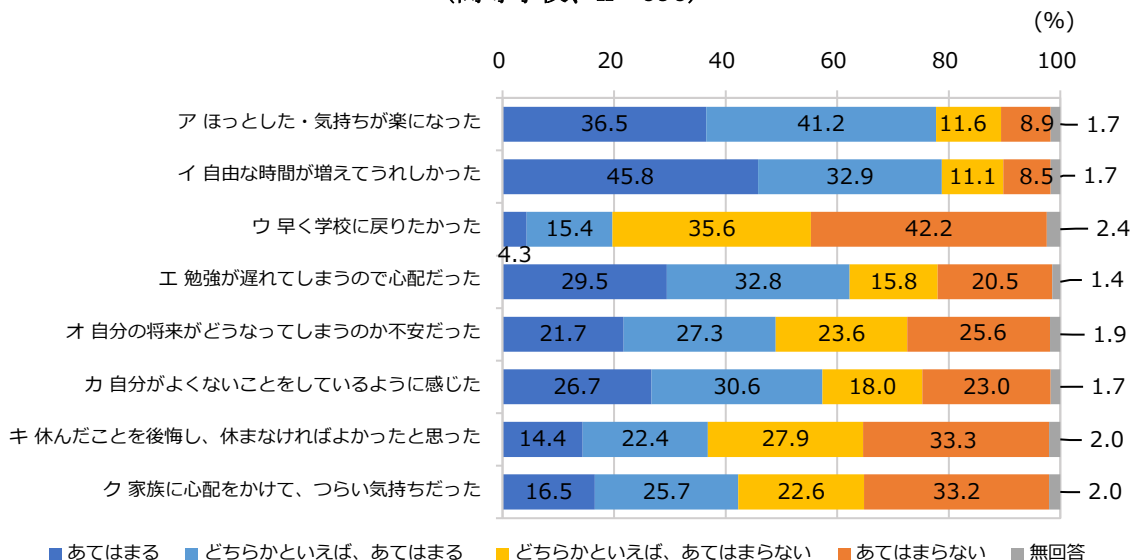


(3)高等学校

高等学校では、「自由な時間が増えてうれしかった (78.7%)」「ほっとした・気持ちが楽になった (77.7%)」にあてはまる(「あてはまる」+「ややあてはまる」)割合が高い。一方、「勉強が遅れてしまうので心配だった」にあてはまる生徒も6割を超えている。

図表 2-18 学校を休んだ時の気持ち

(高等学校、n= 696)



2-2-5 学校を欠席したい気持ちを減らせること

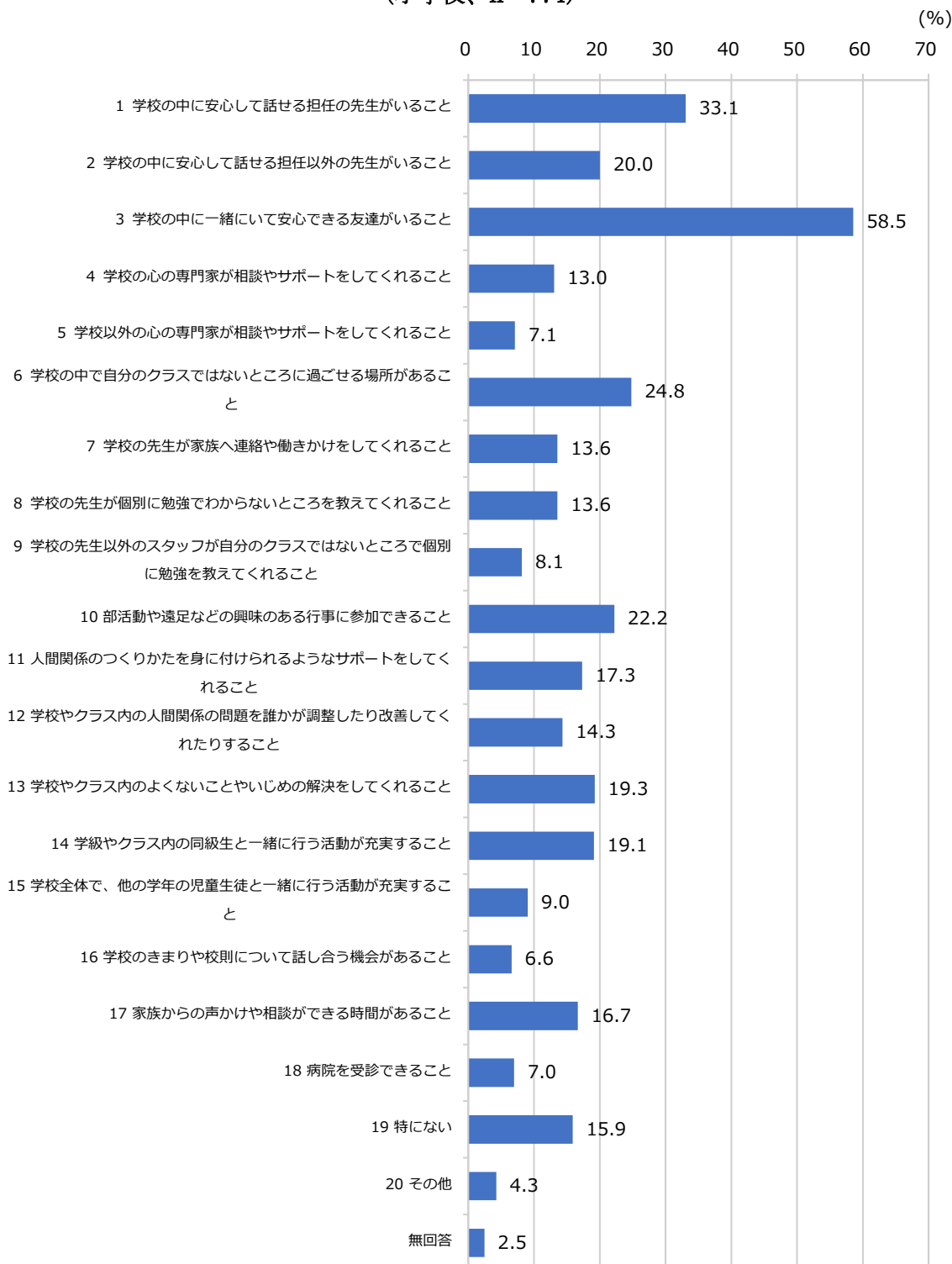
2(5) 2(3)で「いつも欠席していた」または「ときどき欠席することがあった」と回答した人にお聞きします。あなたが欠席したときを振(ふ)り返り、どのようなことがあれば学校を欠席したい気持ちを減らせたと思いますか。あてはまるものにすべてチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

(1)小学校

欠席したときを振り返り、どのようなことがあれば学校を欠席したい気持ちを減らせたと思うかについてみると、小学校では、「学校の中に一緒にいて安心できる友達がいること」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「学校の中に安心して話せる担任の先生がいること」が 33.1%となっている。

図表 2-19 学校を欠席したい気持ちを減らせること

(小学校、n= 774)

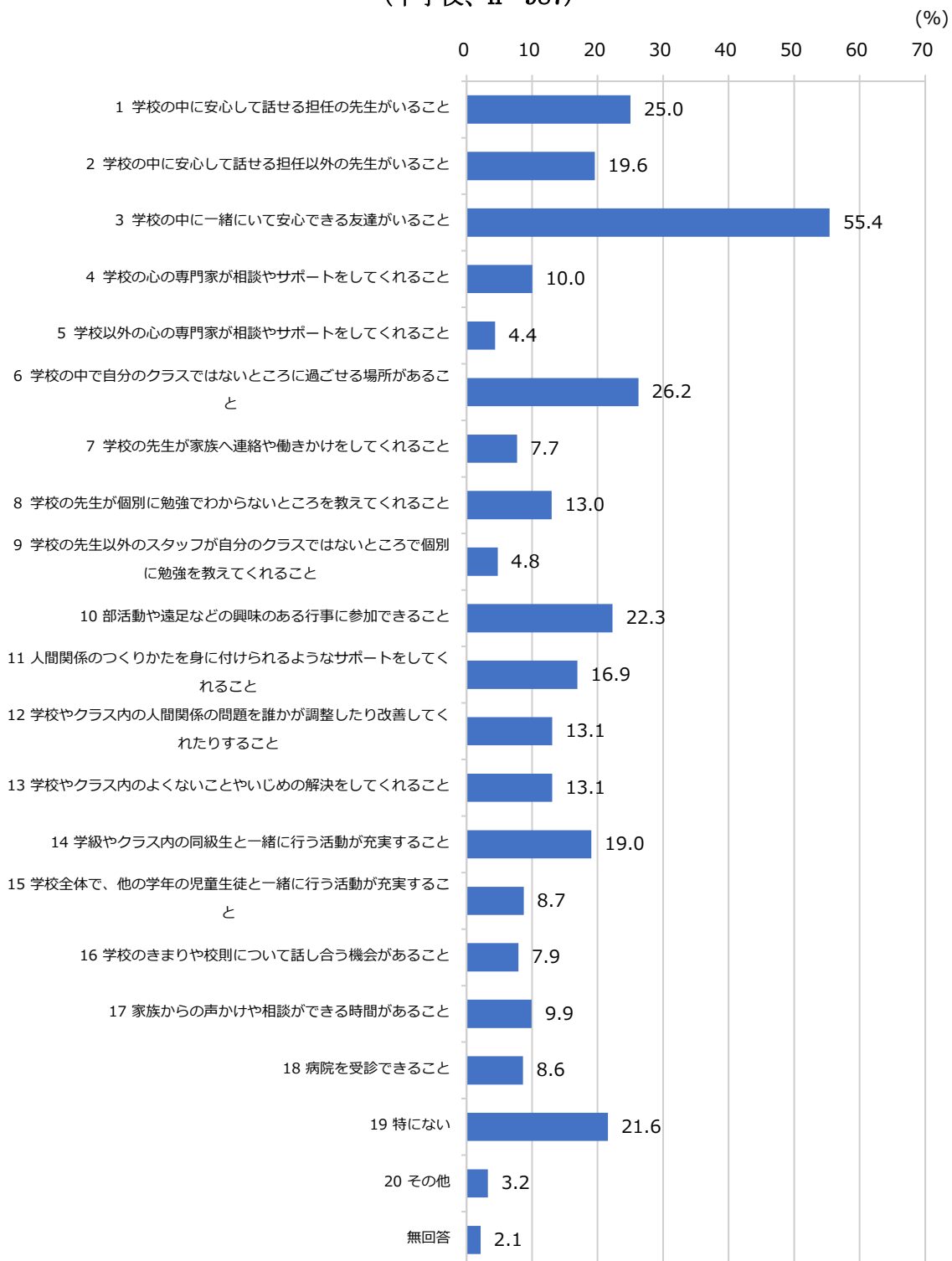


(2)中学校

中学校でも同様に「学校の中に一緒にいて安心できる友達がいること」の割合が 55.4%と最も高い。次いで「学校の中で自分のクラスではないところに過ごせる場所があること (26.2%)」「学校の中に安心して話せる担任の先生がいること (25.0%)」の割合が高い。

図表 2-20 学校を欠席したい気持ちを減らせること

(中学校、n= 987)

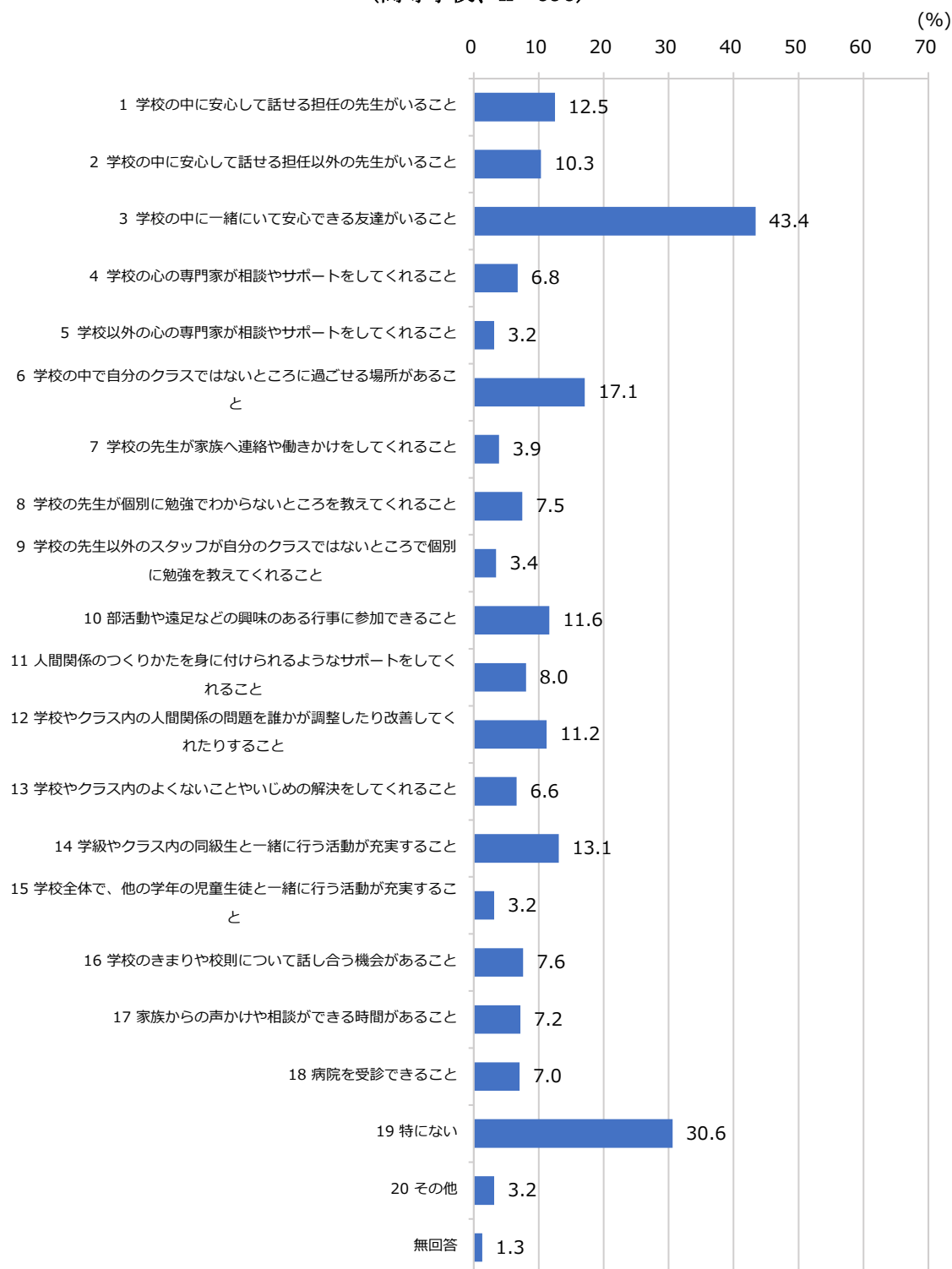


(3)高等学校

高等学校でも「学校の中に一緒にいて安心できる友達がいること」の割合が 43.4%と最も高いものの、次いで「特にない」が 30.6%となっている。

図表 2-21 学校を欠席したい気持ちを減らせること

(高等学校、n= 696)



2-2-6 学校を欠席したときに過ごしたかった自宅以外の場所

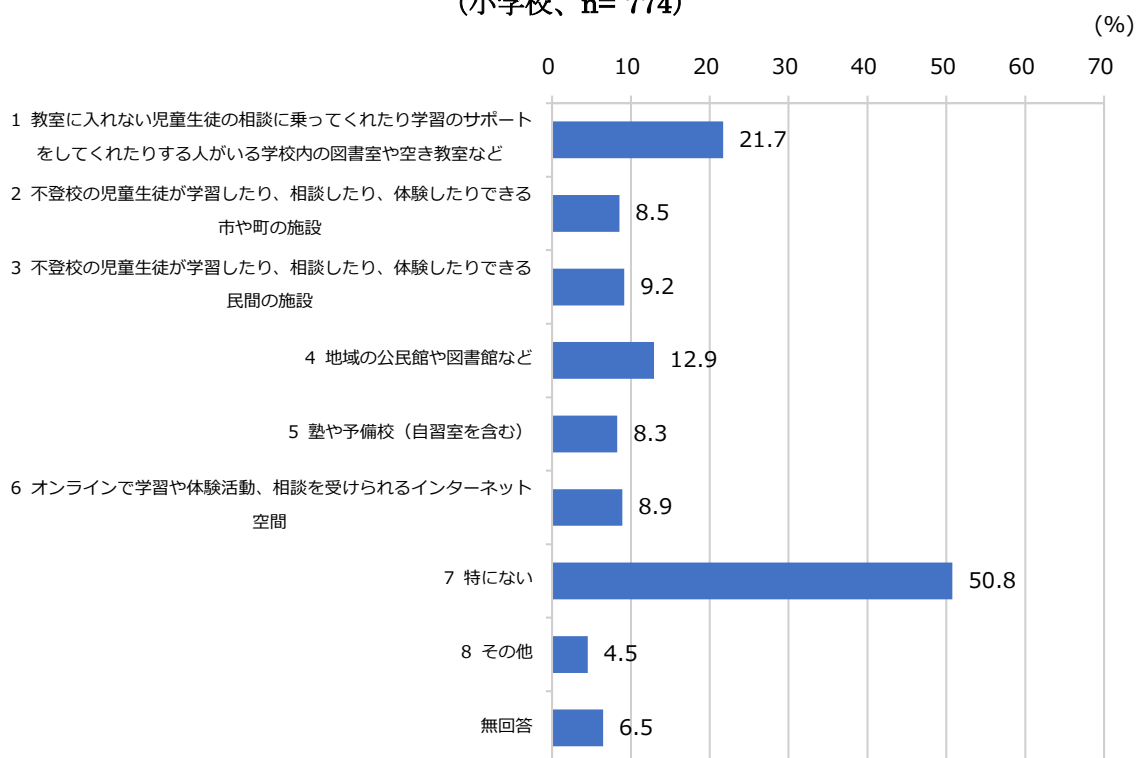
2(6) 2(3)で「いつも欠席していた」または「ときどき欠席することがあった」と回答した人にお聞きします。あなたが病気やけが以外の理由で学校を欠席したとき（欠席しているとき）、自宅（じたく）以外にどのような場所で過ごしたかった（過ごしたい）と思いますか。あてはまるもの にすべてチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

(1)小学校

学校を欠席したとき、自宅以外にどのような場所で過ごしたかったと思うかについてみると、小学校では、「特にない」の割合が50.8%と最も高い。次いで「教室に入れない児童生徒の相談に乗ってくれたり学習のサポートをしてくれたりする人がいる学校内の図書室や空き教室など」が21.7%となっている。

図表 2-22 学校を欠席したときに過ごしたかった自宅以外の場所

(小学校、n= 774)

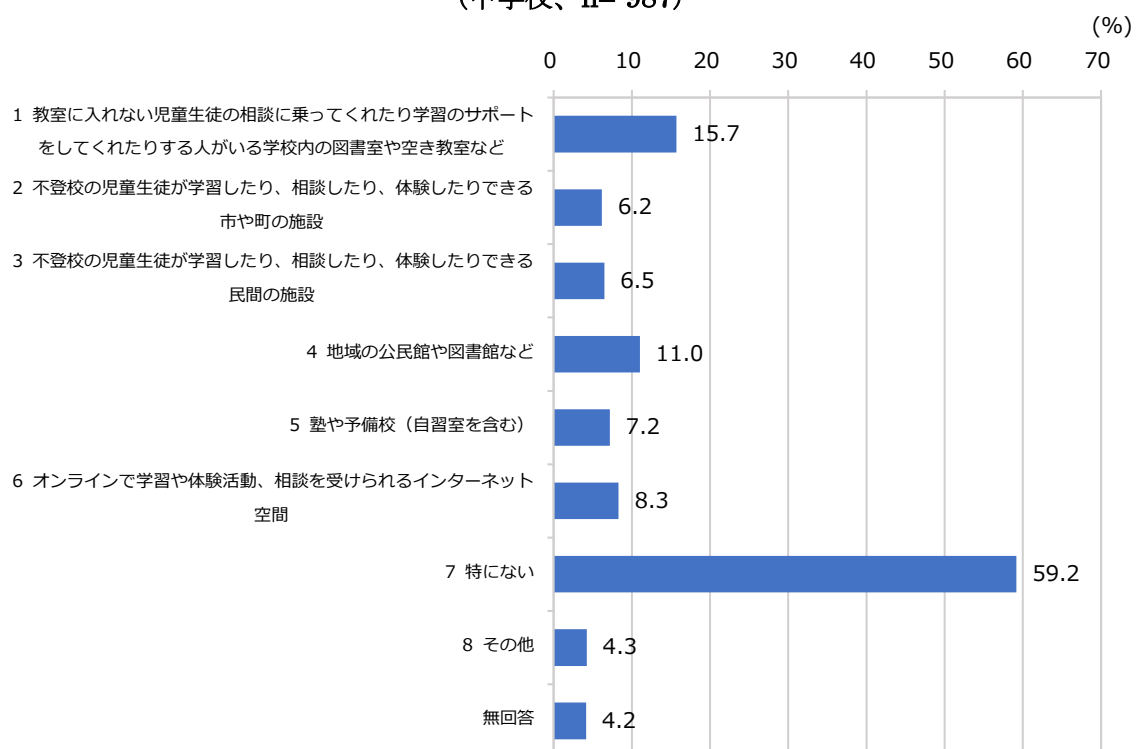


(2)中学校

中学校でも同様に「特にない」の割合が59.2%と最も高い。次いで「教室に入れない児童生徒の相談に乗ってくれたり学習のサポートをしてくれたりする人がいる学校内の図書室や空き教室など」が15.7%となっている。

図表 2-23 学校を欠席したときに過ごしたかった自宅以外の場所

(中学校、n= 987)

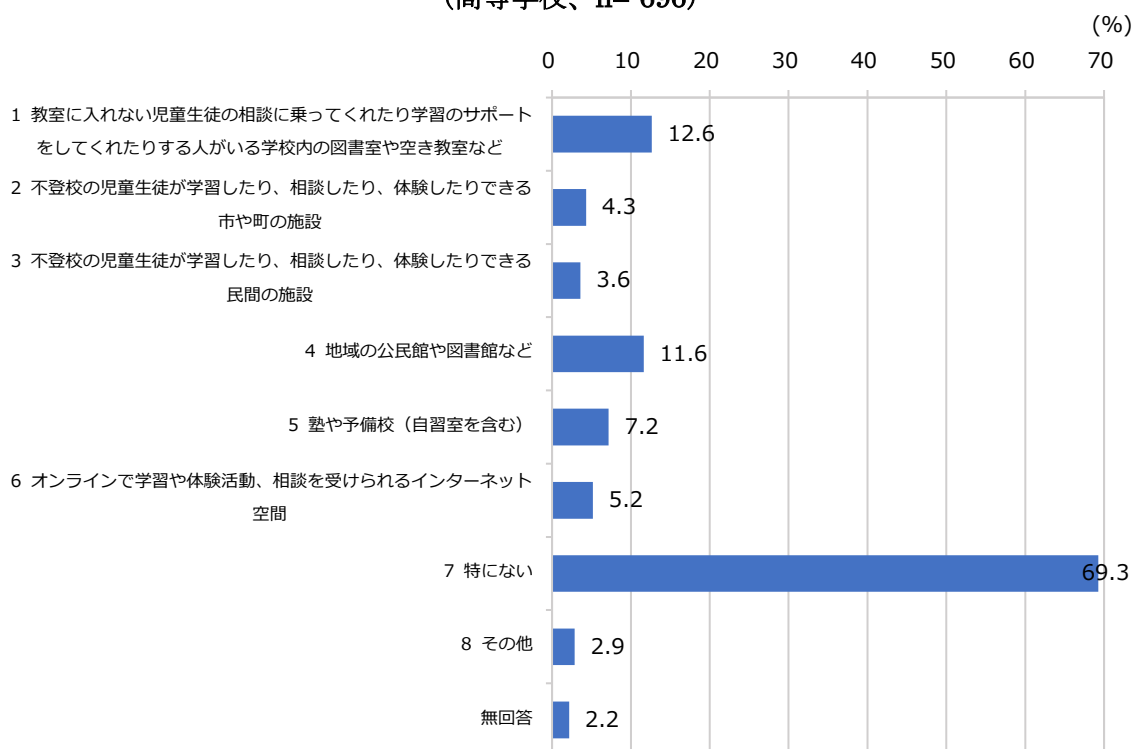


(3)高等学校

高等学校でも「特にない」の割合が69.3%と最も高い。「教室に入れない児童生徒の相談に乗ってくれたり学習のサポートをしてくれたりする人がいる学校内の図書室や空き教室など」「地域の公民館や図書館など」が1割程度となっている。

図表 2-24 学校を欠席したときに過ごしたかった自宅以外の場所

(高等学校、n= 696)



2-2-7 欠席した時の学習方法

2(7) 2(3)で「いつも欠席していた」または「ときどき欠席することがあった」と回答した人にお聞きします。あなたが病気やけが以外の理由で学校を欠席したとき（欠席しているとき）、どのような方法で学習したかった（学習したい）と思いましたか。あてはまるものにすべてチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

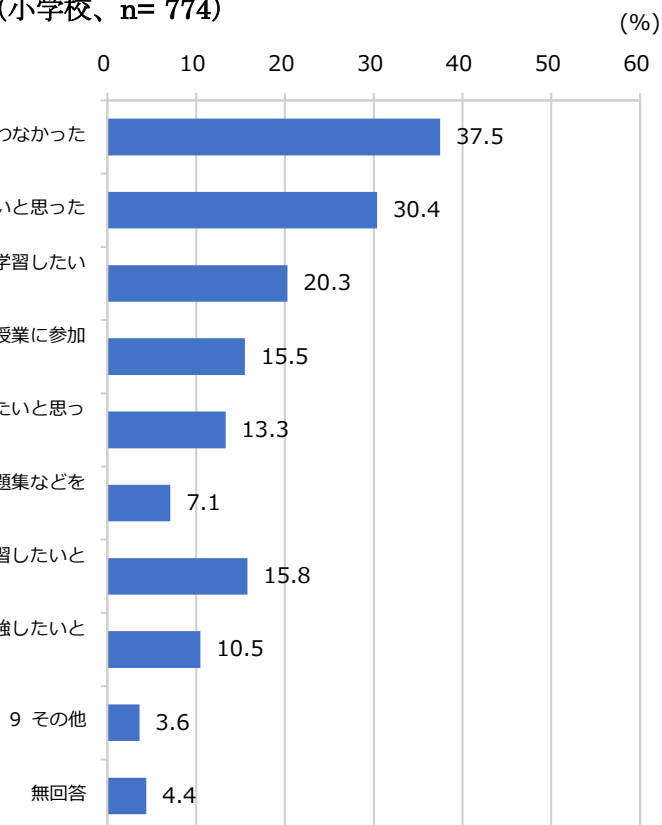
(1)小学校

病気やけが以外の理由で学校を欠席したとき、どのような方法で学習したかったかと思うかについてみると、小学校では「学習したいと思わなかった」と回答した児童が 37.5%で最も割合が高かった。

希望する学習方法については、30.4%が「学校の教科書やプリントなどを活用して学習したい」と回答しており、次いで 20.3%が「タブレット端末を活用して、オンラインの教材で学習したいと思った」と回答している。

図表 2-25 学校を欠席したとき、どのような方法で学習したかったか

(小学校、n= 774)

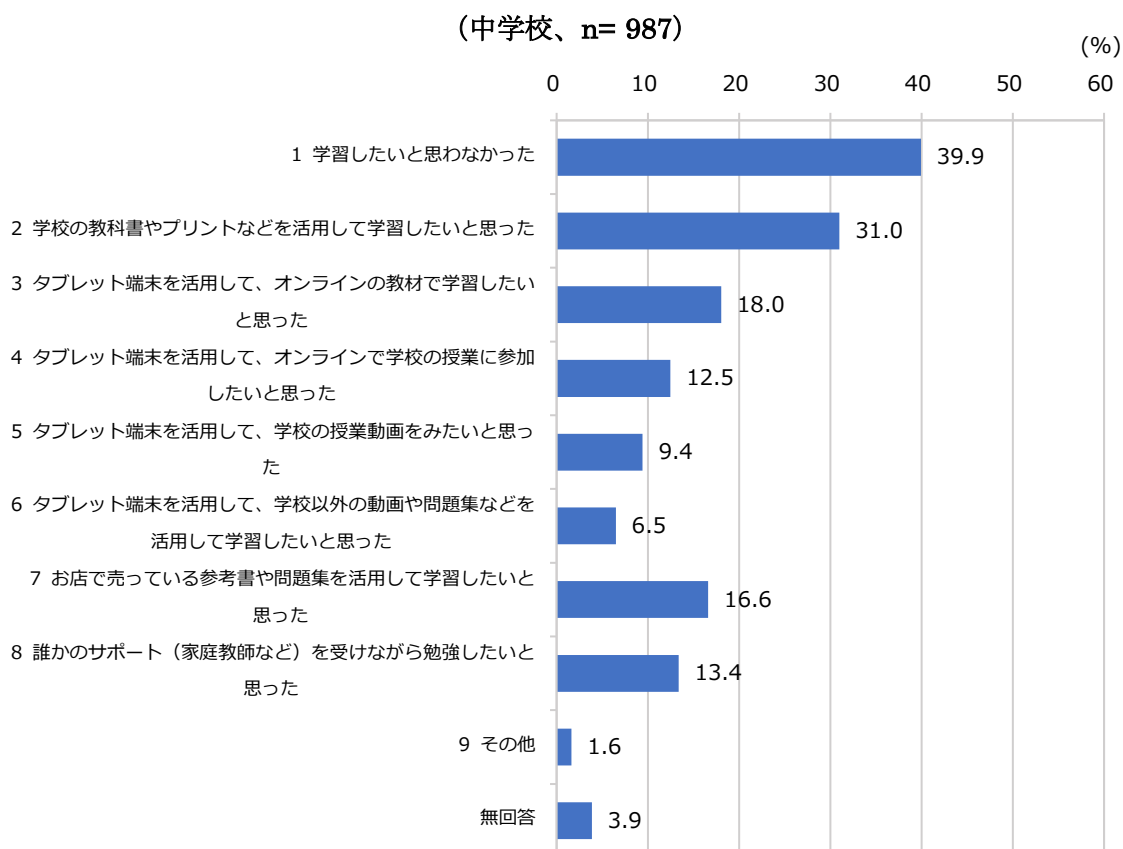


(2)中学校

中学校でも「学習したいと思わなかった」と回答した生徒が約4割で割合が最も高い。

希望する学習方法については、31%が「学校の教科書やプリントなどを活用して学習したい」と回答しており、次いで18%が「タブレット端末を活用して、オンラインの教材で学習したいと思った」と回答している。

図表 2-26 学校を欠席したとき、どのような方法で学習したかったか



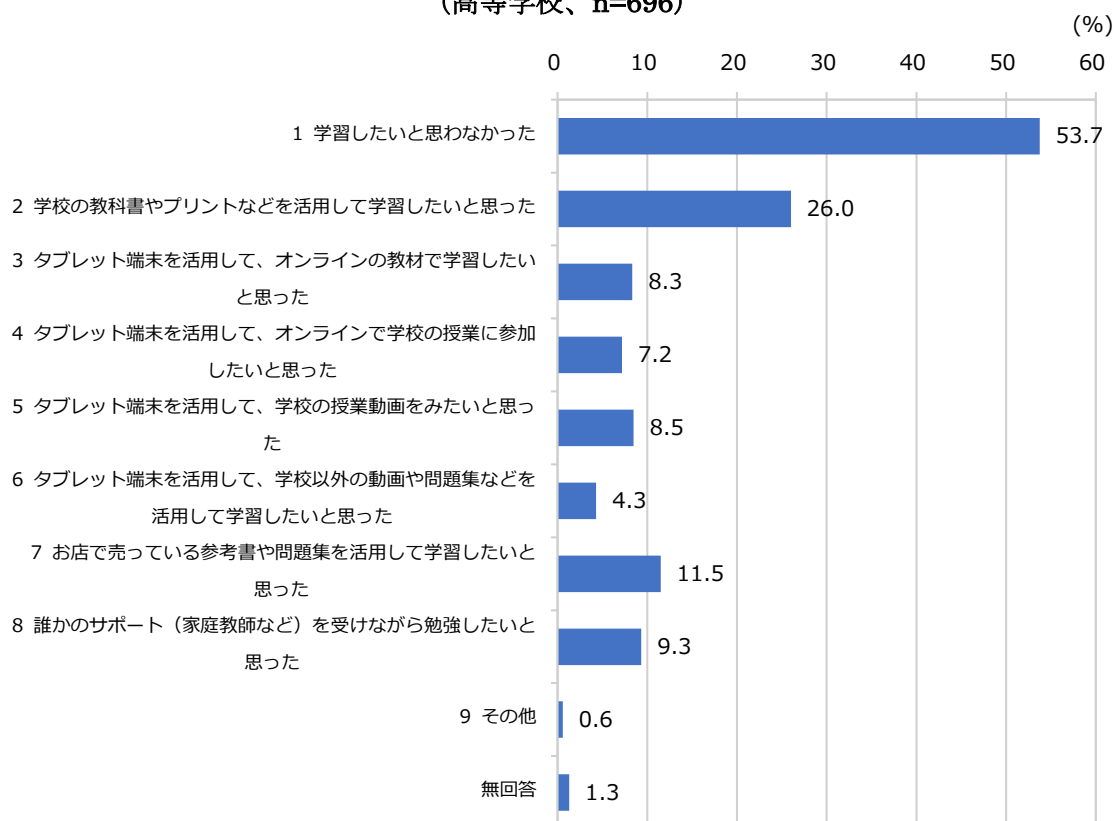
(3)高等学校

高等学校でも「学習したいと思わなかった」と回答した生徒が 53.7%と最も割合が高く半数を超えている。

希望する学習方法については、26%が「学校の教科書やプリントなどを活用して学習したい」と回答しており、次いで 11.5%が「お店で売っている参考書や問題集を活用して学習したいと思った」と回答している。

図表 2-27 学校を欠席したとき、どのような方法で学習したかったか

(高等学校、n=696)



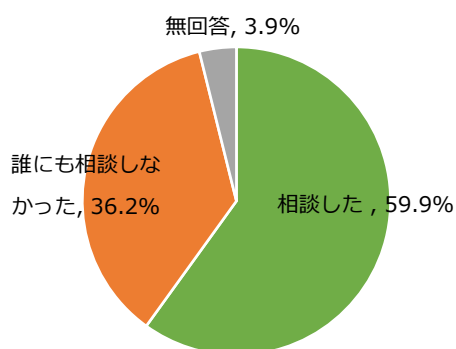
2-2-8 欠席についての相談有無

2(8) 2(3)で「いつも欠席していた」または「ときどき欠席することがあった」と回答した人にお聞きします。あなたが、病気やけが以外の理由で「学校を欠席したい」と思ったときや学校を欠席したとき(欠席していた間)、そのことを相談しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

(1)小学校

「学校を欠席したい」と思ったときや学校を欠席したとき、そのことを相談したかについては、小学校では59.9%が「相談した」と回答した。

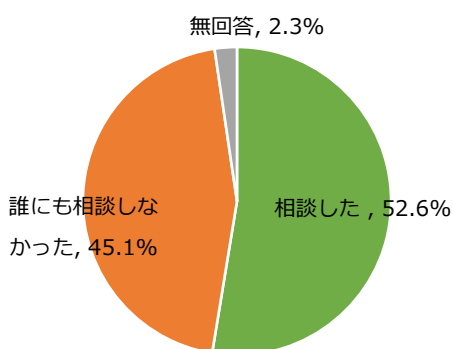
図表 2-28 欠席についての相談有無（小学校、n=774）



(2)中学校

中学校では52.6%が「相談した」と回答した。

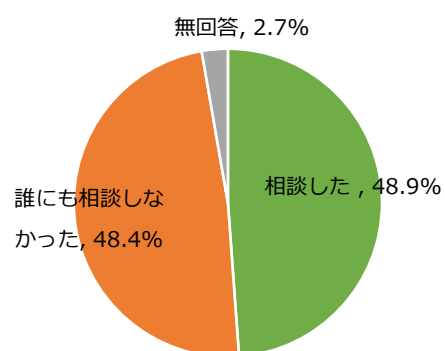
図表 2-29 欠席についての相談有無（中学校、n=987）



(3)高等学校

高等学校では 48.9%が「相談した」と回答した。

図表 2-30 欠席についての相談有無（高等学校、n=696）



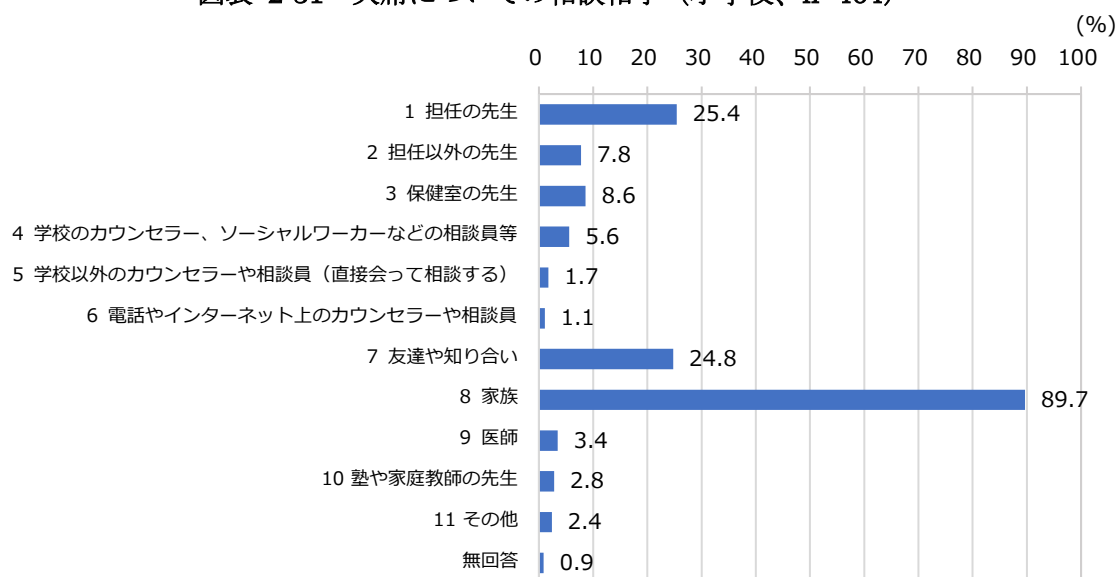
2-2-9 欠席についての相談相手

2(9) 2(8)で「相談した」と回答した人にお聞きます。あなたが、病気やけが以外の理由で「学校を欠席したい」と思ったときや学校を欠席したとき（欠席していた間）、誰（だれ）に相談しましたか。あてはまるものにすべてチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

(1)小学校

「学校を欠席したい」と思ったときや学校を欠席したときに誰に相談したかについてみると、小学校では「家族」の割合が89.7%と最も高く、次いで「担任の先生」が25.4%となっている。

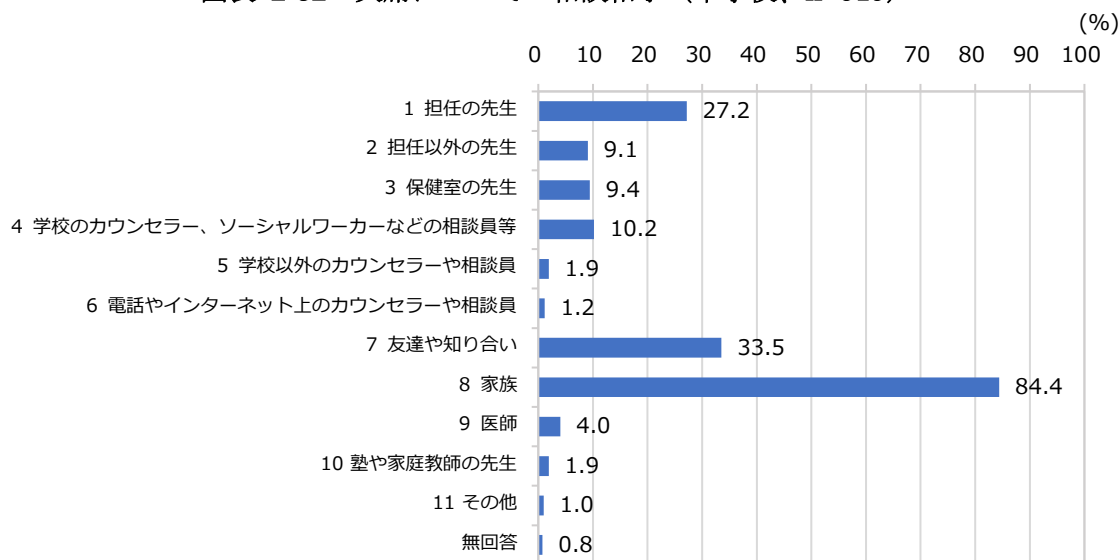
図表 2-31 欠席についての相談相手（小学校、n=464）



(2)中学校

中学校では「家族」の割合が84.4%と最も高く、次いで「友達や知り合い」が33.5%、「担任の先生」が27.2%となっている。

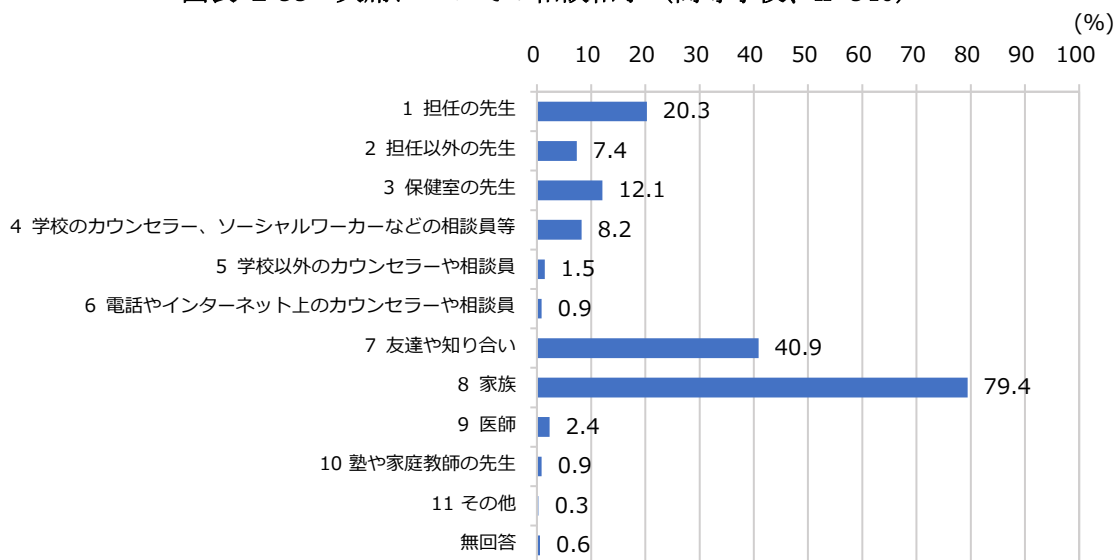
図表 2-32 欠席についての相談相手（中学校、n=519）



(3)高等学校

高等学校では「家族」の割合が79.4%と最も高く、次いで「友達や知り合い」が40.9%、「担任の先生」が20.3%となっている。

図表 2-33 欠席についての相談相手（高等学校、n=340）



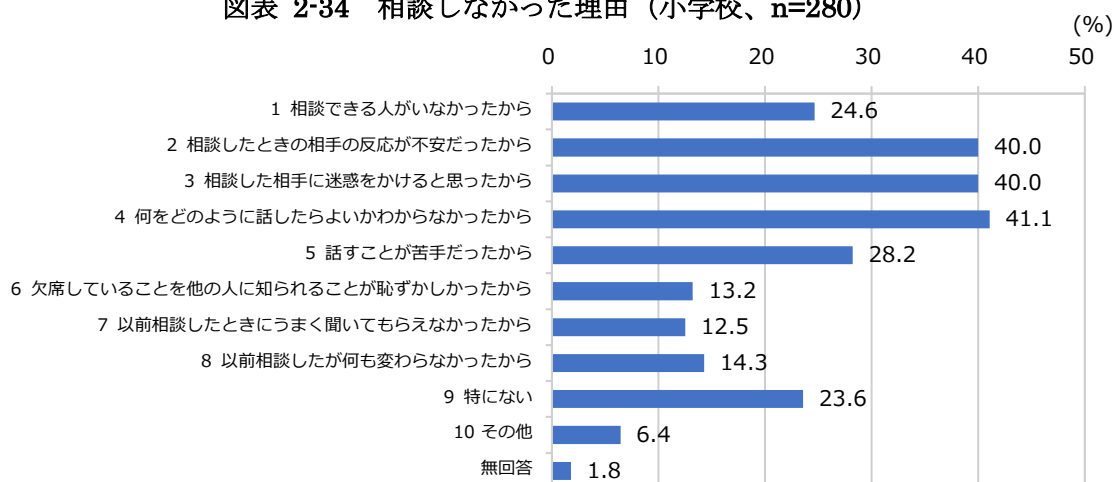
2-2-10 相談しなかった理由

2(10) 2(8)で「誰（だれ）にも相談しなかった」と回答した人にお聞きします。誰（だれ）にも相談しなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてにチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

(1)小学校

「学校を欠席したい」と思ったときや学校を欠席したとき、誰にも相談しなかった理由についてみると、小学校では、「何をどのように話したらよいかわからなかったから」「相談したときの相手の反応が不安だったから」「相談した相手に迷惑をかけると思ったから」がそれぞれ4割程度と割合が高い。

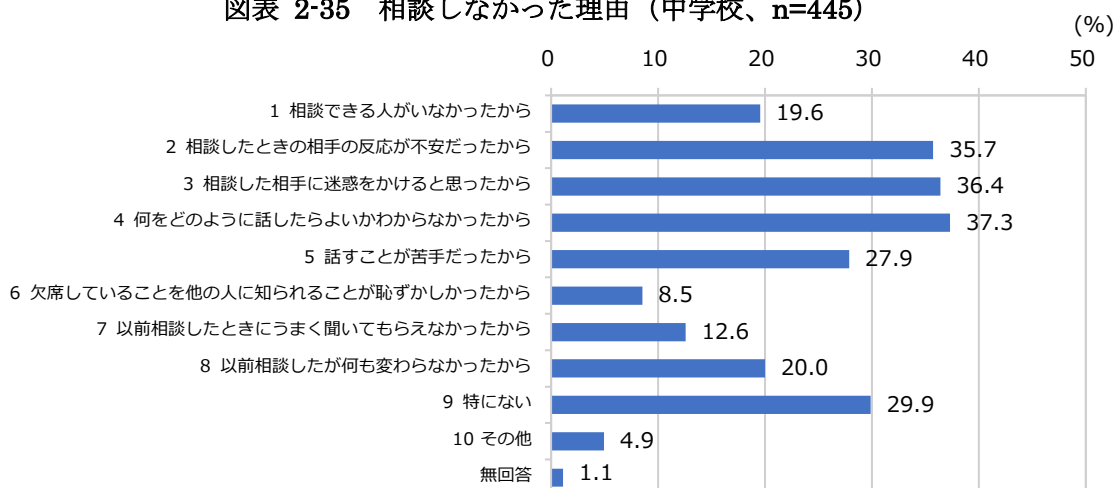
図表 2-34 相談しなかった理由（小学校、n=280）



(2)中学校

中学校では「何をどのように話したらよいかわからなかったから」「相談した相手に迷惑をかけると思ったから」「相談したときの相手の反応が不安だったから」がそれぞれ4割弱と割合が高い。

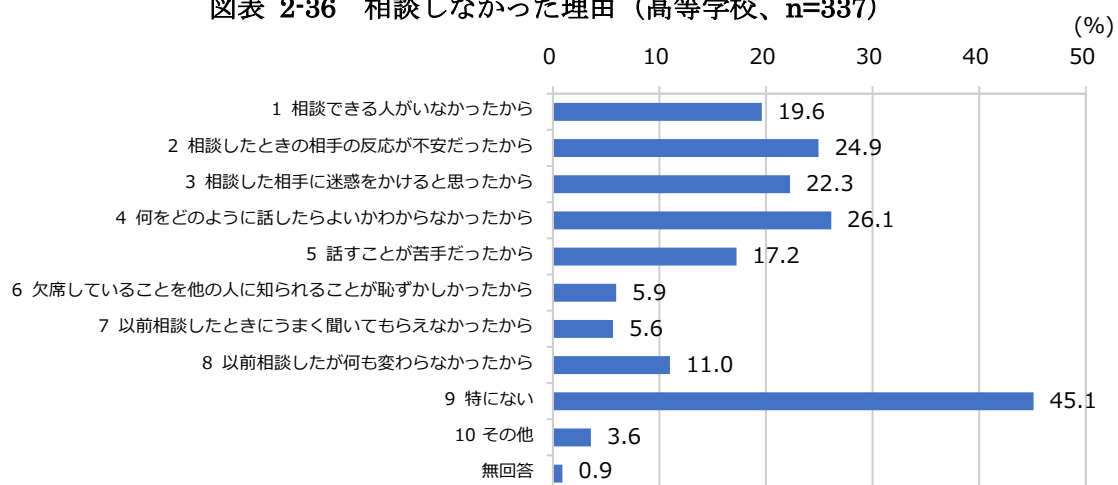
図表 2-35 相談しなかった理由（中学校、n=445）



(3)高等学校

高等学校では「特にな」の割合が45.2%と最も高い。次いで、「何をどのように話したらよいかわからなかったから」「相談したときの相手の反応が不安だったから」「相談した相手に迷惑をかけると思ったから」がそれぞれ2割を超えている。

図表 2-36 相談しなかった理由（高等学校、n=337）



2-2-11 学校を欠席しなかった理由

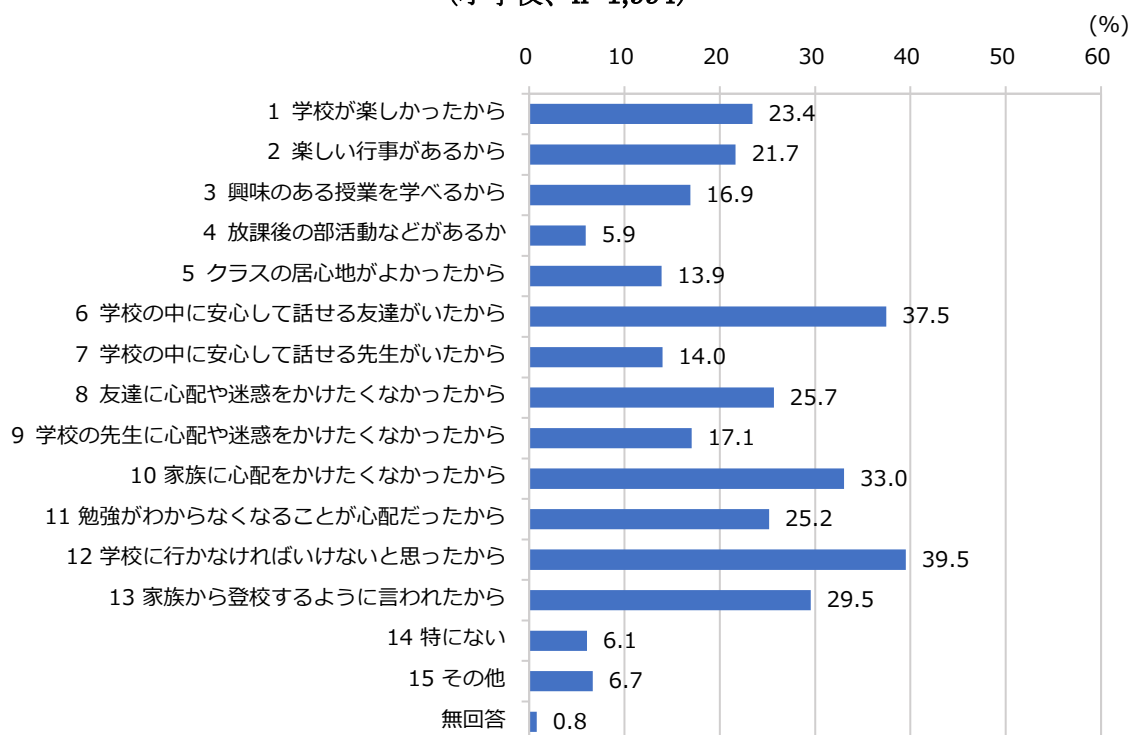
2(11) 2(3)で「ほとんど欠席することはなかった」または「欠席することはなかった」と回答した人にお聞きします。あなたが「欠席したい」と思っても、学校を欠席しなかった理由は何ですか。あてはまるものにすべてチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

(1)小学校

「欠席したい」と思っても学校を欠席しなかった理由についてみると、小学校では「学校に行かなければいけないと思ったから」の割合が39.5%と最も高く、「学校の中に安心して話せる友達がいたから」が37.5%と続く。

図表 2-37 学校を欠席しなかった理由

(小学校、n=1,994)

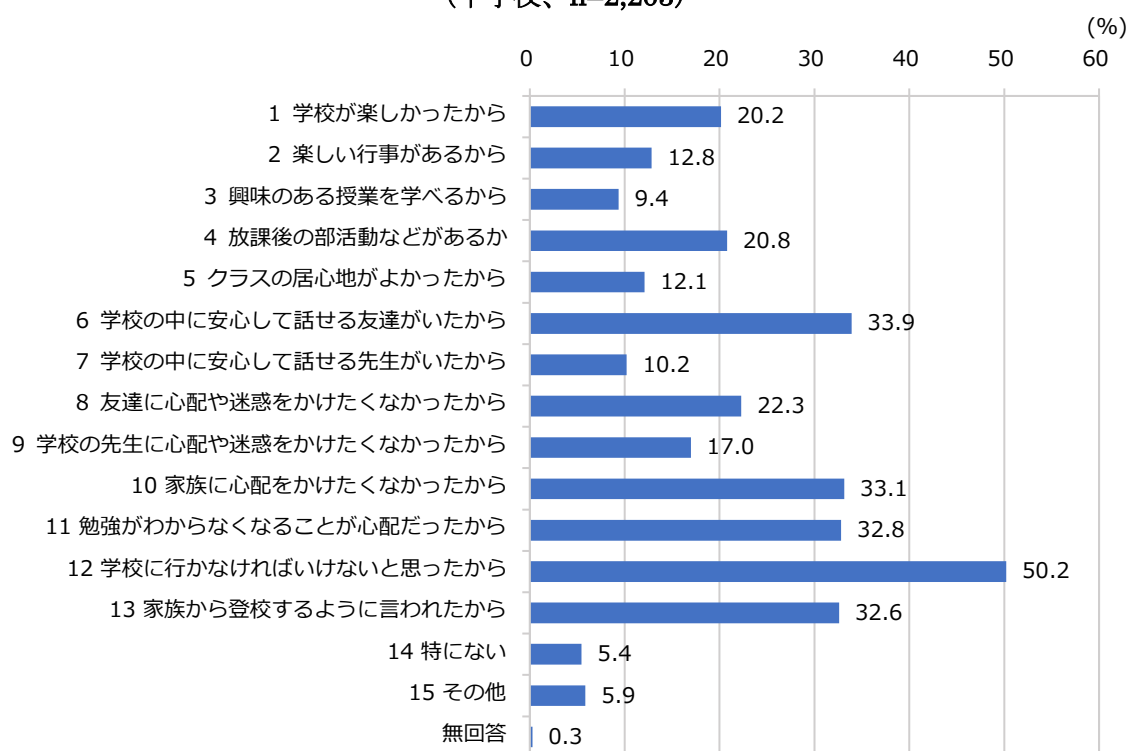


(2)中学校

中学校では「学校に行かなければいけないと思ったから」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「学校の中に安心して話せる友達がいたから」「家族に心配をかけたくなかったから」「勉強がわからなくなることが心配だったから」「家族から登校するように言われたから」が3割強となっている。

図表 2-38 学校を欠席しなかった理由

(中学校、n=2,203)

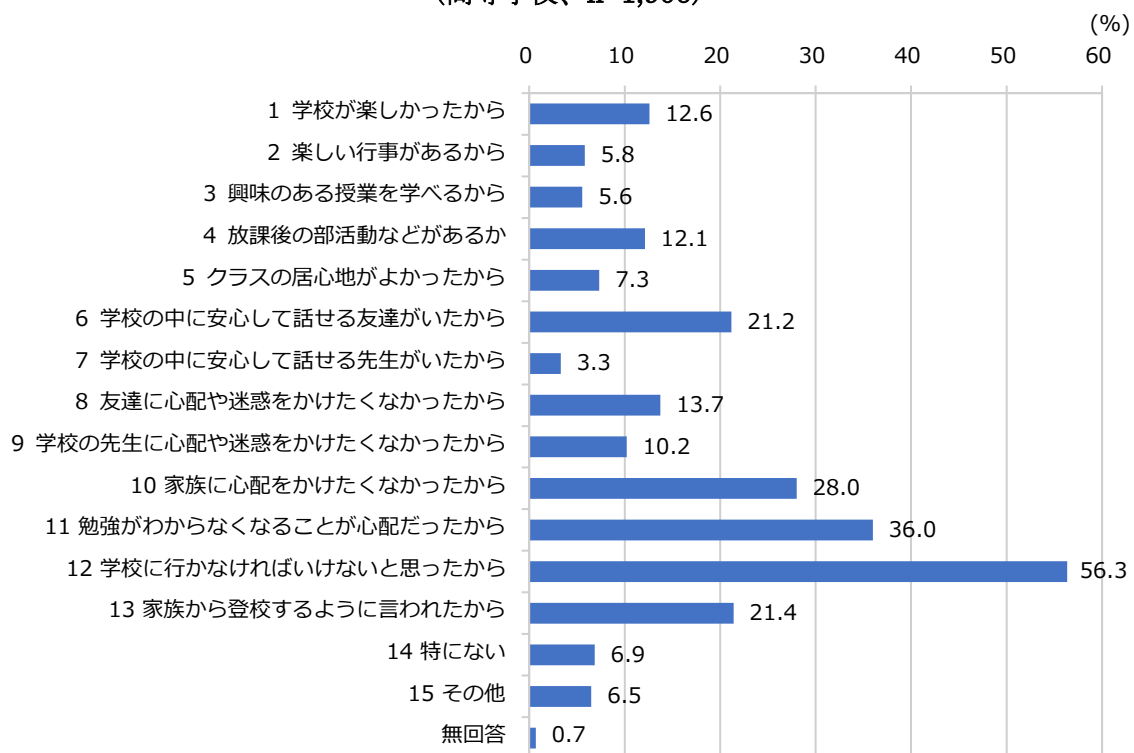


(3)高等学校

高等学校では「学校に行かなければいけないと思ったから」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「勉強がわからなくなることが心配だったから」が 36.0%となっている。

図表 2-39 学校を欠席しなかった理由

(高等学校、n=1,906)



2-3 現在の状況

2-3-1 現在、悩んでいること

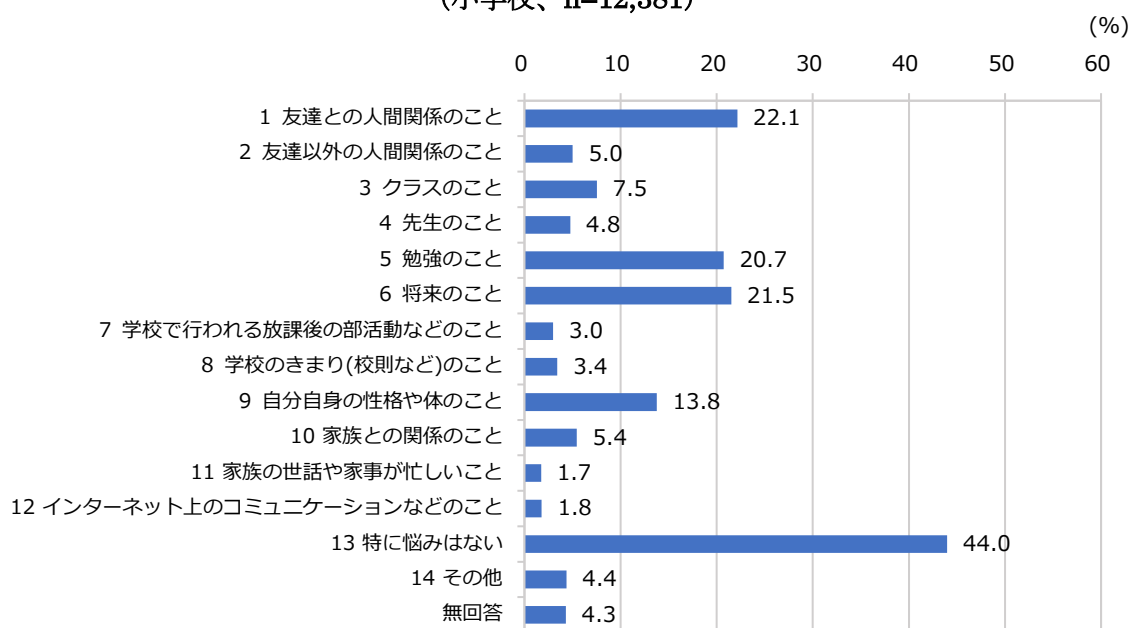
3(1) 現在、あなたには悩(なや)んでいることがありますか。あてはまるものにすべてチェックをつけてください。

(1)小学校

現在悩んでいることについてみると、小学校では「特に悩みはない」が44.0%と最も高く、次いで「友達との人間関係のこと」「将来のこと」「勉強のこと」がそれぞれ2割を超えている。

図表 2-40 現在悩んでいること

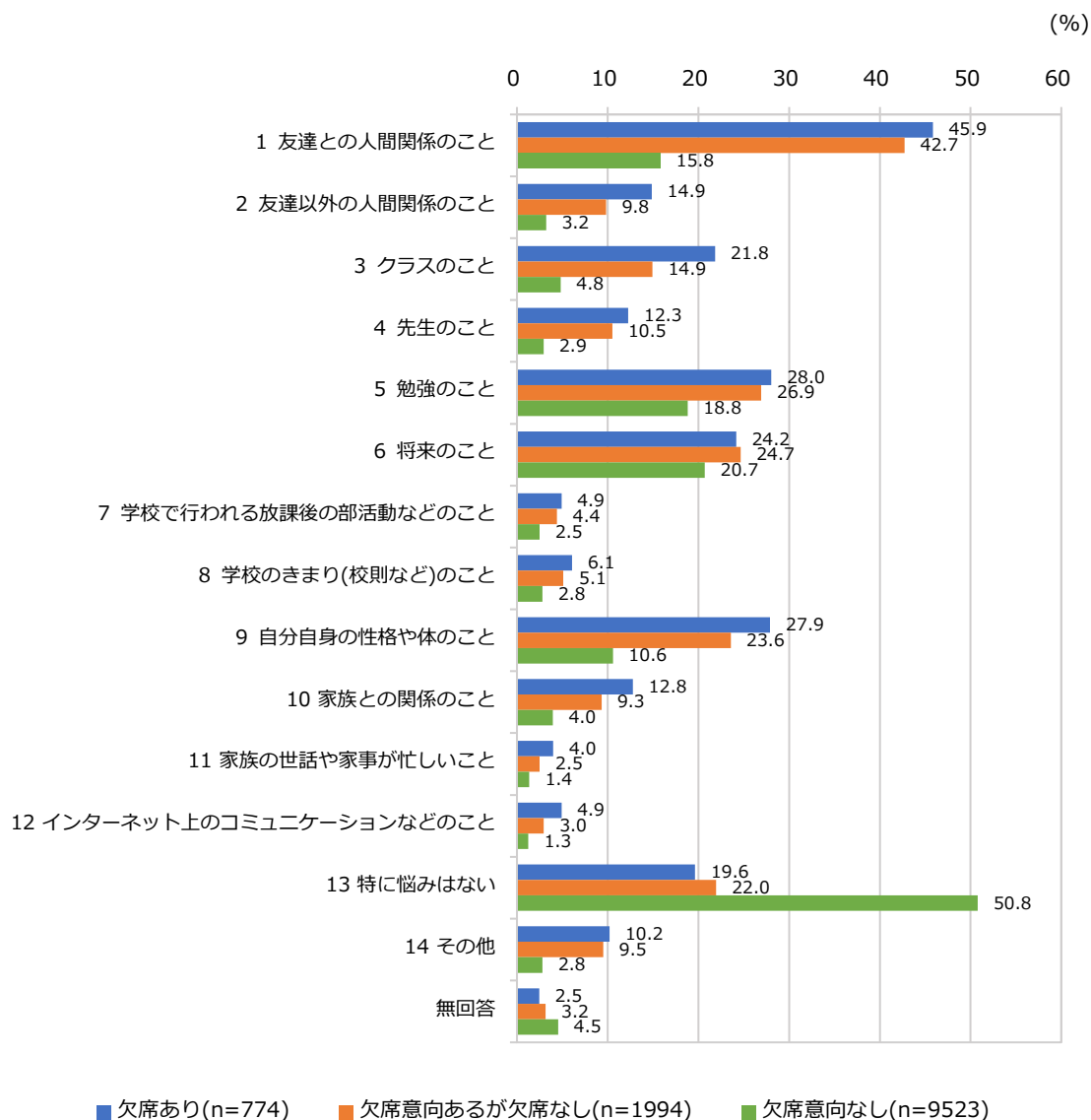
(小学校、n=12,381)



欠席傾向別にみると、小学校では、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの児童において「友達との人間関係のこと」の割合が高く4割を超えている。一方で、欠席意向なしの児童では「特に悩みはない」の割合が50.8%と最も高い。

図表 2-41 現在悩んでいること

(小学校、欠席傾向別)

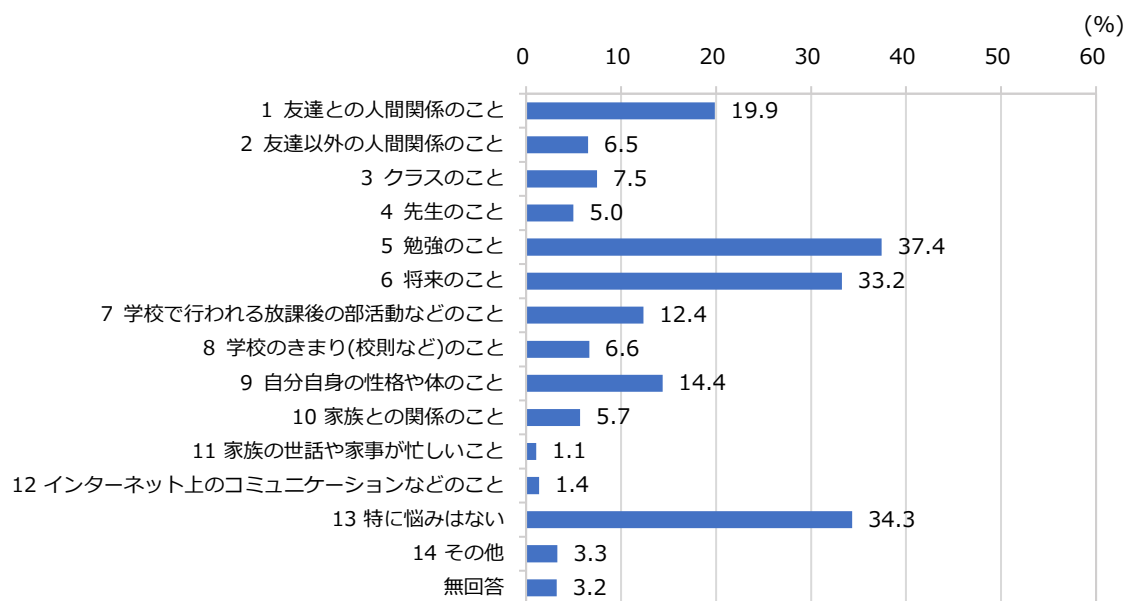


(2)中学校

中学校では、「勉強のこと」で悩む生徒が37.4%と最も割合が高い。次いで「特に悩みはない(34.3%)」「将来のこと(33.2%)」となっている。

図表 2-42 現在悩んでいること

(中学校、n=11,436)

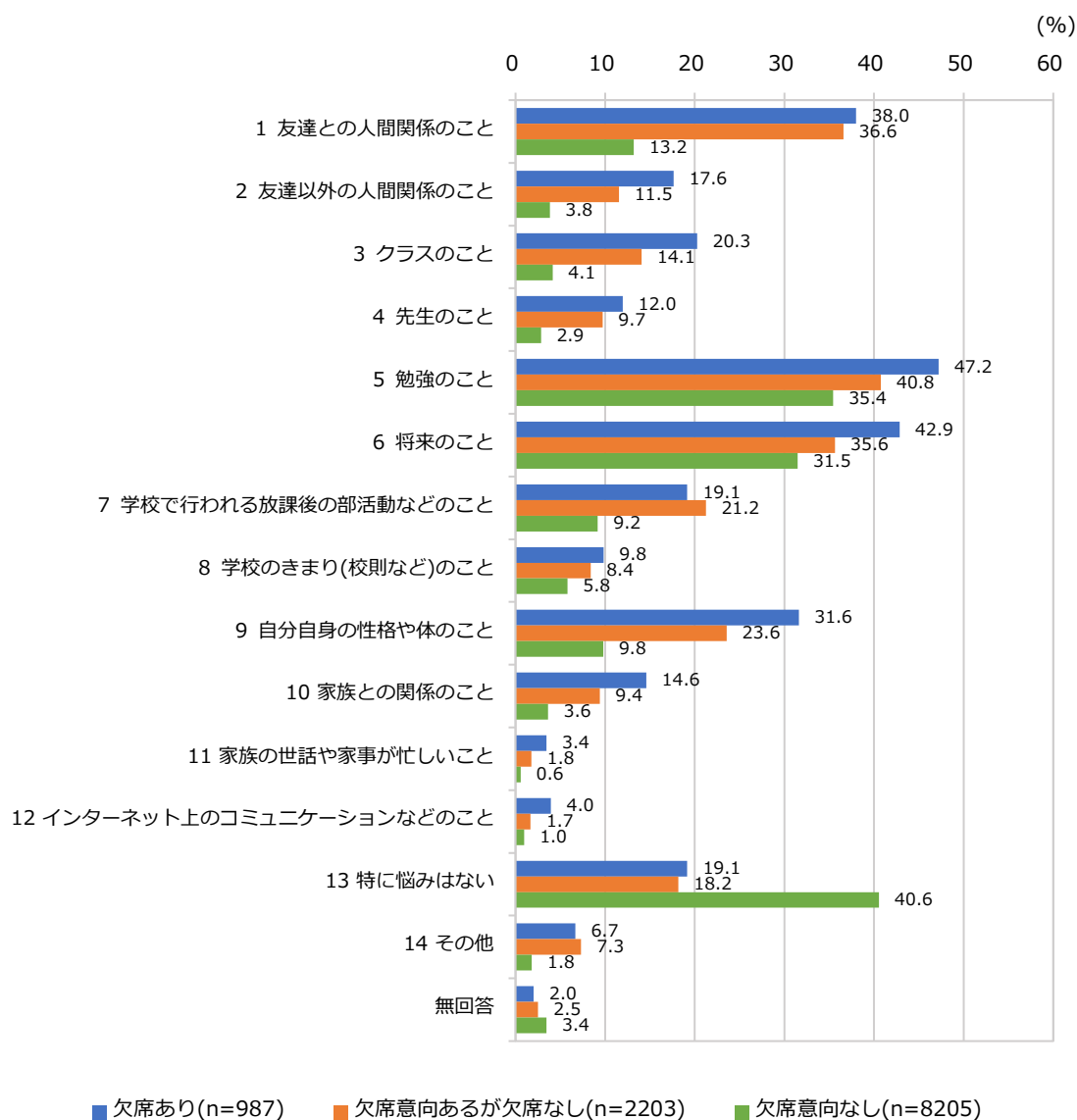


欠席傾向別にみると、中学校では、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの生徒において「勉強のこと」の割合が高く4割を超えている。また、欠席ありでは「将来のこと」も4割を超え高い。一方で、欠席意向なしの生徒は「特に悩みはない」の割合が40.6%と最も高い。

また、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの生徒は欠席意向なしの生徒と比べて「友達との人間関係のこと」「自分自身の性格や体のこと」の割合が高い。

図表 2-43 現在悩んでいること

(中学校、欠席傾向別)

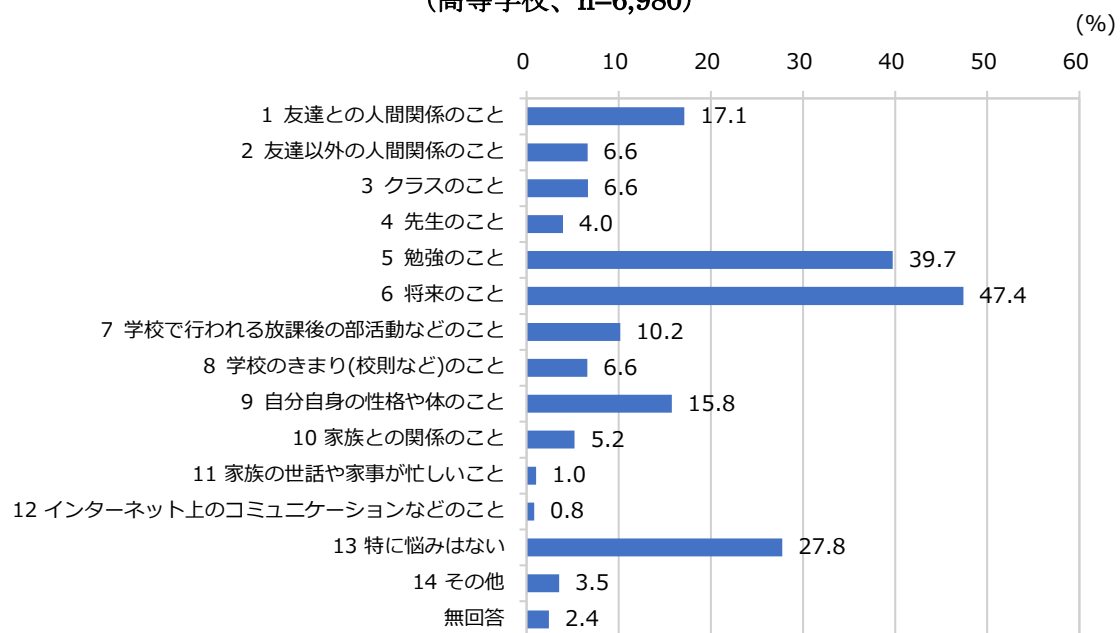


(3)高等学校

高等学校では、「将来のこと」で悩んでいると回答した生徒が約半数の47.4%と最も割合が高い。次いで「勉強のこと(39.7%)」「特に悩みはない(27.8%)」となっている。

図表 2-44 現在悩んでいること

(高等学校、n=6,980)



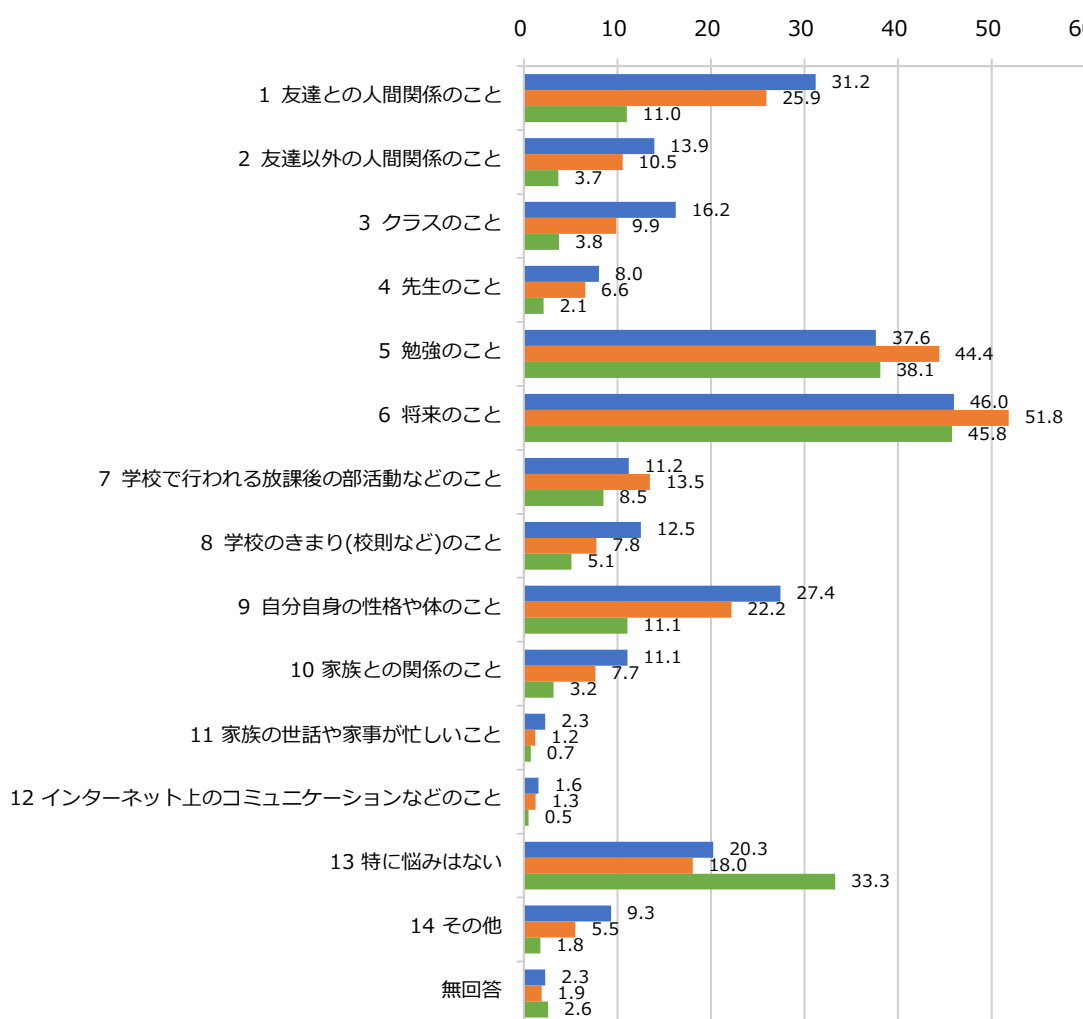
欠席傾向別にみると、高等学校では、いずれの生徒も「将来のこと」「勉強のこと」の割合が高い。この傾向は、欠席意向あるが欠席なしの生徒で顕著である。

また、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの生徒は欠席意向なしの生徒と比べて「友達との人間関係のこと」「自分自身の性格や体のこと」の割合が高く、欠席意向なしの生徒は「特に悩みはない」の割合が高い。

図表 2-45 現在悩んでいること

(高等学校、欠席傾向別)

(%)



■ 欠席あり(n=696) ■ 欠席意向あるが欠席なし(n=1906) ■ 欠席意向なし(n=4333)

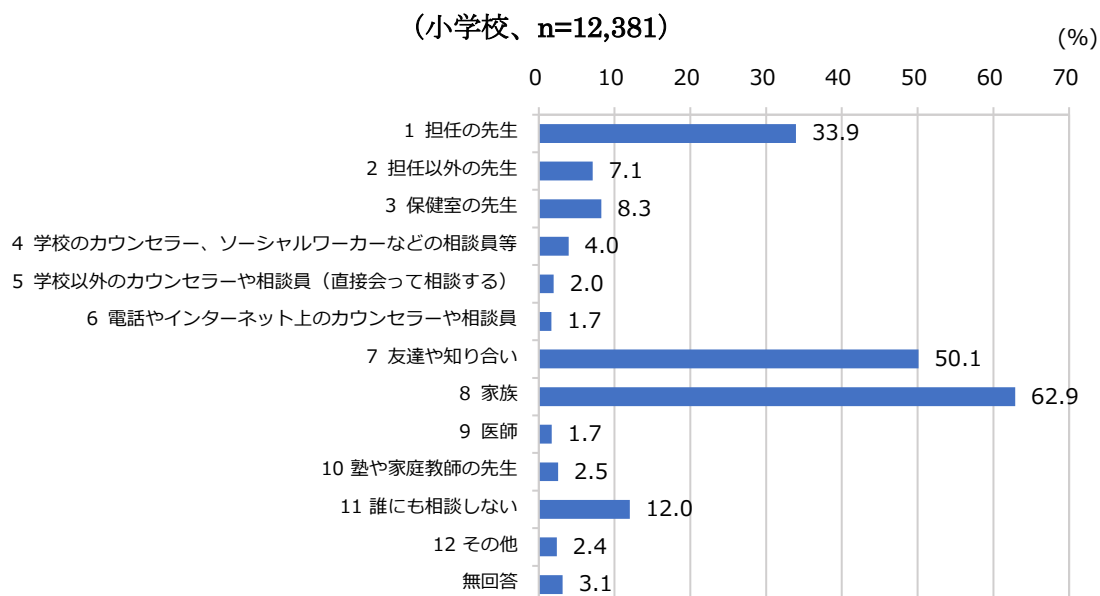
2-3-2 悩んでいるときに誰に相談したいと思うか

3(2) あなたが何かに悩(なや)んでいるときに、そのことを相談するとしたら、誰(だれ)に相談したいと思いますか。あてはまるものにすべてチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

(1)小学校

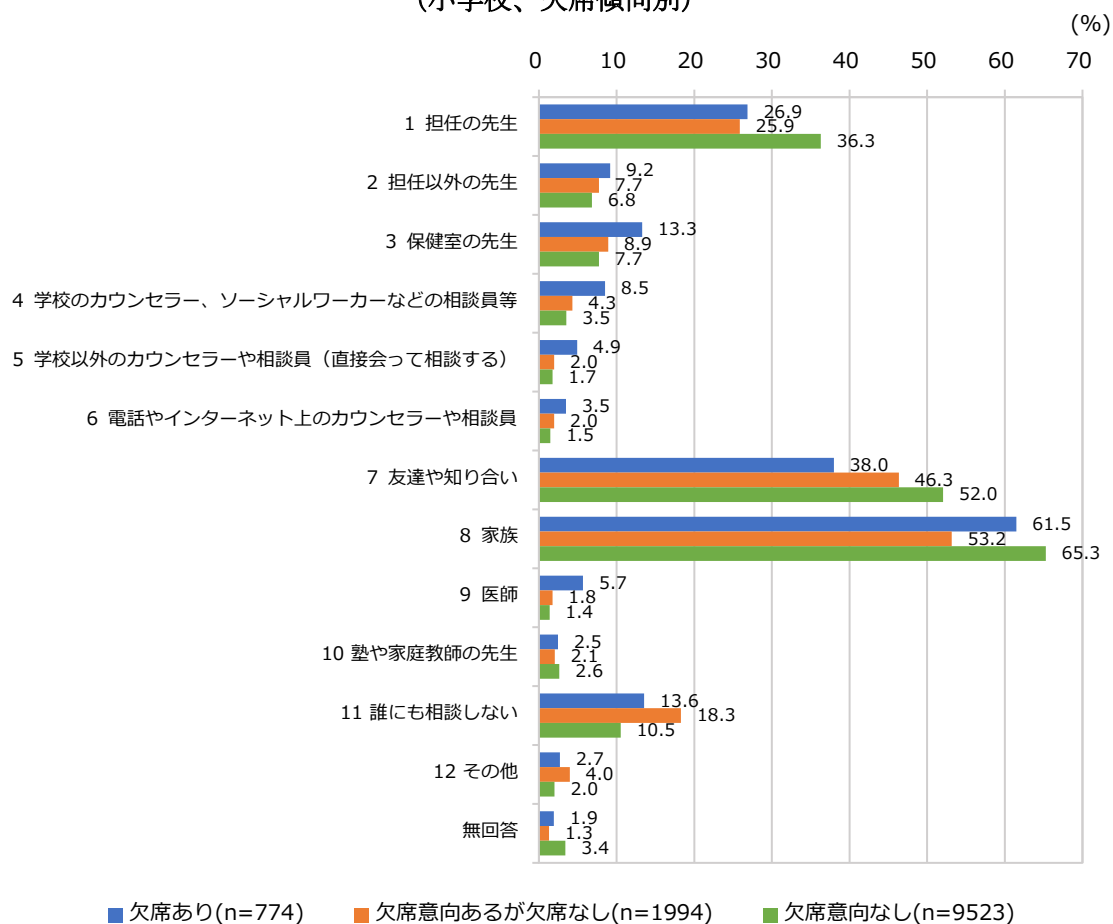
悩んでいるときに誰に相談したいと思うかについてみると、小学校では「家族」が62.9%と最も割合が高い。次いで「友達や知り合い(50.1%)」「担任の先生(33.9%)」となっている。

図表 2-46 悩んでいるときに誰に相談したいと思うか



欠席傾向別にみると、小学校では、欠席あり、欠席意向あるが欠席なし、欠席意向なしのいずれも「家族」「友達や知り合い」「担任の先生」の順番で割合が高い。

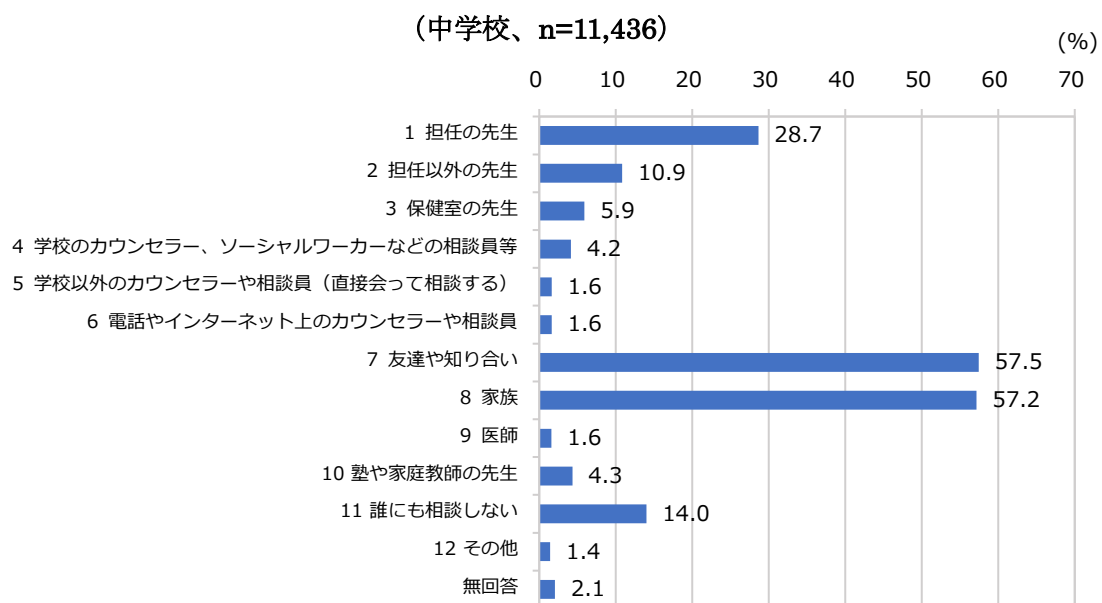
図表 2-47 悩んでいるときに誰に相談したいと思うか
(小学校、欠席傾向別)



(2)中学校

中学校では、「友達や知り合い」と「家族」がともに約6割と最も割合が高い。次いで約3割が「担任の先生」と回答している。

図表 2-48 悩んでいるときに誰に相談したいと思うか

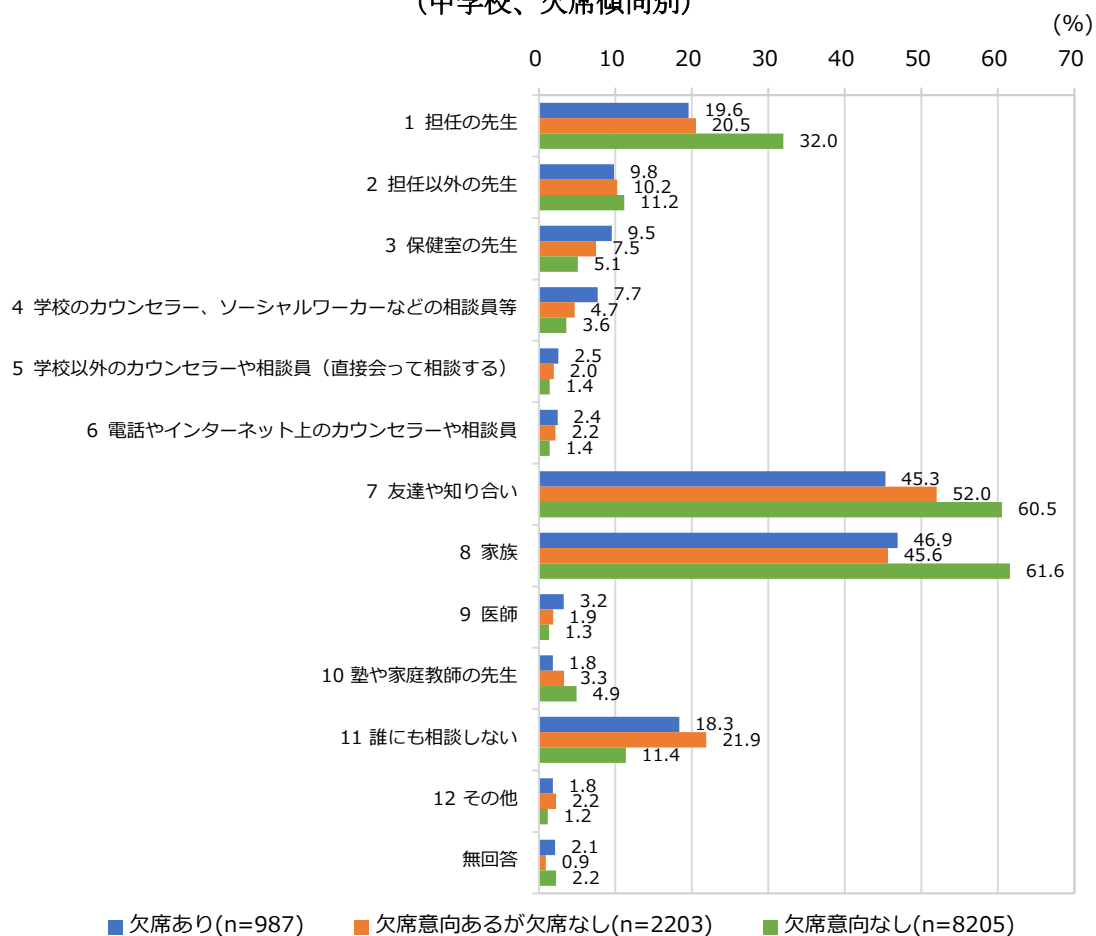


欠席傾向別でみると、中学校では、欠席あり、欠席意向あるが欠席なし、欠席意向なしのいずれも「家族」「友達や知り合い」の割合が高い。

欠席あり、欠席意向あるが欠席なしでは 2 割程度が「誰にも相談しない」と回答している。

図表 2-49 悩んでいるときに誰に相談したいと思うか

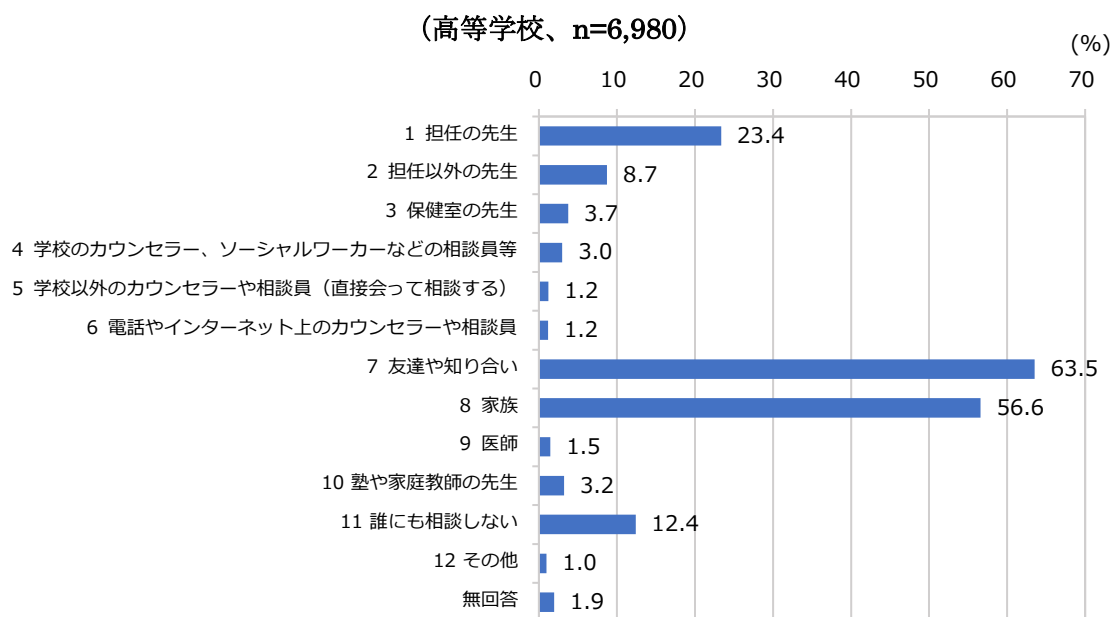
(中学校、欠席傾向別)



(3) 高等学校

高等学校でも、「友達や知り合い」と「家族」がともに約6割と最も割合が高い。次いで23.4%が「担任の先生」と回答している。

図表 2-50 悩んでいるときに誰に相談したいと思うか

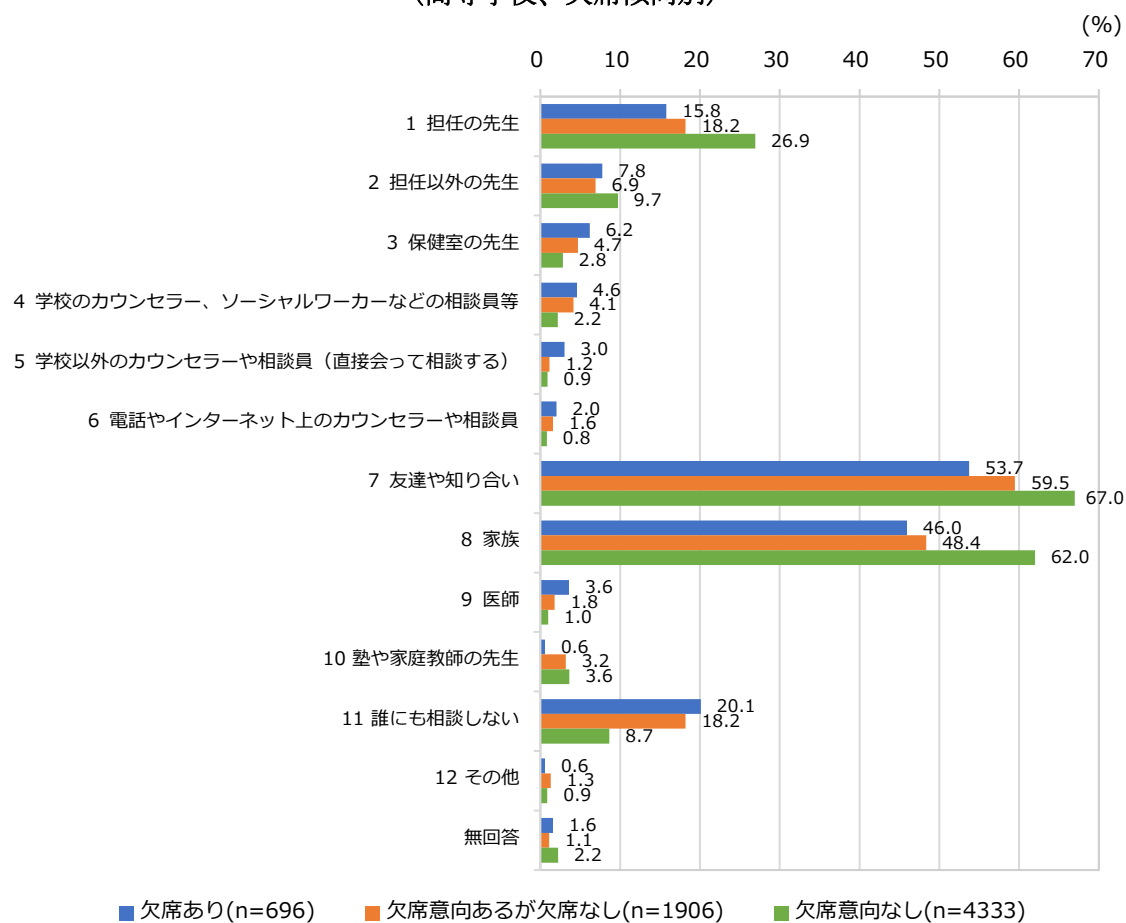


欠席傾向別でみると、欠席あり、欠席意向あるが欠席なし、欠席意向なしのいずれも「家族」「友達や知り合い」の割合が高い。

欠席あり、欠席意向あるが欠席なしでは 2 割程度が「誰にも相談しない」と回答している。

図表 2-51 悩んでいるときに誰に相談したいと思うか

(高等学校、欠席傾向別)



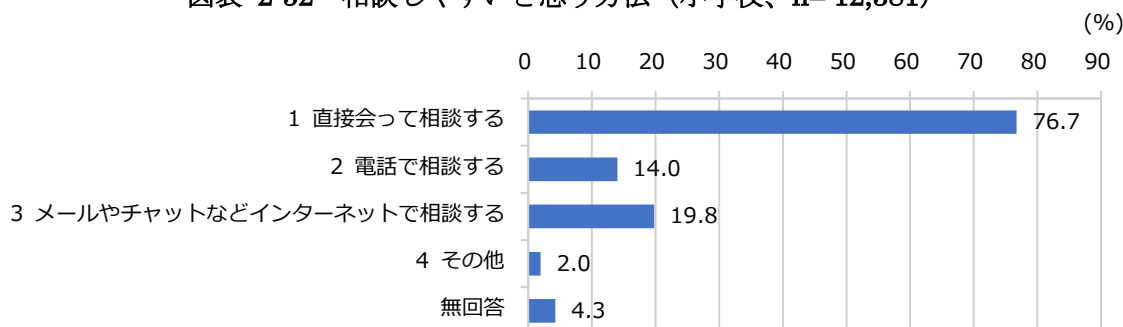
2-3-3 相談しやすいと思う方法

3(3) あなたが何かに悩（なや）んでいるときに、そのことを誰（だれ）かに相談するとしたら、相談しやすい方法は何だと思いますか。あてはまるものにすべてチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

(1) 小学校

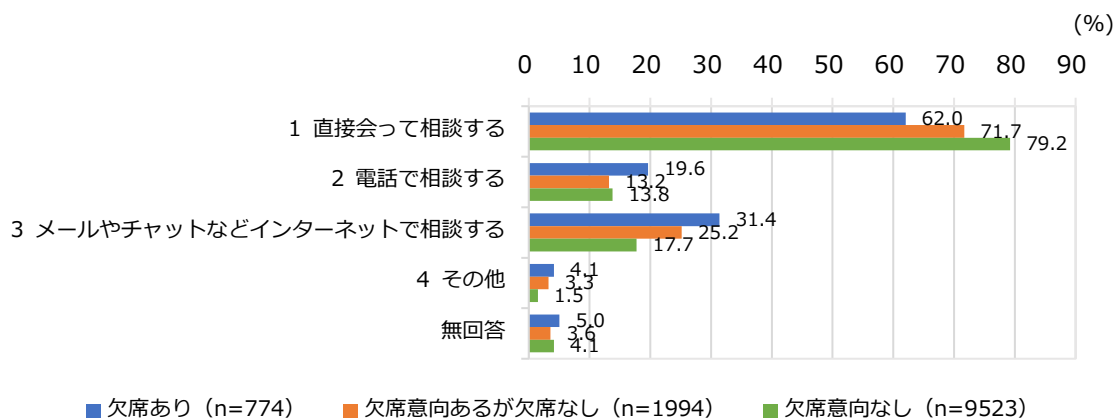
悩んでいるときどんな方法が相談しやすいと思うかについてみると、小学校では「直接会って相談する」が 76.7%と最も割合が高い。次いで「メールやチャットなどインターネットで相談する（19.8%）」、「電話で相談する（14.0%）」となっている。

図表 2-52 相談しやすいと思う方法（小学校、n=12,381）



欠席傾向別にみると、小学校では、「直接会って相談する」については欠席意向なしの児童が 79.2%であるのに対し、欠席ありの児童生徒では 62.0%と差がある。同様に、「メールやチャットなどインターネットで相談する」についても欠席意向なしの児童生徒が 17.7%であるのに対し、欠席ありの児童生徒では 31.4%と差がある。

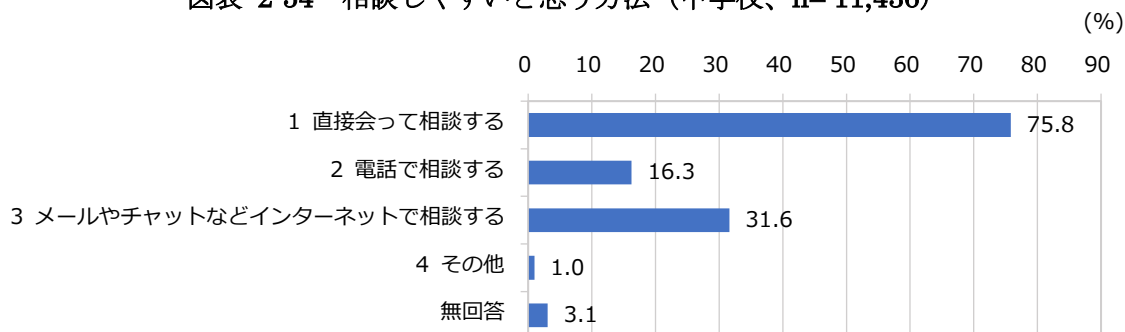
図表 2-53 相談しやすいと思う方法（小学校、欠席意向別）



(2)中学校

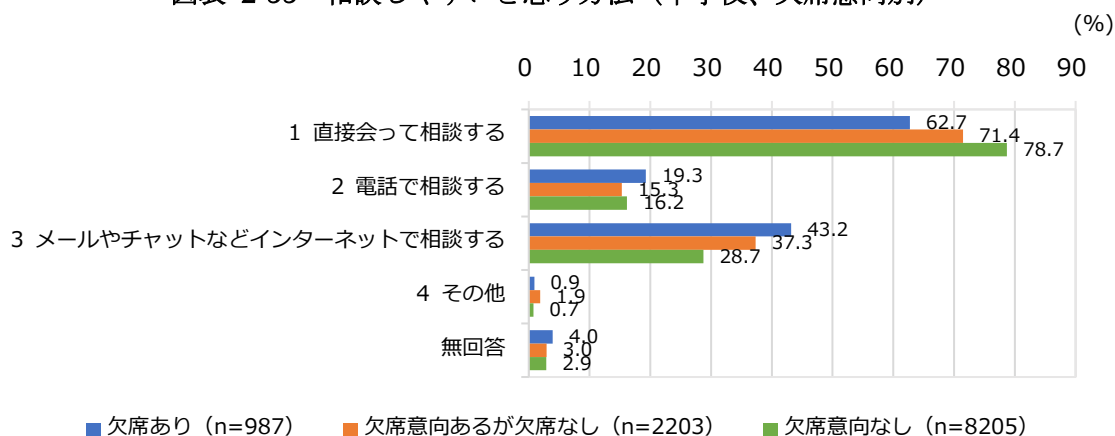
中学校でも「直接会って相談する」が75.8%と最も割合が高い。次いで「メールやチャットなどインターネットで相談する(31.6%)」、「電話で相談する(16.3%)」となっている。

図表 2-54 相談しやすいと思う方法（中学校、n=11,436）



欠席傾向別にみると、中学校では、「直接会って相談する」については欠席意向なしの生徒が78.7%であるのに対し、欠席ありの生徒では62.7%と差がある。同様に、「メールやチャットなどインターネットで相談する」についても欠席意向なしの生徒が28.7%であるのに対し、欠席ありの生徒では43.2%と差がある。

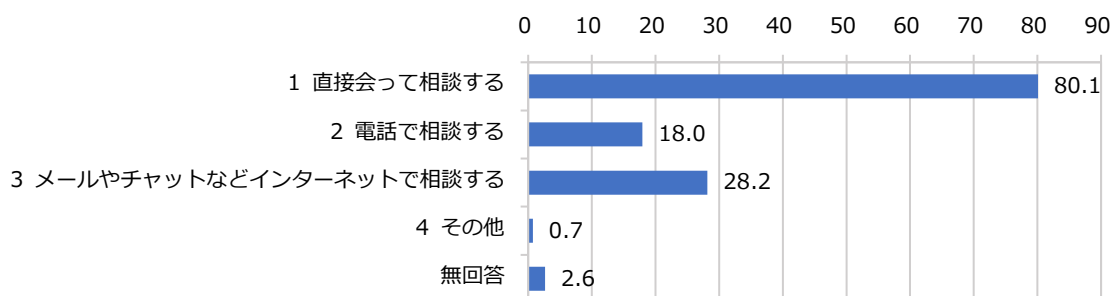
図表 2-55 相談しやすいと思う方法（中学校、欠席意向別）



(3)高等学校

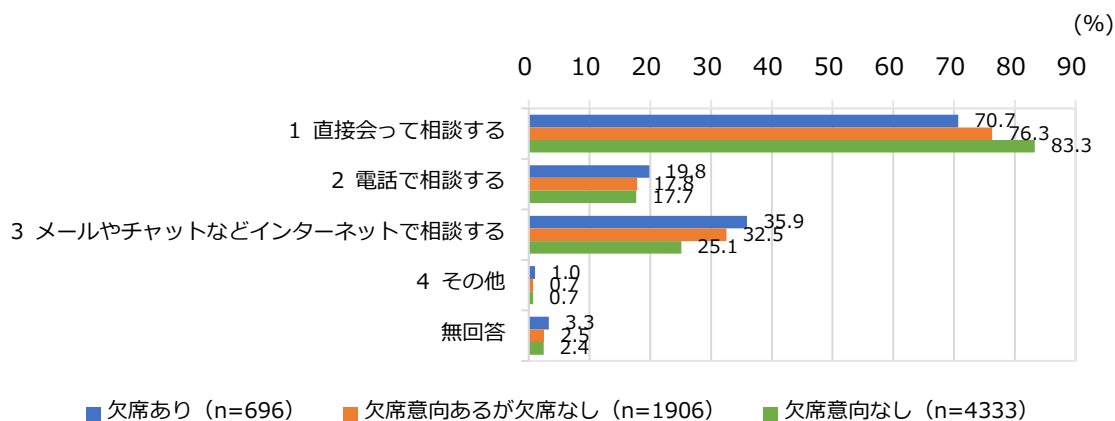
高等学校でも「直接会って相談する」が80.1%と最も割合が高い。次いで「メールやチャットなどインターネットで相談する(28.2%)」、「電話で相談する(18.0%)」となっている。

図表 2-56 相談しやすいと思う方法 (高等学校、n=6,980) (%)



欠席傾向別にみると、高等学校では、「直接会って相談する」については欠席意向なしの生徒が83.3%であるのに対し、欠席ありの生徒では70.7%と差がある。同様に、「メールやチャットなどインターネットで相談する」についても欠席意向なしの生徒が25.1%であるのに対し、欠席ありの生徒では35.9%と差がある。

図表 2-57 相談しやすいと思う方法 (高等学校)



2-3-4 学校生活に対する気持ち

3(4) 現在の学校生活について、あなたの気持ちに一番近いものを教えてください。

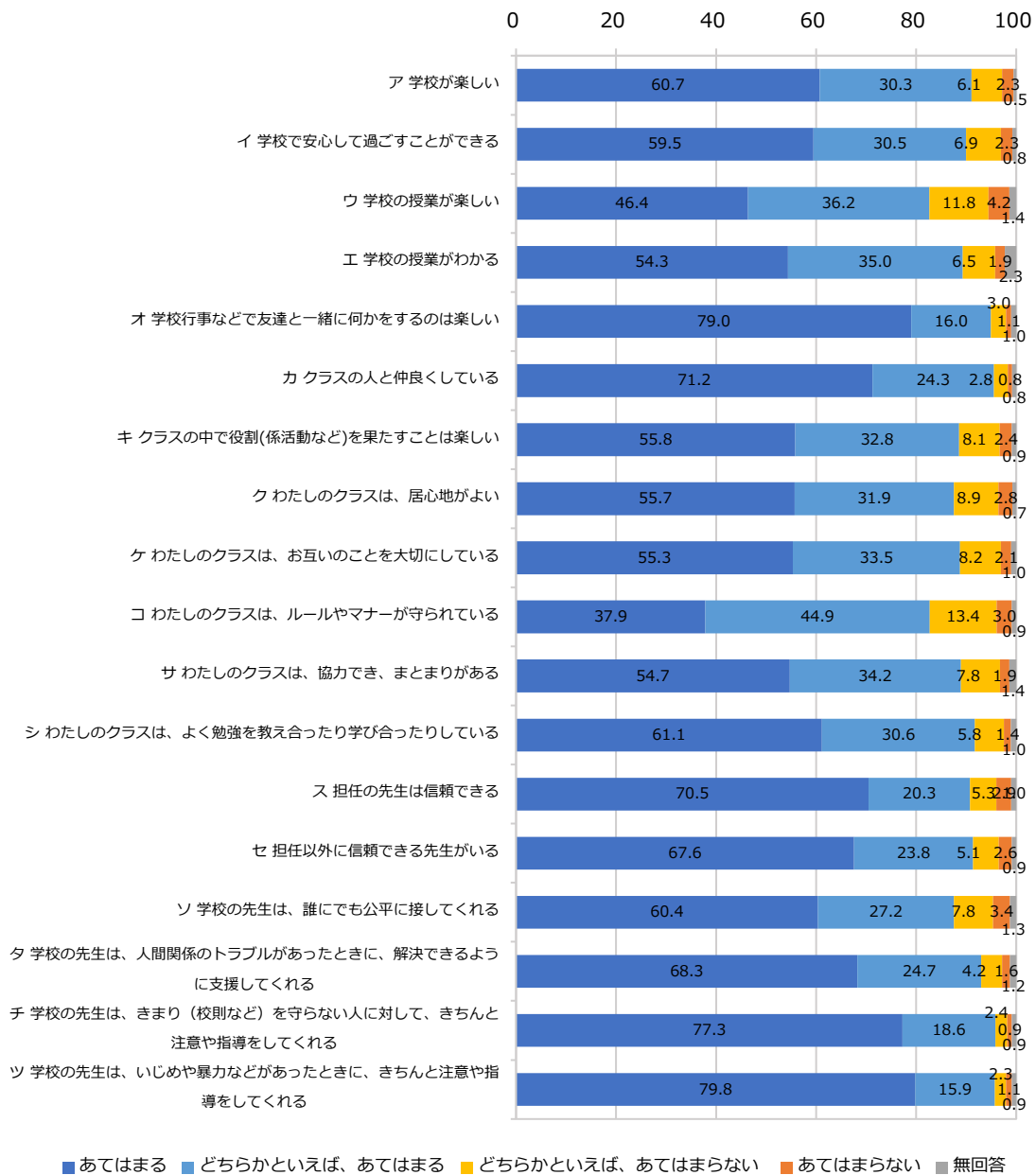
(1) 小学校

現在の学校生活に対する気持ちについてみると、小学校では、95%以上の児童が、「学校の先生は、きまりを守らない人に対して、きちんと注意や指導してくれる」「学校の先生は、いじめや暴力などがあったときに、きちんと注意や指導してくれる」「学校行事などで友達と一緒に何かをするのは楽しい」「クラスの人と仲良くしている」と回答している。

図表 2-58 学校生活に対する気持ち

(小学校、n= 12,381)

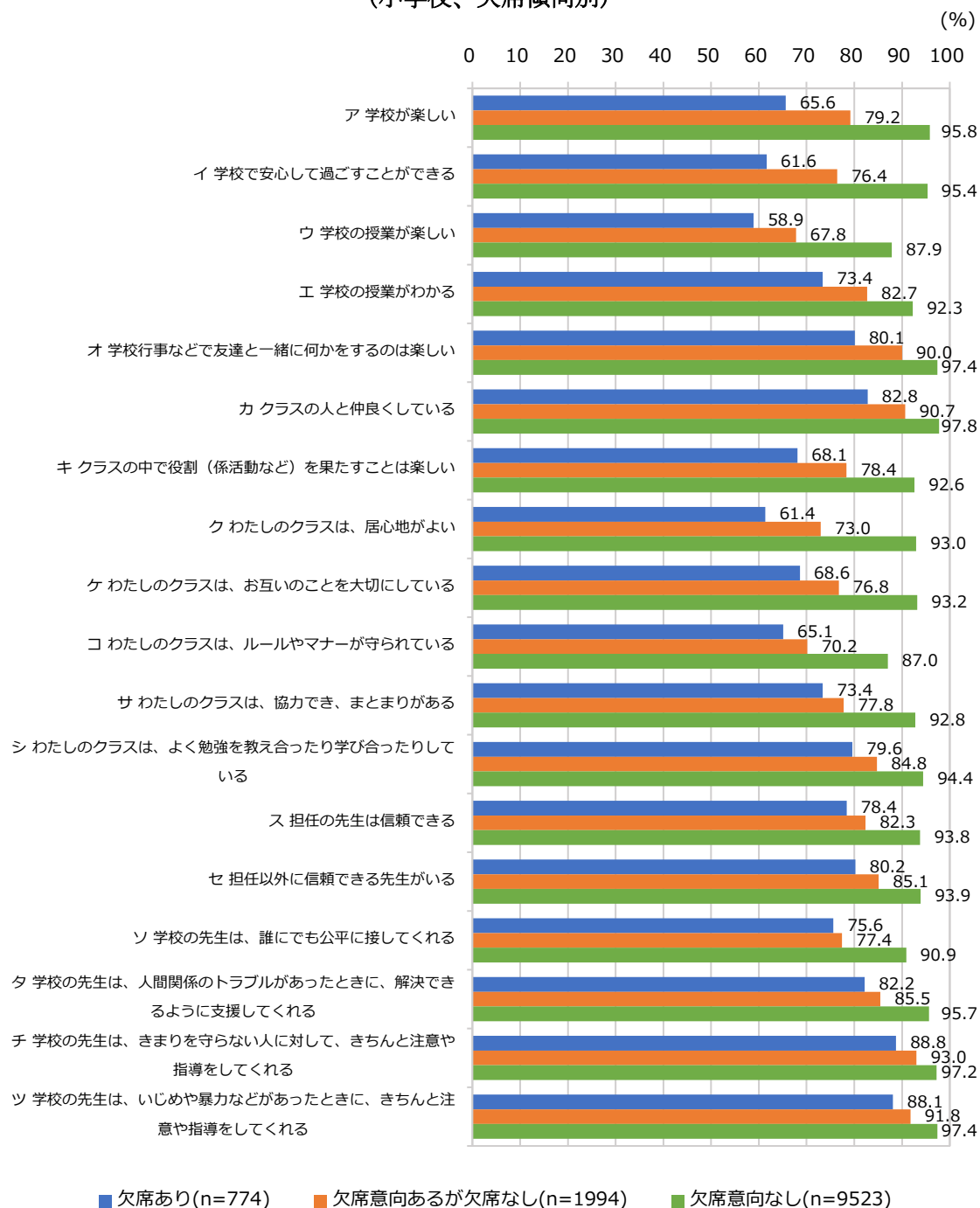
(%)



欠席傾向別にみると、小学校では、いずれの項目も欠席意向なしの児童の方が、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの児童と比べて、あてはまる(「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」)と回答した割合が高い。特に、「学校で安心して過ごすことができる」「学校が楽しい」「わたしのクラスは、居心地がよい」について、欠席意向なしと欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの差が大きい。

図表 2-59 学校生活に対する気持ち (あてはまる・計)

(小学校、欠席傾向別)

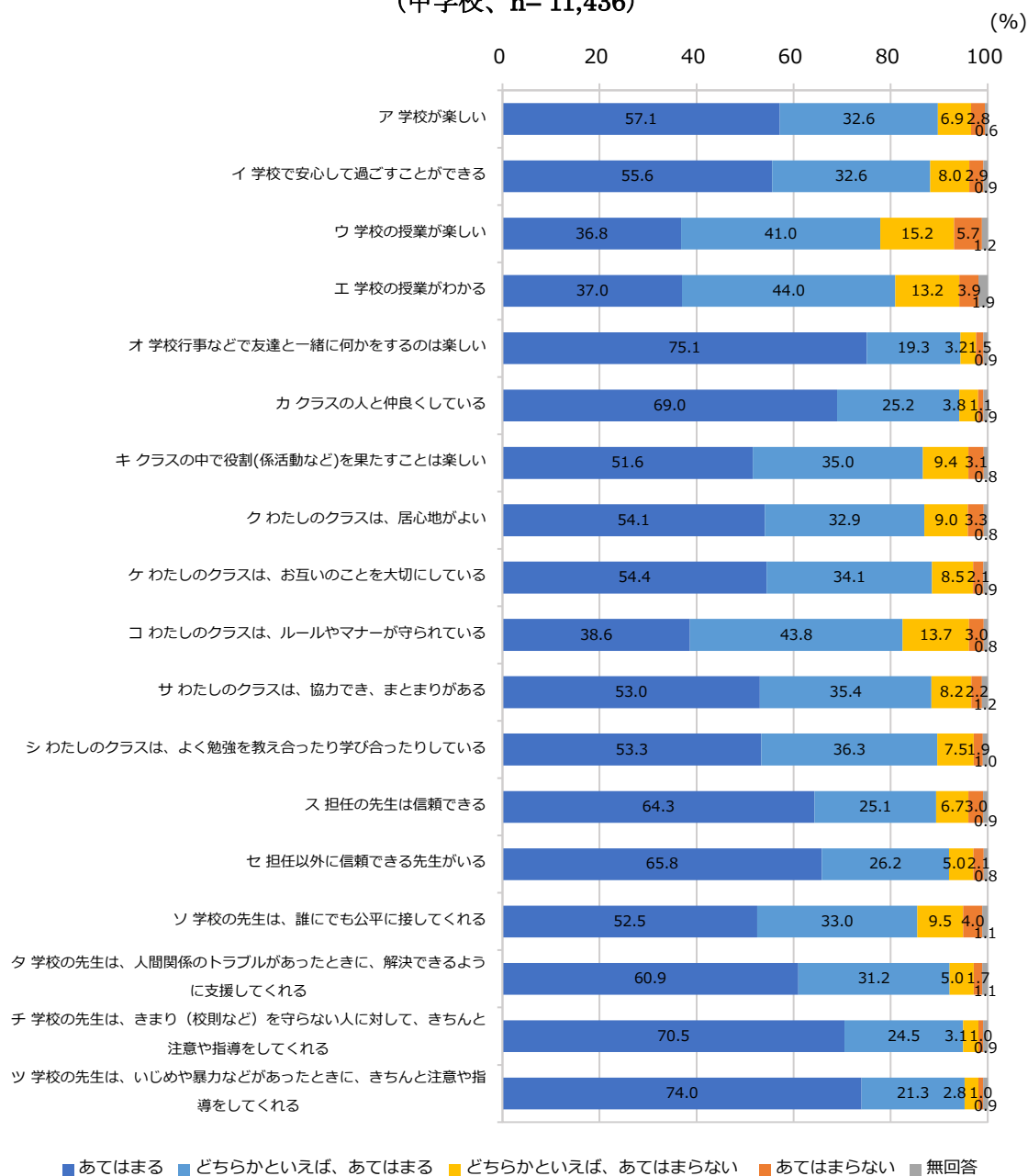


(2) 中学校

現在の学校生活に対する気持ちについてみると、中学校では、95%以上の生徒が、「学校の先生は、きまりを守らない人に対して、きちんと注意や指導をしてくれる」「学校の先生は、いじめや暴力などがあつたときに、きちんと注意や指導をしてくれる」と回答しており、続いて「学校行事などで友達と一緒に何かをするのは楽しい」「クラスの人と仲良くしている」の割合も高い。

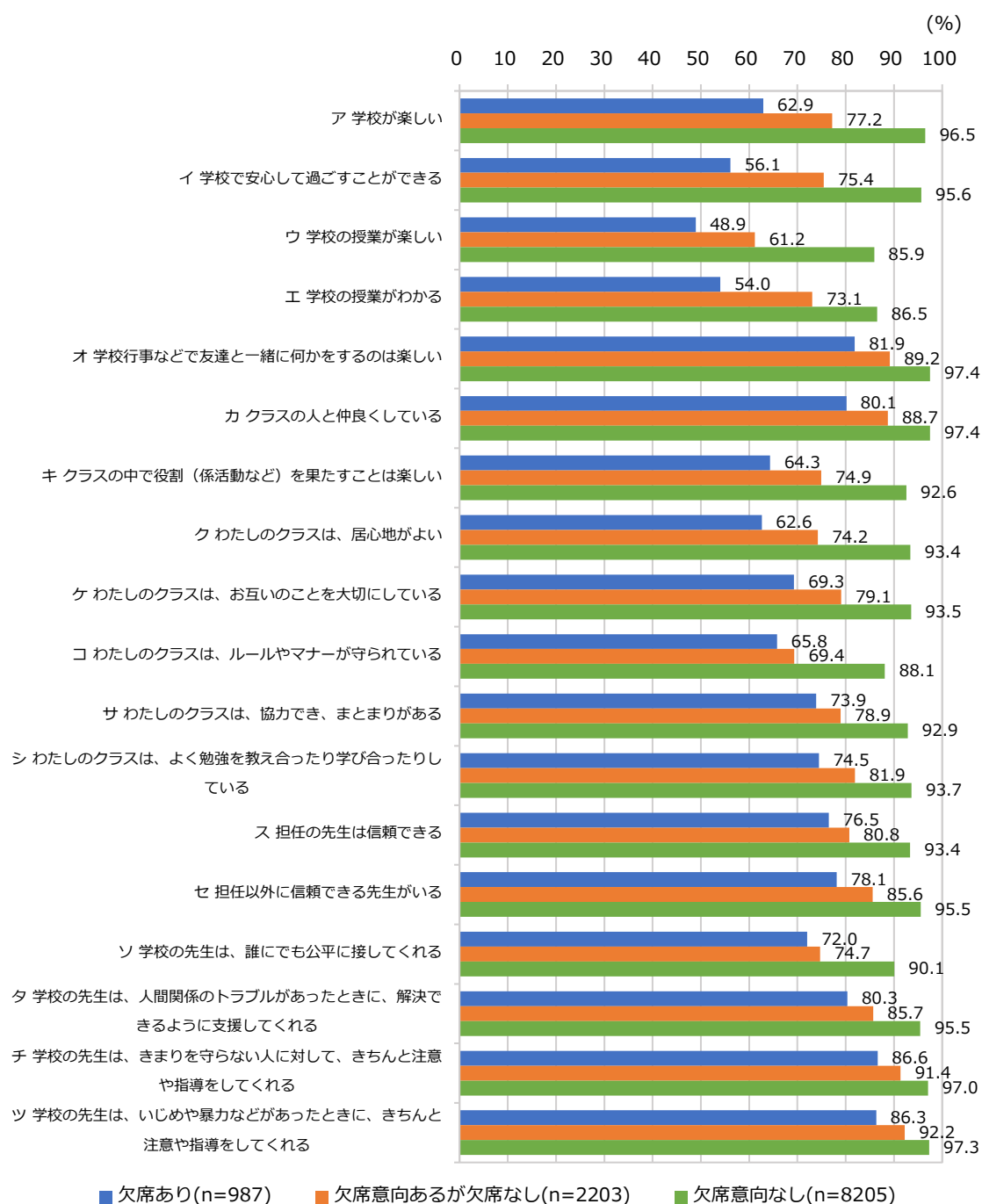
図表 2-60 学校生活に対する気持ち

(中学校、n= 11,436)



欠席傾向別にみると、中学校では、いずれの項目も欠席意向なしの生徒の方が、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの生徒と比べて、あてはまる（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）と回答した割合が高い。特に、「学校で安心して過ごすことができる」「学校が楽しい」「わたしのクラスは、居心地がよい」について、欠席意向なしと欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの差が大きい。

図表 2-61 学校生活に対する気持ち（あてはまる・計）
（中学校、欠席傾向別）

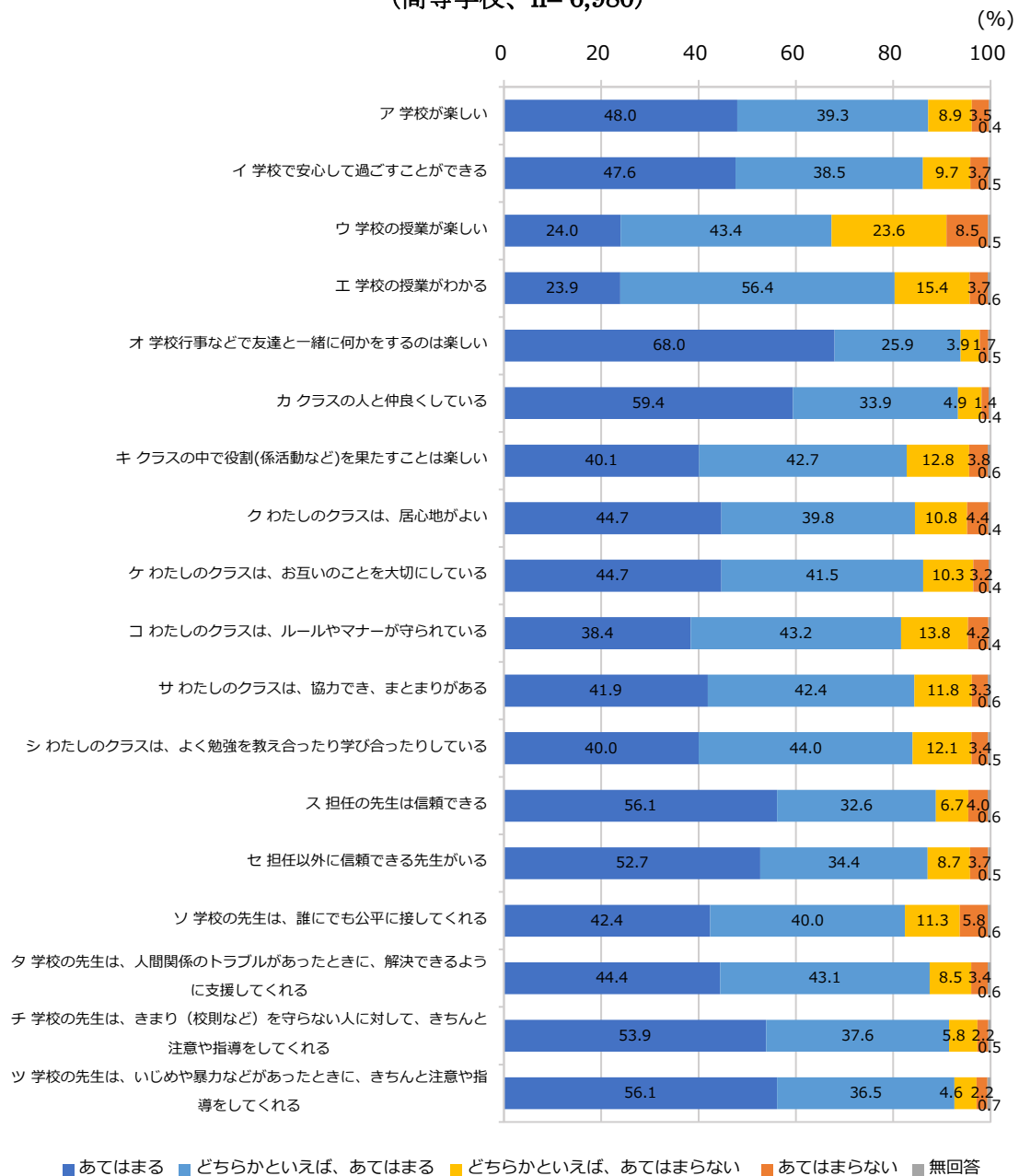


(3) 高等学校

現在の学校生活に対する気持ちについてみると、高等学校では、9割以上の生徒が、「学校の先生は、きまりを守らない人に対して、きちんと注意や指導してくれる」「学校の先生は、いじめや暴力などがあったときに、きちんと注意や指導してくれる」「学校行事などで友達と一緒に何かをするのは楽しい」「クラスの人と仲良くしている」と回答している。

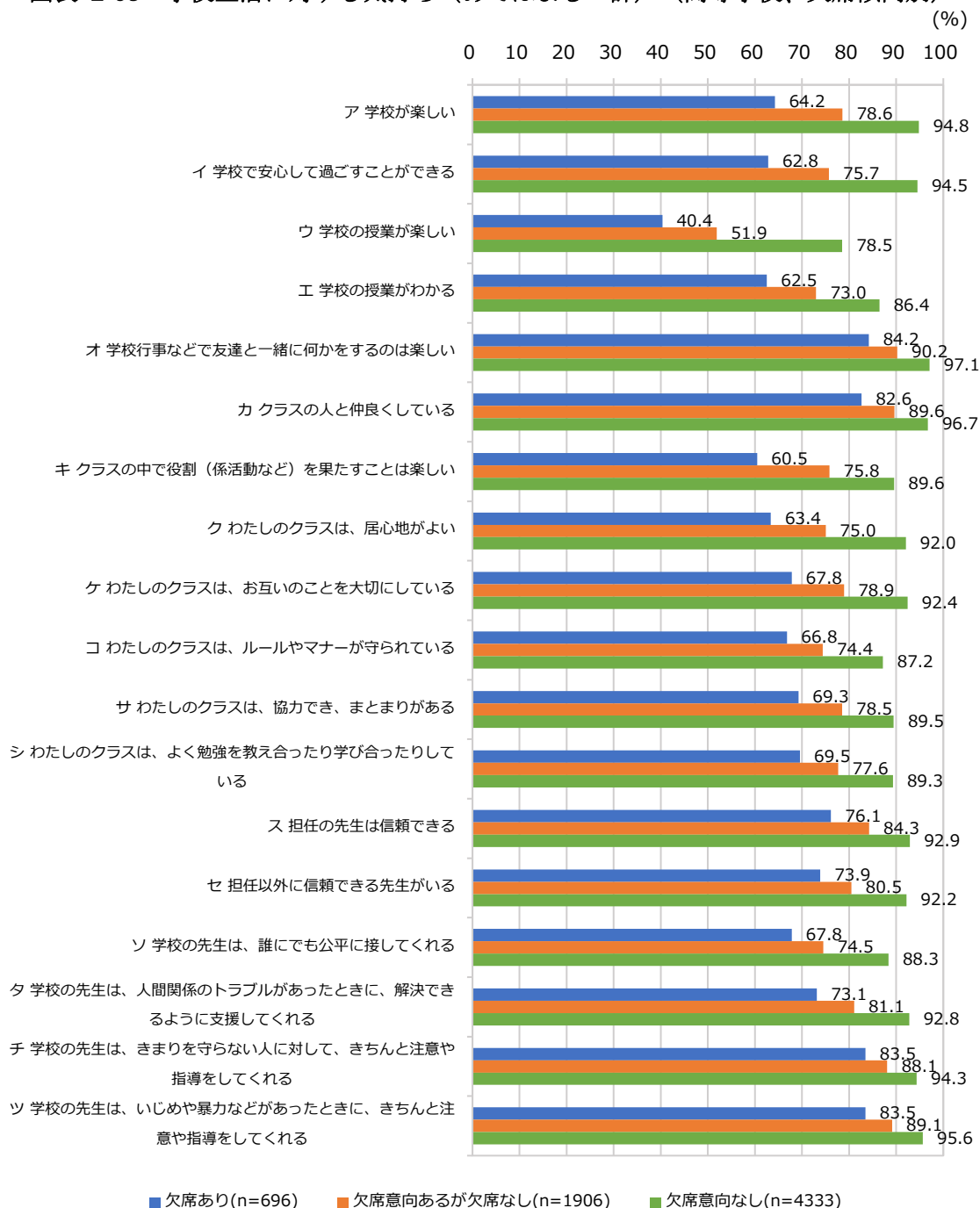
図表 2-62 学校生活に対する気持ち

(高等学校、n=6,980)



欠席傾向別にみると、高等学校校では、いずれの項目も欠席意向なしの生徒の方が、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの生徒と比べて、あてはまる（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）と回答した割合が高い。特に、「学校で安心して過ごすことができる」「学校が楽しい」「わたしのクラスは、居心地がよい」「学校の授業が楽しい」について、欠席意向なしと欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの差が大きい。

図表 2-63 学校生活に対する気持ち（あてはまる・計）（高等学校、欠席傾向別）



2-3-5 学校生活で安心できると感じる状況

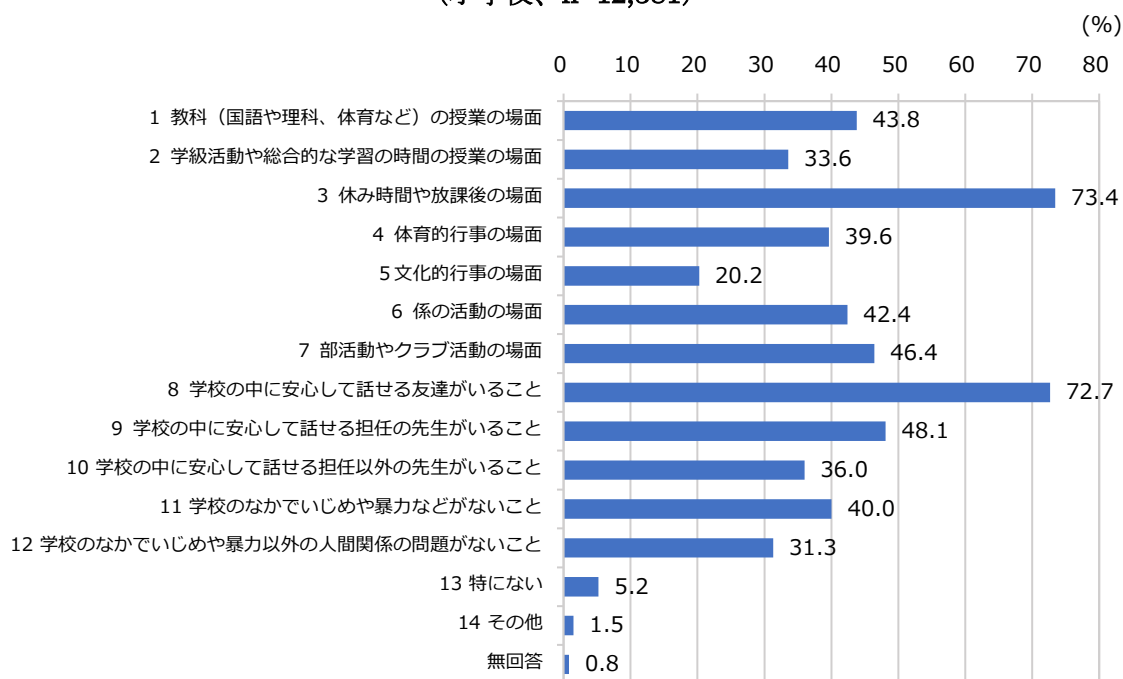
3(5) あなたが学校生活で「安心できる」と感じるのは、どのようなことですか。あてはまるものすべてにチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

(1) 小学校

学校生活で「安心できる」と感じる場面や状況についてみると、小学校では「休み時間や放課後の場面」が 73.4%と最も割合が高く、次いで「学校の中に安心して話せる友達がいること」が 72.7%となっている。「学校の中に安心して話せる担任の先生がいること (48.1%)」「部活動やクラブ活動の場面 (46.4%)」が続く。

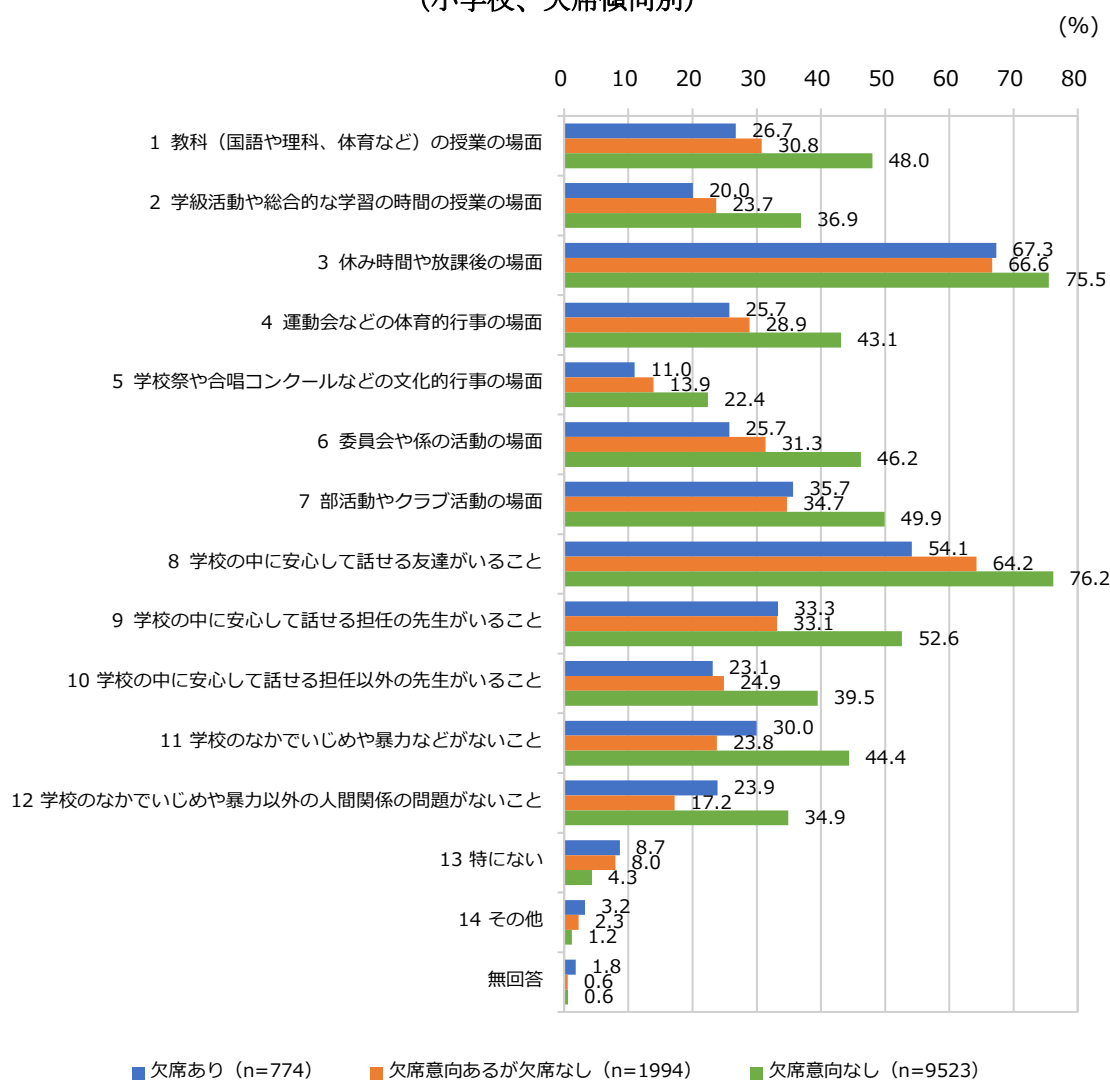
図表 2-64 学校生活で安心できると感じる状況

(小学校、n=12,381)



欠席傾向別にみると、小学校では、欠席意向なしの児童は、すべての場面や状況において安心できると感じている割合が、欠席ありおよび欠席意向あるが欠席なしの児童に比べて高い。特に「学校の中に安心して話せる担任の先生がいること」「教科の授業の場面」で欠席傾向別による差が大きい。

図表 2-65 学校生活で安心できると感じる状況
(小学校、欠席傾向別)

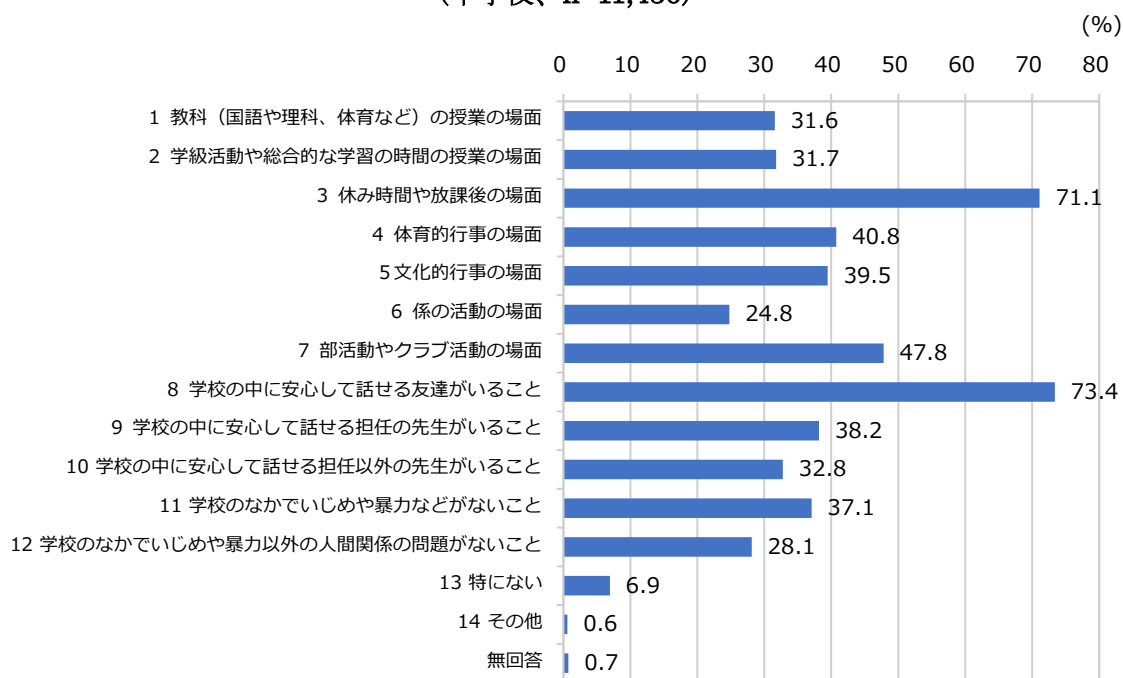


(2)中学校

中学校では「学校の中に安心して話せる友達がいること」が73.4%と最も割合が高く、次いで「休み時間や放課後の場面」が71.1%となっている。「部活動やクラブ活動の場面(47.8%)」「体育的行事の場面(40.8%)」が続く。

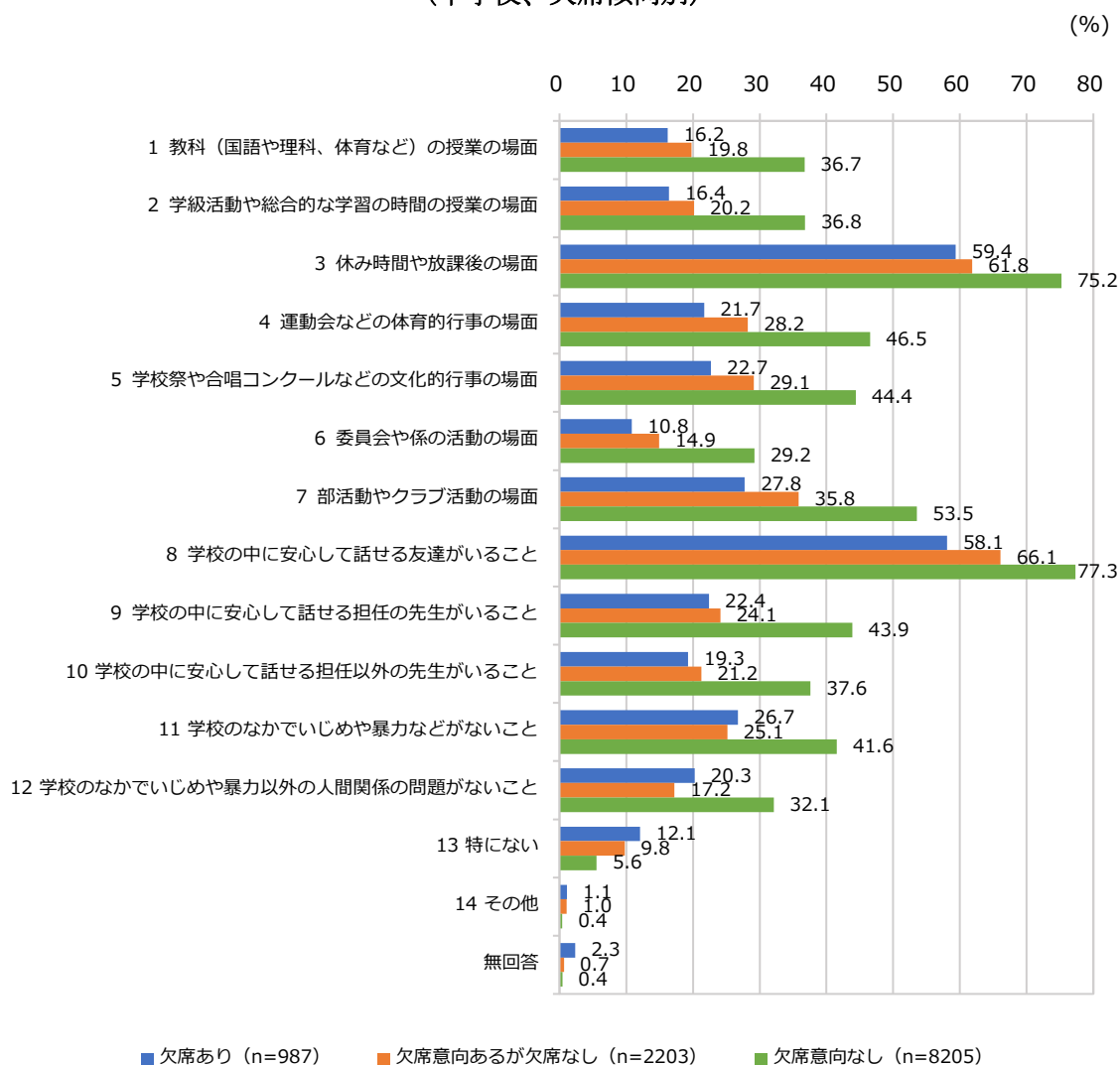
図表 2-66 学校生活で安心できると感じる状況

(中学校、n=11,436)



欠席傾向別にみると、中学校では、欠席意向なしの生徒は、すべての場面や状況において安心できると感じている割合が、欠席ありおよび欠席意向あるが欠席なしの生徒に比べて高い。特に「学校の中に安心して話せる担任の先生がいること」「運動会などの体育的行事の場面」「部活動やクラブ活動の場面」で欠席傾向別による差が大きい。

図表 2-67 学校生活で安心できると感じる状況
(中学校、欠席傾向別)

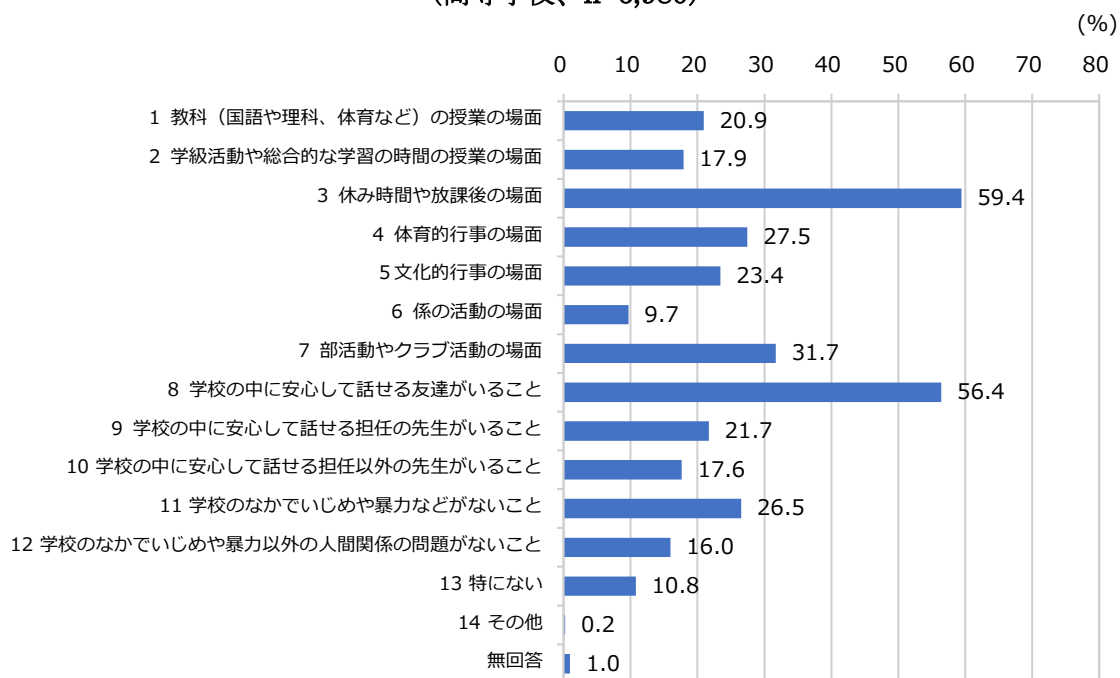


(3)高等学校

高等学校では「休み時間や放課後の場面」が59.4%と最も割合が高く、次いで「学校の中に安心して話せる友達がいること」が56.4%となっている。「部活動やクラブ活動の場面(31.7%)」「体育的行事の場面(27.5%)」が続く。

図表 2-68 学校生活で安心できると感じる状況

(高等学校、n=6,980)

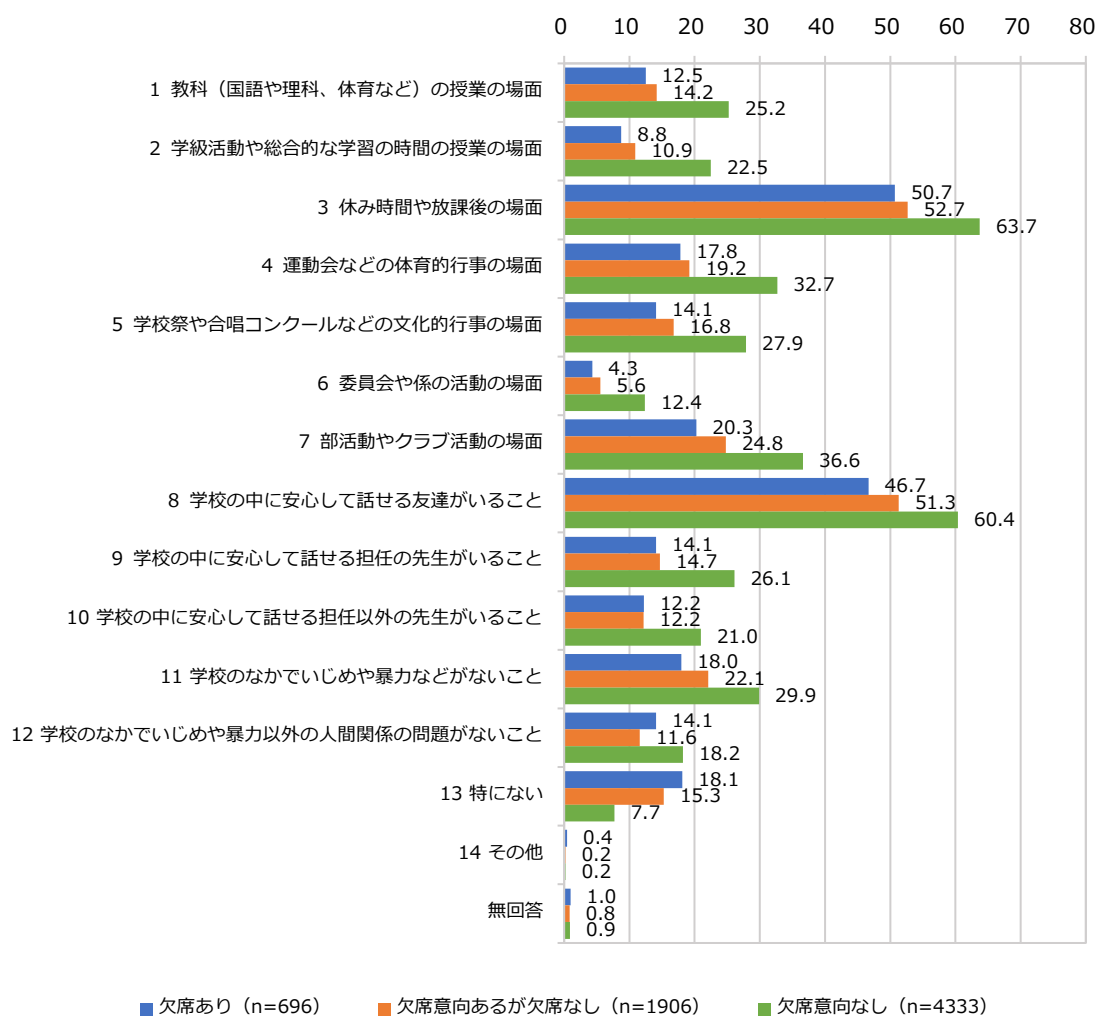


欠席傾向別にみると、高等学校では、欠席意向なしの生徒は、すべての場面や状況において安心できると感じている割合が、欠席ありおよび欠席意向あるが欠席なしの生徒に比べて高い。特に「運動会などの体育的行事の場面」で欠席傾向別による差が大きい。

図表 2-69 学校生活で安心できると感じる状況

(高等学校、欠席傾向別)

(%)



2-3-6 学校や先生に期待すること

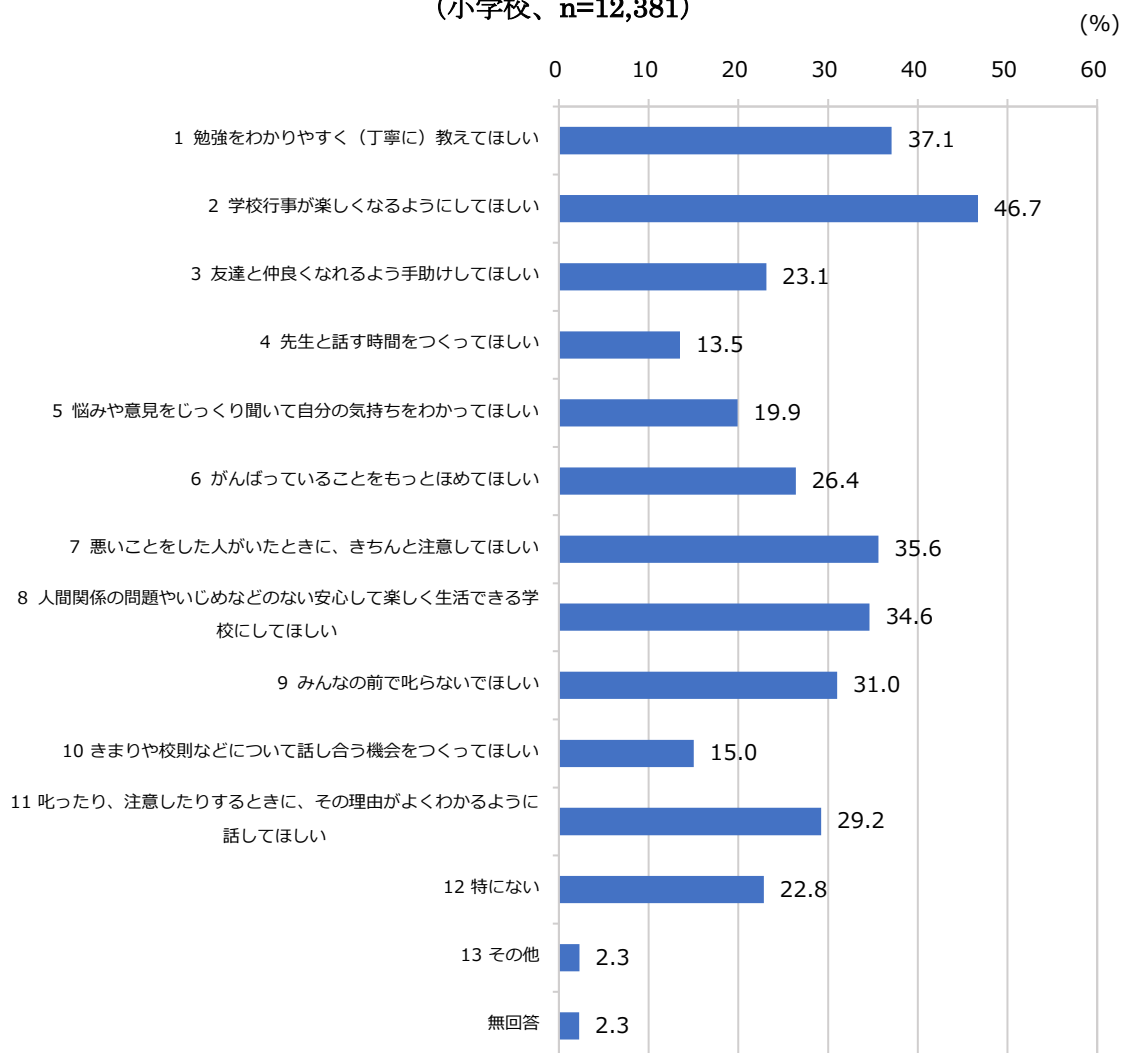
3(6) あなたにとって学校が安心して学び生活できる場所になるために、学校や先生にどのようなことを期待しますか。あてはまるものにすべてチェックをつけてください。「その他」にチェックをつけた場合は、具体的に入力してください。

(1) 小学校

学校が安心して学び生活できる場所になるために、学校や先生にどのようなことを期待するかについてみると、小学校では、いずれの児童でも「学校行事が楽しくなるようにしてほしい」の割合が高い。

図表 2-70 学校や先生に期待すること

(小学校、n=12,381)

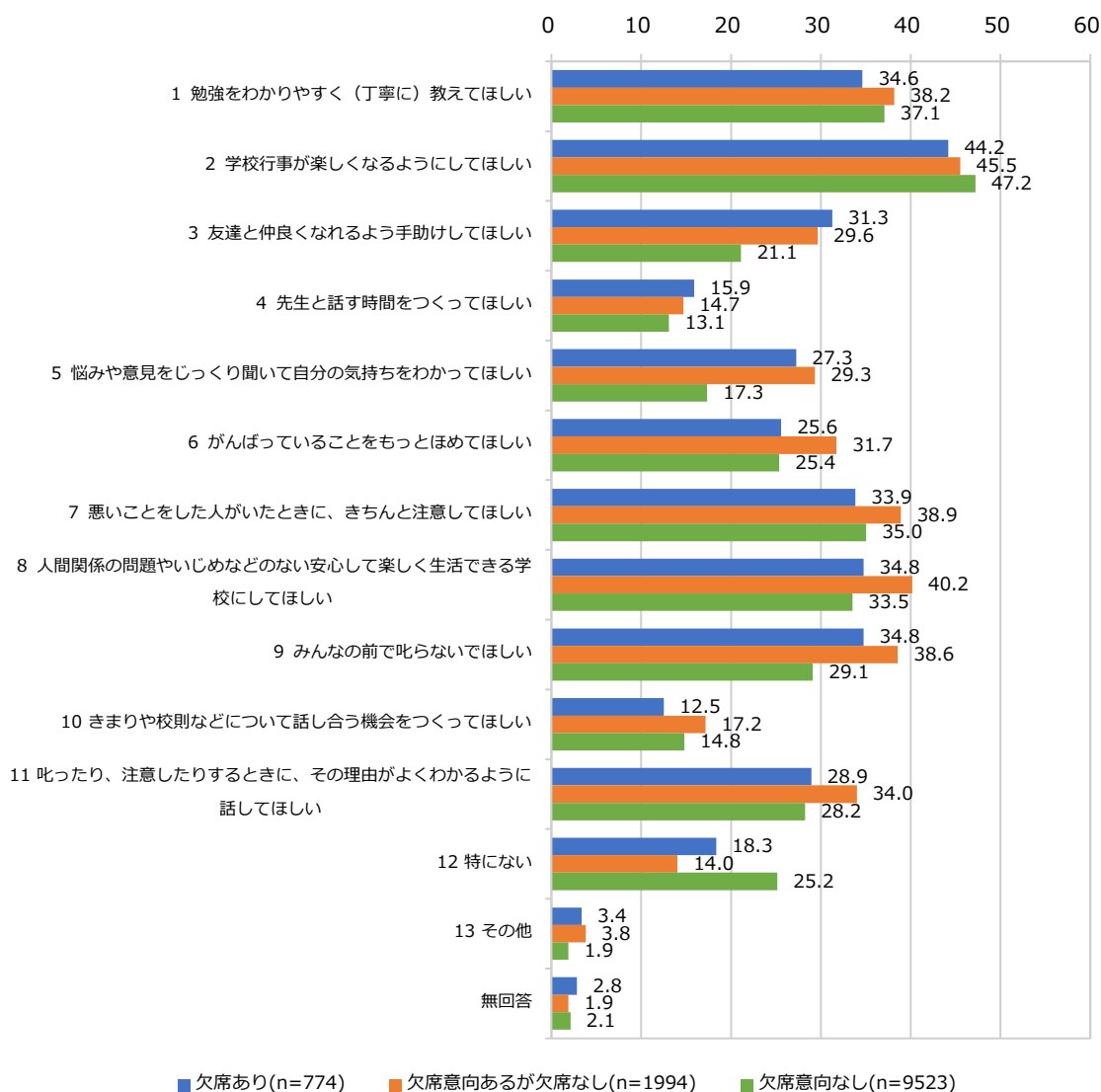


欠席傾向別にみると、欠席意向あるが欠席なしの児童は「人間関係の問題やいじめなどのない安心して楽しく生活できる学校にしてほしい」「悪いことをした人がいたときに、きちんと注意してほしい」「みんなの前で叱らないでほしい」「叱ったり、注意したりするときに、その理由がよくわかるように話してほしい」等の割合が他と比べて高い。

図表 2-71 学校や先生に期待すること

(小学校、欠席傾向別)

(%)

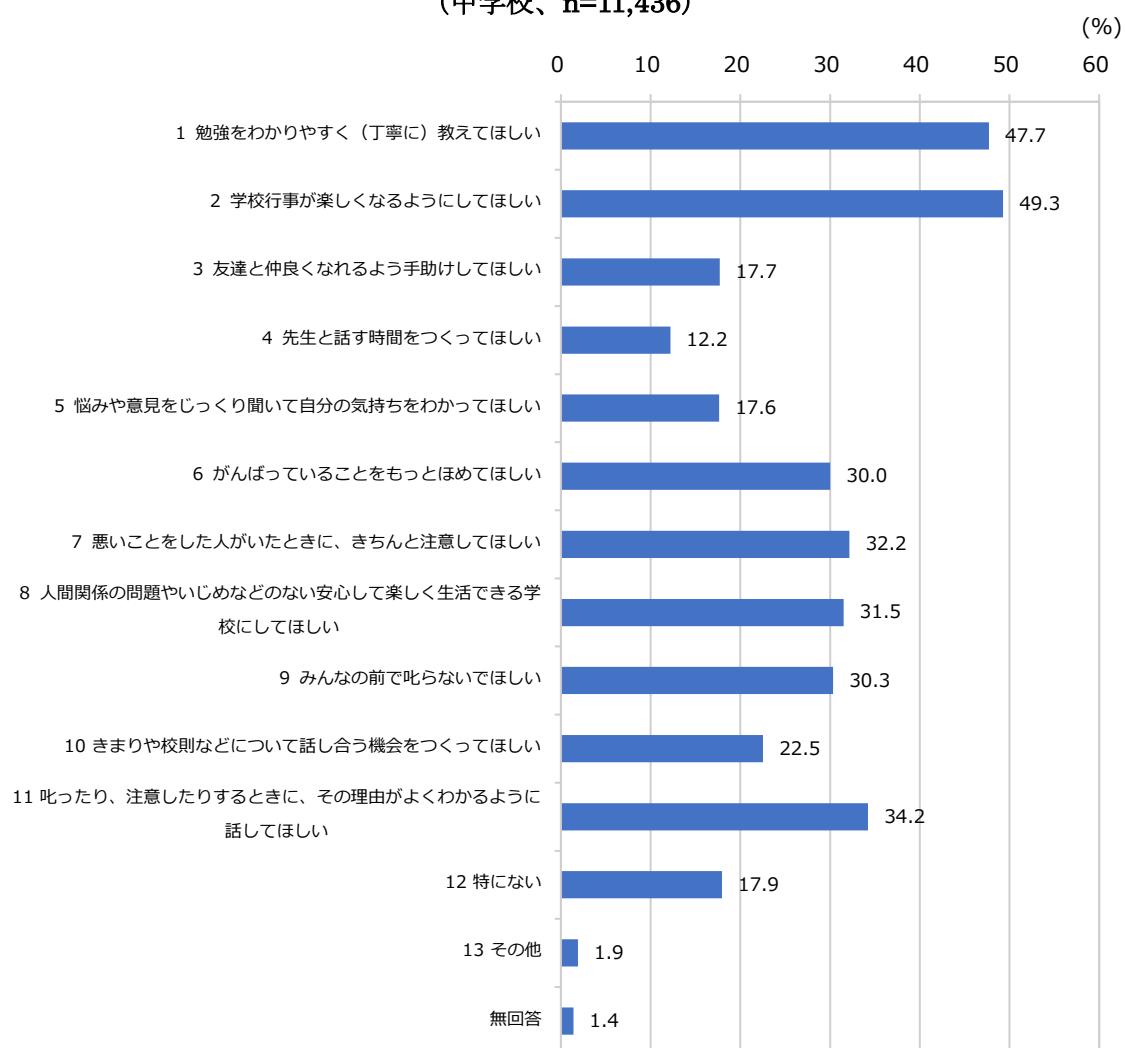


(2)中学校

学校が安心して学び生活できる場所になるために、学校や先生にどのようなことを期待するかについてみると、中学校では、いずれの生徒でも「学校行事が楽しくなるようにしてほしい」「勉強をわかりやすく（丁寧に）教えてほしい」の割合が高い。

図表 2-72 学校や先生に期待すること

(中学校、n=11,436)

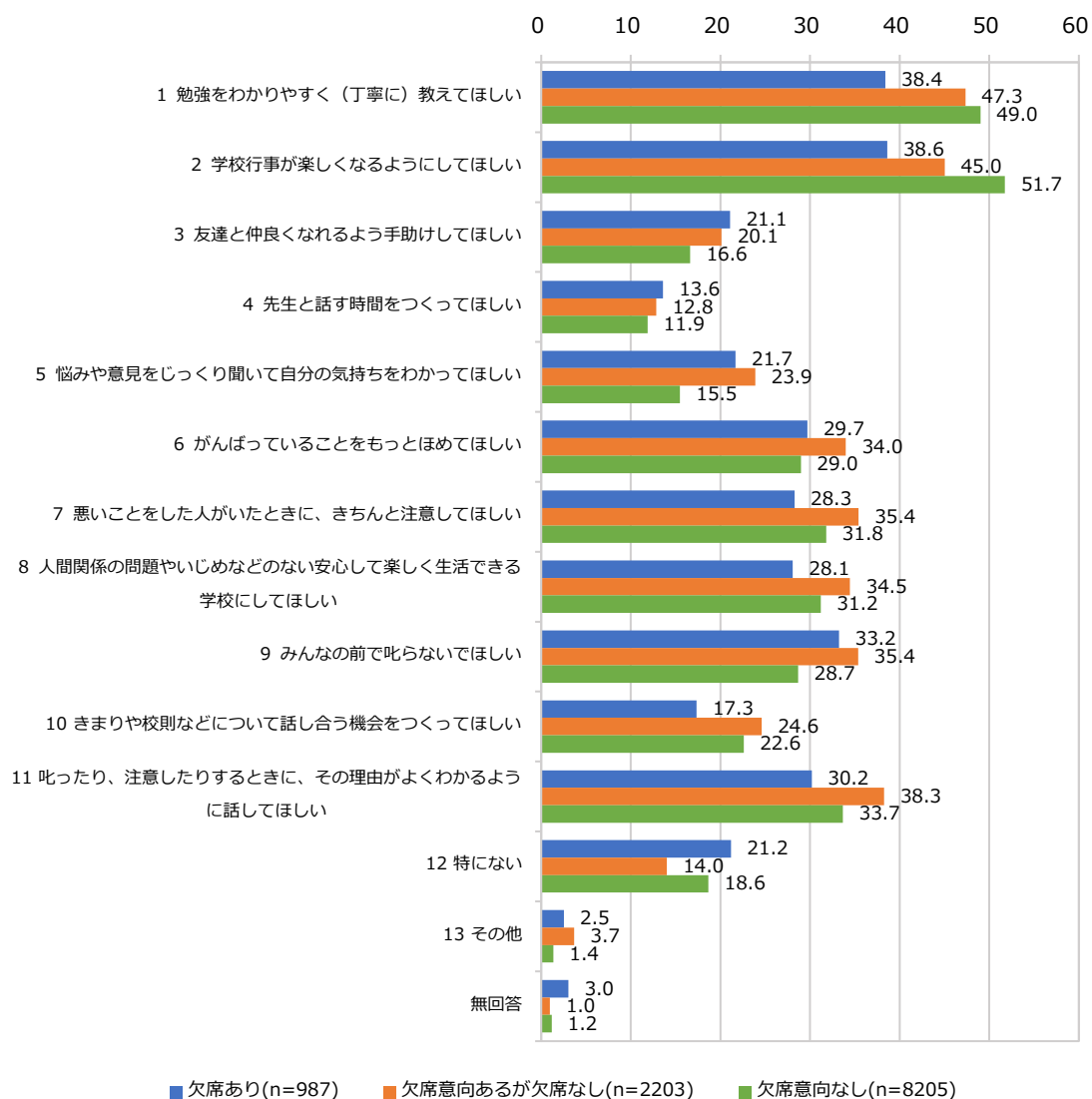


欠席傾向別にみると、欠席意向あるが欠席なしの生徒は「叱ったり、注意したりするときに、その理由がよくわかるように話してほしい」「悪いことをした人がいたときに、きちんと注意してほしい」「みんなの前で叱らないでほしい」「人間関係の問題やいじめなどのない安心して楽しく生活できる学校にしてほしい」等の割合が他と比べて高い。

図表 2-73 学校や先生に期待すること

(中学校、欠席傾向別)

(%)

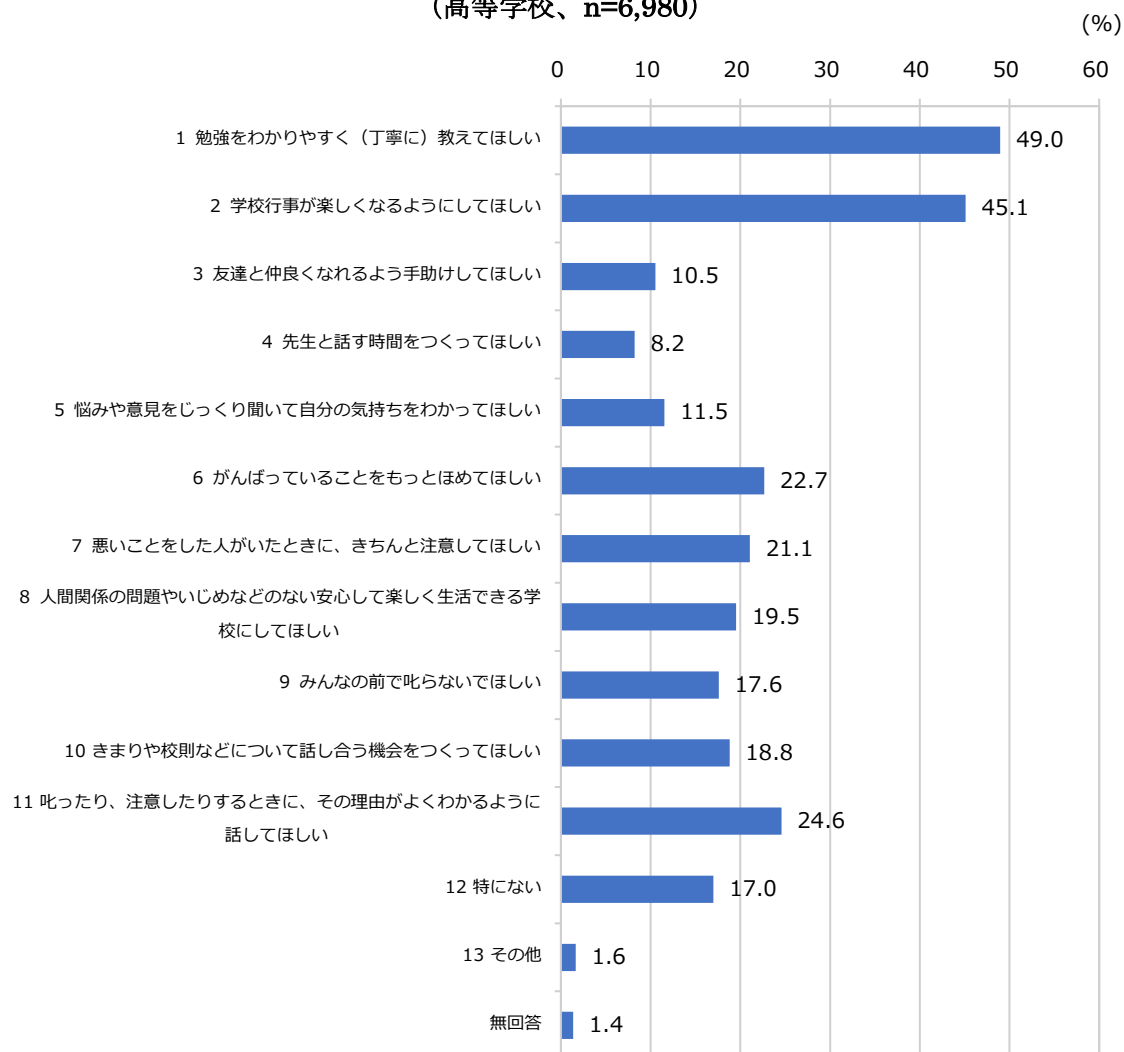


(3)高等学校

学校が安心して学び生活できる場所になるために、学校や先生にどのようなことを期待するかについてみると、高等学校では、いずれの生徒でも「勉強をわかりやすく（丁寧に）教えてほしい」の割合が高く、次いで「学校行事が楽しくなるようにしてほしい」の割合が高い。

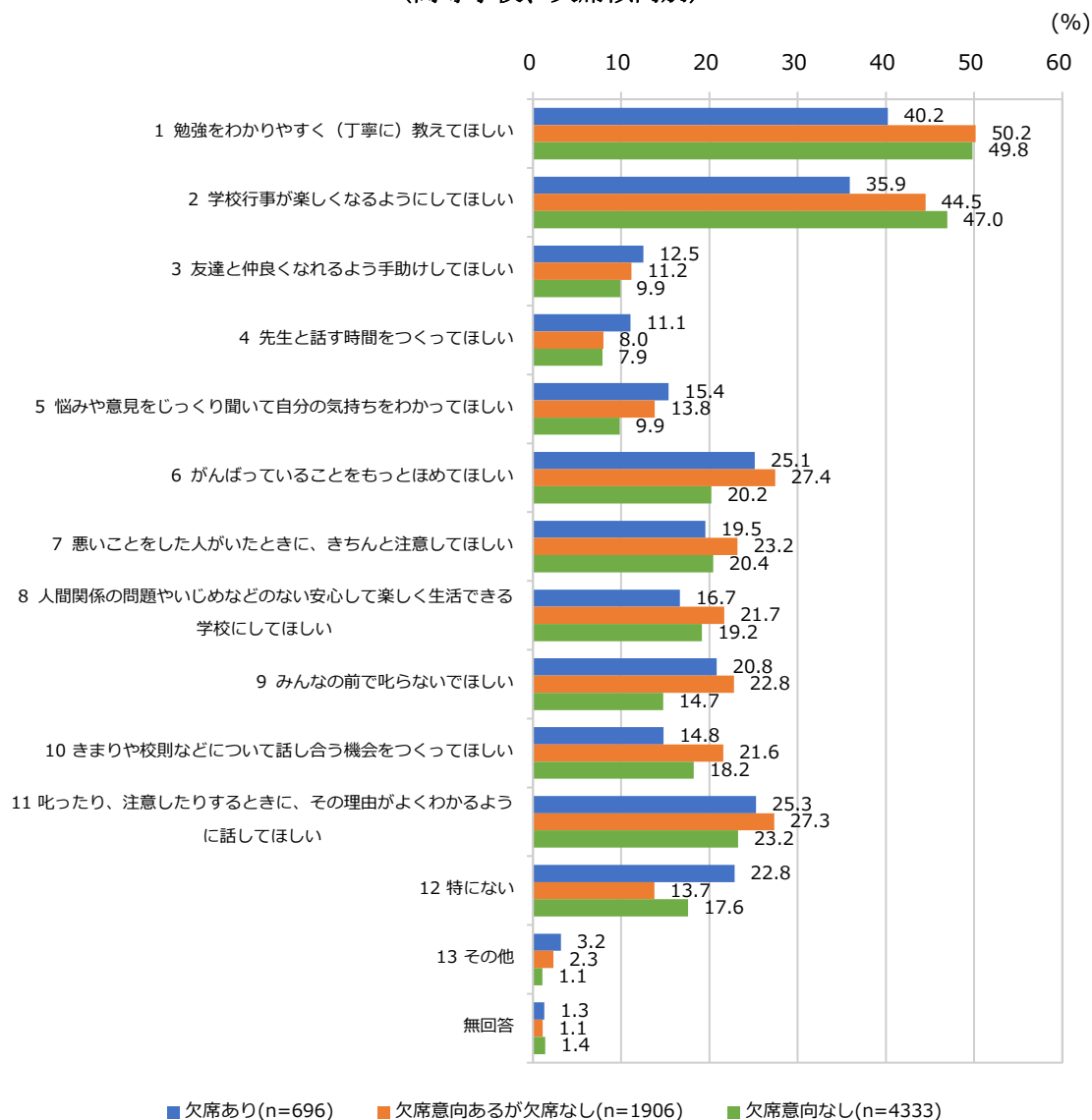
図表 2-74 学校や先生に期待すること

(高等学校、n=6,980)



欠席傾向別にみると、欠席意向あるが欠席なし、欠席ありの生徒は「がんばっていることをもっとほめてほしい」「みんなの前で叱らないでほしい」の割合が、欠席意向なしの生徒と比べて高い。

図表 2-75 学校や先生に期待すること
(高等学校、欠席傾向別)



2-3-7 安心して学校生活を送るために児童生徒ができること

3(7) あなたにとって学校が安心して学び生活できる場所になるために、あなた自身または友達と一緒にどのようなことができる、またはしてみたいと思いますか。あなたの考えを具体的に入力してください。

(1)小学校

小学校全体では「悪口・陰口を言わない」「いじめをしない」「先生などに言う」「助け合う」「相談する」という種類の回答が多くみられた。

欠席傾向別にみると、欠席ありでは「いじめをしない」「決まりを守る」と回答した児童が、欠席意向あるが欠席なし、欠席意向なしの児童より少なかった。また、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしでは、「一人で過ごす」や「オンライン授業」を望む声などの回答もあった。

図表 2-76 自由記述（主なもの：小学校）

a) 欠席あり

「悪口・陰口を言わない」
<ul style="list-style-type: none"> ・悪口など人のことばかにしない ・こそこそ話をしない ・過度な陰口は注意してほしい
「いじめをしない」
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめをなくしたい ・いじめをなくす、もし、していたら、自分の経験と一緒にいじめ辞めさせる ・いじめになることをしない
「相談する」
<ul style="list-style-type: none"> ・いやな事があったら先生に相談する ・困っている子の相談に乗る ・困っている人が相談できるところを作る
その他
<ul style="list-style-type: none"> ・理解し合える友達をつくる ・お互いの発言をバカにしないで、その人の気持ちを分かってあげる

<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのために助ける、友達同士協力する ・自分が嫌なことは、他の人にもしない ・みんなに挨拶を必ず一回はすることをしてみたい

b) 欠席意向あるが欠席なし

「悪口・陰口を言わない」
<ul style="list-style-type: none"> ・本人が近くにいてもいなくても、陰口や悪口は言わない ・悪口を言わない、相手に悪口を言っていると勘違いされるような行動をしない ・失言や悪口を減らすために考えてから発言するようにしてみたいです
「いじめをしない」
<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒にいじめなくあそびたい ・いじめはだめというふんいきを作る ・いじめが、なくなる決まりを考える
「先生などに言う」
<ul style="list-style-type: none"> ・困っている子を見つけたら先生に言う ・困っている人がいたら助けたり、家族や先生たちに伝える(教える) ・いじめがあったら信頼できる大人にいう
その他
<ul style="list-style-type: none"> ・誰かが嫌な思いをしている時は、たすける。味方になってあげる ・男女関係なくクラスみんなが仲良くしてほしい ・友達と一緒に相手の気持ちを考えることができる ・先生たちだけではなく子どもと一緒に校則をきめてほしい ・勉強などでわからない人がいたら教えてあげる

c) 欠席意向なし

「悪口・陰口を言わない」
<ul style="list-style-type: none"> ・こしょこしょ話をしない ・自分の性格や体格で悪口や暴力を振るわない ・悪口を言い合って、広め合わない
「いじめをしない」

<ul style="list-style-type: none"> ・いじめなど人が嫌がることは、絶対しない ・いじめをしないこと、だれにも優しくする ・まずは、自分がいじめの主犯にならないように相手のことをよく考えて過ごすことをしたいです
<p>「先生などに言う」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・友達が悪いことをしたらたとえ友達だとしても先生に伝える ・いじめや問題があったらすぐに先生や家族に伝える ・困っている子がいたら自分で助けて、助けられない場合は、先生や他の友達に伝える
<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・友達と遊ぶときとかに仲間外れがないでみんなで仲良くする ・ルールやマナーを守る ・クラスみんなが仲良くなれるようみんなと話す機会を増やす ・ダメな事はダメと注意する ・差別がないように注意しあって仲の良いクラスにする

(2)中学校

中学校全体では「悪口・陰口を言わない」「助け合う」「いじめをしない」「友達を作る」「理解し合う」という種類の回答が多くみられた。「先生などに言う」「相談する・相談にのる」という回答の割合は小学生より少なかった。

欠席傾向別でみると、欠席ありでは「助け合う」「いじめをしない」と回答した生徒が、欠席意向あるが欠席なし、欠席意向なしの生徒より少なかった。また、欠席ありでは「友達を作る」「理解し合う」という種類の回答が、欠席意向あるが欠席なし、欠席意向なしの生徒より若干多かった。加えて、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしでは、「いっても無駄」や「一人ぼっちにしないでほしい」などの回答もあった。

図表 2-77 自由記述（主なもの：中学校）

a) 欠席あり

<p>「悪口・陰口を言わない」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・友達内で陰口や相手を下げるとなことを声に出さない ・陰口は言わずになにか思っていることがあるならその人に直接伝える

<ul style="list-style-type: none"> ・裏で人のことを馬鹿にしたり悪口を言ったりしない
<p>「友達を作る」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・否定せず肯定しあえる友達をつくる ・理解してくれる友達を作るし、自分も理解する ・お互い理解し合えて、一緒にいると安心できる友達をつくる
<p>「理解し合う」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・互いが理解し合える環境を作る ・互いを理解し合える関係のある学校 ・一人ひとりのことを理解する
<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめられている人がいたら話を聞いてあげて助けてあげる ・全学年でいじめやルールの確認をみんなでする ・一人の子がいたら積極的に声をかける ・クラス全体や学年全体の交流回数を更に増やせば、沢山気づくことがあって面白いと思う ・自分がされて嫌なことは他人にもしない

b) 欠席意向あるが欠席なし

<p>「悪口・陰口を言わない」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・陰口を言わずに悪いものにはダメと、いいものにはいいとちゃんと言い合える ・悪口をいわないのはもちろん、悪口を言ってる人に巻き込まれない ・悪口を言わず、もし言っている人がいたら「やめたほうがいいんじゃない？」と優しく伝える
<p>「助け合う」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人がいたら皆で助け合う ・困っている人がいたら、見てみぬふりをするのではなく助ける ・お互いを助け合ったり励まし合う
<p>「いじめをしない」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや嫌がらせ、困っている子を見て見ぬ振りしない ・いじめがない、クラスに居るときに居心地がいい環境をつくる

<ul style="list-style-type: none"> ・いじめをどうやったら無くせるかを考える
<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに信頼しあい、楽しく生活ができる友達をつくること ・みんなの性格や個性を理解する ・遠慮はせずに、困ったことがあったら相談する ・暴力を振ってたり、からかったり、悪口を言ってバカにしたりしてる人がいたら、それを見て見ぬふりをするのではなく、注意したりやらないように止める ・常に周りに気を配りながら行動する

c) 欠席意向なし

<p>「悪口・陰口を言わない」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・悪口や聞いていて嫌な思いをする言葉はなるべく口にしない ・噂話や、人がいないところで悪口を言わない ・集団になって悪口を言ったり無視をしたりしない
<p>「助け合う」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことがあった時協力して助け合うことができる ・助けてほしいとも言えない人がいるからその人のためにも周りをよく見たり視野を広くして生活していきたい ・みんなが困ったりしたり悩んだ入りしていたら助け合いが大切だと思います
<p>「いじめをしない」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・平気で人の前でも、裏でもいじめ（傷つくこと）をしない ・みんなが仲良くしていじめや暴力のない場所にしたい ・いじめについての関心をもつ
<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいることを言い合える友達を作る ・相手の意見をすぐに否定しないで理解する ・生徒の意見を集め学校の決まりを考え直す ・喧嘩をしたときは冷静に話し合いをする ・みんな平等に接する

(3)高等学校

高等学校全体では「悪口・陰口を言わない」「友達を作る」「助け合う」「理解し合う」「相談する」という種類の回答が多くみられた。また、小学校で多かった「先生などに言う」「(悪いことをしている人などを) 注意する」という回答は、高等学校ではほぼみられなかった。

欠席傾向別でみると、欠席ありでは「悪口・陰口を言わない」「決まりを守る」と回答した生徒が、欠席意向あるが欠席なし、欠席意向なしの生徒より少なかった。また、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしでは「いじめをしない」という回答が、欠席意向なしの生徒より若干少なかった。加えて、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしでは、「何もできないと思う」や「逃げる場所を設ける」などの回答もあった。

図表 2-78 自由記述 (主なもの：高等学校)

a) 欠席あり

「悪口・陰口を言わない」
<ul style="list-style-type: none">・悪口言わない、団体でジロジロ人の事見てコソコソ言わない・理不尽な悪口だったり自分が悪いのに相手の悪口を言ったりしない・裏で悪口を言わない
「友達を作る」
<ul style="list-style-type: none">・気を使わないで話せる友達をつくる・自分の性格を受け入れてくれる友達を作る・楽しく過ごせるように相談が出来るような友達を作る
「相談する」
<ul style="list-style-type: none">・周りの人たちのこともよく考え、何でも相談できる環境を作る・困ったことがあったら、気軽に相談できるともだちをたよる・困っていたら相談に乗ってあげる
その他
<ul style="list-style-type: none">・自分が思う楽しい学校を話し合い、そのうえで校則とかを考えたい・誰もが居心地のいいクラスにするために、身勝手な行動や言動をさける・もしかしたら友達になれるかもしれないから、1人でのいる子に話しかける・とある理由で辛かったり苦しんでいたりする子がいたら手を差し伸べる・それぞれの考えが言いやすく、否定されない環境を作りたい

b) 欠席意向あるが欠席なし

「悪口・陰口を言わない」
<ul style="list-style-type: none">・悪口を言う前に相手の気持ちを理解する・みんなで集って1人の悪口を言わない・悪口や目配せ的なものをなくす
「友達を作る」
<ul style="list-style-type: none">・お互いに尊重し合える友達をつくる、本当の意味で信頼できる人を探す・お互いのことを理解してくれる友達をつくる・心の支えになる友達をつくる
「理解し合う」
<ul style="list-style-type: none">・お互い思っていることを伝え、理解し分かり合える・お互いに理解し合える友人関係を作ること・他人への理解のある人と仲良くなる
その他
<ul style="list-style-type: none">・授業の時に話し合いの時間を増やす・相手の気持ちを考えて、発言や行動をすること・人によって態度を変えない・学校の校則について生徒がもう少し介入できるようにしたい・先生と生徒間のトラブルにもう少し耳を傾けて欲しい

c) 欠席意向なし

「悪口・陰口を言わない」
<ul style="list-style-type: none">・見えてるところでこそこそ悪口を言わないことや失敗したことを馬鹿にしないでほしい・陰口を言う前に相手のことを考えるようにする・学校内で悪口を言わない、SNSでも、自分のクラスの中でも他クラスの子のことでも
「友達を作る」
<ul style="list-style-type: none">・理解し合えて絆を深められる友達をつくる・1人でもお互いを尊重し合えるような、素を出せる友達を作る

<ul style="list-style-type: none"> ・一緒にいて心から楽しいと思える友達をつくる
<p>「助け合う」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人を見つけたら話などを聞いて助ける ・互いの得意なところを生かして助け合うこと ・お互いに声を掛けて不安なことや悩みを伝えあって助け合う
<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心できるように失敗を優しく受け止める ・誰もが意見などを主張できる環境を作ること ・授業で友達と話し合う時間をもっと増やし、友達との仲を深めることができるようにしたい ・話したことがない人に積極的に話しかけに行って自分が一人になったり不安になることを少しでも少なくする ・クラスの間みんなと関わって一つになれる活動があると良いと思う

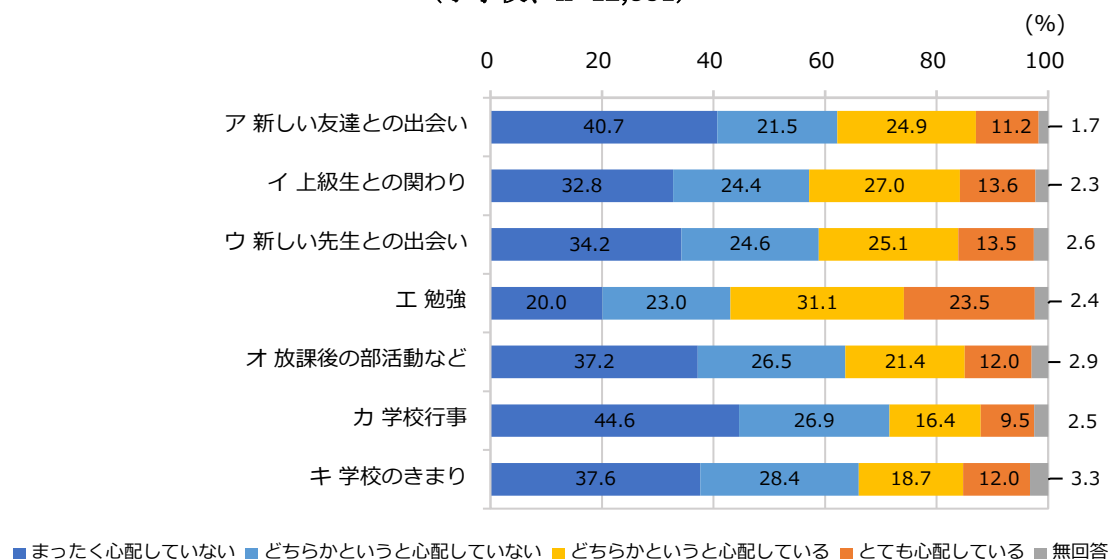
2-3-8 中学校生活に対する気持ち

3(8) 中学校での生活に対する、現在のあなたの気持ちについてお聞きします。あなたの気持ちに一番近いものを選んでください。(小学校6年生のみ回答)

中学校での生活に対する現在の気持ちについてみると、全体では、「勉強」に関して心配している割合が高く、「どちらかという心配している」と「とても心配している」を合わせると 54.6%となっている。次いで「上級生との関わり (40.6%)」「新しい先生との出会い (38.6%)」となっている。

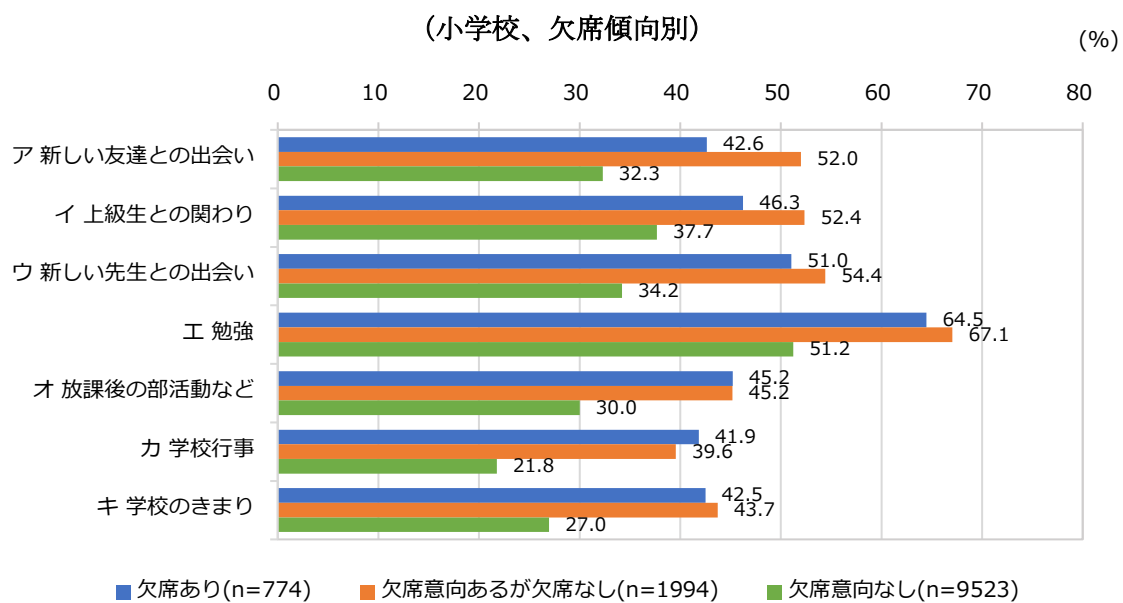
図表 2-79 中学校生活に期待すること

(小学校、n=12,381)



欠席意向別では、欠席意向なしの児童では、すべての項目において心配している（「とても心配している」＋「どちらかという心配している」）と回答した割合が、欠席あり、欠席意向あるが欠席なしの児童より低い。

図表 2-80 中学校生活に期待すること（心配している・計）



第3章 保護者に対する調査

3-1 属性

3-1-1 子どもの在籍校の学校種

2 お子さまの在籍校の学校種を選んでください。

小学校	小学校	152
	義務教育学校（前期課程）	3
中学校	中学校	343
	義務教育学校（後期課程）	5
高等学校	高等学校（全日制）	1,194
	高等学校（定時制）	106
	高等学校（通信制）	69
特別支援学校	特別支援学校（小学部）	22
	特別支援学校（中学部）	22
	特別支援学校（高等部）	50
合計		1,966

3-1-2 子どもの学校の設置者

1 お子さまの在籍校の設置者を選んでください。

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
国立	1	1	0	2
市立または町立	150	274	0	0
県立	1	68	1,328	90
私立	2	4	38	2
無回答	1	1	3	0
合計	155	348	1,369	94

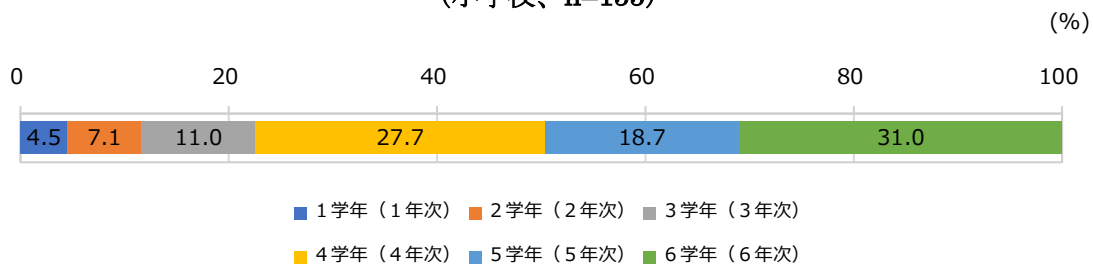
3-1-3 子どもの学年

3 お子さまの学年を選んでください。

(1) 小学校

図表 3-1 子どもの学年

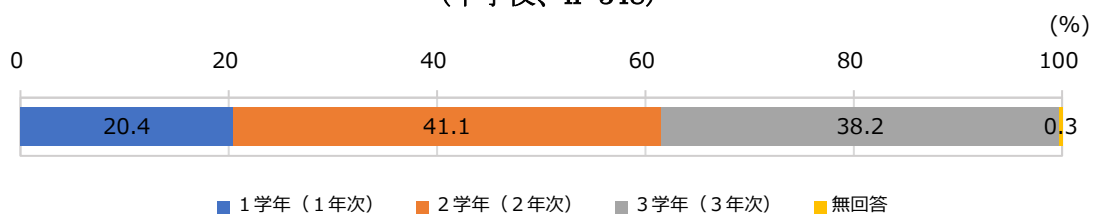
(小学校、n=155)



(2) 中学校

図表 3-2 子どもの学年

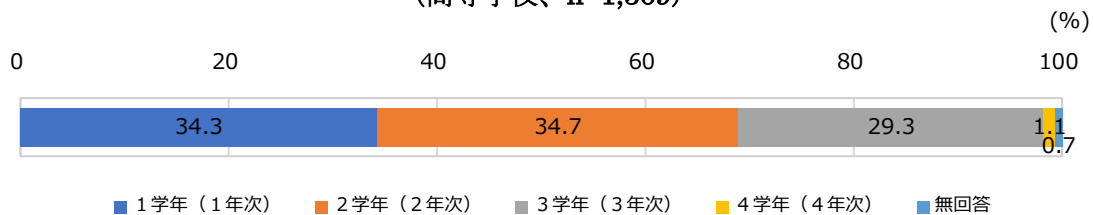
(中学校、n=348)



(3) 高等学校

図表 3-3 子どもの学年

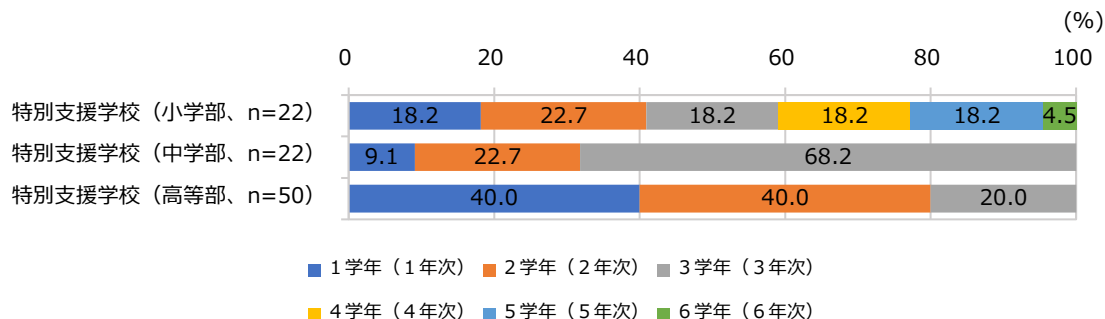
(高等学校、n=1,369)



(4)特別支援学校

図表 3-4 子どもの学年

(特別支援学校、n=94)



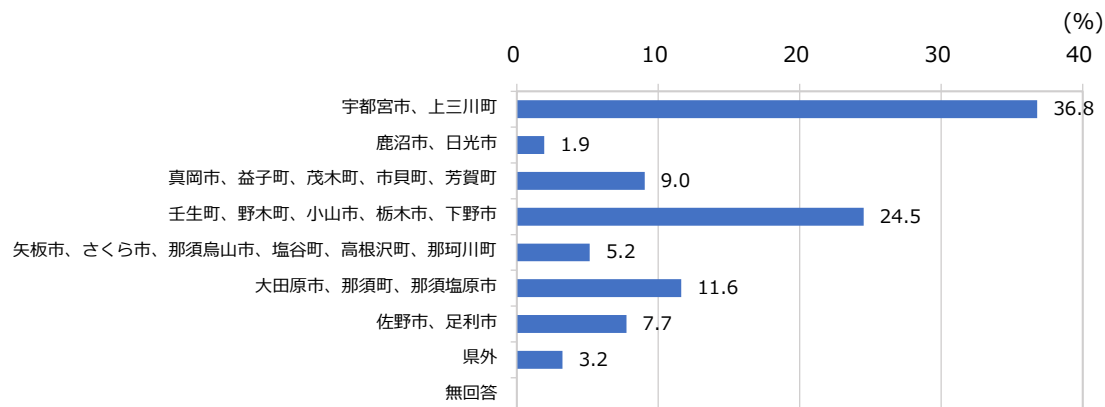
3-1-4 居住地域

4 お住まいの地域を選んでください。

(1)小学校

図表 3-5 居住地域

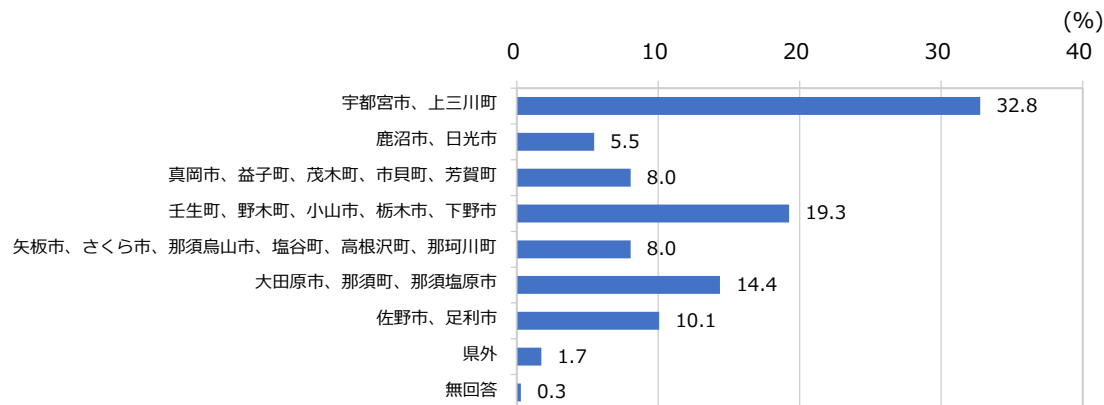
(小学校、n=155)



(2)中学校

図表 3-6 居住地域

(中学校、n=348)



(3)高等学校

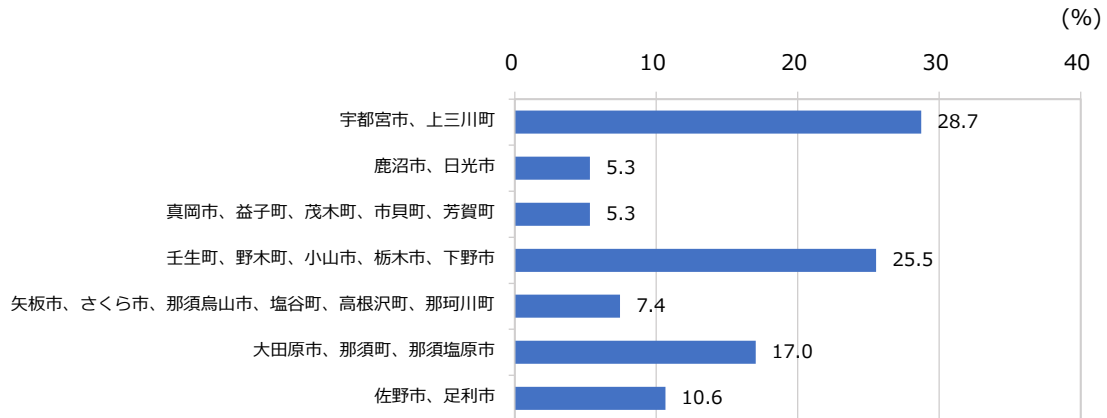
図表 3-7 居住地域

(高等学校、n=1,369)



(4)特別支援学校

図表 3-8 居住地
(特別支援学校、n=94)

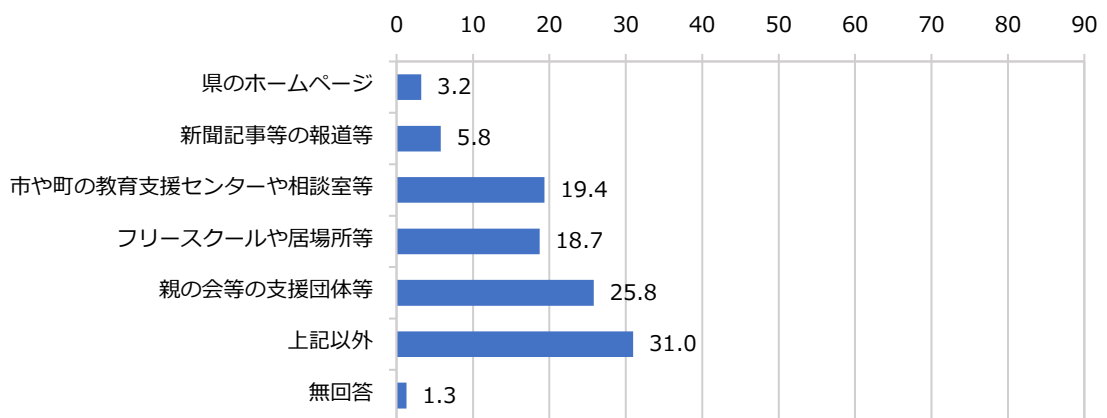


3-1-5 この調査についてどう知ったか

24 この調査について、どのように知りましたか。

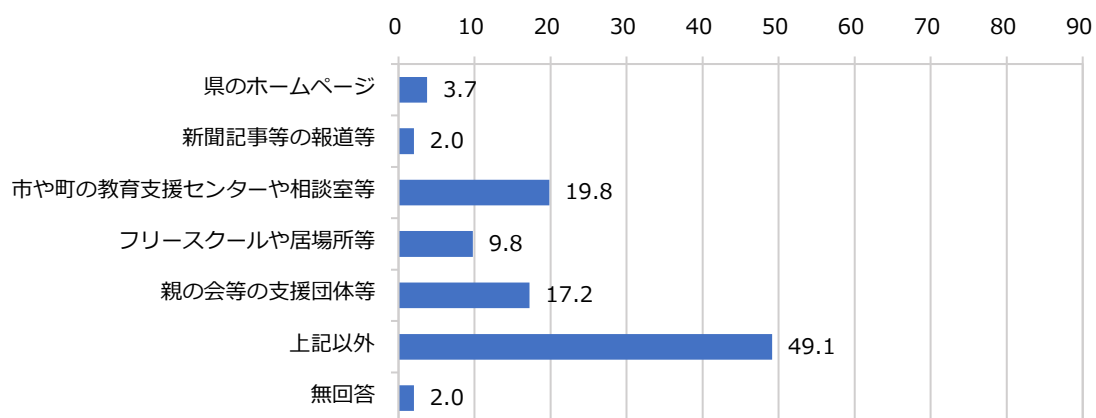
(1)小学校

図表 3-9 この調査についてどう知ったか 小学校 (n=155)



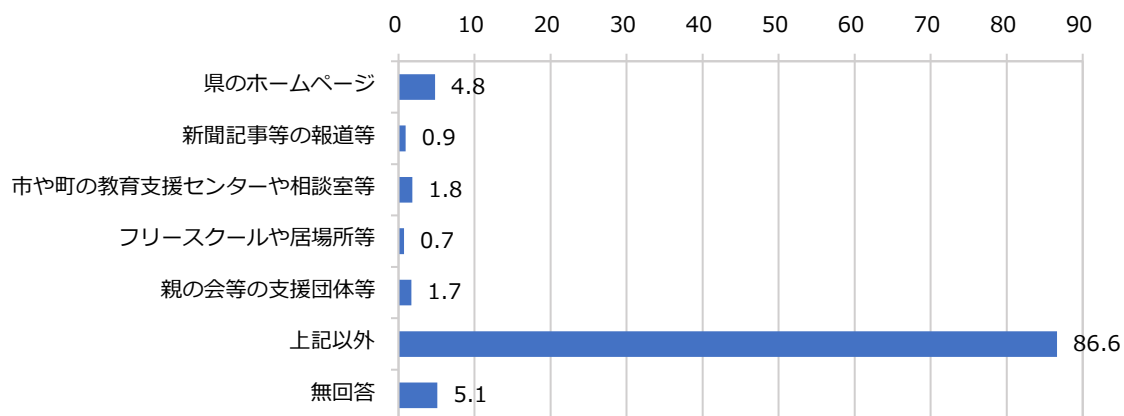
(2)中学校

図表 3-10 この調査についてどう知ったか 中学校 (n=348) (%)



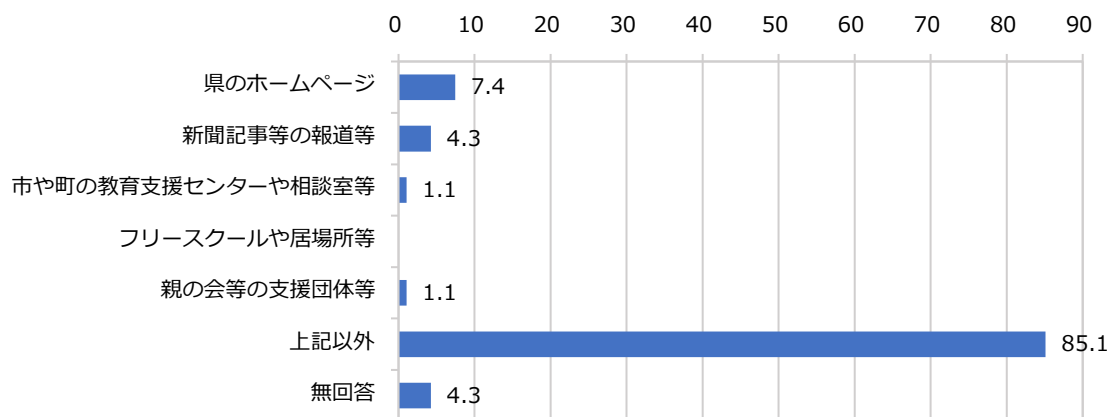
(3)高等学校

図表 3-11 この調査についてどう知ったか 高等学校 (n=1,369) (%)



(4)特別支援学校

図表 3-12 この調査についてどう知ったか 特別支援学校 (n=94) (%)



3-2 保護者の思いや考えについて

3-2-1 子どもが学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の保護者の気持ち

20 お子さまが学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の保護者の気持ちとして、あてはまるものを全て選んでください。（複数回答）。

(1)小学校

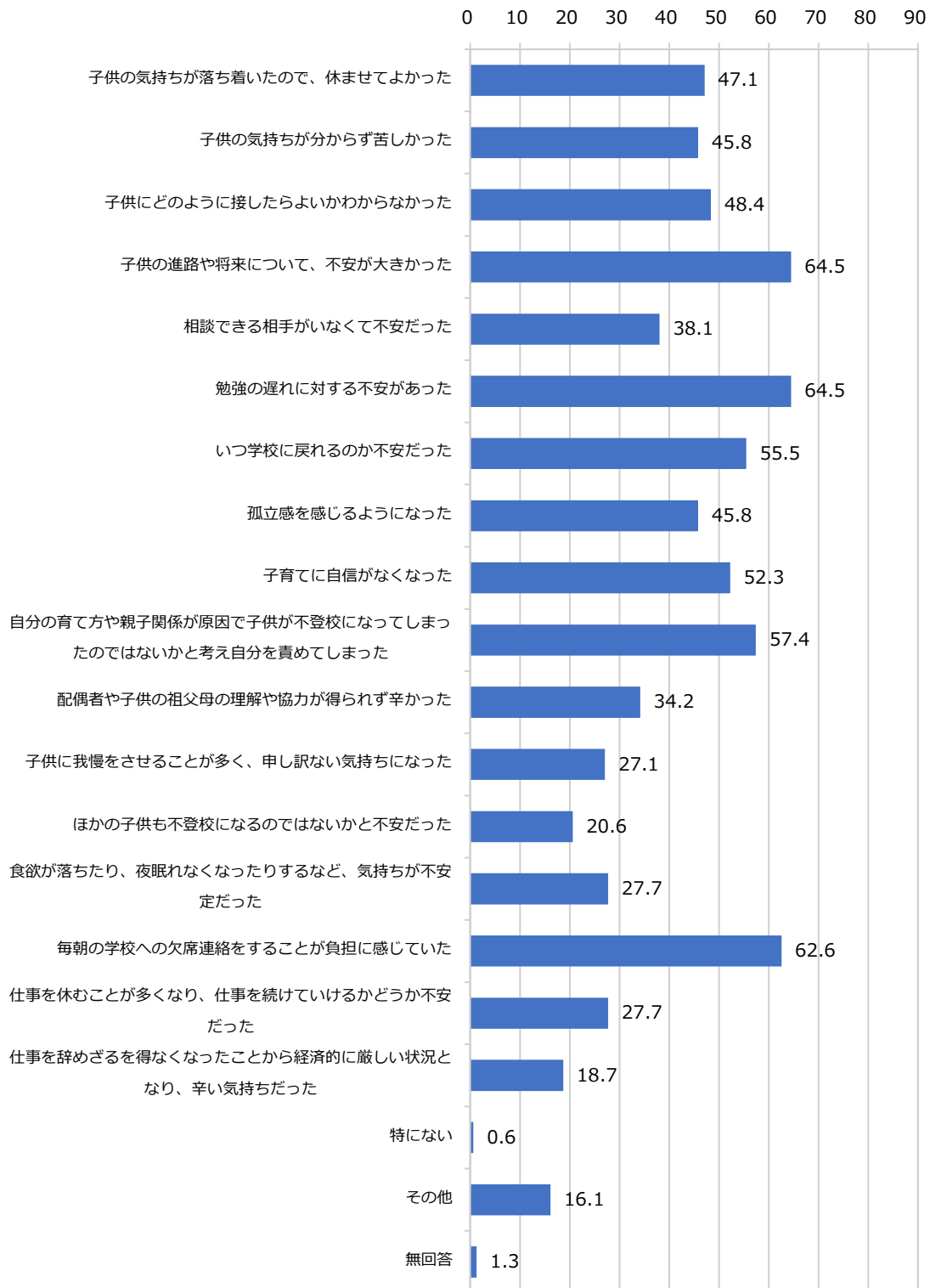
子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ちについて、小学校では、「子供の進路や将来について、不安が大きかった」と「勉強の遅れに対する不安があった」の割合が64.5%と最も高い。次いで「毎朝の学校への欠席連絡をすることが負担に感じていた（62.6%）」となっている。

欠席期間別にみると、小学校では、1か月未満は、「いつ学校に戻れるのか不安だった」、「子育てに自信がなくなった」、「自分の育て方や親子関係が原因で子供が不登校になってしまったのではないかと考え自分を責めてしまった」がいずれも45.5%と最も割合が高い。一方1か月以上では、「子供の進路や将来について、不安が大きかった」、「勉強の遅れに対する不安があった」がともに68.9%と最も割合が高く、次いで「毎朝の学校への欠席連絡をすることが負担に感じていた（66.7%）」となっている。

図表 3-13 子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ち

(小学校、n=155)

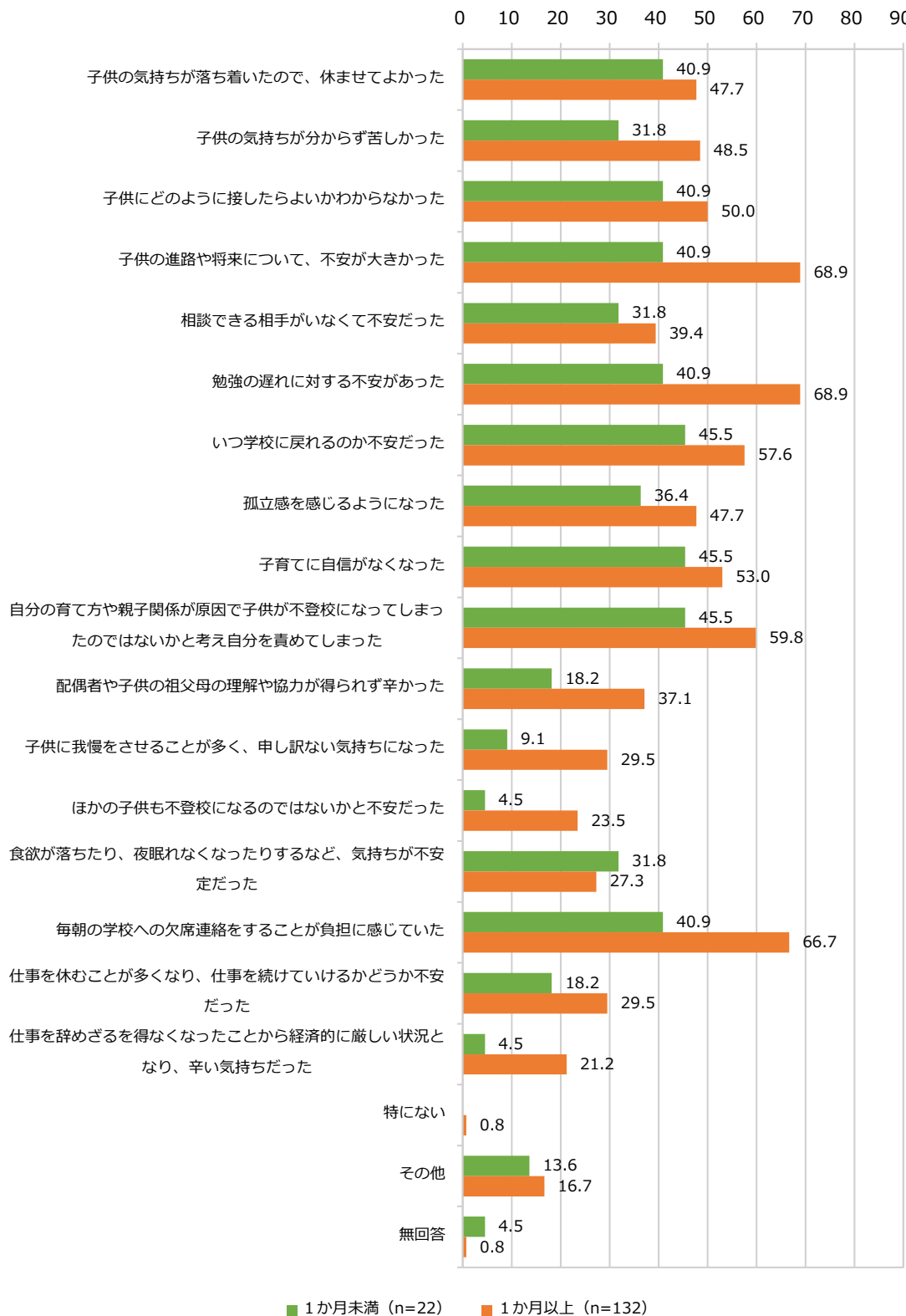
(%)



図表 3-14 子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ち

(小学校、欠席期間別)

(%)



(2)中学校

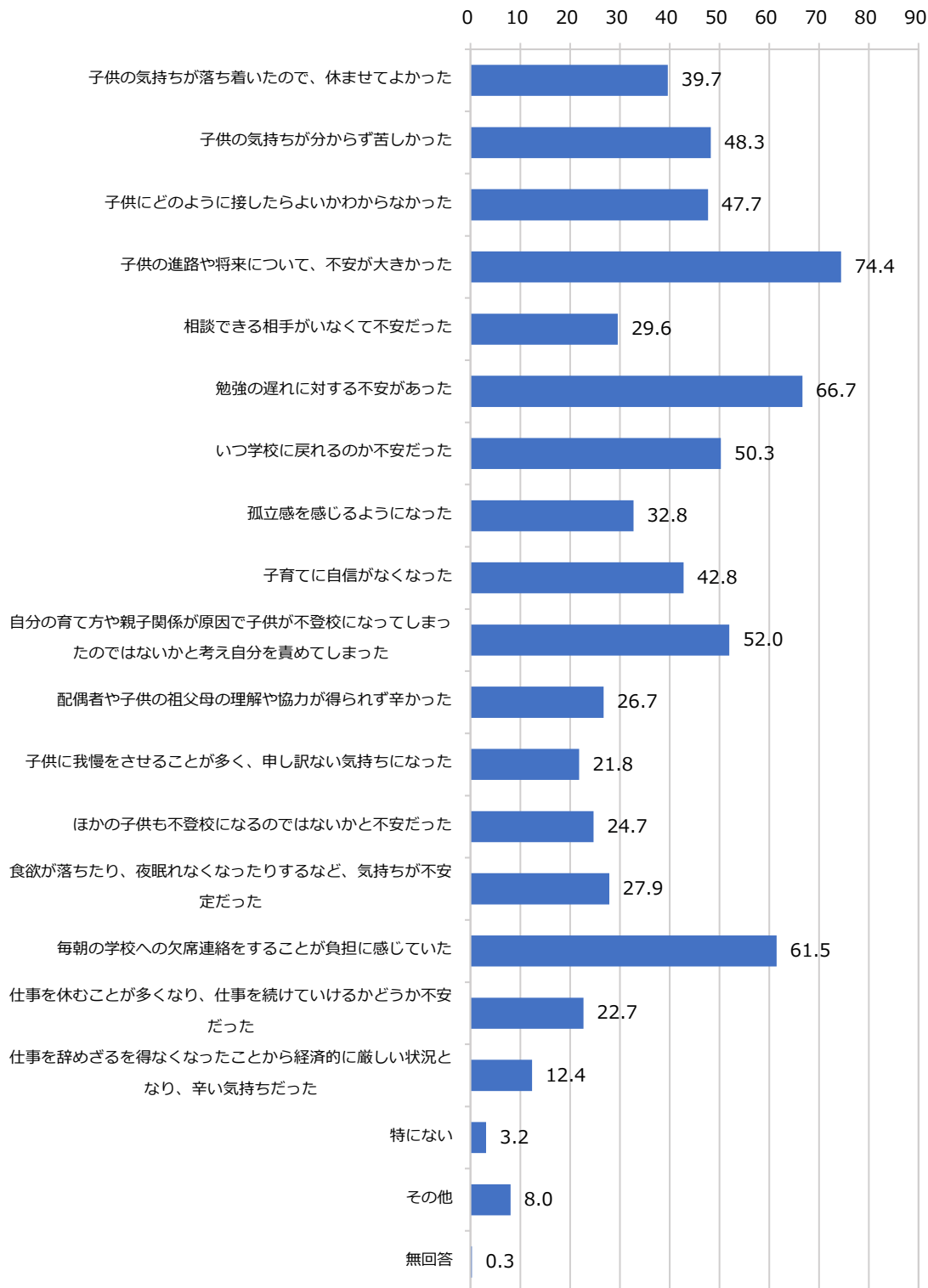
子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ちについて、中学校では、「子供の進路や将来について、不安が大きかった」の割合が74.4%と最も高い。次いで、「勉強の遅れに対する不安があった(66.7%)」「毎朝の学校への欠席連絡をすることが負担に感じていた(61.5%)」となっている。

欠席期間別にみると、中学校では、1か月未満は、「勉強の遅れに対する不安があった」の割合が50.0%と最も高い。次いで、「子供の進路や将来について、不安が大きかった(44.0%)」となっている。一方1か月以上では、「子供の進路や将来について、不安が大きかった」が79.4%と最も割合が高く、次いで、「勉強の遅れに対する不安があった(69.1%)」「毎朝の学校への欠席連絡をすることが負担に感じていた(68.4%)」となっている。

図表 3-15 子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ち

(中学校、n=348)

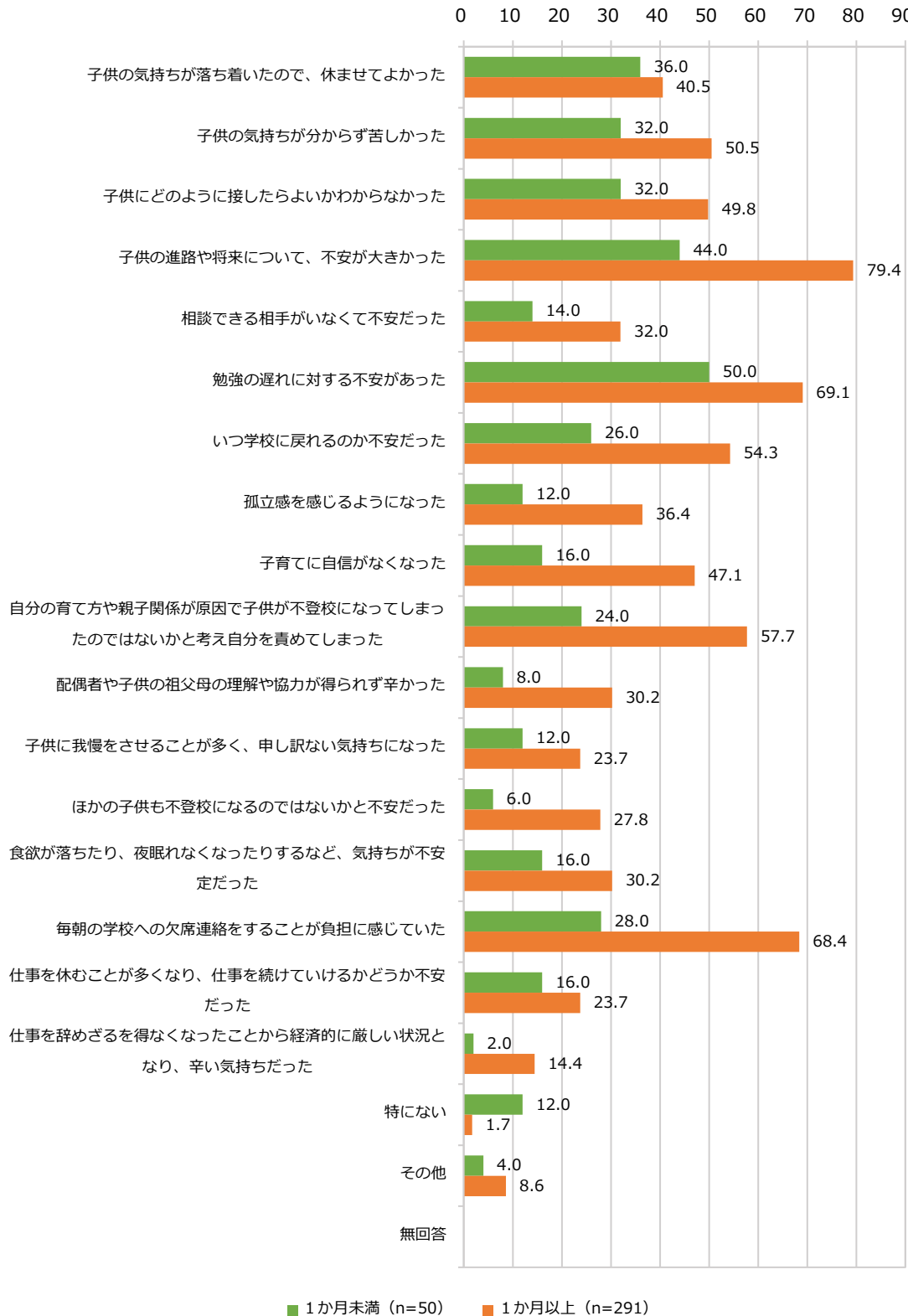
(%)



図表 3-16 子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ち

(中学校、欠席期間別)

(%)



(3)高等学校

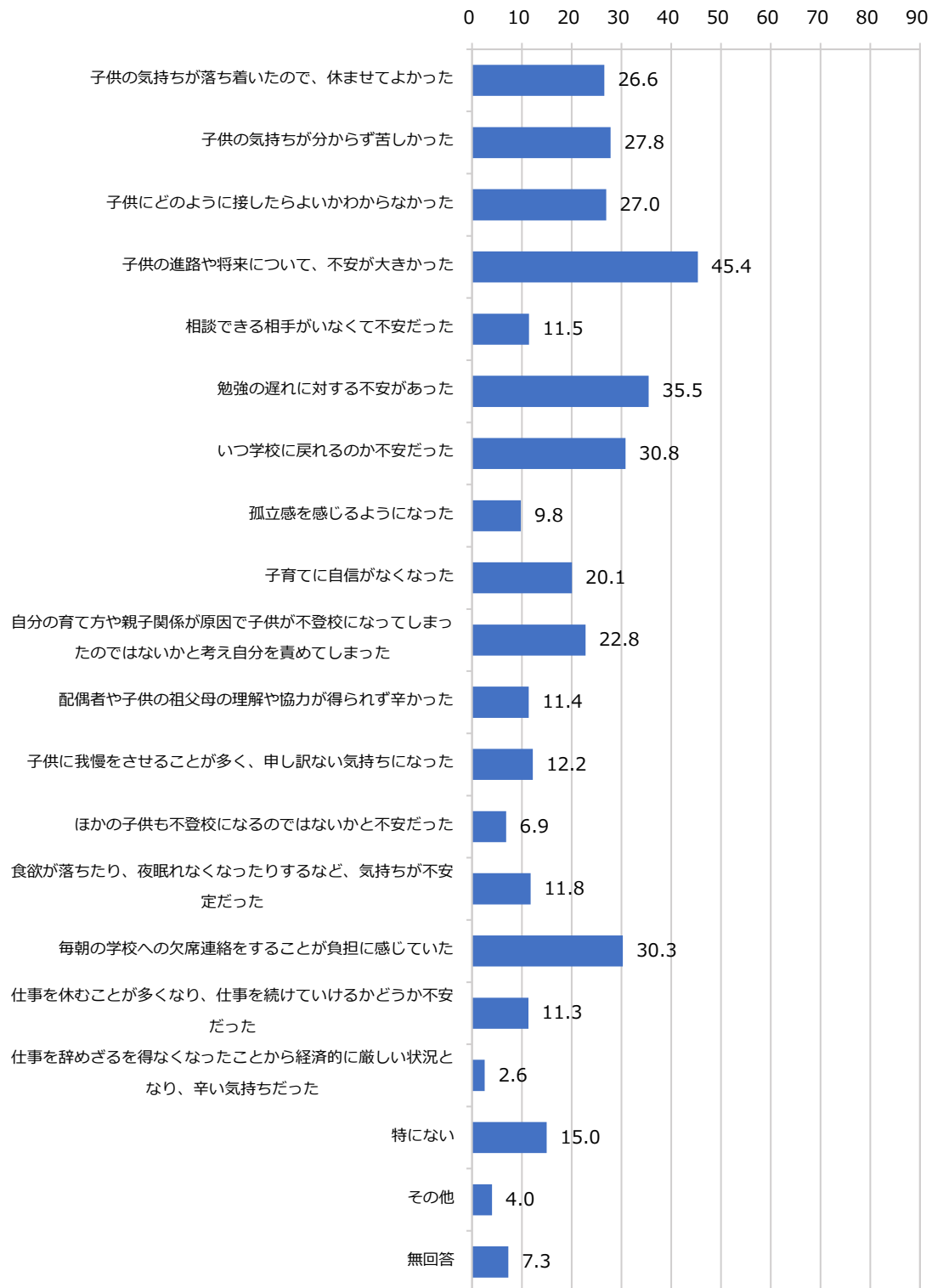
子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ちについて、高等学校では、「子供の進路や将来について、不安が大きかった」の割合が45.4%と最も高い。次いで、「勉強の遅れに対する不安があった(35.5%)」、「いつ学校に戻れるのかが不安だった(30.8%)」、「毎朝の学校への欠席連絡をすることが負担に感じていた(30.3%)」となっている。

欠席期間別にみると、高等学校では、1か月未満は、「子供の進路や将来について、不安が大きかった」の割合が33.1%と最も高い。次いで、「勉強の遅れに対する不安があった(30.3%)」となっている。一方1か月以上では、「子供の進路や将来について、不安が大きかった」が79.7%と最も割合が高く、次いで、「毎朝の学校への欠席連絡をすることが負担に感じていた(59.0%)」「いつ学校に戻れるのかが不安だった(57.1%)」となっている。

図表 3-17 子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ち

(高等学校、n=1,369)

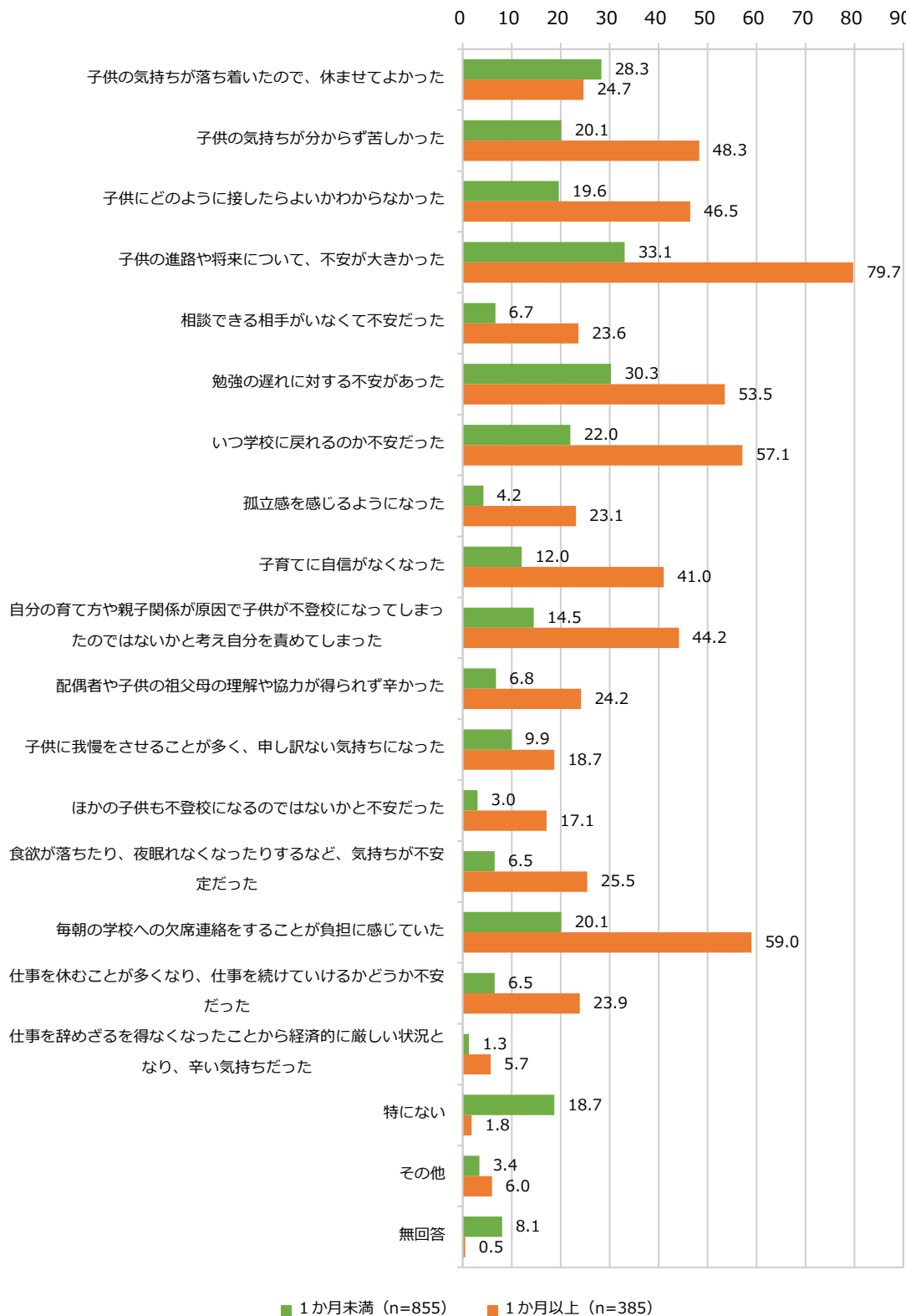
(%)



図表 3-18 子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ち

(高等学校、欠席期間別)

(%)



(4)特別支援学校

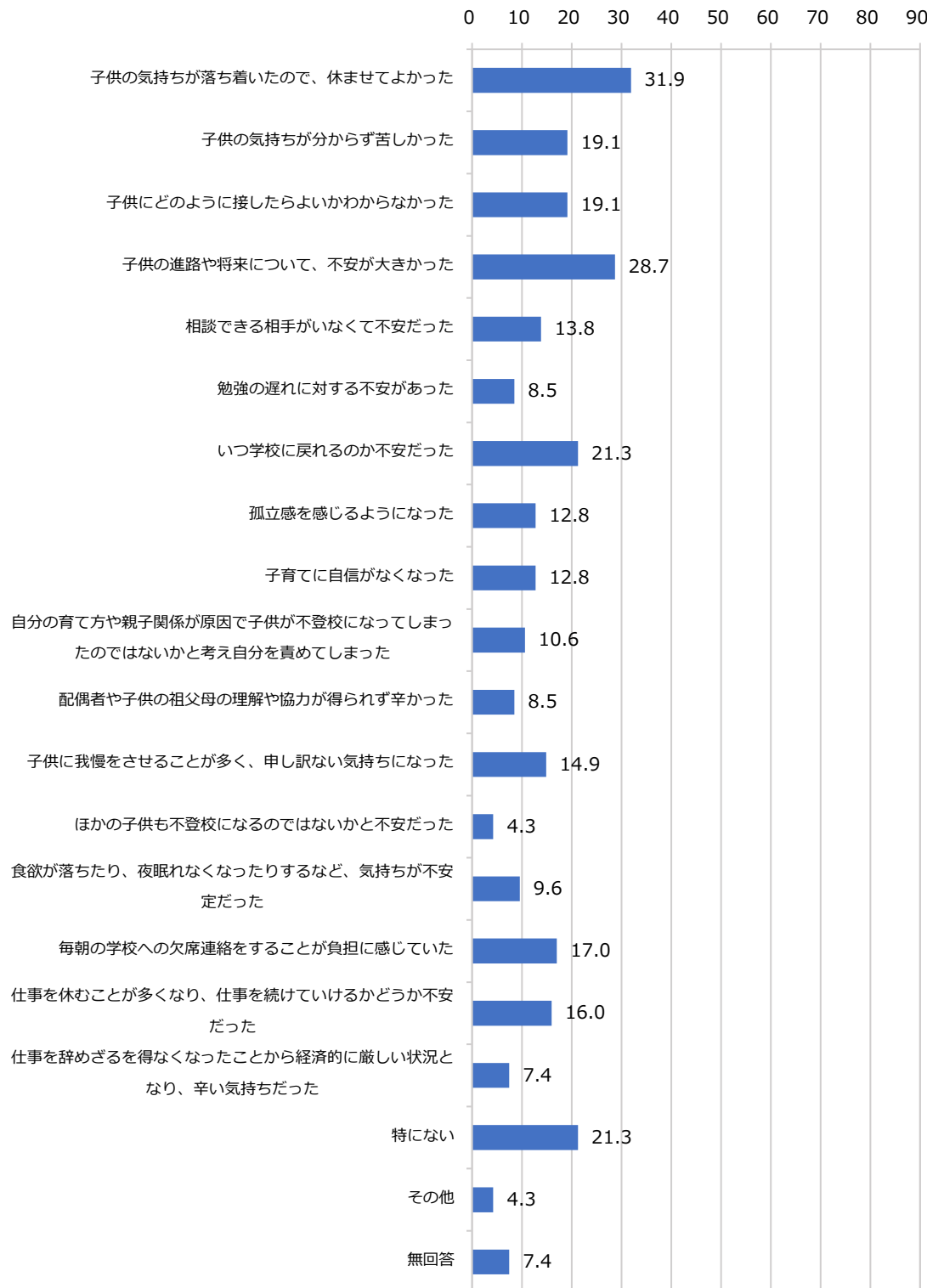
子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ちについて、特別支援学校では、「子供の気持ちが落ち着いたので、休ませてよかった」の割合が31.9%と最も高い。次いで、「子供の進路や将来について、不安が大きかった(28.7%)」となっている。

欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月未満は、「子供の気持ちが落ち着いたので、休ませてよかった」の割合が31.9%と最も高い。次いで、「特にない」を除くと、「子供の進路や将来について、不安が大きかった(17.0%)」となっている。一方1か月以上では、「子供の進路や将来について、不安が大きかった」が66.7%と最も割合が高く、次いで、「いつ学校に戻れるのか不安だった(40.7%)」、「子供の気持ちが分からず苦しかった(37.0%)」となっている。

図表 3-19 子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ち

(特別支援学校、n=94)

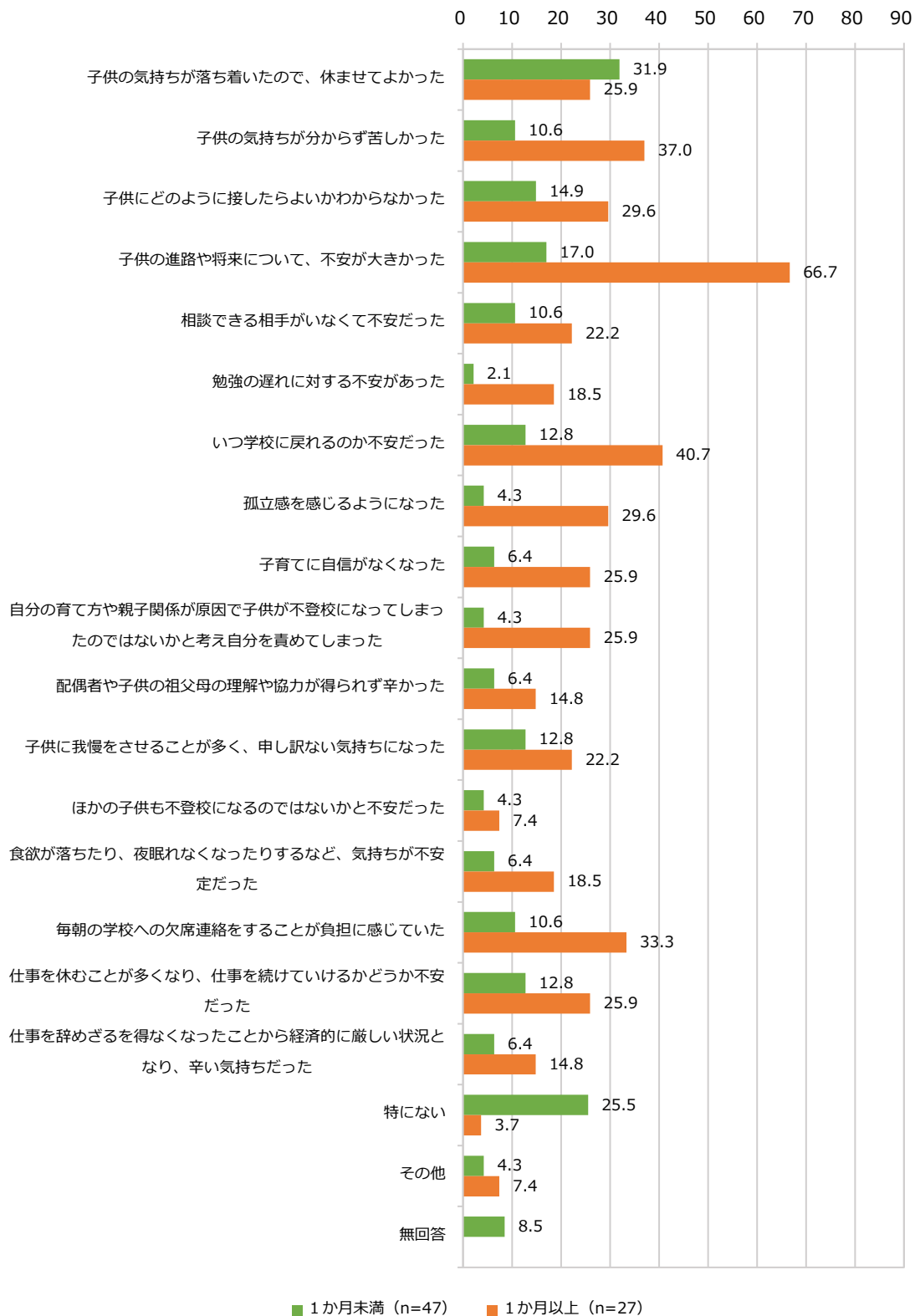
(%)



図表 3-20 子どもが学校を休んでいる間の保護者の気持ち

(特別支援学校、欠席期間別)

(%)



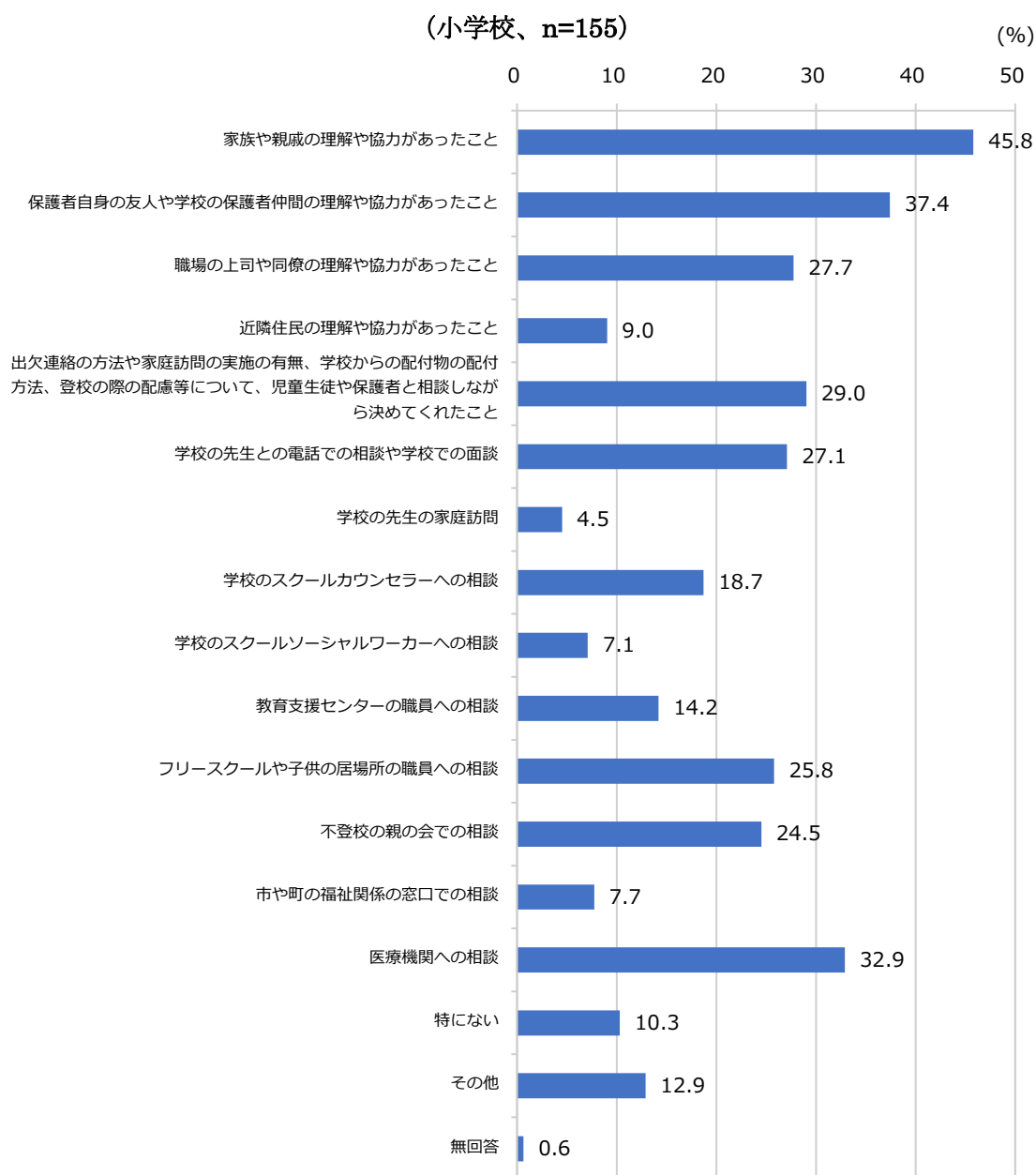
3-2-2 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援

21 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援は何ですか。（複数回答）。

(1) 小学校

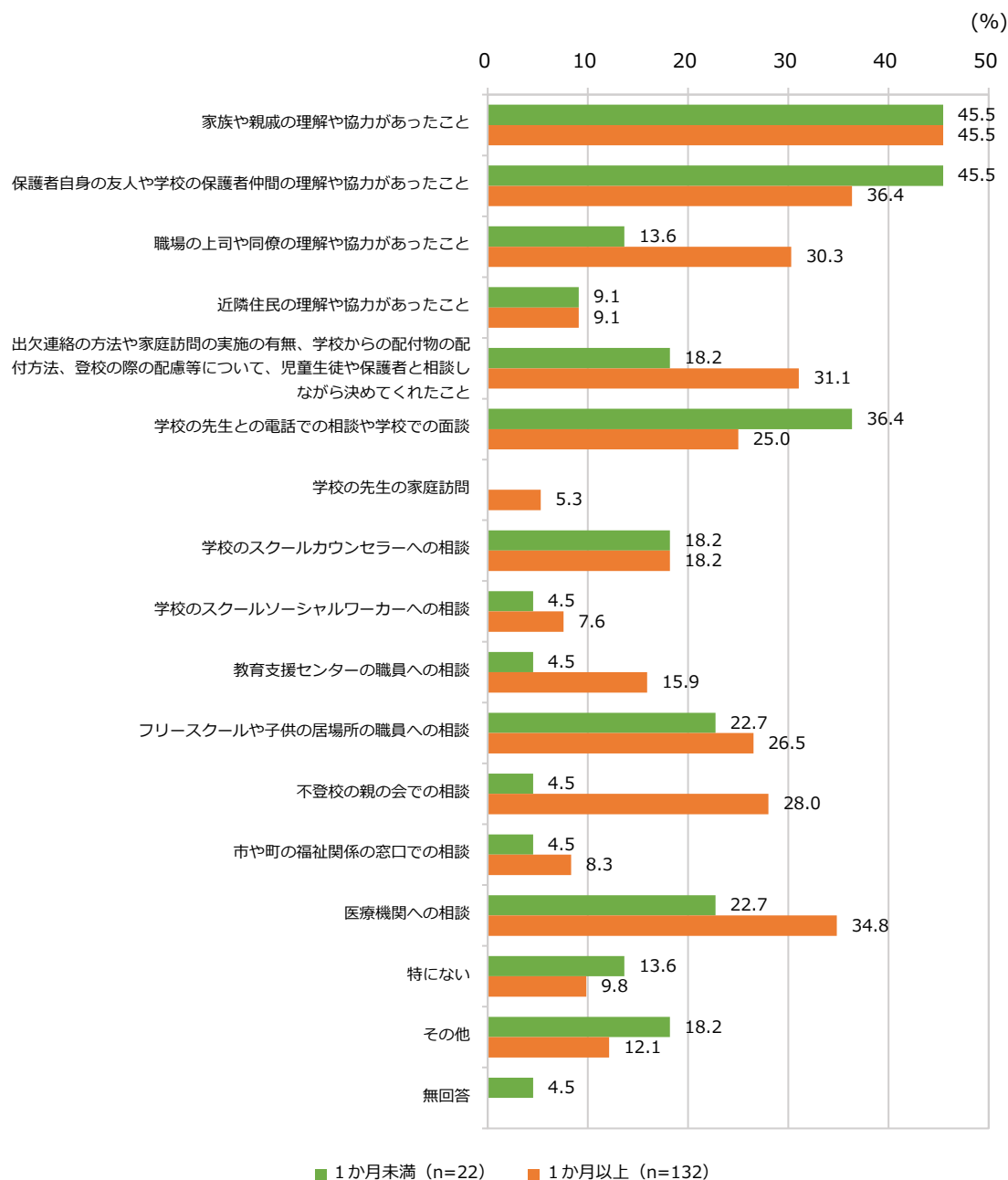
保護者の気持ちの回復や安定につながった支援についてみると、小学校では、「家族や親戚の理解や協力があったこと」の割合が45.8%と最も高い。次いで「保護者自身の友人や学校の保護者仲間の理解や協力があったこと（37.4%）」、「医療機関への相談（32.9%）」と続いている。

図表 3-21 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援



欠席期間別にみると、小学校では、1か月以上において「職場の上司や同僚の理解や協力があつたこと」「不登校の親の会での相談」の回答割合が1か月未満と比べて高い。

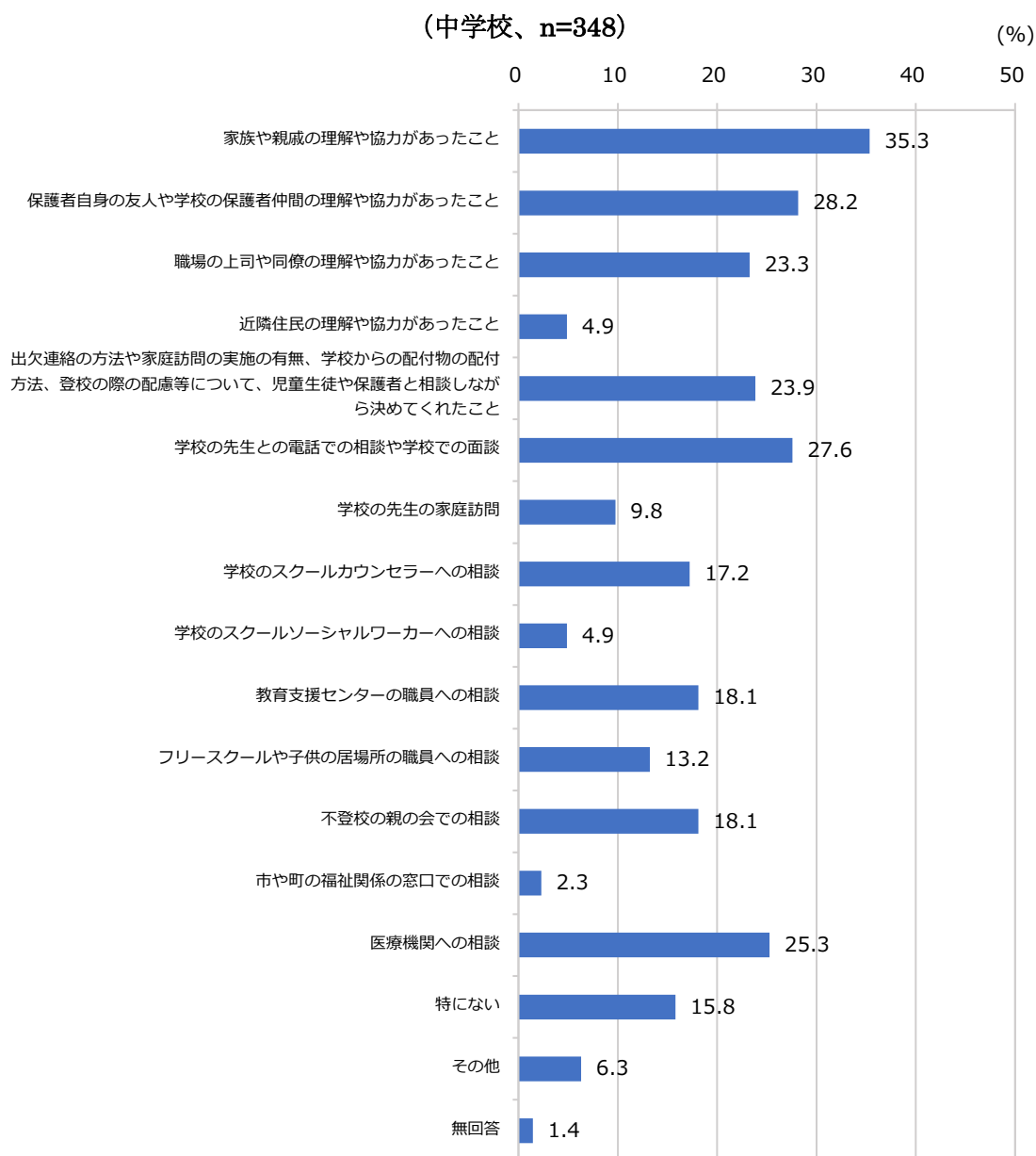
図表 3-22 保護者の気持ちの回復や安定につながつた支援
(小学校、欠席期間別)



(2) 中学校

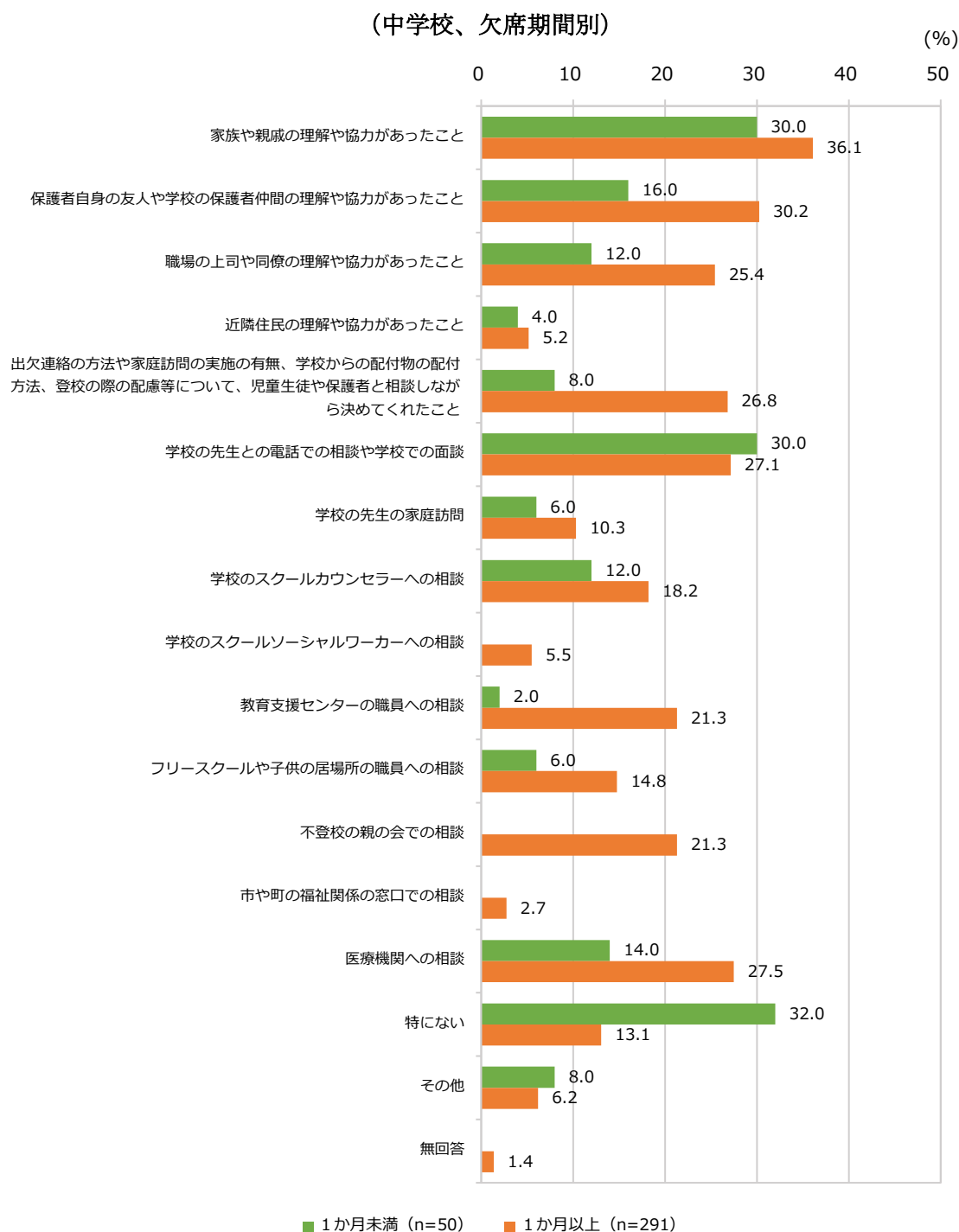
保護者の気持ちの回復や安定につながった支援についてみると、中学校では、「家族や親戚の理解や協力があったこと」の割合が 35.3%と最も高い。次いで「保護者自身の友人や学校の保護者仲間の理解や協力があったこと（28.2%）」、「学校の先生との電話での相談や学校での面談（27.6%）」となっている。

図表 3-23 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援



欠席期間別にみると、中学校では、1か月未満は「特にない」と回答した割合が最も高く、次いで「家族や親戚の理解や協力があったこと」となっている。1か月以上では「家族や親戚の理解や協力があったこと」の割合が最も高く、次いで「保護者自身の友人や学校の保護者仲間との理解や協力があったこと」となっている。

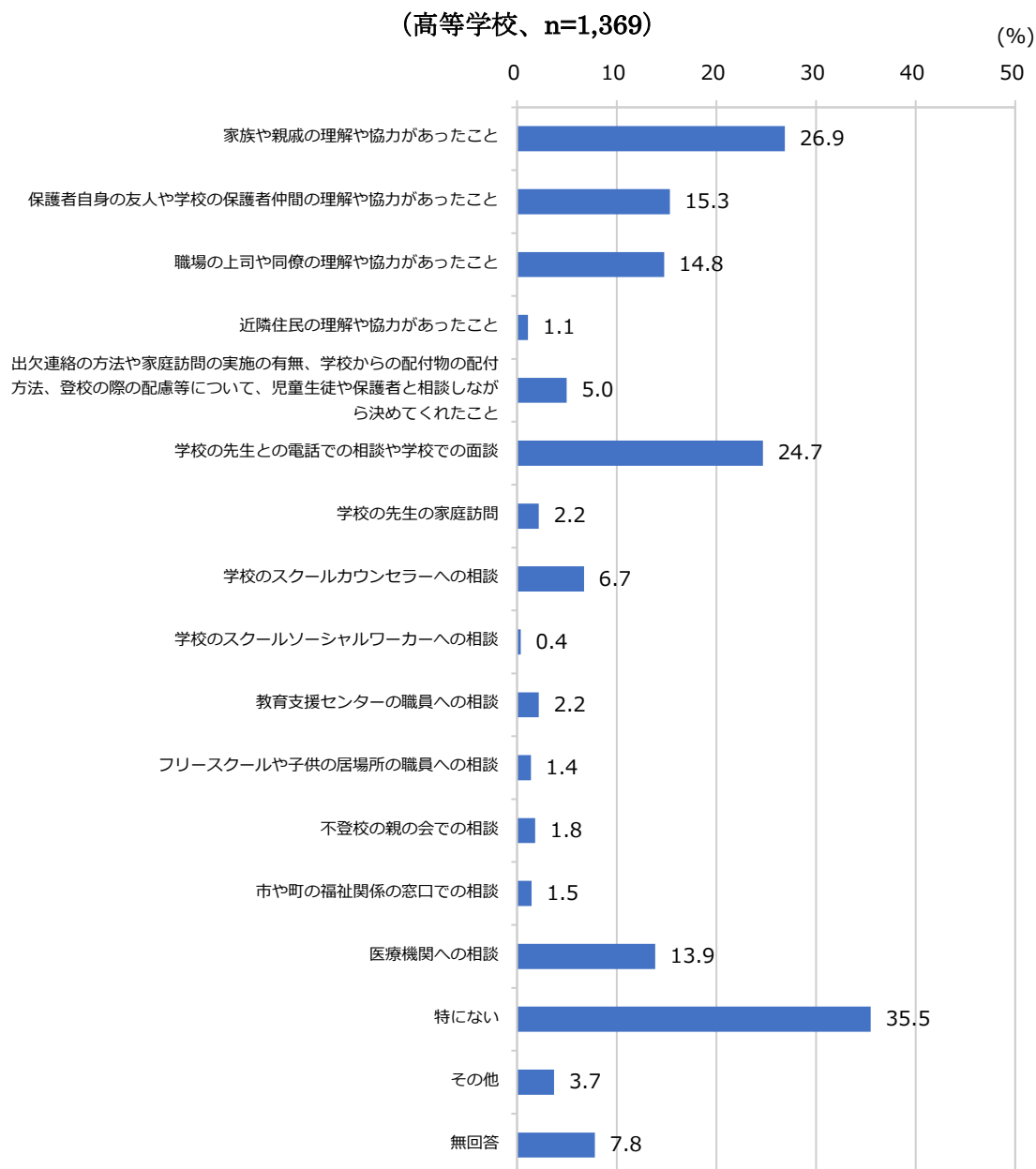
図表 3-24 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援



(3) 高等学校

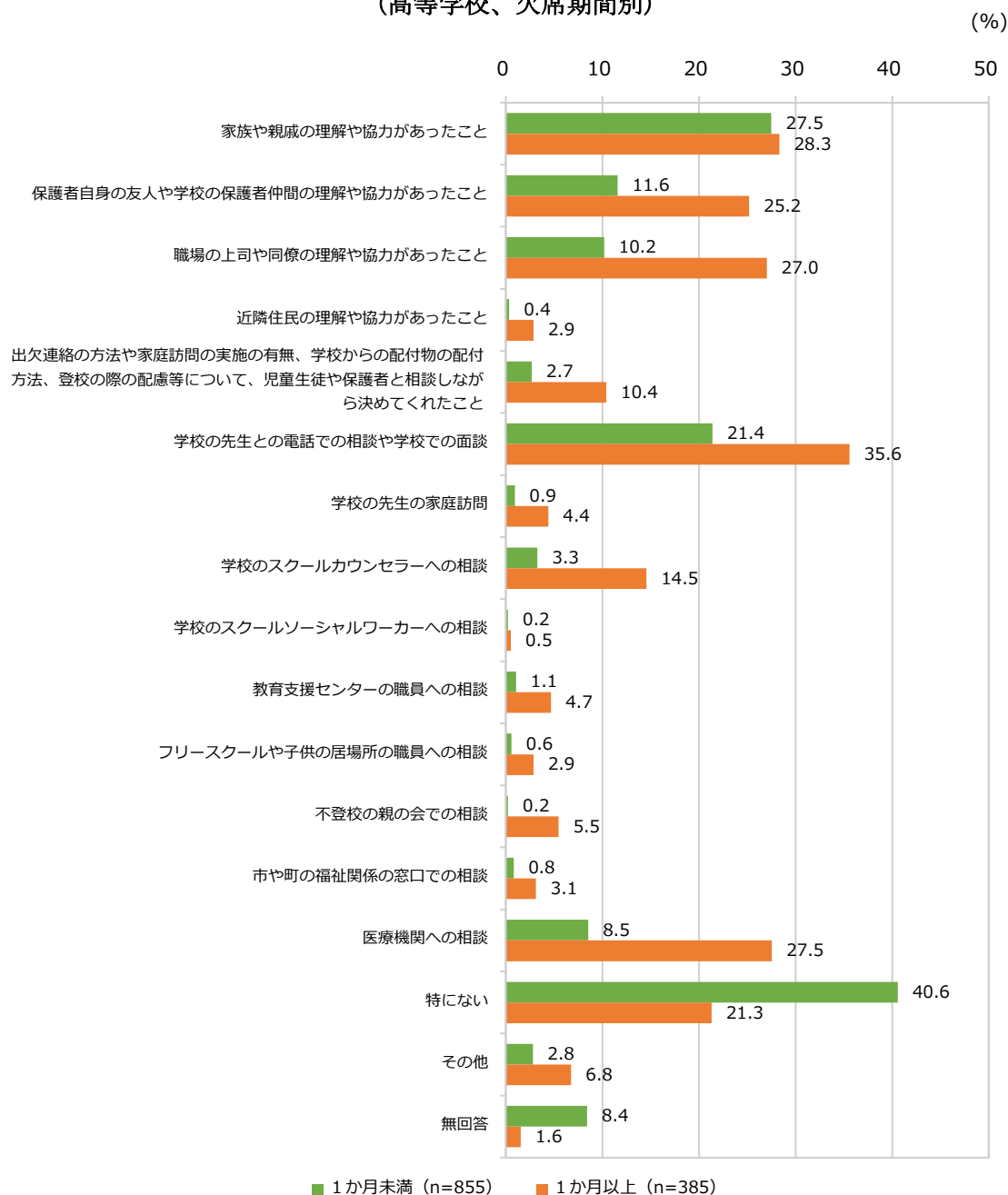
保護者の気持ちの回復や安定につながった支援についてみると、高等学校では、「特にない」の割合が35.5%と最も高い。次いで「家族や親戚の理解や協力があったこと(26.9%)」、「学校の先生との電話での相談や学校での面談(24.7%)」と続いている。

図表 3-25 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援



欠席期間別にみると、高等学校では、1か月未満は「特にない」と回答した割合が最も高く、次いで「家族や親戚の理解や協力があったこと」となっている。1か月以上では「学校の先生との電話での相談や学校での面談」が最も高い。「特にない」の割合は2割程度と1か月未満に比べて低い。

図表 3-26 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援
(高等学校、欠席期間別)

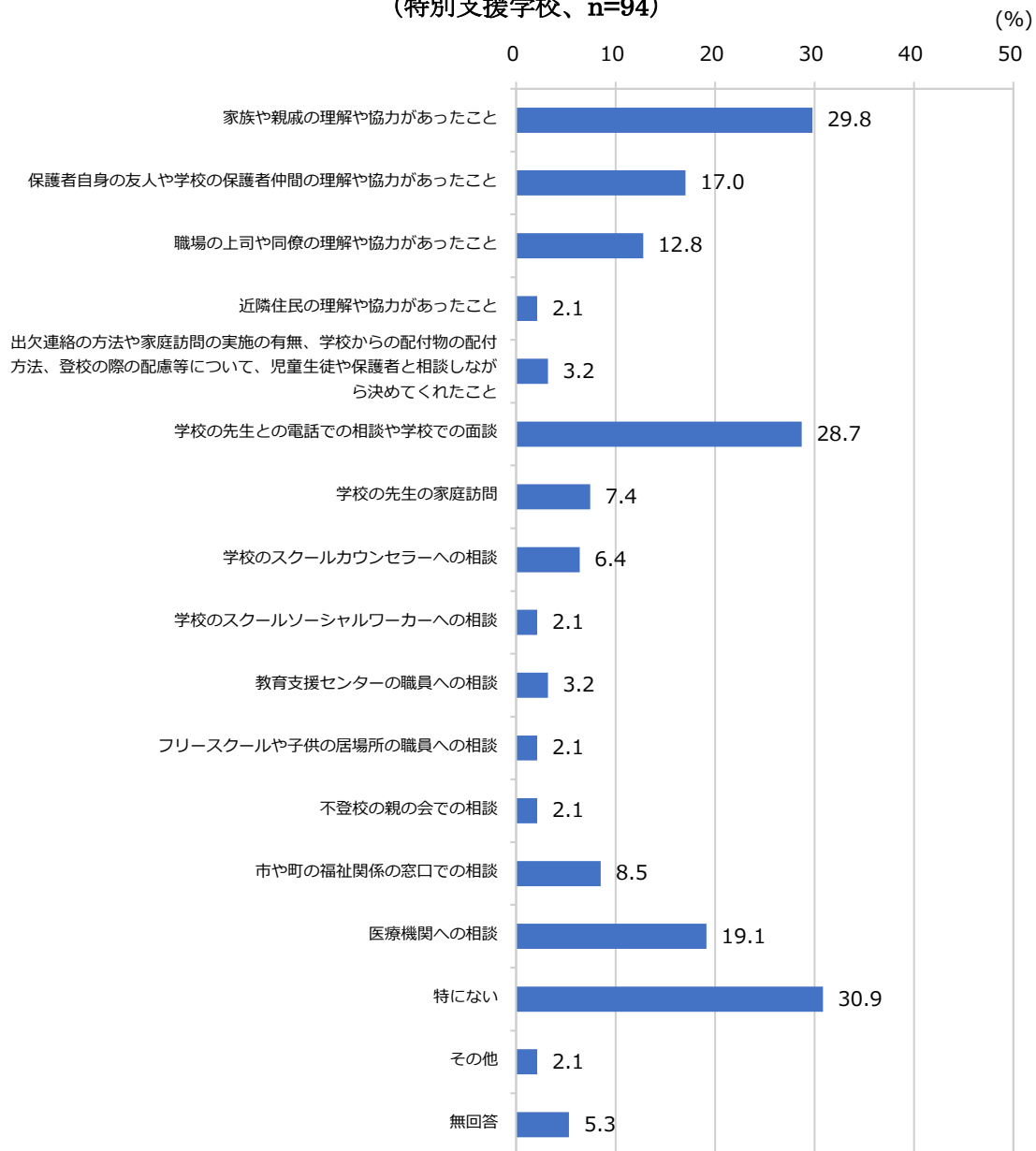


(4)特別支援学校

保護者の気持ちの回復や安定につながった支援についてみると、特別支援学校では、「特にない」の割合が30.9%と最も高い。次いで「家族や親戚の理解や協力があったこと(29.8%)」、「学校の先生との電話での相談や学校での面談(28.7%)」と続いている。

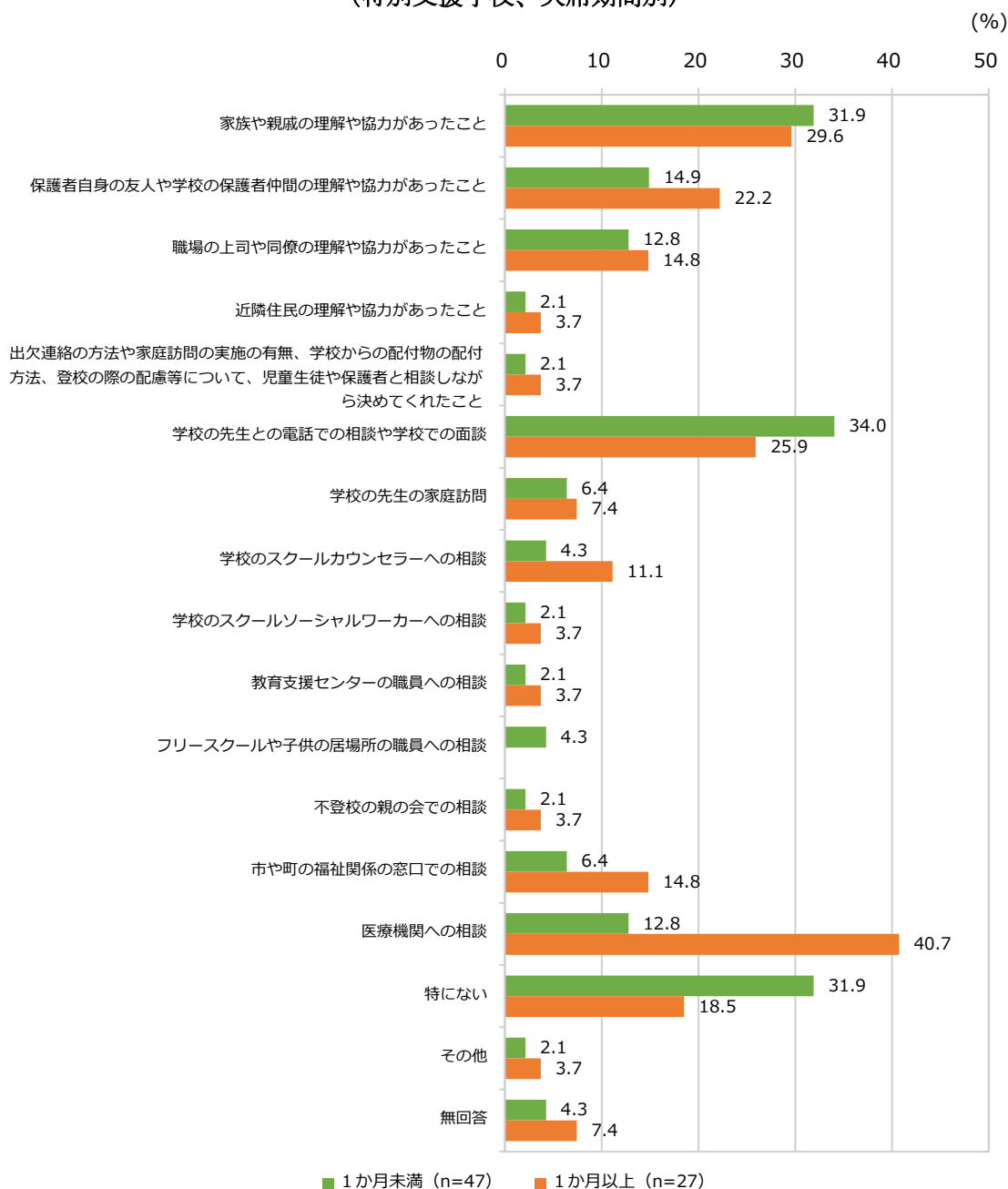
図表 3-27 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援

(特別支援学校、n=94)



欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月未満は「学校の先生との電話での相談や学校での面談」が最も高く、次いで「家族や親戚の理解や協力があったこと」となっている。1か月以上では「医療機関への相談」が最も高く、次いで「家族や親戚の理解や協力があったこと」となっている。

図表 3-28 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援
(特別支援学校、欠席期間別)



3-2-3 保護者が学校や先生に期待すること

22 お子さまにとって学校が安心して学んだり生活できたりする場所になるために、学校や先生にどのようなことを期待しますか。（複数回答）。

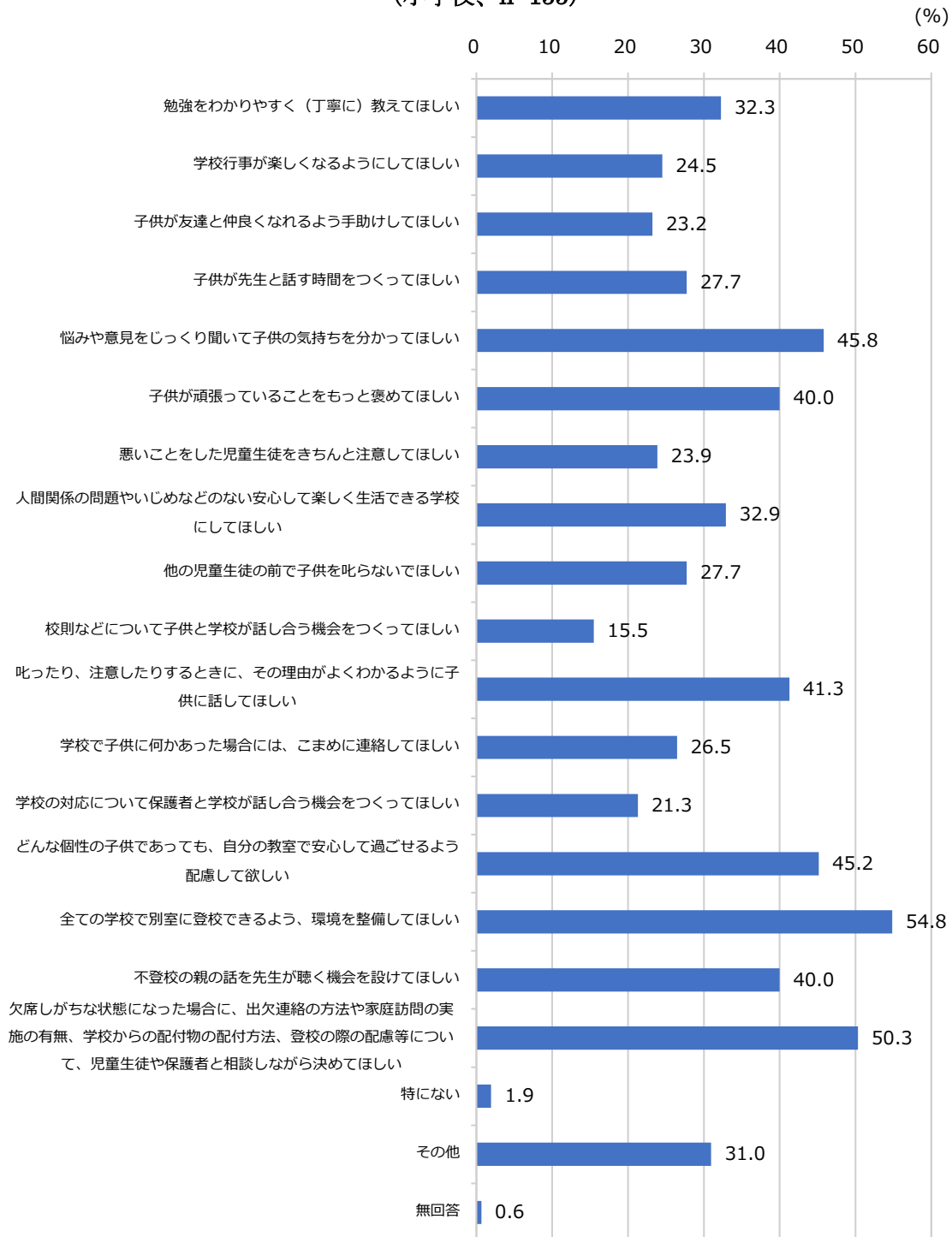
(1) 小学校

学校や先生に期待することについてみると、小学校では、「全ての学校で別室に登校できるよう、環境を整備してほしい」の割合が 54.8% と最も高い。次いで、「欠席しがちな状態になった場合に、出欠連絡の方法や家庭訪問の実施の有無、学校からの配布物の配布方法、登校の際の配慮等について、児童生徒や保護者と相談しながら決めてほしい」が 50.3% となっている。

欠席期間別にみると、小学校では、1か月以上で「欠席しがちな状態になった場合に、出欠連絡の方法や家庭訪問の実施の有無、学校からの配布物の配布方法、登校の際の配慮等について、児童生徒や保護者と相談しながら決めてほしい」が 53.0% と1か月未満と比べて割合が高い。

図表 3-29 保護者が学校や先生に期待すること

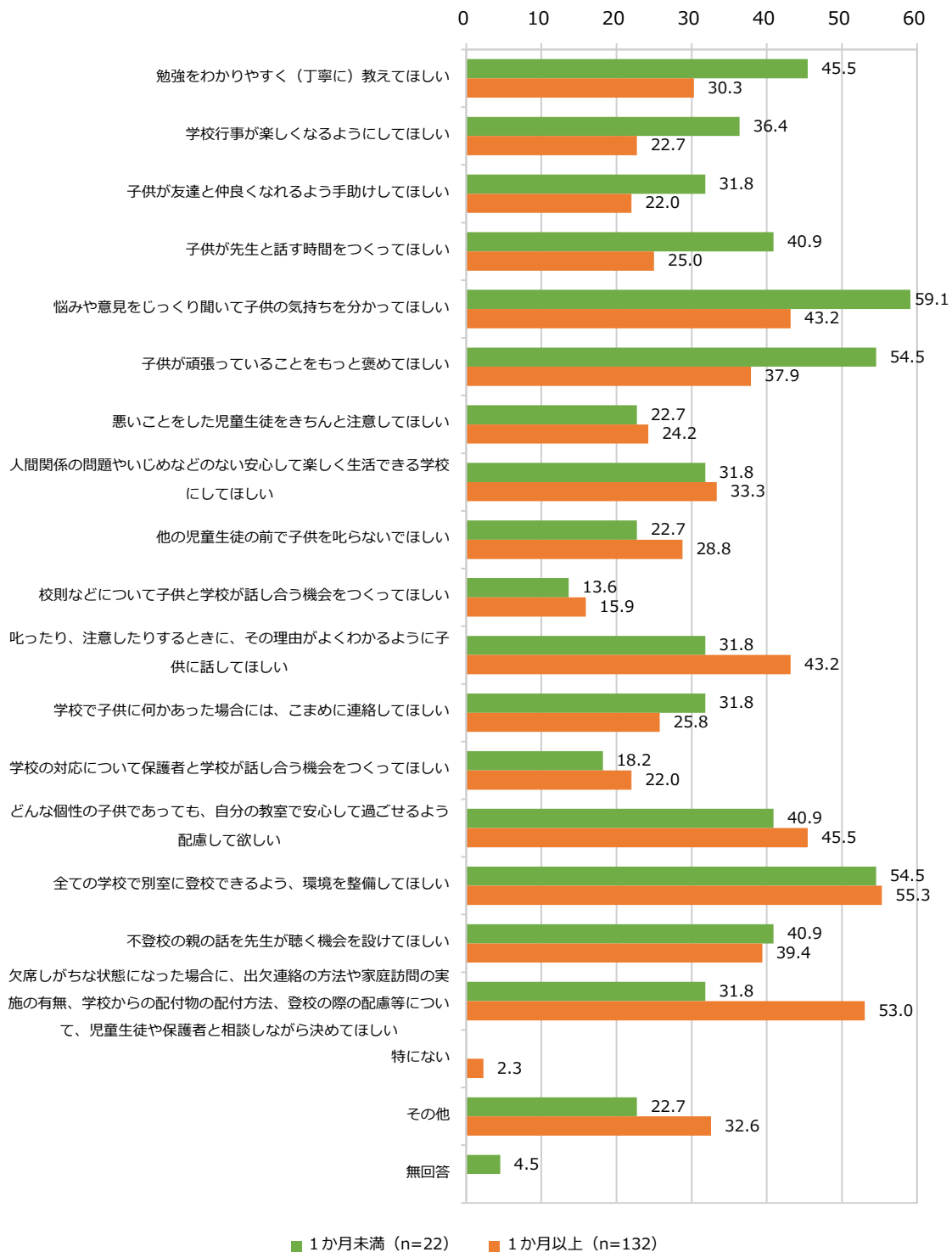
(小学校、n=155)



図表 3-30 保護者が学校や先生に期待すること

(小学校、欠席期間別)

(%)



(2)中学校

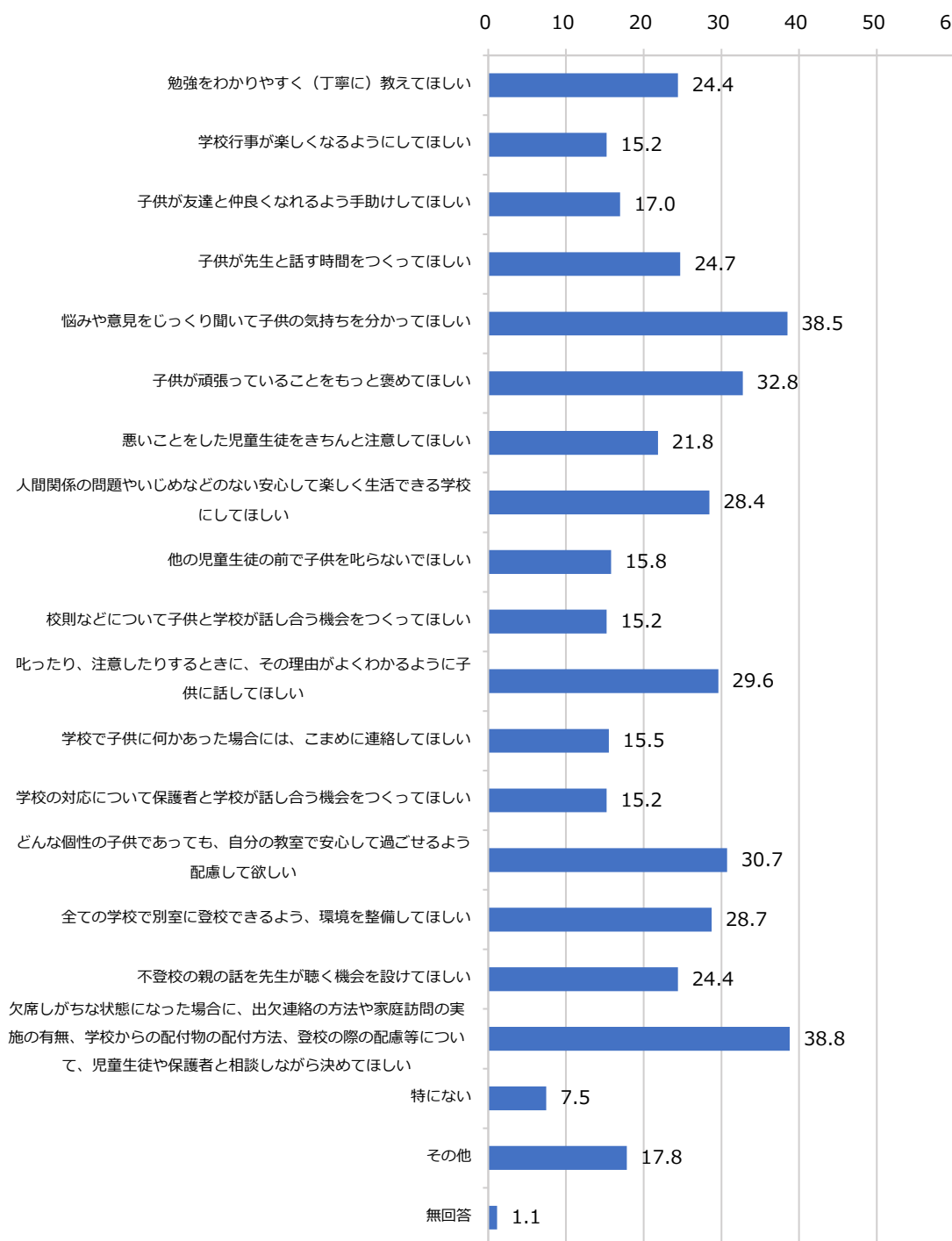
学校や先生に期待することについてみると、中学校では、「欠席しがちな状態になった場合に、出欠連絡の方法や家庭訪問の実施の有無、学校からの配布物の配布方法、登校の際の配慮等について、児童生徒や保護者と相談しながら決めてほしい」の割合が38.8%と最も高く、「悩みや意見をじっくり聞いて子供の気持ちを分かってほしい(38.5%)」が続く。

欠席期間別にみると、中学校では、1か月以上では1か月未満と比べて「欠席しがちな状態になった場合に、出欠連絡の方法や家庭訪問の実施の有無、学校からの配布物の配布方法、登校の際の配慮等について、児童生徒や保護者と相談しながら決めてほしい」「どんな個性の子供であっても、自分の教室で安心して過ごせるよう配慮して欲しい」の割合が高い。

図表 3-31 保護者が学校や先生に期待すること

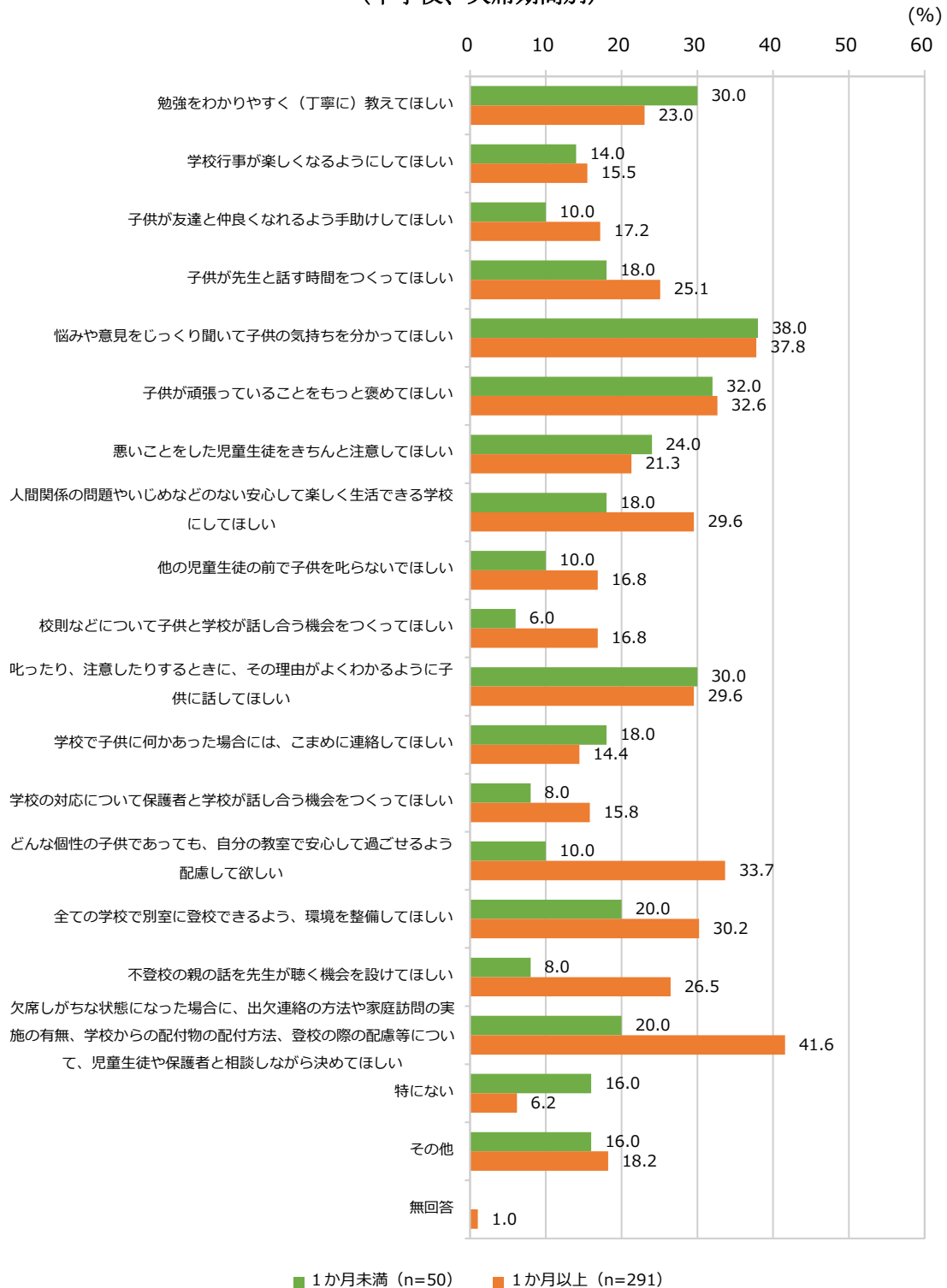
(中学校、n=348)

(%)



図表 3-32 保護者が学校や先生に期待すること

(中学校、欠席期間別)



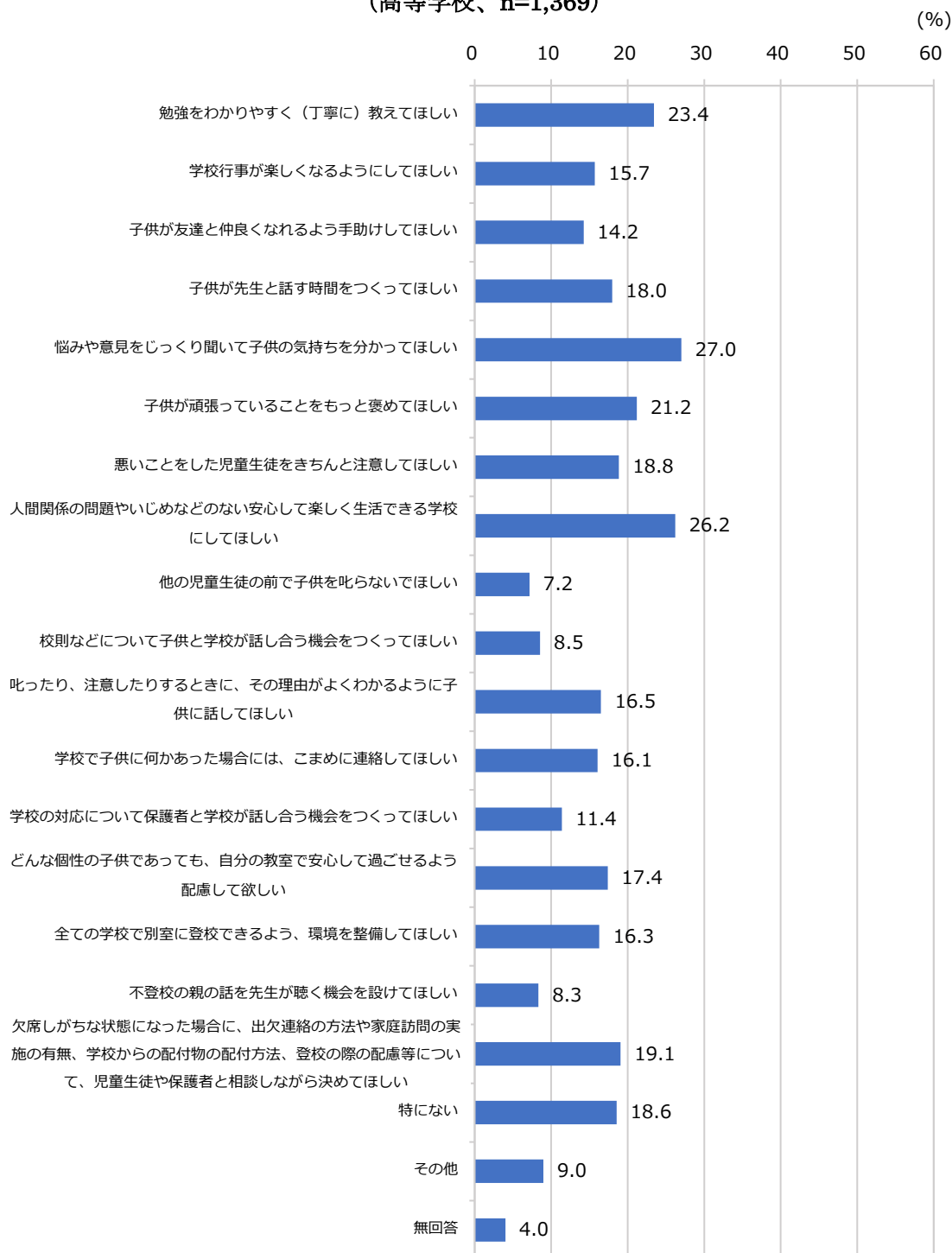
(3)高等学校

学校や先生に期待することについてみると、高等学校では、「悩みや意見をじっくり聞いて子供の気持ちを分かってほしい」の割合が 27.0%と最も高い。次いで、「人間関係の問題やいじめなどのない安心して楽しく生活できる学校にしてほしい (26.2%)」、「勉強をわかりやすく (丁寧に) 教えてほしい (23.4%)」と続いている。

欠席期間別にみると、高等学校では、1か月以上では1か月未満と比べて「悩みや意見をじっくり聞いて子供の気持ちを分かってほしい」、「欠席しがちな状態になった場合に、出欠連絡の方法や家庭訪問の実施の有無、学校からの配布物の配布方法、登校の際の配慮等について、児童生徒や保護者と相談しながら決めてほしい」「全ての学校で別室に登校できるよう、環境を整備してほしい」等の割合が高い。

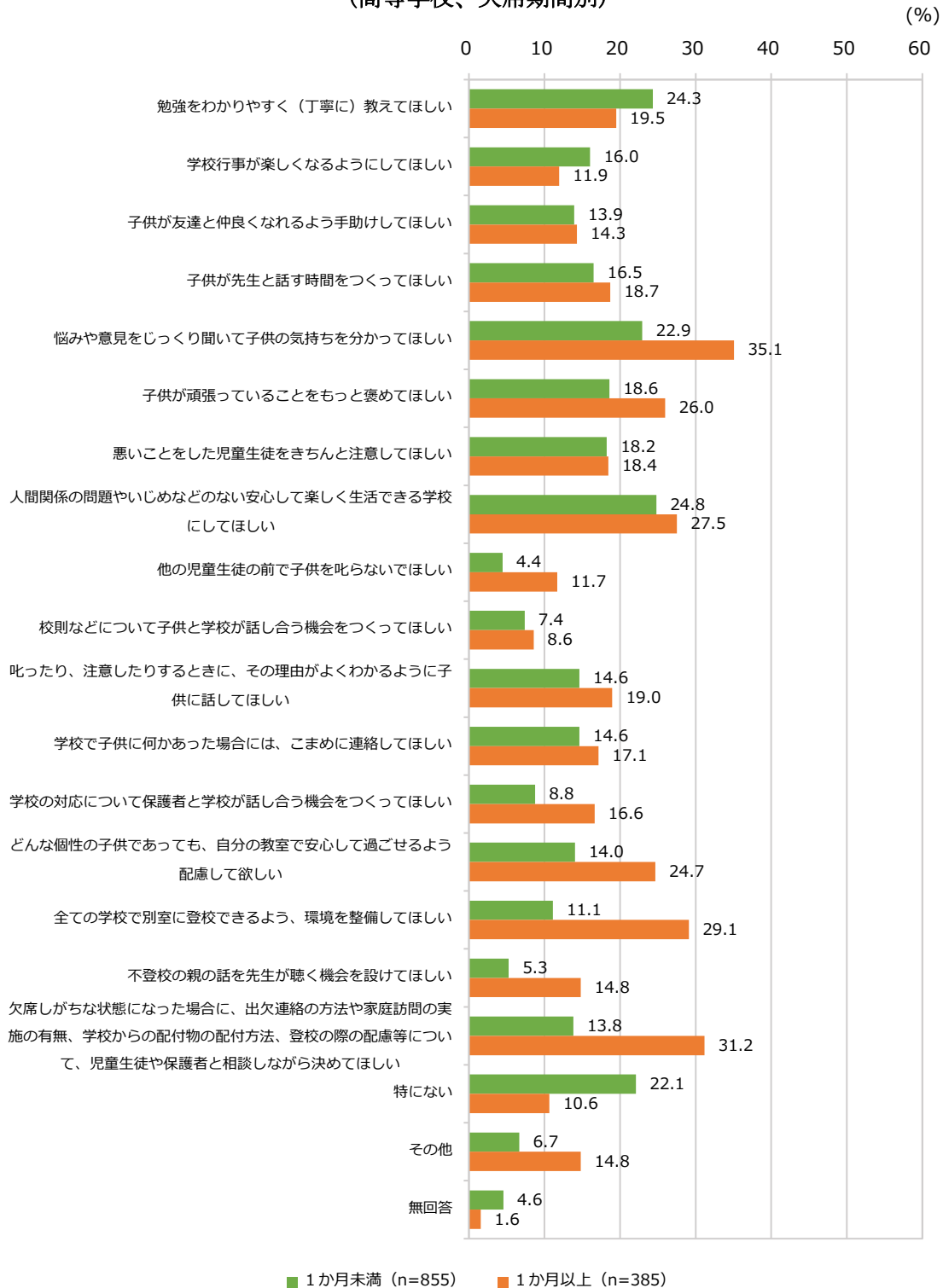
図表 3-33 保護者が学校や先生に期待すること

(高等学校、n=1,369)



図表 3-34 保護者が学校や先生に期待すること

(高等学校、欠席期間別)



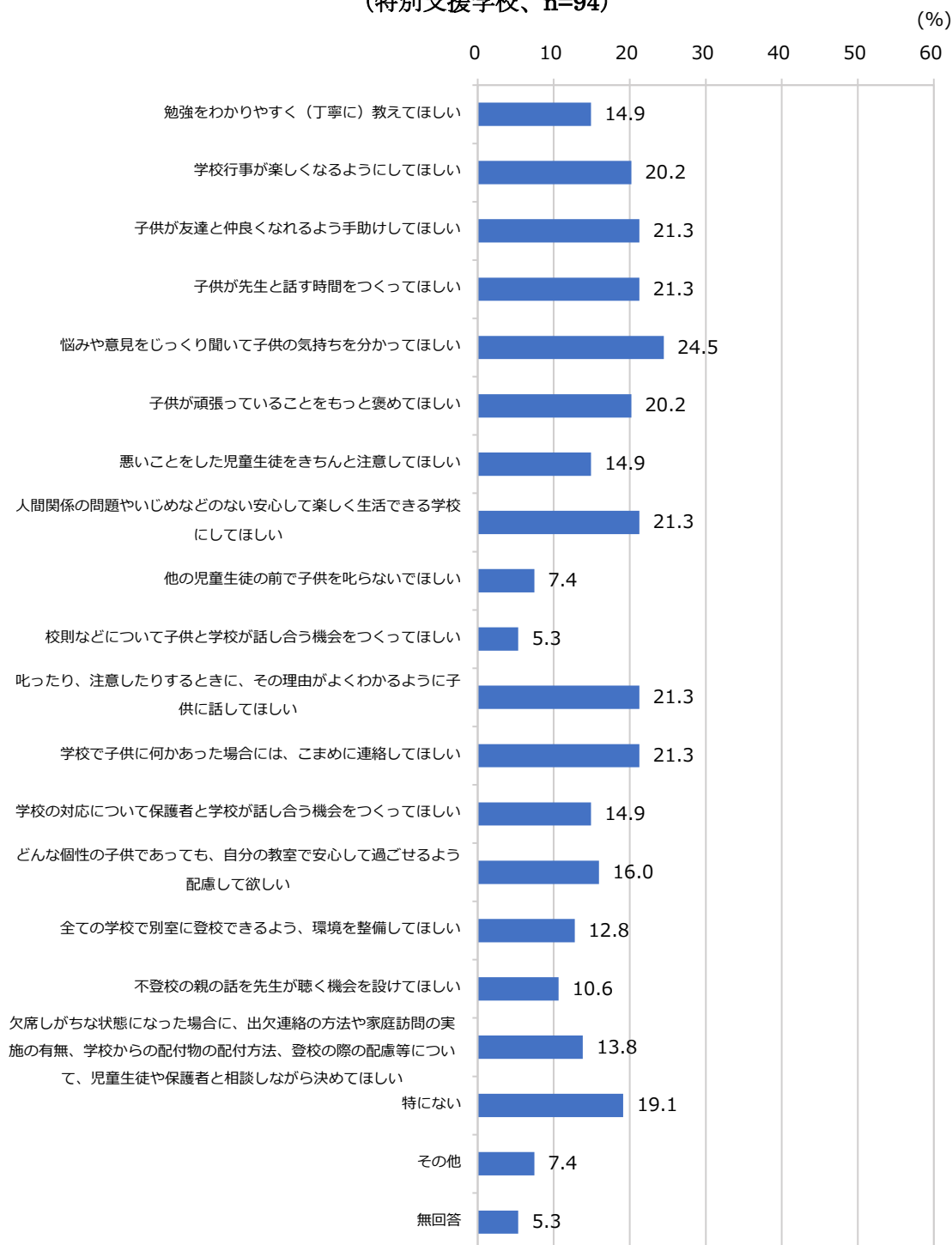
(4)特別支援学校

学校や先生に期待することについてみると、特別支援学校では、「悩みや意見をじっくり聞いて子供の気持ちを分かってほしい」の割合が24.5%と最も高い。次いで、「子供が友達と仲良くなれるよう手助けしてほしい」、「子供が先生と話す時間を作ってほしい」、「人間関係の問題やいじめなどのない安心して楽しく生活できる学校にしてほしい」、「叱ったり、注意したりするときに、その理由がよくわかるように子供に話してほしい」、「学校で子供に何かあった場合には、こまめに連絡してほしい」が並んで21.3%となっている。

欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月未満で「悩みや意見をじっくり聞いて子供の気持ちを分かってほしい」の割合が最も高く、1か月以上では33.3%が「欠席しがちな状態になった場合に、出欠連絡の方法や家庭訪問の実施の有無、学校からの配布物の配布方法、登校の際の配慮等について、児童生徒や保護者と相談しながら決めてほしい」と回答している。

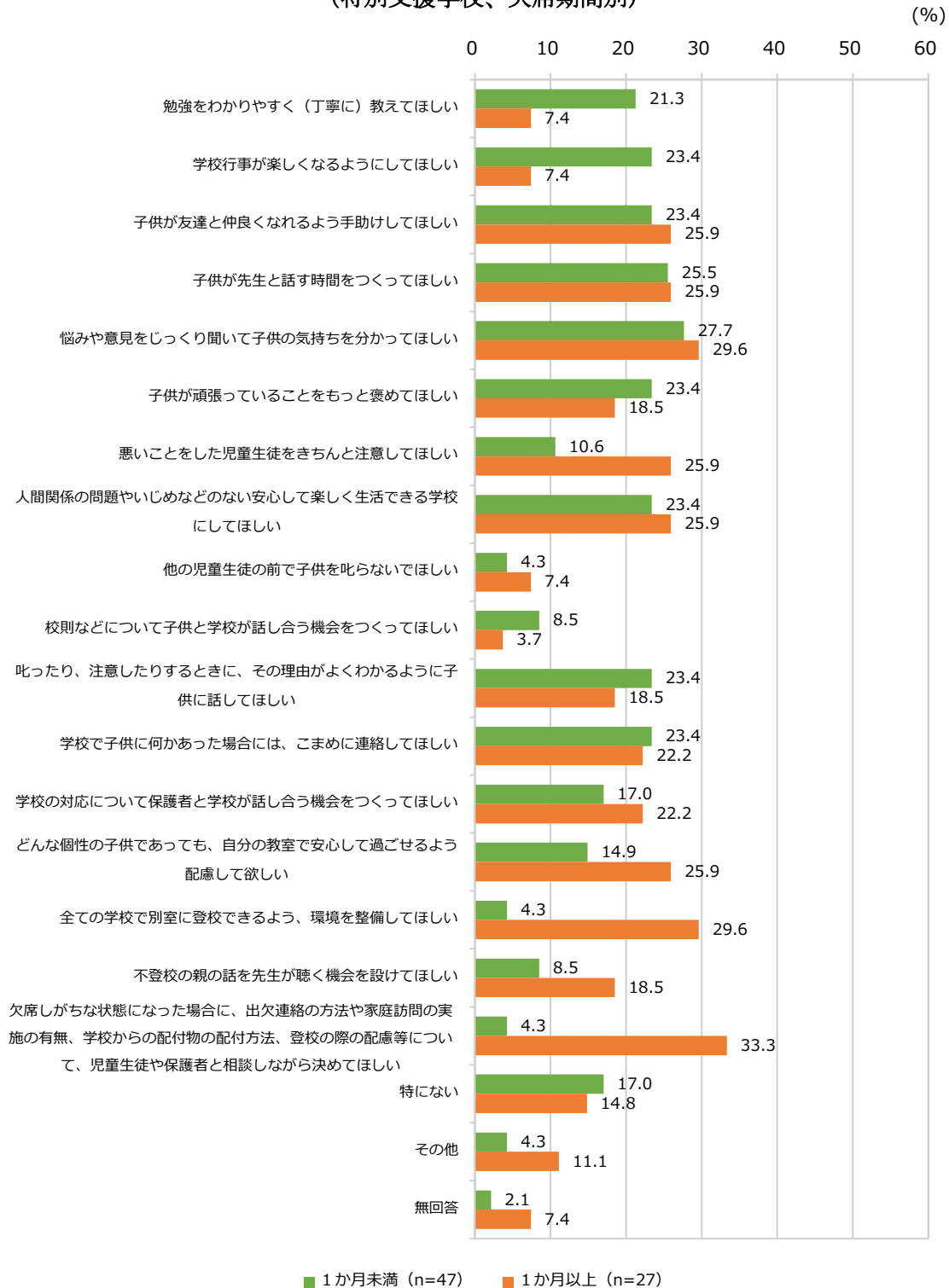
図表 3-35 保護者が学校や先生に期待すること

(特別支援学校、n=94)



図表 3-36 保護者が学校や先生に期待すること

(特別支援学校、欠席期間別)



3-2-4 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組

23 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて、今後どのような取組が必要と思いますか。（複数回答）。

(1) 小学校

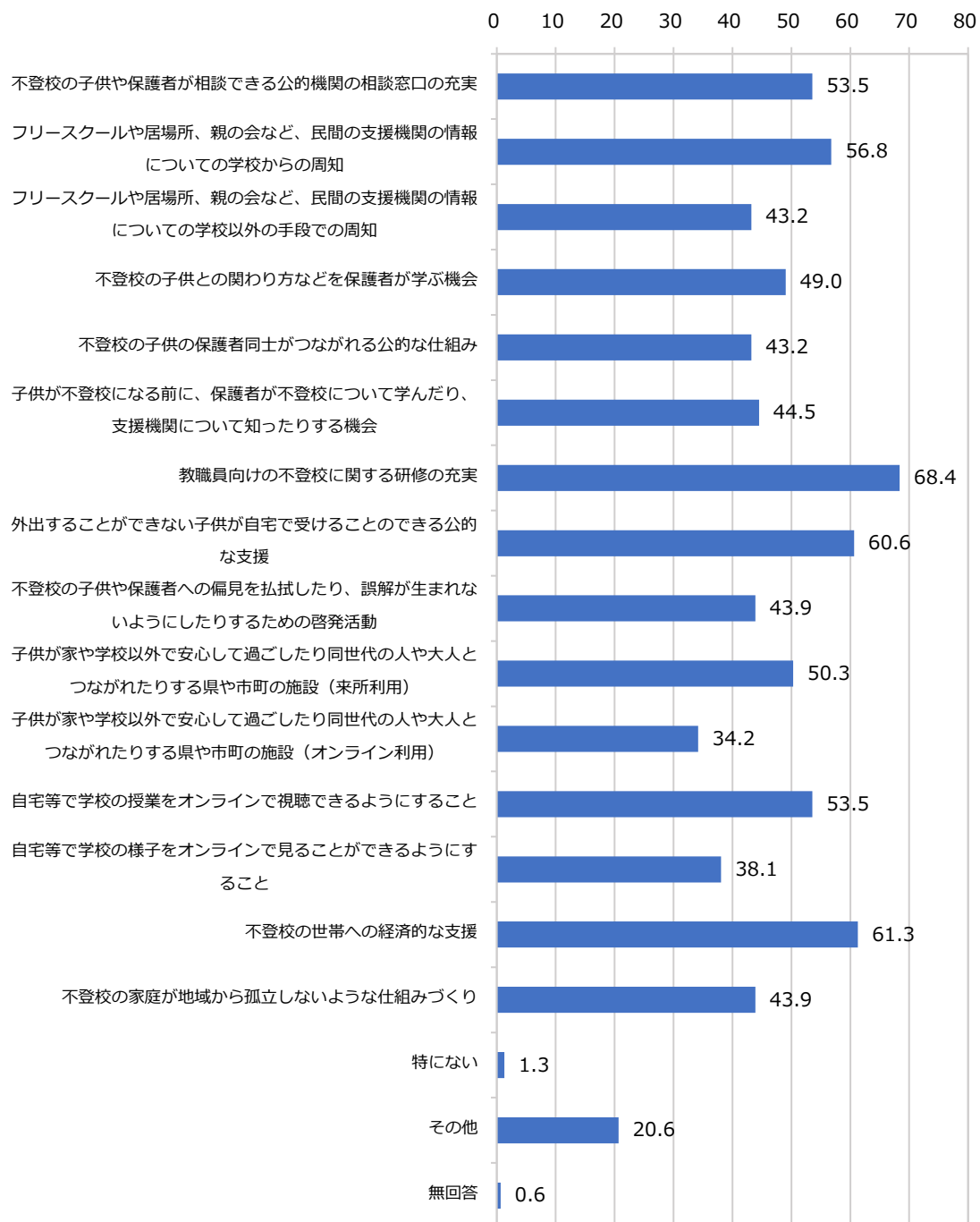
不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組についてみると、小学校では、「教員向けの不登校に関する研修の充実」の割合が68.4%と最も高い。次いで、「不登校の世帯への経済的な支援（61.3%）」となっている。

欠席期間別にみると、小学校では、1か月未満は、「不登校の子供や保護者が相談できる公的機関の相談窓口の充実（54.5%）」に次いで、「教職員向けの不登校に関する研修の充実（50.0%）」、「自宅等で学校の授業をオンラインで視聴できるようにすること（50.0%）」となっている。1か月以上は、「教職員向けの不登校に関する研修の充実（72.0%）」に次いで、「不登校の世帯への経済的な支援（66.7%）」「外出することができない子供が自宅で受けることのできる公的な支援（65.2%）」となっている。

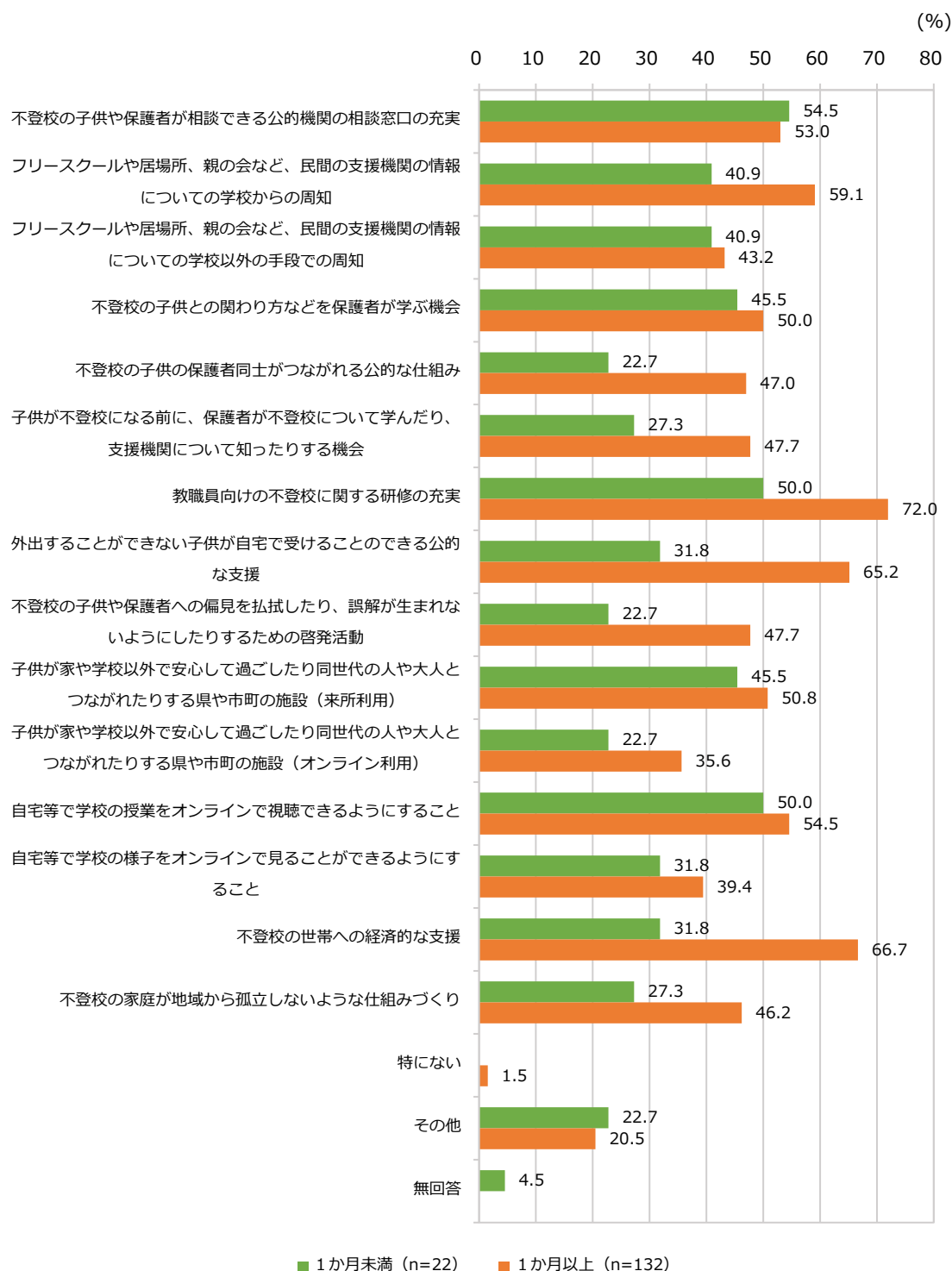
図表 3-37 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組

(小学校、n=155)

(%)



図表 3-38 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組
(小学校、欠席期間別)

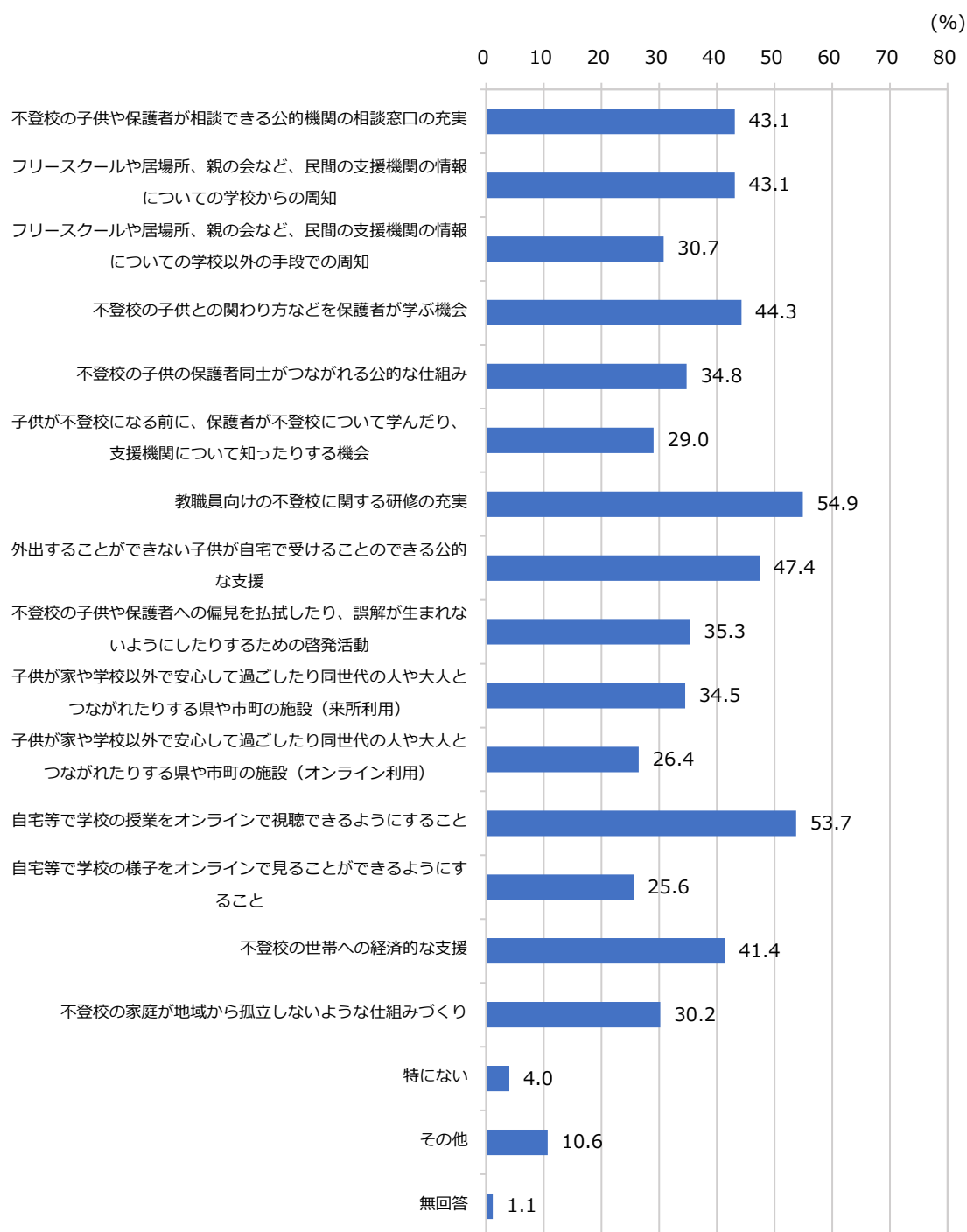


(2)中学校

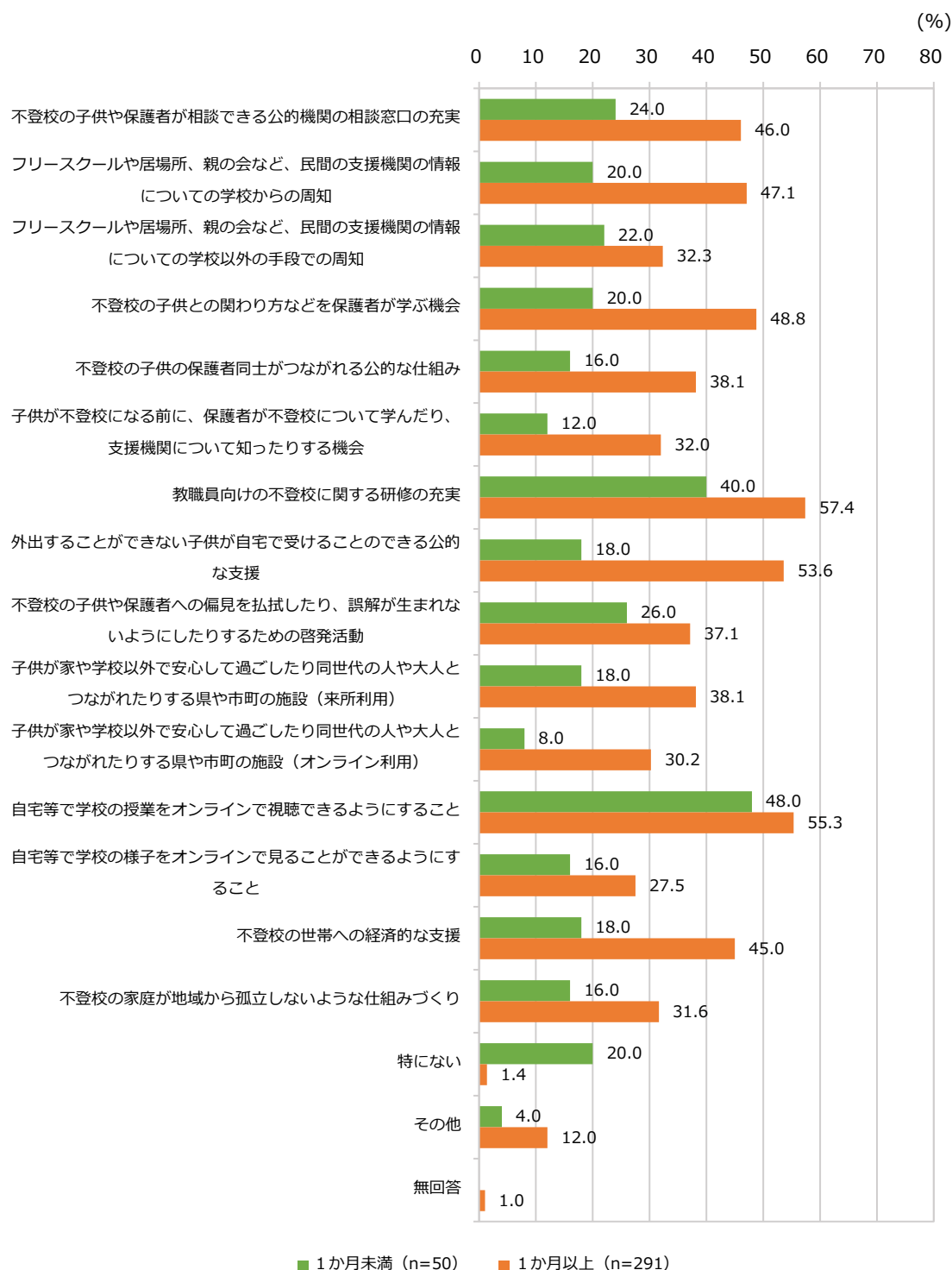
不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組についてみると、中学校では、「教職員向けの不登校に関する研修の充実」の割合が54.9%と最も高い。次いで、「自宅等で学校の授業をオンラインで視聴できるようにすること(53.7%)」となっている。

欠席期間別にみると、中学校では、1か月未満は、「自宅等で学校の授業をオンラインで視聴できるようにすること」に次いで、「教職員向けの不登校に関する研修の充実」となっている。1か月以上は、「教職員向けの不登校に関する研修の充実」に次いで、「自宅等で学校の授業をオンラインで視聴できるようにすること」「外出することができない子供が自宅で受けることのできる公的な支援」となっている。

図表 3-39 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組
(中学校、n=348)



図表 3-40 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組
(中学校、欠席期間別)

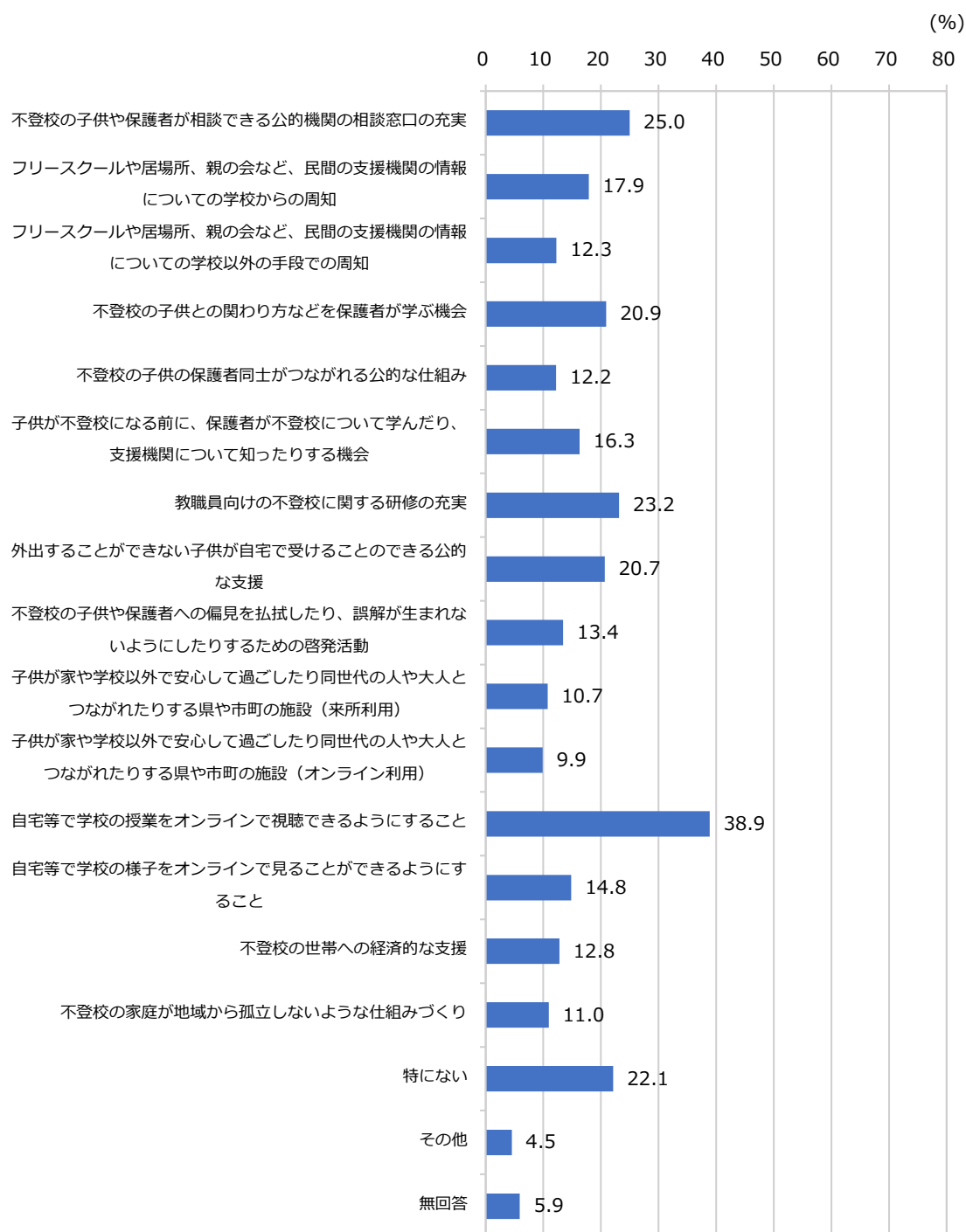


(3)高等学校

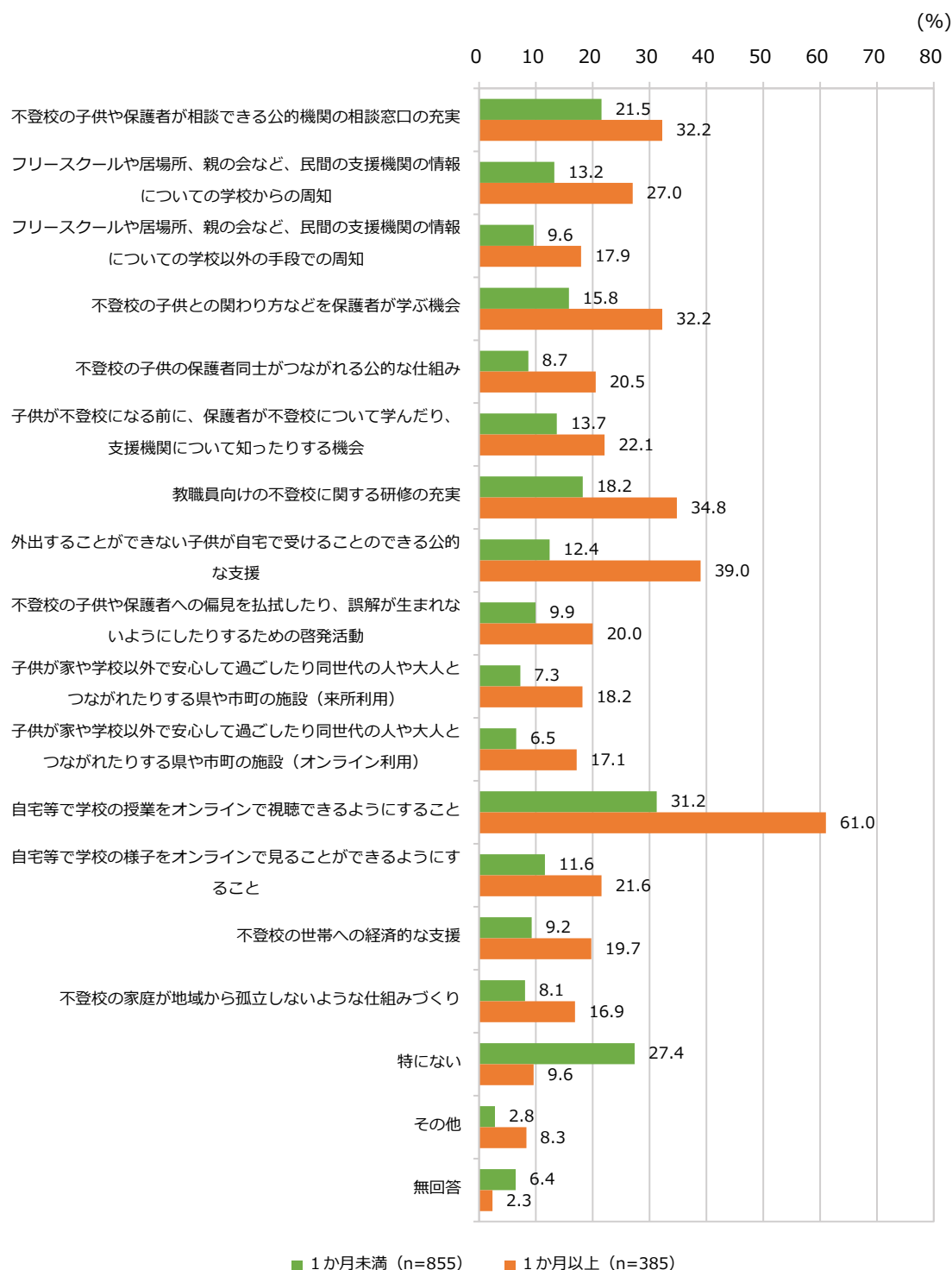
不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組についてみると、高等学校では、「自宅等で学校の授業をオンラインで視聴できるようにすること」の割合が38.9%と最も高い。次いで、「不登校の子供や保護者が相談できる公的機関の相談窓口の充実（25.0%）」になっている。

欠席期間別にみると、高等学校では、1か月未満は、「自宅等で学校の授業をオンラインで視聴できるようにすること」に次いで、「特になし」となっている。1か月以上は、「自宅等で学校の授業をオンラインで視聴できるようにすること」に次いで、「外出することができない子供が自宅で受けることのできる公的な支援」、「教職員向けの不登校に関する研修の充実」となっている。

図表 3-41 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組
(高等学校、n=1,369)



図表 3-42 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組
(高等学校、欠席期間別)

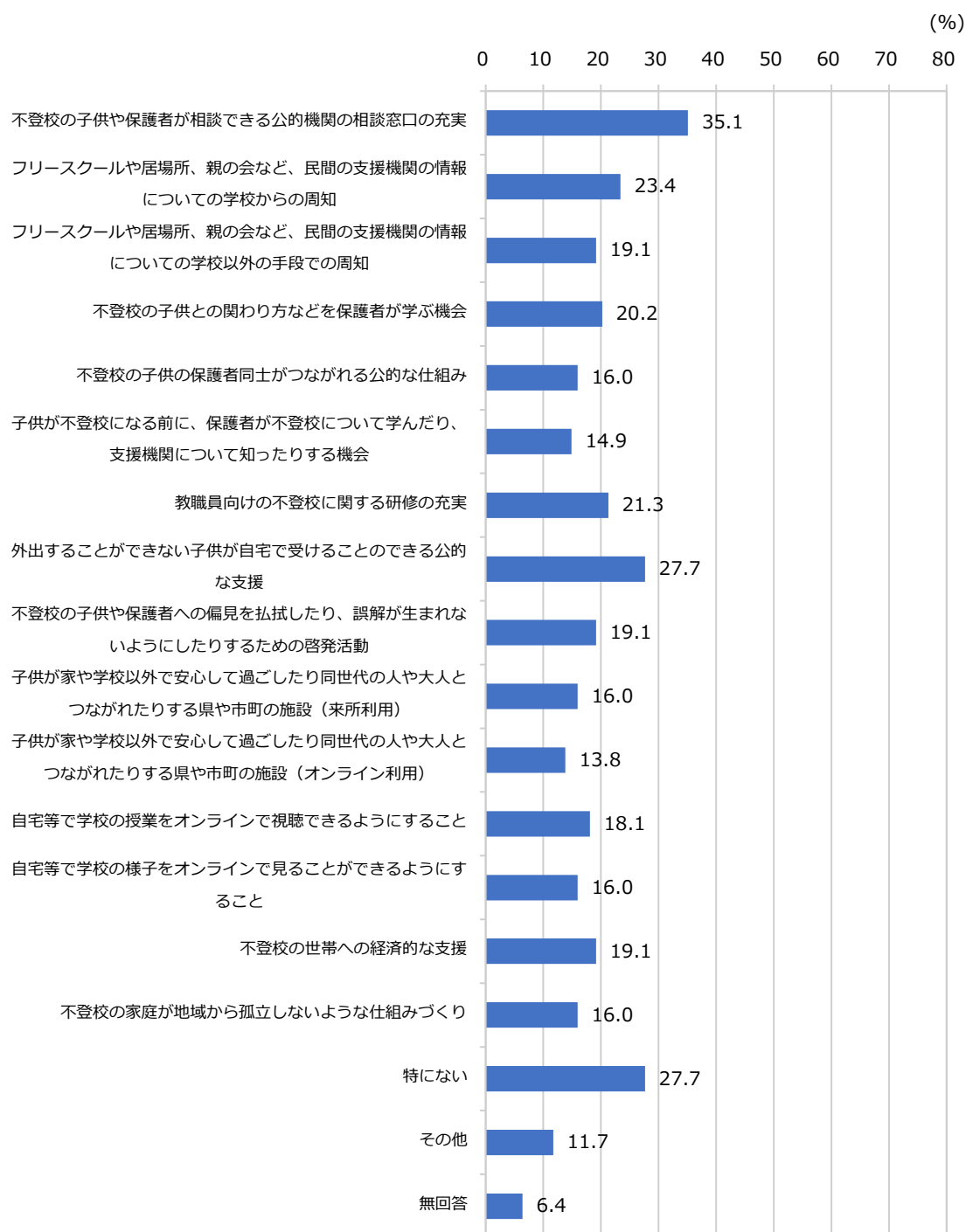


(4)特別支援学校

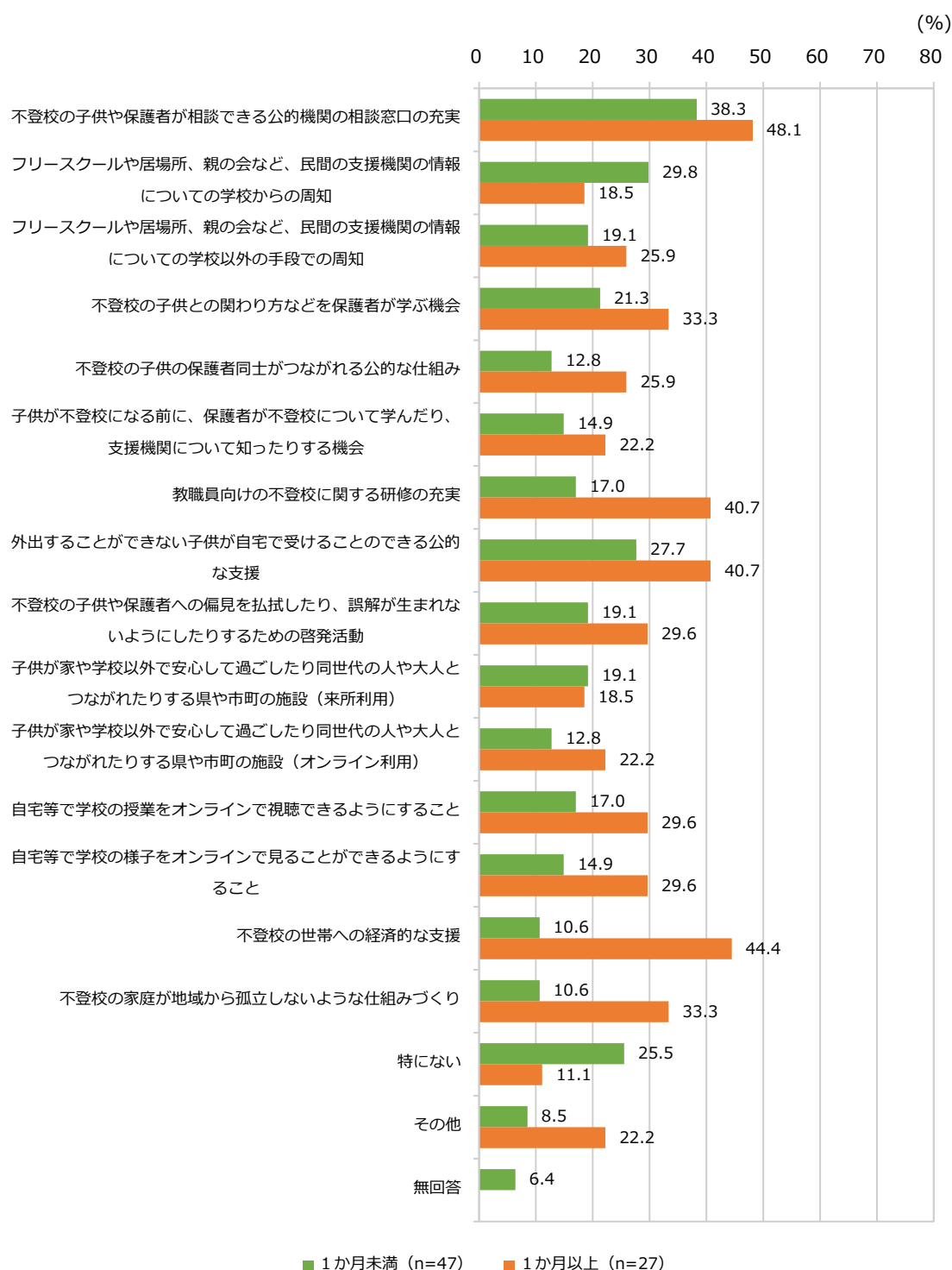
登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組についてみると、特別支援学校では、「不登校の子供や保護者が相談できる公的機関の相談窓口の充実」の割合が35.1%と最も高い。次いで、「外出することができない子供が自宅で受けることのできる公的な支援（27.7%）になっている。

欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月未満は、「不登校の子供や保護者が相談できる公的機関の相談窓口の充実」に次いで、「フリースクールや居場所、親の会など、民間の支援機関の情報についての学校からの周知」となっている。1か月以上は、「不登校の子供や保護者が相談できる公的機関の相談窓口の充実」に次いで、「不登校の世帯への経済的な支援」となっている。

図表 3-43 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組
(特別支援学校、n=94)



図表 3-44 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて今後必要な取組
(特別支援学校、欠席期間別)



3-3 子供が学校を休んでいる間の状況について

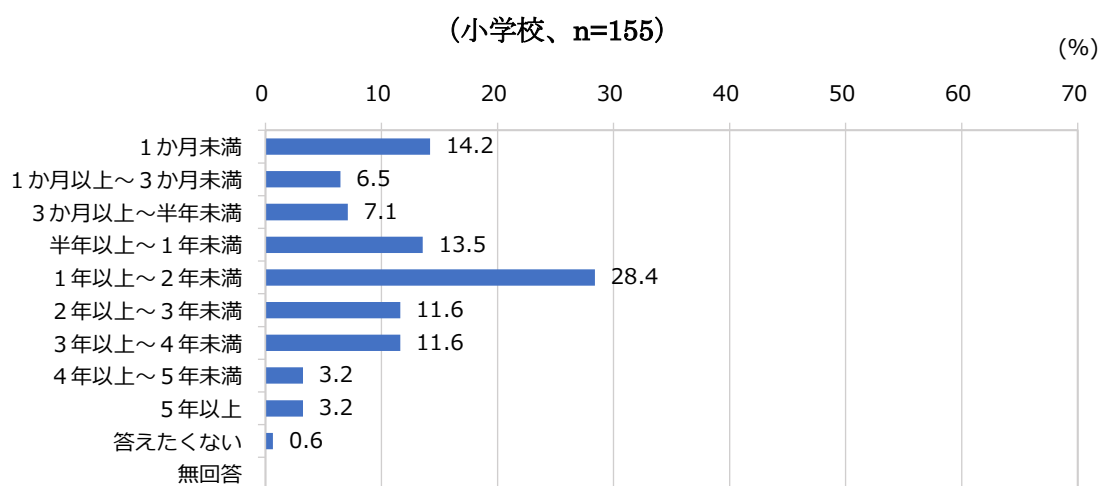
3-3-1 子どもが学校を休んでいる（休みがちになっている）約の期間

5 お子さまが学校を休んでいる（休みがちになっている）約の期間（登校したり欠席したりを繰り返している場合は、欠席日数の合計）を選んでください。

(1)小学校

子どもが学校を休んでいる約の期間は、小学校では約3割が「1年以上2年未満」となっている。1年以上が全体の約6割を占め、長期的に休んでいる子どもの割合が高い。

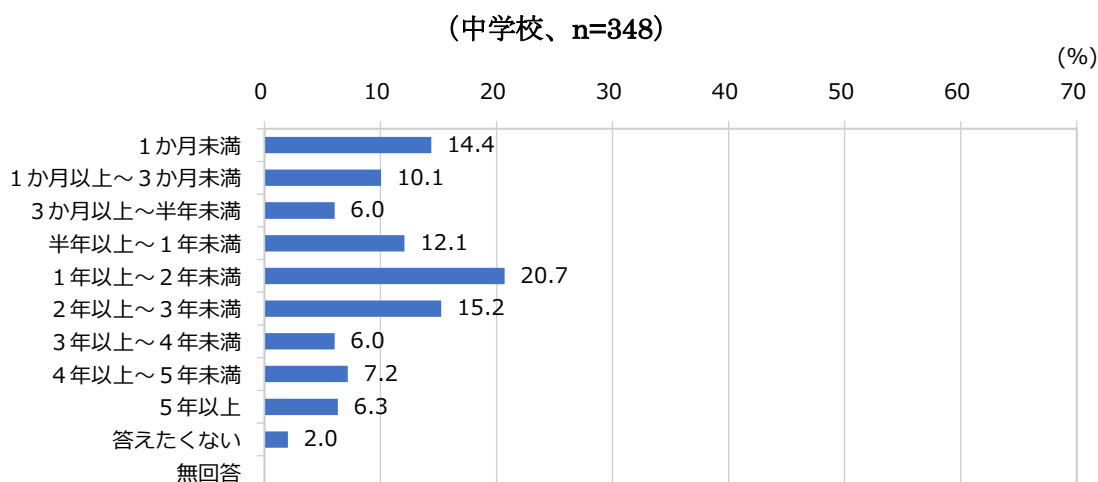
図表 3-45 子どもが学校を休んでいる（休みがちになっている）約の期間



(2)中学校

子どもが学校を休んでいる約の期間は、中学校では約2割が「1年以上2年未満」と回答している。また、1年以上が全体の約6割と長期的に休んでいる子どもの割合が高い。

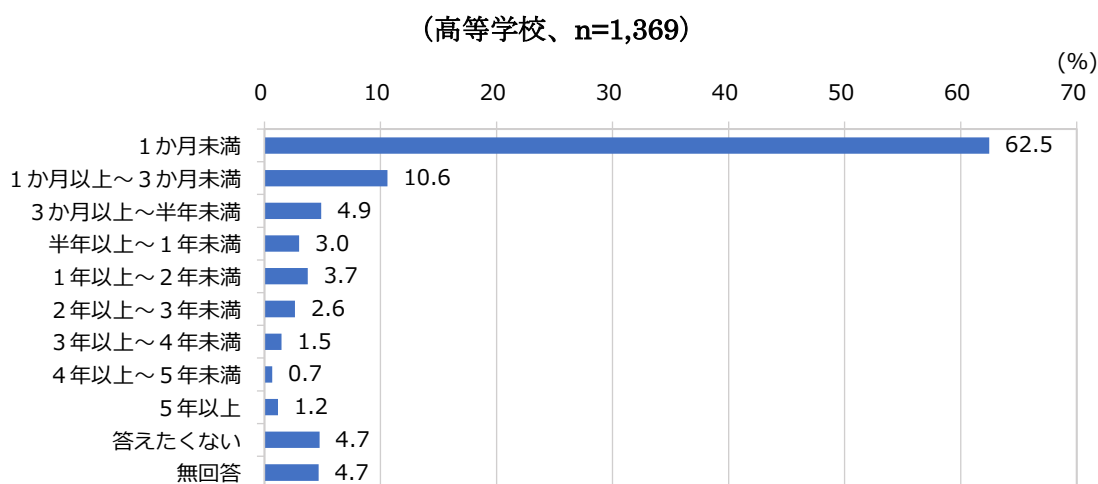
図表 3-46 子どもが学校を休んでいる（休みがちになっている）約の期間



(3)高等学校

子どもが学校を休んでいる約の期間は、高等学校では約6割が「1か月未満」と回答している。また、1年未満が全体の約8割を占め、休んでいる期間が短い傾向にある。

図表 3-47 子どもが学校を休んでいる（休みがちになっている）約の期間

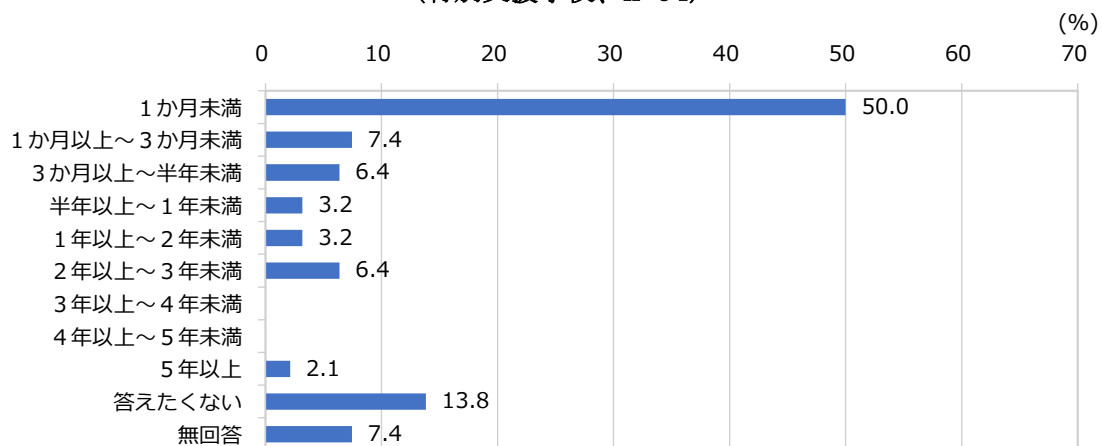


(4)特別支援学校

子どもが学校を休んでいる約の期間は、特別支援学校では約5割が「1か月未満」となっている。また、1年未満が全体の約7割を占め、休んでいる期間が短い傾向にある。

図表 3-48 子どもが学校を休んでいる（休みがちになっている）約の期間

(特別支援学校、n=94)



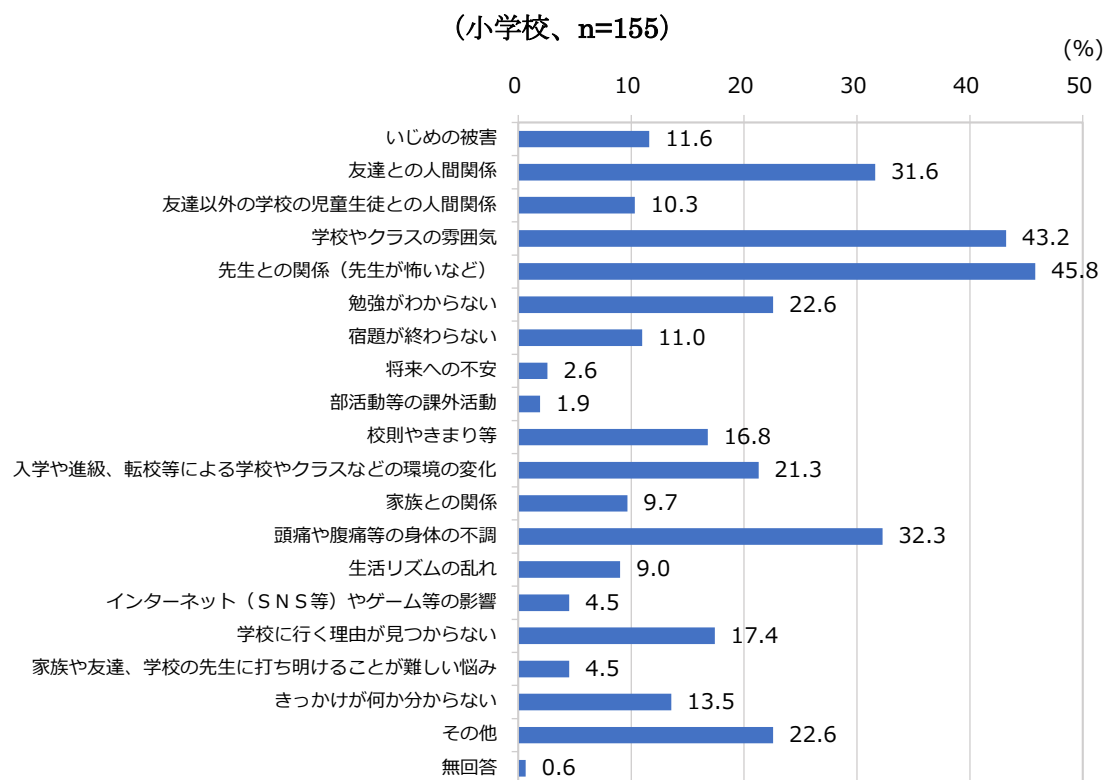
3-3-2 子どもが学校を休むようになった（休みがちになっている）きっかけ

6 お子さまが学校を休むようになった（休みがちになっている）きっかけは何だと思えますか。（複数回答）。

(1) 小学校

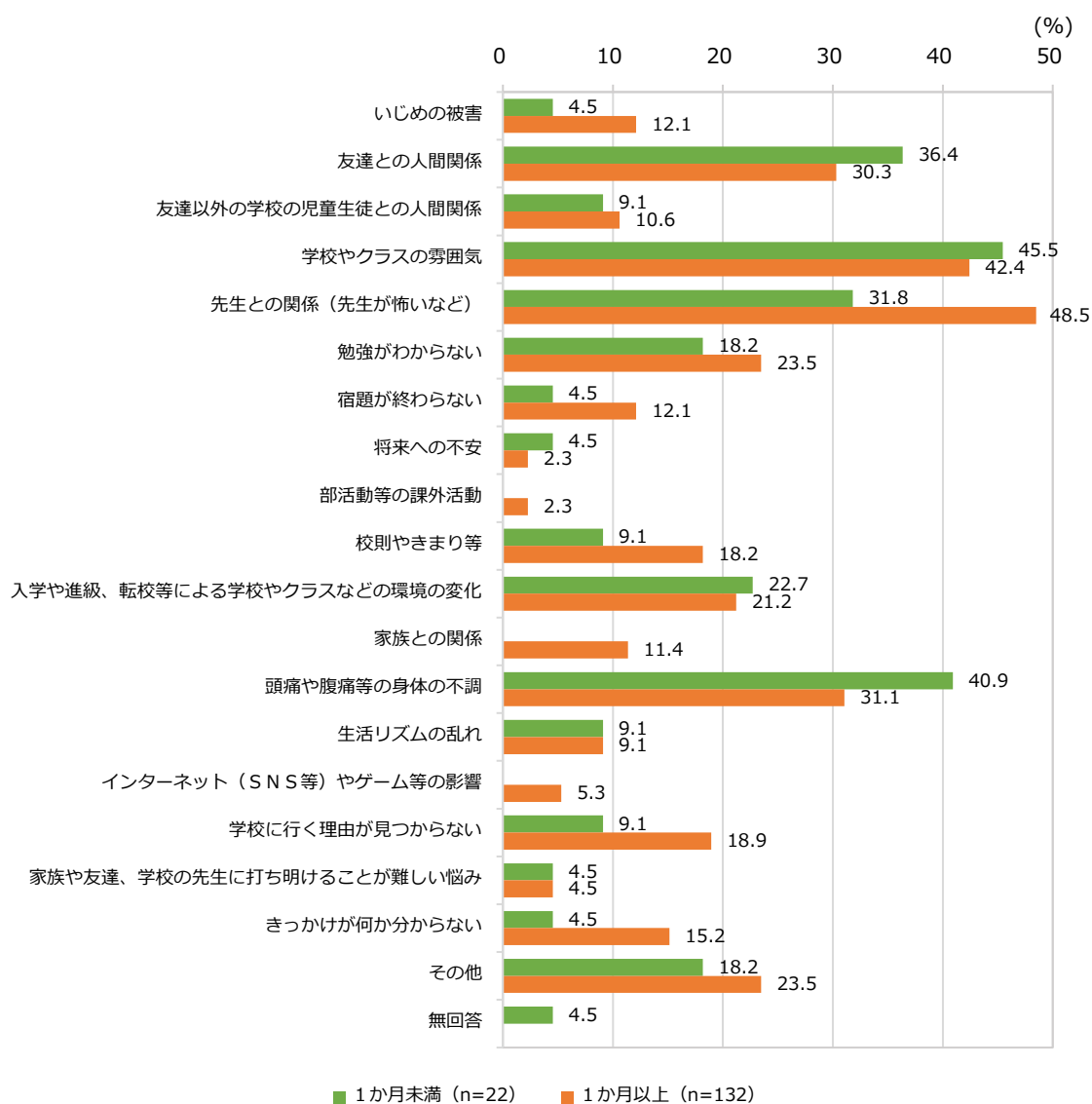
子どもが学校を休むようになったきっかけをみると、小学校では、「先生との関係」の割合が45.8%と最も高く、次いで「学校やクラスの雰囲気（43.2%）」となっている。

図表 3-49 子どもが学校を休むようになった（休みがちになっている）きっかけ



欠席期間別に子どもが学校を休むようになったきっかけをみると、小学校では、1か月未満で「学校やクラスの雰囲気」の割合が45.5%と最も高く、次いで「頭痛や腹痛等の身体の不調（40.9%）」となっている。一方、1か月以上では、約5割が「先生との関係」と回答しており、次いで「学校やクラスの雰囲気（42.4%）」となっている。

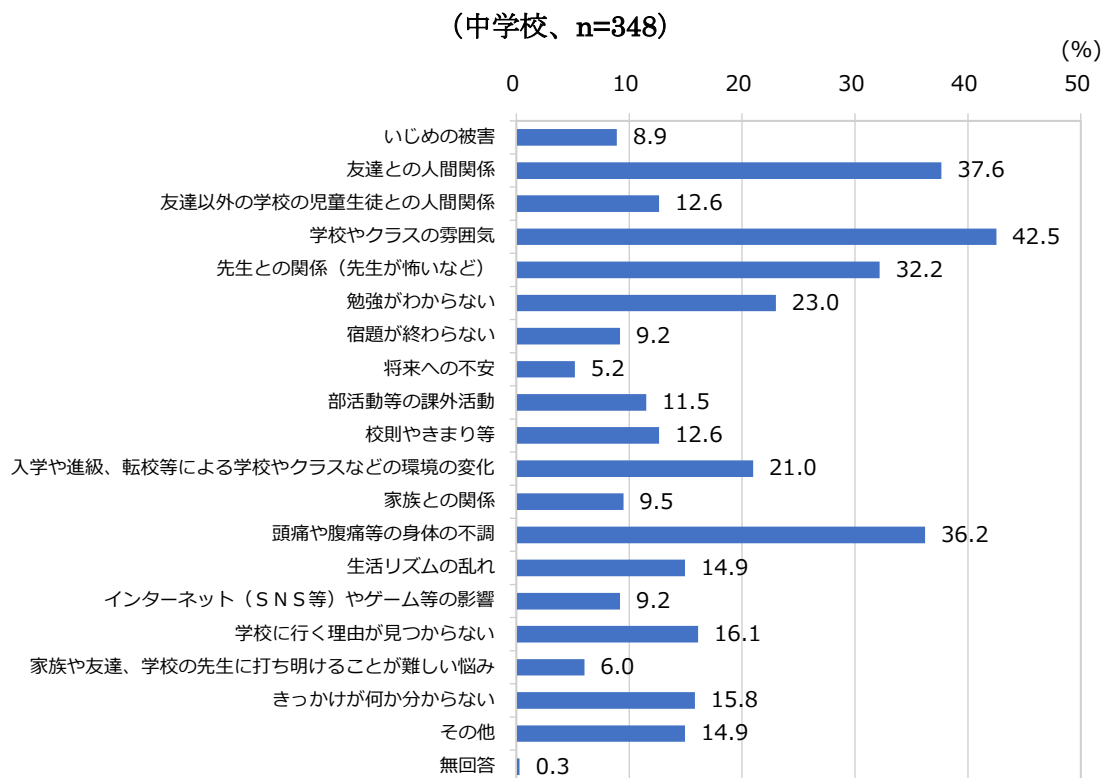
図表 3-50 子どもが学校を休むようになった（休みがちになっている）きっかけ
(小学校、欠席期間別)



(2) 中学校

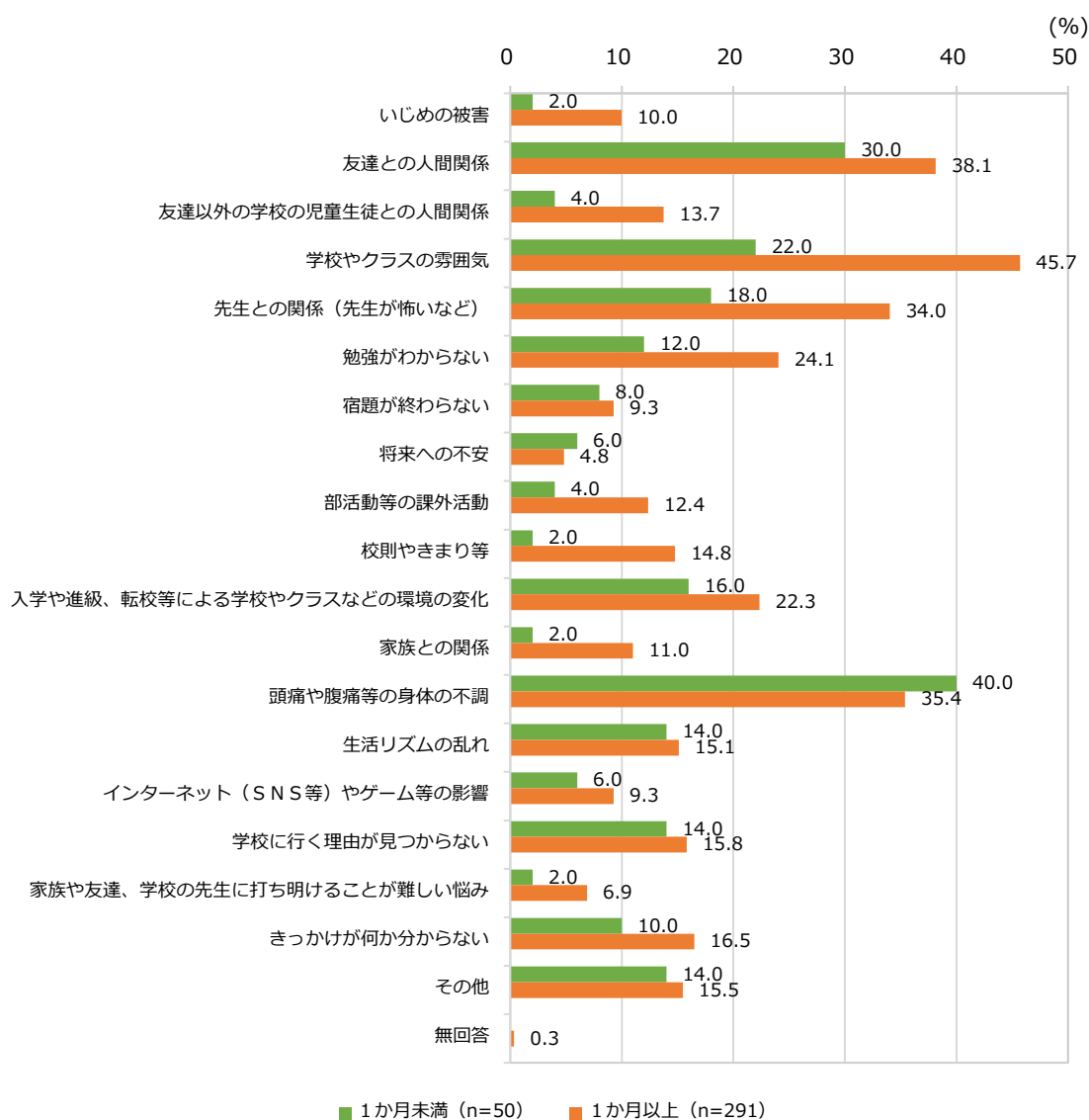
子どもが学校を休むようになったきっかけをみると、中学校では、「学校やクラスの雰囲気」の割合が42.5%と最も高く、次いで「友達との人間関係(37.6%)」、「頭痛や腹痛等の身体の不調(36.2%)」と続いている。

図表 3-51 子どもが学校を休むようになった(休みがちになっている)きっかけ



欠席期間別に子どもが学校を休むようになったきっかけをみると、中学校では、1か月未満で「頭痛や腹痛等の身体の不調」の割合が40.0%と最も高く、次いで「友達との人間関係（30.0%）」となっている。一方、1か月以上では45.7%が「学校やクラスの雰囲気」と回答しており、1か月未満（22.0%）との差が大きい。

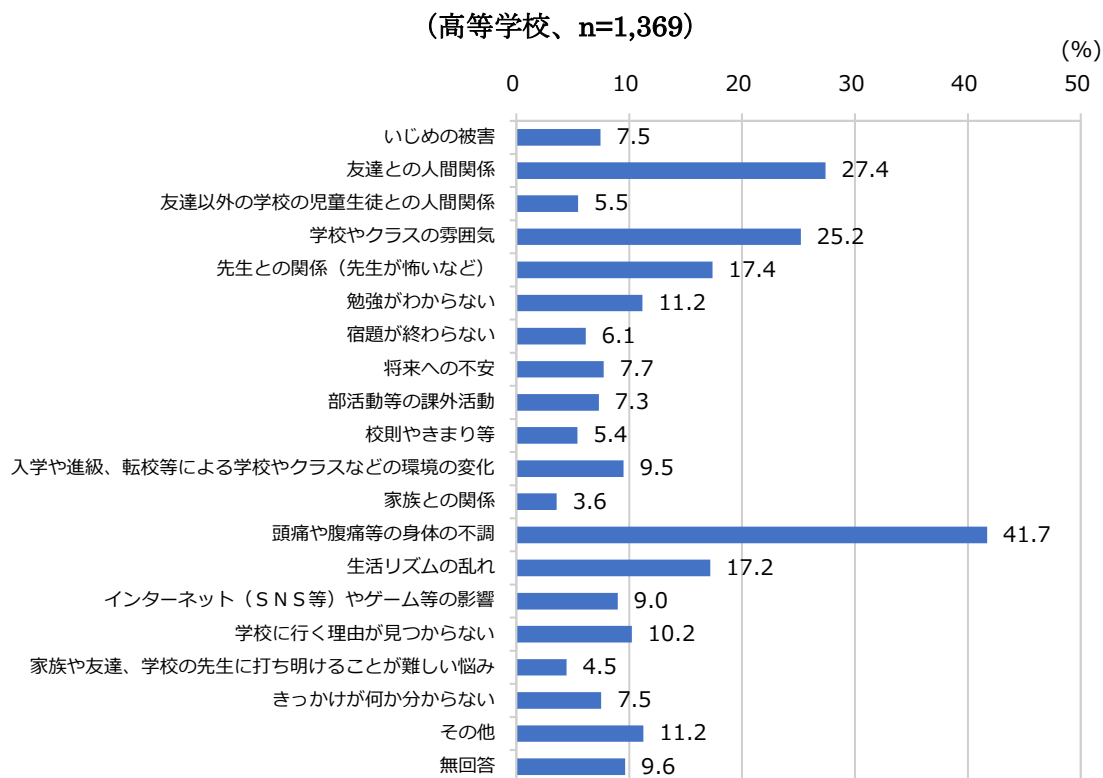
図表 3-52 子どもが学校を休むようになった（休みがちになっている）きっかけ
(中学校、欠席期間別)



(3) 高等学校

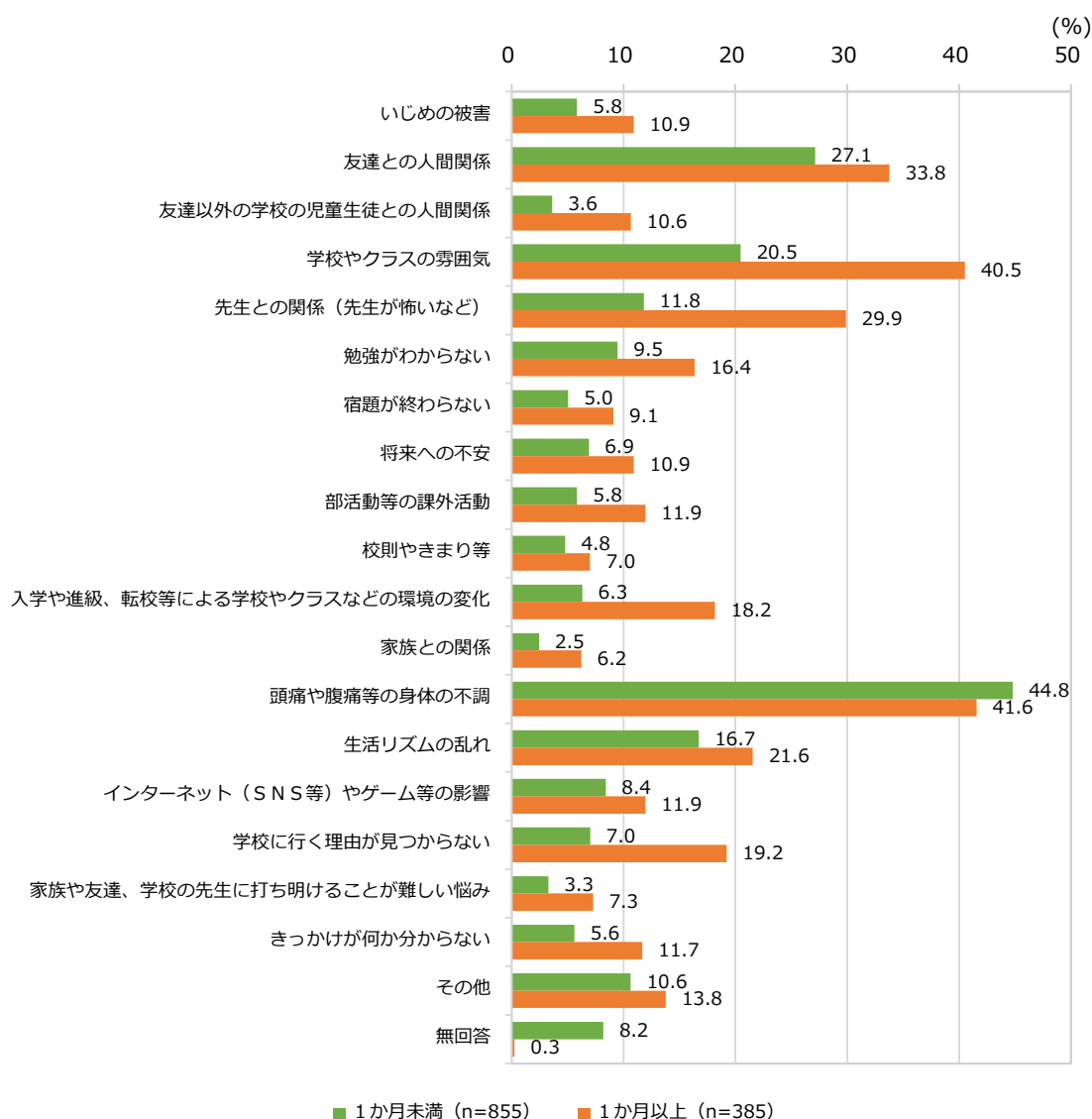
子どもが学校を休むようになったきっかけをみると、高等学校では、「頭痛や腹痛等の身体の不調」の割合が41.7%と最も高く、次いで「友達との人間関係(27.4%)」、「学校やクラスの雰囲気(25.2%)」と続いている。

図表 3-53 子どもが学校を休むようになった(休みがちになっている)きっかけ



欠席期間別に子どもが学校を休むようになったきっかけをみると、高等学校では、1か月未満、1か月以上ともに「頭痛や腹痛等の身体の不調」の割合が最も高い。次いで1か月未満では「友達との人間関係（27.1%）」となっている。一方、1か月以上では「学校やクラスの雰囲気（40.5%）」と続いており、1か月未満（20.5%）との差が大きい。

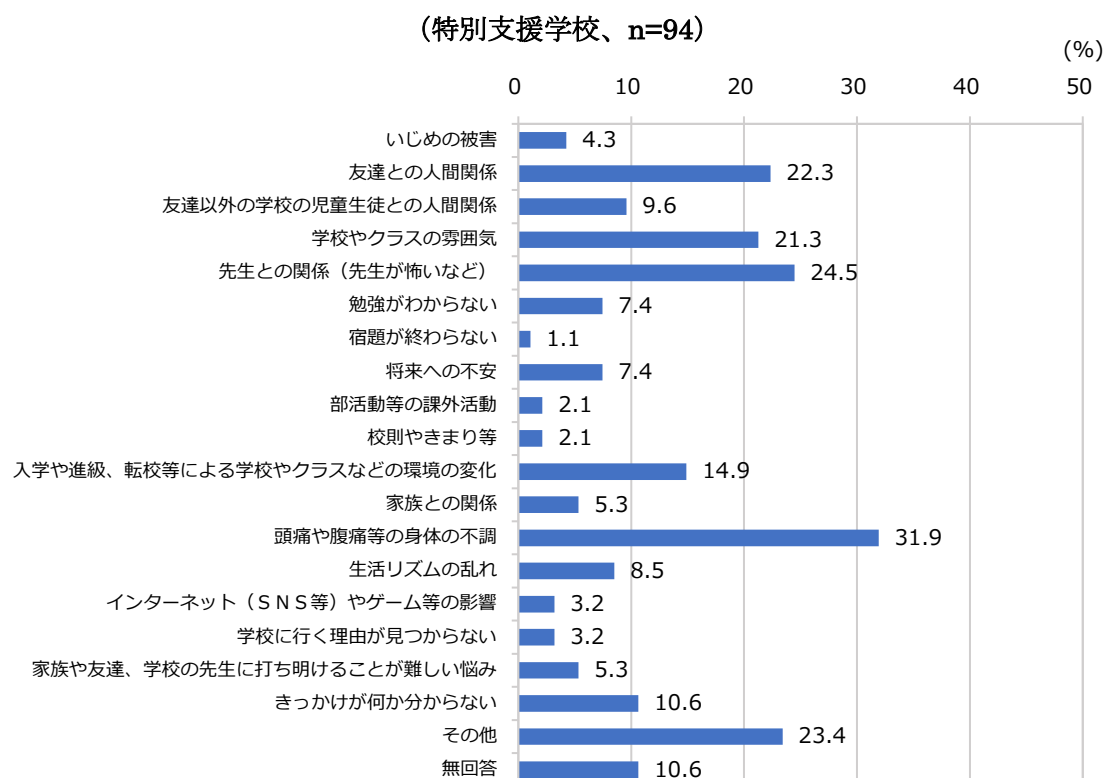
図表 3-54 子どもが学校を休むようになった（休みがちになっている）きっかけ
（高等学校、欠席期間別）



(4) 特別支援学校

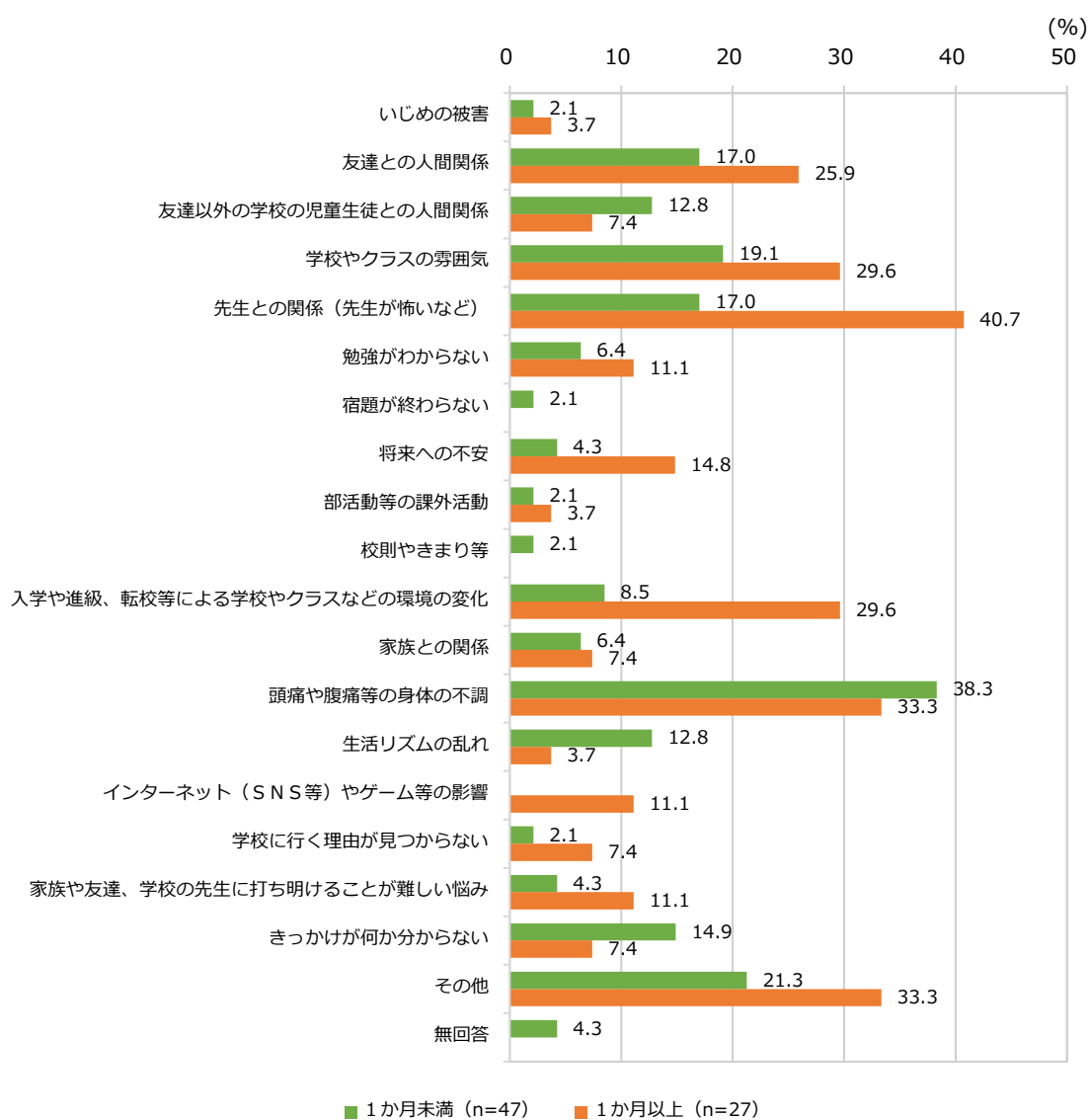
子どもが学校を休むようになったきっかけをみると、特別支援学校では、「頭痛や腹痛等の身体の不調」の割合が31.9%と最も高く、次いで「先生との関係(24.5%)」となっている。

図表 3-55 子どもが学校を休むようになった(休みがちになっている)きっかけ



欠席期間別に子どもが学校を休むようになったきっかけをみると、特別支援学校では、1か月未満で「頭痛や腹痛等の身体の不調」の割合が38.3%と最も高い。一方、1か月以上では40.7%が「先生との関係」だと回答しており、次いで「頭痛や腹痛等の身体の不調(33.3%)」、「その他(33.3%)」となっている。また、「その他」の割合も高く、記述の内容をみると「通院」や「慢性疾患」など、身体の不調に関するものが多い。

図表 3-56 子どもが学校を休むようになった（休みがちになっている）きっかけ
(特別支援学校、欠席期間別)



3-3-3 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の子どもの様子

7 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）のお子さまの様子について、あてはまるものを全て選んでください。（複数回答）。

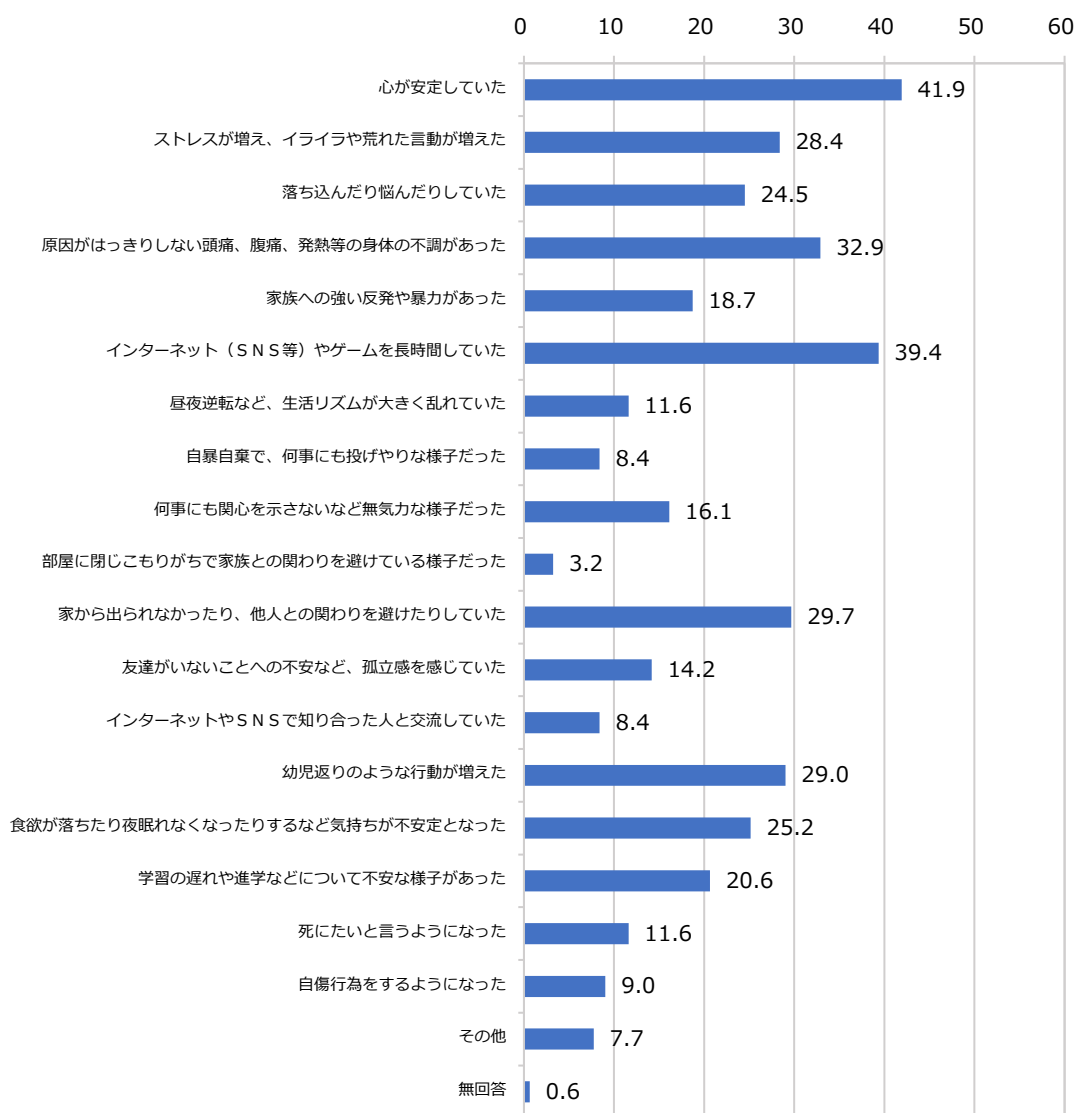
(1) 小学校

学校を休んでいる間の子どもの様子についてみると、小学校では、「心が安定していた」の割合が 41.9%と最も高い。次いで「インターネットやゲームを長時間していた (39.4%)」、「原因がはっきりしない頭痛、腹痛、発熱等の身体の不調があった (32.9%)」と続く。

図表 3-57 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の子どもの様子

(小学校、n=155)

(%)

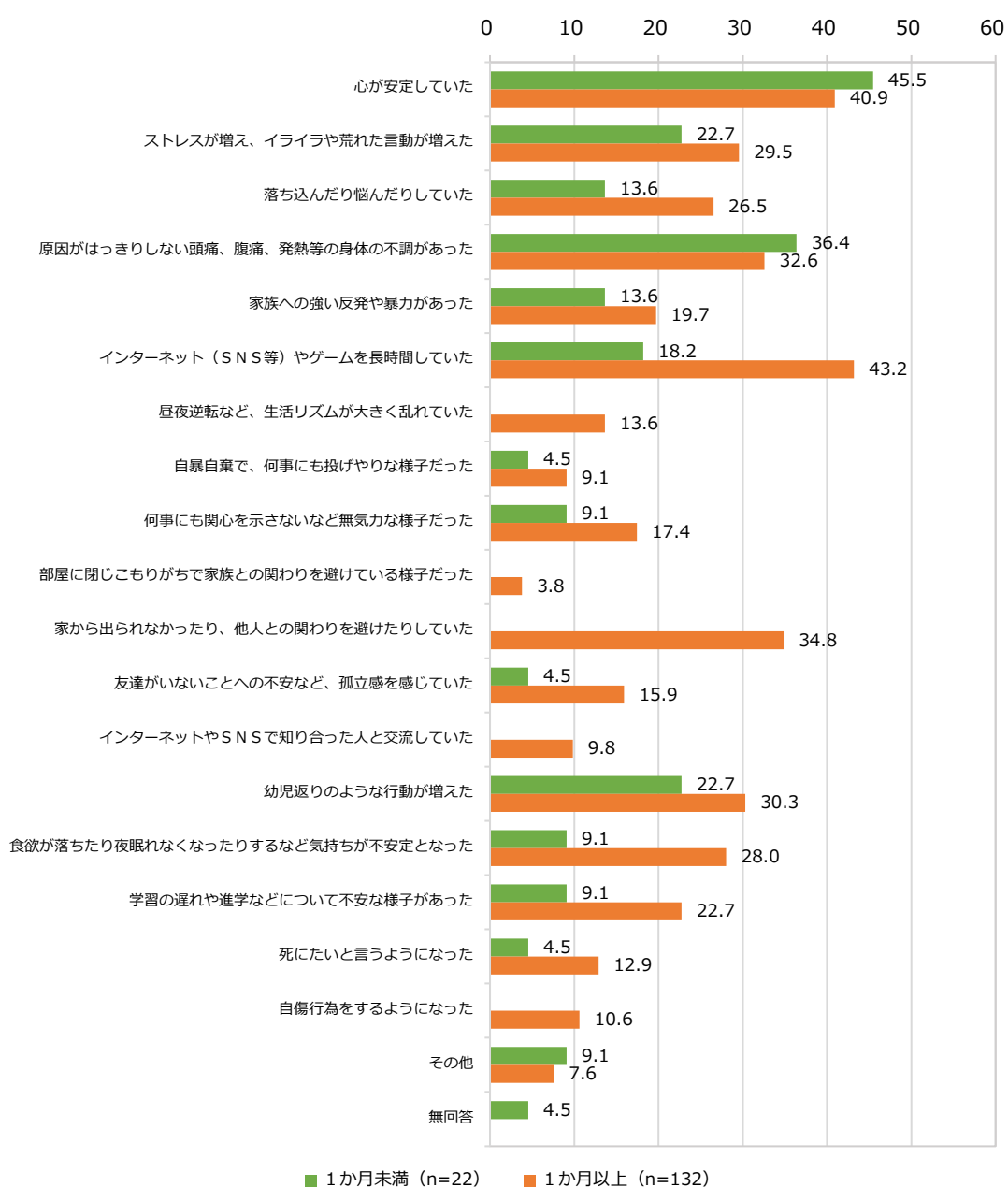


欠席期間別に学校を休んでいる間の子どもの様子についてみると、小学校では、1か月未満、1か月以上ともに「心が安定していた」が4割を超え高い。一方、「インターネットやゲームを長時間していた」は、1か月以上では43.2%と割合が最も高く、1か月未満(18.2%)との差が大きい。また「家から出られなかったり、他人との関わりを避けたりしていた」は1か月以上では34.8%に上るが、1か月未満ではみられなかった。

図表 3-58 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の子どもの様子

(小学校、欠席期間別)

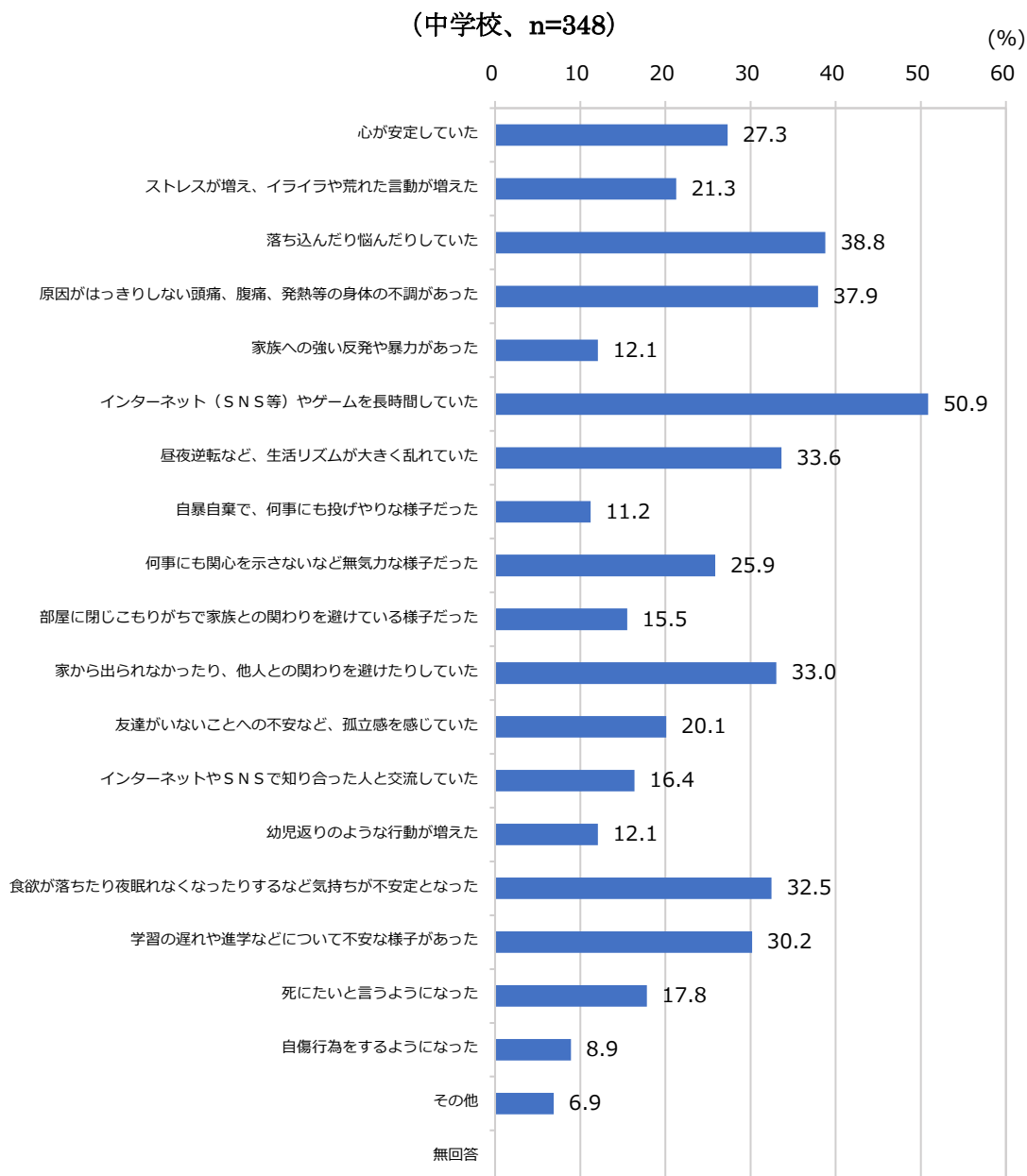
(%)



(2)中学校

学校を休んでいる間の子どもの様子についてみると、中学校では、「インターネットやゲームを長時間していた」の割合が 50.9%と最も高い。次いで「落ち込んだり悩んだりしていた(38.8%)」、「原因がはっきりしない頭痛、腹痛、発熱等の身体の不調があった(37.9%)」と続いている。

図表 3-59 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の子どもの様子

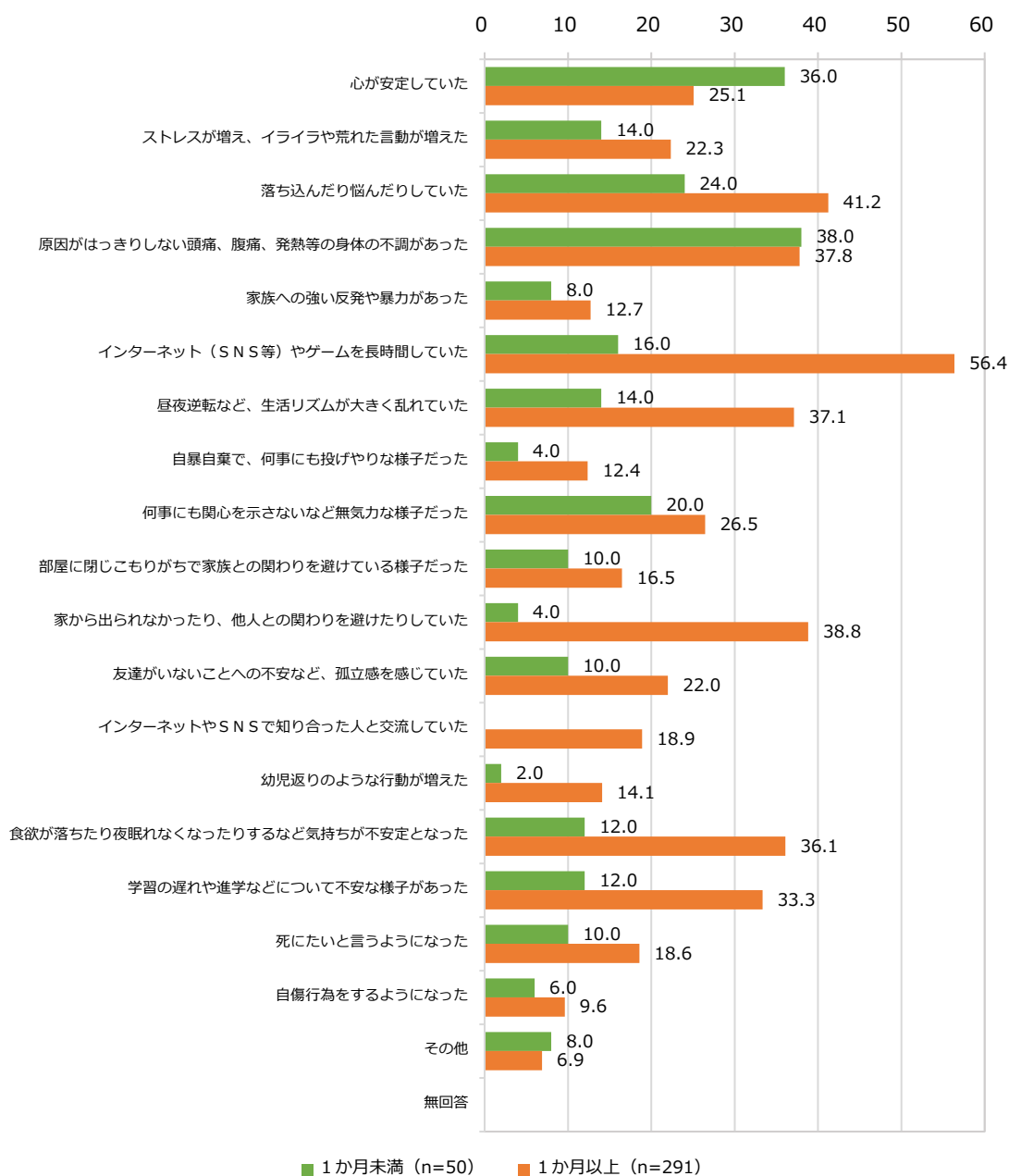


欠席期間別に学校を休んでいる間の子どもの様子についてみると、中学校では、1か月未満で「原因がはっきりしない頭痛、腹痛、発熱等の身体の不調があった」の割合が38.0%で最も高い。1か月以上では「インターネットやゲームを長時間していた」が56.4%と最も割合が高く、1か月未満（16.0%）との差が大きい。

図表 3-60 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の子どもの様子

(中学校、欠席期間別)

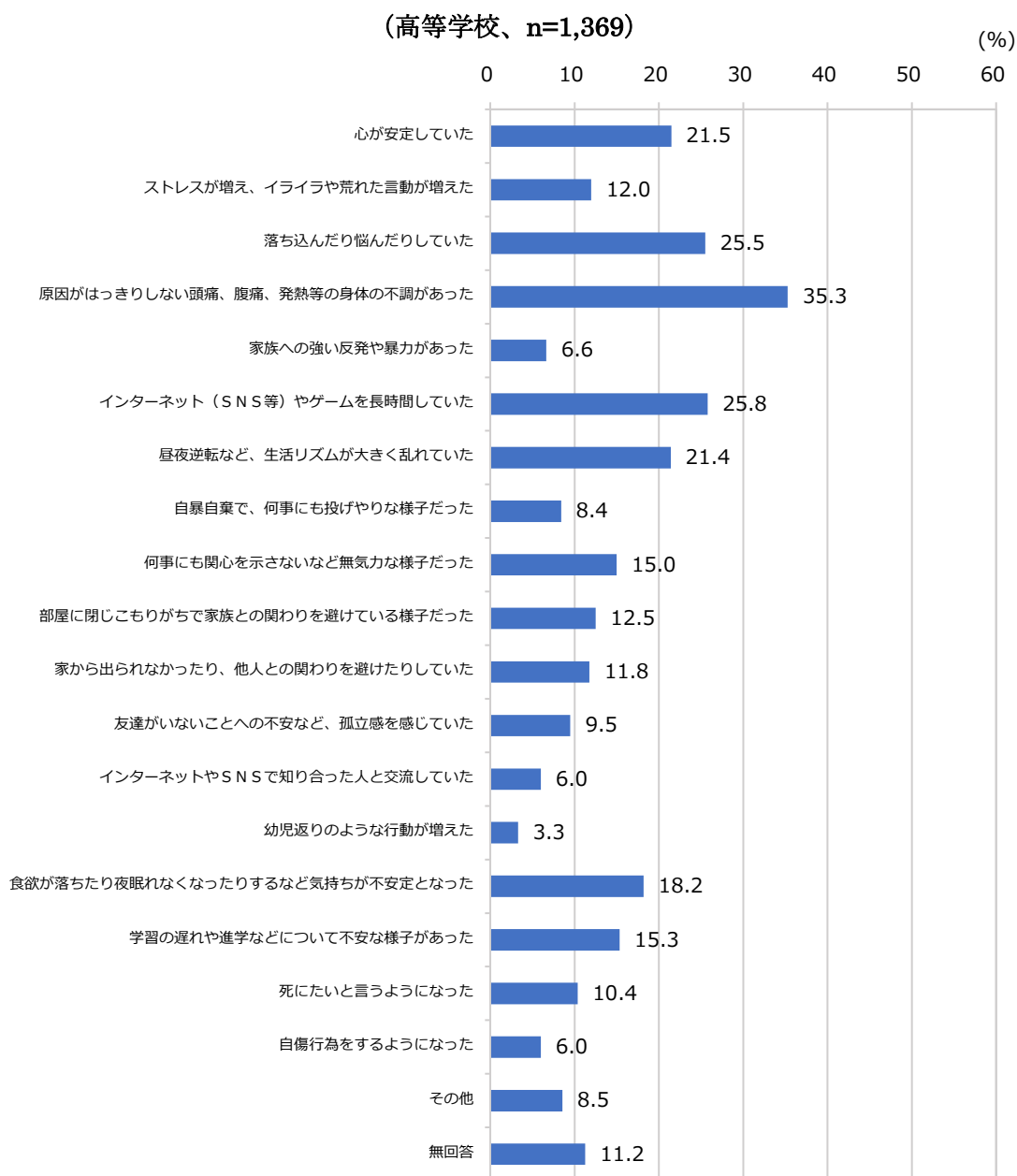
(%)



(3)高等学校

学校を休んでいる間の子どもの様子についてみると、高等学校では、「原因がはっきりしない頭痛、腹痛、発熱等の身体の不調があった」の割合が35.3%と最も高い。次いで「インターネットやゲームを長時間していた(25.8%)」、「落ち込んだり悩んだりしていた(25.5%)」と続いている。

図表 3-61 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の子どもの様子

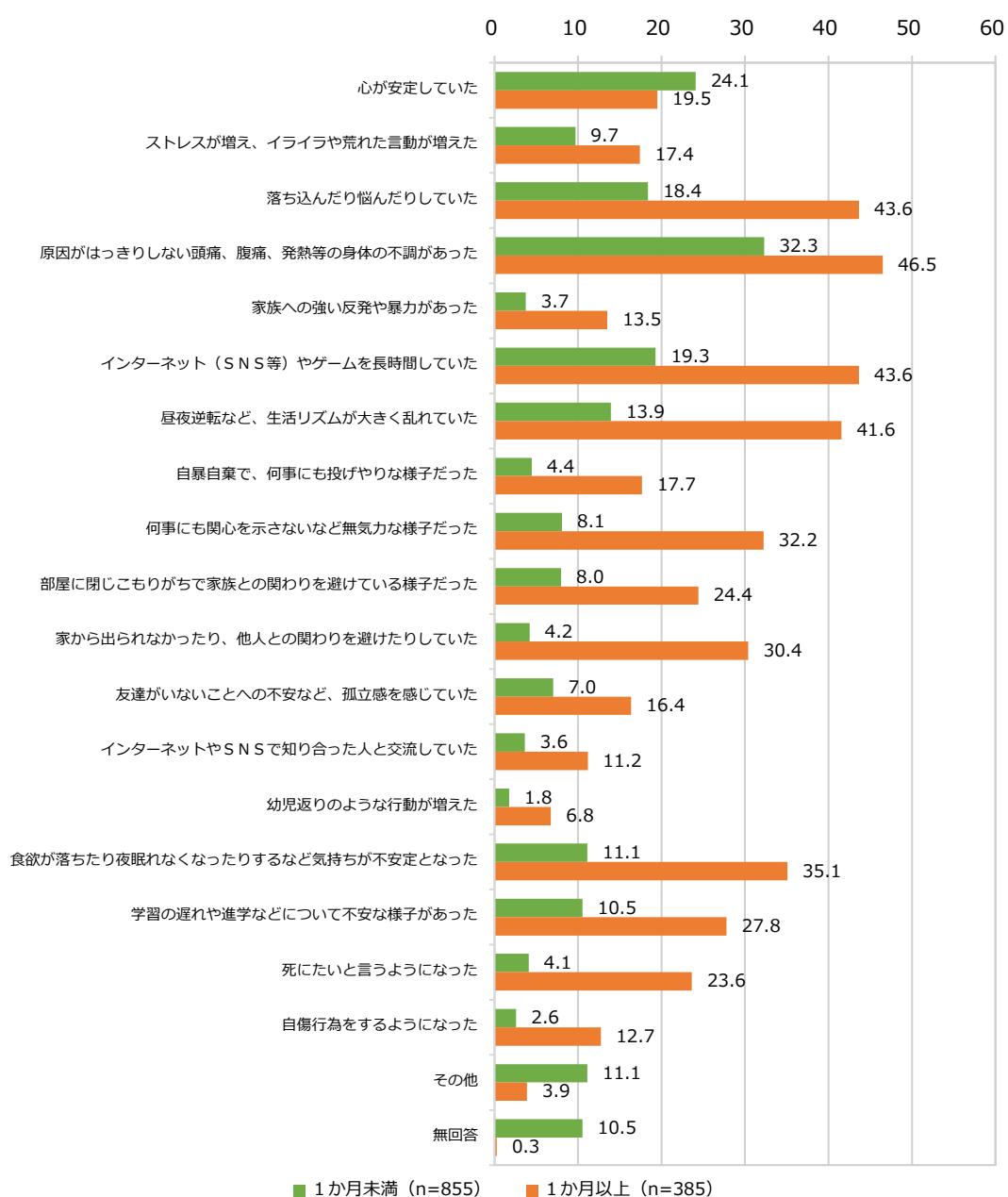


欠席期間別に学校を休んでいる間の子どもの様子についてみると、高等学校では、1か月未満（32.3%）、1か月以上（46.5%）ともに「原因がはっきりしない頭痛、腹痛、発熱等の身体の不調があった」の割合が最も高い。1か月以上では「落ち込んだり悩んだりしていた」「インターネットやゲームを長時間していた」「昼夜逆転など生活リズムが大きく乱れていた」も4割以上と割合が高い。

図表 3-62 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の子どもの様子

（高等学校、欠席期間別）

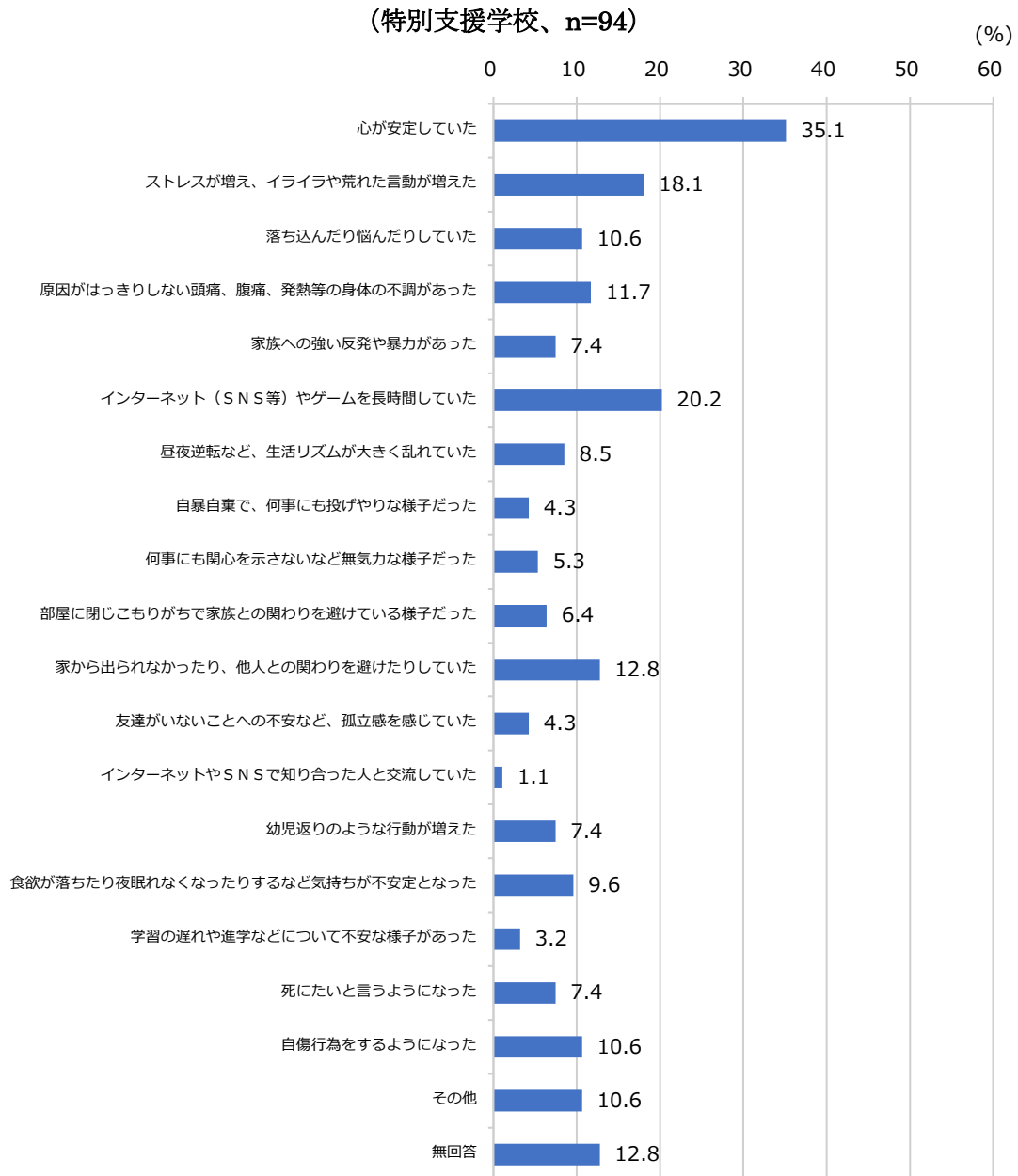
(%)



(4)特別支援学校

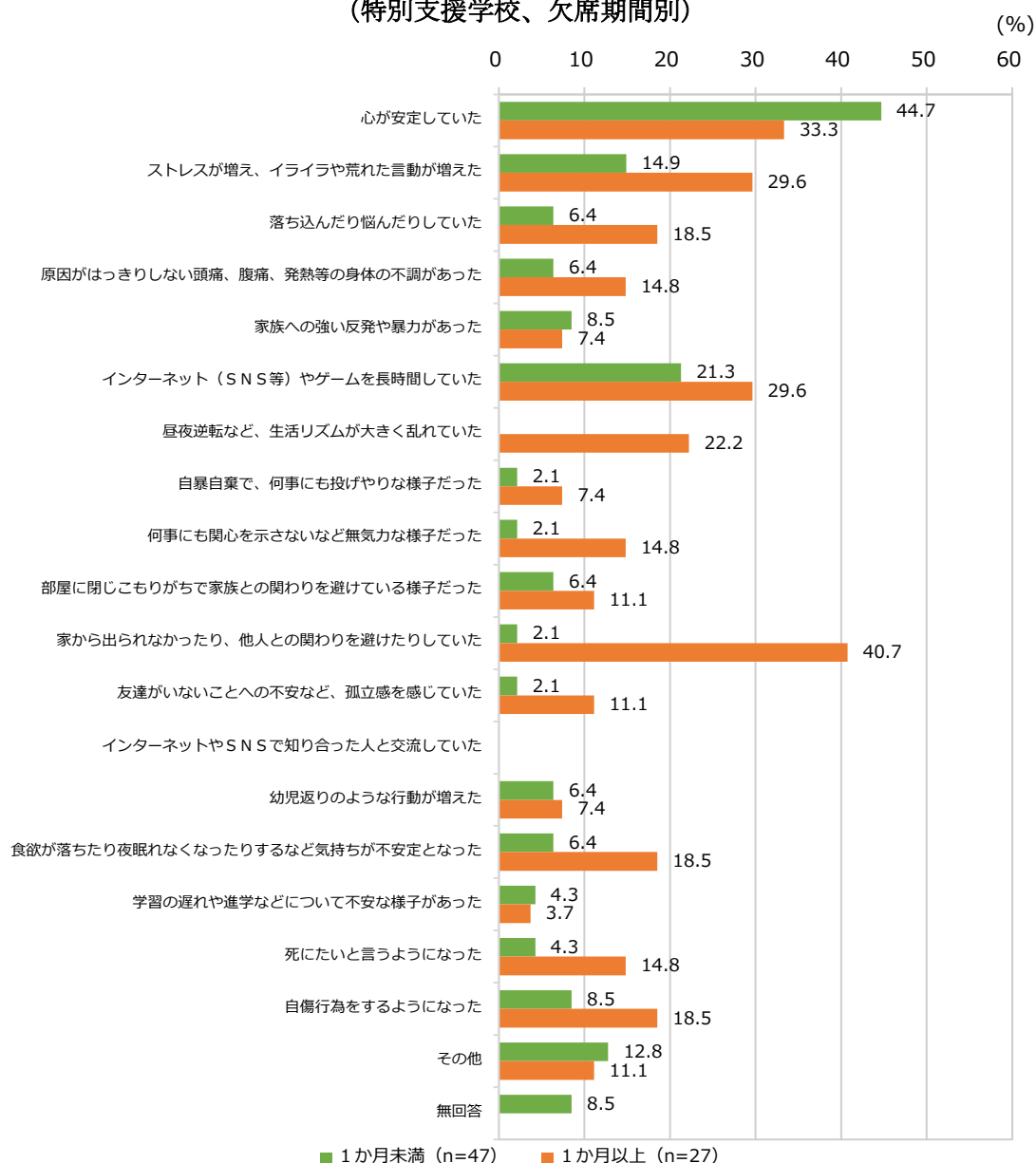
学校を休んでいる間の子どもの様子についてみると、特別支援学校では、「心が安定していた」の割合が 35.1%と最も高い。次いで「インターネットやゲームを長時間していた (20.2%)」、「ストレスが増え、イライラや荒れた言動が増えた (18.1%)」と続いている。

図表 3-63 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の子どもの様子



欠席期間別に学校を休んでいる間の子どもの様子についてみると、特別支援学校では、1か月未満で44.7%が「心が安定していた」と回答している。1か月以上では「家から出られなかったり、他人との関わりを避けたりしていた」の割合が40.7%と最も高く、1か月未満（2.1%）との差が大きい。

図表 3-64 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）の子どもの様子
(特別支援学校、欠席期間別)



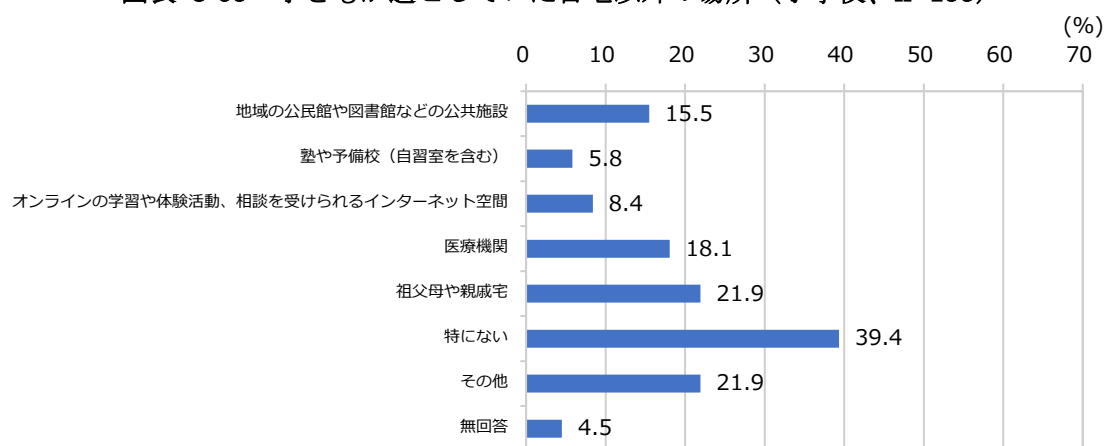
3-3-4 子どもが過ごしていた自宅以外の場所

8 自宅以外でお子さまが過ごしていた場所や利用した施設等（学校内の別室や市町の教育支援センター、民間のフリースクールや居場所は除く）はどれですか。

(1)小学校

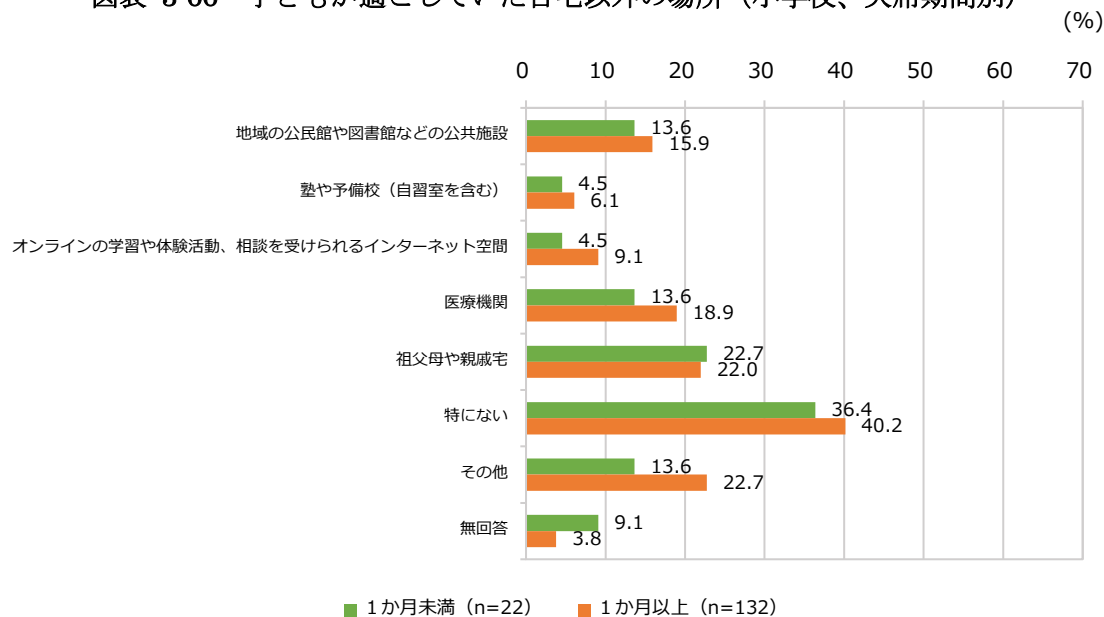
子どもが過ごしていた自宅以外の場所についてみると、小学校では、「特にない」と回答した割合が 39.4%と最も高い。次いで、「祖父母や親戚宅（21.9%）」、「その他（21.9%）」となっている。また、「その他」の記述には、「放課後等デイサービス」などがあつた。

図表 3-65 子どもが過ごしていた自宅以外の場所（小学校、n=155）



欠席期間別にみると、小学校では、「特にない」、「その他」を除くと、「祖父母や親戚宅」の割合が 1 か月未満、1 か月以上ともに最も高い。

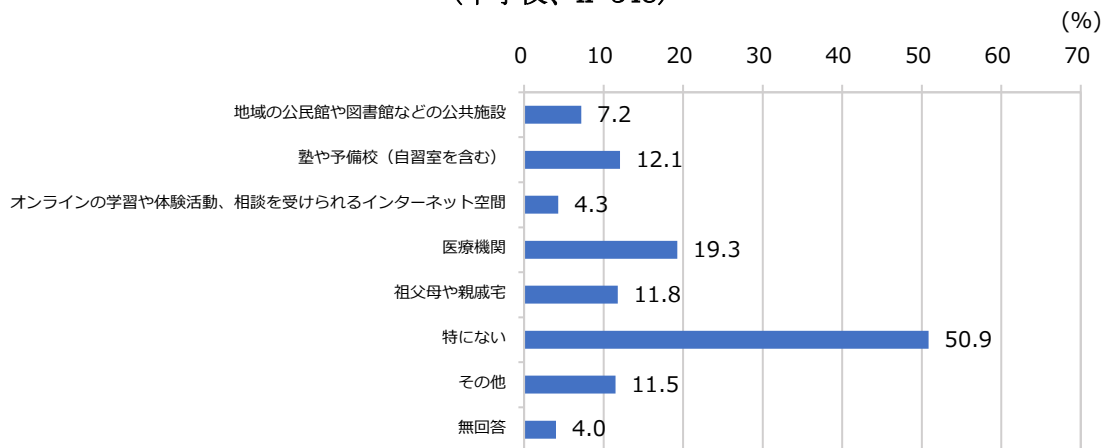
図表 3-66 子どもが過ごしていた自宅以外の場所（小学校、欠席期間別）



(2)中学校

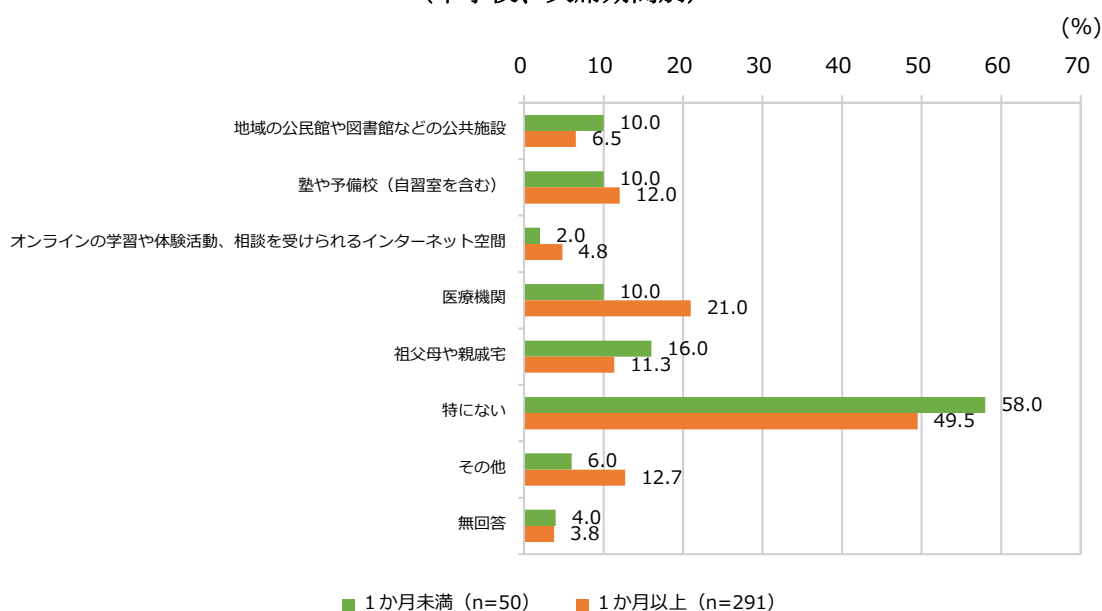
子どもが過ごしていた自宅以外の場所についてみると、中学校では、「特にない」と回答した割合が5割以上と最も高い。

図表 3-67 子どもが過ごしていた自宅以外の場所
(中学校、n=348)



欠席期間別にみると、中学校では、1か月未満では、「特にない」に次いで「祖父母や親戚宅 (16.0%)」となっているが、1か月以上では「医療機関 (21.0%)」である。

図表 3-68 子どもが過ごしていた自宅以外の場所
(中学校、欠席期間別)

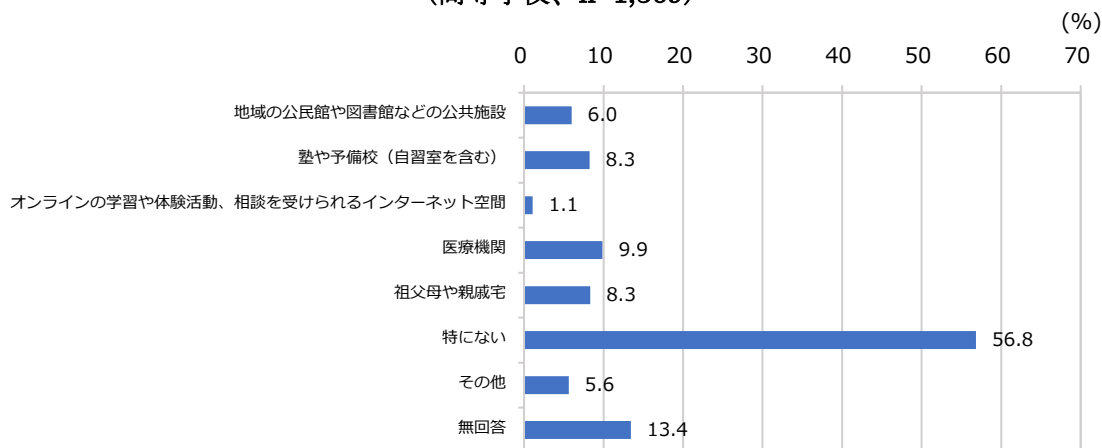


(3) 高等学校

子どもが過ごしていた自宅以外の場所についてみると、高等学校では、「特にない」と回答した割合が 56.8%と最も高い。

図表 3-69 子どもが過ごしていた自宅以外の場所

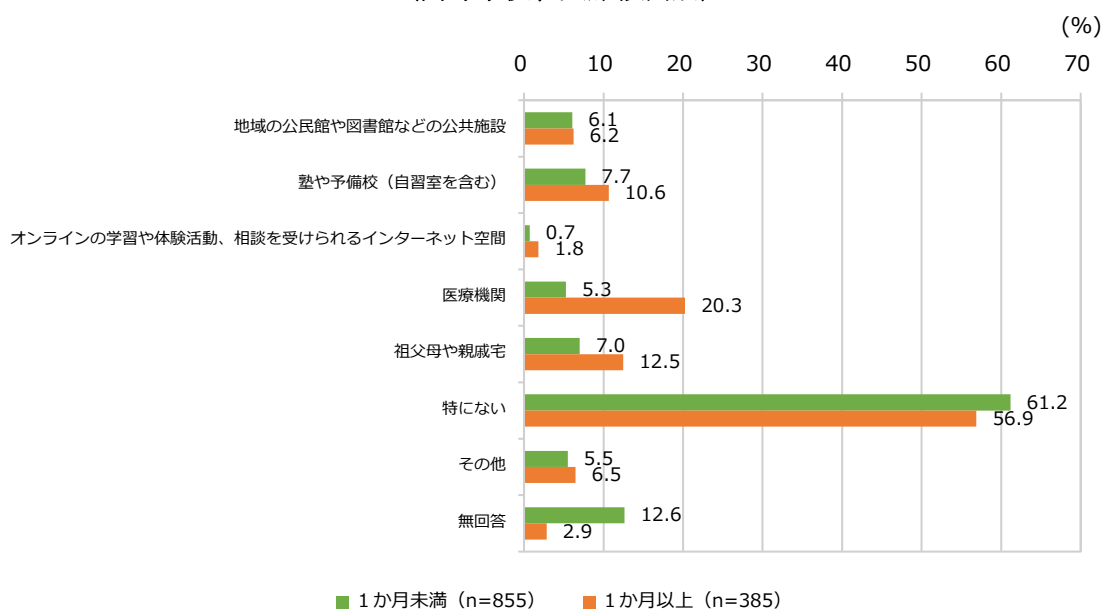
(高等学校、n=1,369)



欠席期間別にみると、高等学校では、1か月以上では「特にない」に次いで「医療機関（20.3%）」、「祖父母や親戚宅（12.5%）」と続いている。

図表 3-70 子どもが過ごしていた自宅以外の場所

(高等学校、欠席傾向別)

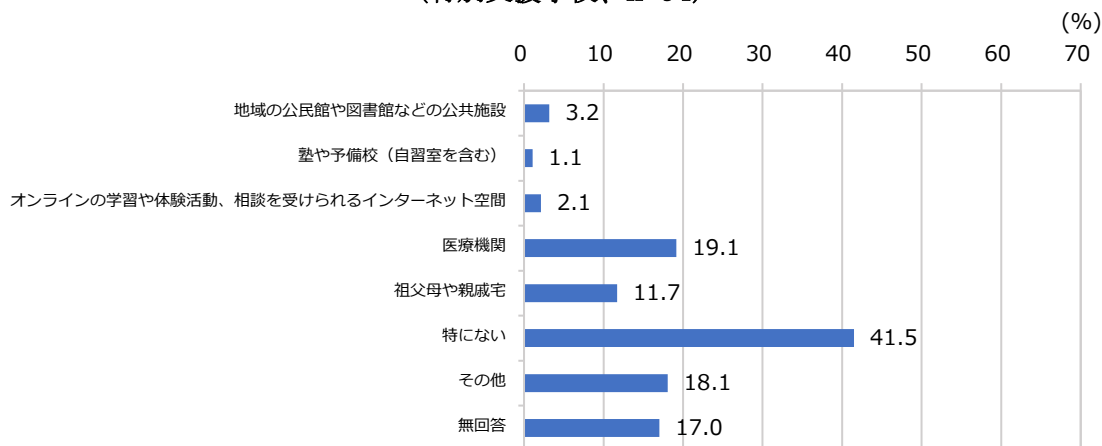


(4)特別支援学校

子どもが過ごしていた自宅以外の場所についてみると、特別支援学校では、全体では「特
にない」と回答した割合が41.5%と最も高い。

図表 3-71 子どもが過ごしていた自宅以外の場所

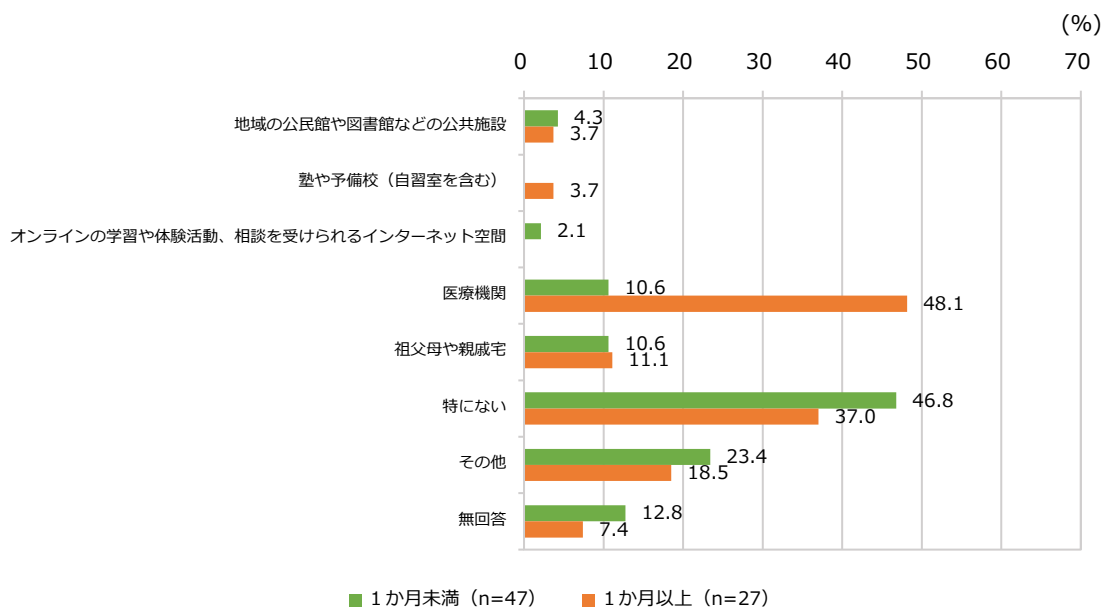
(特別支援学校、n=94)



欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月以上では「医療機関」が48.1%と最も高
く、1か月未満（10.6%）との差が大きい。

図表 3-72 子どもが過ごしていた自宅以外の場所

(特別支援学校、欠席期間別)



3-3-5 子どもが学校を休んでいる間の自宅学習の有無

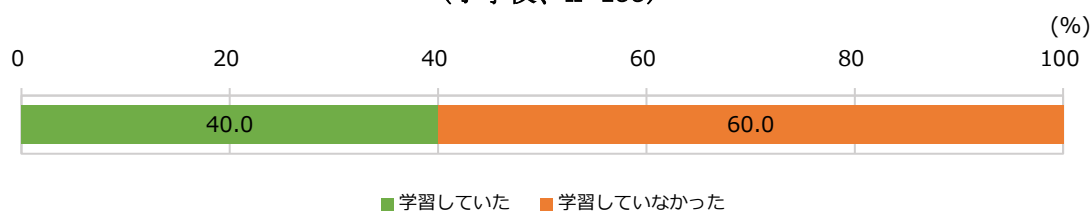
9 お子さまが学校を休んでいる間（休みがちになっている時）、自宅等で学習をしていましたか。

(1) 小学校

子どもが学校を休んでいる間の自宅学習についてみると、小学校では、4割が「学習していた」、6割が「学習していなかった」と回答している。

図表 3-73 子どもが学校を休んでいる間の自宅学習の有無

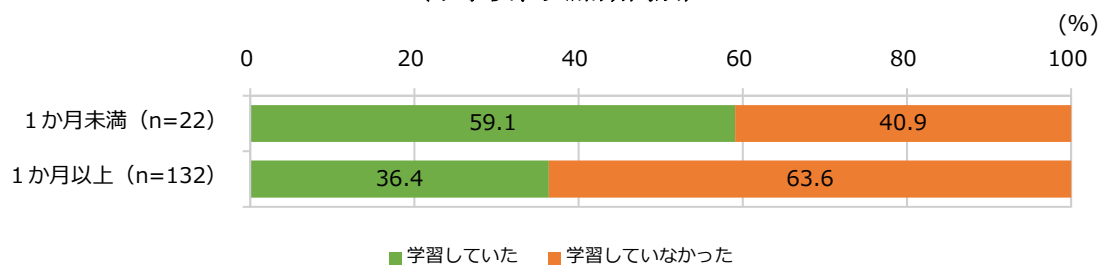
(小学校、n=155)



欠席期間別に子どもが学校を休んでいる間の自宅学習についてみると、小学校では、1か月未満では「学習していた」が59.1%だが、1か月以上では36.4%となっている。

図表 3-74 子どもが学校を休んでいる間の自宅学習の有無

(小学校、欠席期間別)

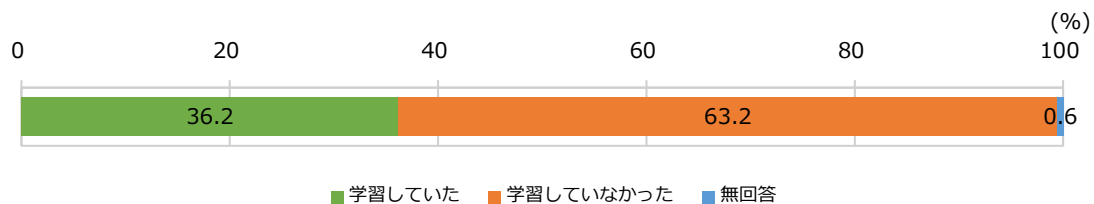


(2) 中学校

子どもが学校を休んでいる間の自宅学習についてみると、中学校では、36.2%が「学習していた」、63.2%が「学習していなかった」と回答している。

図表 3-75 子どもが学校を休んでいる間の自宅学習の有無

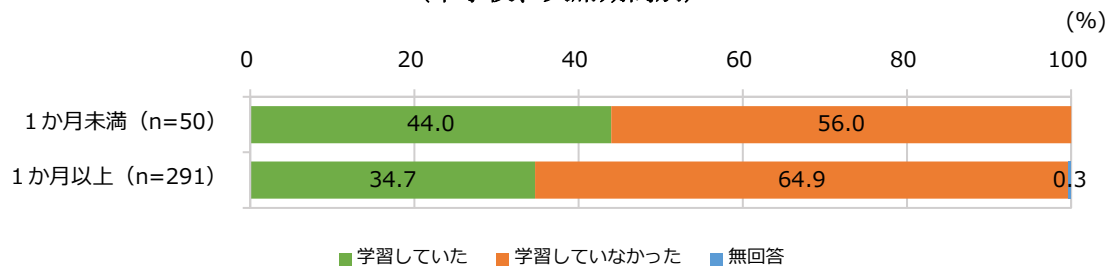
(中学校、n=348)



欠席期間別に子どもが学校を休んでいる間の自宅学習についてみると、中学校では、1か月未満では「学習していた」が44.0%だが、1か月以上では34.7%となっている。

図表 3-76 子どもが学校を休んでいる間の自宅学習の有無

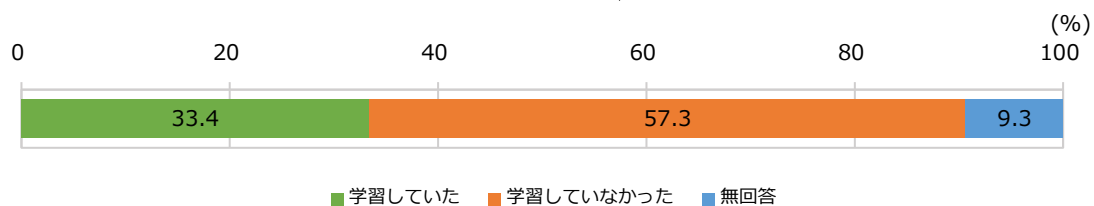
(中学校、欠席期間別)



(3)高等学校

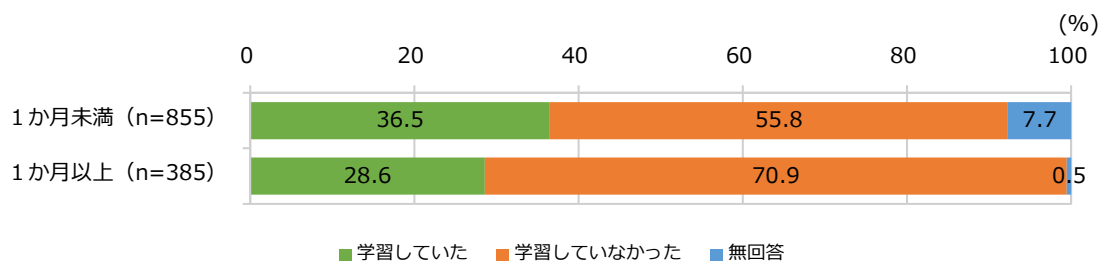
子どもが学校を休んでいる間の自宅学習についてみると、高等学校では、33.4%が「学習していた」、57.3%が「学習していなかった」と回答している。

図表 3-77 子どもが学校を休んでいる間の自宅学習の有無
(高等学校、n=1,369)



欠席期間別に子どもが学校を休んでいる間の自宅学習についてみると、高等学校では、1か月未満では「学習していた」が36.5%だが、1か月以上では28.6%となっている。

図表 3-78 子どもが学校を休んでいる間の自宅学習の有無
(高等学校、欠席期間別)

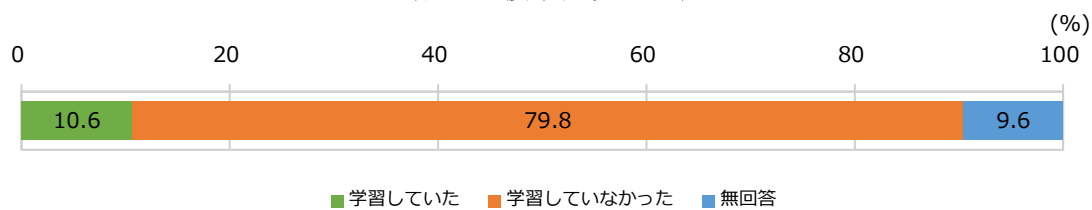


(4)特別支援学校

子どもが学校を休んでいる間の自宅学習についてみると、特別支援学校では、10.6%が「学習していた」、79.8%が「学習していなかった」と回答している。

図表 3-79 子どもが学校を休んでいる間の自宅学習の有無

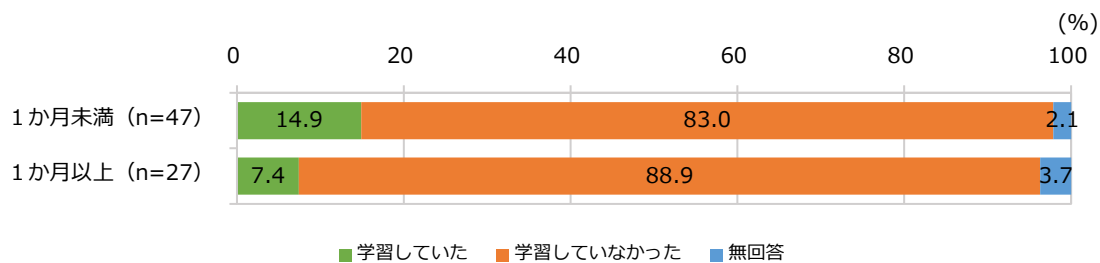
(特別支援学校、n=94)



欠席期間別に子どもが学校を休んでいる間の自宅学習についてみると、特別支援学校では、1か月未満では「学習していた」が14.9%だが、1か月以上では7.4%となっている。

図表 3-80 子どもが学校を休んでいる間の自宅学習の有無

(特別支援学校、欠席期間別)



3-3-6 学校配布端末の利用の有無

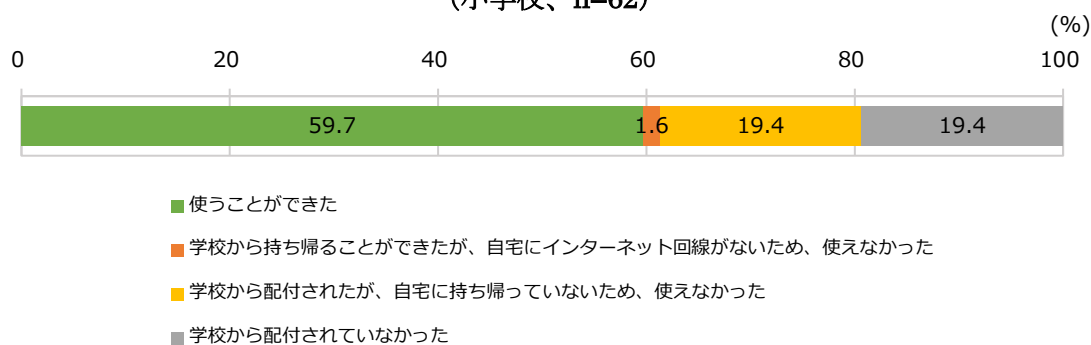
10 9で「学習していた」と回答した方にお聞きます。お子さまが学校を休んでいる間、学校で配布している一人一台端末を使うことができましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

(1)小学校

子どもが学校を休んでいる間、学校で配布している端末を利用できたかについてみると、小学校では、約6割が「使うことができた」と回答している。また、「学校から配布されたが、自宅に持ち帰っていないため、使えなかった」が2割いる一方、「学校から配布されていなかった」も2割いる。

図表 3-81 学校配布端末の利用

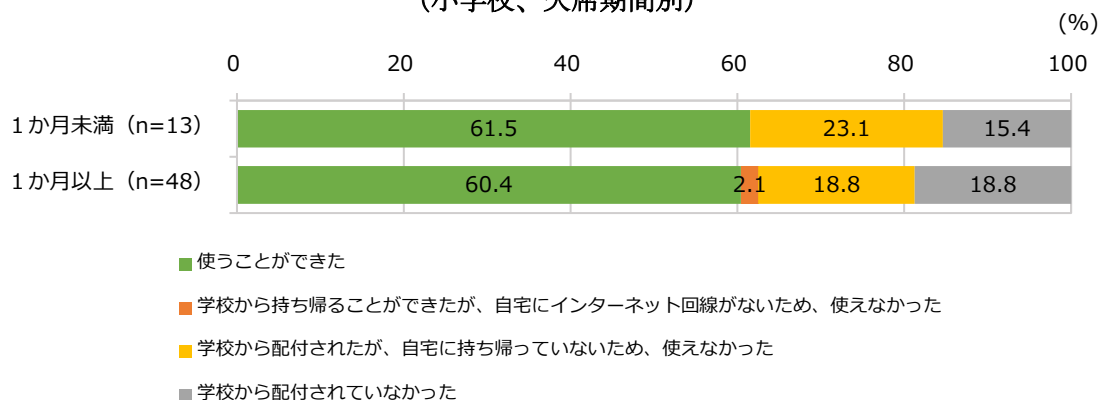
(小学校、n=62)



欠席期間別では、大きな差はみられない。

図表 3-82 学校配布端末の利用

(小学校、欠席期間別)

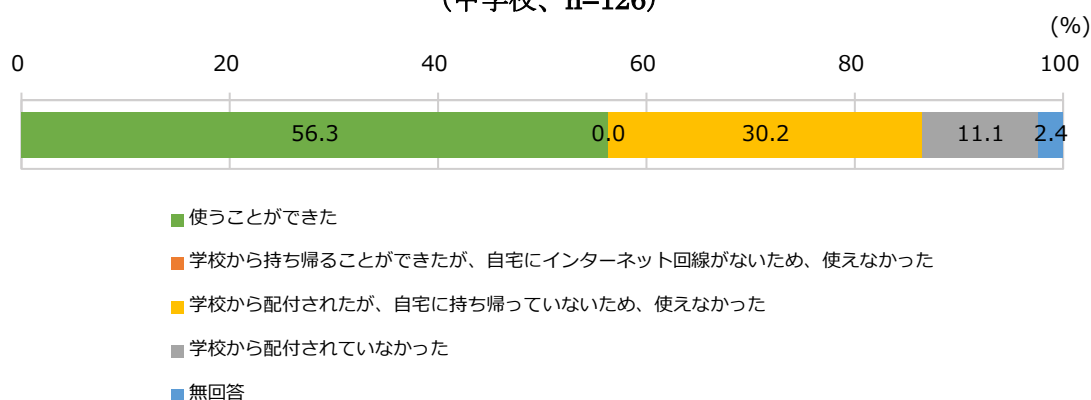


(2)中学校

子どもが学校を休んでいる間、学校で配布している端末を利用できたかについてみると、中学校では56.3%が「使うことができた」と回答している。また、「学校から配布されたが、自宅に持ち帰っていないため、使えなかった」が3割いる一方、「学校から配布されていない」も1割いる。

図表 3-83 学校配布端末の利用

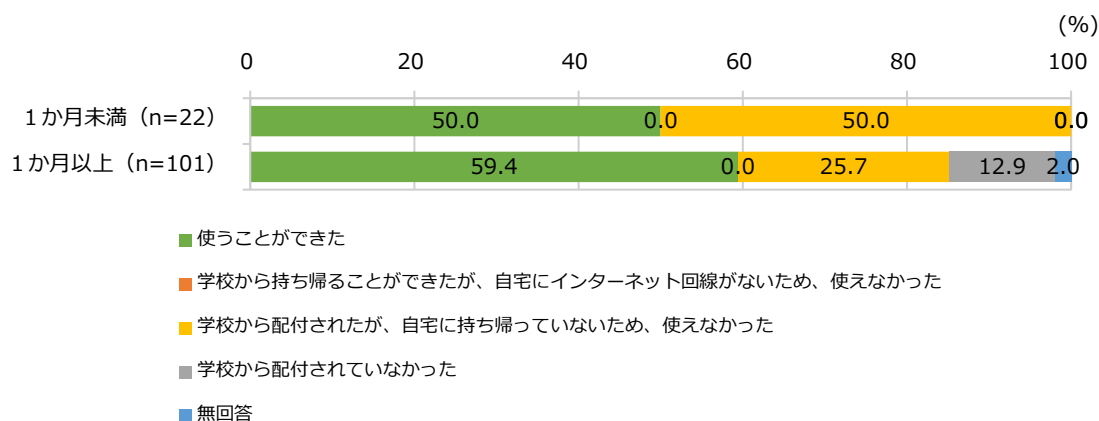
(中学校、n=126)



欠席期間別にみると、中学校では、1か月未満で「使うことができた」と「学校から配布されたが、自宅に持ち帰っていないため、使えなかった」がともに5割であった。1か月以上では、約6割が「使うことができた」が、4人に1人が「学校から配布されたが、自宅に持ち帰っていないため、使えなかった」と回答している。

図表 3-84 学校配布端末の利用

(中学校、欠席期間別)

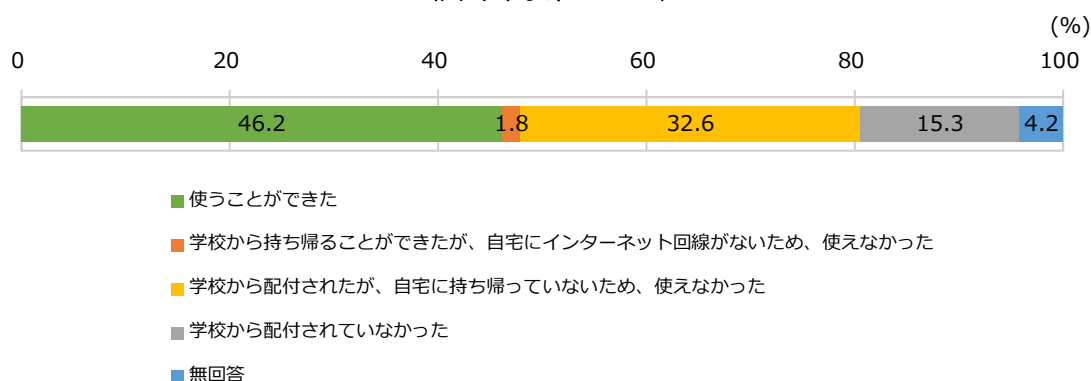


(3)高等学校

子どもが学校を休んでいる間、学校で配布している端末を利用できたかについてみると、高等学校では、46.2%が「使うことができた」と回答している。また、32.6%が「学校から配布されたが、自宅に持ち帰っていないため、使えなかった」ほか、15.3%が「学校から配布されていないから使えなかった」と回答している。

図表 3-85 学校配布の端末の利用

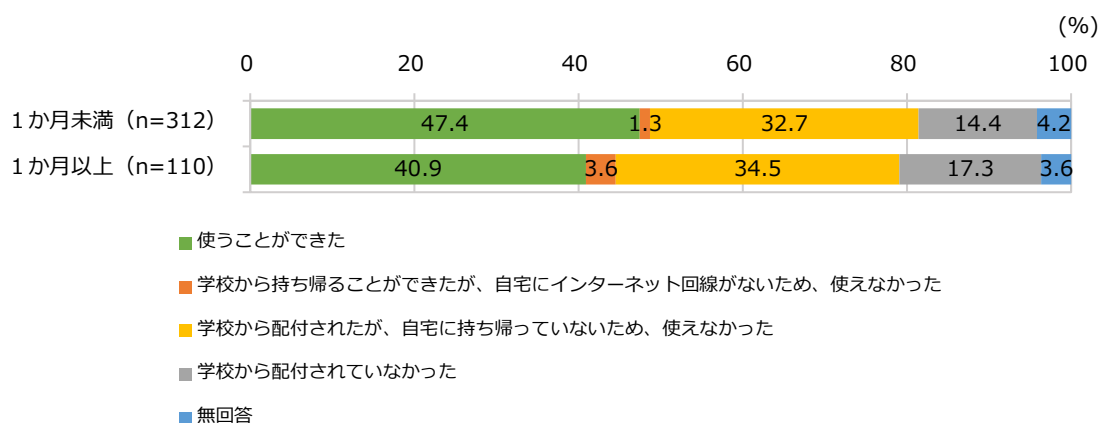
(高等学校、n=457)



欠席期間別にみると、高等学校では、1か月未満では「使うことができた」が47.4%に対し、1か月以上では、約4割であった。

図表 3-86 学校配布の端末の利用

(高等学校、欠席期間別)

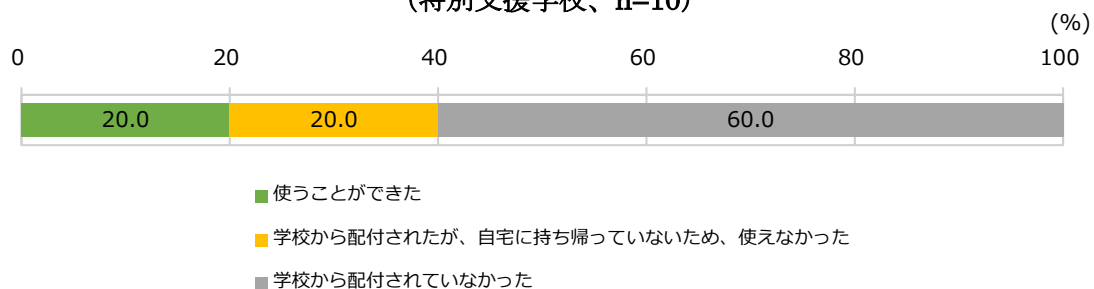


(4)特別支援学校

子どもが学校を休んでいる間、学校で配布している端末を利用できたかについてみると、特別支援学校では、「学校から配布されていなかった」が6割であった。

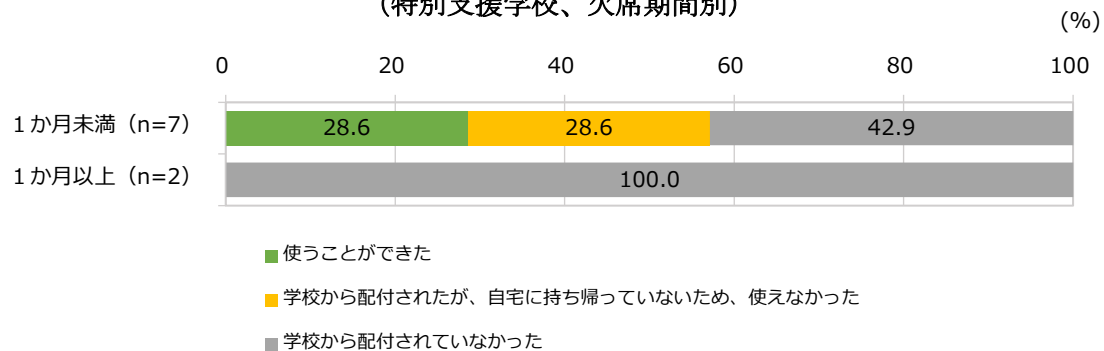
図表 3-87 学校配布の端末の利用

(特別支援学校、n=10)



図表 3-88 学校配布の端末の利用

(特別支援学校、欠席期間別)



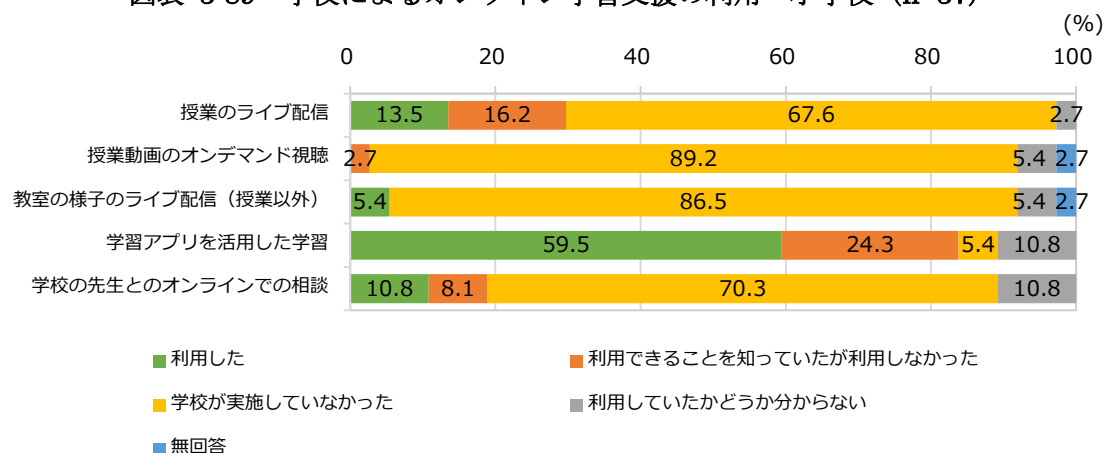
3-3-7 学校によるオンライン学習支援の利用の有無

11 10で「使うことができた」と回答した方にお聞きします。お子さまは、以下の学校によるオンラインを活用した学習支援や動画の配信等を利用しましたか。それぞれ一番近いものを1つ選んでください。

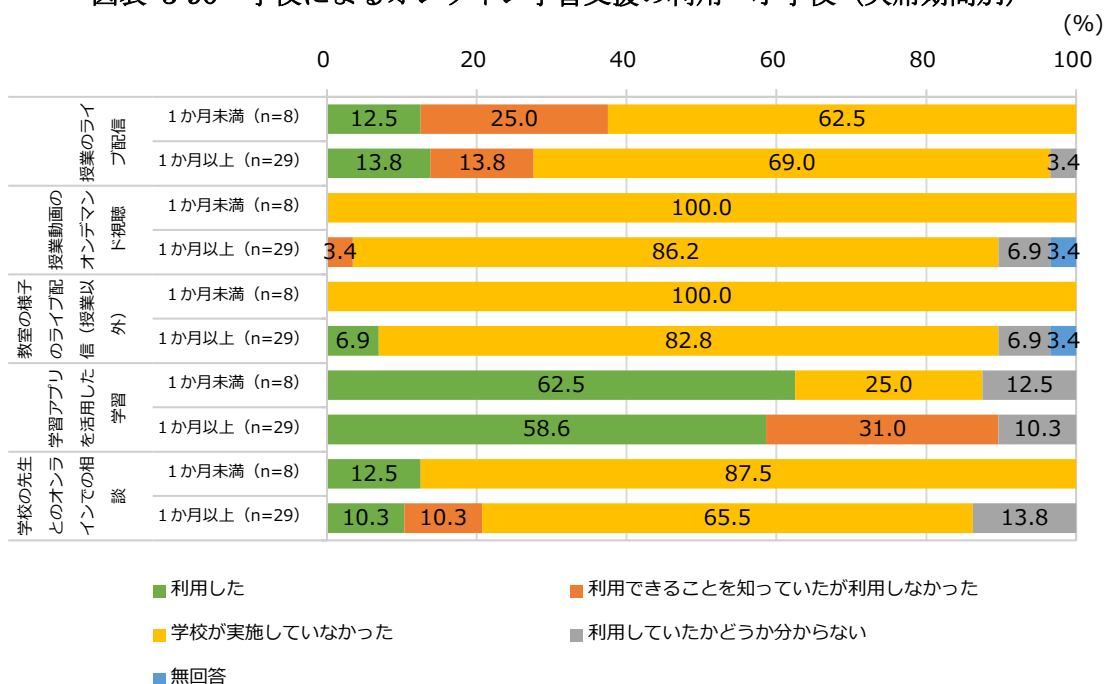
(1) 小学校

学校によるオンライン学習支援の利用についてみると、小学校では、約6割が「学習アプリを活用した学習」をしたと回答している。そのほかのオンラインを活用した学習支援や動画の配信については、「学校が実施していなかった」の割合が高い。

図表 3-89 学校によるオンライン学習支援の利用 小学校 (n=37)



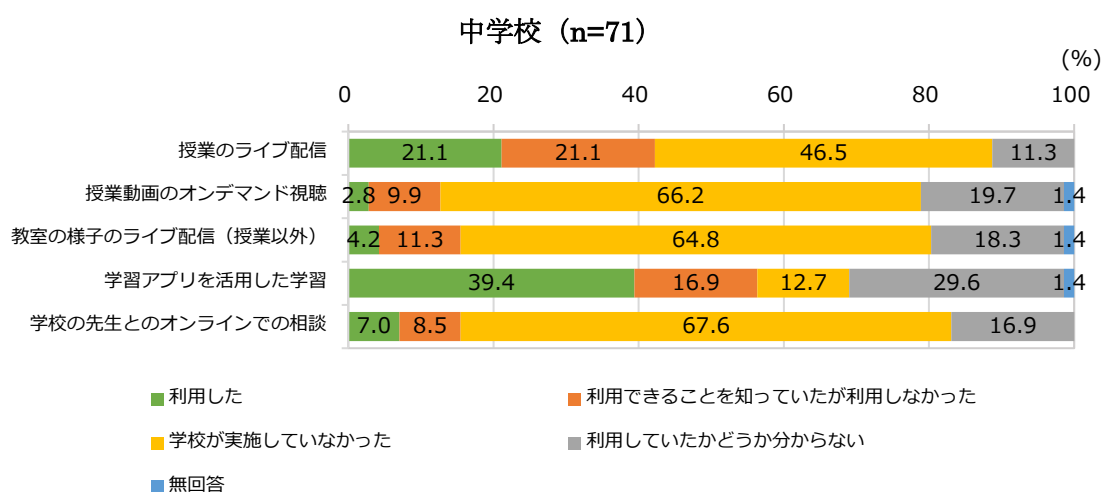
図表 3-90 学校によるオンライン学習支援の利用 小学校 (欠席期間別)



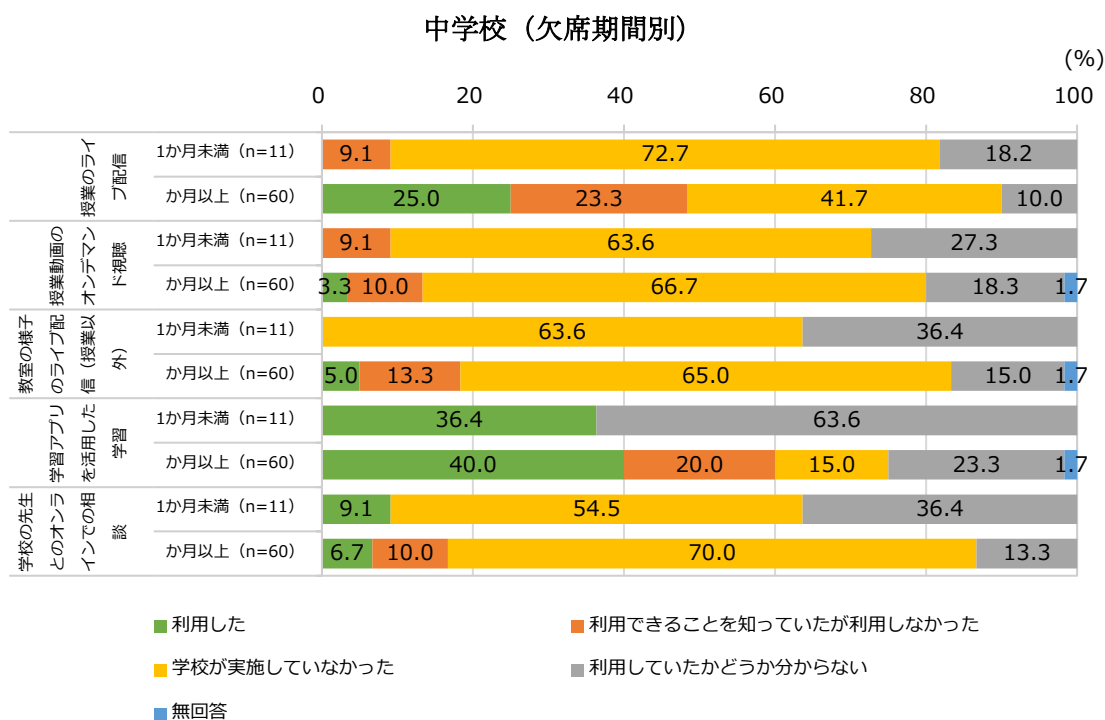
(2)中学校

学校によるオンライン学習支援の利用についてみると、中学校では、約4割が「学習アプリを活用した学習」を、約2割が「授業のライブ配信」による学習をしたと回答している。そのほかのオンラインを活用した学習支援や動画の配信については、「学校が実施していなかった」の割合が高い。

図表 3-91 学校によるオンライン学習支援の利用



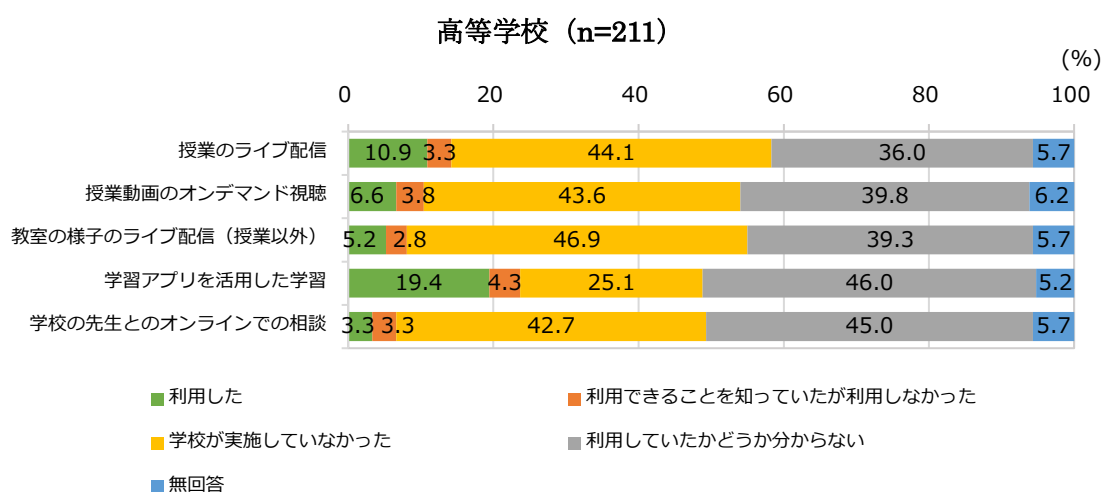
図表 3-92 学校によるオンライン学習支援の利用



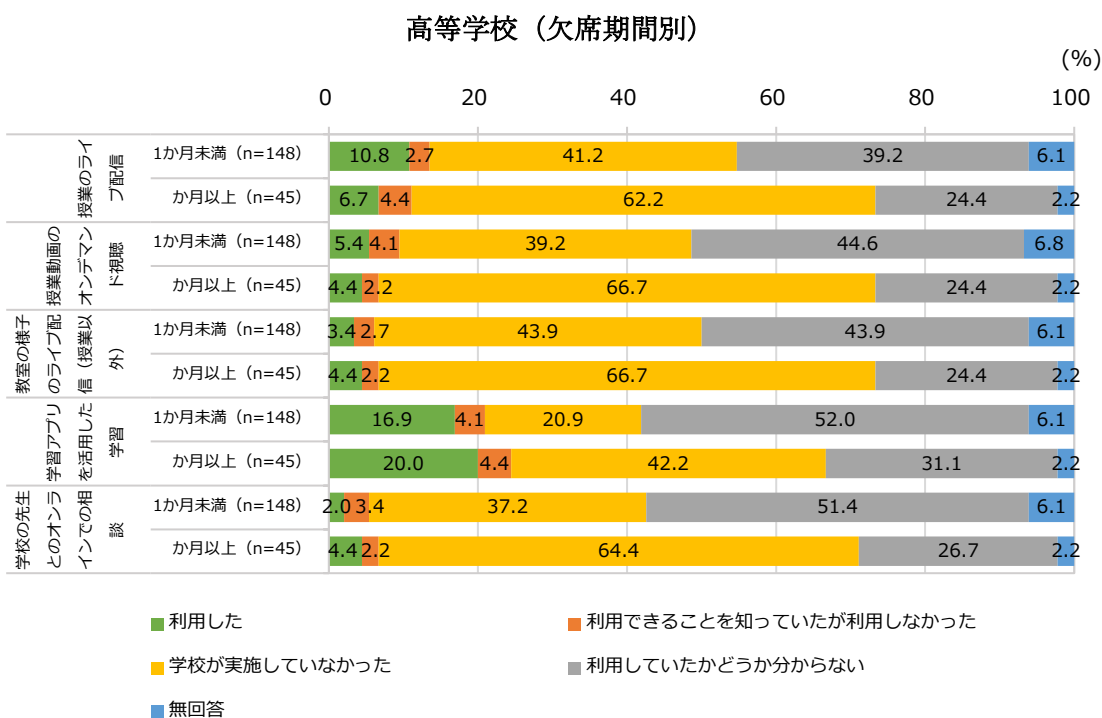
(3)高等学校

学校によるオンライン学習支援の利用についてみると、高等学校では、「学習アプリを活用した学習」は19.4%が利用したと回答している。そのほかのオンラインを活用した学習支援や動画の配信等については、「学校が実施していなかった」の割合が高く、「利用していたかどうか分からない」と合わせると8割を超える。

図表 3-93 学校によるオンライン学習支援の利用



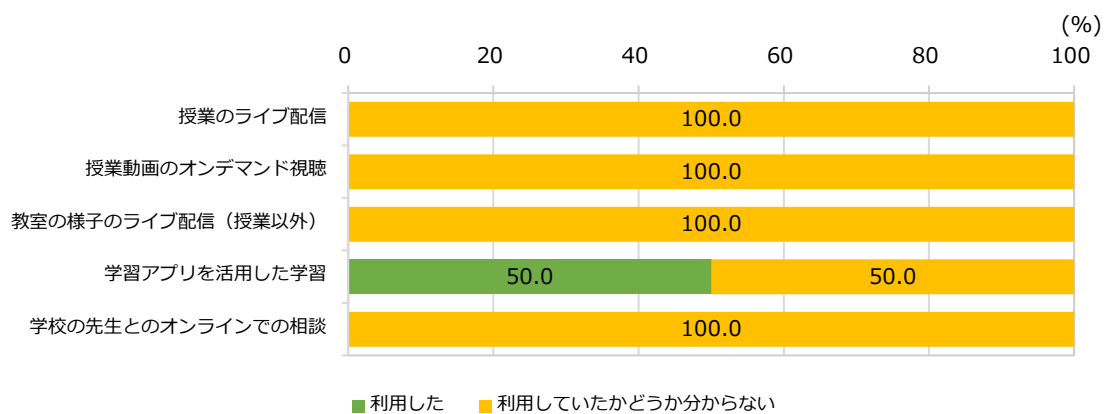
図表 3-94 学校によるオンライン学習支援の利用



(4) 特別支援学校

学校によるオンライン学習支援の利用についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

図表 3-95 学校によるオンライン学習支援の利用
(特別支援学校、n=2、1か月未満)



3-4 不登校児童生徒およびその保護者に対するサポートの利用について

3-4-1 学校内の別室の利用の有無

12 お子さまは、学校内で教室に入れない児童生徒が利用できる「別室（サポートルーム等）」を利用しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

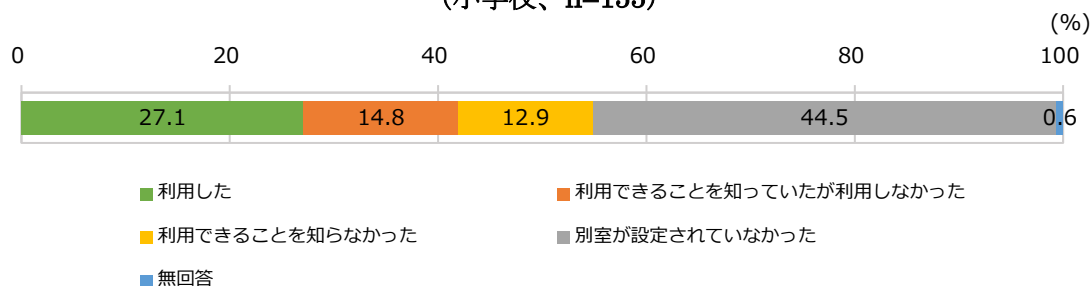
(1) 小学校

① 利用状況

学校内の別室の利用についてみると、小学校では、約 27%が「利用した」と回答している。

図表 3-96 学校内の別室の利用

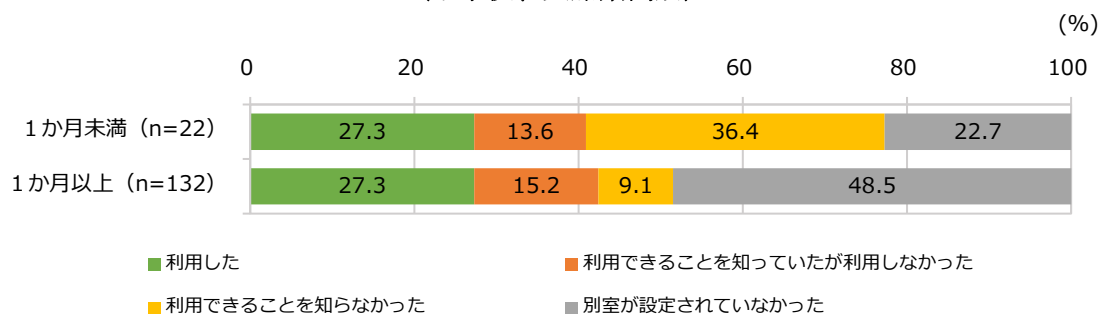
(小学校、n=155)



欠席期間別にみると、小学校では、「利用できることを知らなかった」割合が、1か月未満では 36.4%で、1か月以上（9.1%）との差が大きい。

図表 3-97 学校内の別室の利用

(小学校、欠席期間別)



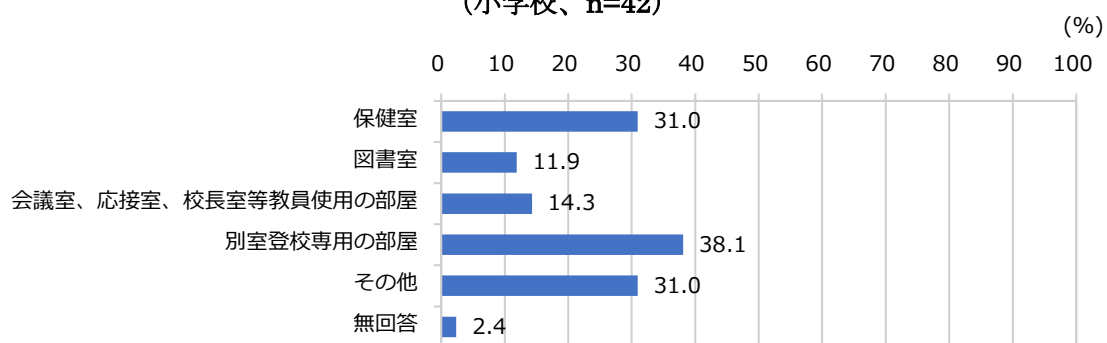
②利用した部屋

12-1 12で「利用した」と回答した方にお聞きます。利用していた（している）部屋はどこですか。（複数回答）。

利用した部屋についてみると、小学校では、「別室登校専用の部屋」の割合が38.1%で最も高い。次いで、「保健室」が31.0%となっている。

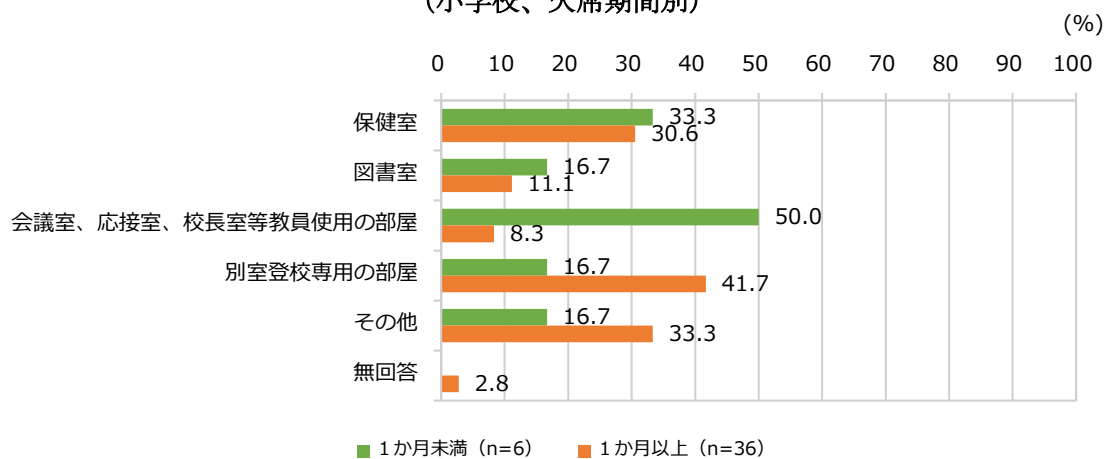
図表 3-98 利用した部屋

(小学校、n=42)



図表 3-99 利用した部屋

(小学校、欠席期間別)



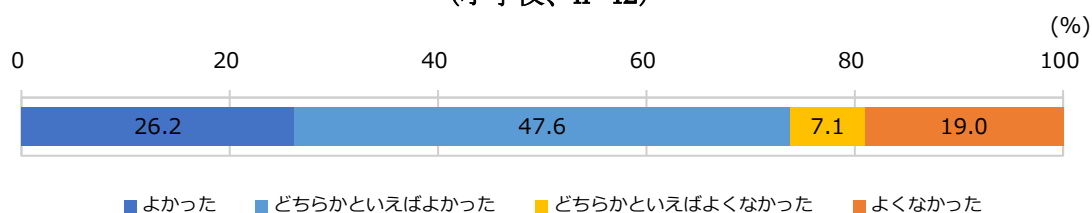
③利用した感想

12-2 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用した感想として、一番近いものを選んでください。

学校内の別室を利用した感想についてみると、小学校では、「どちらかといえばよかった」の割合が最も高く、「よかった」と合わせると7割を超える。

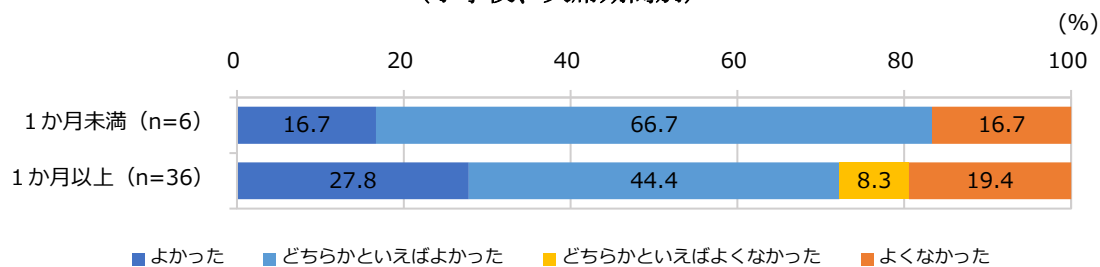
図表 3-100 利用した感想

(小学校、n=42)



図表 3-101 利用した感想

(小学校、欠席期間別)



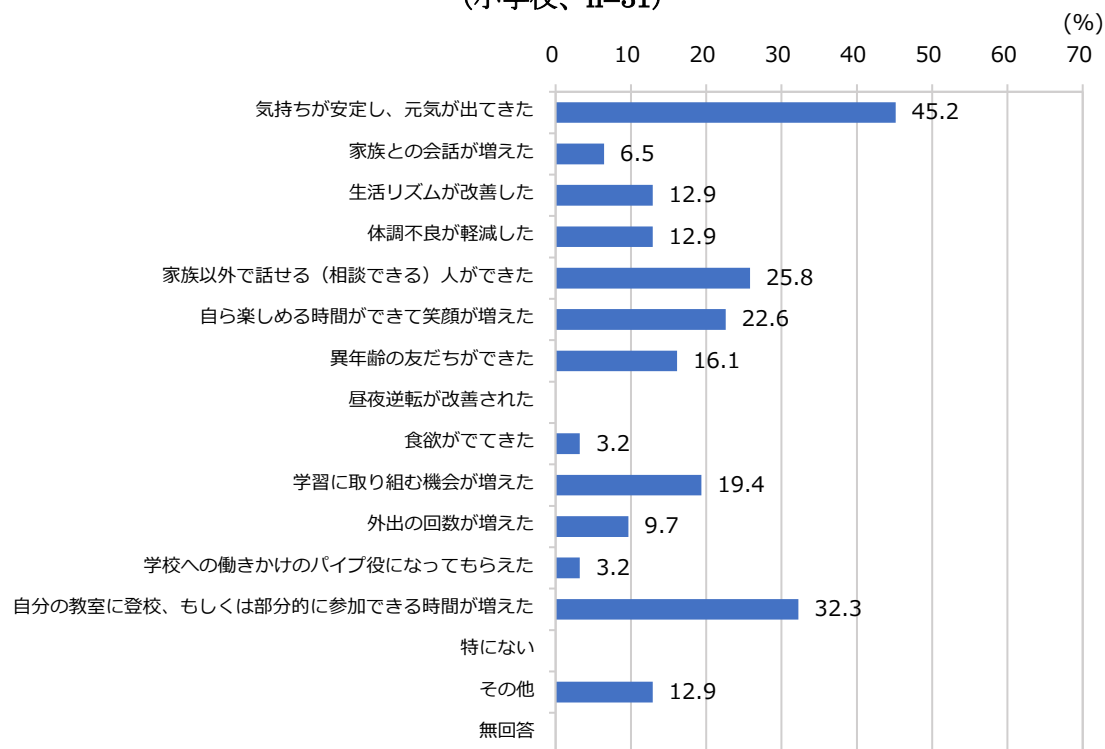
④利用してよかった理由

12-3 12-2で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

学校内の別室を利用してよかった理由についてみると、小学校では、「気持ちが安定し、元気が出てきた」の割合が最も高い。次いで、「自分の教室に登校、もしくは部分的に参加できる時間が増えた（32.3%）」、「家族以外で話せる人ができた（25.8%）」となっている。

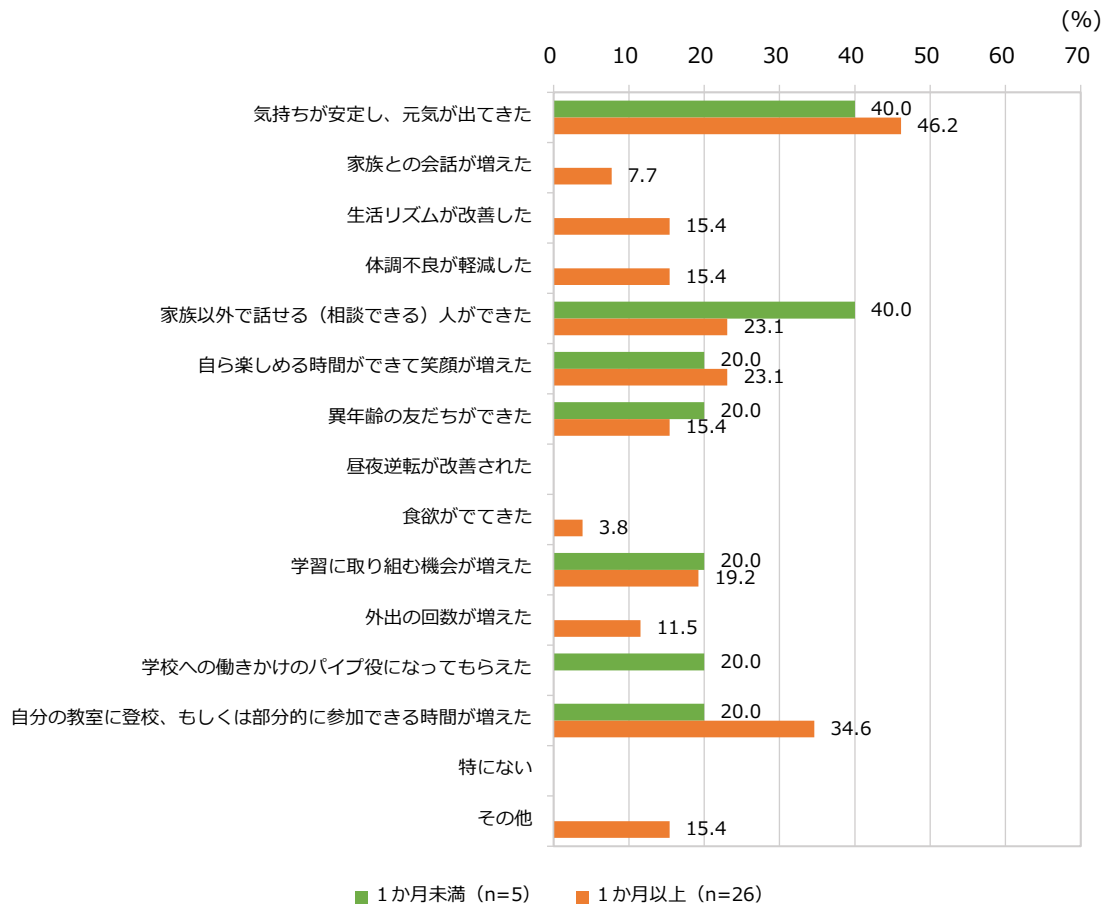
図表 3-102 利用してよかった理由

(小学校、n=31)



図表 3-103 利用してよかった理由

(小学校、欠席期間別)



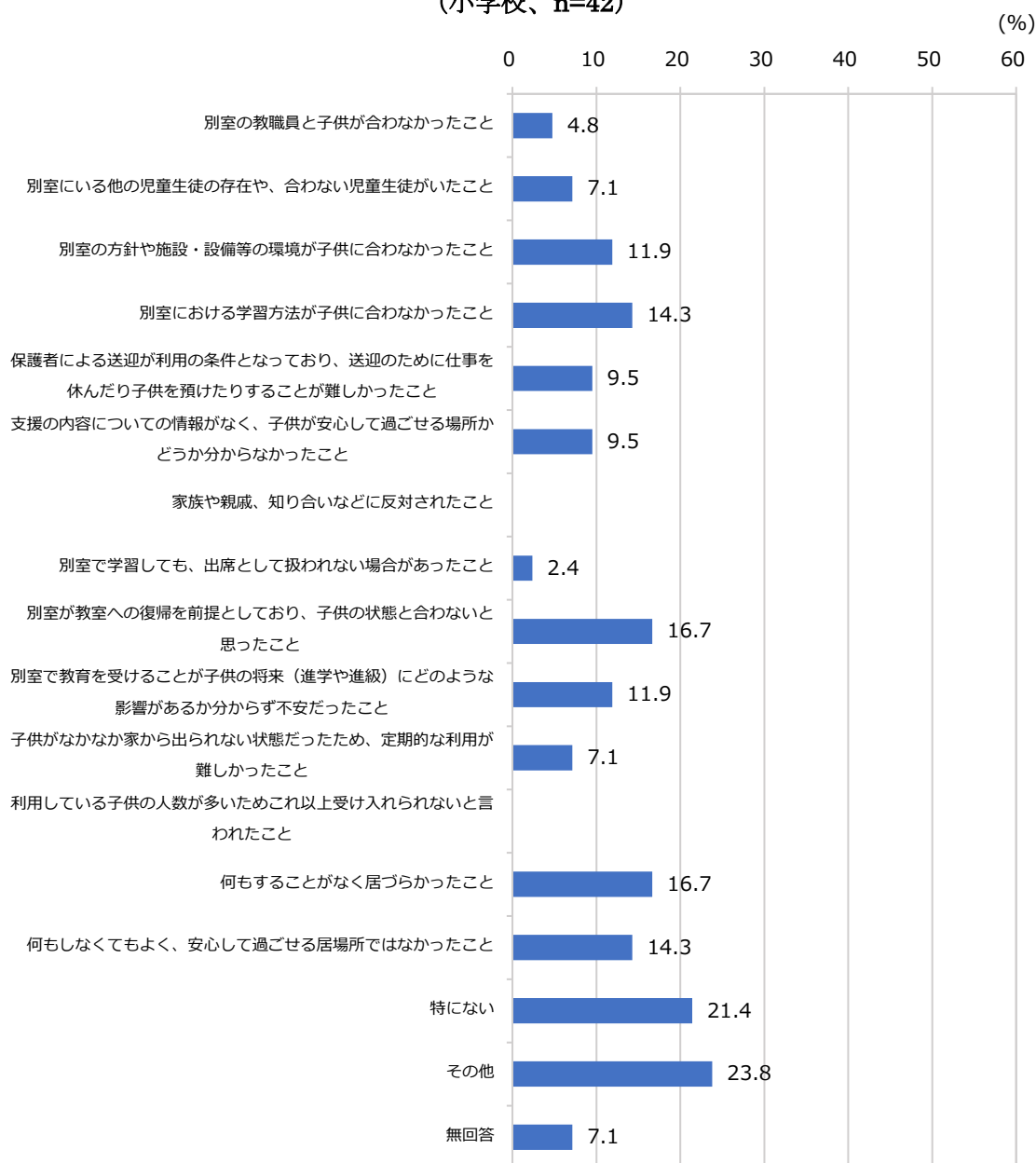
⑤利用した際に困ったこと

12-4 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用した際に困ったことは何ですか。
(複数回答)。

学校内の別室を利用した際に困ったことについてみると、小学校では、「その他」「特にな
い」に次いで、「別室が教室への復帰を前提としており、子供の状態と合わないと思っ
たこと」、「何もすることがなく居づらかったこと」の割合が高い。

図表 3-104 利用した際に困ったこと

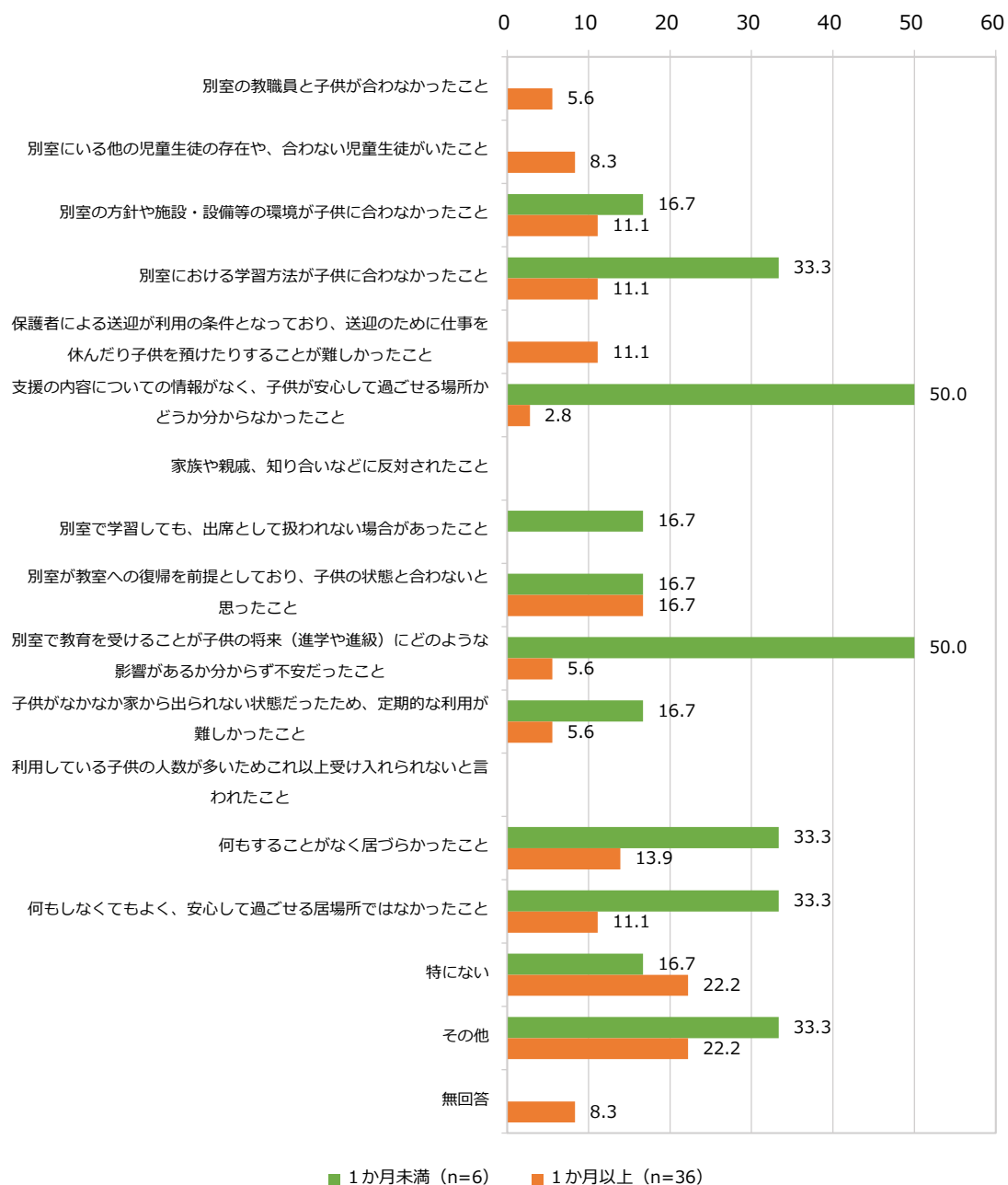
(小学校、n=42)



図表 3-105 利用した際に困ったこと

(小学校、欠席期間別)

(%)

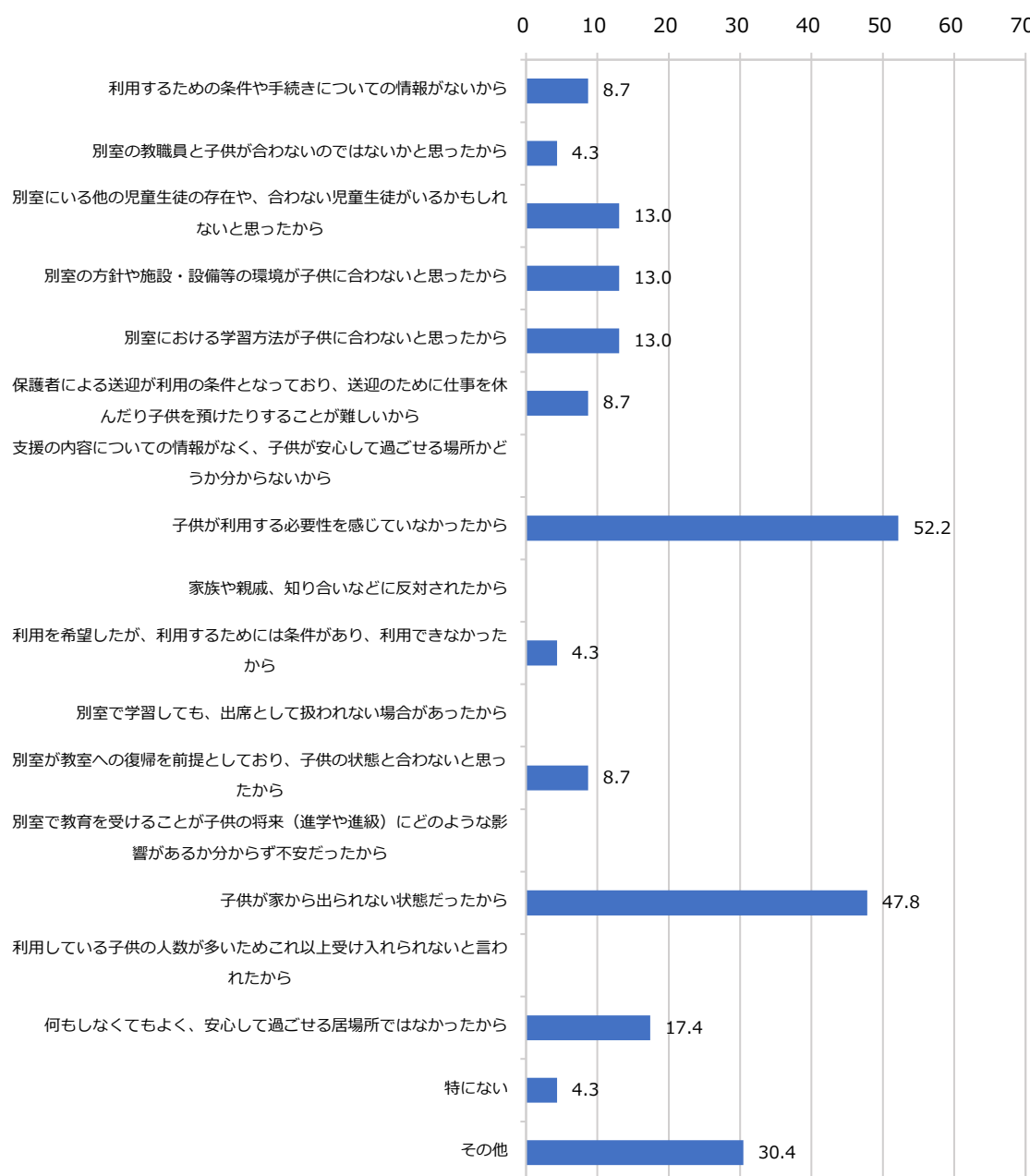


⑥利用できることを知っていたが利用しなかった理由

12-5 12で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

学校内の別室を利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、小学校では、「子供が利用する必要性を感じていなかったから」の割合が52.2%と最も高い。次いで、「子供が家から出られない状況だったから（47.8%）」となっている。

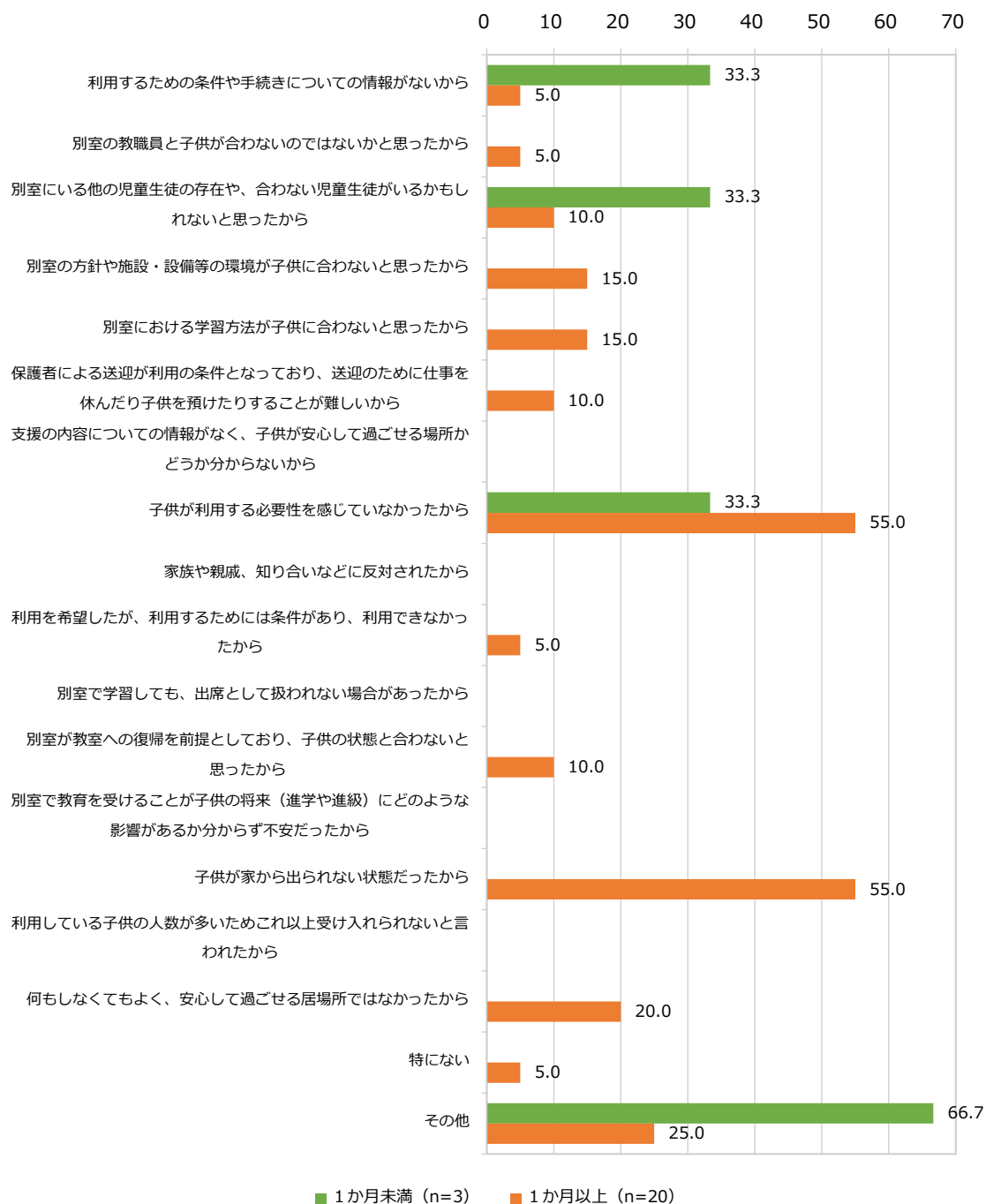
図表 3-106 利用できることを知っていたが利用しなかった理由（小学校、n=23）（%）



図表 3-107 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(小学校、欠席期間別)

(%)



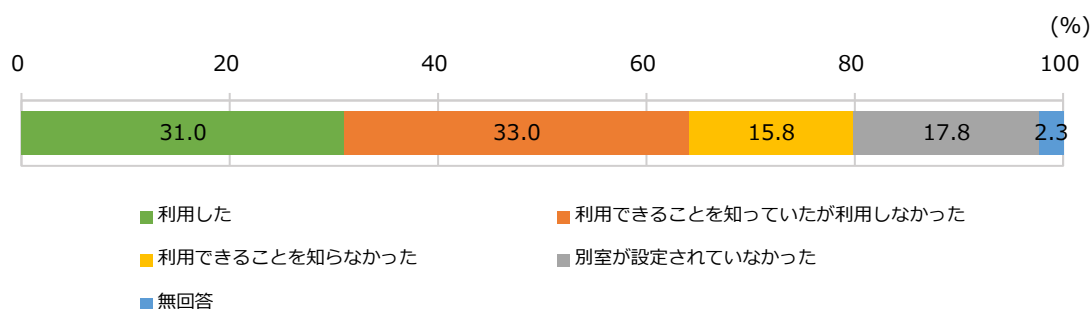
(2)中学校

①利用状況

学校内の別室の利用についてみると、中学校では、「利用した」と「利用できることを知っていたが利用しなかった」の割合がともに約3割であった。

図表 3-108 学校内の別室の利用

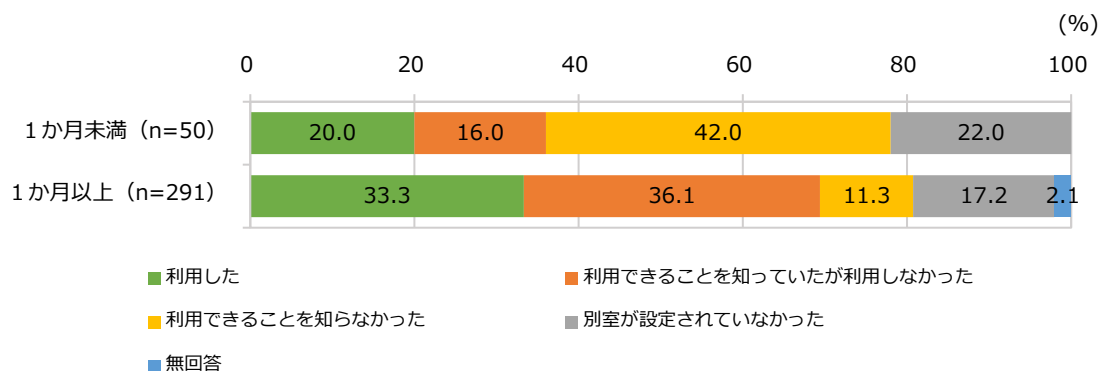
(中学校、n=348)



欠席期間別にみると、中学校では、1か月未満で「利用できることを知らなかった」の割合が42.0%と最も高く、1か月以上は「利用できることを知っていたが利用しなかった」の割合が36.1%と最も高い。

図表 3-109 学校内の別室の利用

(中学校、欠席期間別)



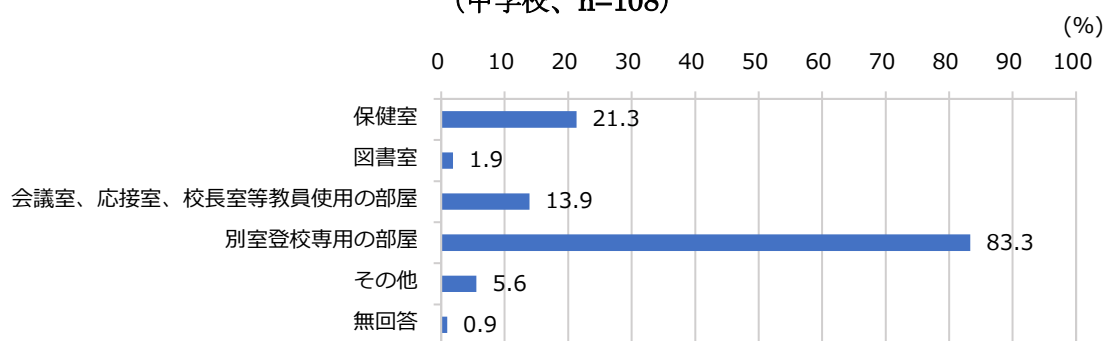
②利用した部屋

12-1 12で「利用した」と回答した方にお聞きます。利用していた（している）部屋はどこですか。（複数回答）。

利用した部屋についてみると、中学校では、「別室登校専用の部屋」の利用が83.3%と最も高い。次いで、「保健室」の利用が21.3%となっている。

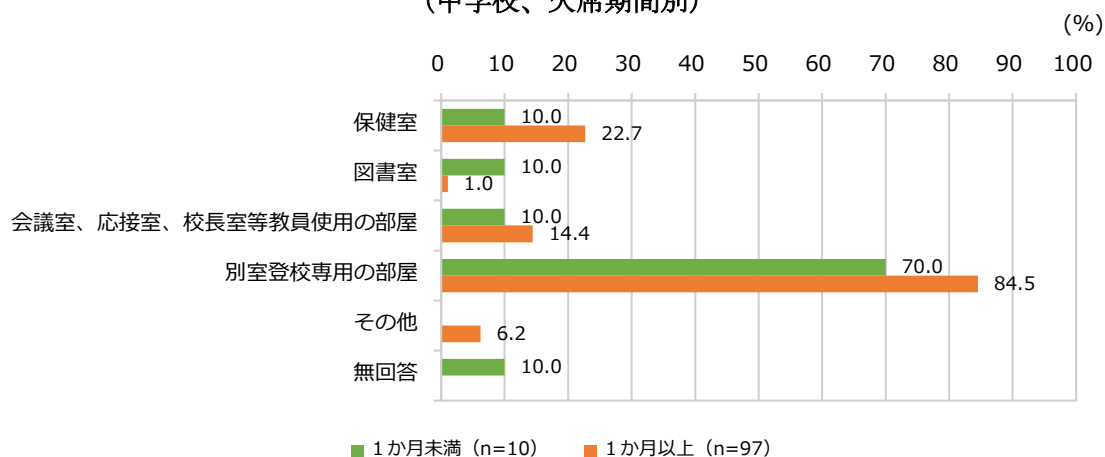
図表 3-110 利用した部屋

(中学校、n=108)



図表 3-111 利用した部屋

(中学校、欠席期間別)



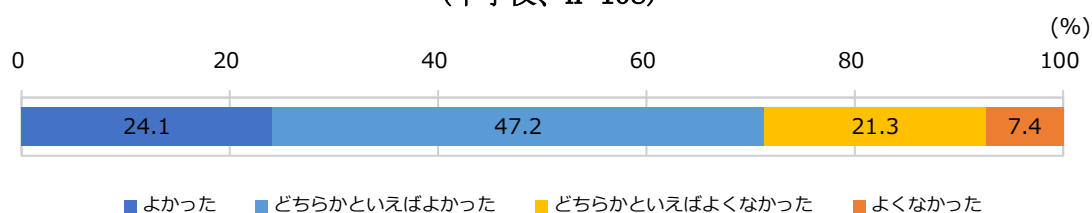
③利用した感想

12-2 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用した感想として、一番近いものを選んでください。

学校内の別室を利用した感想についてみると、中学校では、「どちらかといえばよかった」の割合が最も高く、「よかった」と合わせると7割を超える。

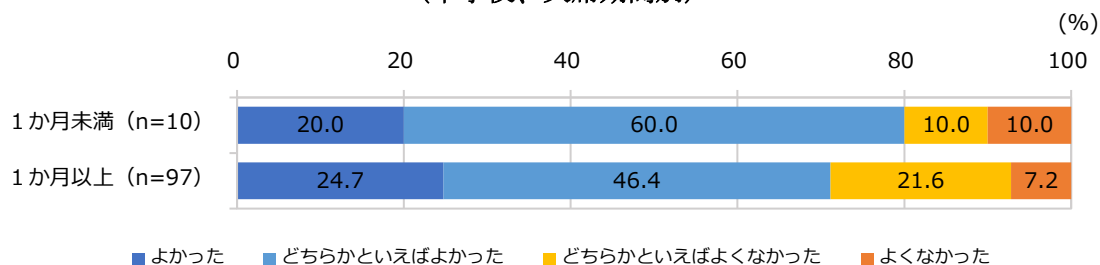
図表 3-112 利用した感想

(中学校、n=108)



図表 3-113 利用した感想

(中学校、欠席期間別)



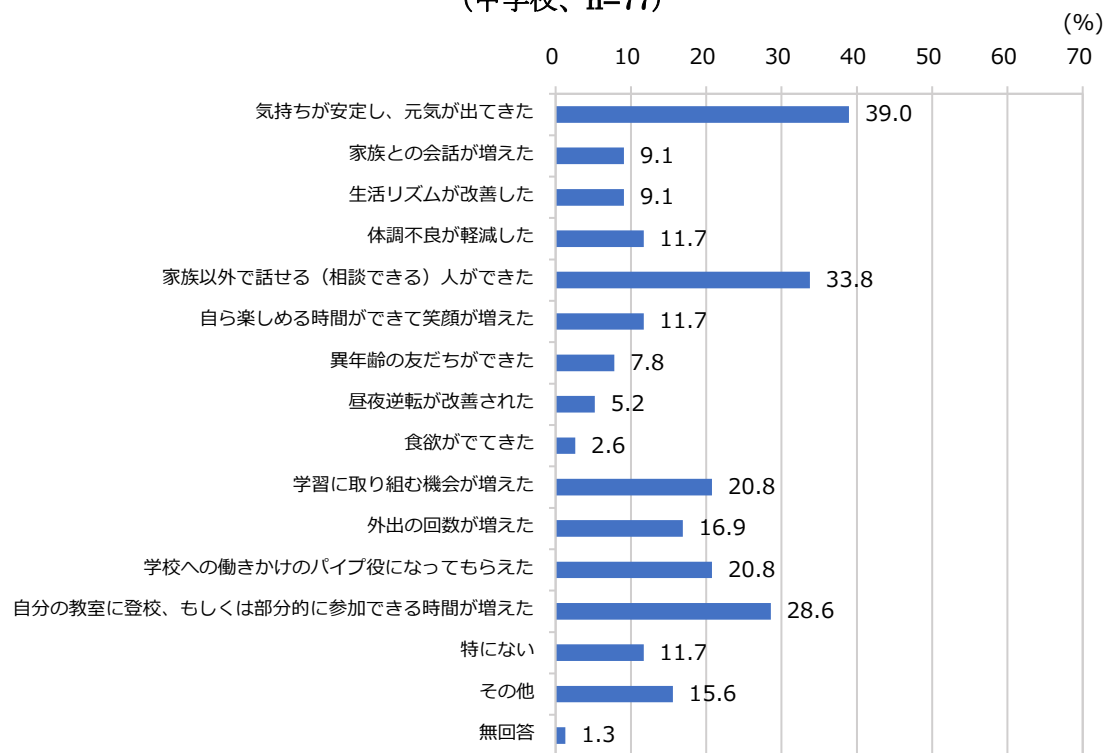
④利用してよかった理由

12-3 12-2で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

学校内の別室を利用してよかった理由についてみると、中学校では、「気持ちが安定し、元気が出てきた」の割合が最も高い。次いで、「家族以外で話せる人ができた」、「自分の教室に登校、もしくは部分的に参加できる時間が増えた」となっている。

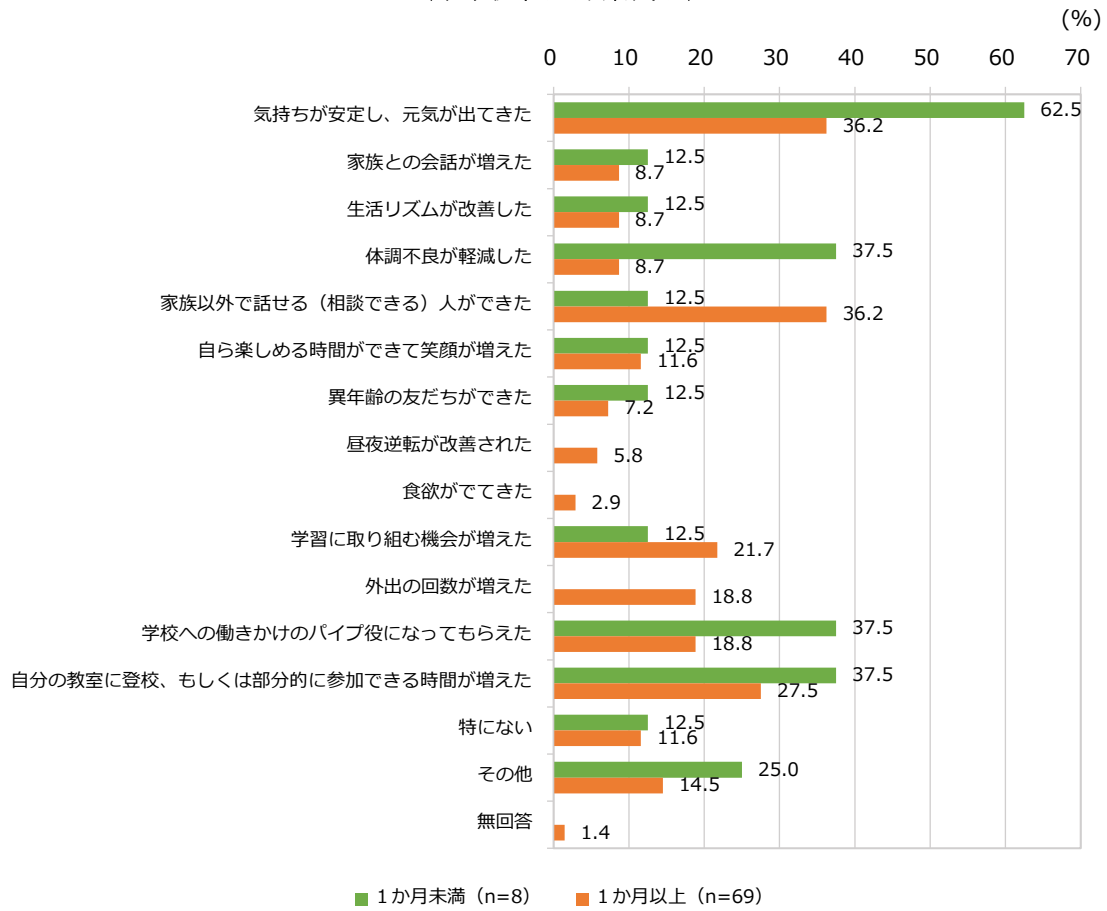
図表 3-114 利用してよかった理由

(中学校、n=77)



図表 3-115 利用してよかった理由

(中学校、欠席期間別)



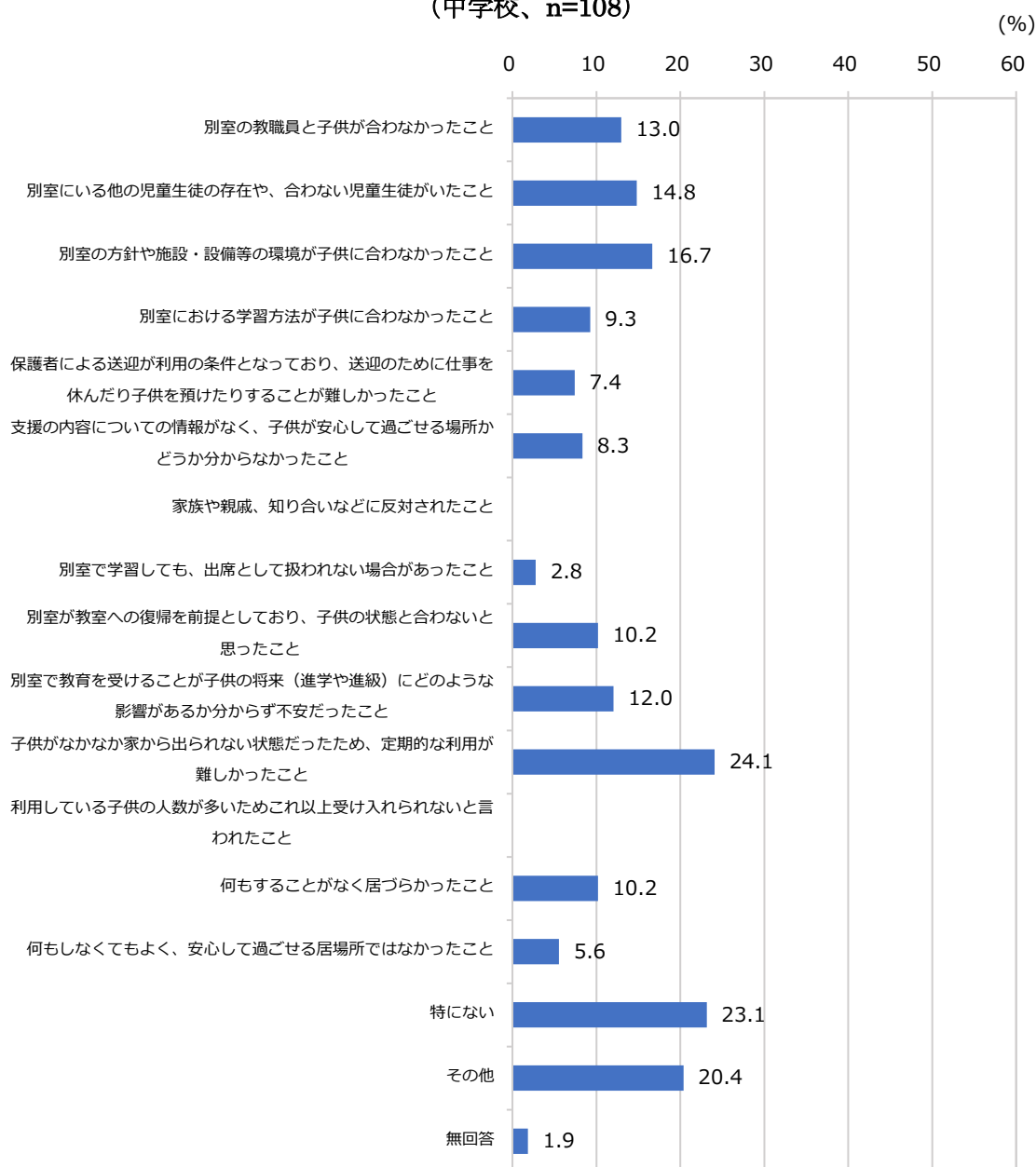
⑤利用した際に困ったこと

12-4 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用した際に困ったことは何ですか。
(複数回答)。

学校内の別室を利用した際に困ったことについてみると、中学校では、「子供がなかなか家から出られない状態だったため、定期的な利用が難しかったこと」が24.1%と最も高い。

図表 3-116 利用した際に困ったこと

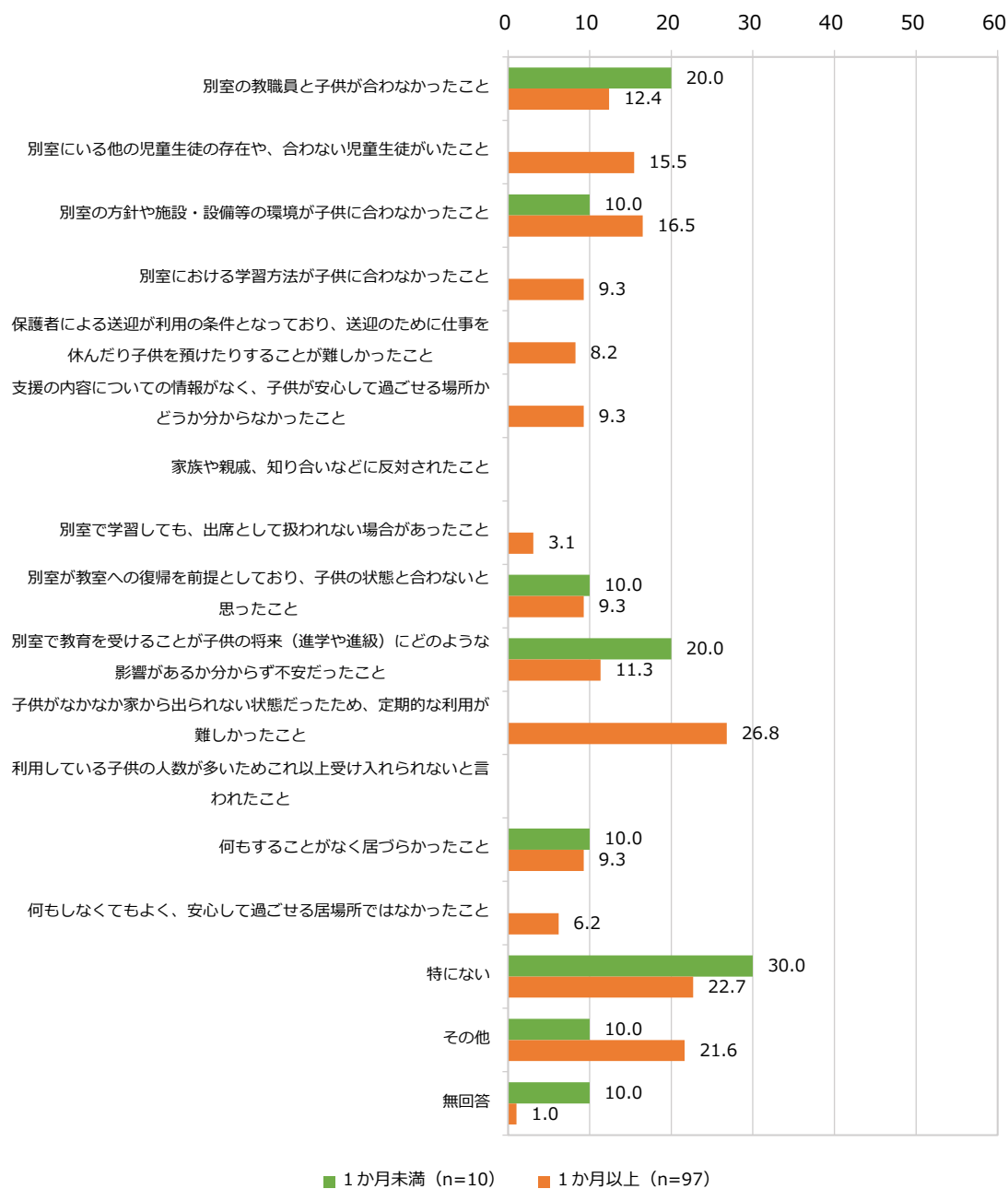
(中学校、n=108)



図表 3-117 利用した際に困ったこと

(中学校、欠席期間別)

(%)

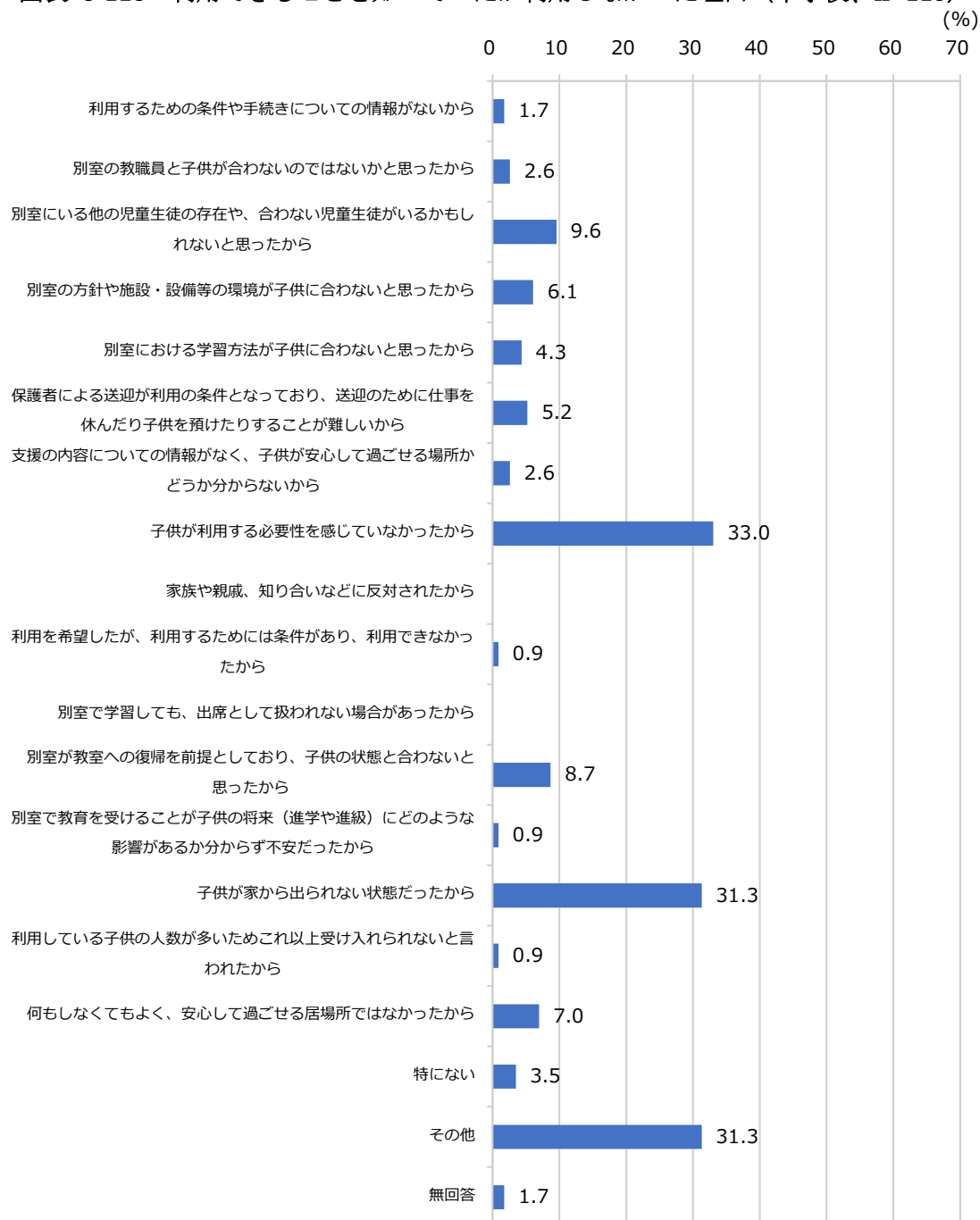


⑥利用できることを知っていたが利用しなかった理由

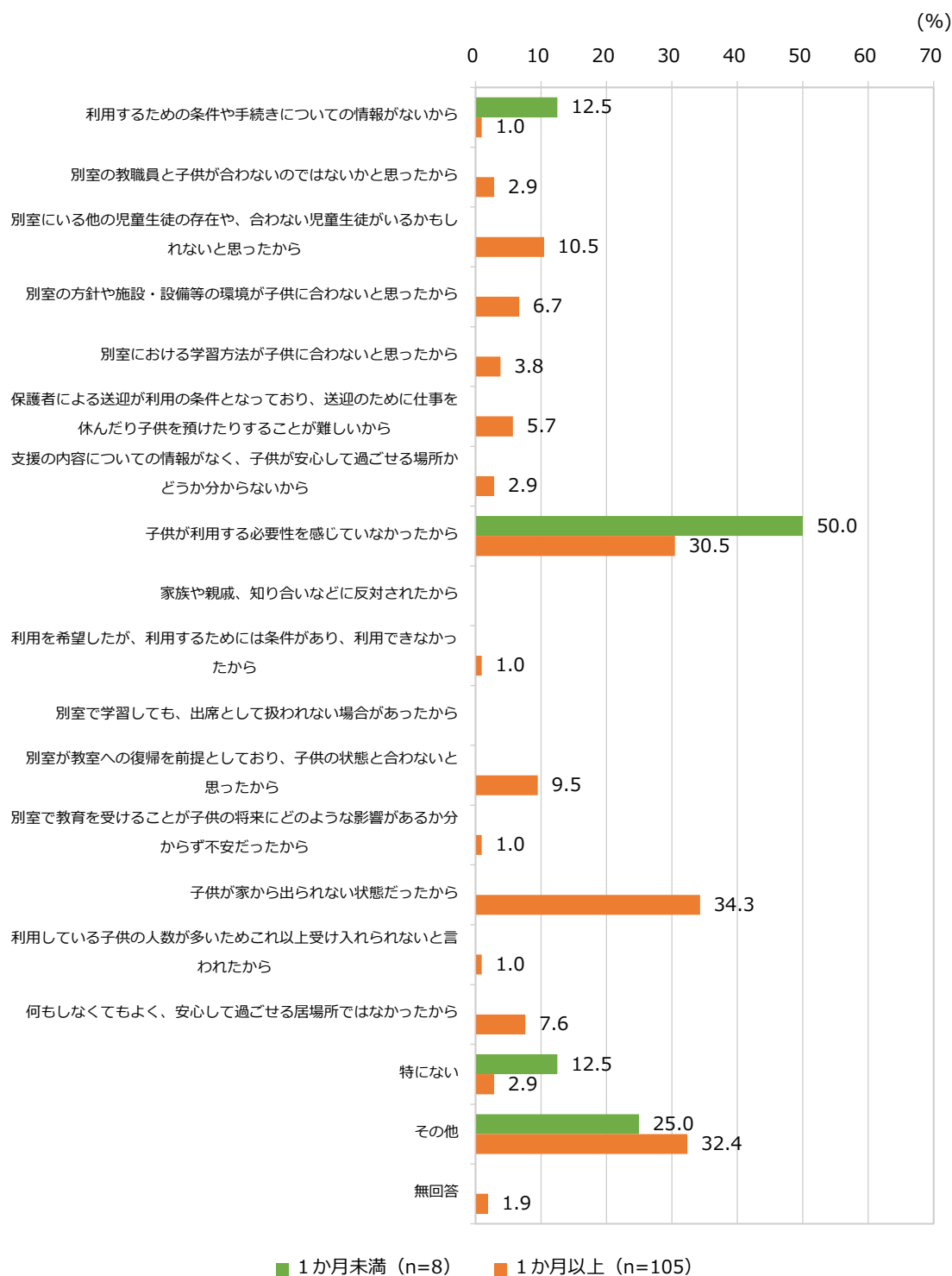
12-5 12で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

学校内の別室を利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、中学校では、「子供が利用する必要性を感じていなかったから」の割合が33.0%と最も高い。

図表 3-118 利用できることを知っていたが利用しなかった理由（中学校、n=115）



図表 3-119 利用できることを知っていたが利用しなかった理由
(中学校、欠席期間別)

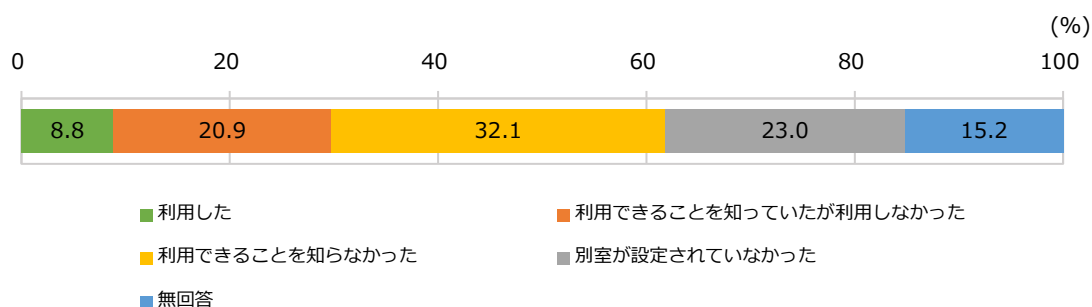


(3) 高等学校

① 利用状況

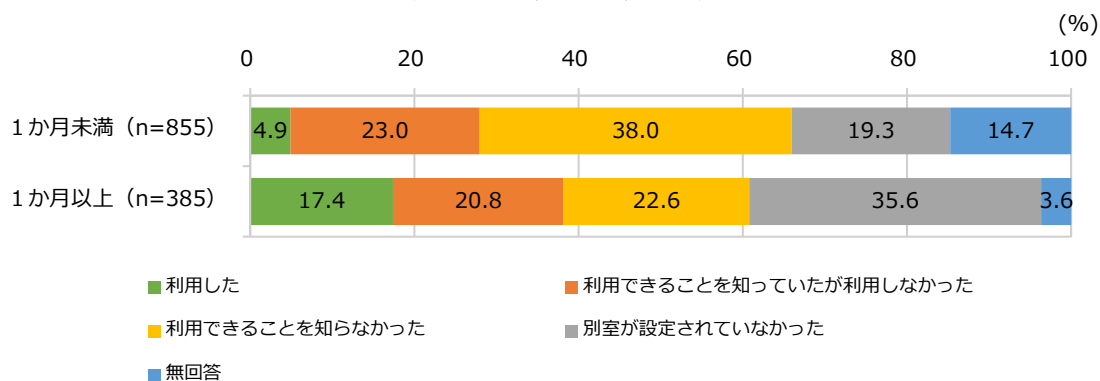
学校内の別室の利用についてみると、高等学校では、「利用できることを知らなかった」の割合が 32.1%と最も高い。

図表 3-120 学校内の別室の利用
(高等学校、n=1,369)



欠席期間別にみると、高等学校では、1か月未満で「利用できることを知らなかった」の割合が 38.0%と最も高く、1か月以上は「別室が設定されていなかった」の割合が 35.6%と最も高い。また、「利用した」割合も1か月以上 (17.4%) は、1か月未満 (4.9%) に比べて高い。

図表 3-121 学校内の別室の利用
(高等学校、欠席期間別)



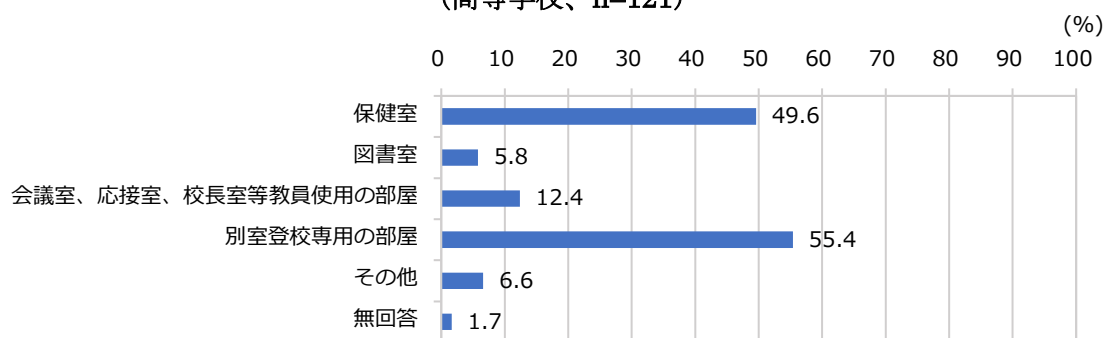
②利用した部屋

12-1 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。利用していた（している）部屋はどこですか。（複数回答）。

利用した部屋についてみると、高等学校では、「別室登校専用の部屋」の利用が55.4%と最も高く、次いで「保健室」の利用が49.6%となっている。

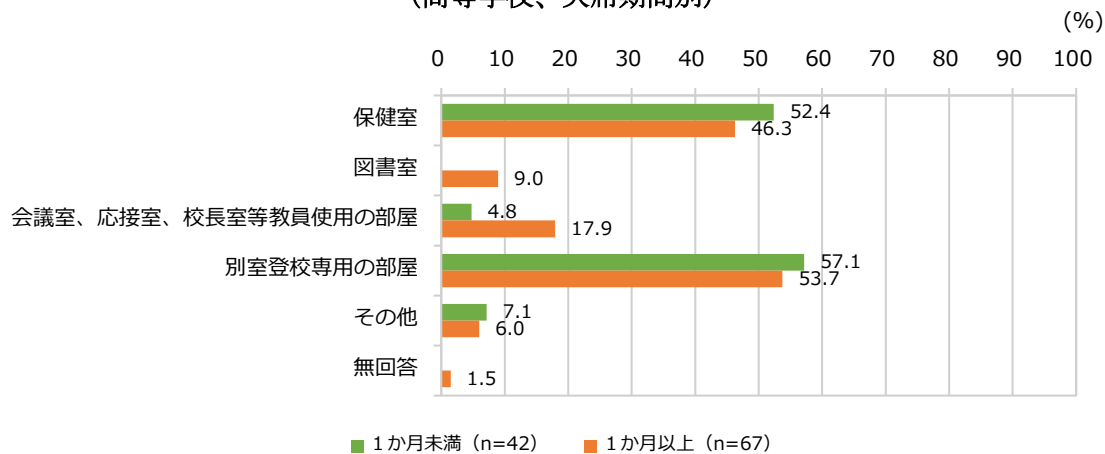
図表 3-122 利用した部屋

(高等学校、n=121)



図表 3-123 利用した部屋

(高等学校、欠席期間別)



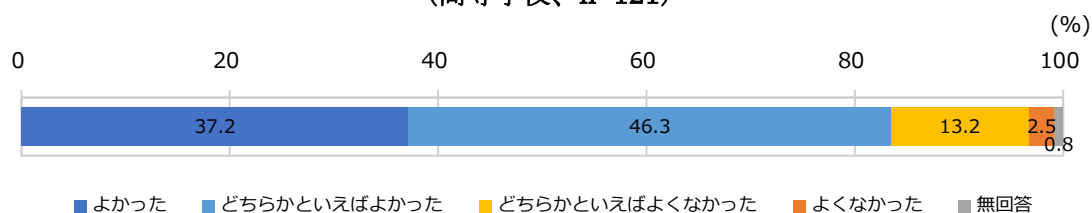
③利用した感想

12-2 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用した感想として、一番近いものを選んでください。

学校内の別室を利用した感想についてみると、高等学校では、「どちらかといえばよかった」の割合が最も高く、「よかった」と合わせると8割を超える。

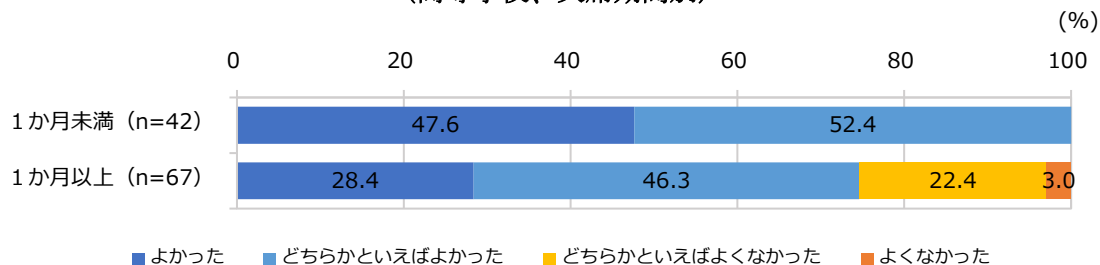
図表 3-124 利用した感想

(高等学校、n=121)



図表 3-125 利用した感想

(高等学校、欠席期間別)



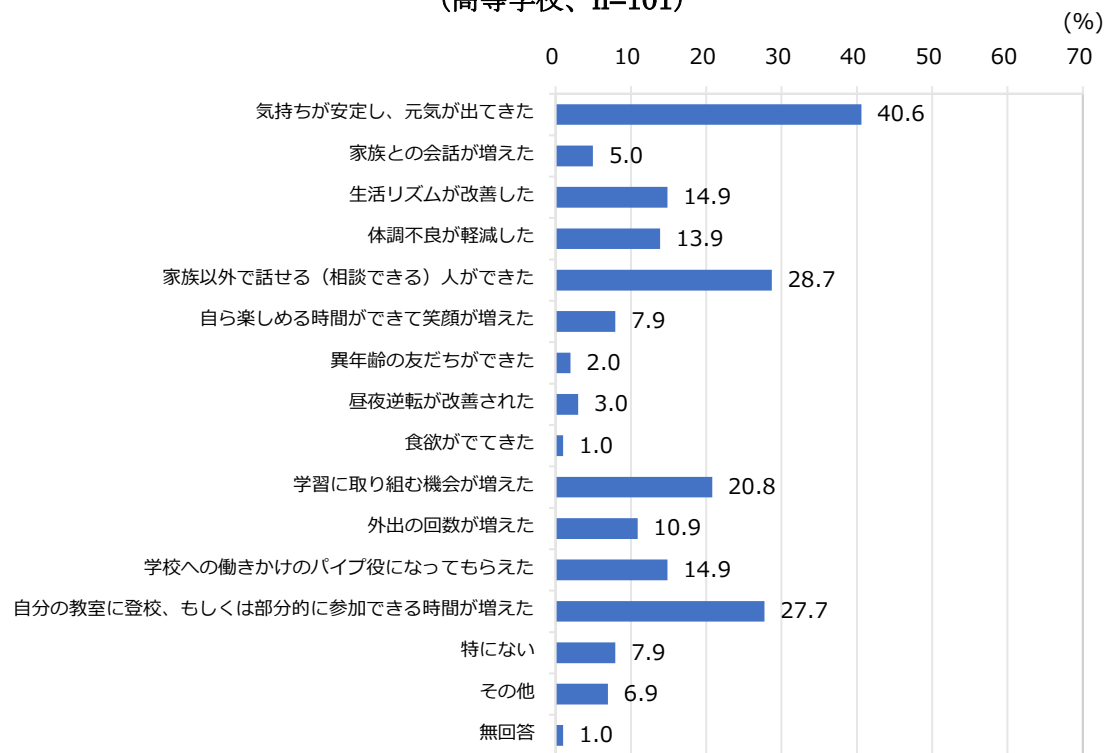
④利用してよかった理由

12-3 12-2で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

学校内の別室を利用してよかった理由についてみると、高等学校では、「気持ちが安定し、元気が出てきた」の割合が最も高い。次いで、「家族以外で話せる人ができた」、「自分の教室に登校、もしくは部分的に参加できる時間が増えた」となっている。

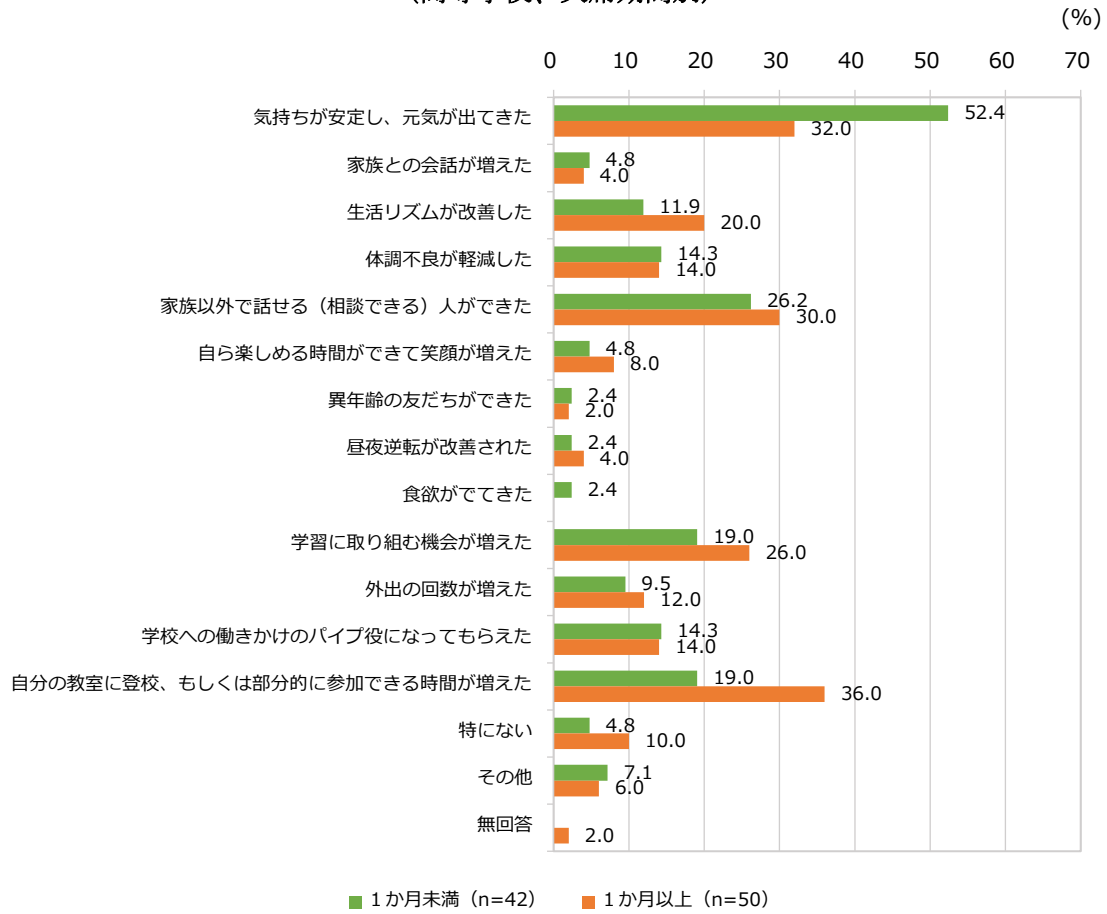
図表 3-126 利用してよかった理由

(高等学校、n=101)



図表 3-127 利用してよかった理由

(高等学校、欠席期間別)

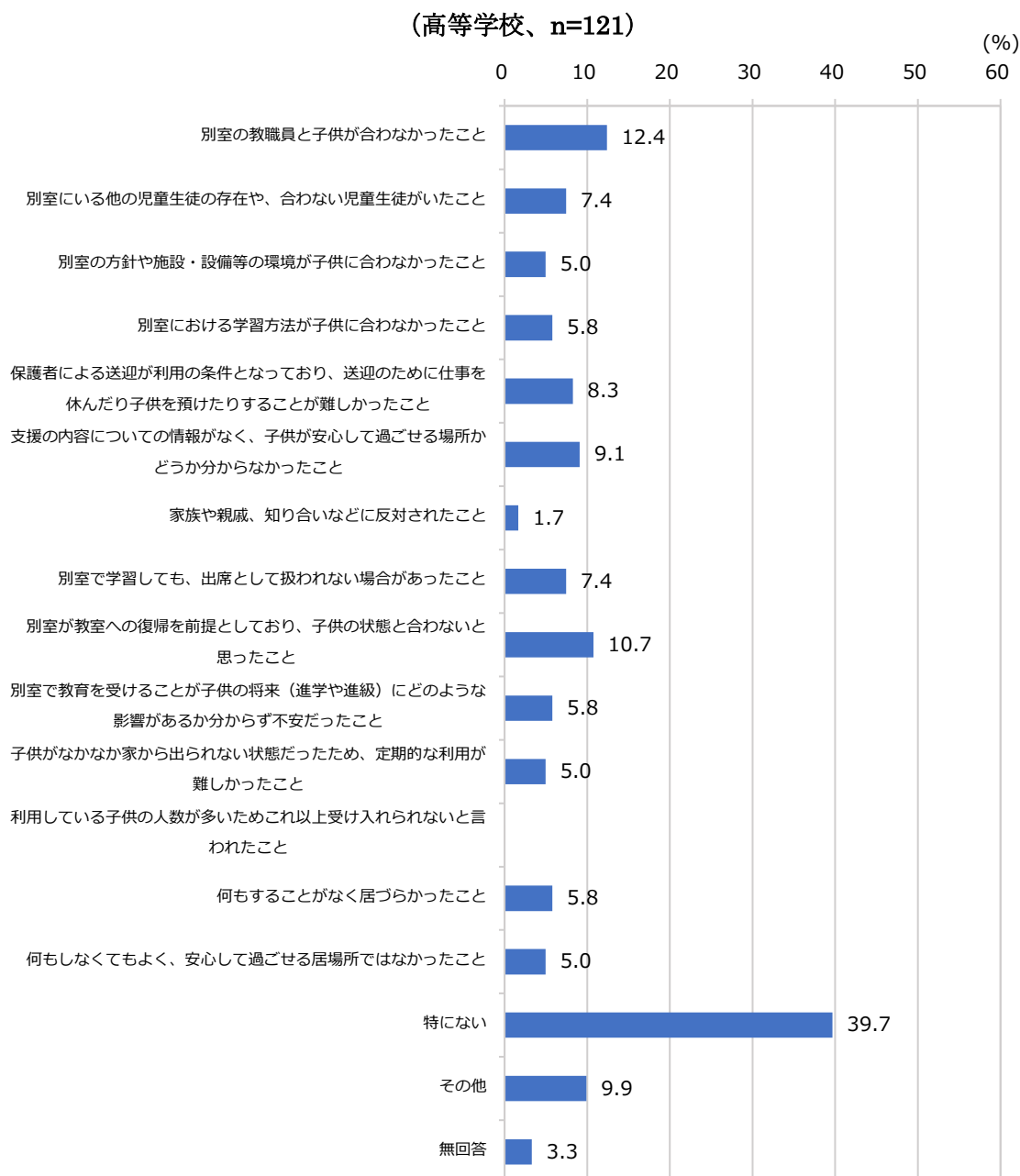


⑤利用した際に困ったこと

12-4 12で「利用した」と回答した方にお聞きます。「別室」を利用した際に困ったことは何ですか。
(複数回答)。

学校内の別室を利用した際に困ったことについてみると、高等学校では、「特にない」、「その他」を除いて、「別室の教職員と子供が合わなかったこと (12.4%)」、「別室が教室への復帰を前提としており、子供の状態と合わないと思ったこと (10.7%)」の割合が高い。

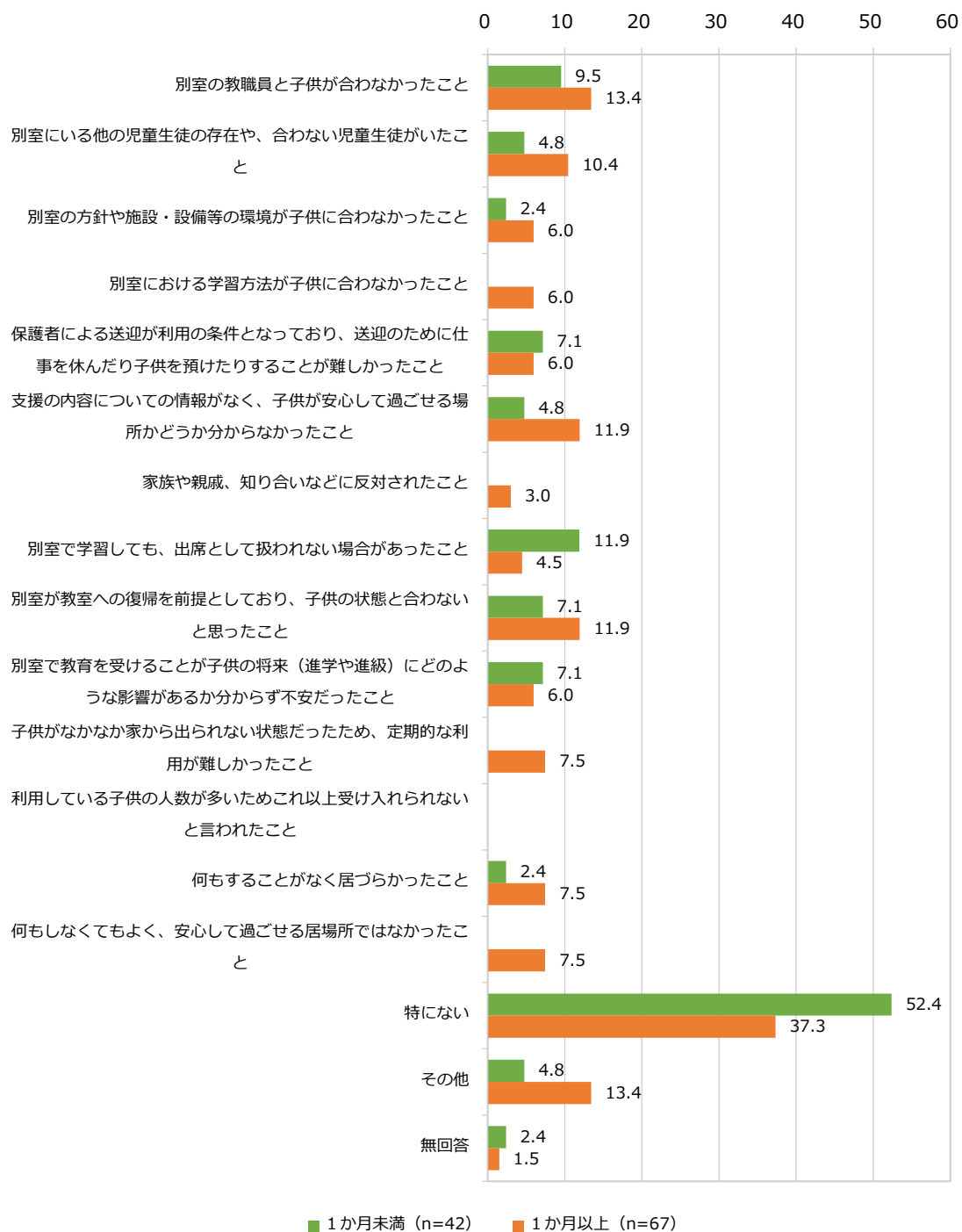
図表 3-128 利用した際に困ったこと



図表 3-129 利用した際に困ったこと

(高等学校、欠席期間別)

(%)

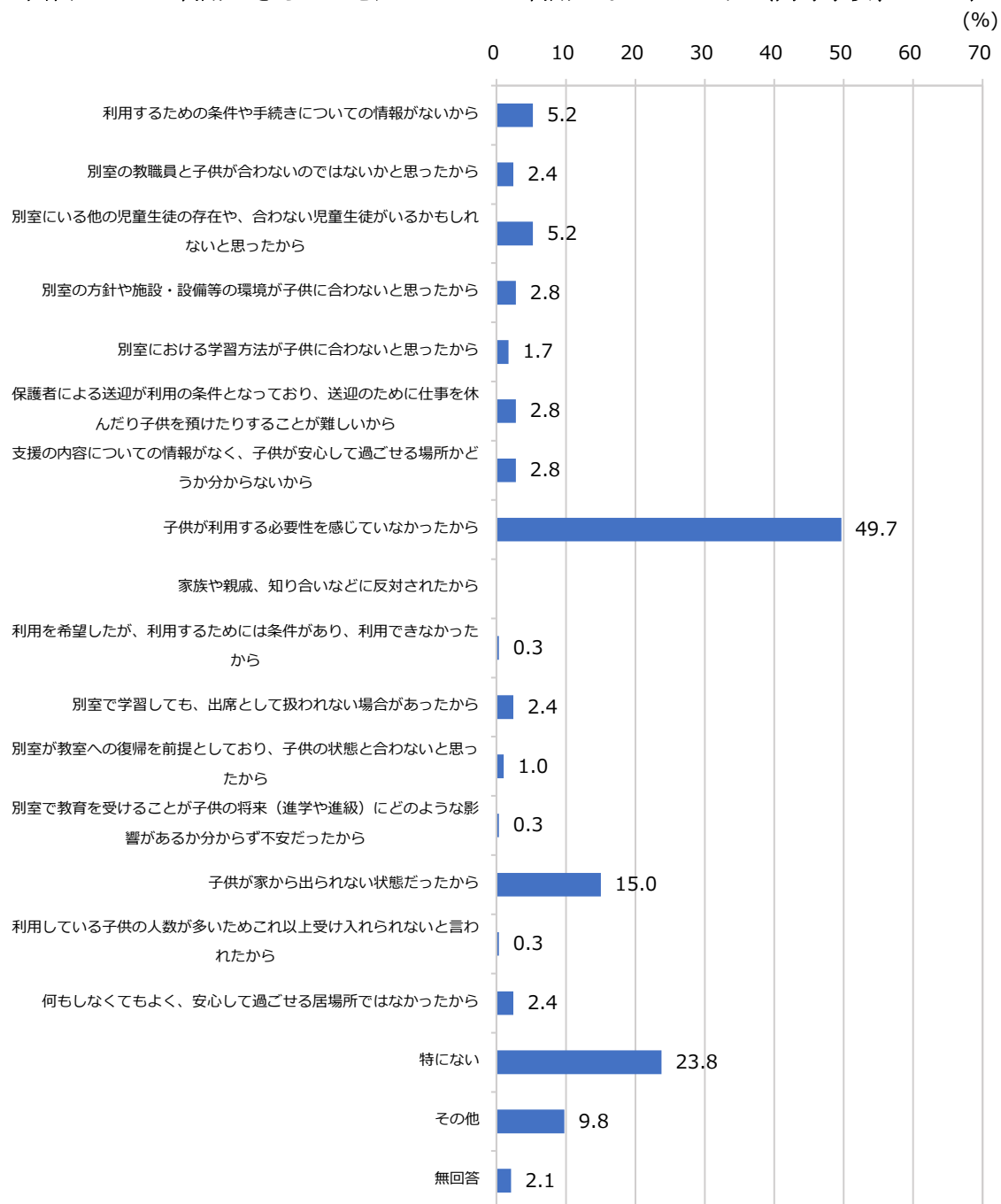


⑥利用できることを知っていたが利用しなかった理由

12-5 12で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

学校内の別室を利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、高等学校では、「子供が利用する必要性を感じていなかったから」の割合が49.7%と最も高い。次いで、「特にない」を除き、「子供が家から出られない状態だったから」が15.0%である。

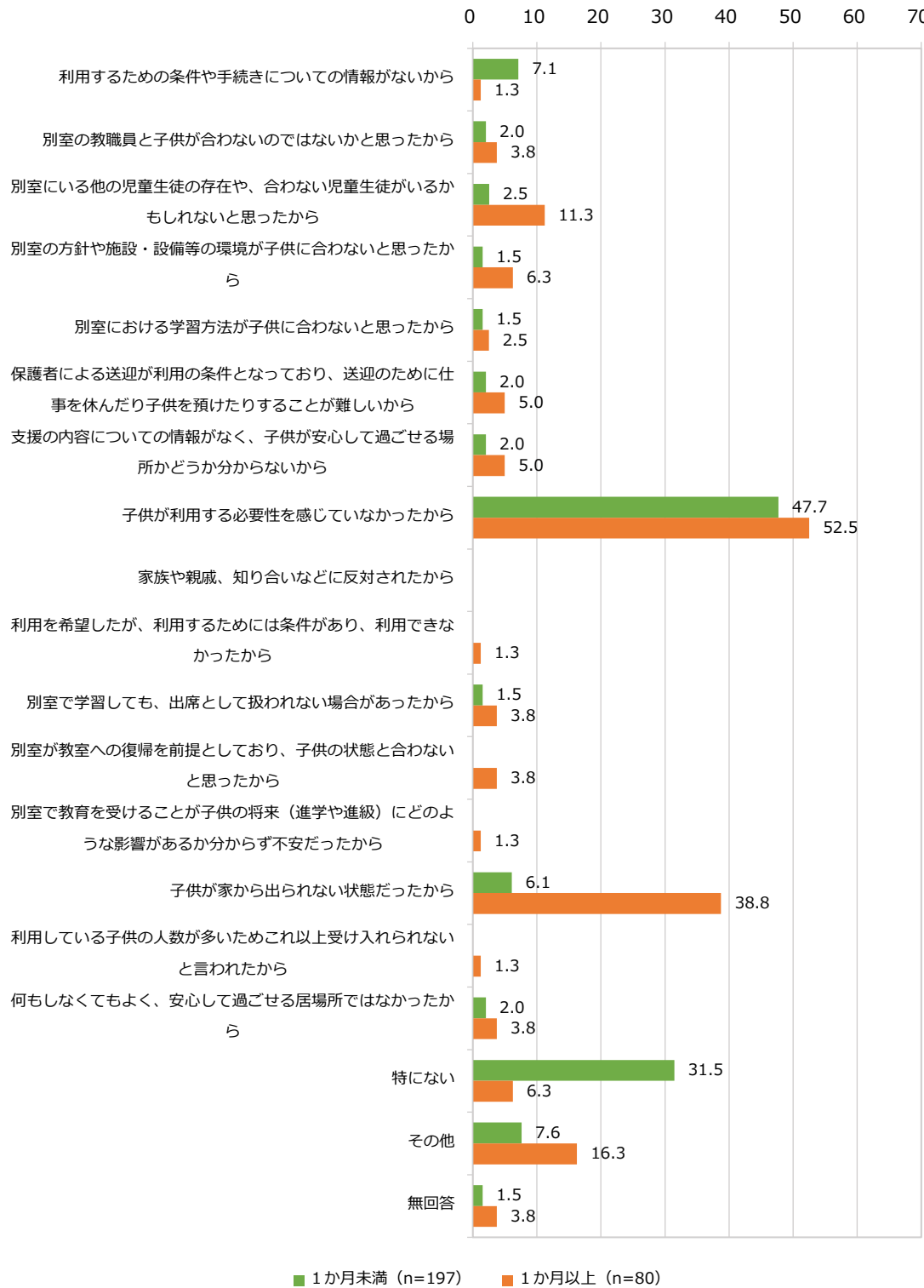
図表 3-130 利用できることを知っていたが利用しなかった理由（高等学校、n=286）



図表 3-131 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(高等学校、欠席期間別)

(%)

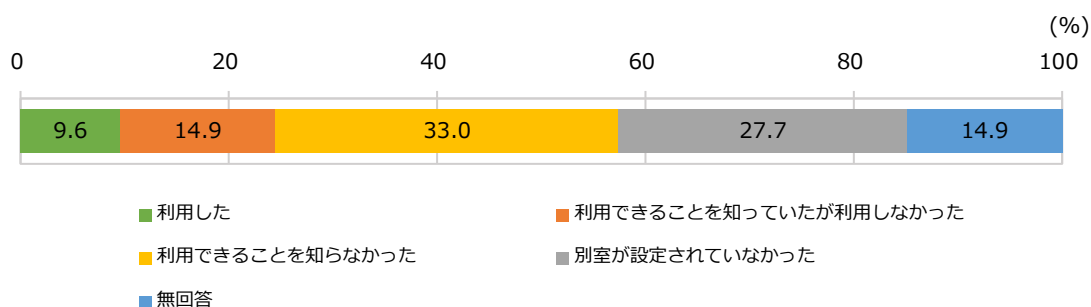


(4)特別支援学校

①利用状況

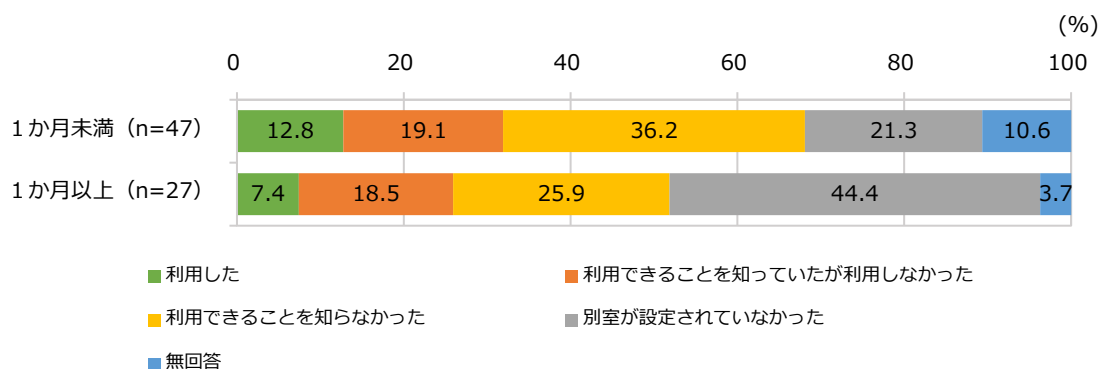
学校内の別室の利用についてみると、特別支援学校では、「利用した」は1割程度にとどまり、「利用できることを知らなかった(33.0%)」と「別室が設定されていなかった(27.7%)」の割合が高い。

図表 3-132 学校内の別室の利用
(特別支援学校、n=94)



欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月未満で「利用できることを知らなかった」の割合が36.2%と最も高く、1か月以上は「別室が設定されていなかった」の割合が44.4%と最も高い。

図表 3-133 学校内の別室の利用
(特別支援学校、欠席期間別)



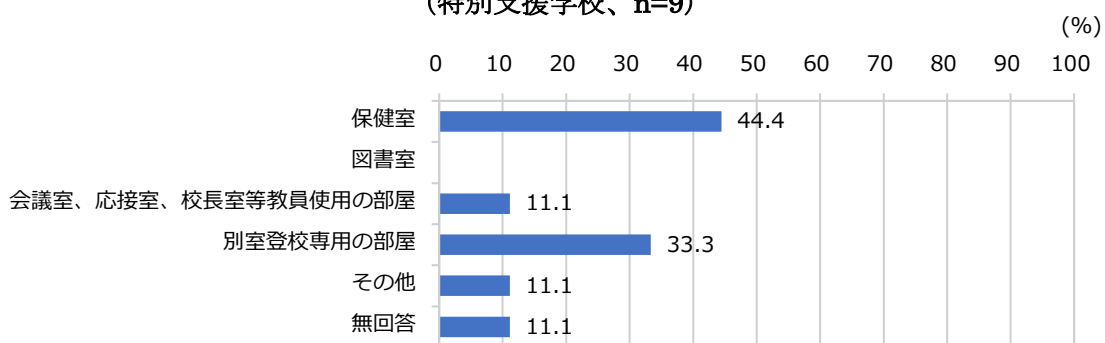
②利用した部屋

12-1 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。利用していた（している）部屋はどこですか。（複数回答）。

利用した部屋についてみると、特別支援学校では、「保健室」の割合が44.4%と最も高い。次いで「別室登校専用の部屋（33.3%）」となっている。

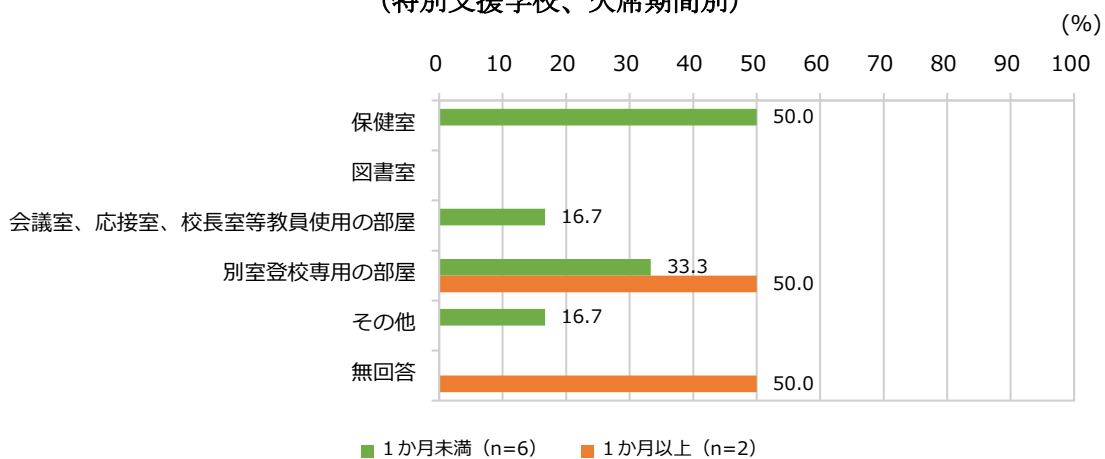
図表 3-134 利用した部屋

(特別支援学校、n=9)



図表 3-135 利用した部屋

(特別支援学校、欠席期間別)



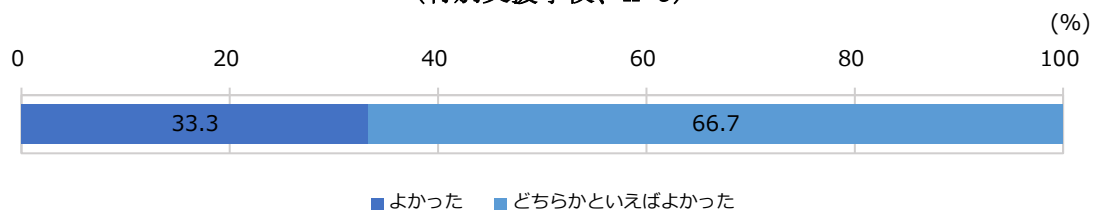
③利用した感想

12-2 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用した感想として、一番近いものを選んでください。

学校内の別室を利用した感想についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

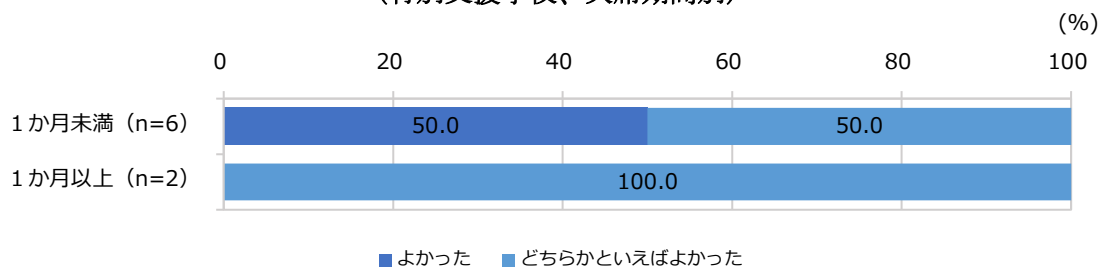
図表 3-136 利用した感想

(特別支援学校、n=9)



図表 3-137 利用した感想

(特別支援学校、欠席期間別)



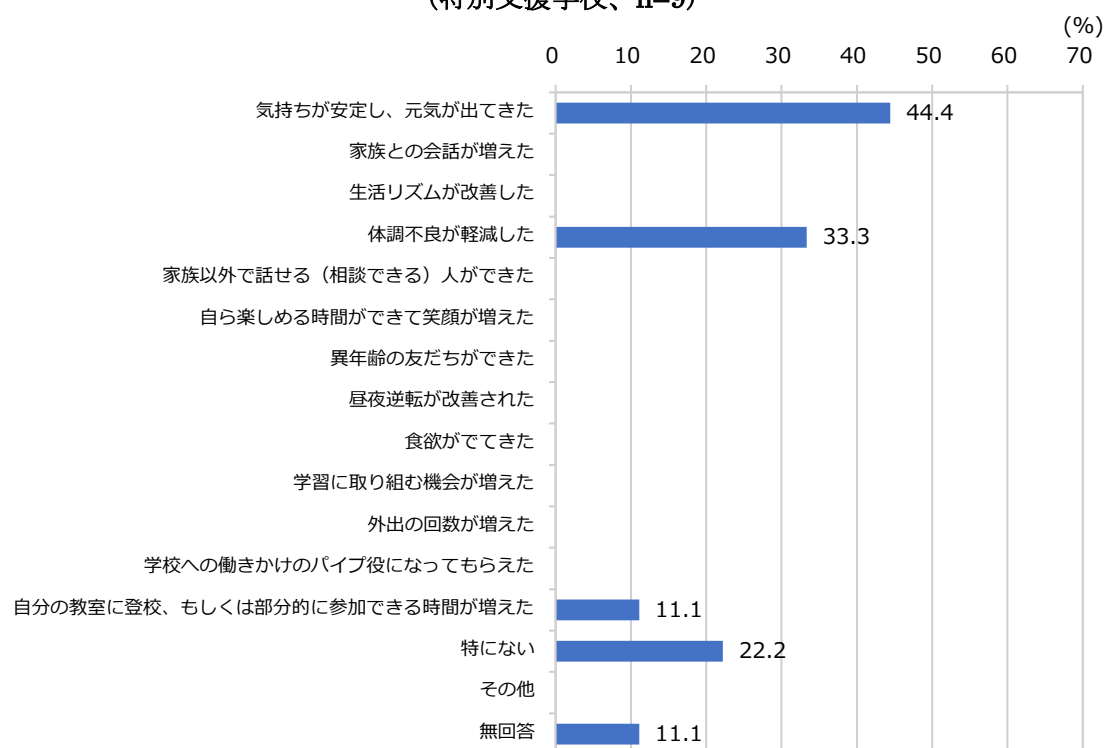
④利用してよかった理由

12-3 12-2で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

学校内の別室を利用してよかった理由についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

図表 3-138 利用してよかった理由

(特別支援学校、n=9)



図表 3-139 利用してよかった理由

(特別支援学校、欠席期間別)



⑤ 利用した際に困ったこと

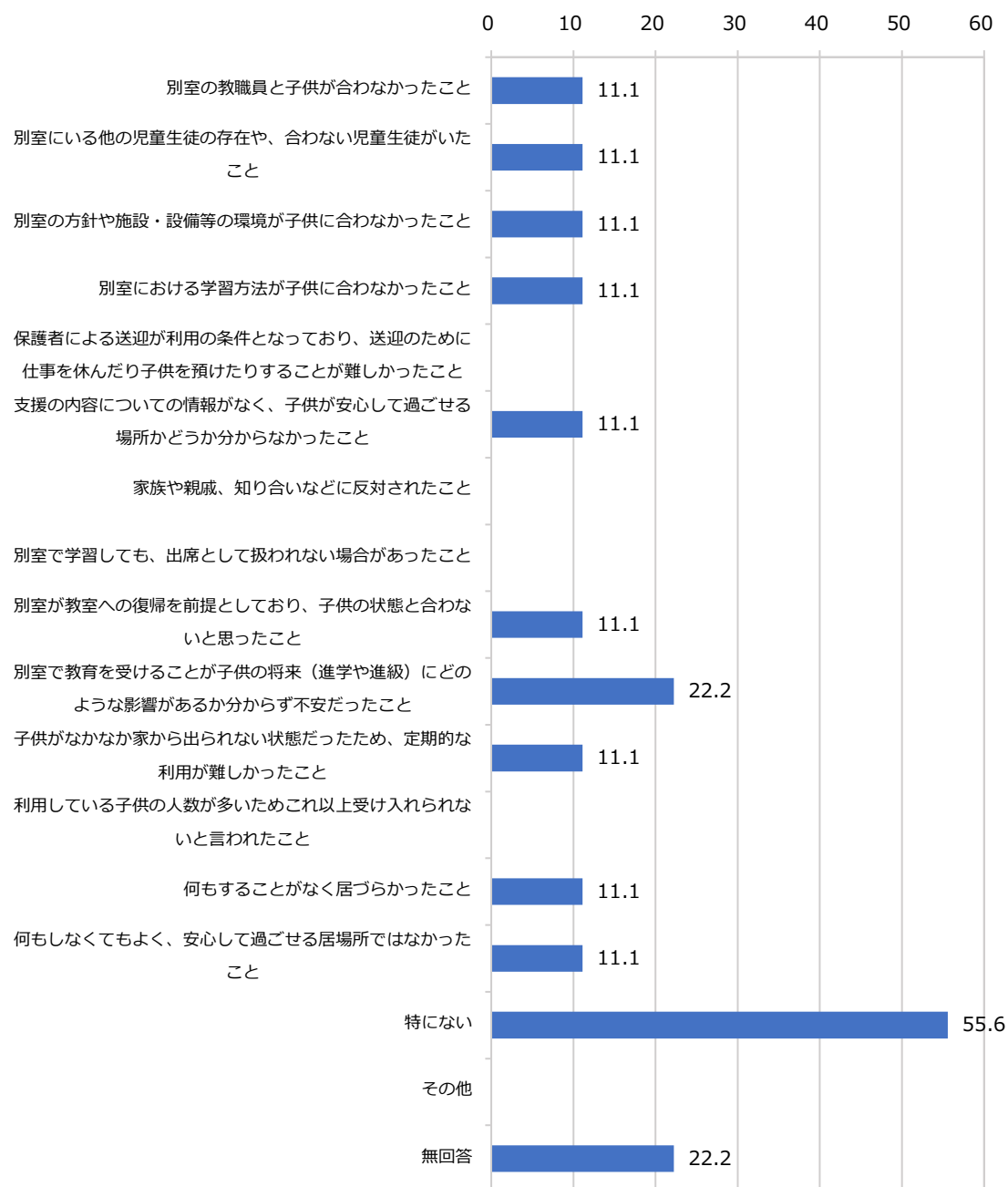
12-4 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用した際に困ったことは何ですか。
(複数回答)。

学校内の別室を利用した際に困ったことについてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

図表 3-140 利用した際に困ったこと

(特別支援学校、n=9)

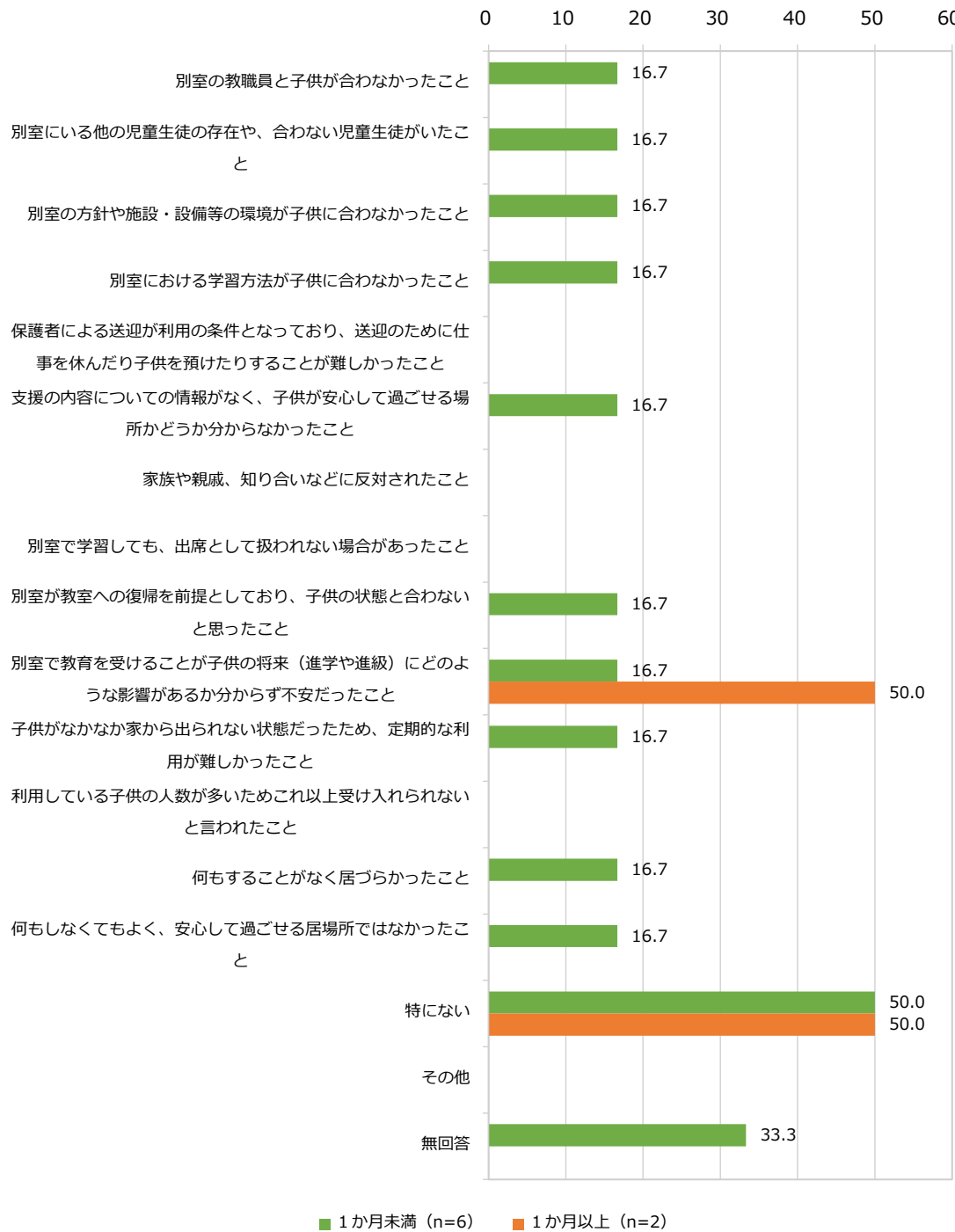
(%)



図表 3-141 利用した際に困ったこと

(特別支援学校、欠席期間別)

(%)



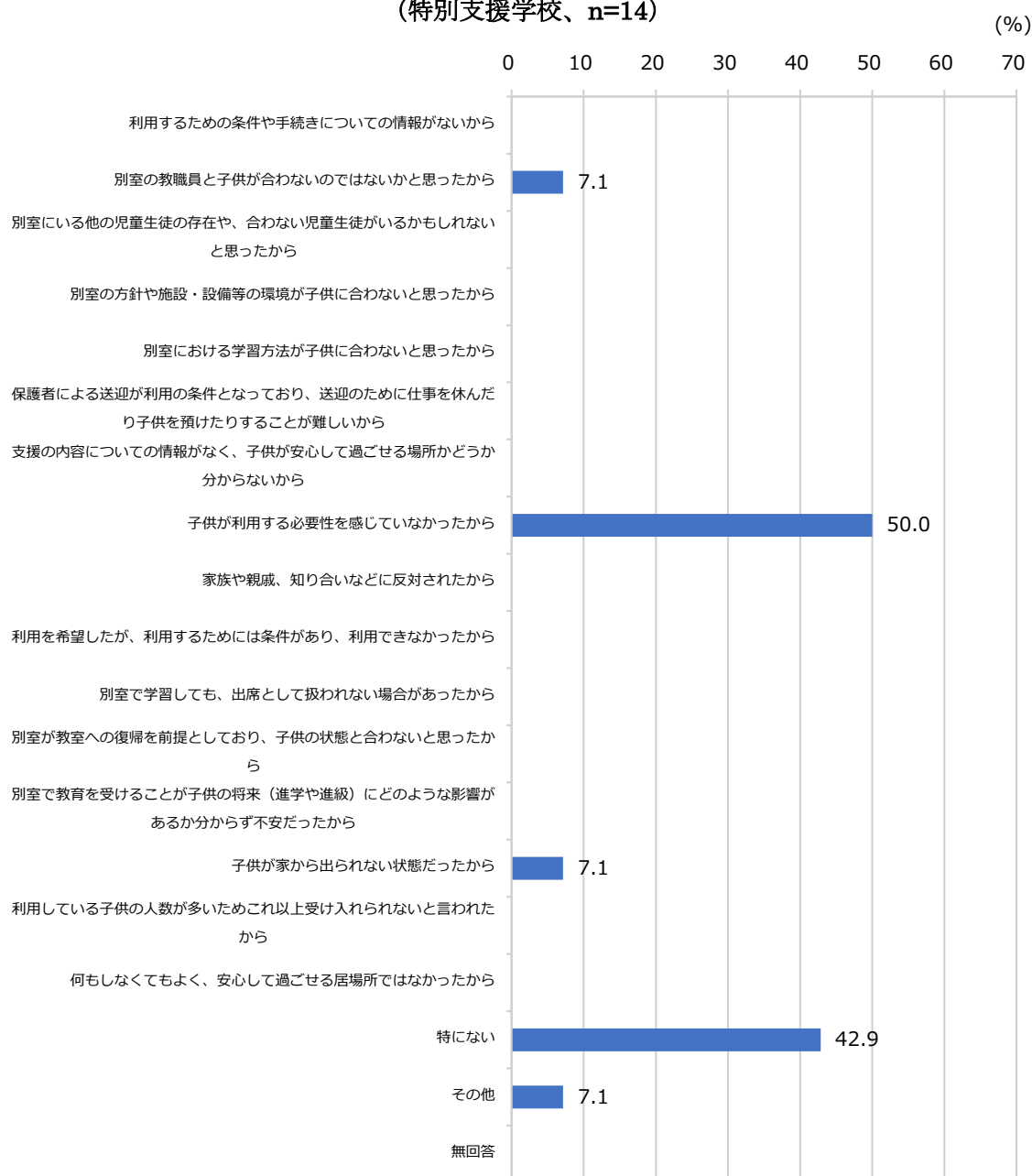
⑥利用できることを知っていたが利用しなかった理由

12-5 12で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

学校内の別室を利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

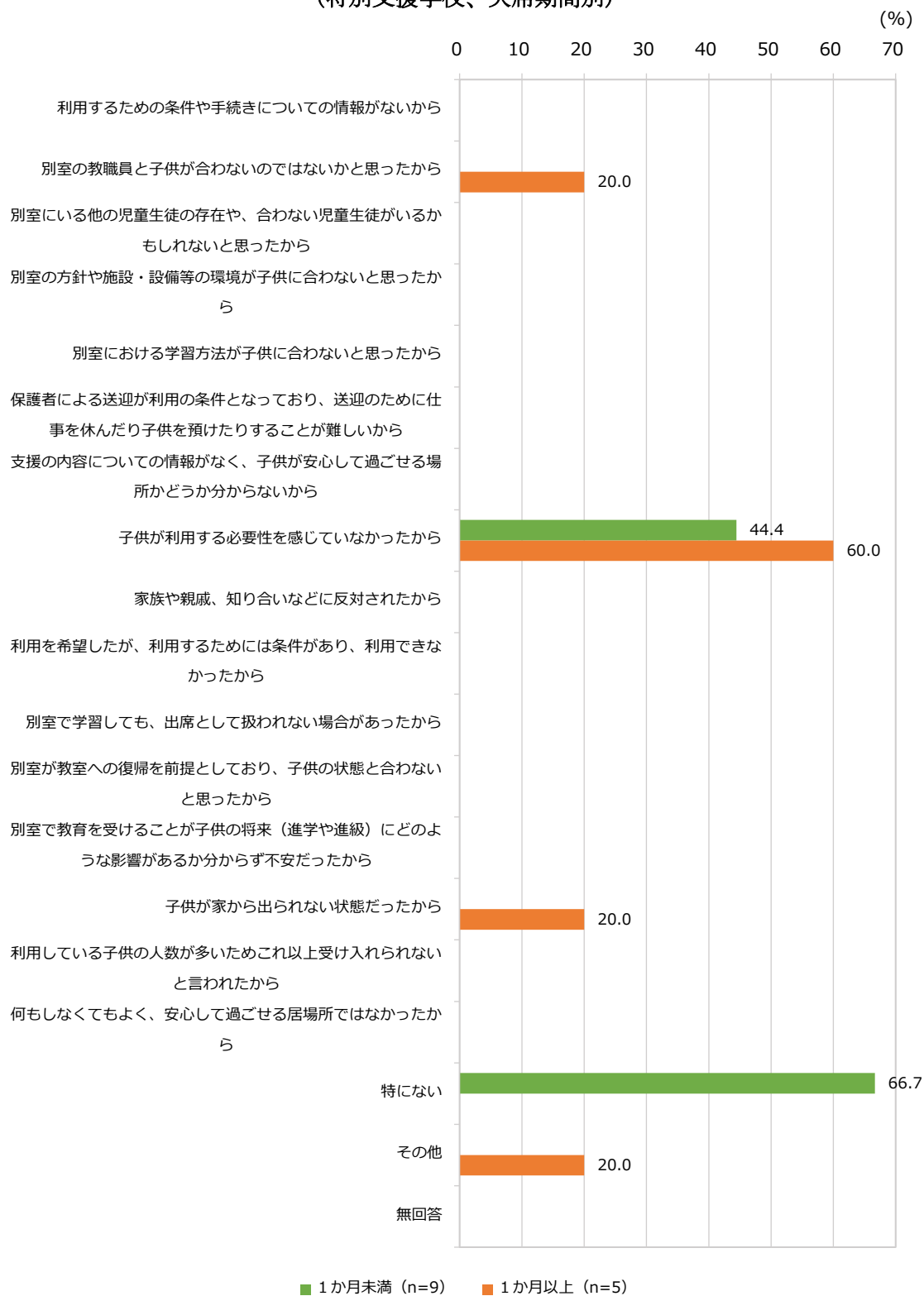
図表 3-142 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(特別支援学校、n=14)



図表 3-143 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(特別支援学校、欠席期間別)



3-4-2 市町の教育支援センターや教育相談室の利用の有無

13 お子さまは、市町の教育支援センターや教育相談室など、不登校の児童生徒が学習したり、相談したり、体験したりできる市や町の施設を利用しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

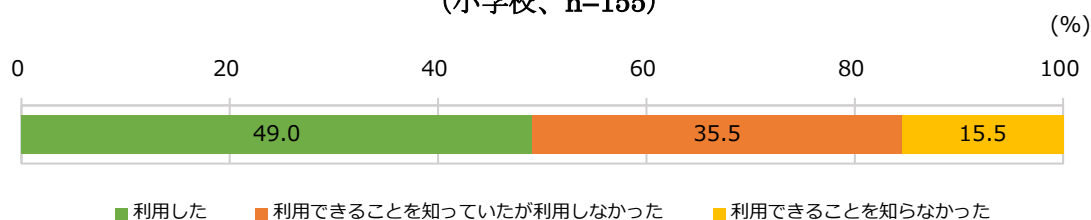
(1) 小学校

① 利用状況

市町の教育支援センターや教育相談室の利用についてみると、小学校では、ほぼ半数が「利用した」と回答している。

図表 3-144 市町の教育支援センターや教育相談室の利用

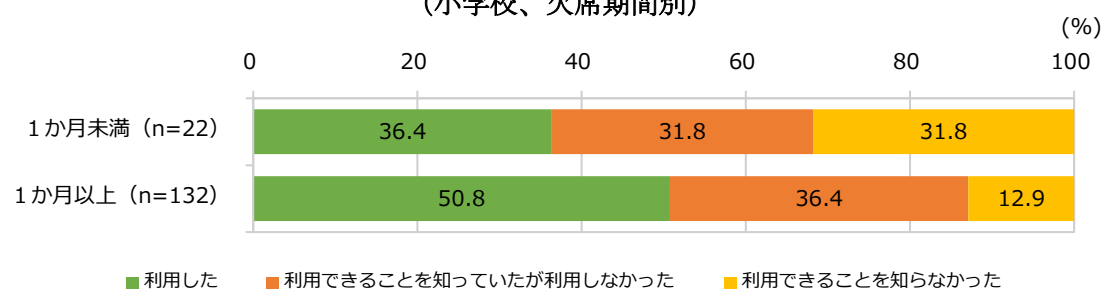
(小学校、n=155)



欠席期間別にみると、小学校では、1か月未満では「利用できることを知らなかった(31.8%)」の割合が1か月以上(12.9%)よりも高い。一方、1か月以上では「利用した(50.8%)」割合が、1か月未満(36.4%)よりも高い。

図表 3-145 市町の教育支援センターや教育相談室の利用

(小学校、欠席期間別)



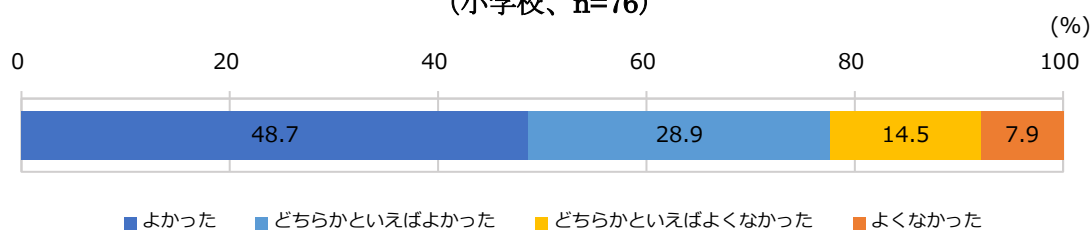
②利用した感想

13-1 13で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した感想を選んでください。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用した感想についてみると、小学校では、「よかった」の割合が最も高く、「どちらかといえばよかった」と合わせると7割を超える。

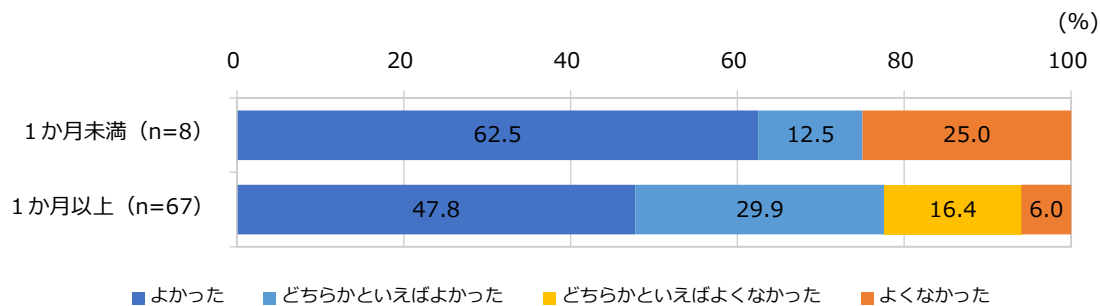
図表 3-146 利用した感想

(小学校、n=76)



図表 3-147 利用した感想

(小学校、欠席期間別)



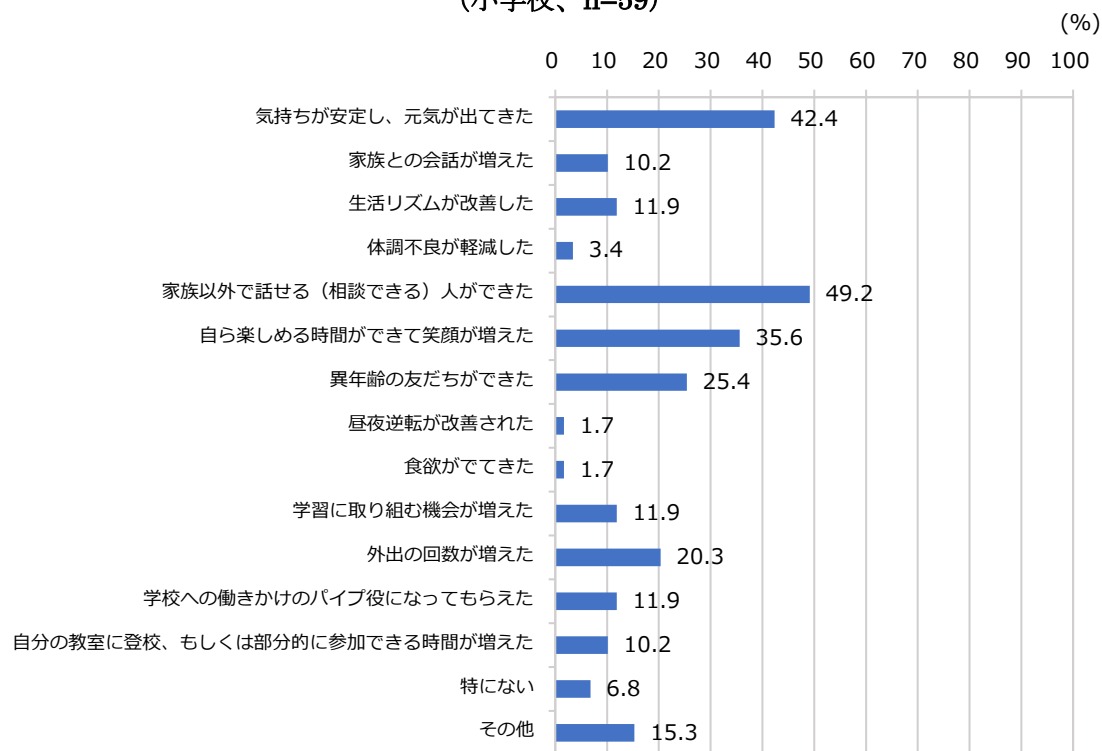
③利用してよかった理由

13-2 13-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用してよかった理由は何ですか。(複数回答)。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用してよかった理由について小学校では、「家族以外で話せる人ができた」の割合が最も高い。次いで、「気持ちが安定し、元気が出てきた」、「自ら楽しめる時間ができて笑顔が増えた」となっている。

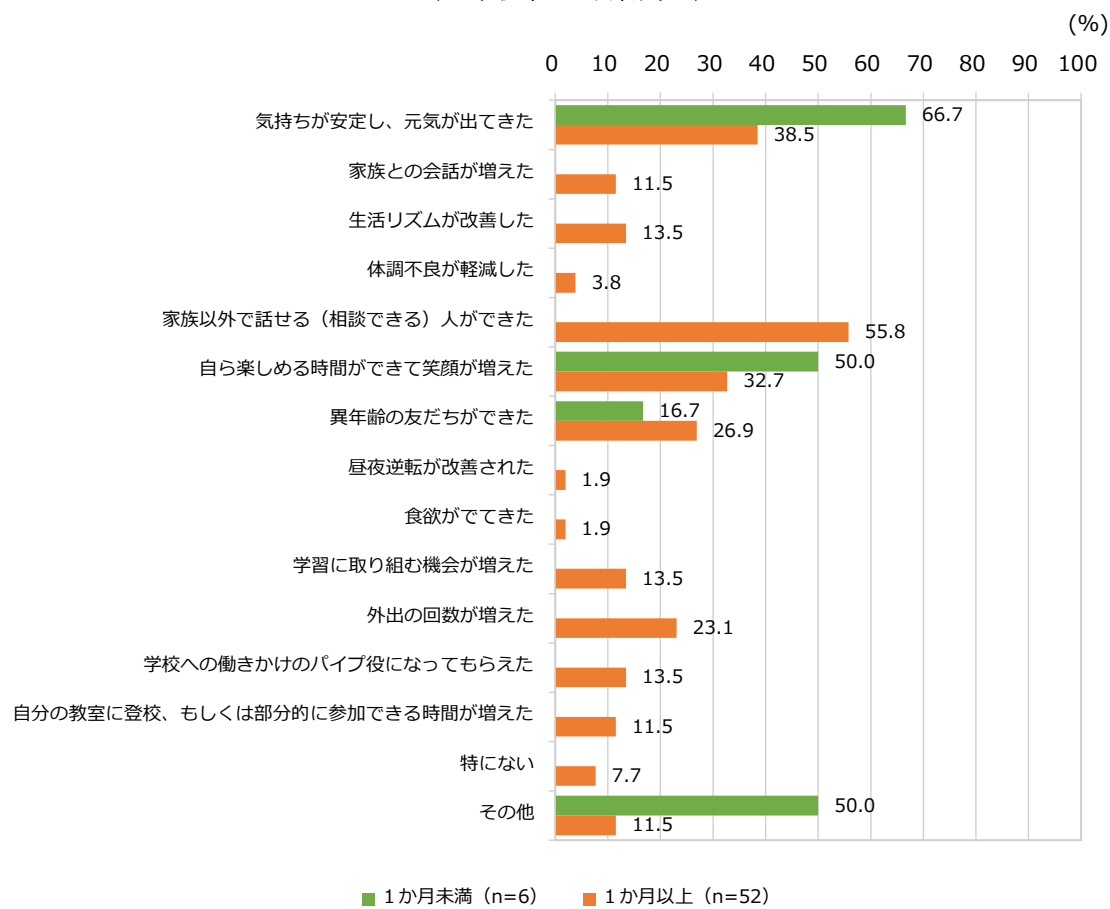
図表 3-148 利用してよかった理由

(小学校、n=59)



図表 3-149 利用してよかった理由

(小学校、欠席期間別)

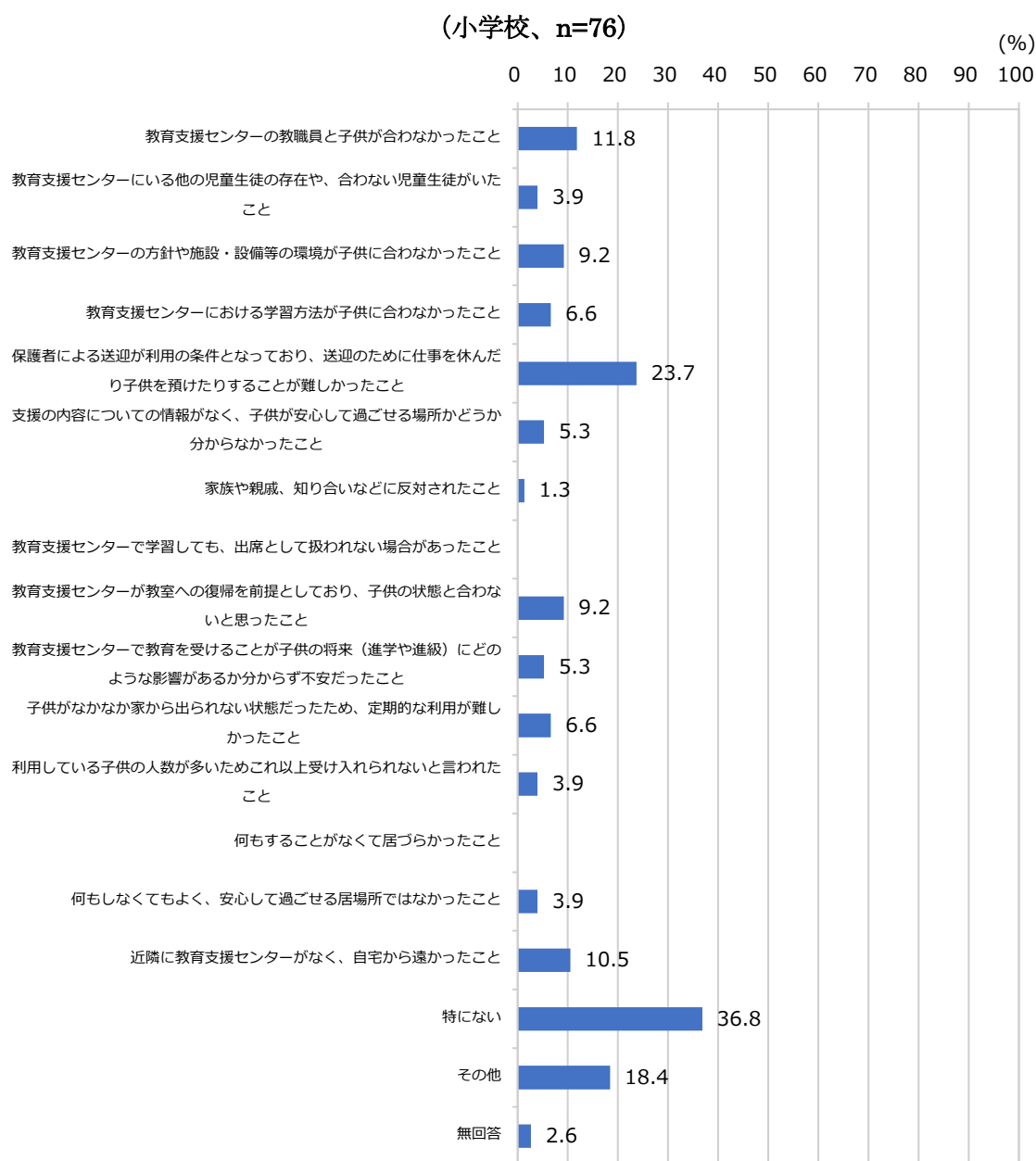


④利用した際に困ったこと

13-3 13で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した際に困ったことは何ですか。(複数回答)。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用した際に困ったことについてみると、小学校では、「特にない」を除き、「保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子どもを預けたりすることが難しかったこと(23.7%)」の割合が最も高い。

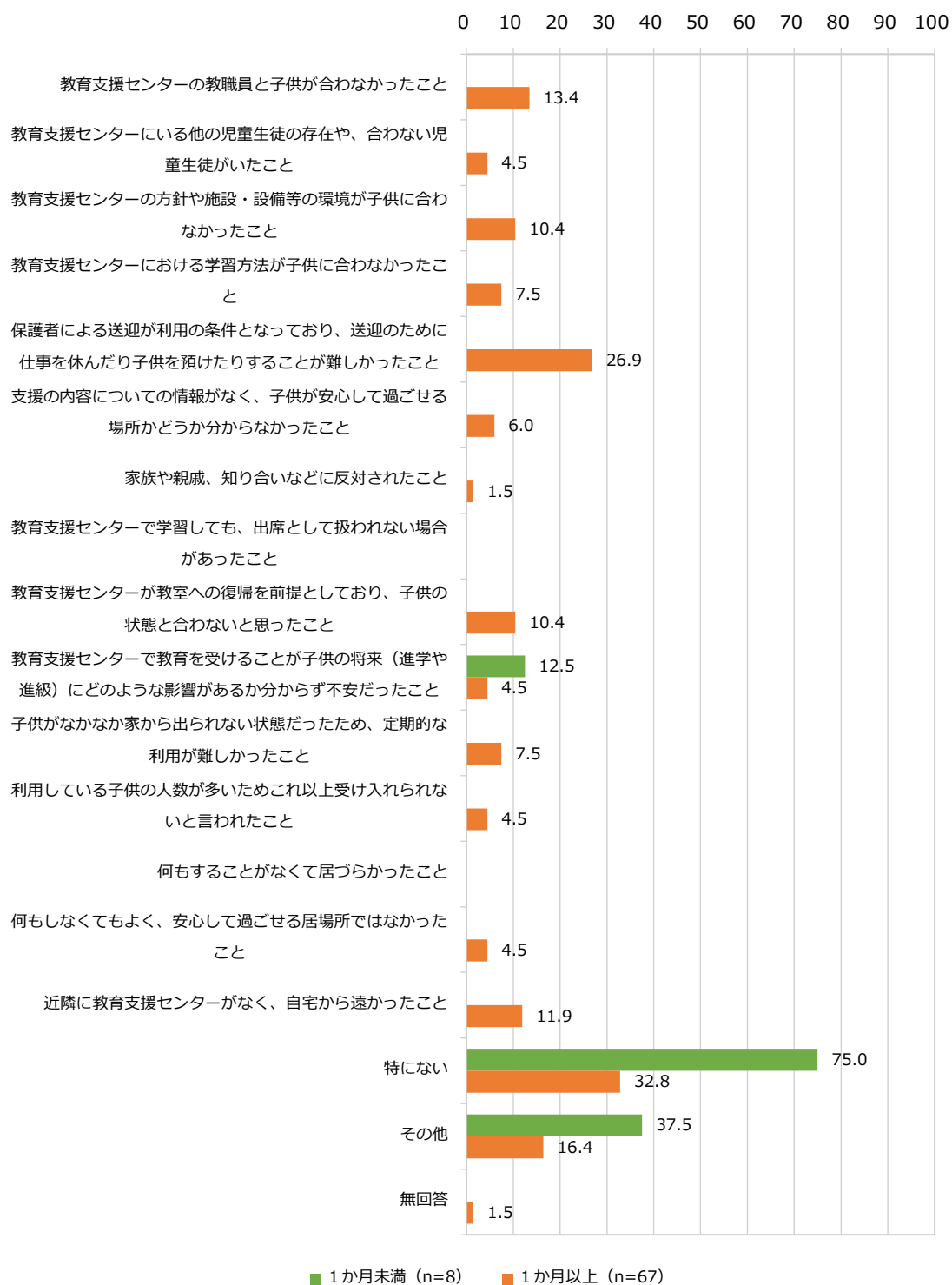
図表 3-150 利用した際に困ったこと



図表 3-151 利用した際に困ったこと

(小学校、欠席期間別)

(%)



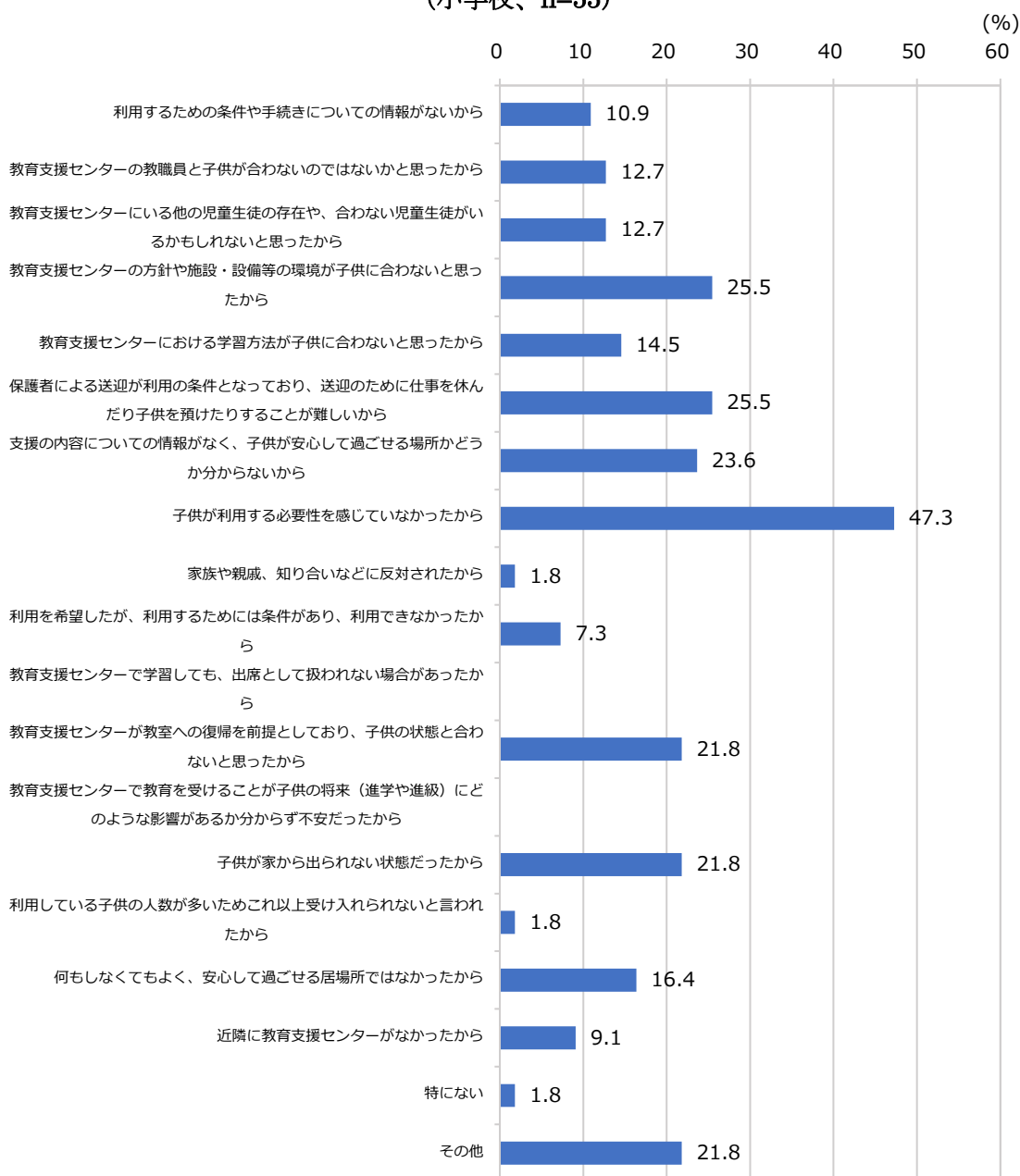
⑤利用できることを知っていたが利用しなかった理由

13-4 13で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きます。教育支援センターを利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。(複数回答)。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、小学校では、「子供が利用する必要性を感じていなかったから」が47.3%と最も高い。

図表 3-152 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

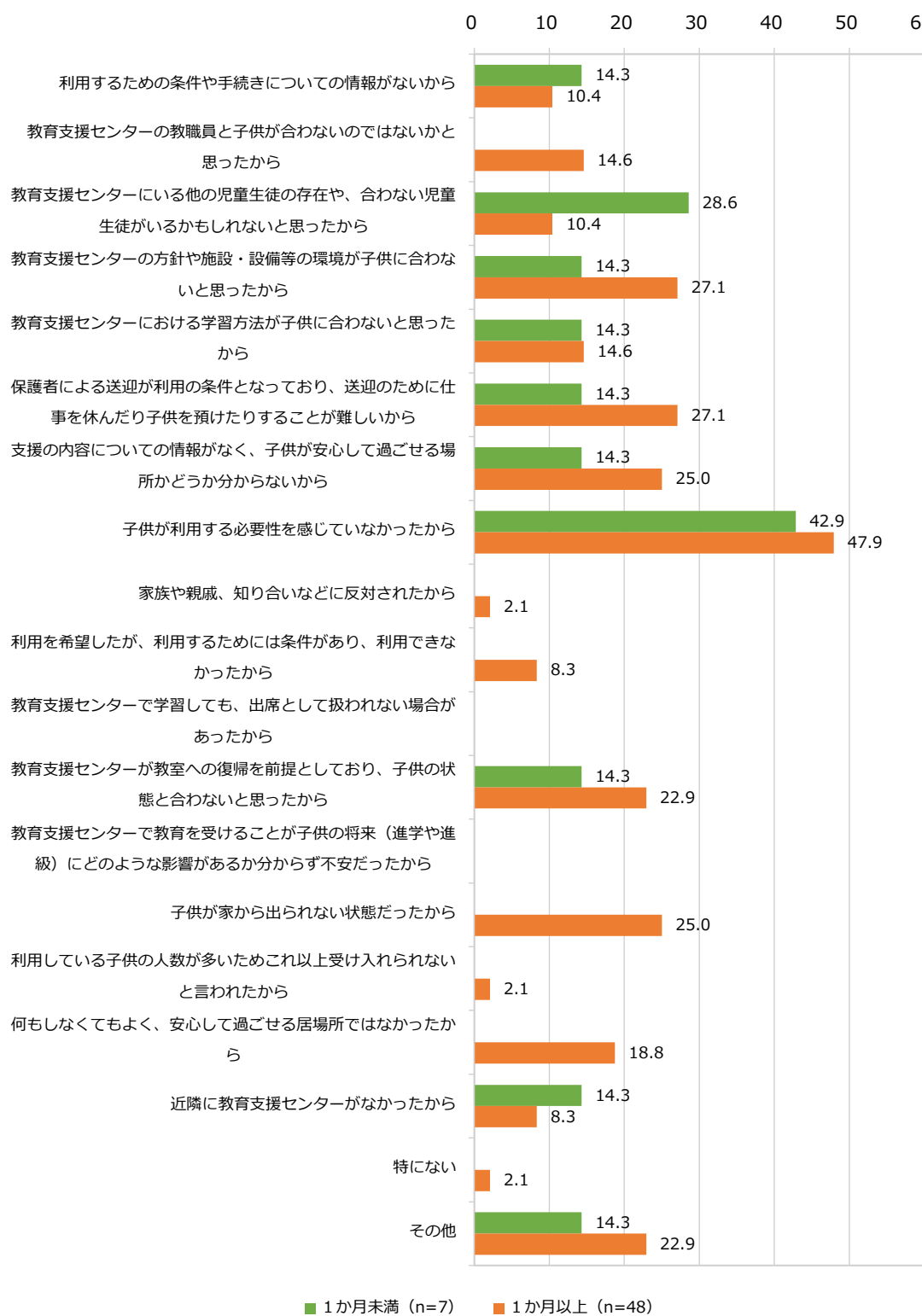
(小学校、n=55)



図表 3-153 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(小学校、欠席期間別)

(%)



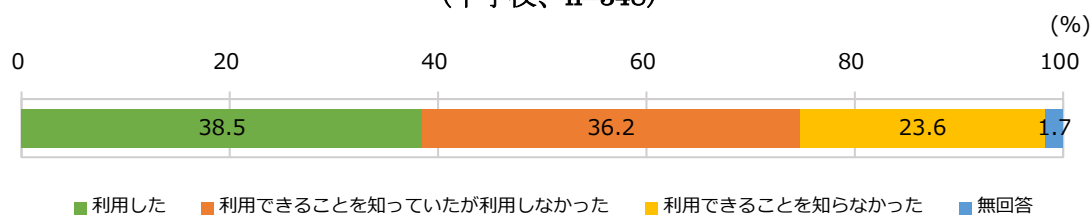
(2)中学校

①利用状況

市町の教育支援センターや教育相談室の利用についてみると、中学校では、38.5%が「利用した」と回答している。

図表 3-154 市町の教育支援センターや教育相談室の利用

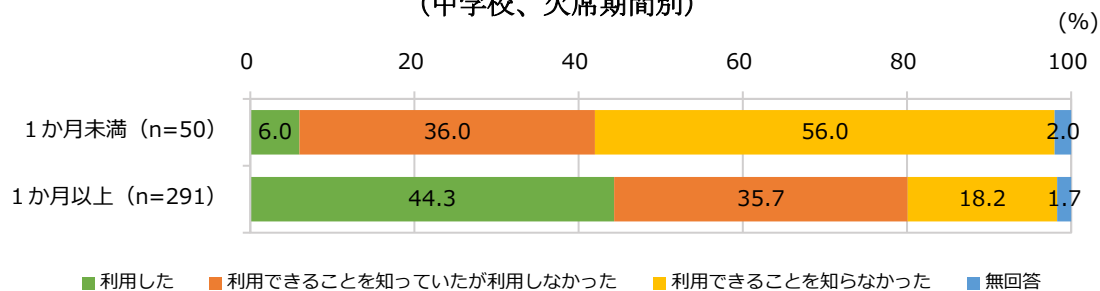
(中学校、n=348)



欠席期間別にみると、中学校では、1か月未満では「利用できることを知らなかった (56.0%)」の割合が最も高い。一方、1か月以上では44.3%が「利用した」と回答しており、1か月未満 (6.0%) との差が大きい。

図表 3-155 市町の教育支援センターや教育相談室の利用

(中学校、欠席期間別)



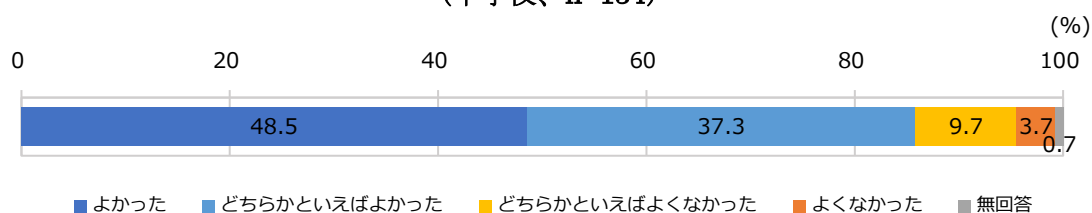
②利用した感想

13-1 13で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した感想を選んでください。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用した感想についてみると、中学校では、「よかった」の割合が最も高く、「どちらかといえばよかった」と合わせると8割を超える。

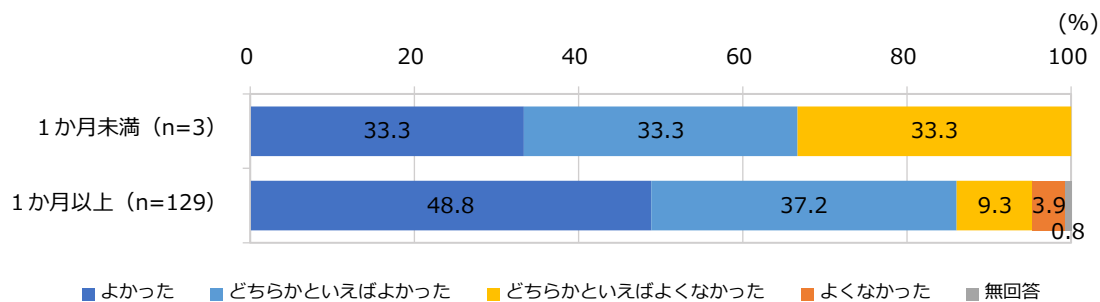
図表 3-156 利用した感想

(中学校、n=134)



図表 3-157 利用した感想

(中学校、欠席期間別)



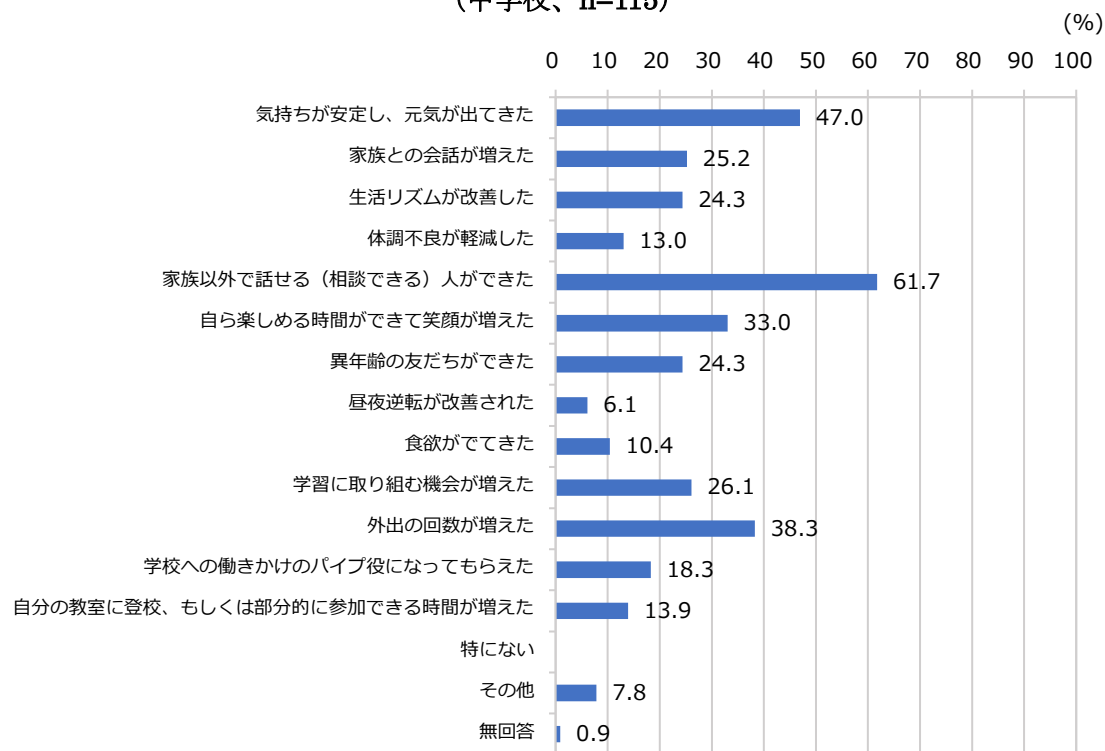
③利用してよかった理由

13-2 13-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用してよかった理由についてみると、中学校では、「家族以外で話せる人ができた」が61.7%と最も高く、続いて「気持ちが安定し、元気が出てきた（47.0%）」、「外出の回数が増えた（38.3%）」となっている。

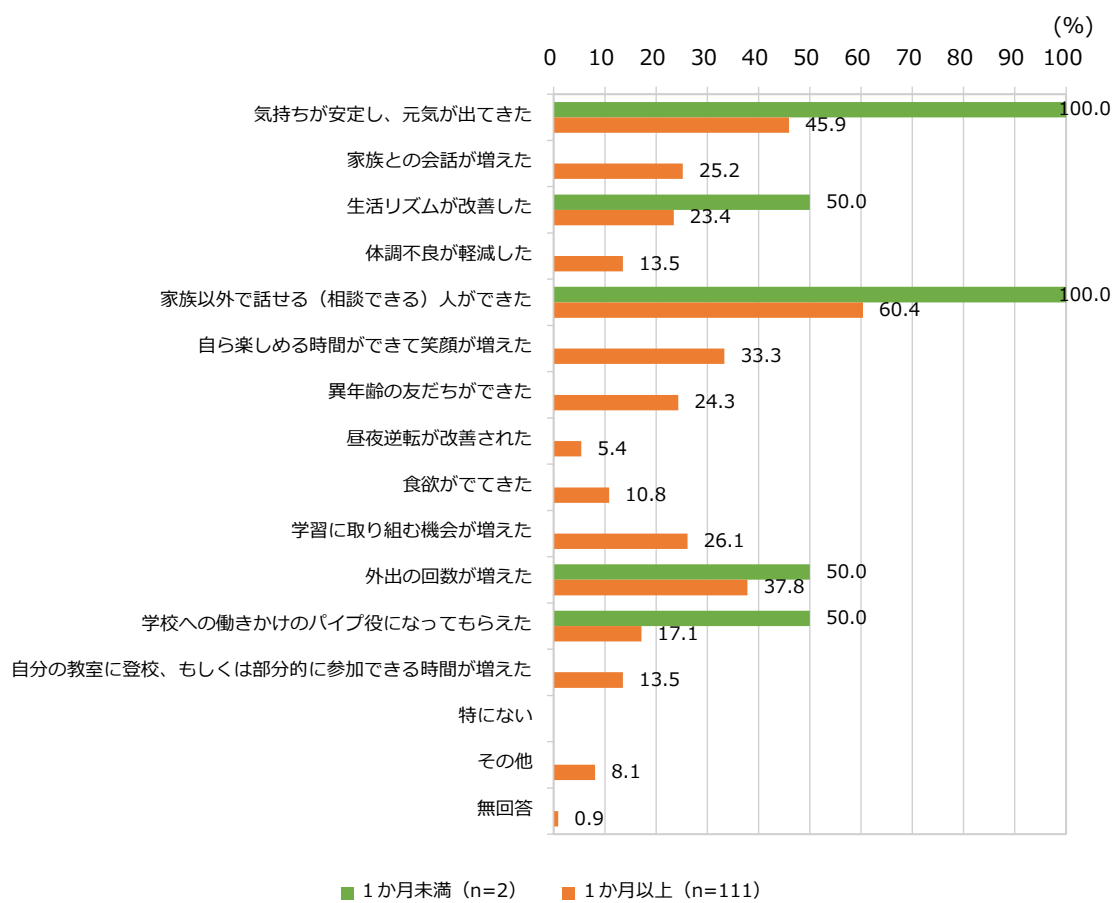
図表 3-158 利用してよかった理由

（中学校、n=115）



図表 3-159 利用してよかった理由

(中学校、欠席期間別)



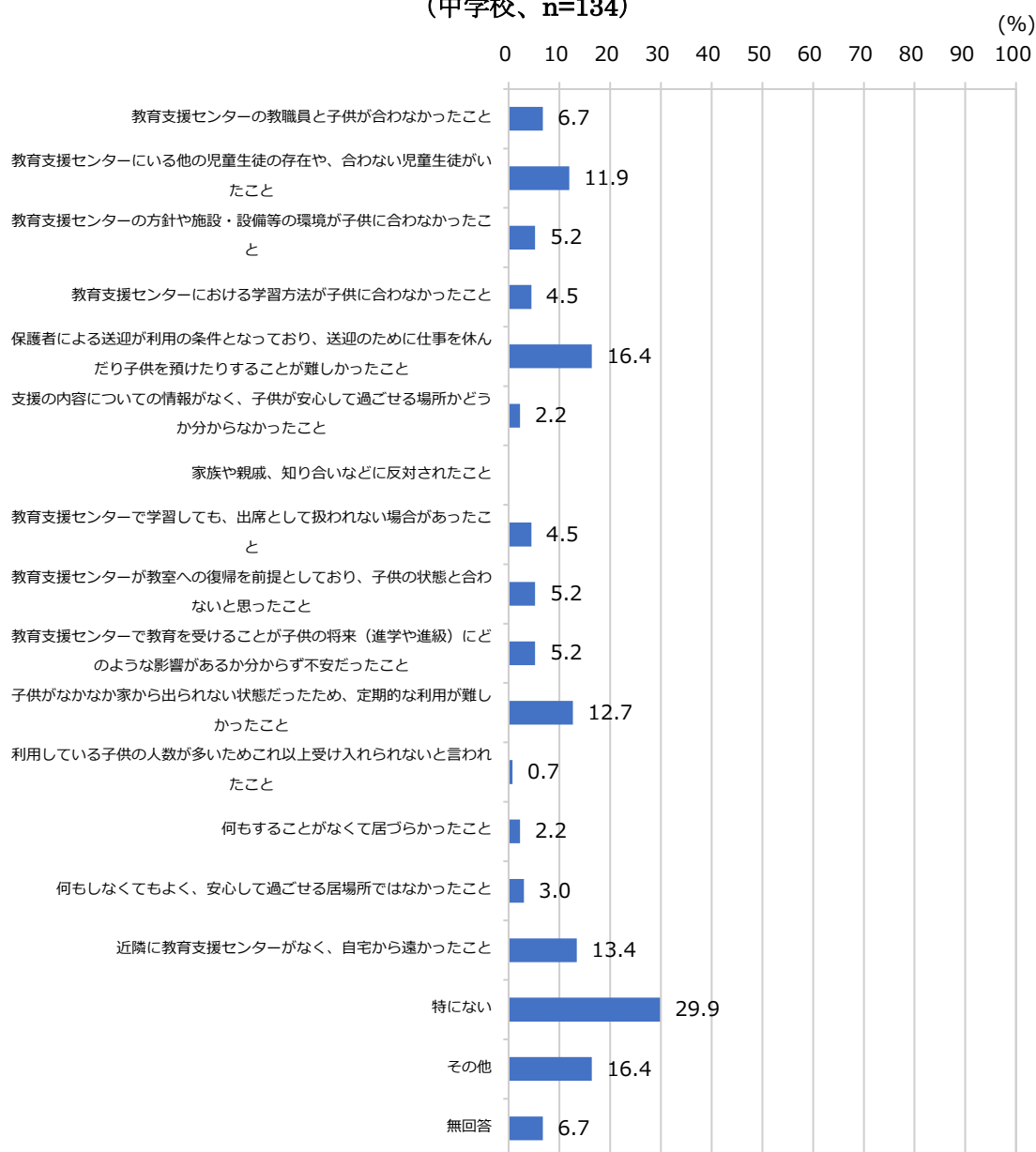
④ 利用した際に困ったこと

13-3 13で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した際に困ったことは何ですか。(複数回答)。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用した際に困ったことについてみると、中学校では、「特にない」、「その他」を除いて、「保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子どもを預けたりすることが難しかったこと」の割合が最も高い。

図表 3-160 利用した際に困ったこと

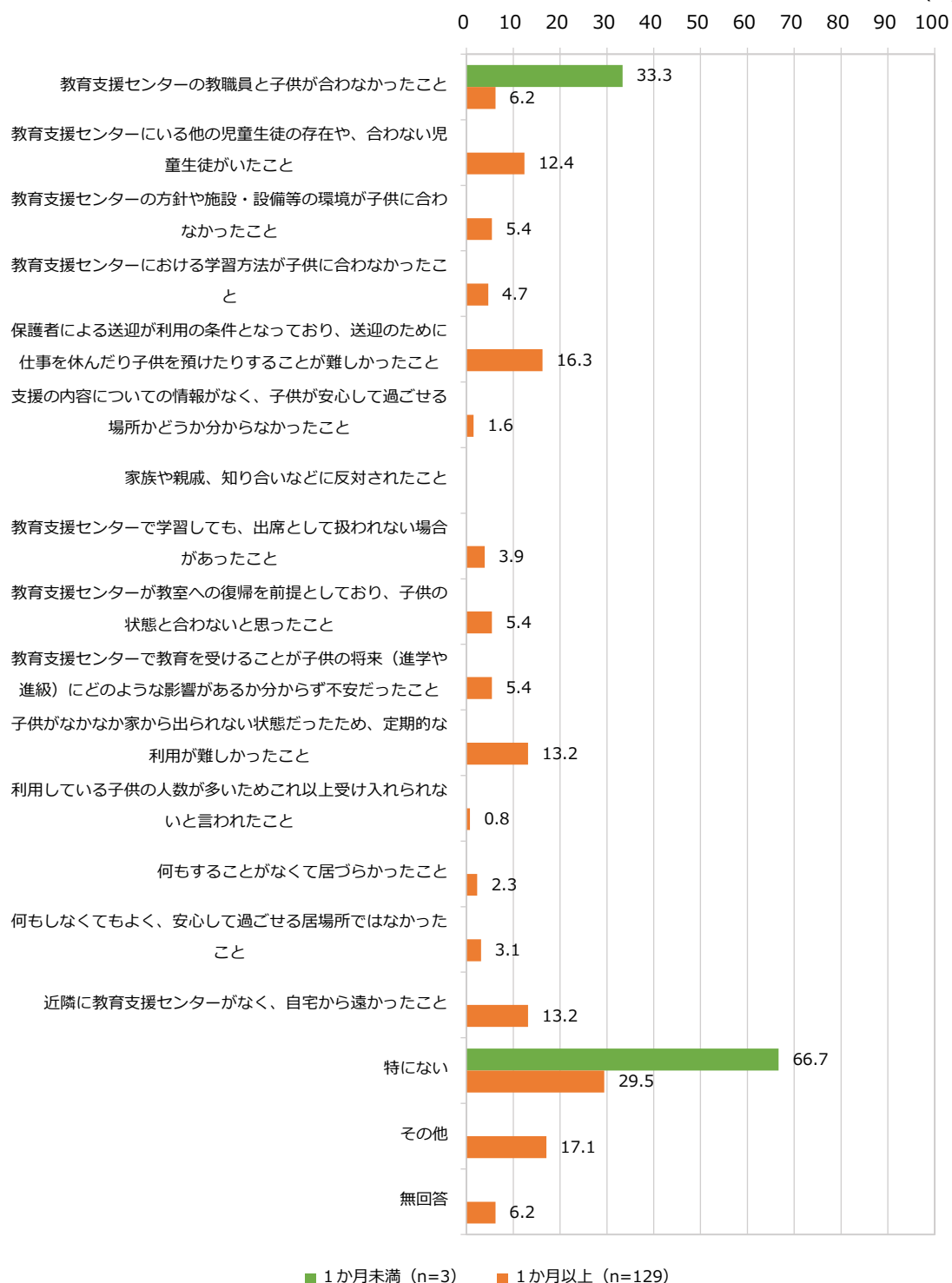
(中学校、n=134)



図表 3-161 利用した際に困ったこと

(中学校、欠席期間別)

(%)

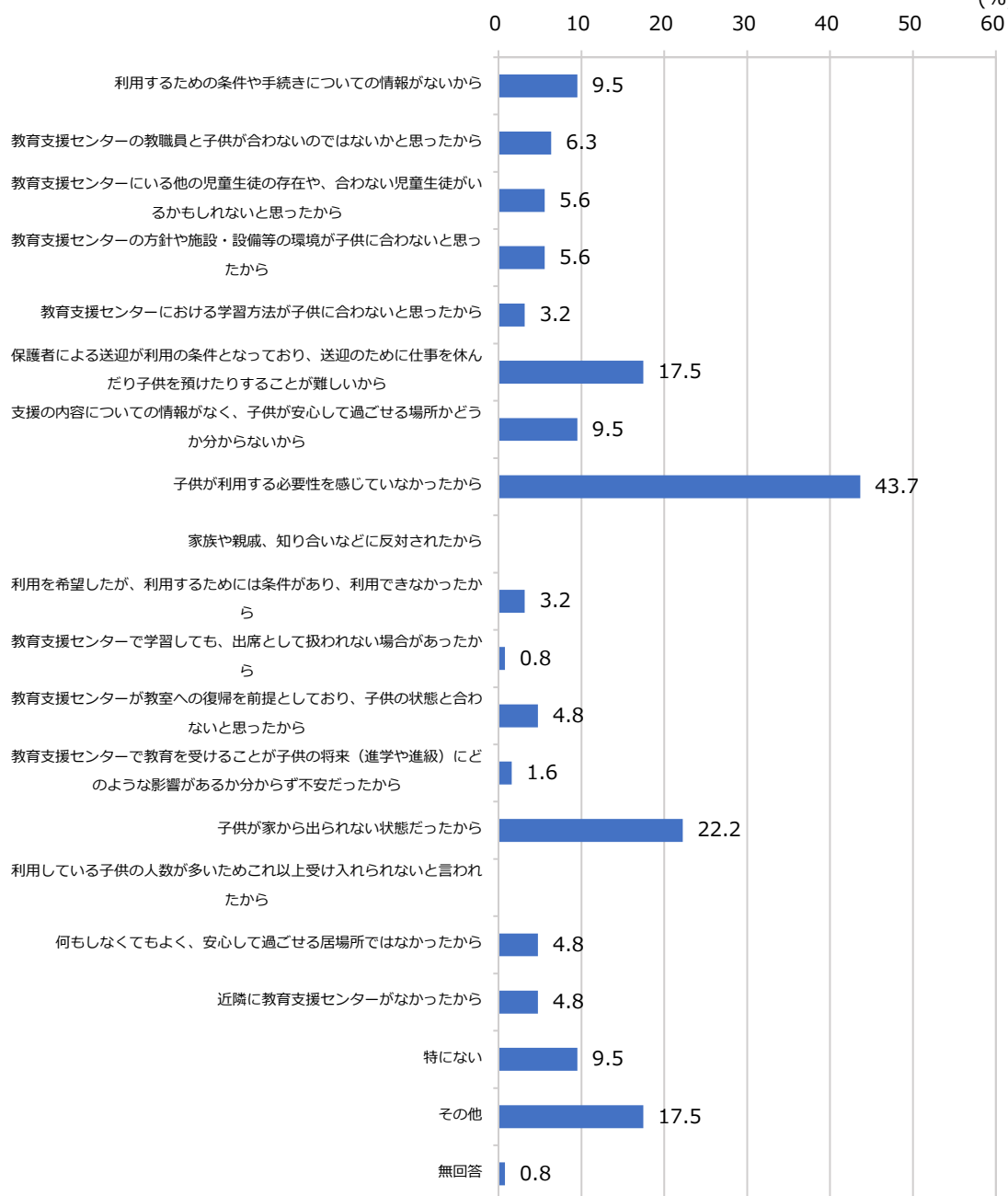


⑤利用できることを知っていたが利用しなかった理由

13-4 13で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きます。教育支援センターを利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。(複数回答)。

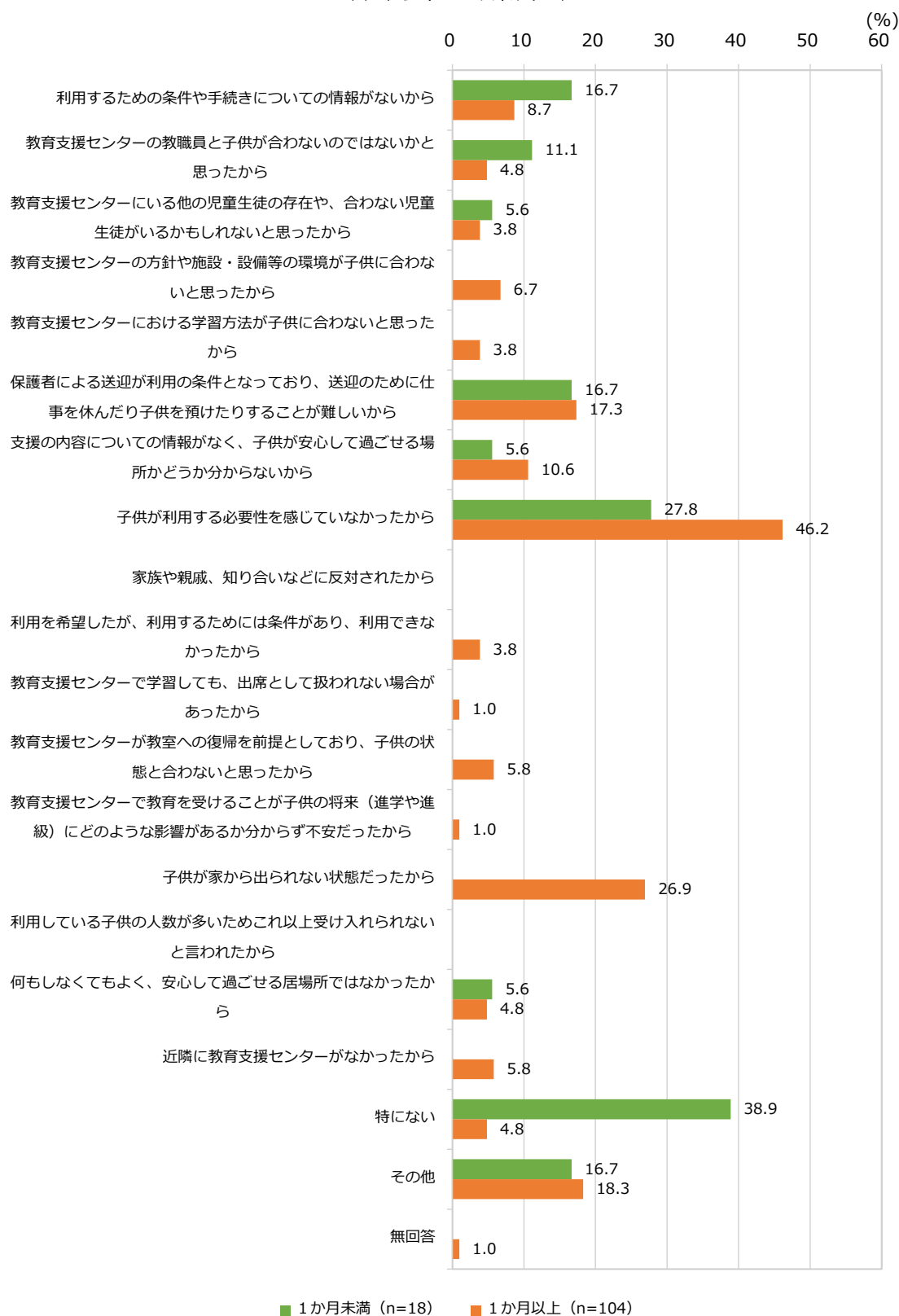
市町の教育支援センターや教育相談室を利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、中学校では、「子供が利用する必要性を感じていなかったから」が43.7%と最も高い。

図表 3-162 利用できることを知っていたが利用しなかった理由 (中学校、n=126) (%)



図表 3-163 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(中学校、欠席期間別)

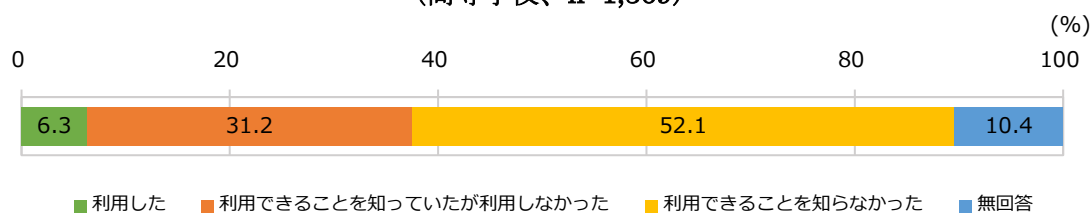


(3) 高等学校

① 利用状況

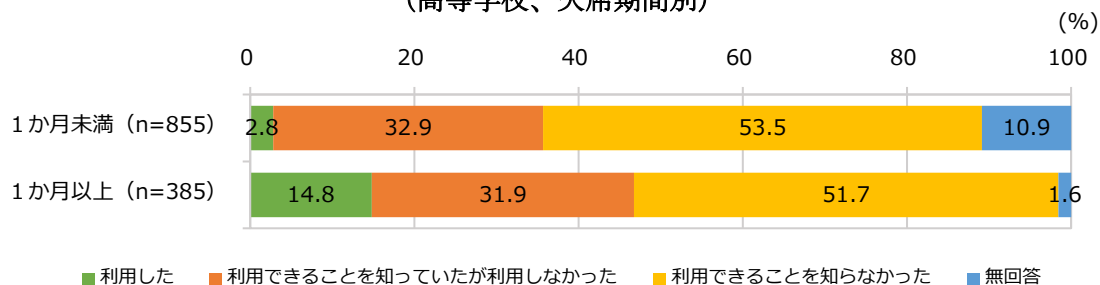
市町の教育支援センターや教育相談室の利用についてみると、高等学校では、「利用できることを知らなかった」が5割を超えている。

図表 3-164 市町の教育支援センターや教育相談室の利用
(高等学校、n=1,369)



欠席期間別にみると、1か月以上では14.8%が「利用した」と回答しているが、1か月未満は2.8%にとどまっている。

図表 3-165 市町の教育支援センターや教育相談室の利用
(高等学校、欠席期間別)



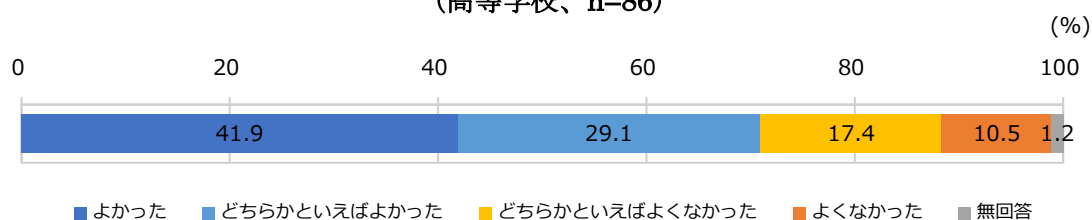
②利用した感想

13-1 13で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した感想を選んでください。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用した感想についてみると、高等学校では、「よかった」の割合が最も高く、「どちらかといえばよかった」と合わせると7割を超える。

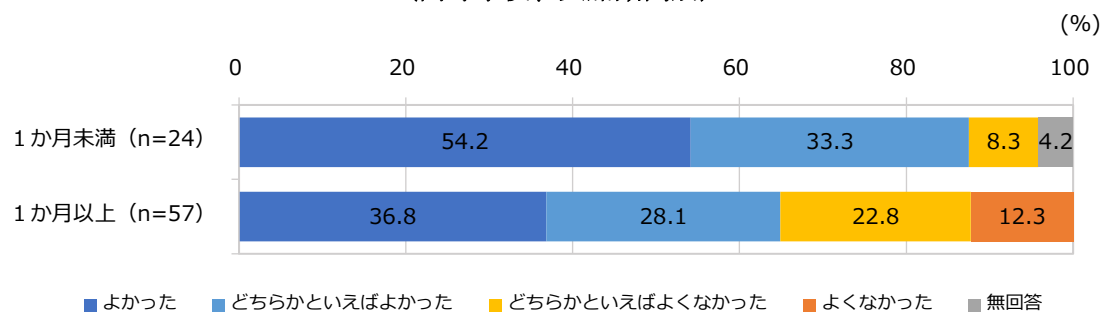
図表 3-166 利用した感想

(高等学校、n=86)



図表 3-167 利用した感想

(高等学校、欠席期間別)



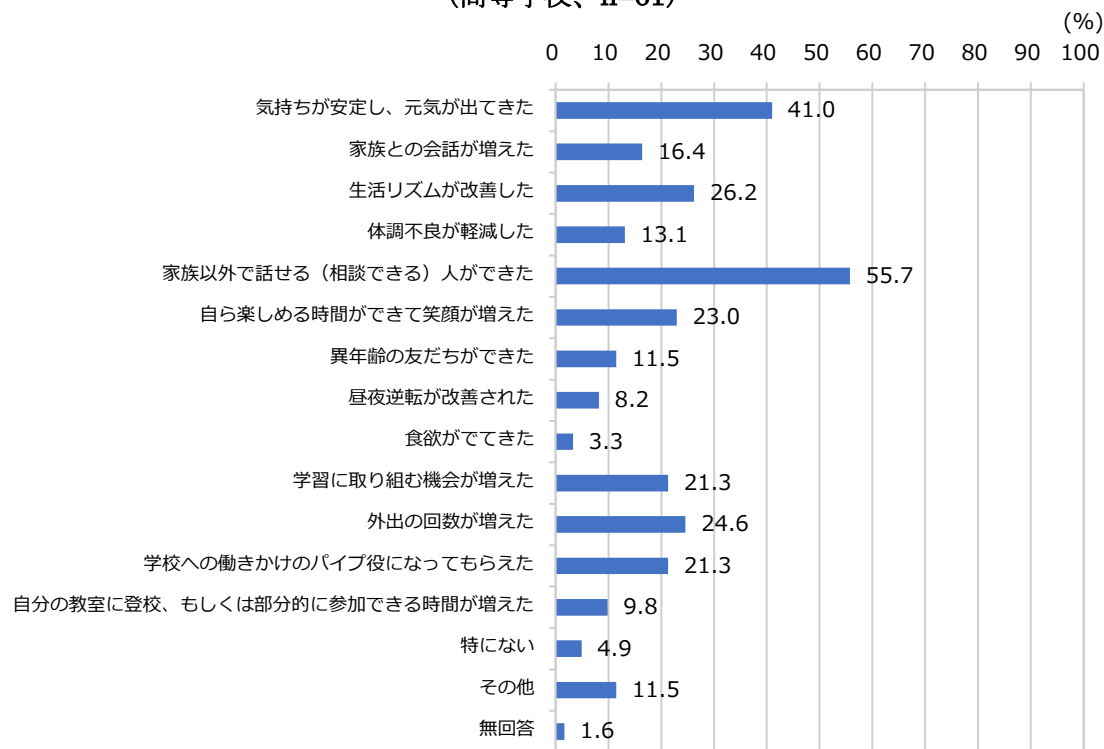
③利用してよかった理由

13-2 13-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用してよかった理由についてみると、高等学校では、「家族以外で話せる人ができた」の割合が 55.7%と最も高い。次いで、「気持ちが安定し、元気が出てきた（41.0%）」となっている。

図表 3-168 利用してよかった理由

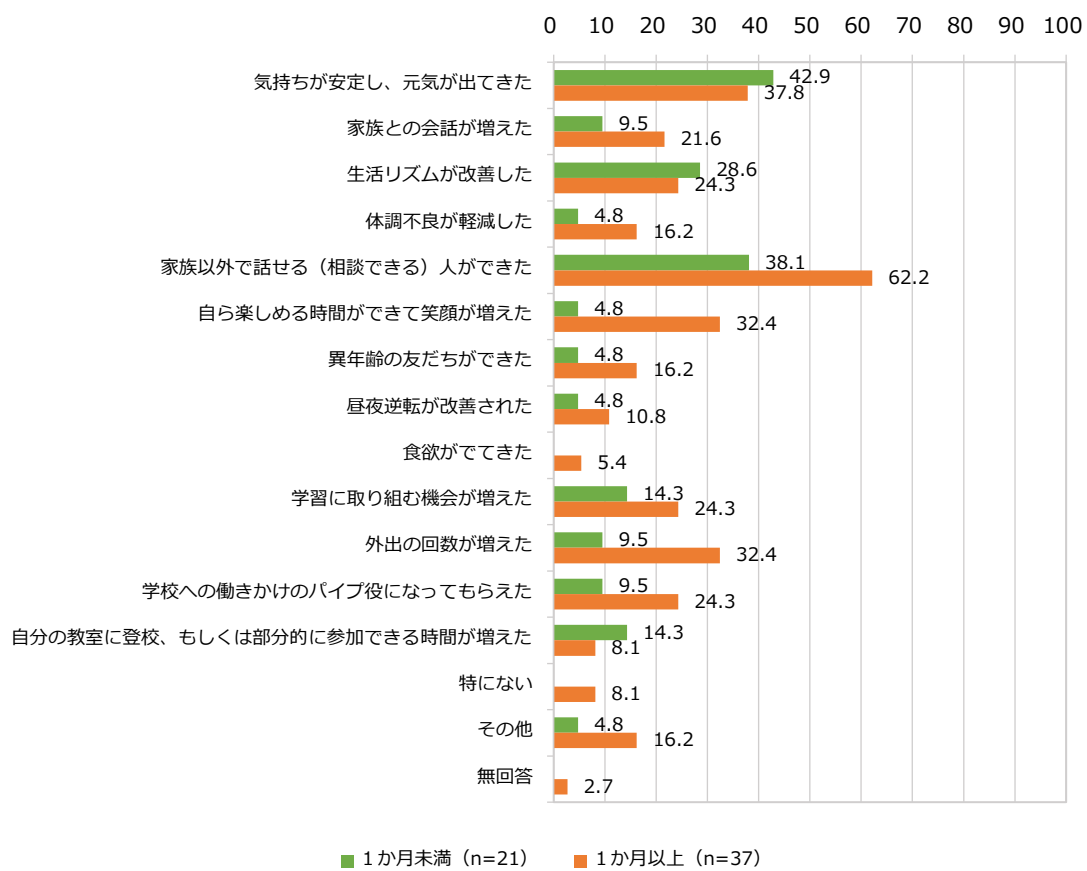
(高等学校、n=61)



図表 3-169 利用してよかった理由

(高等学校、欠席期間別)

(%)

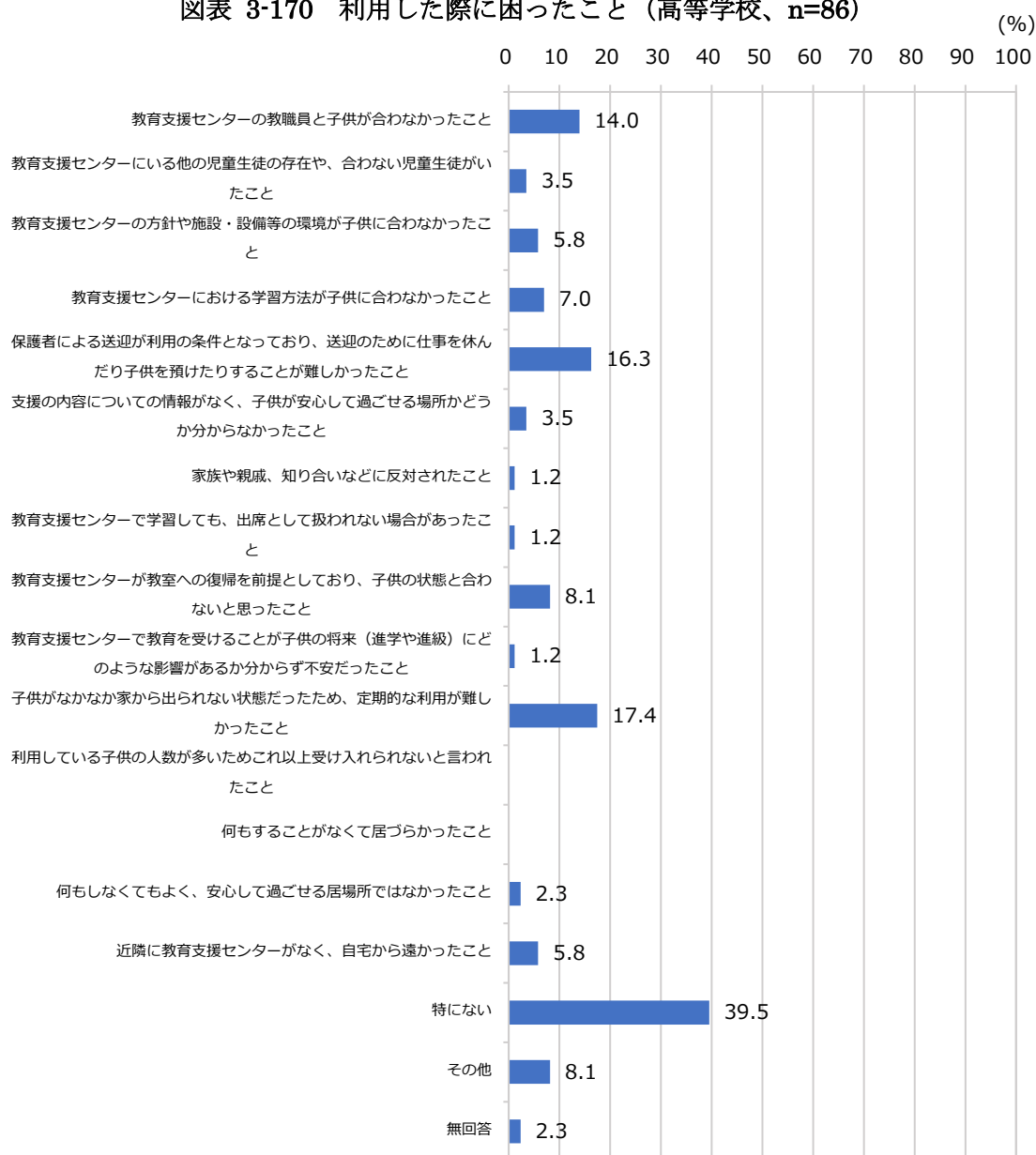


④利用した際に困ったこと

13-3 13で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した際に困ったことは何ですか。(複数回答)。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用した際に困ったことについてみると、高等学校では、「特にない」を除き、「子供がなかなか家から出られない状態だったため、定期的な利用が難しかったこと」、「保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったこと」の割合が高い。

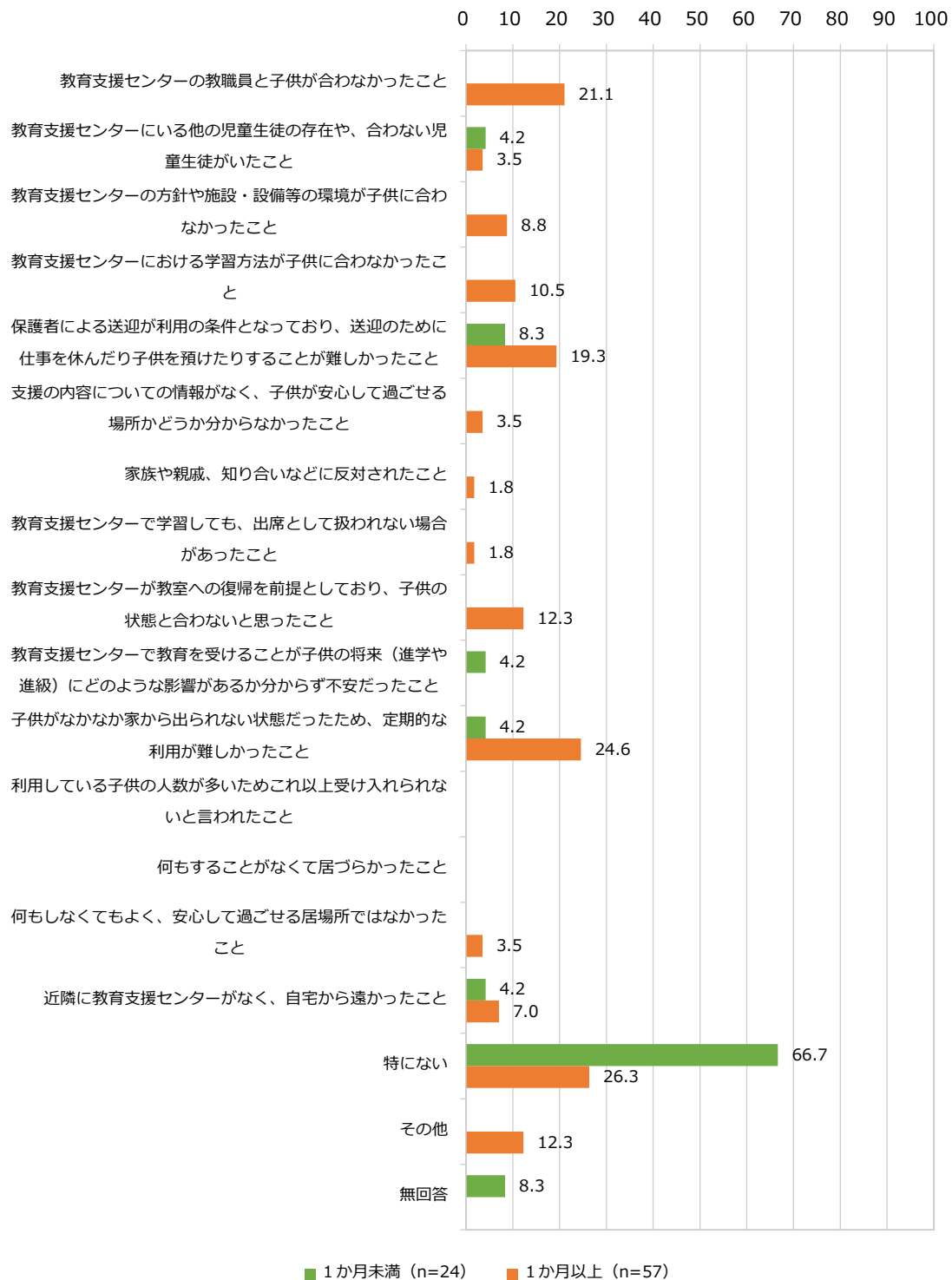
図表 3-170 利用した際に困ったこと (高等学校、n=86)



図表 3-171 利用した際に困ったこと

(高等学校、欠席期間別)

(%)

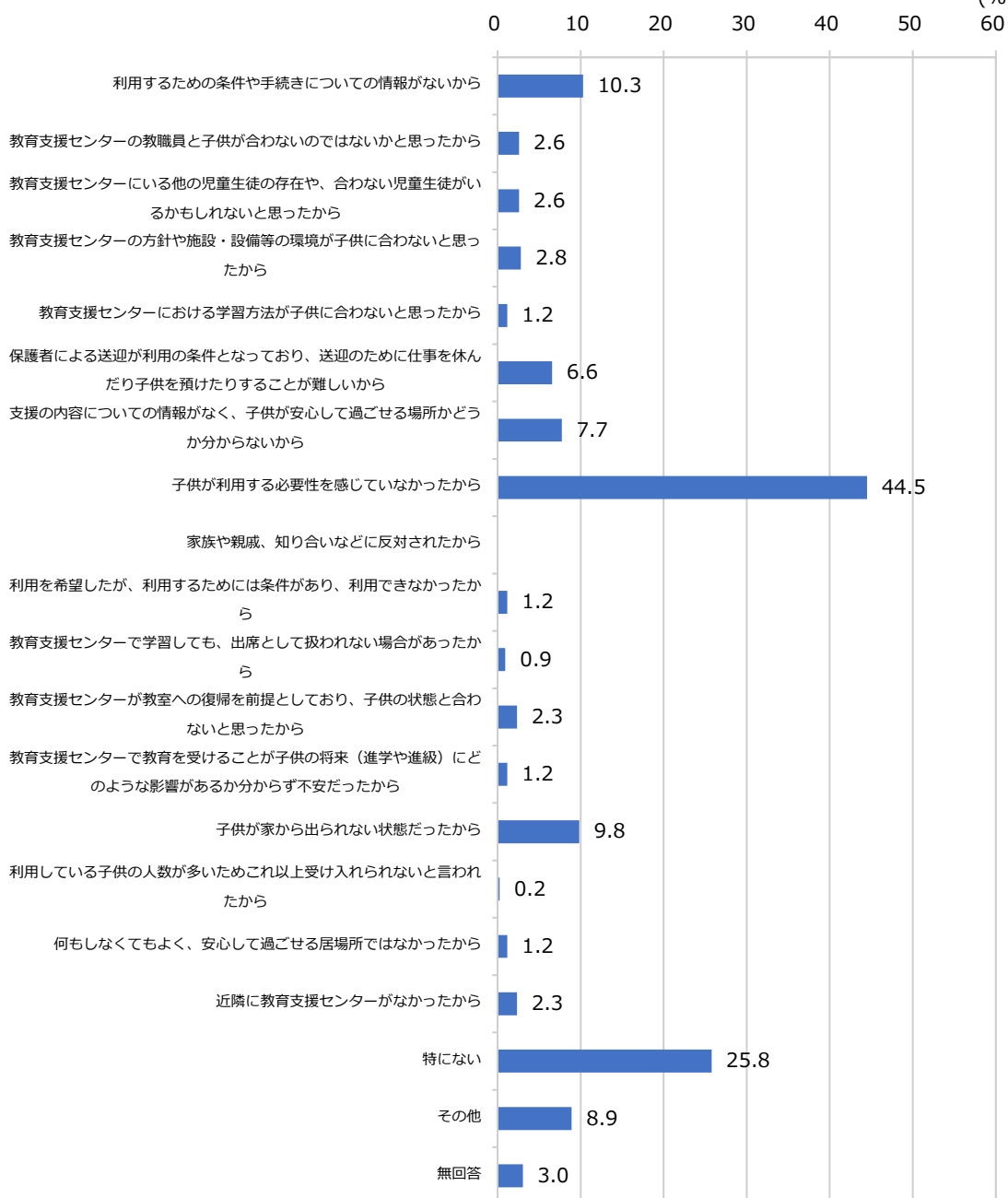


⑤利用できることを知っていたが利用しなかった理由

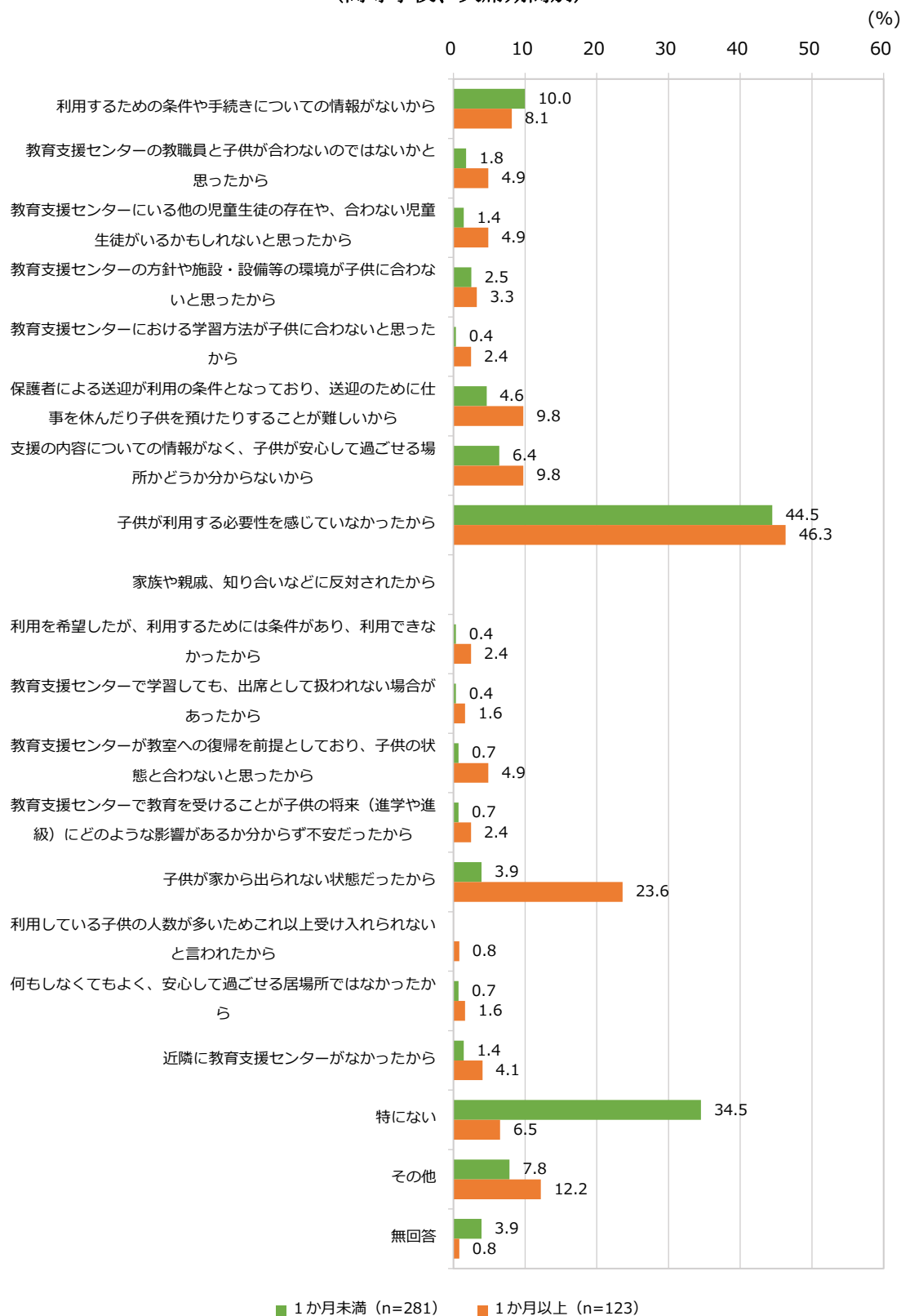
13-4 13で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きます。教育支援センターを利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、高等学校では、「子供が利用する必要性を感じていなかったから」が44.5%と最も高い。

図表 3-172 利用できることを知っていたが利用しなかった理由（高等学校、n=427）
(%)



図表 3-173 利用できることを知っていたが利用しなかった理由
(高等学校、欠席期間別)

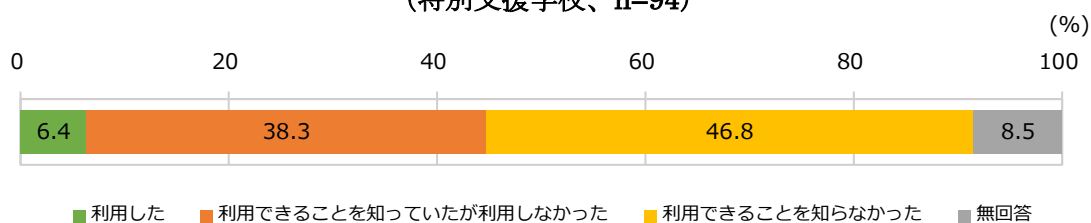


(4)特別支援学校

①利用状況

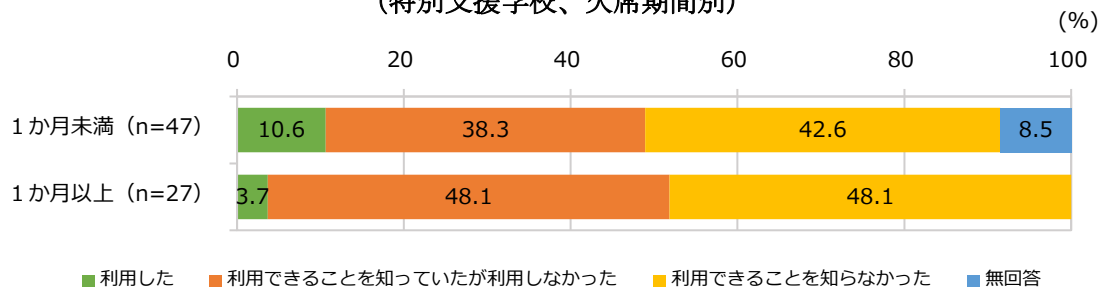
市町の教育支援センターや教育相談室の利用についてみると、特別支援学校では、「利用できることを知らなかった」が46.8%で最も高い。

図表 3-174 市町の教育支援センターや教育相談室の利用
(特別支援学校、n=94)



欠席期間別にみると、1か月未満では10.6%が「利用した」と回答しているが、1か月以上は3.7%にとどまっている。

図表 3-175 市町の教育支援センターや教育相談室の利用
(特別支援学校、欠席期間別)



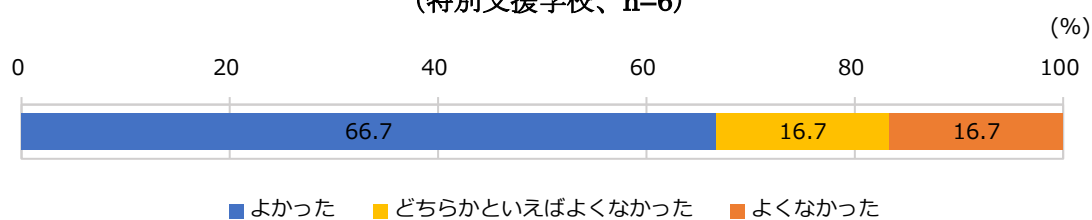
②利用した感想

13-1 13で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した感想を選んでください。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用した感想についてみると、特別支援学校では、「よかった」の割合が66.7%と最も高い。

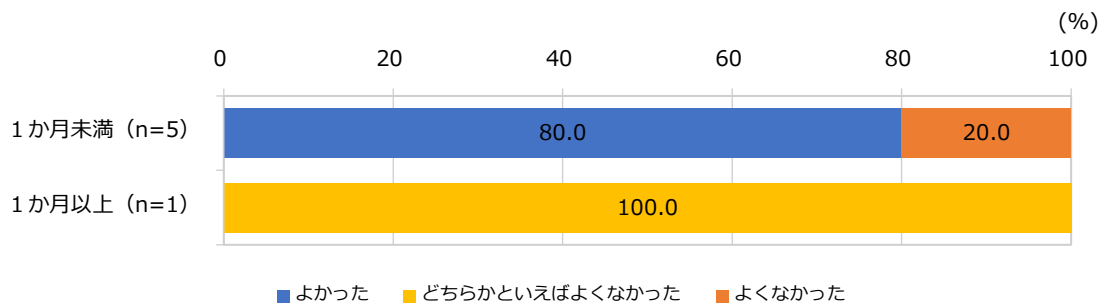
図表 3-176 利用した感想

(特別支援学校、n=6)



図表 3-177 利用した感想

(特別支援学校、欠席期間別)



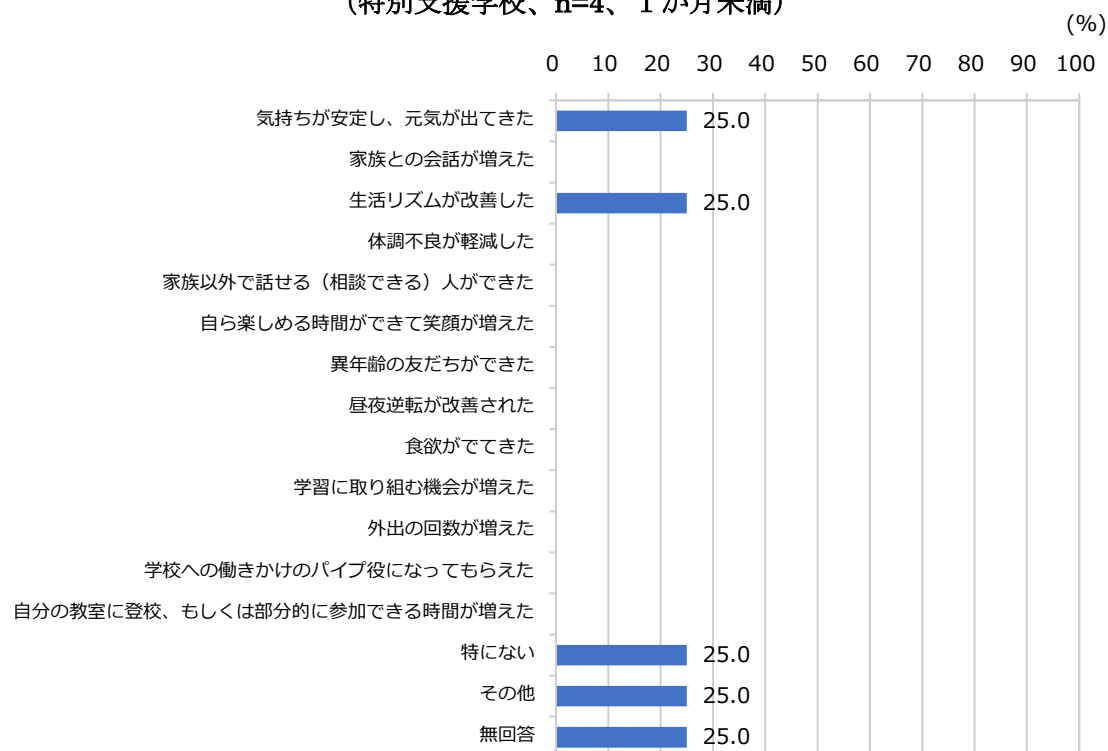
③利用してよかった理由

13-2 13-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用してよかった理由についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

図表 3-178 利用してよかった理由

（特別支援学校、n=4、1か月未満）



④ 利用した際に困ったこと

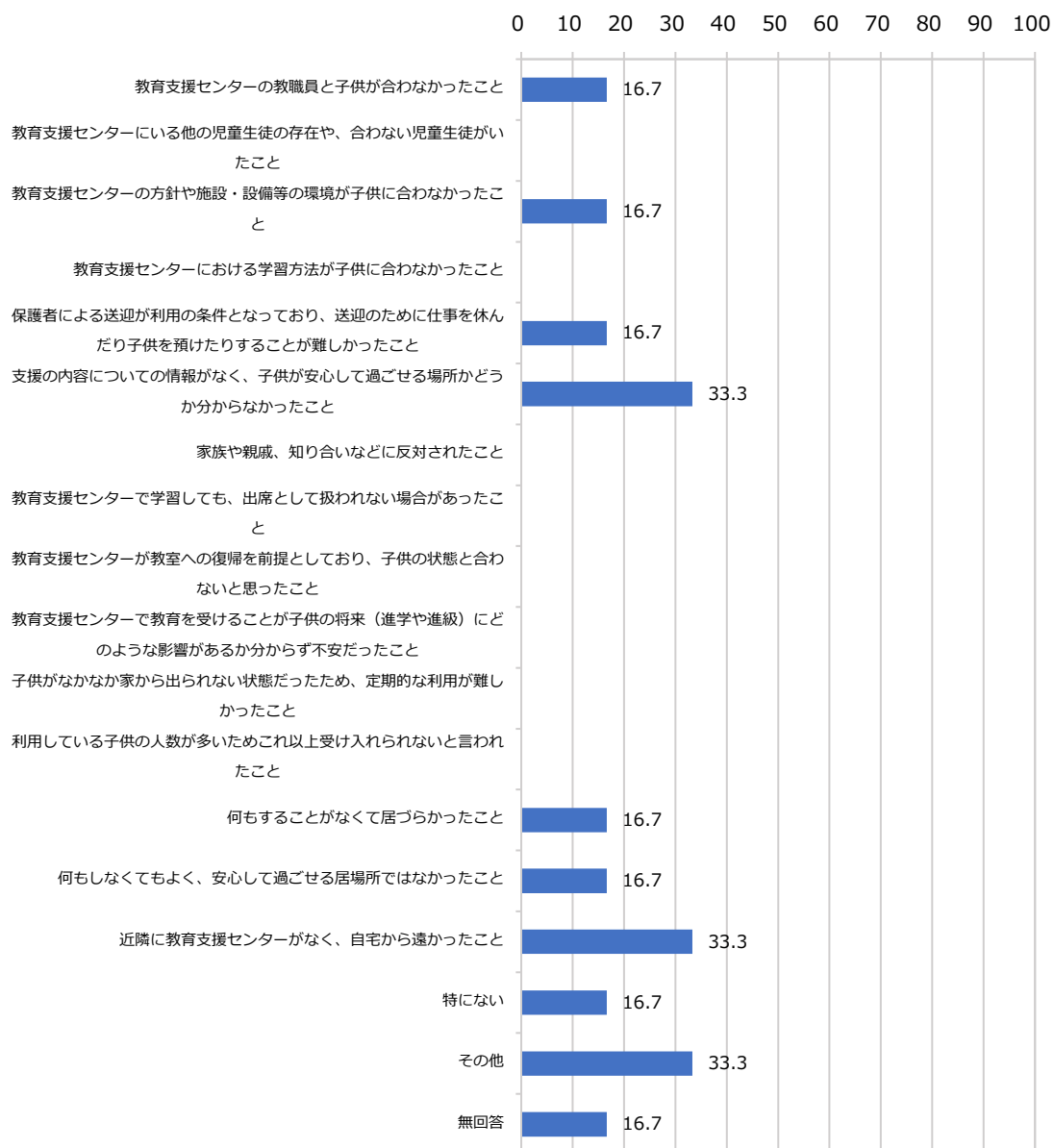
13-3 13で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した際に困ったことは何ですか。(複数回答)。

市町の教育支援センターや教育相談室を利用した際に困ったことについてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

図表 3-179 利用した際に困ったこと

(特別支援学校、n=6)

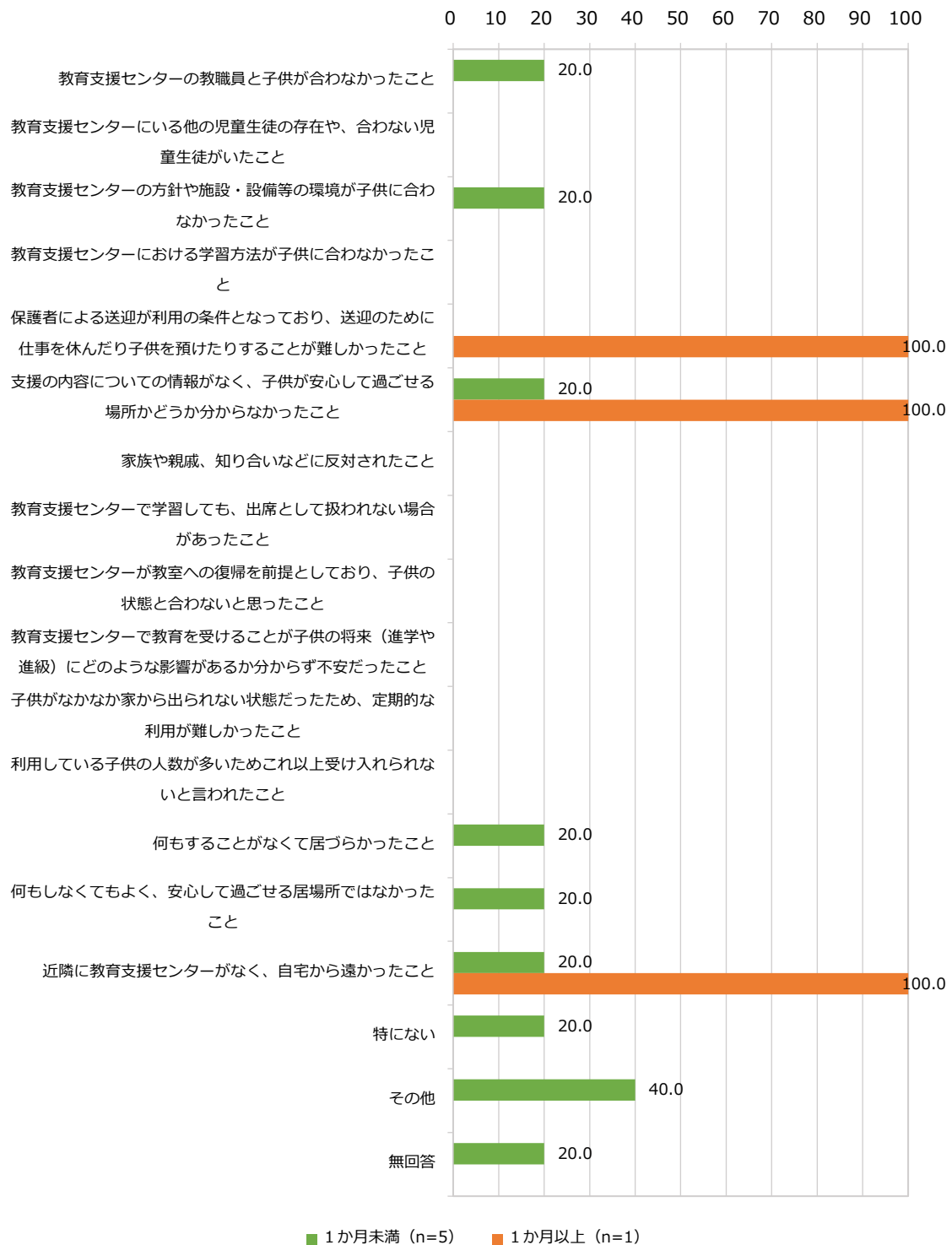
(%)



図表 3-180 利用した際に困ったこと

(特別支援学校、欠席期間別)

(%)



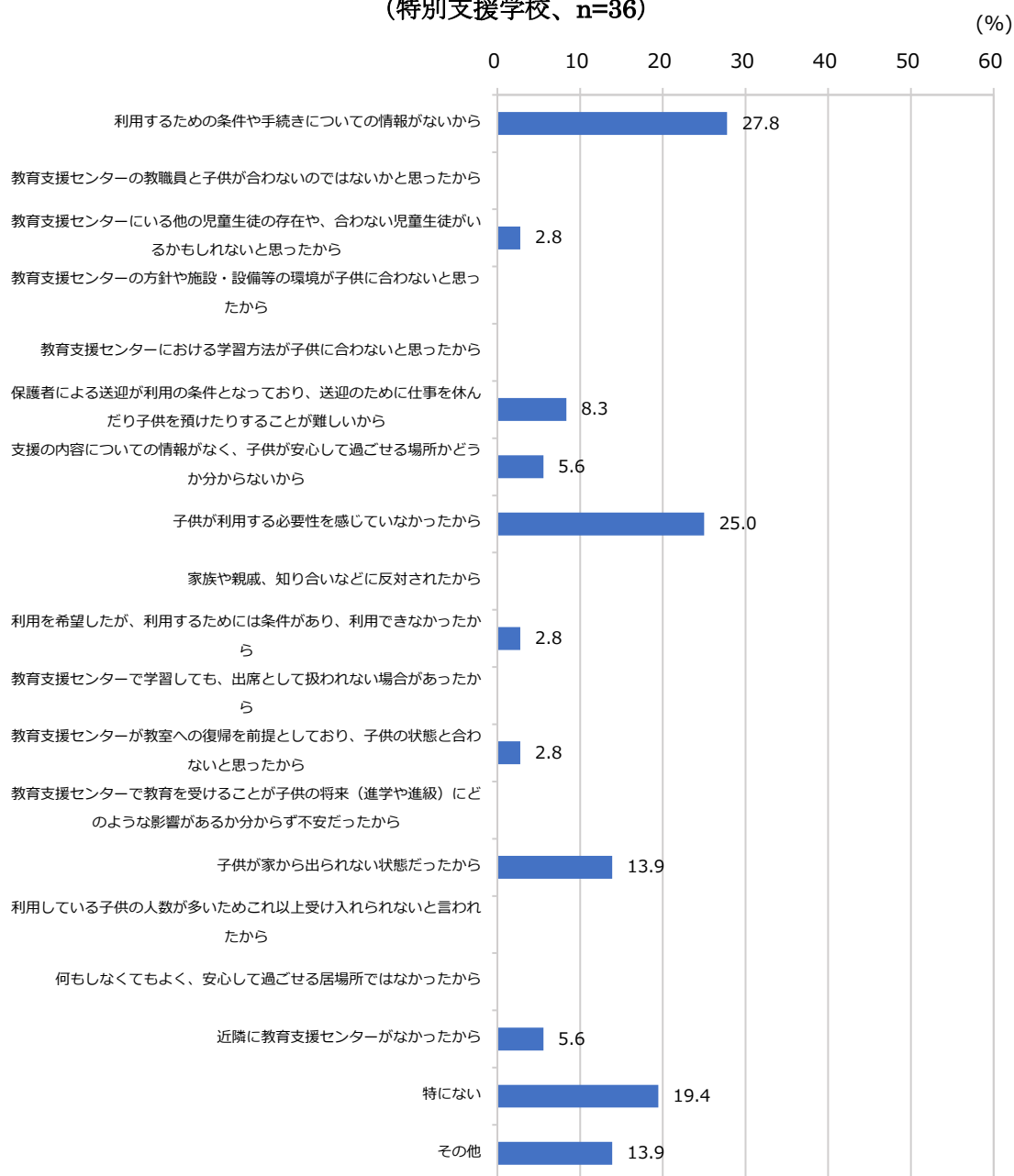
⑤利用できることを知っていたが利用しなかった理由

13-4 13で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きます。教育支援センターを利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。(複数回答)。

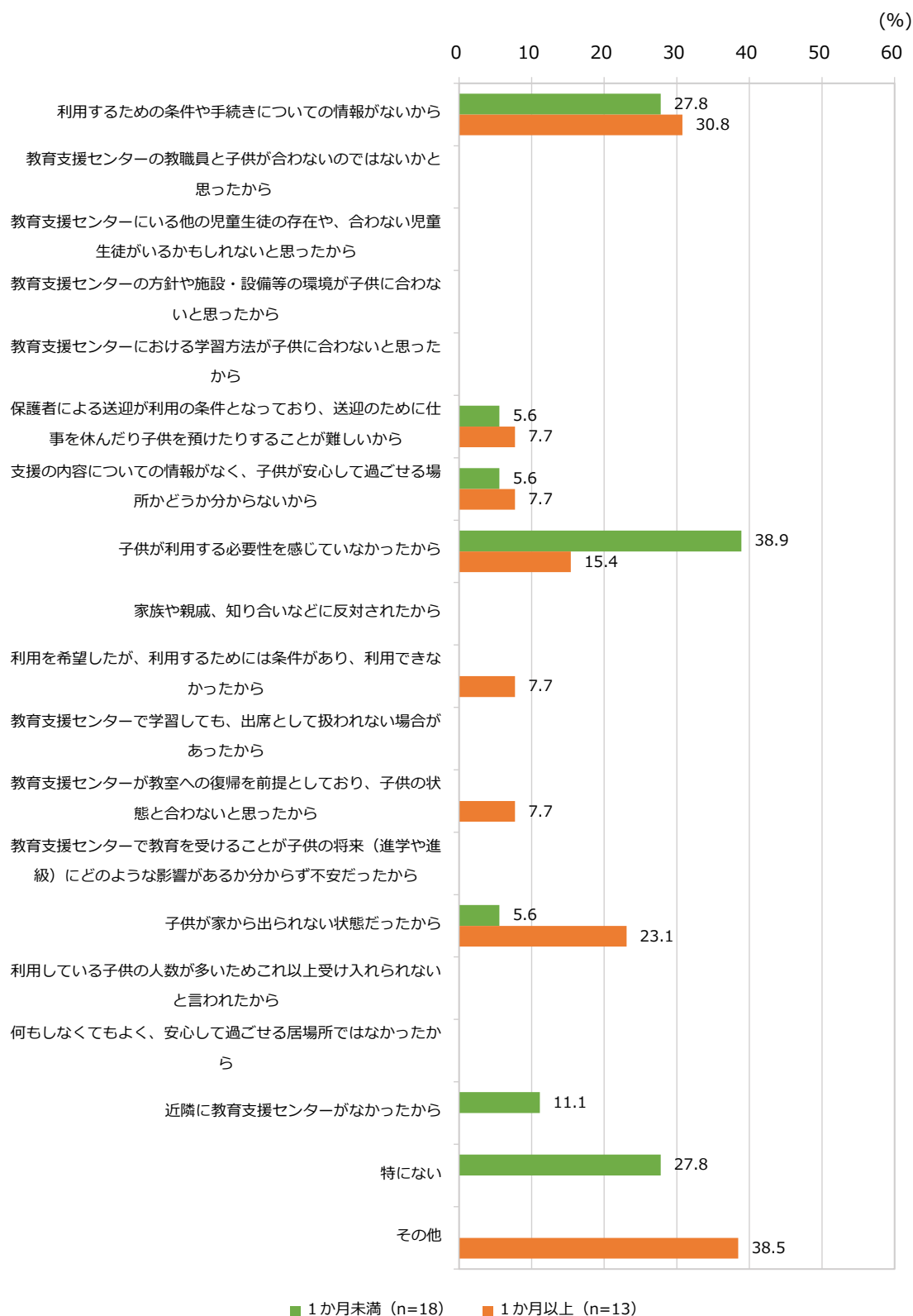
市町の教育支援センターや教育相談室を利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、特別支援学校では、「利用するための条件や手続きについての情報が無いから」が27.8%と最も高い。

図表 3-181 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(特別支援学校、n=36)



図表 3-182 利用できることを知っていたが利用しなかった理由
(特別支援学校、欠席期間別)



3-4-3 民間のフリースクールなどの利用の有無

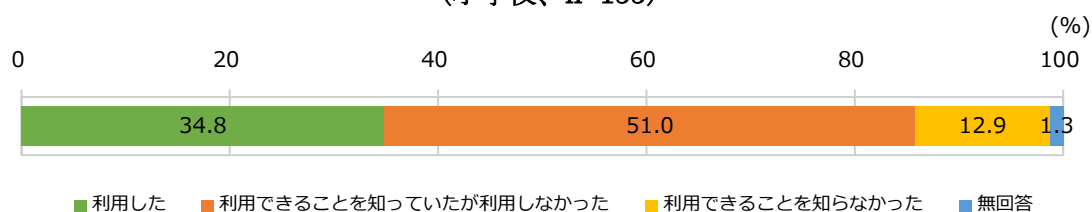
14 お子さまは、民間のフリースクール（不登校の児童生徒が学習したり、相談したり、体験したりできる民間施設）や居場所を利用しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

(1) 小学校

① 利用状況

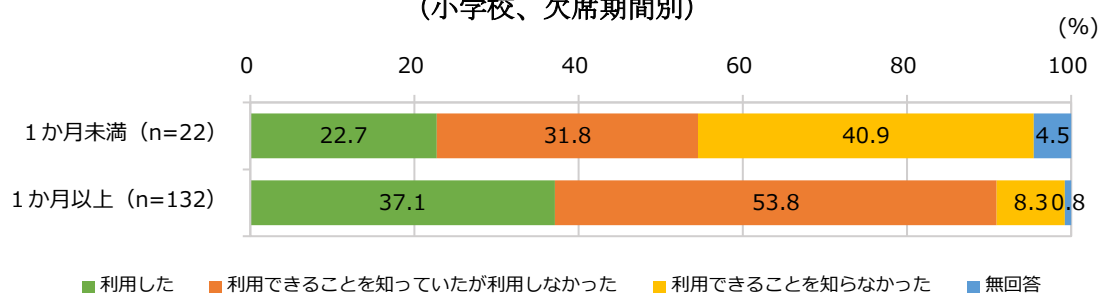
民間のフリースクールなどの利用についてみると、小学校では、「利用できることを知っていたが利用しなかった」が5割を超える。

図表 3-183 民間のフリースクールなどの利用
(小学校、n=155)



欠席期間別にみると、小学校では、1か月未満では「利用できることを知らなかった」が40.9%と最も高く、1か月以上（8.3%）との差が大きい。

図表 3-184 民間のフリースクールなどの利用
(小学校、欠席期間別)



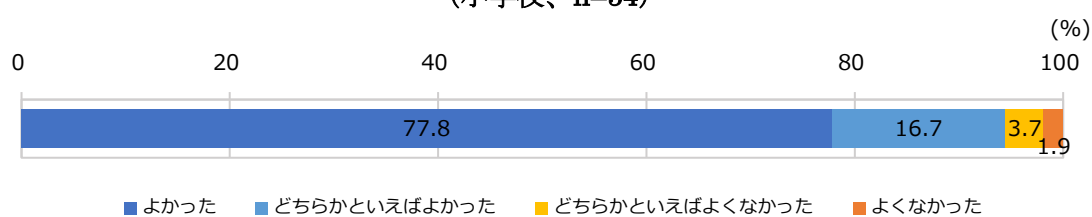
②利用した感想

14-1 14で「利用した」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用した感想を選んでください。

民間のフリースクールなどを利用した感想についてみると、小学校では、77.8%が「よかった」と回答しており、「どちらかといえばよかった」と合わせると9割を超える。

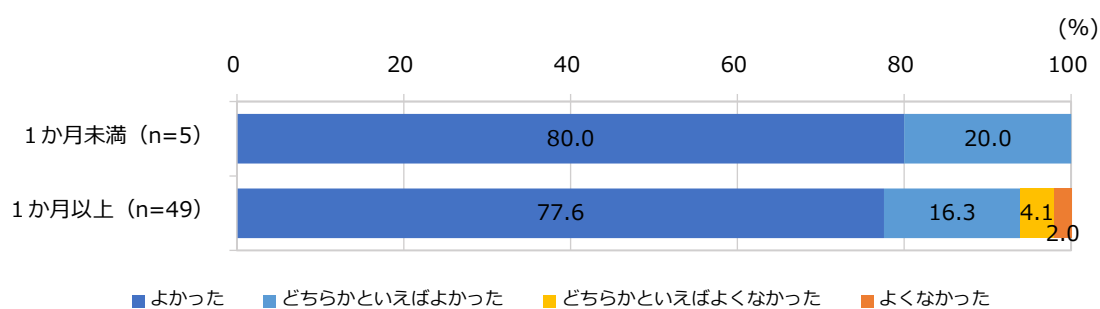
図表 3-185 利用した感想

(小学校、n=54)



図表 3-186 利用した感想

(小学校、欠席期間別)



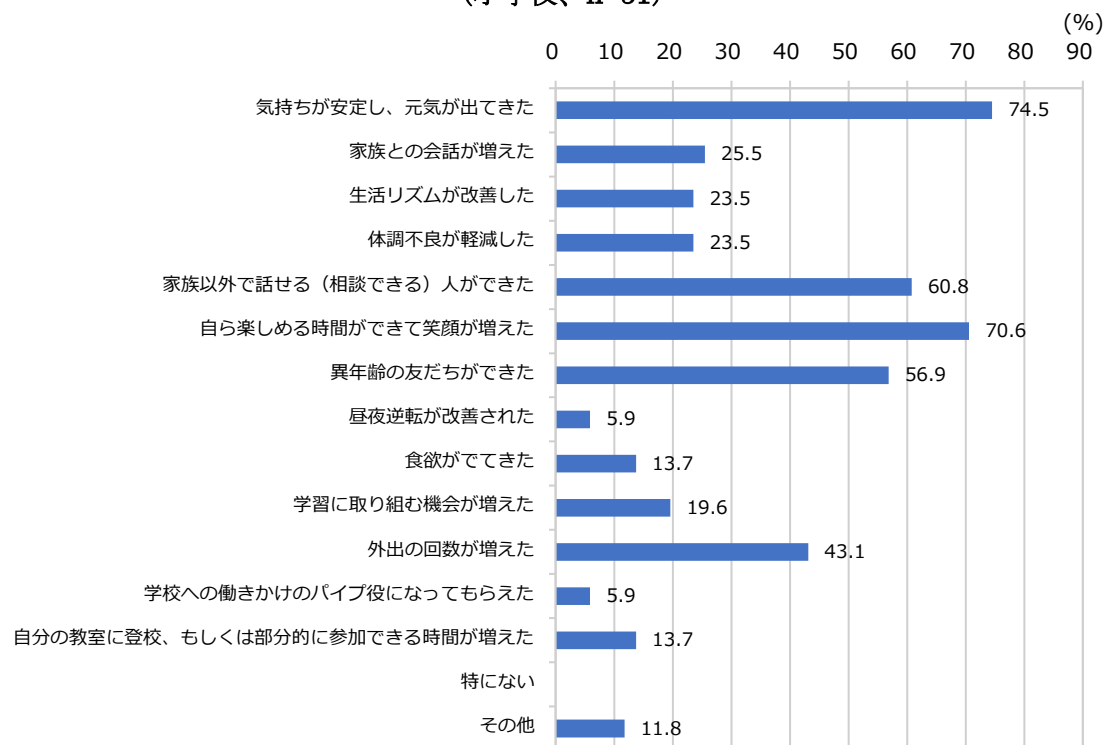
③利用してよかった理由

14-2 14-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

民間のフリースクールなどを利用してよかった理由についてみると、小学校では「気持ちが安定し、元気が出てきた」が74.5%と最も高い。次いで、「自ら楽しめる時間ができて笑顔が増えた（70.6%）」、「家族以外で話せる人ができた（60.8%）」、「異年齢の友だちができた（56.9%）」となっている。

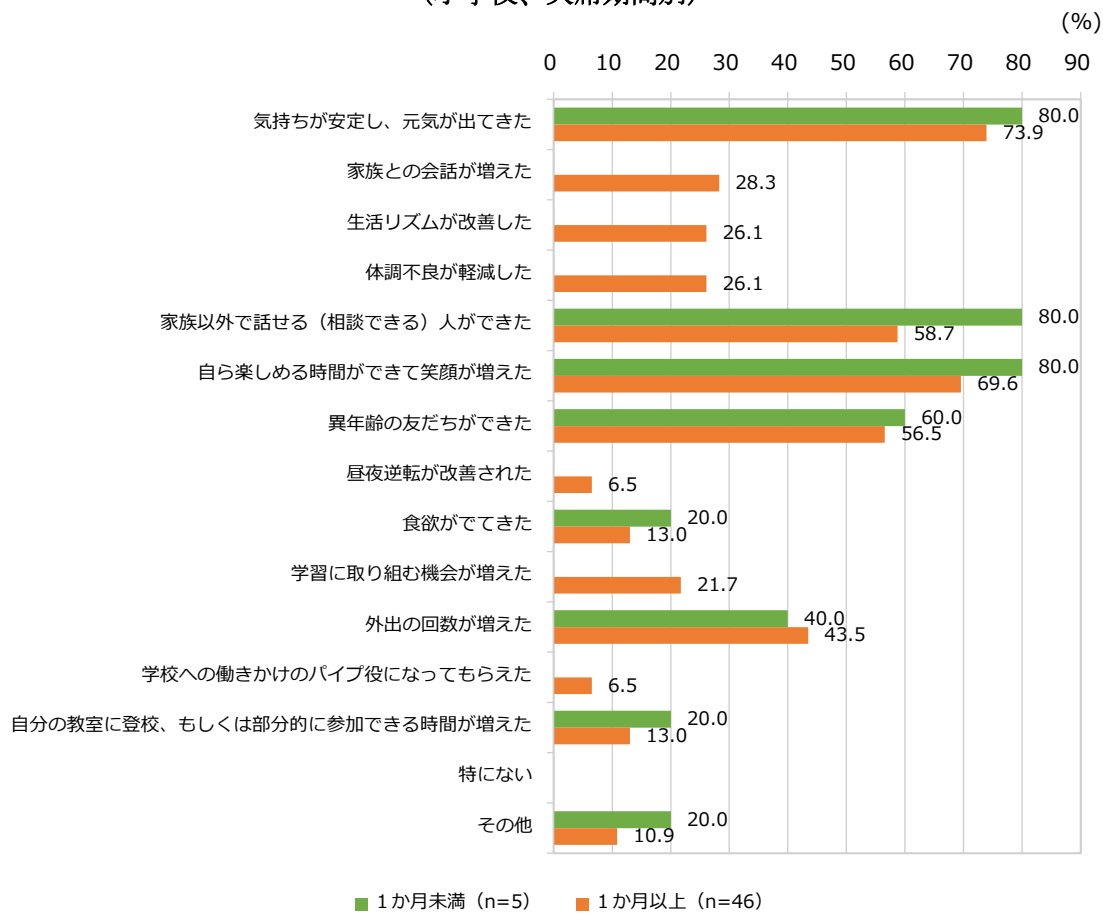
図表 3-187 利用してよかった理由

(小学校、n=51)



図表 3-188 利用してよかった理由

(小学校、欠席期間別)



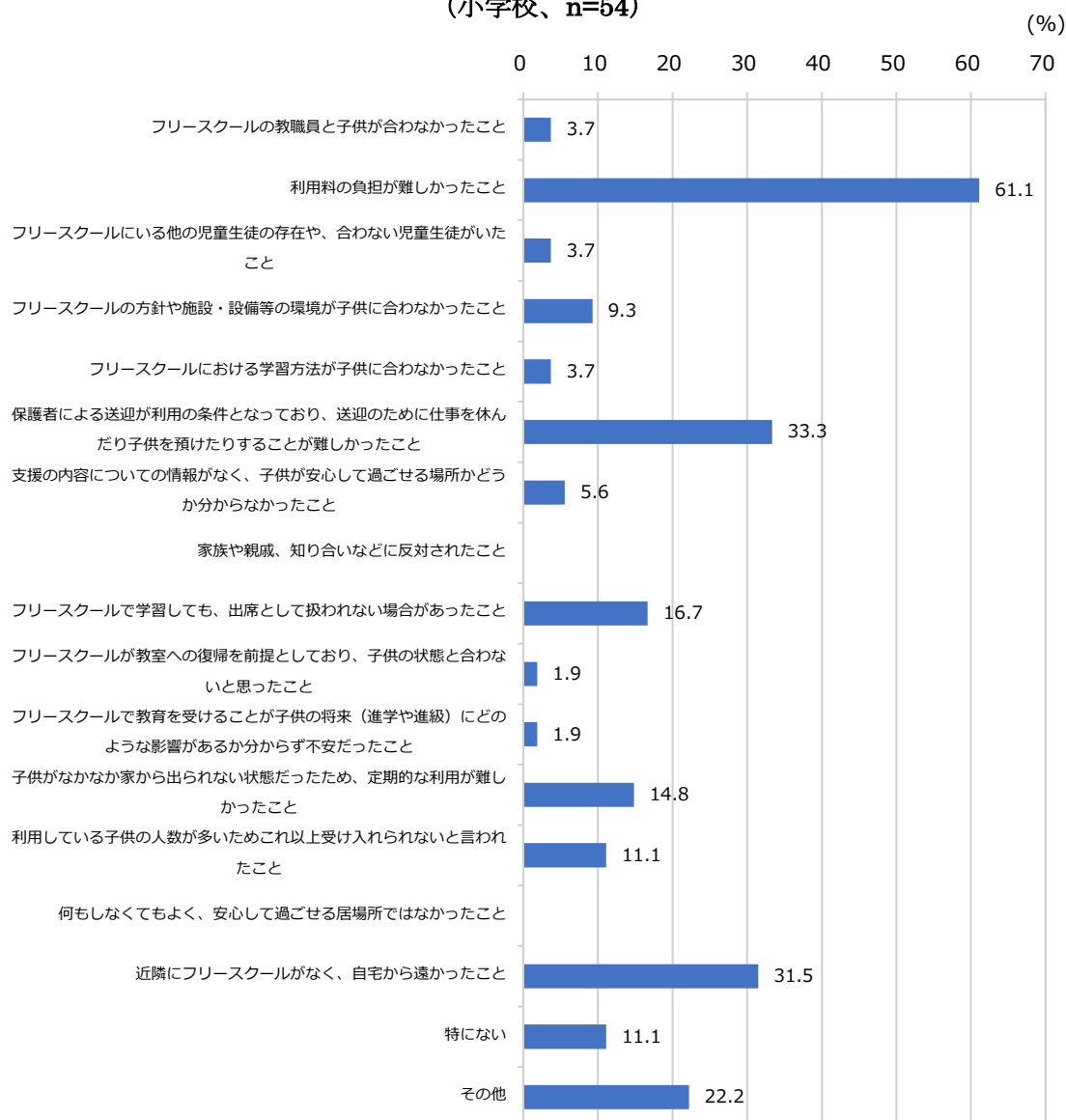
④利用した際に困ったこと

14-3 14で「利用した」と回答した方にお聞きます。フリースクール等を利用した際に困ったことは何ですか。(複数回答)。

民間のフリースクールなどを利用した際に困ったことについてみると、中学校では「利用料の負担が難しかったこと」が61.1%と最も高い。次いで、「保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったこと」、「近隣のフリースクールがなく、自宅から遠かったこと」となっている。

図表 3-189 利用した際に困ったこと

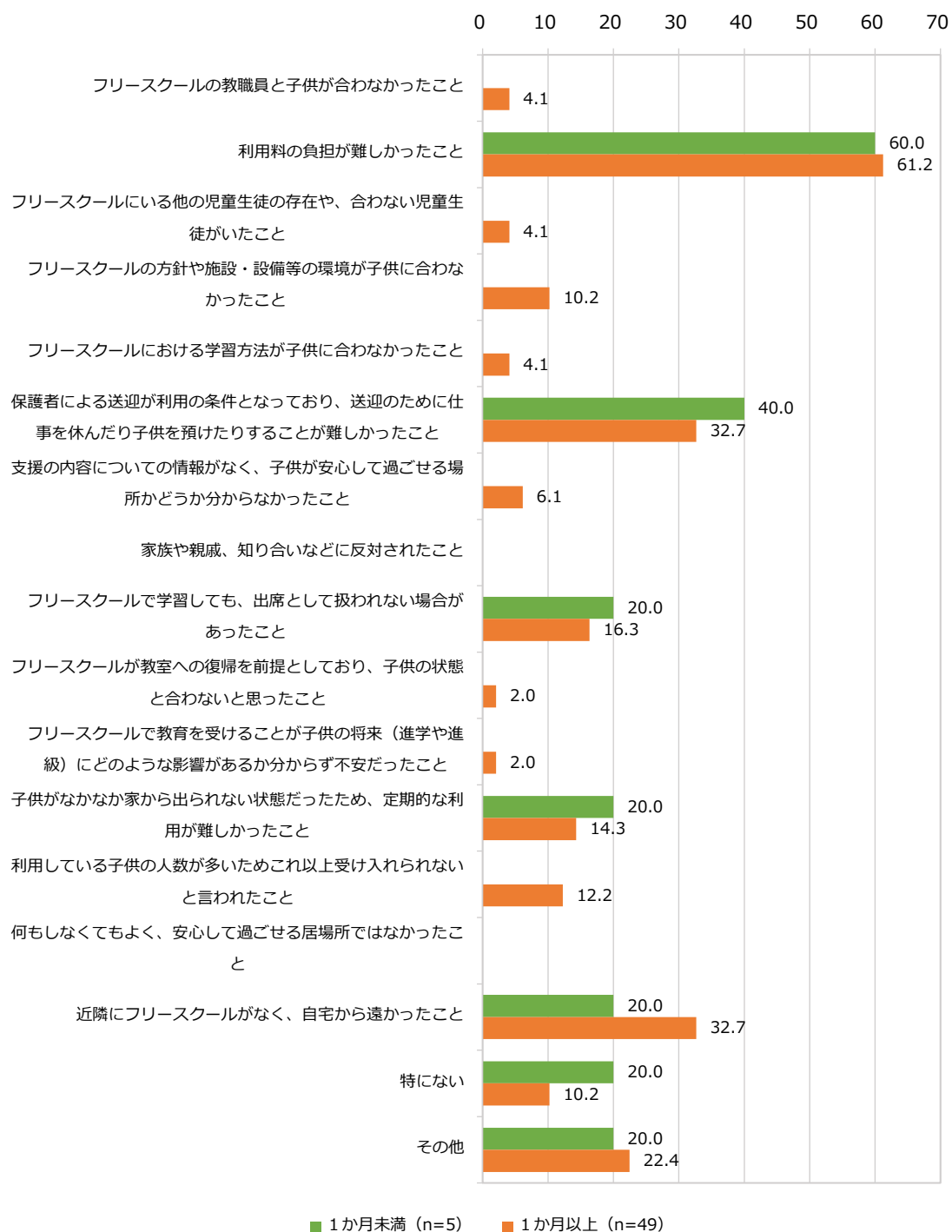
(小学校、n=54)



図表 3-190 利用した際に困ったこと

(小学校、欠席期間別)

(%)

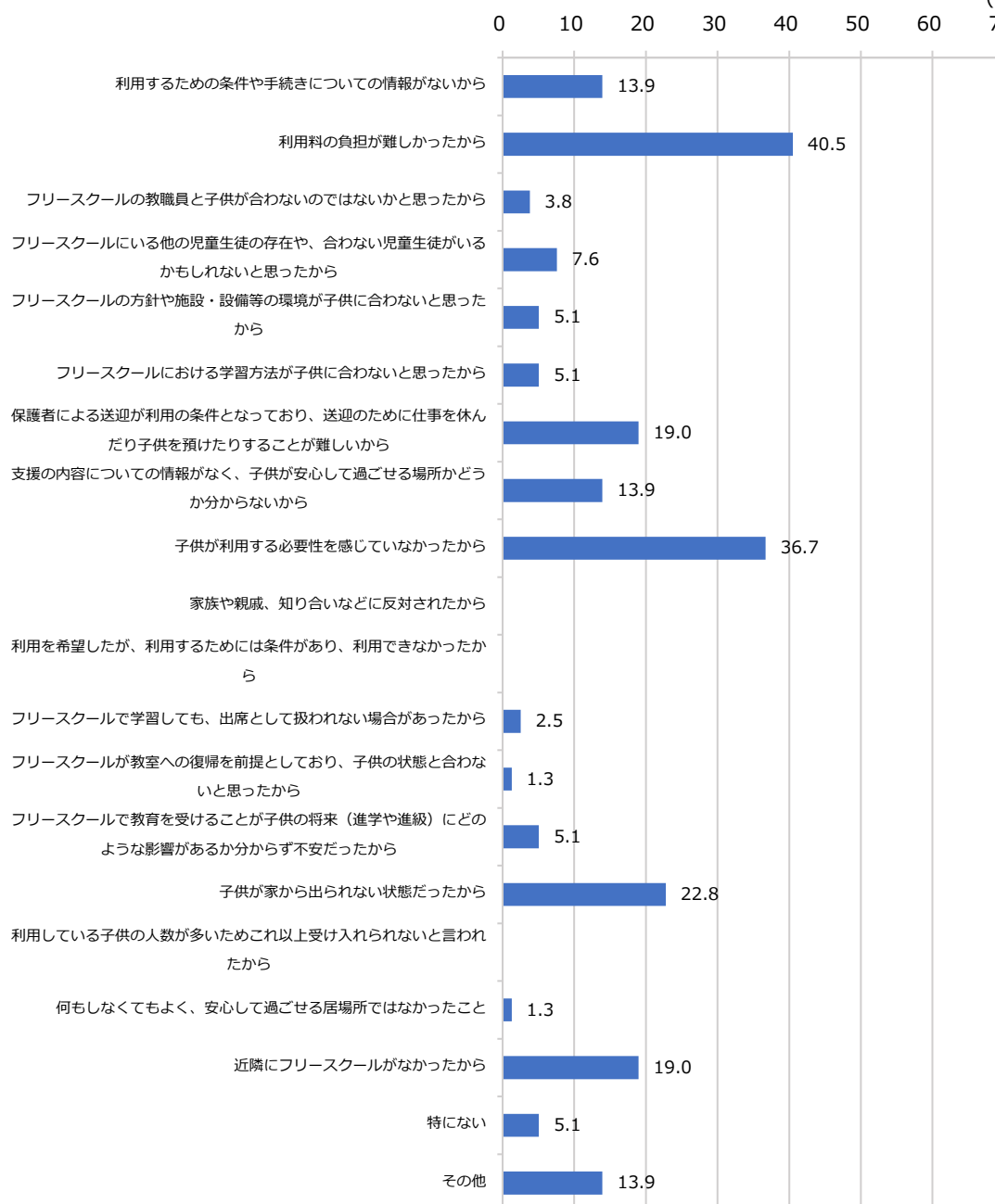


⑤利用できることを知っていたが利用しなかった理由

14-4 14で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きます。フリースクール等を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。(複数回答)。

民間のフリースクールなどを利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、小学校では、「利用料の負担が難しかったから」が40.5%と最も高い。次いで「子供が利用する必要性を感じていなかったから(36.7%)」となっている。

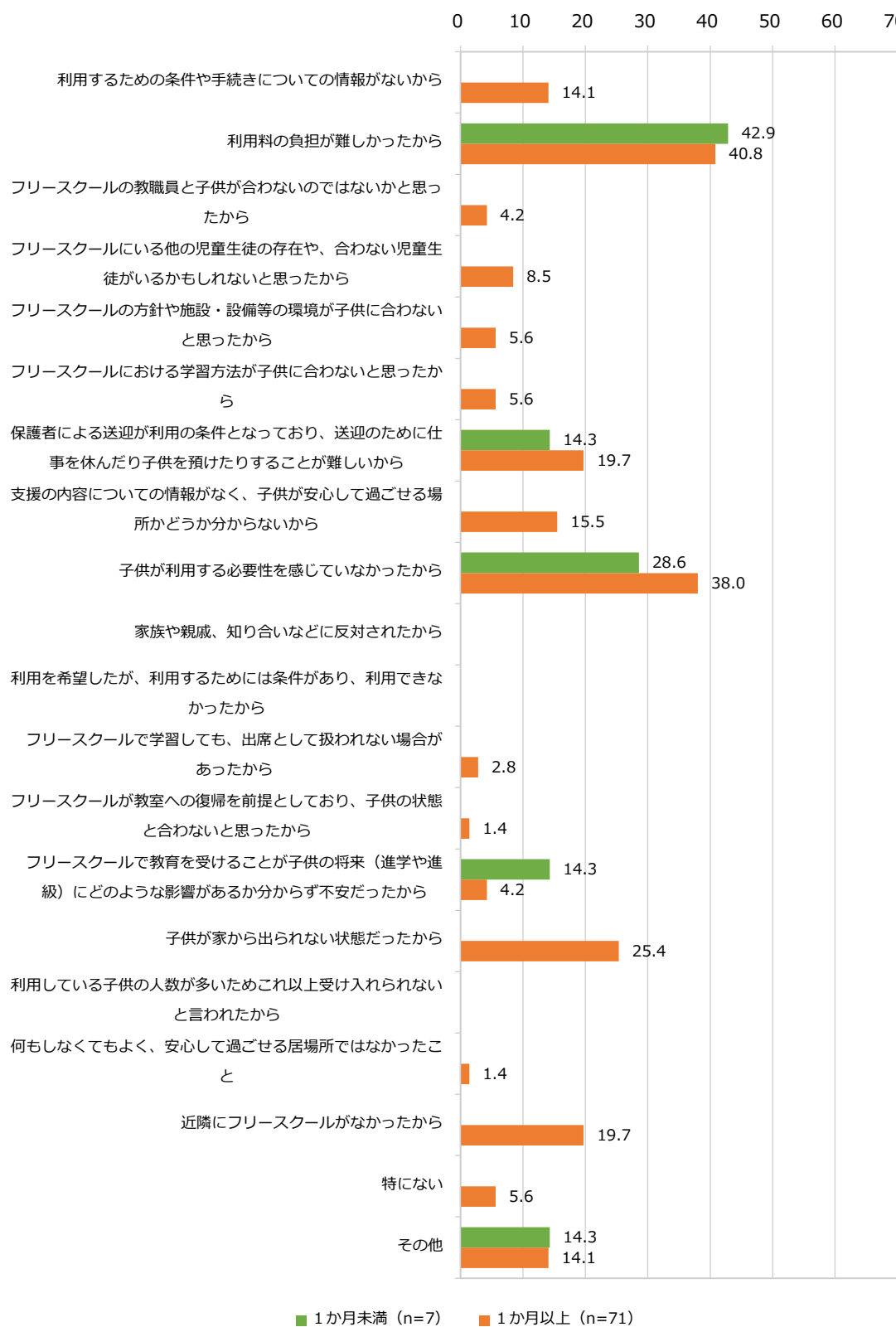
図表 3-191 利用できることを知っていたが利用しなかった理由(小学校、n=79) (%)



図表 3-192 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(小学校、欠席期間別)

(%)

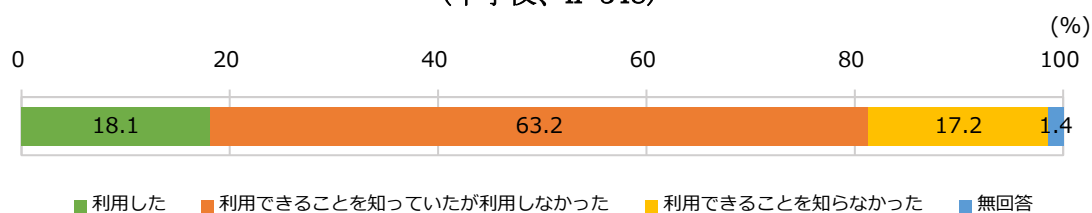


(2) 中学校

① 利用状況

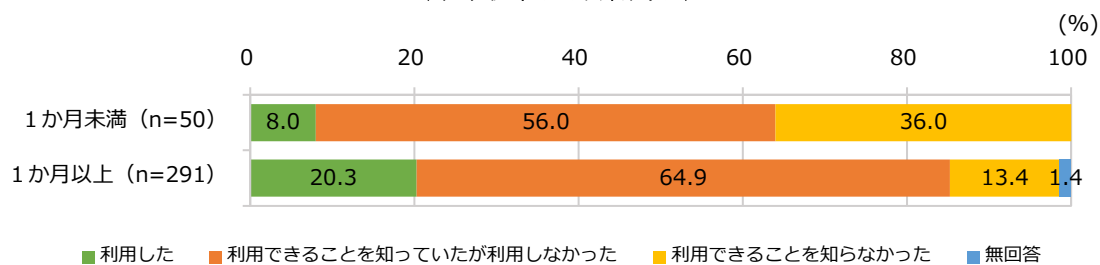
民間のフリースクールなどの利用についてみると、中学校では、「利用できることを知っていたが利用しなかった」の割合が63.2%と最も高い。

図表 3-193 民間のフリースクールなどの利用
(中学校、n=348)



欠席期間別にみると、1か月以上では20.3%が「利用した」のに対し、1か月未満では8.0%にとどまっている。

図表 3-194 民間のフリースクールなどの利用
(中学校、欠席期間別)



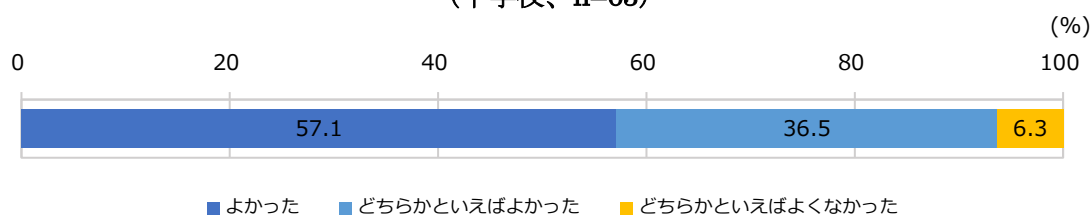
②利用した感想

14-1 14で「利用した」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用した感想を選んでください。

民間のフリースクールなどを利用した感想についてみると、中学校では、57.1%が「よかった」と回答しており、「どちらかといえばよかった」と合わせると9割を超える。

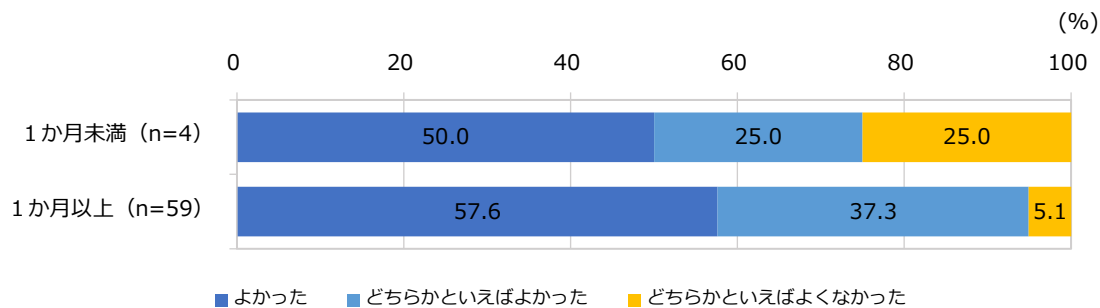
図表 3-195 利用した感想

(中学校、n=63)



図表 3-196 利用した感想

(中学校、欠席期間別)



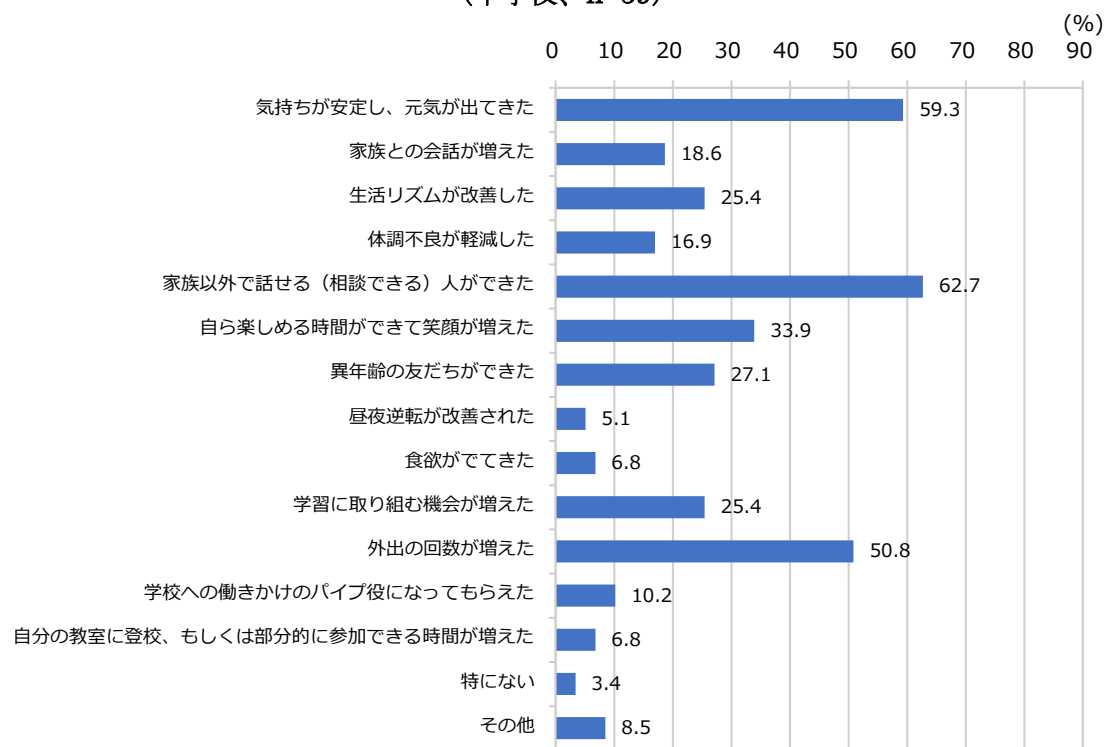
③利用してよかった理由

14-2 14-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用してよかった理由は何ですか。(複数回答)。

民間のフリースクールなどを利用してよかった理由についてみると、中学校では、「家族以外で話せる人ができた」が62.7%と最も高い。次いで「気持ちが安定し、元気が出てきた(59.3%)」、「外出の回数が増えた(50.8%)」となっている。

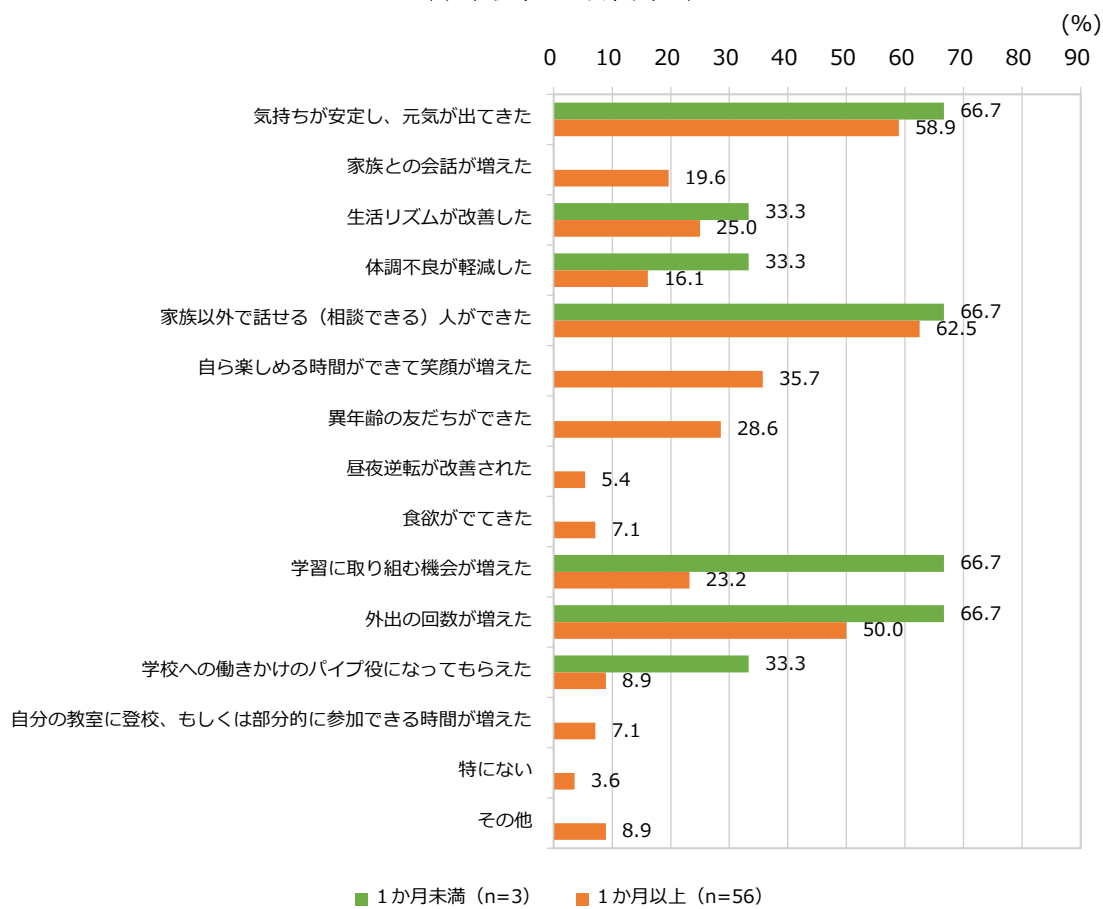
図表 3-197 利用してよかった理由

(中学校、n=59)



図表 3-198 利用してよかった理由

(中学校、欠席期間別)

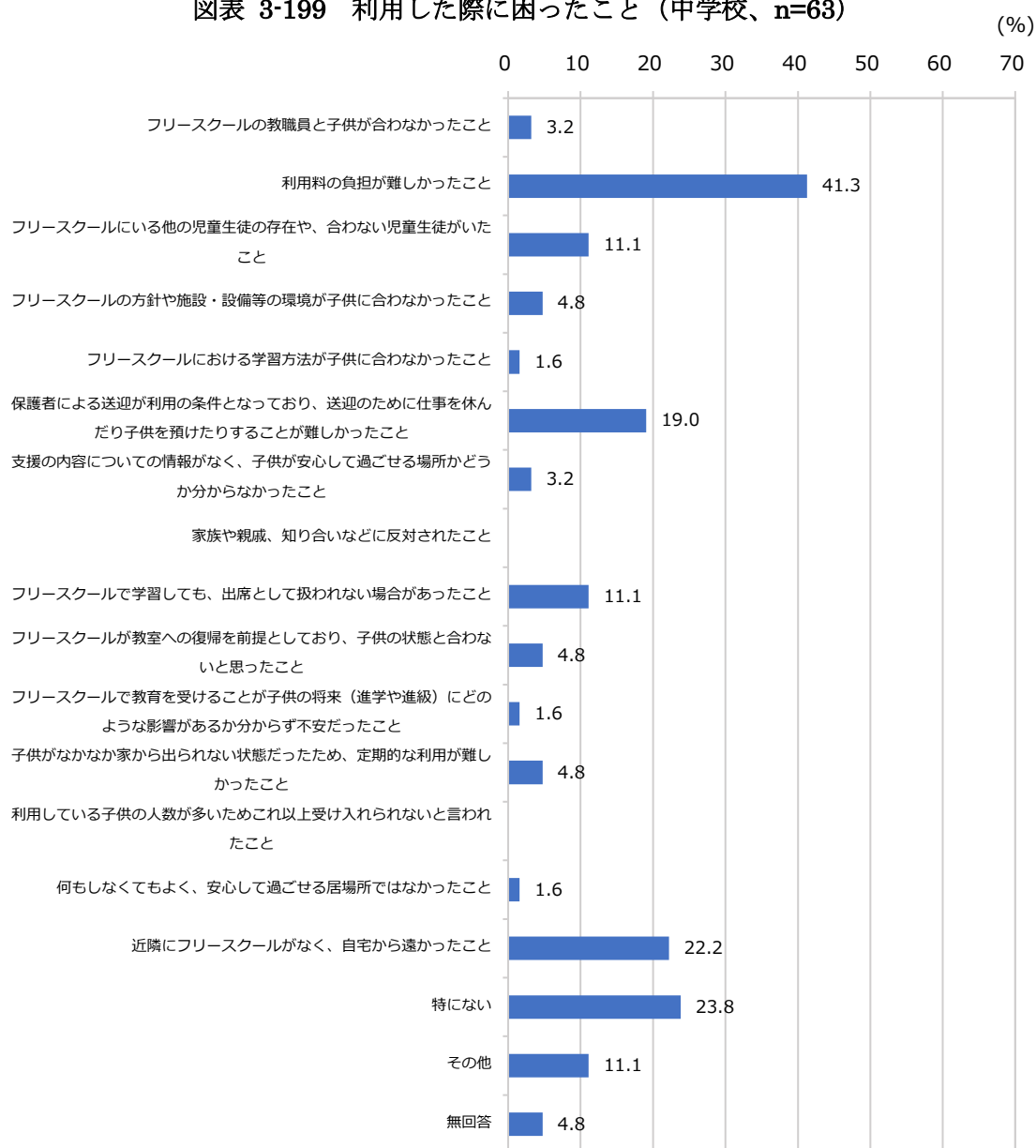


④利用した際に困ったこと

14-3 14で「利用した」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用した際に困ったことは何ですか。(複数回答)。

民間のフリースクールなどを利用した際に困ったことについてみると、中学校では、「利用料の負担が難しかったこと」が41.3%と最も高い。次いで、「特にない」を除くと、「近隣のフリースクールがなく、自宅から遠かったこと(22.2%)」となっている。

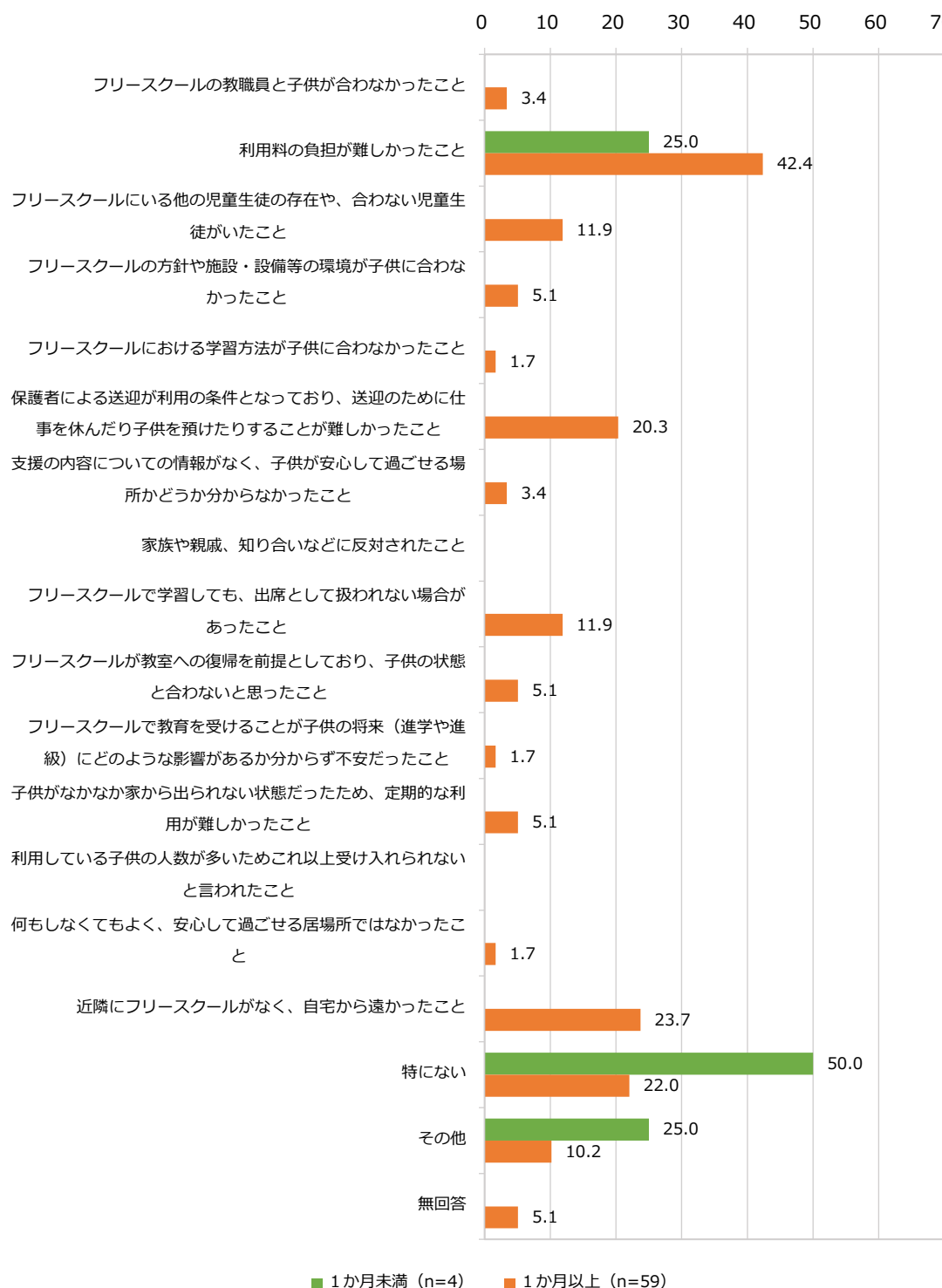
図表 3-199 利用した際に困ったこと (中学校、n=63)



図表 3-200 利用した際に困ったこと

(中学校、欠席期間別)

(%)

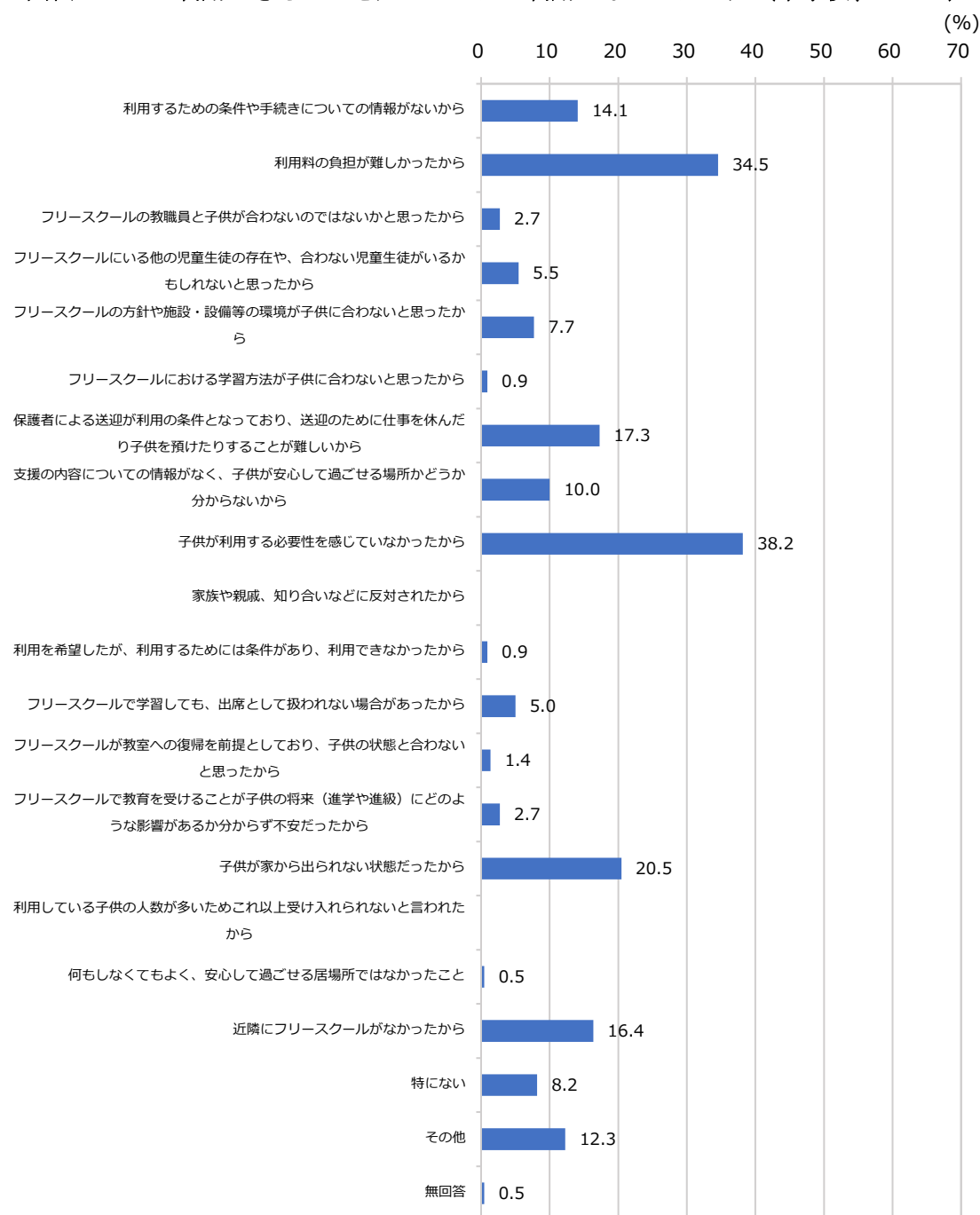


⑤ 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

14-4 14で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きます。フリースクール等を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。(複数回答)。

民間のフリースクールなどを利用できることを知っていたが利用しなかった理由についてみると、中学校では、「子供が利用する必要性を感じていなかったから」が38.2%と最も高い。次いで「利用料の負担が難しかったから(34.5%)」となっている。

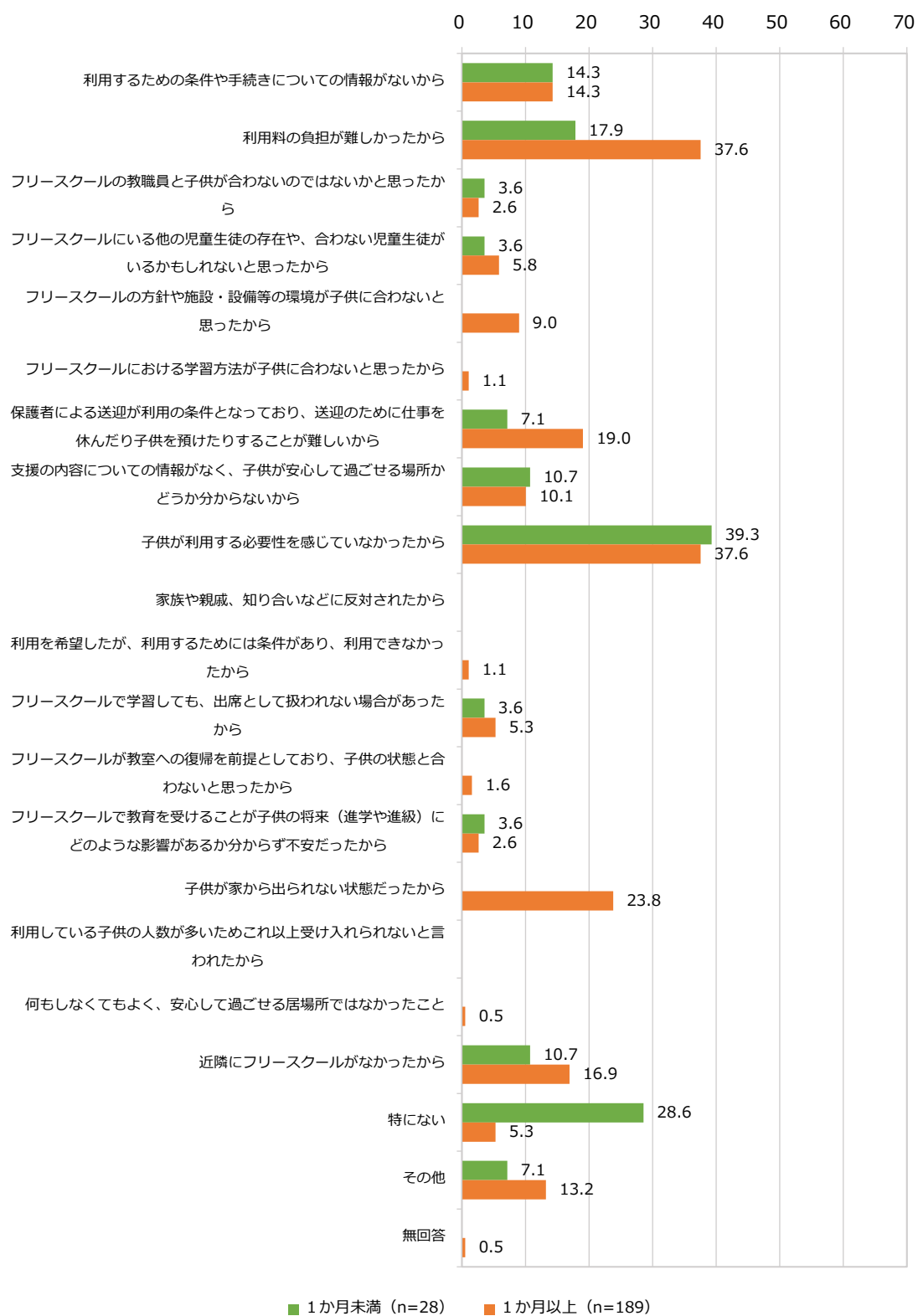
図表 3-201 利用できることを知っていたが利用しなかった理由(中学校、n=220)



図表 3-202 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(中学校、欠席期間別)

(%)

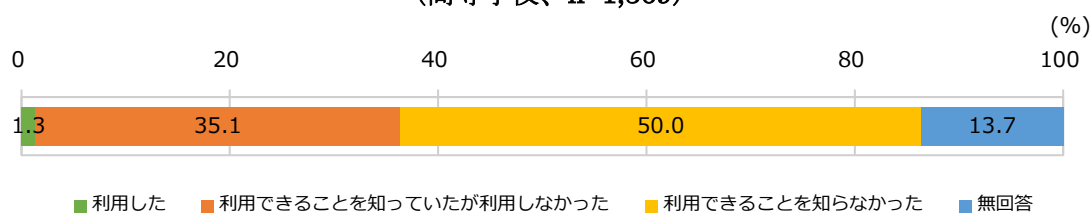


(3)高等学校

①利用状況

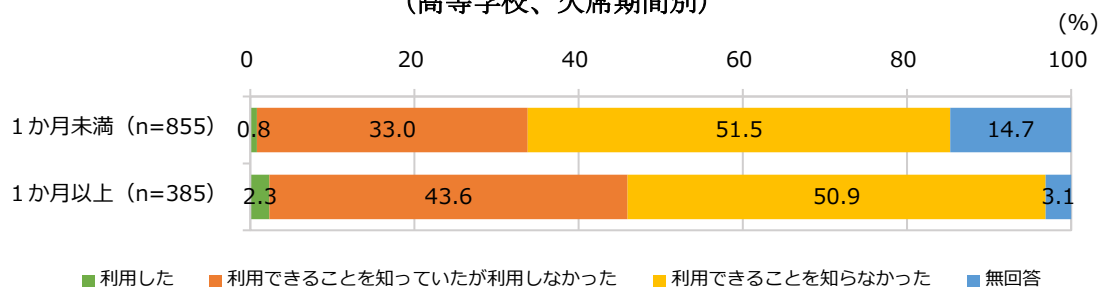
民間のフリースクールなどの利用についてみると、高等学校では、5割が「利用できることを知らなかった」と回答している。

図表 3-203 民間のフリースクールなどの利用
(高等学校、n=1,369)



欠席期間別にみると、「利用した」割合は、1か月以上では2.3%、1か月未満では0.8%にとどまっている。

図表 3-204 民間のフリースクールなどの利用
(高等学校、欠席期間別)



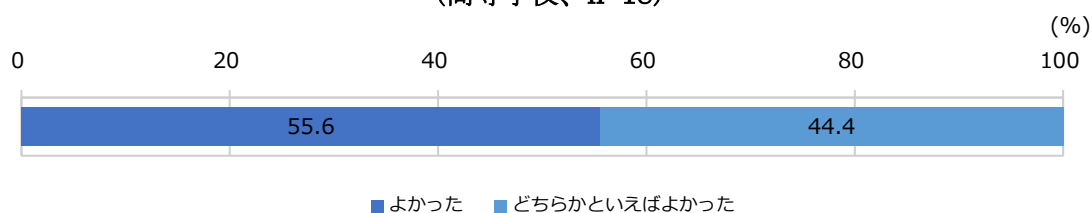
②利用した感想

14-1 14で「利用した」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用した感想を選んでください。

民間のフリースクールなどを利用した感想についてみると、高等学校では以下のとおりである。

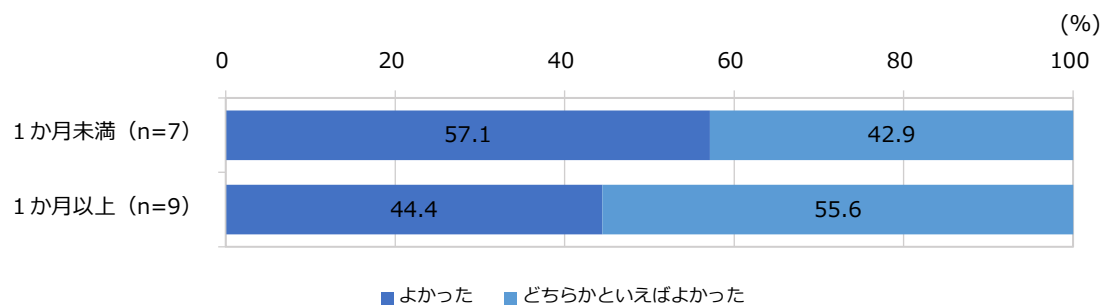
図表 3-205 利用した感想

(高等学校、n=18)



図表 3-206 利用した感想

(高等学校、欠席期間別)



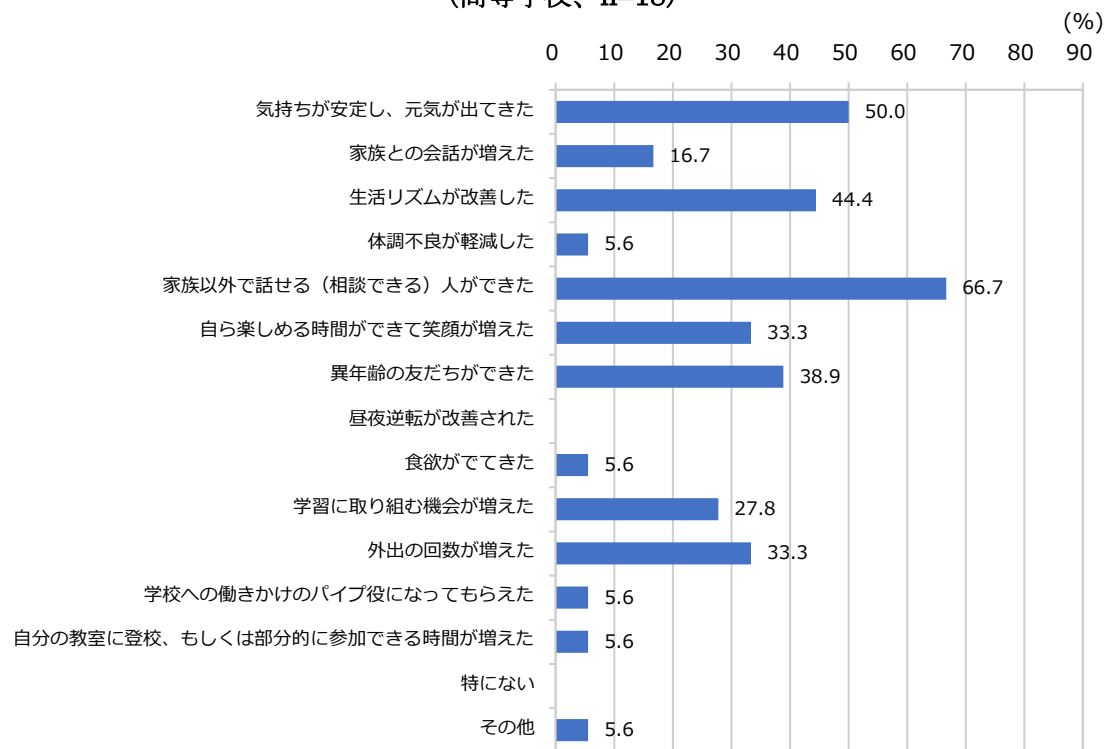
③利用してよかった理由

14-2 14-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

民間のフリースクールなどを利用してよかった理由についてみると、高等学校では、「家族以外で話せる人ができた」が66.7%と最も高い。次いで「気持ちが安定し、元気が出てきた（50.0%）」、「生活リズムが改善した（44.4%）」となっている。

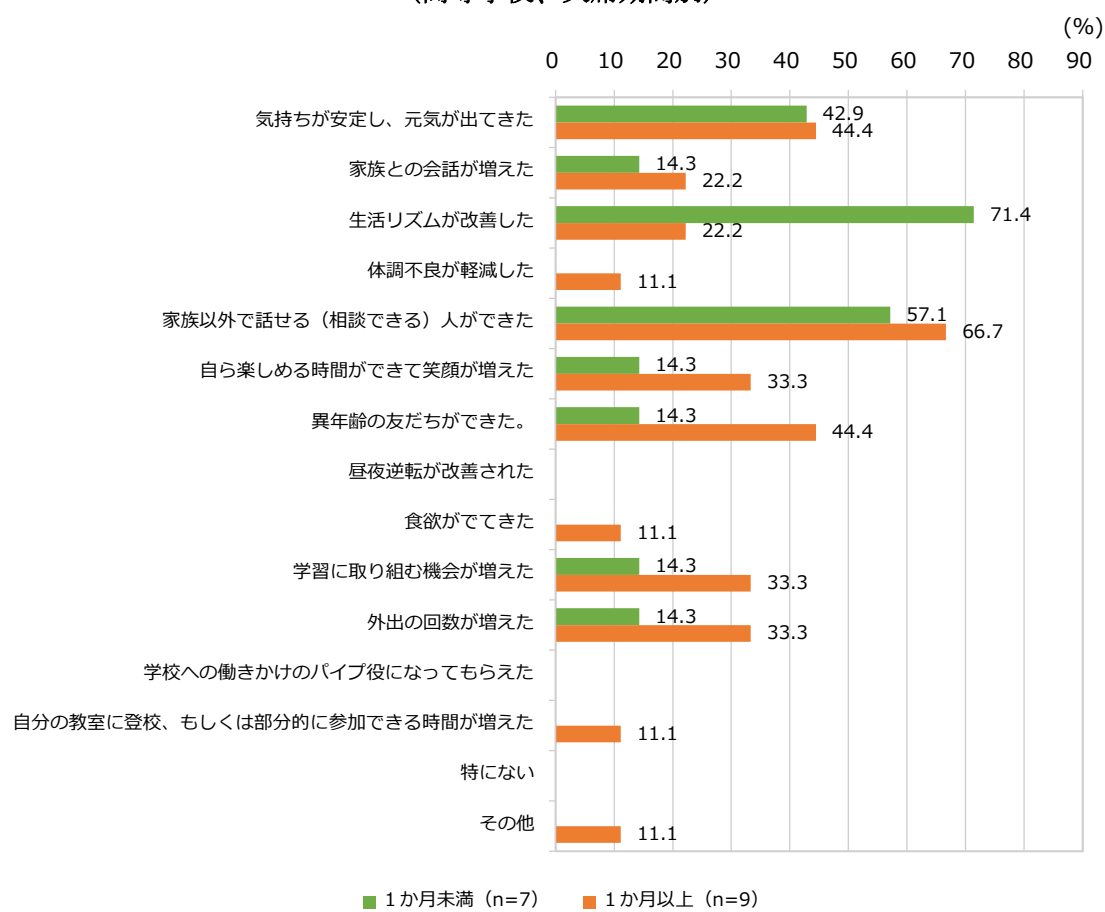
図表 3-207 利用してよかった理由

(高等学校、n=18)



図表 3-208 利用してよかった理由

(高等学校、欠席期間別)



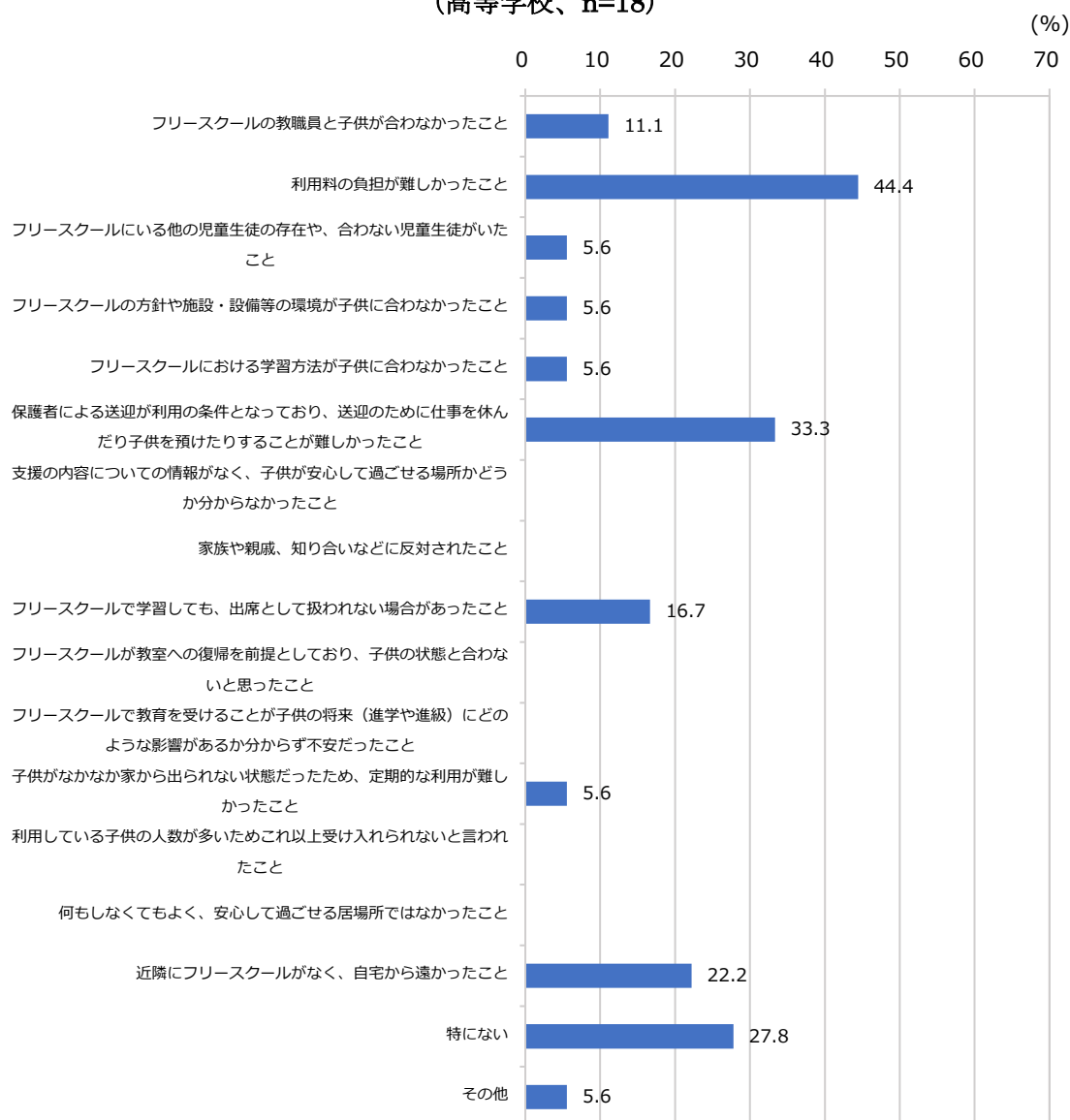
④利用した際に困ったこと

14-3 14で「利用した」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用した際に困ったことは何ですか。（複数回答）。

民間のフリースクールなどを利用した際に困ったことについてみると、高等学校では、「利用料の負担が難しかったこと」が44.4%と最も高い。次いで、「保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しいから（33.3%）」となっている。

図表 3-209 利用した際に困ったこと

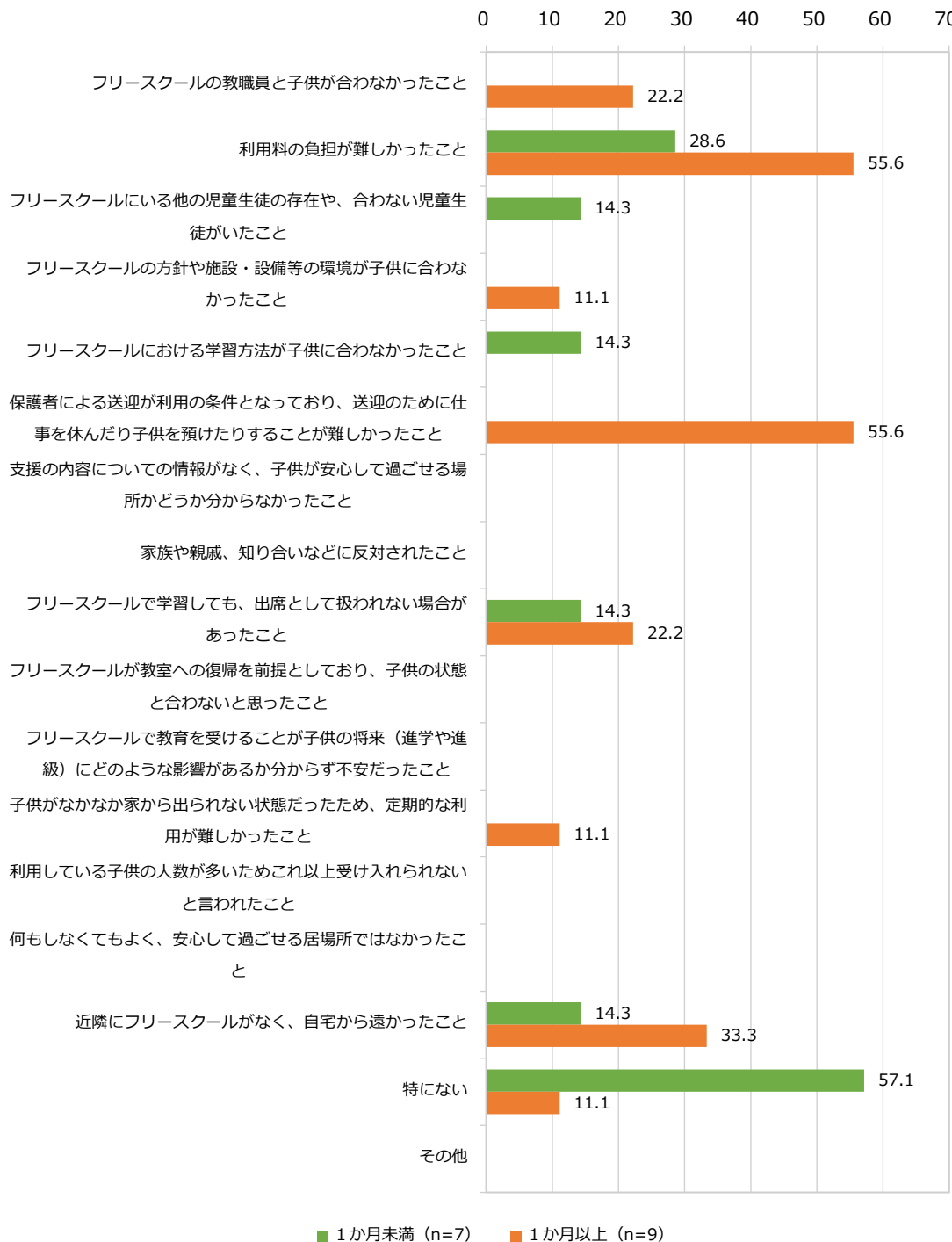
(高等学校、n=18)



図表 3-210 利用した際に困ったこと

(高等学校、欠席期間別)

(%)

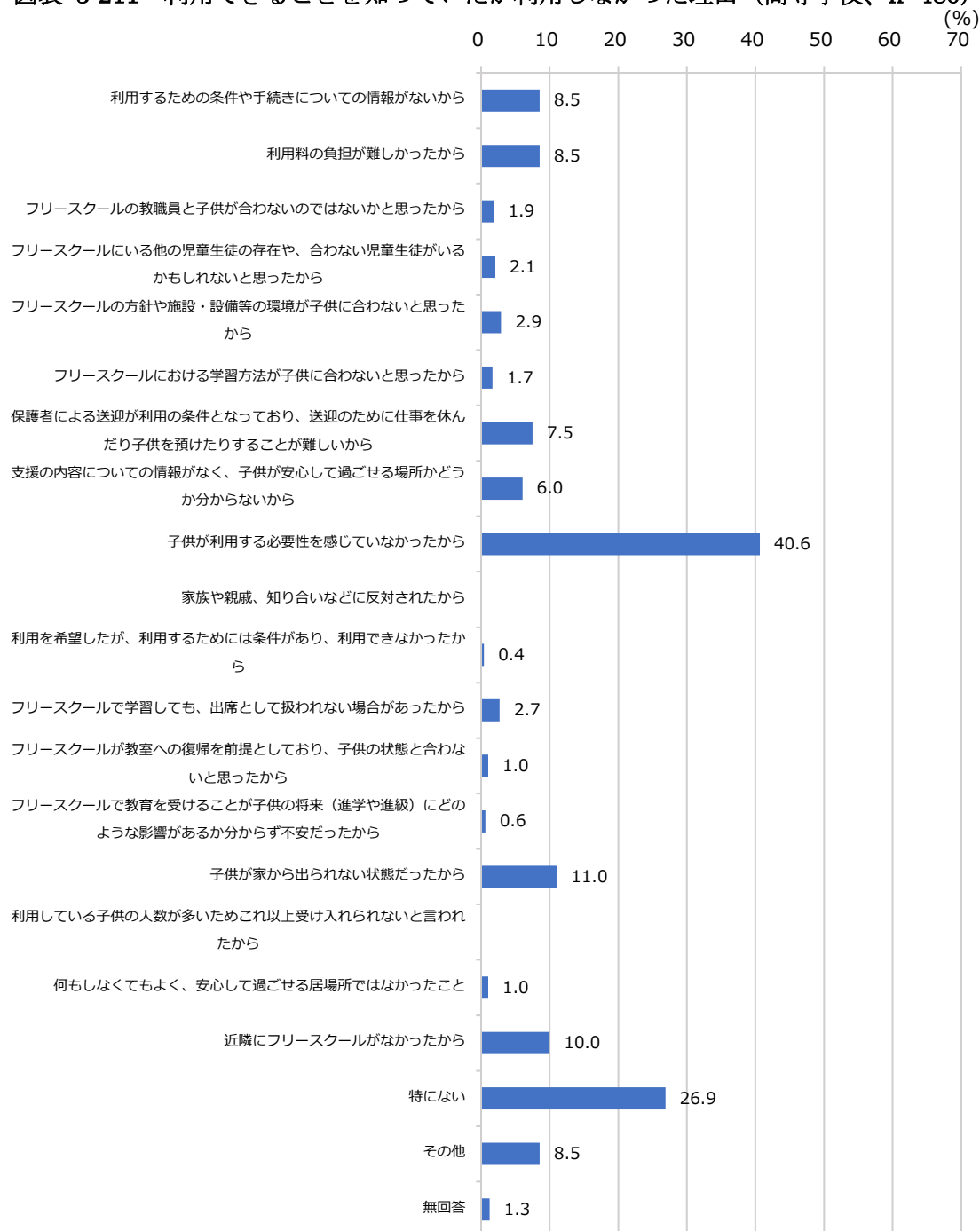


⑤利用できることを知っていたが利用しなかった理由

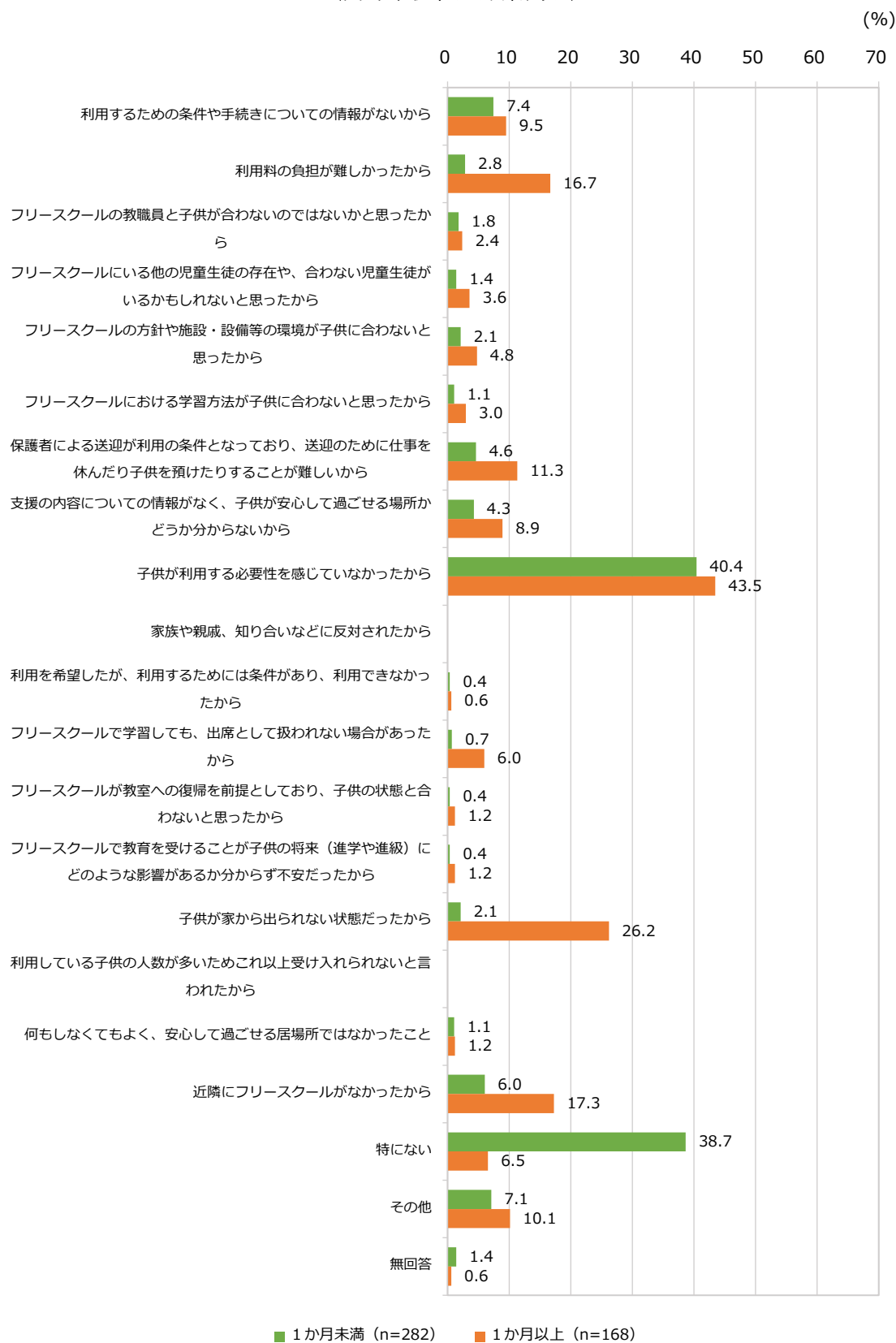
14-4 14で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きます。フリースクール等を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。(複数回答)。

民間のフリースクールなどを利用できることを知っていたが利用しなかった理由は、高等学校では「子供が利用する必要性を感じていなかったから」が40.6%と最も高い。

図表 3-211 利用できることを知っていたが利用しなかった理由 (高等学校、n=480)



図表 3-212 利用できることを知っていたが利用しなかった理由
(高等学校、欠席期間別)

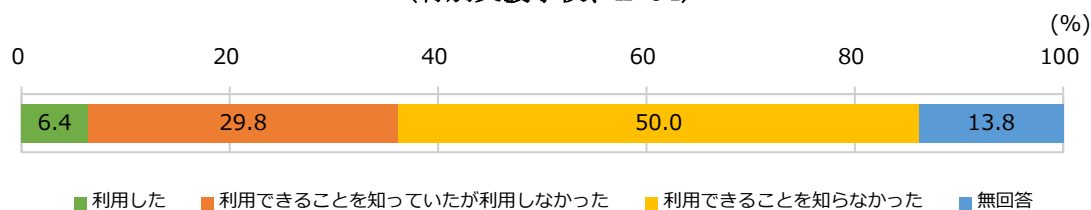


(4)特別支援学校

①利用状況

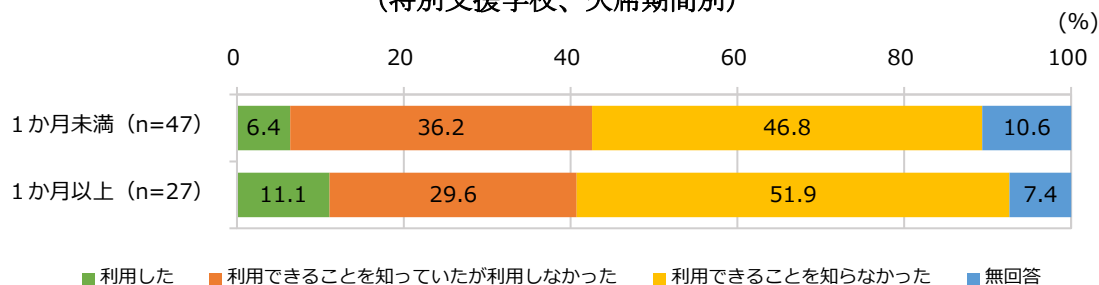
民間のフリースクールなどの利用についてみると、特別支援学校では、5割が「利用できることを知らなかった」と回答している。

図表 3-213 民間のフリースクールなどの利用
(特別支援学校、n=94)



欠席期間別にみると、「利用した」割合は、1か月以上では11.1%、1か月未満では6.4%にとどまっている。

図表 3-214 民間のフリースクールなどの利用
(特別支援学校、欠席期間別)



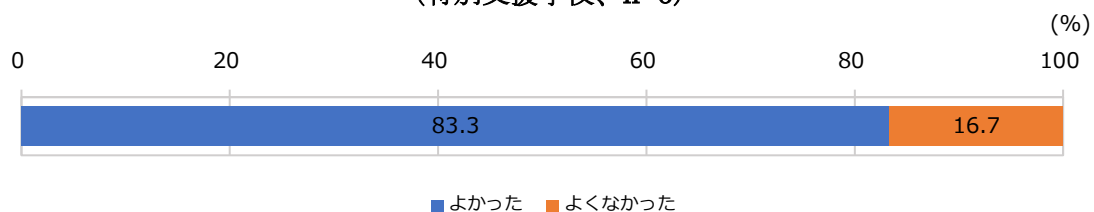
②利用した感想

14-1 14で「利用した」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用した感想を選んでください。

民間のフリースクールなどを利用した感想についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

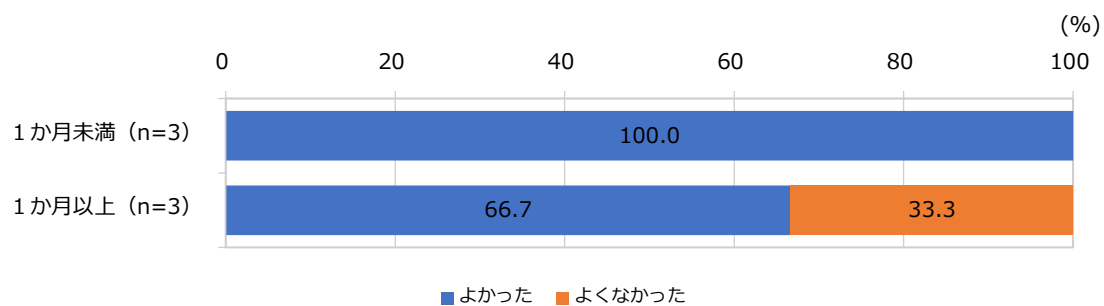
図表 3-215 利用した感想

(特別支援学校、n=6)



図表 3-216 利用した感想

(特別支援学校、欠席期間別)



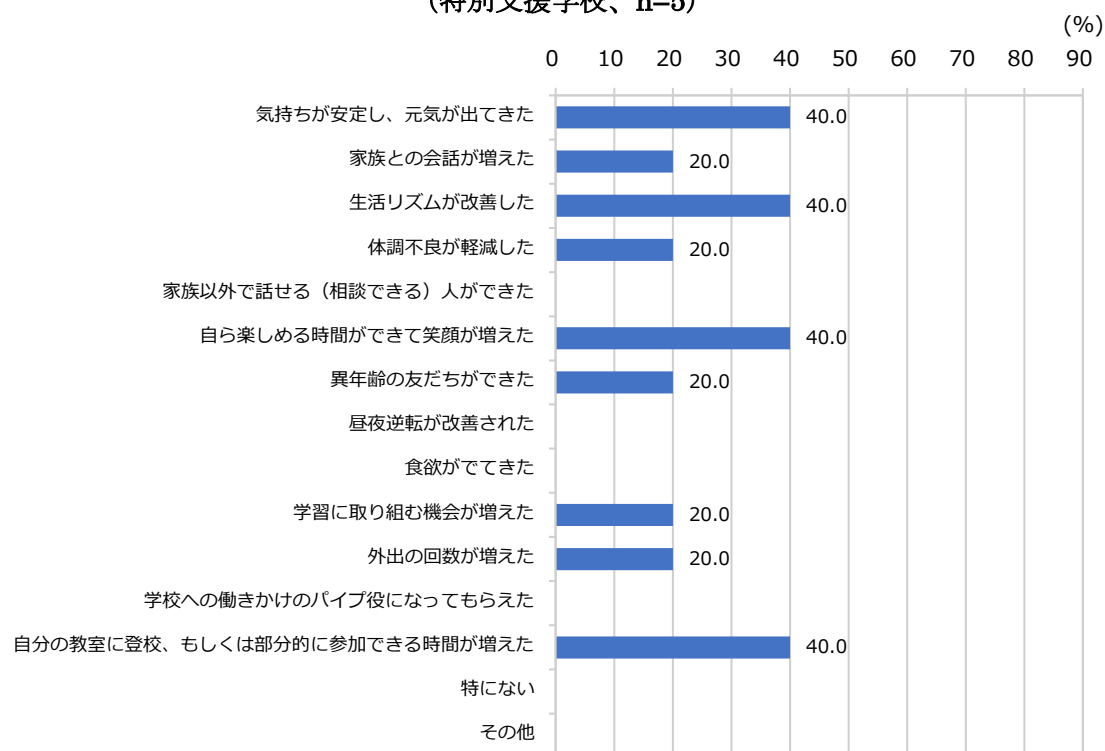
③利用してよかった理由

14-2 14-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用してよかった理由は何ですか。(複数回答)。

民間のフリースクールなどを利用してよかった理由についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

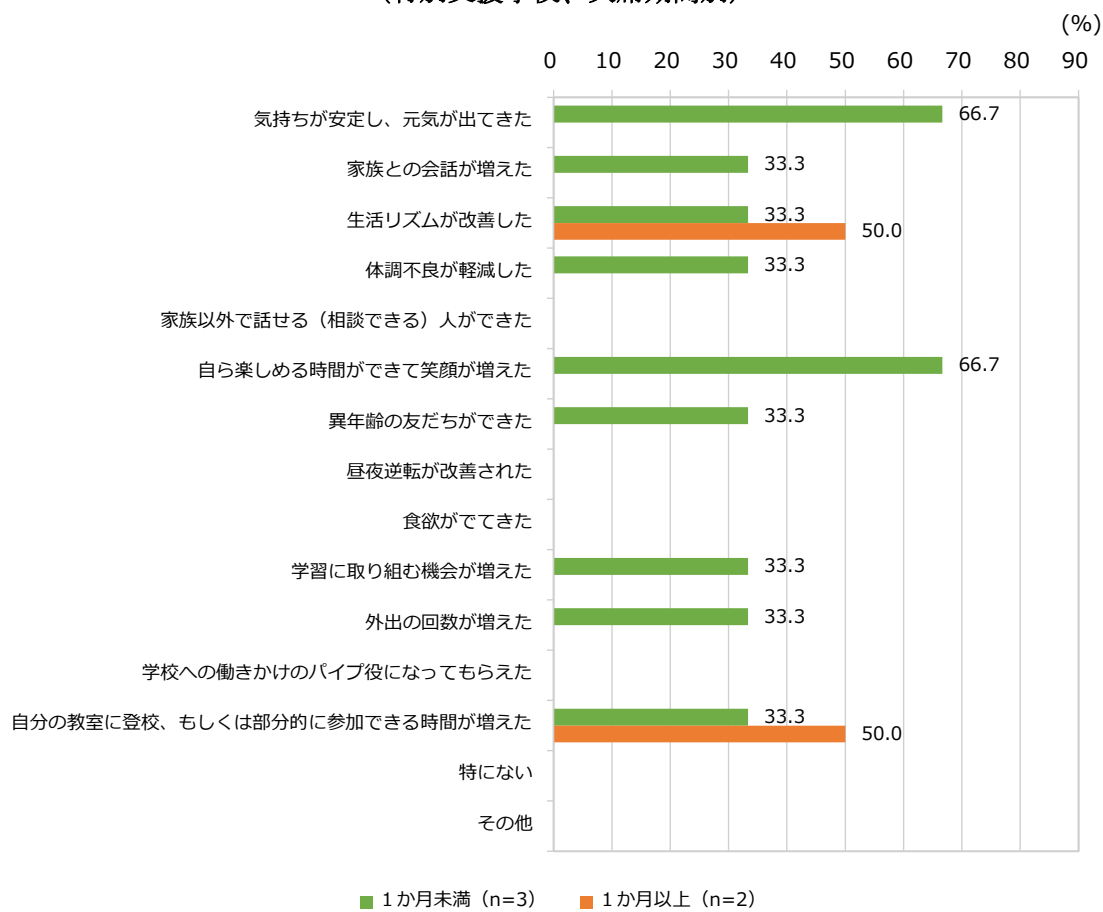
図表 3-217 利用してよかった理由

(特別支援学校、n=5)



図表 3-218 利用してよかった理由

(特別支援学校、欠席期間別)



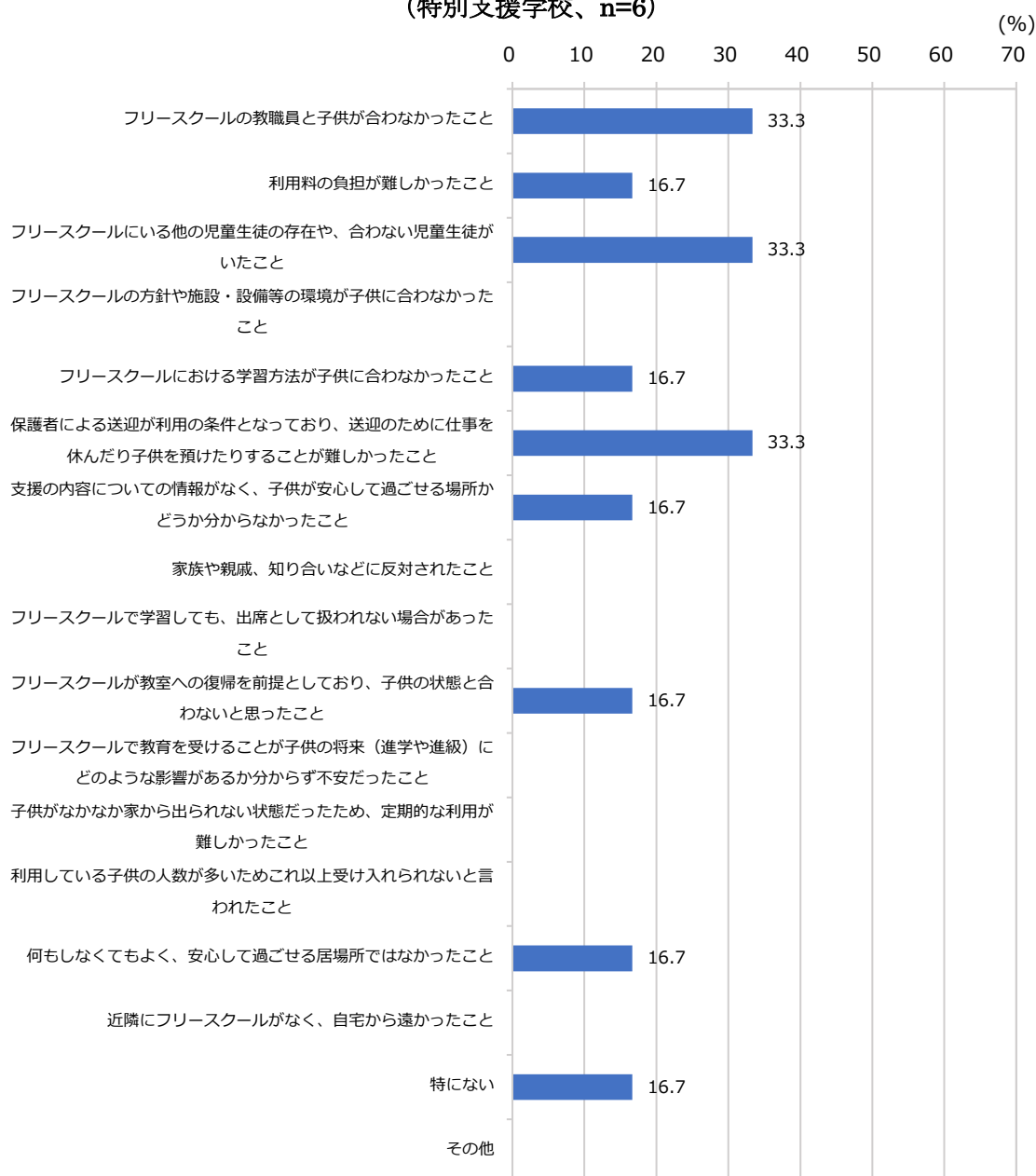
④利用した際に困ったこと

14-3 14で「利用した」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用した際に困ったことは何ですか。(複数回答)。

民間のフリースクールなどを利用した際に困ったことについてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

図表 3-219 利用した際に困ったこと

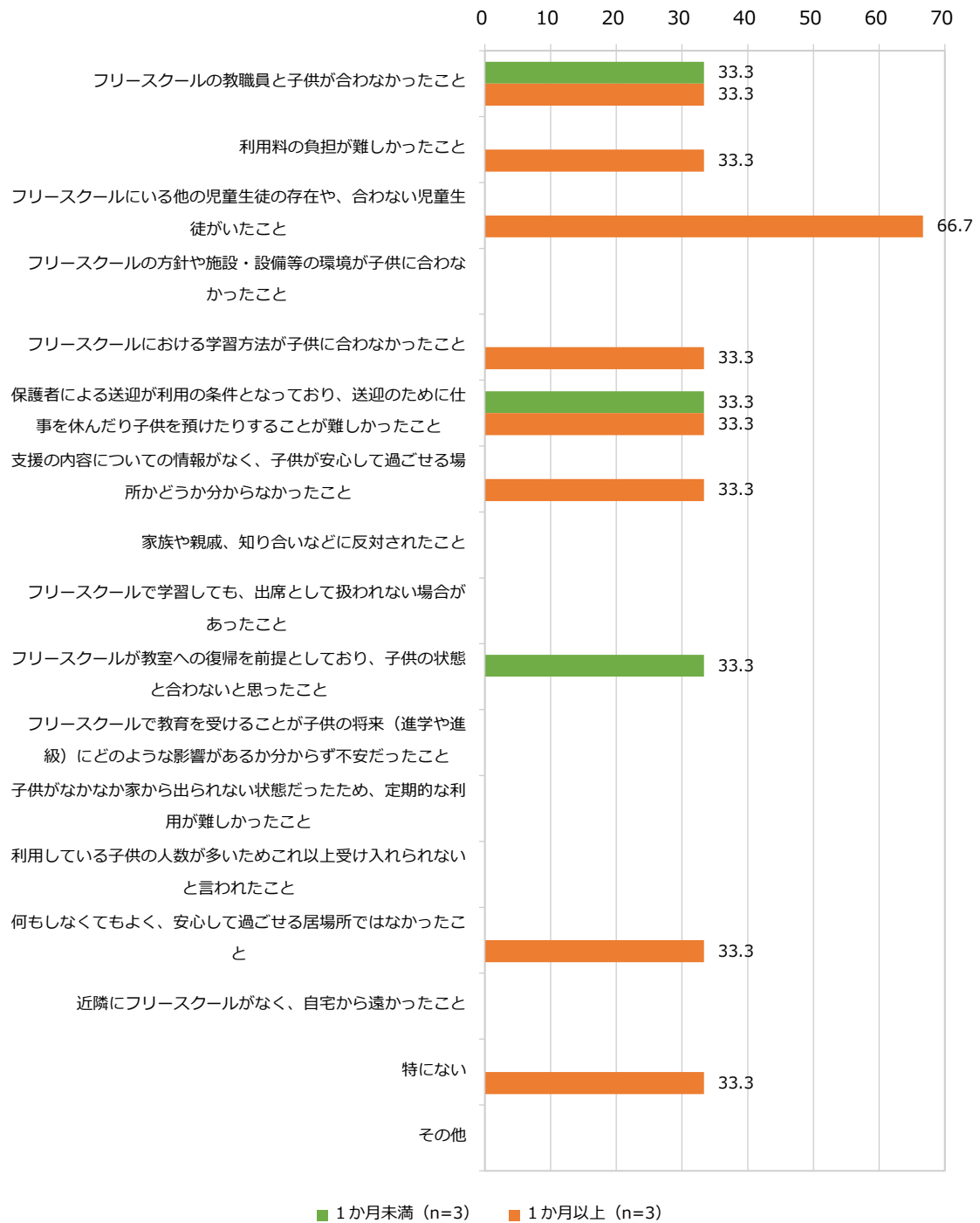
(特別支援学校、n=6)



図表 3-220 利用した際に困ったこと

(特別支援学校、欠席期間別)

(%)



⑤利用できることを知っていたが利用しなかった理由

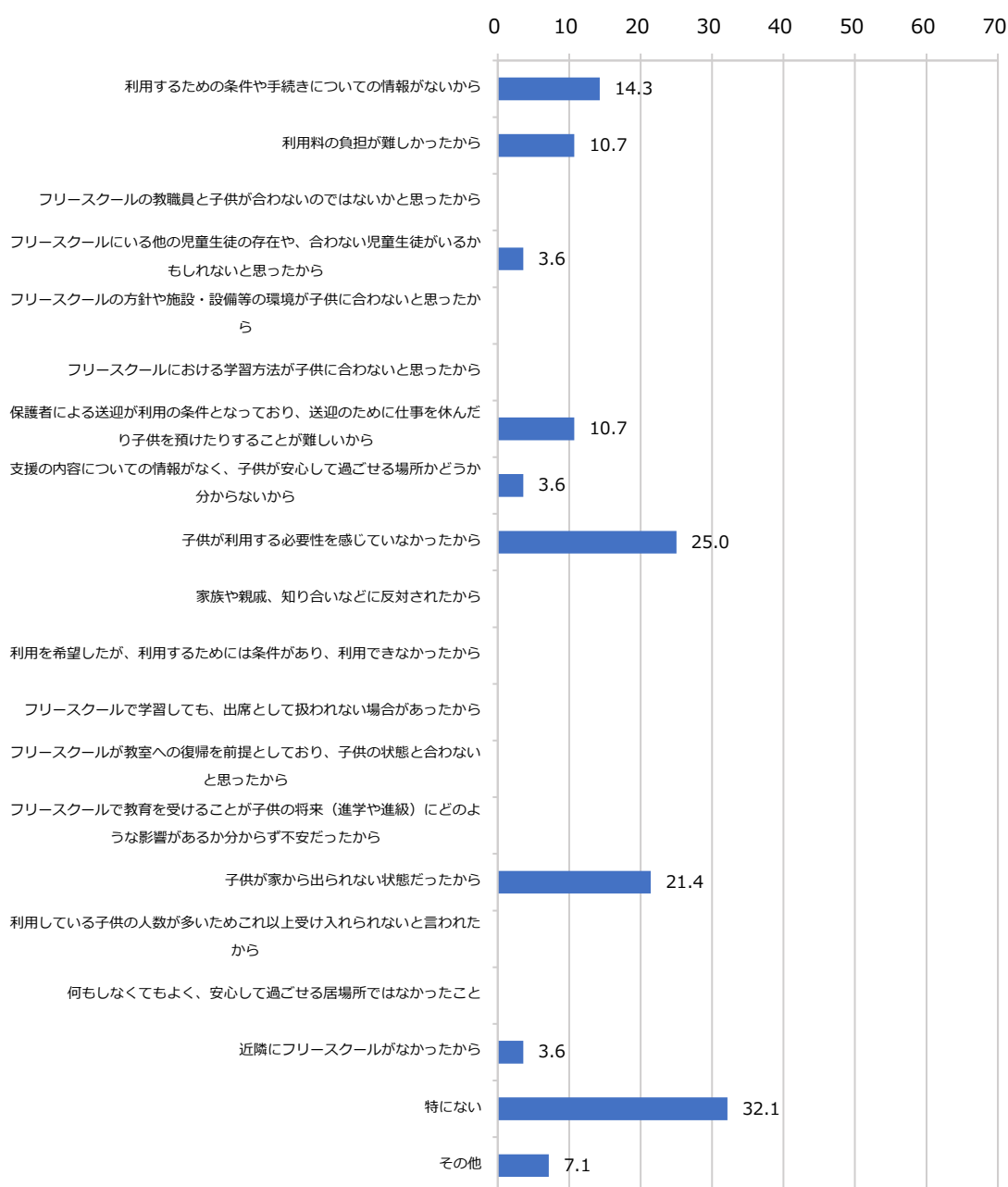
14-4 14で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

民間のフリースクールなどを利用できることを知っていたが利用しなかった理由は、特別支援学校では、「特にない」を除いて「子供が利用する必要性を感じていなかったから」が25.0%と最も高い。

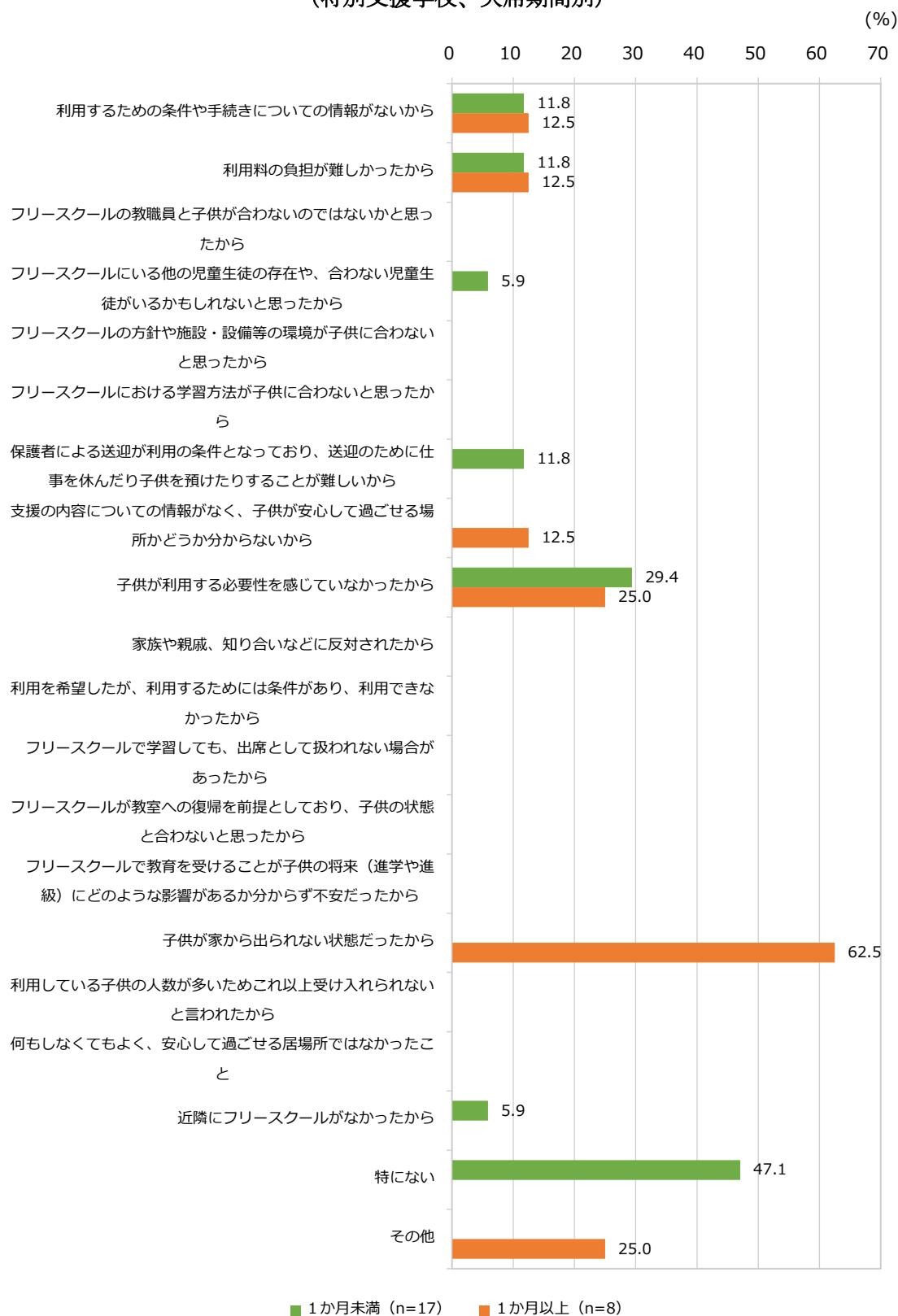
図表 3-221 利用できることを知っていたが利用しなかった理由

(特別支援学校、n=28)

(%)



図表 3-222 利用できることを知っていたが利用しなかった理由
(特別支援学校、欠席期間別)



3-4-4 子どものスクールカウンセラーへの相談の有無

15 お子さまはスクールカウンセラーへの相談をしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

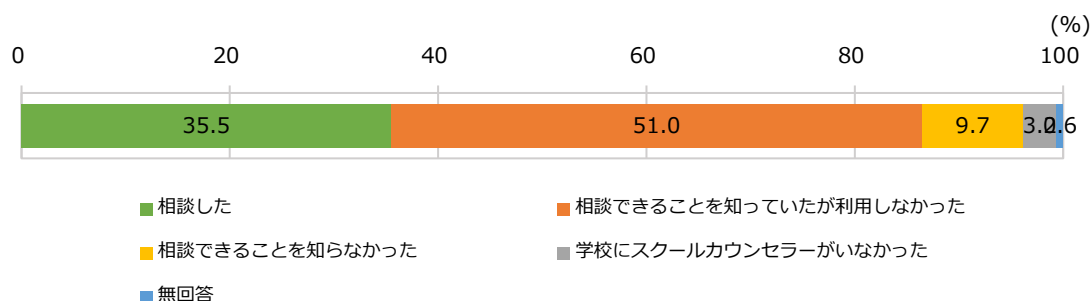
(1) 小学校

① 相談状況（子ども）

子どものスクールカウンセラーへの相談についてみると、小学校では、「相談できることを知っていたが利用しなかった」が5割を超え、「相談した（35.5%）」を上回る。

図表 3-223 スクールカウンセラーへの相談（子ども）

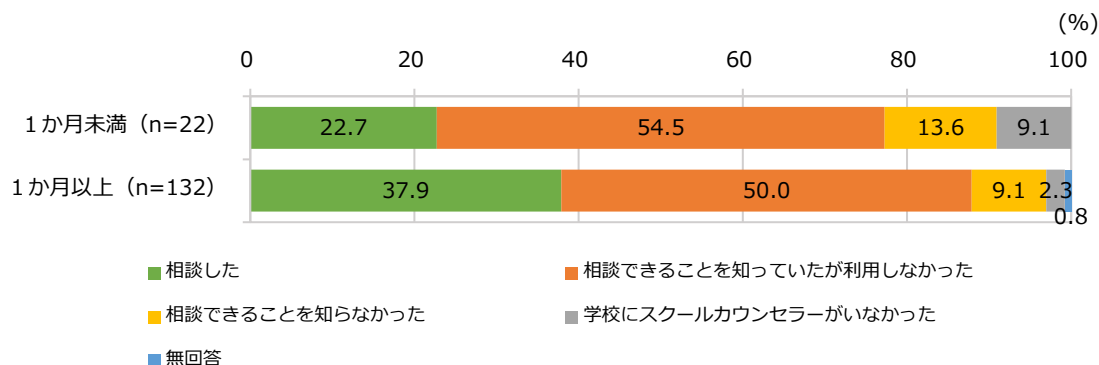
（小学校、n=155）



欠席期間別にみると、小学校では、1か月以上で37.9%が「相談した」のに対し、1か月未満は22.7%にとどまっている。

図表 3-224 スクールカウンセラーへの相談（子ども）

（小学校、欠席期間別）



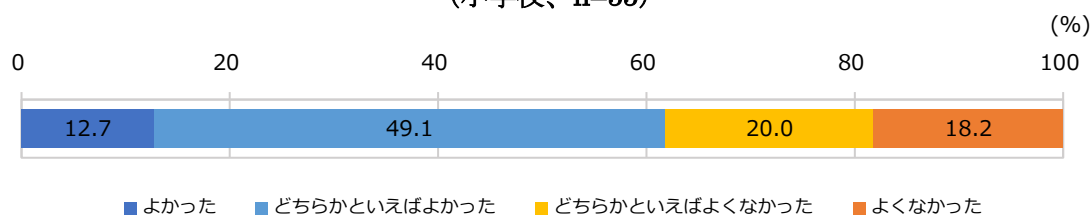
②相談した感想（子ども）

15-1 15で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

子どもがスクールカウンセラーに相談した感想についてみると、小学校では、約半数が「どちらかといえばよかった」と回答しており、「よかった」と合わせると6割を超える。

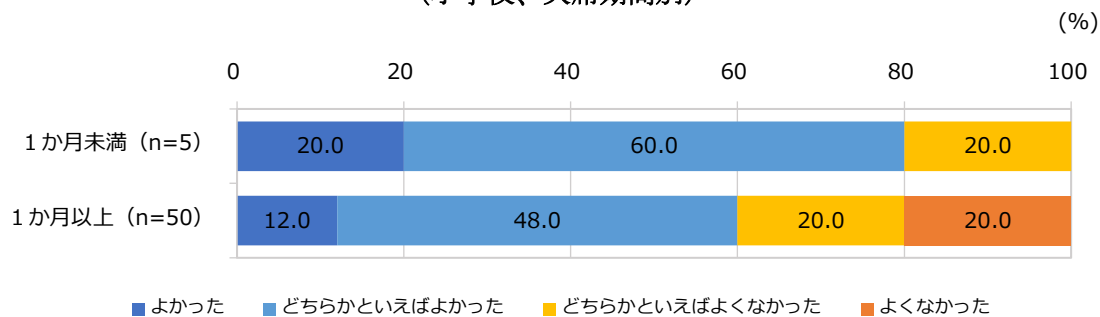
図表 3-225 相談した感想（子ども）

（小学校、n=55）



図表 3-226 相談した感想（子ども）

（小学校、欠席期間別）



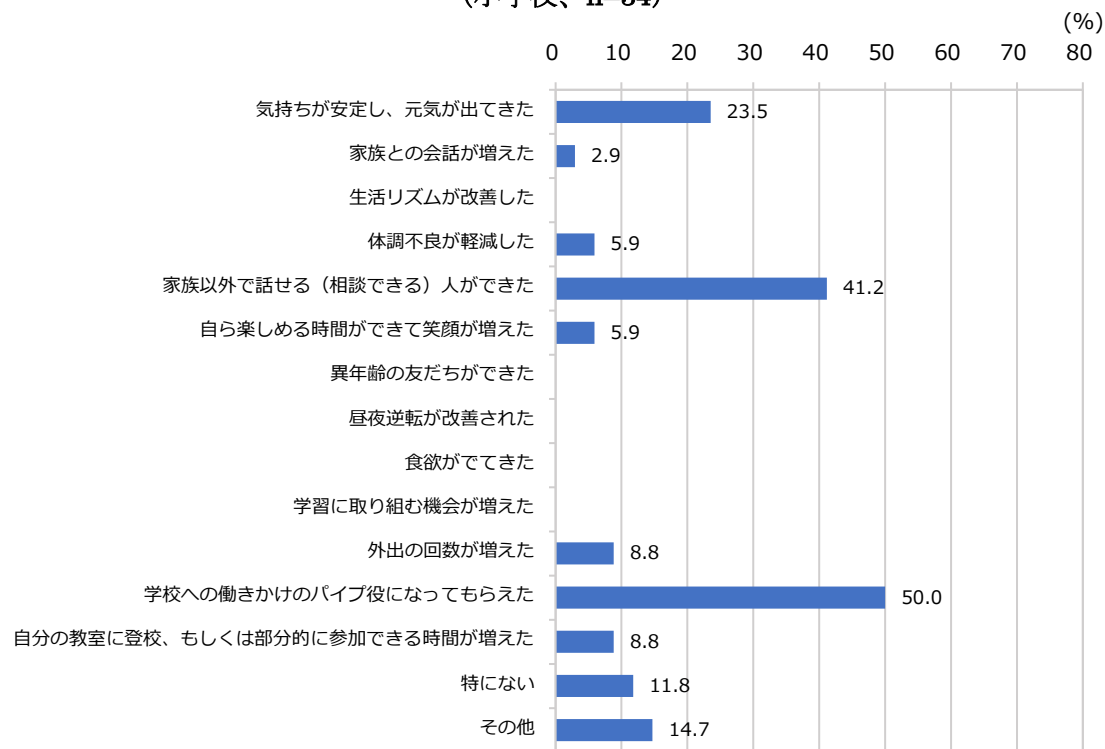
③相談してよかった理由（子ども）

15-2 15-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談してよかった理由についてみると、小学校では、「学校への働きかけのパイプ役になってもらえた」が 50.0%と最も高い。次いで「家族以外で話せる人ができた」となっている。

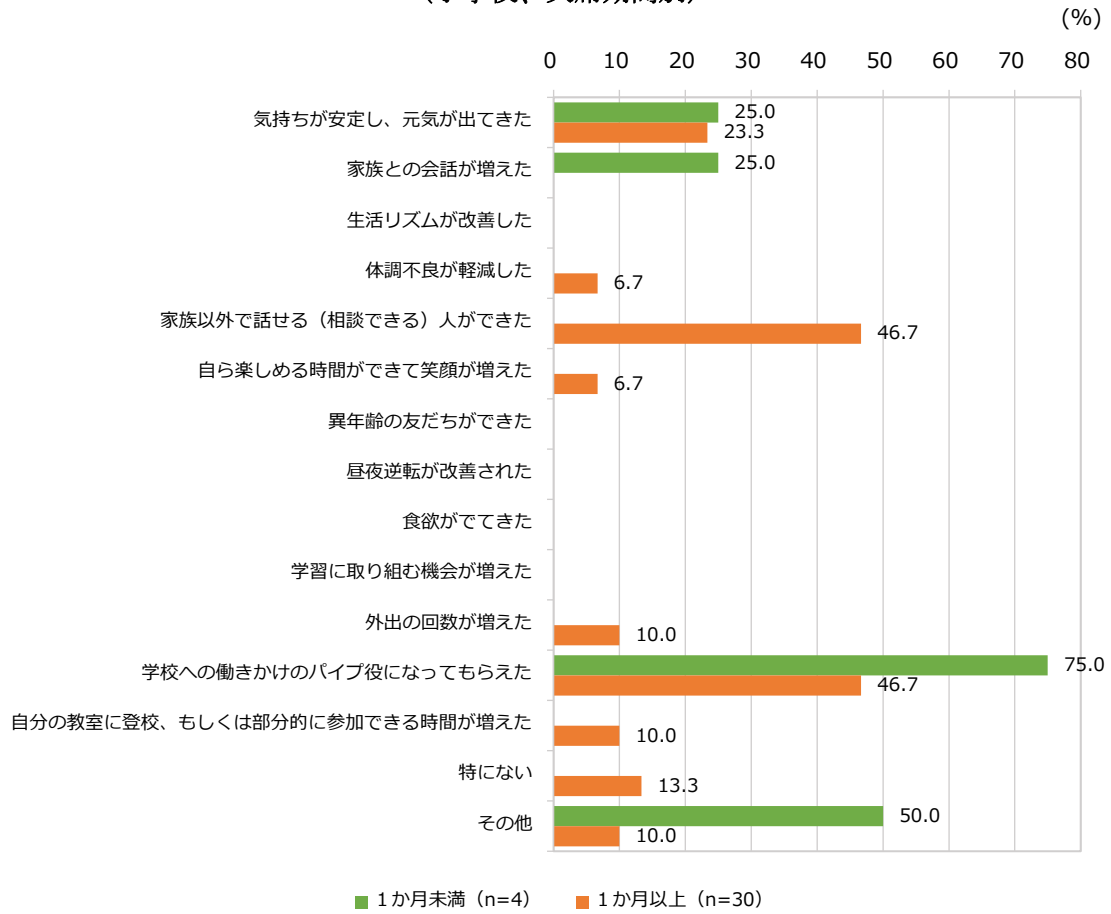
図表 3-227 相談してよかった理由（子ども）

（小学校、n=34）



図表 3-228 相談してよかった理由（子ども）

（小学校、欠席期間別）



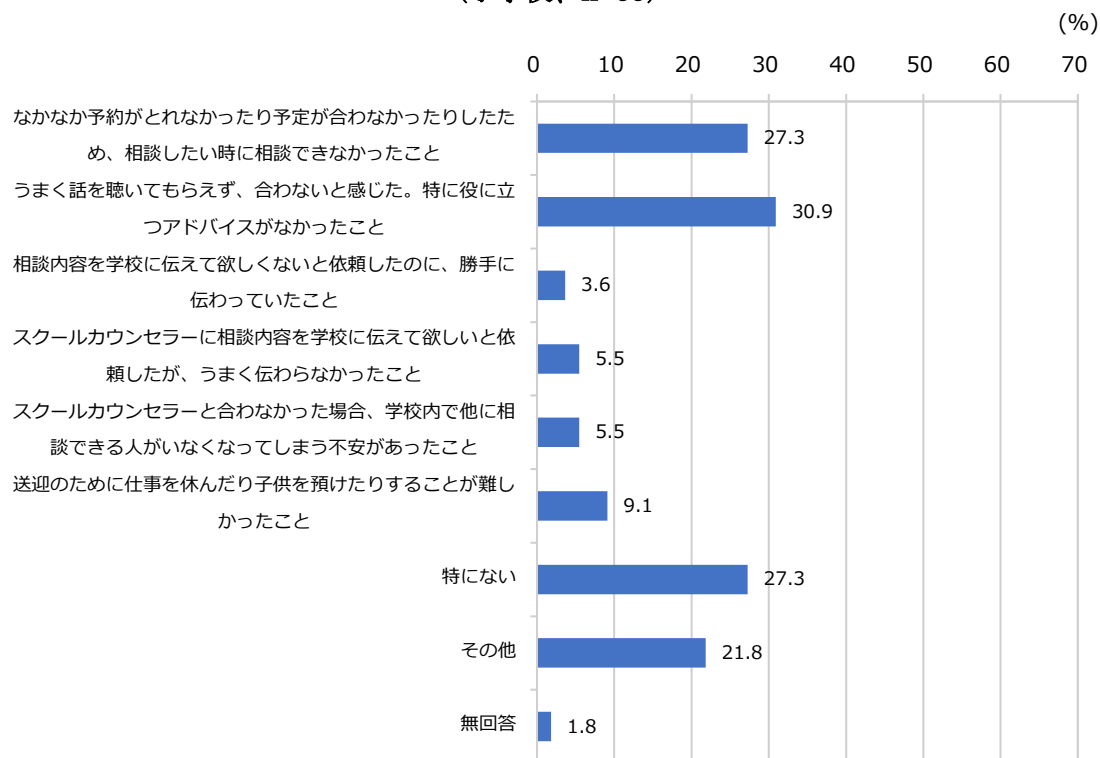
④相談した際に困ったこと（子ども）

15-3 15で「相談した」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談した際に困ったこととは何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談した際に困ったことについてみると、小学校では、「うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと」が30.9%と最も高い。次いで「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」となっている。

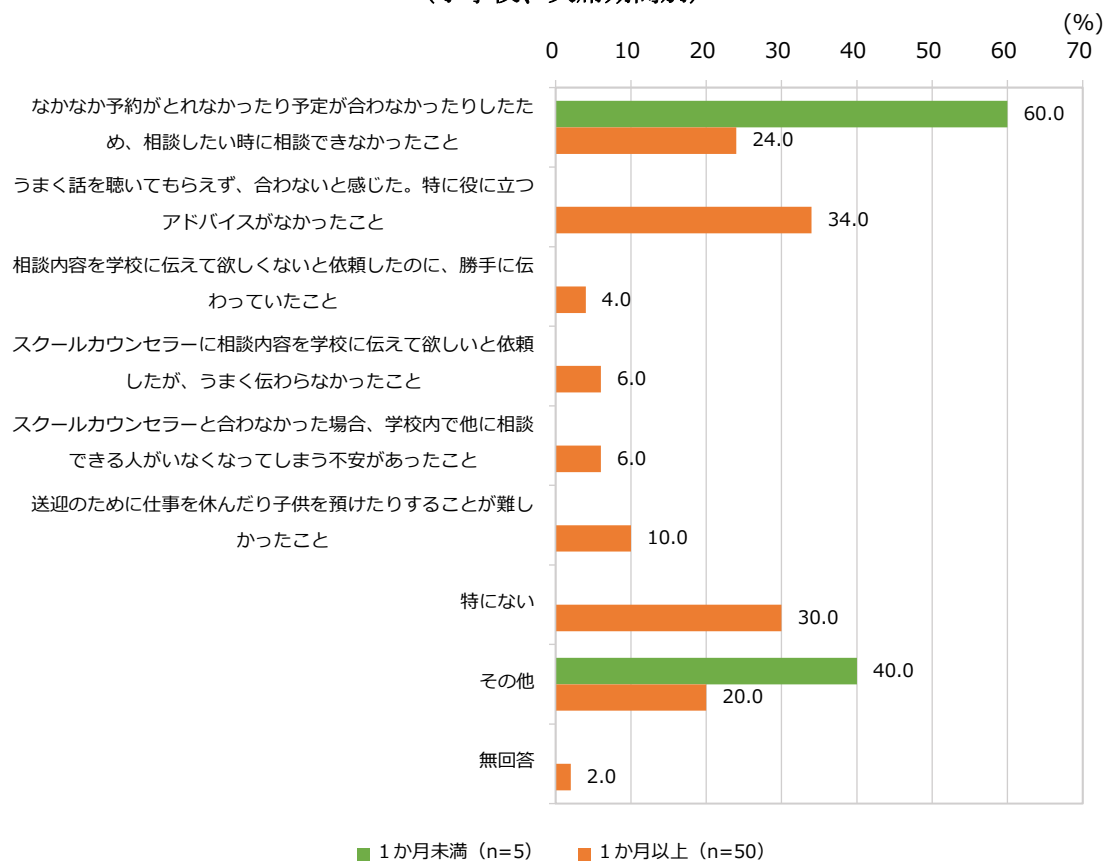
図表 3-229 相談した際に困ったこと（子ども）

（小学校、n=55）



図表 3-230 相談した際に困ったこと（子ども）

（小学校、欠席期間別）



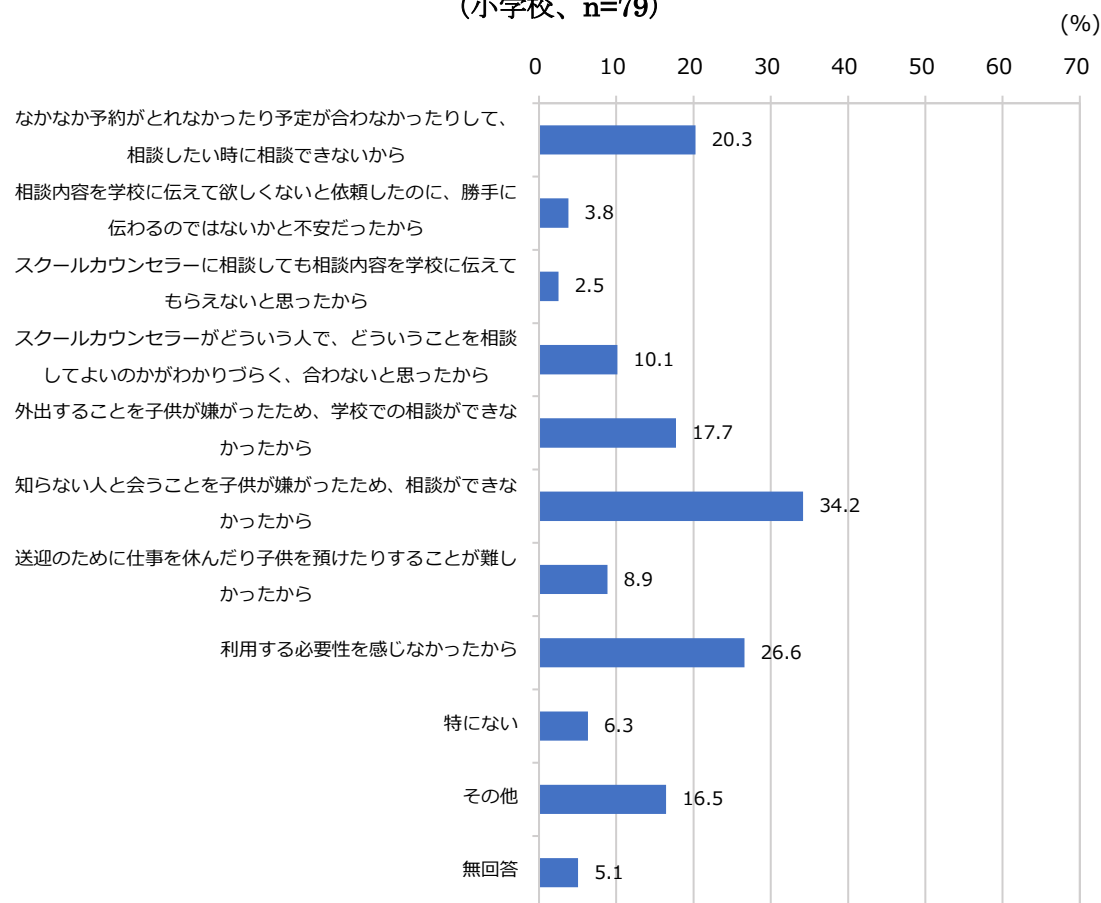
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

15-4 15で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、小学校では、「知らない人と会うことを子供が嫌がったため、相談ができなかったから」が34.2%と最も高い。

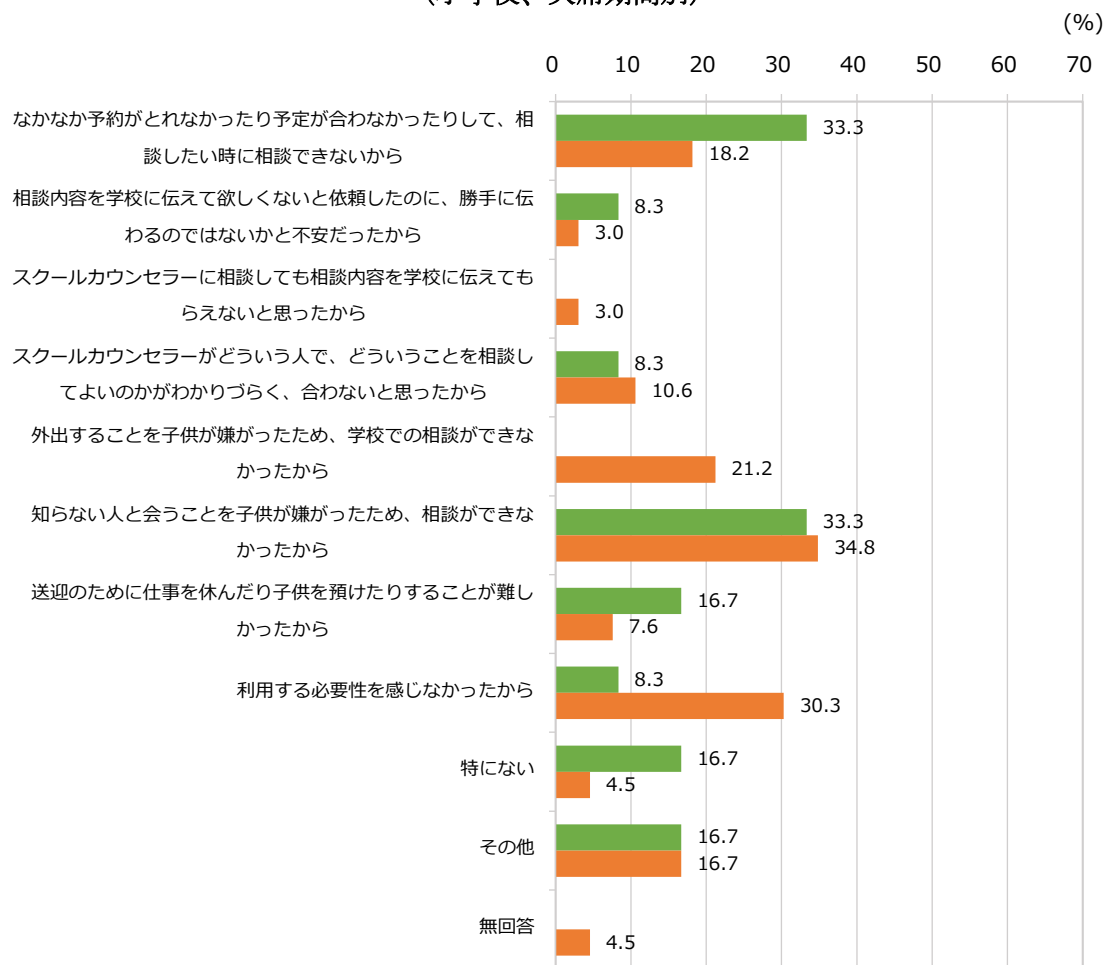
図表 3-231 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（小学校、n=79）



図表 3-232 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（小学校、欠席期間別）



■ 1か月未満 (n=12) ■ 1か月以上 (n=66)

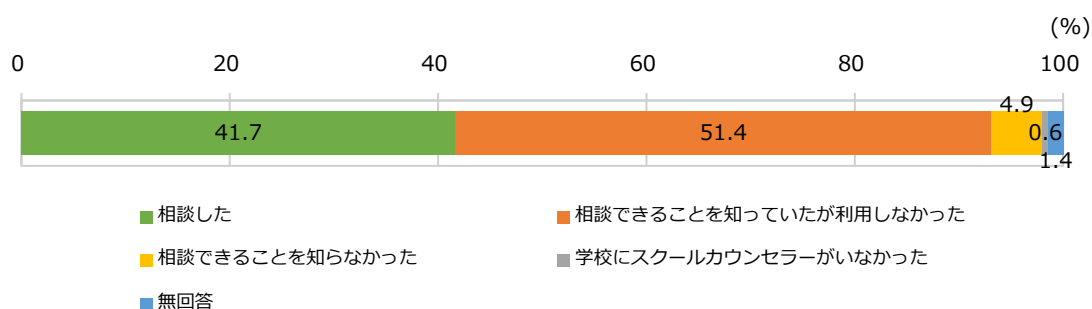
(2) 中学校

① 相談状況（子ども）

子どものスクールカウンセラーへの相談についてみると、中学校では、「相談できることを知っていたが利用しなかった」が5割を超え、「相談した（41.7%）」を上回る。

図表 3-233 スクールカウンセラーへの相談（子ども）

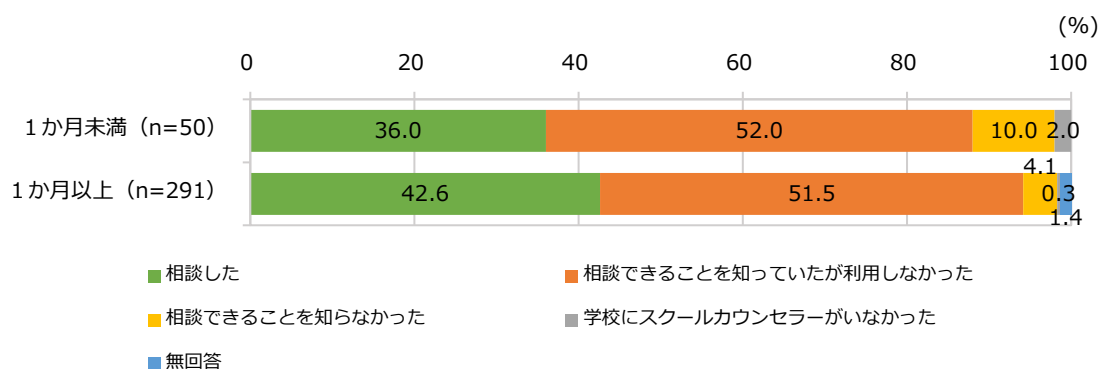
（中学校、n=348）



欠席期間別にみると、中学校では、「相談できることを知らなかった」割合が、1か月未満（10.0%）は1か月以上（4.1%）より高い。

図表 3-234 スクールカウンセラーへの相談（子ども）

（中学校、欠席期間別）



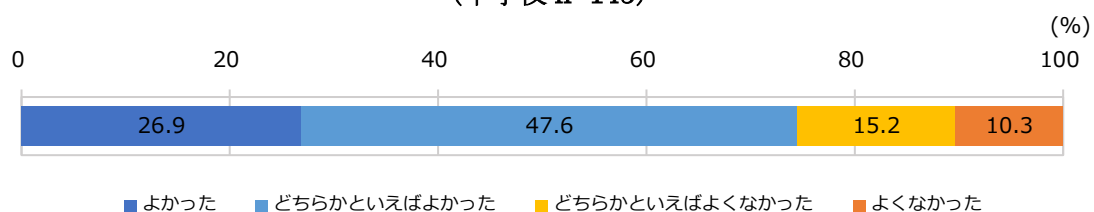
②相談した感想（子ども）

15-1 15で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

子どもがスクールカウンセラーに相談した感想についてみると、中学校では、約半数が「どちらかといえばよかった」と回答しており、「よかった」と合わせると7割を超える。

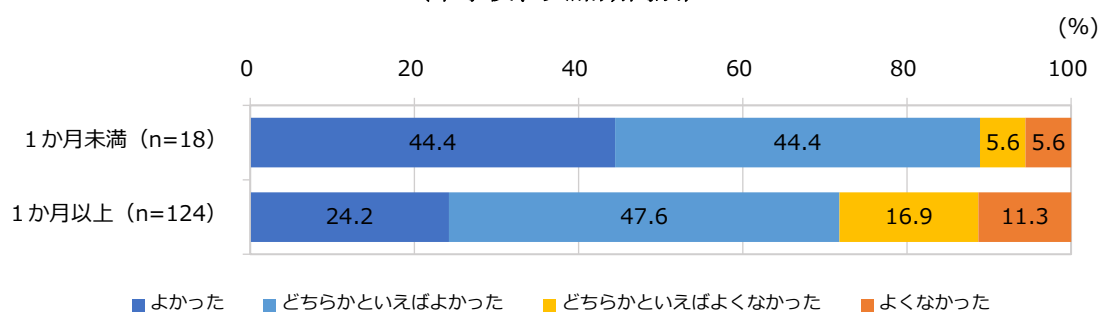
図表 3-235 相談した感想（子ども）

（中学校 n=145）



図表 3-236 相談した感想（子ども）

（中学校、欠席期間別）



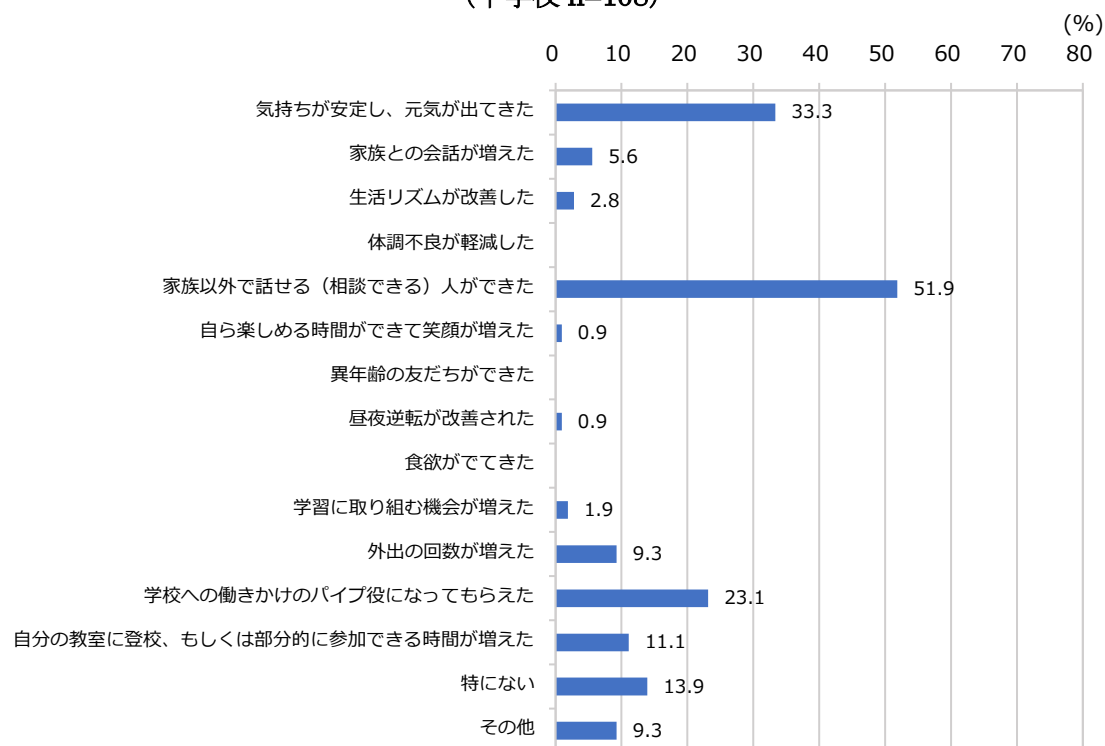
③相談してよかった理由（子ども）

15-2 15-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談してよかった理由についてみると、中学校では、「家族以外で話せる人ができた」が51.9%と最も高い。次いで「気持ちが安定し、元気が出てきた」となっている。

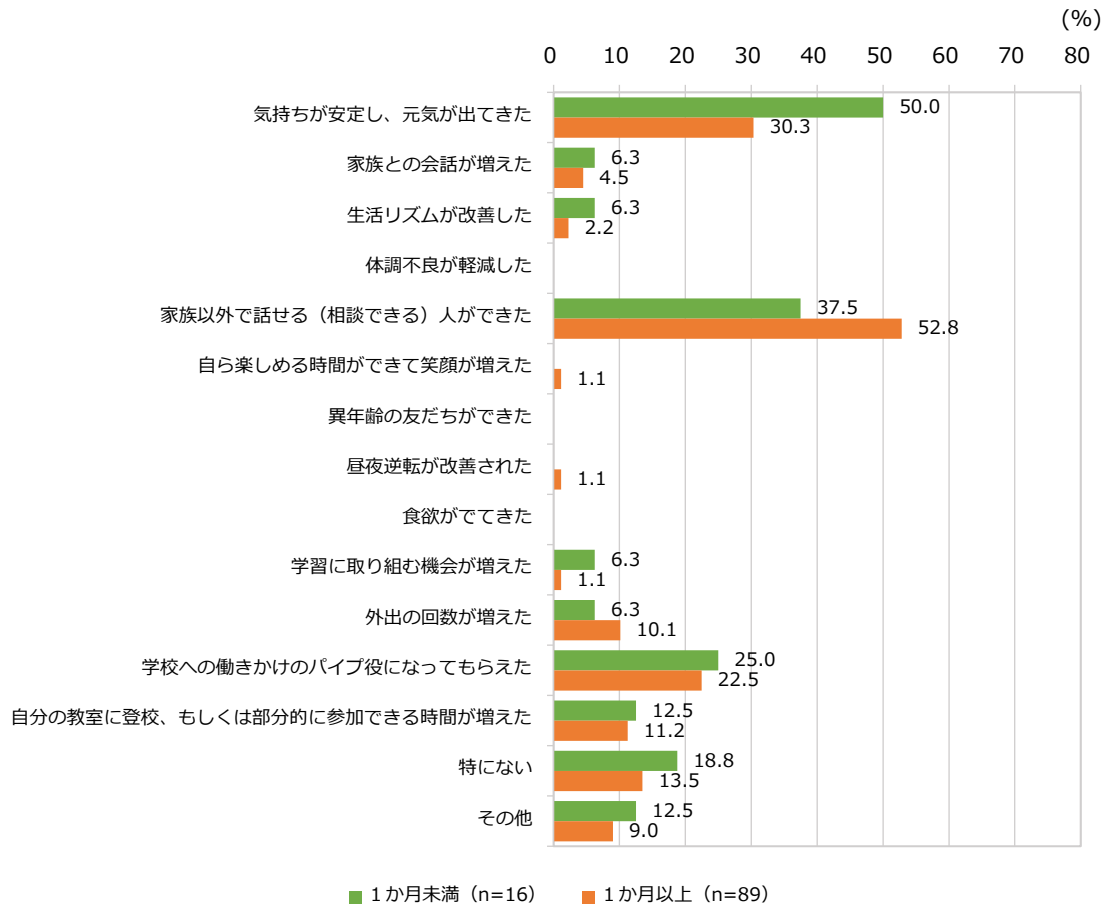
図表 3-237 相談してよかった理由（子ども）

（中学校 n=108）



図表 3-238 相談してよかった理由（子ども）

（中学校、欠席期間別）



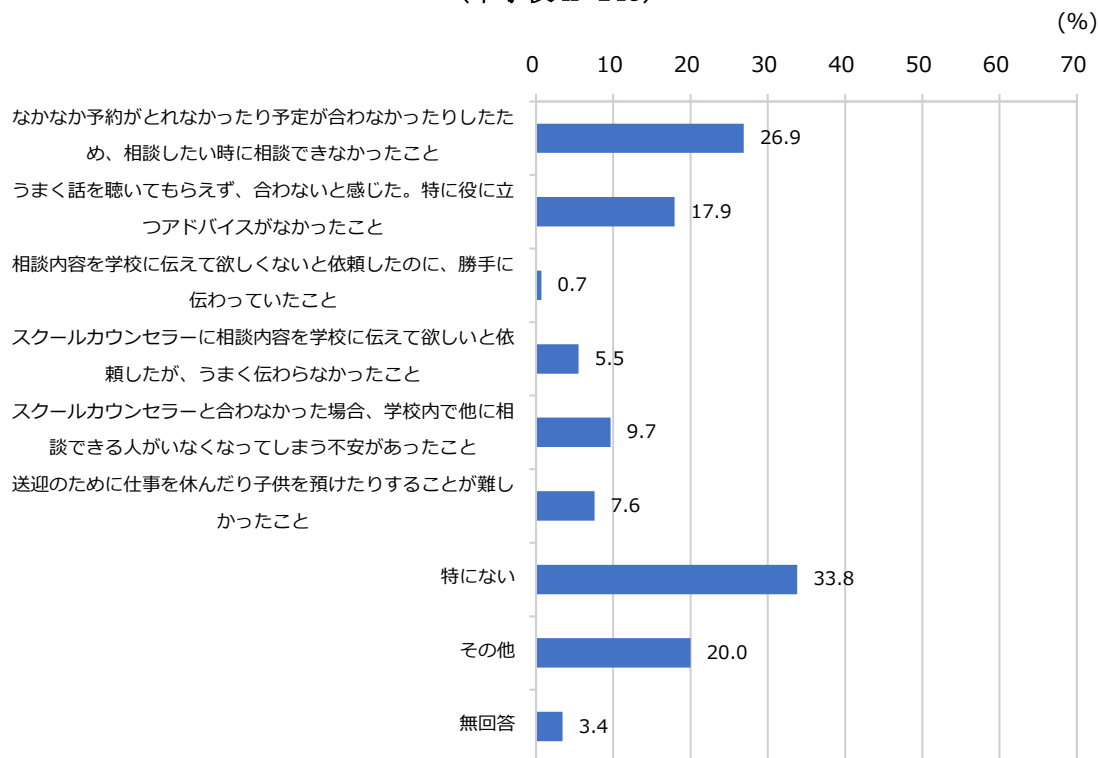
④相談した際に困ったこと（子ども）

15-3 15で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した際に困ったこととは何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談した際に困ったことについてみると、中学校では、「特にない」、「その他」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」が26.9%と最も高い。次いで「うまく話を聞いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと（17.9%）」となっている。

図表 3-239 相談した際に困ったこと（子ども）

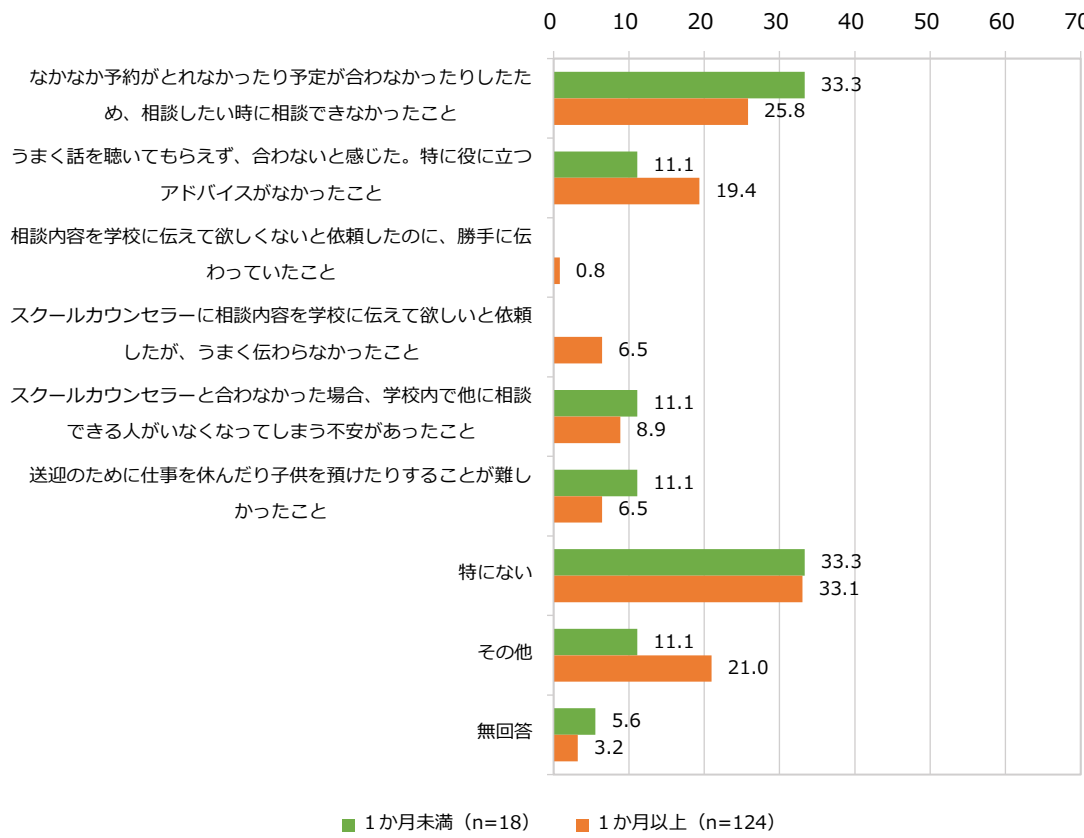
（中学校 n=145）



図表 3-240 相談した際に困ったこと（子ども）

（中学校、欠席期間別）

(%)



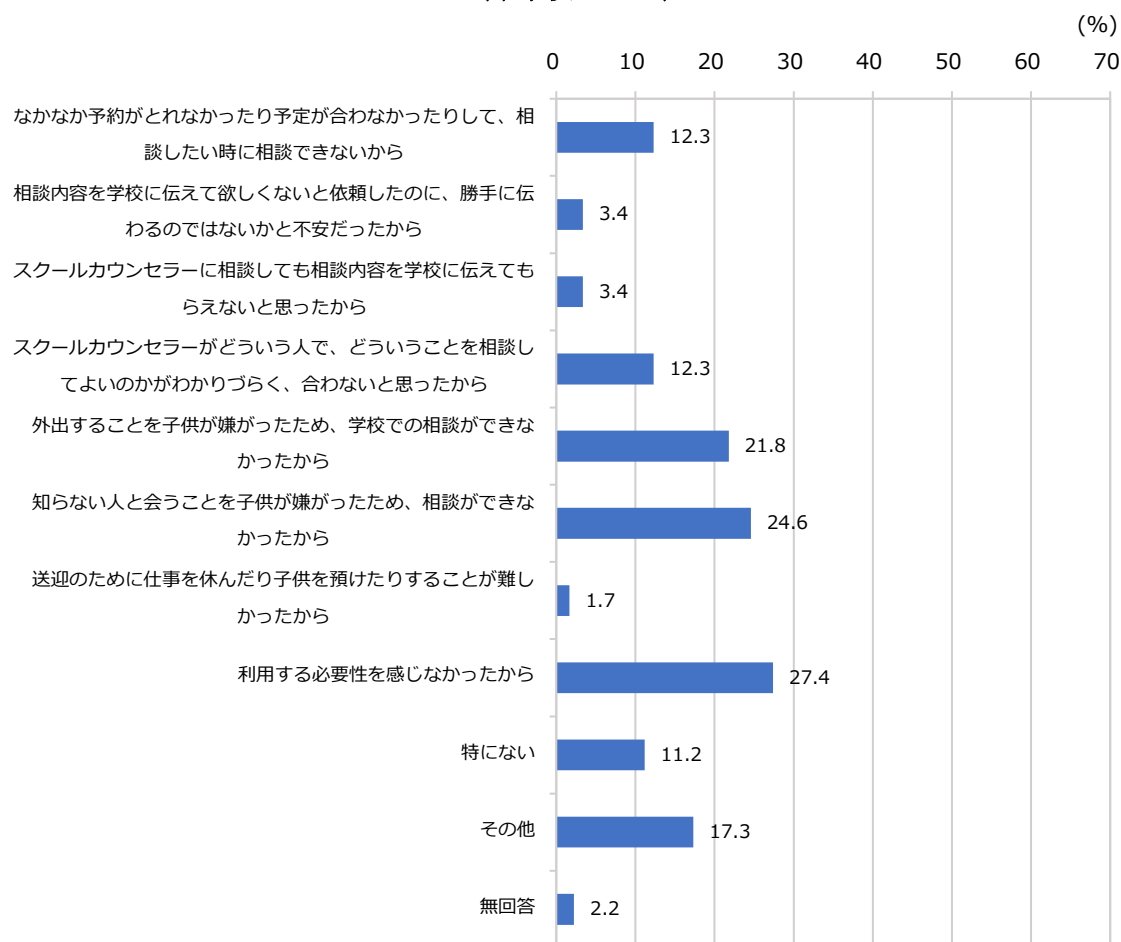
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

15-4 15で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、中学校では、「利用する必要性を感じなかったから」が27.4%と最も高い。次いで「知らない人と会うことを子供が嫌がったため、相談ができなかったから」、「外出することを子供が嫌がったため、学校での相談ができなかったから」となっている。

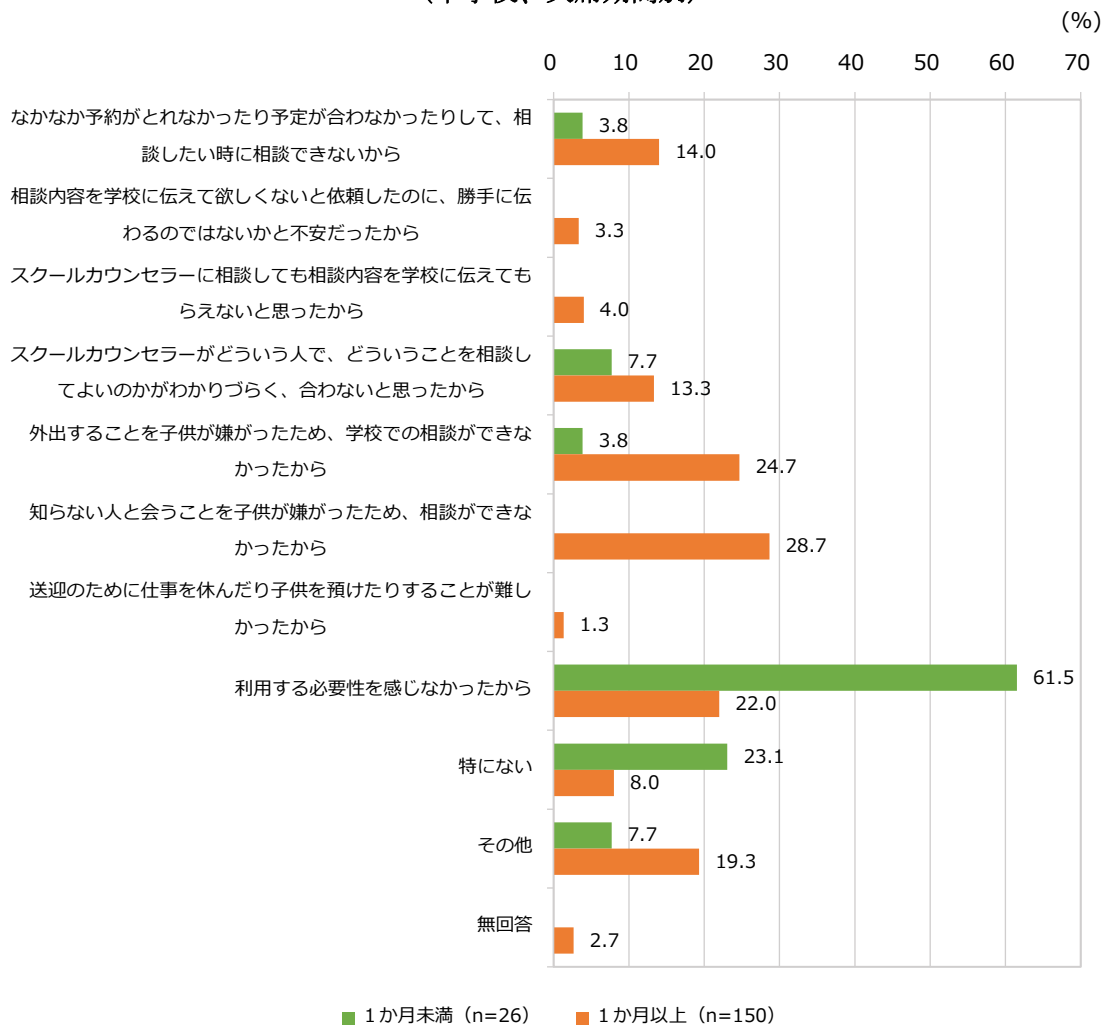
図表 3-241 利用できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（中学校 n=179）



図表 3-242 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（中学校、欠席期間別）

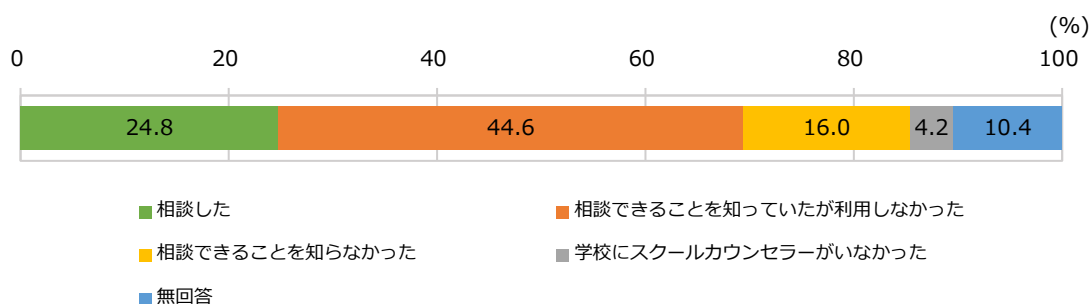


(3) 高等学校

① 相談状況（子ども）

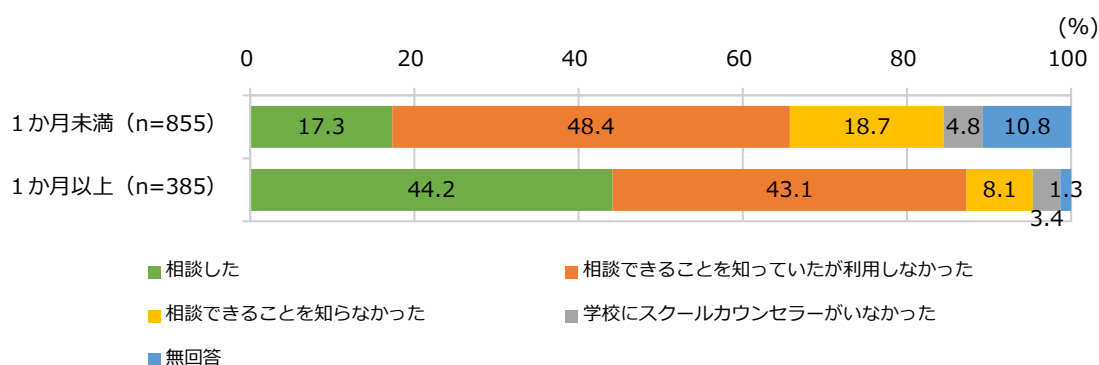
子どものスクールカウンセラーへの相談についてみると、高等学校では、「相談できることを知っていたが利用しなかった」が44.6%と最も高い。

図表 3-243 スクールカウンセラーへの相談（子ども）
（高等学校、n=1,369）



欠席期間別にみると、高等学校では、「相談した」割合が、1か月以上で44.2%と、1か月未満（17.3%）との差が大きい。

図表 3-244 スクールカウンセラーへの相談（子ども）
（高等学校、n=1,369）



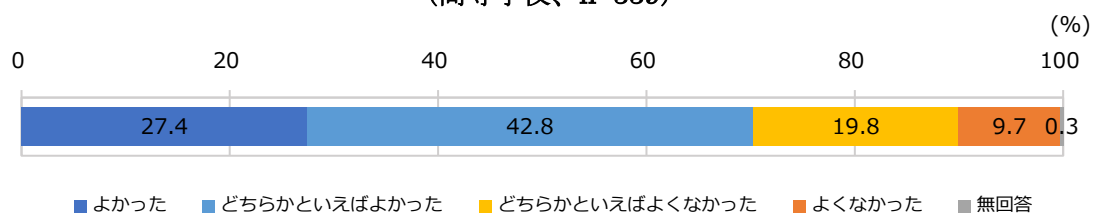
②相談した感想（子ども）

15-1 15で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

子どもがスクールカウンセラーに相談した感想についてみると、高等学校では、42.8%が「どちらかといえばよかった」と回答しており、「よかった」と合わせると7割を超える。

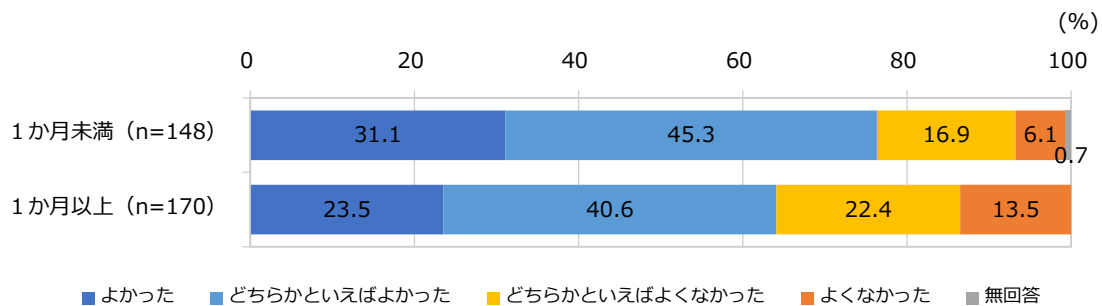
図表 3-245 相談した感想（子ども）

（高等学校、n=339）



図表 3-246 相談した感想（子ども）

（高等学校、欠席期間別）



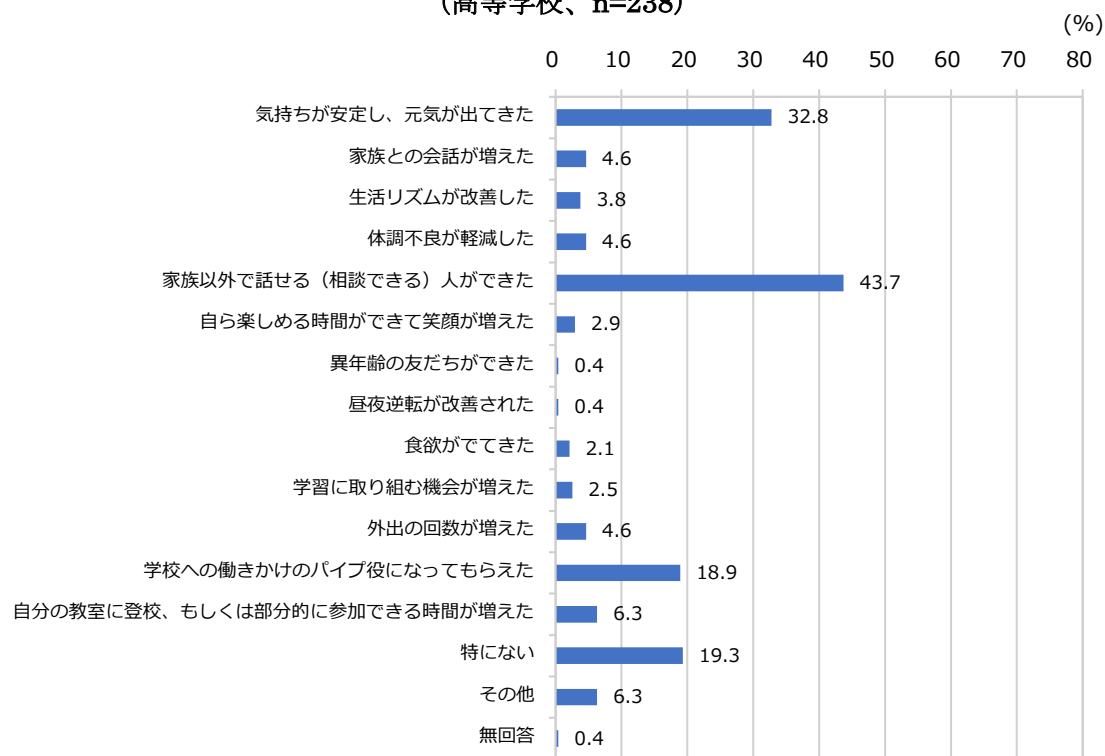
③相談してよかった理由（子ども）

15-2 15-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談してよかった理由についてみると、高等学校では、「家族以外で話せる人ができた」が43.7%と最も高い。次いで「気持ちが安定し、元気が出てきた」となっている。

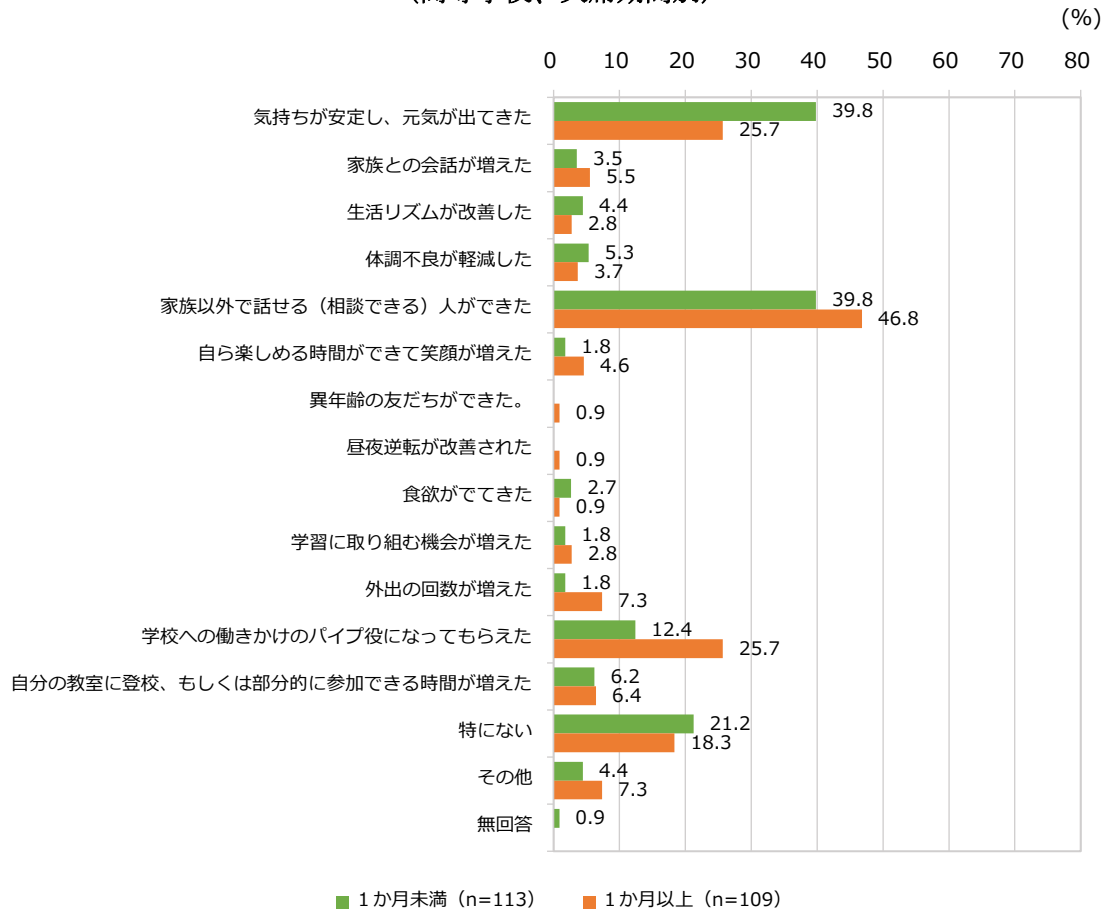
図表 3-247 相談してよかった理由（子ども）

（高等学校、n=238）



図表 3-248 相談してよかった理由（子ども）

（高等学校、欠席期間別）

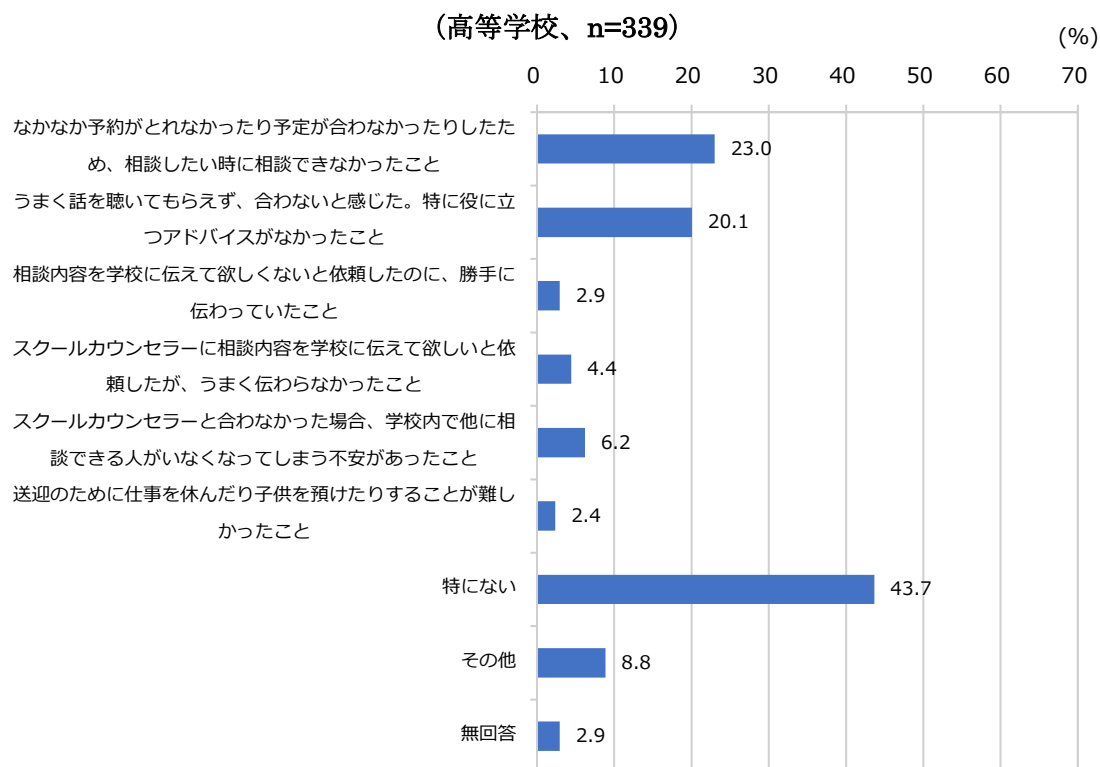


④相談した際に困ったこと（子ども）

15-3 15で「相談した」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談した際に困ったこととは何ですか。（複数回答）。

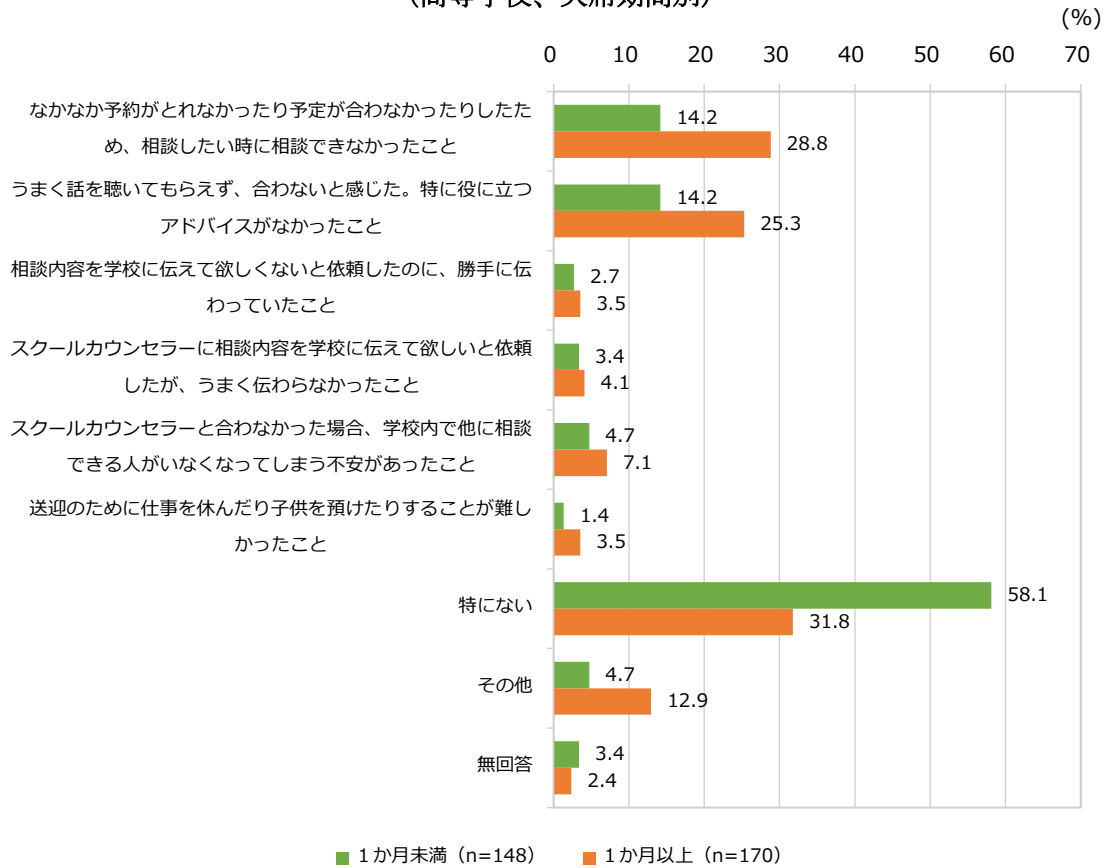
子どもがスクールカウンセラーに相談した際に困ったことについてみると、高等学校では、「特にない」、「その他」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」が23.0%と最も高い。次いで「うまく話を聞いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと(20.1%)」となっている。

図表 3-249 相談した際に困ったこと（子ども）



図表 3-250 相談した際に困ったこと（子ども）

（高等学校、欠席期間別）



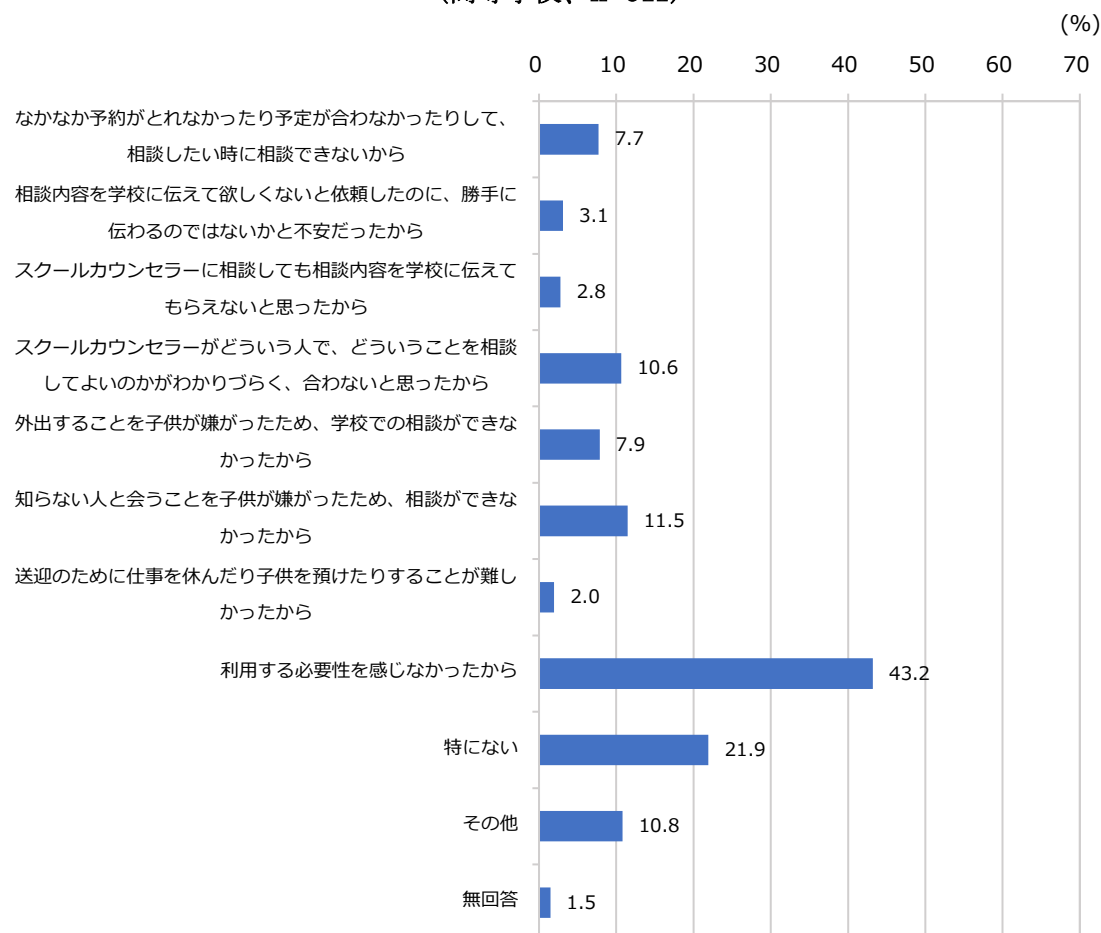
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

15-4 15で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、高等学校では、「利用する必要性を感じなかったから」が43.2%と最も高い。次いで、「特にない」、「その他」を除くと、「知らない人と会うことを子供が嫌がったため、相談ができなかったから」、「スクールカウンセラーがどういう人で、どういうことを相談してよいのかがわかりづらく、合わないと思ったから」の割合が高い。

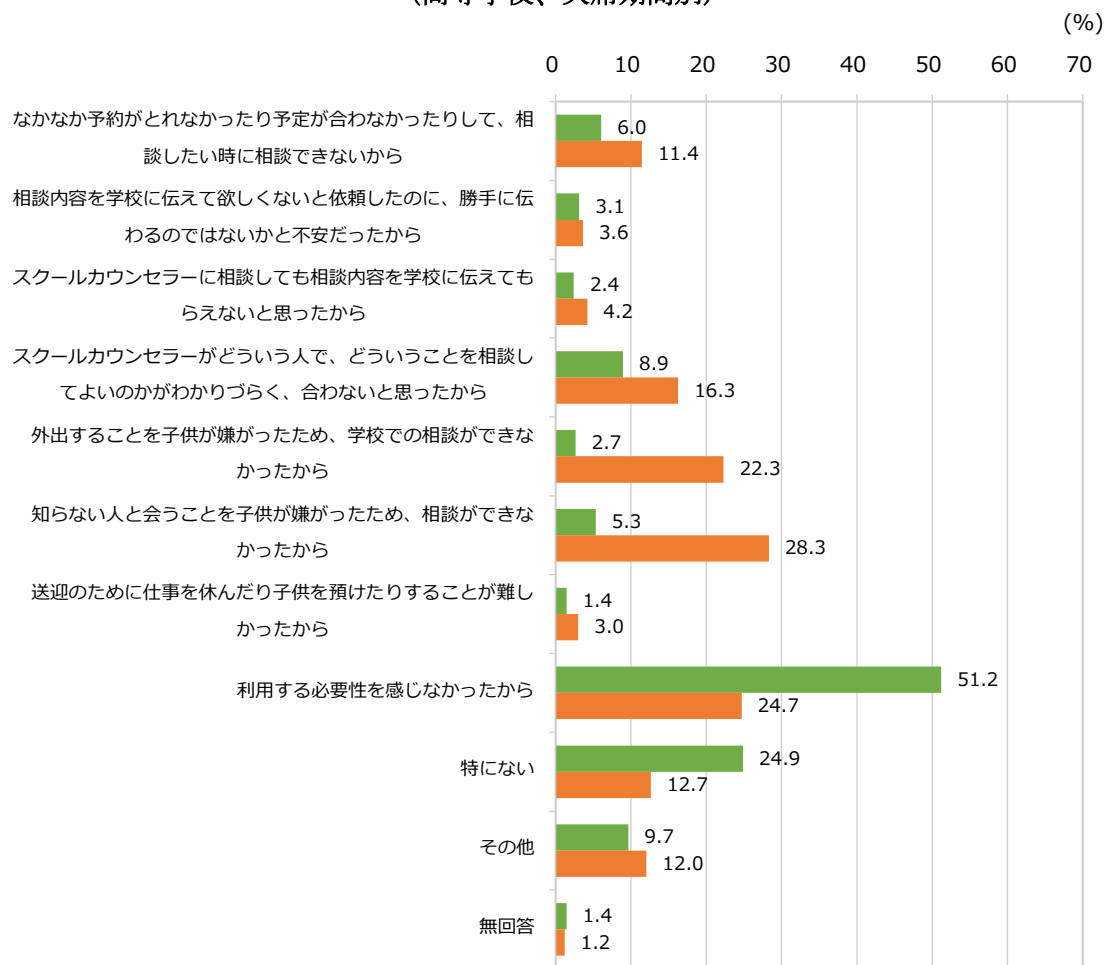
図表 3-251 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（高等学校、n=611）



図表 3-252 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（高等学校、欠席期間別）



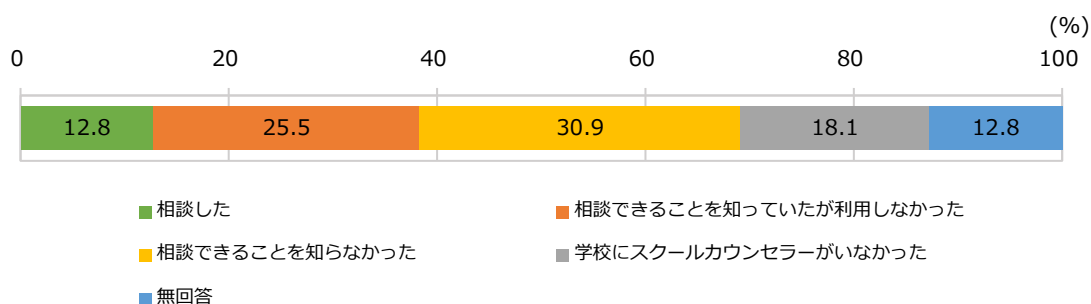
■ 1か月未満 (n=414) ■ 1か月以上 (n=166)

(4)特別支援学校

①相談状況（子ども）

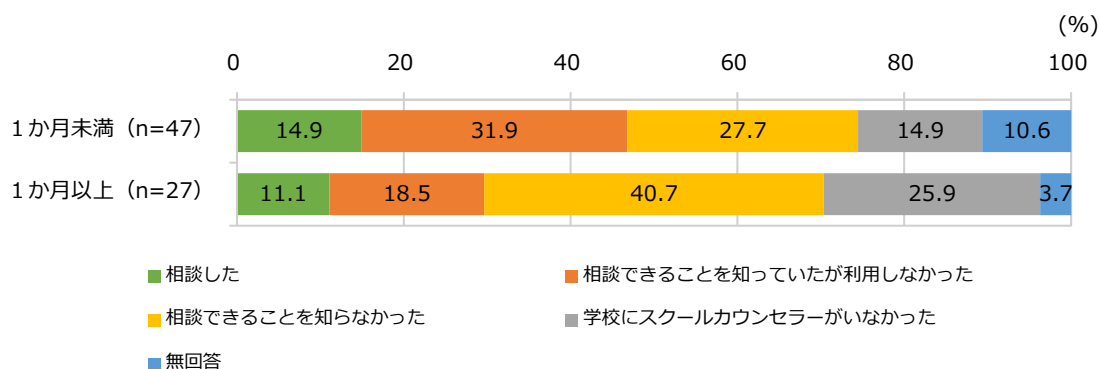
子どものスクールカウンセラーへの相談についてみると、特別支援学校では、「相談できることを知らなかった」が30.9%と最も高い。

図表 3-253 スクールカウンセラーへの相談（子ども）
（特別支援学校、n=94）



欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月以上の「相談できることを知らなかった」と「学校にスクールカウンセラーがいなかった」の割合は1か月未満と比べ高い。

図表 3-254 スクールカウンセラーへの相談（子ども）
（特別支援学校、欠席期間別）



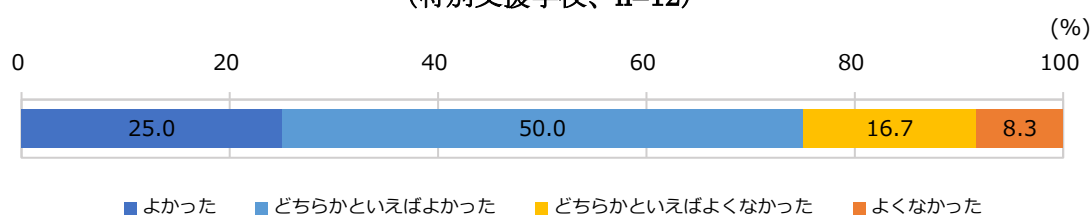
②相談した感想（子ども）

15-1 15で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

子どもがスクールカウンセラーに相談した感想についてみると、特別支援学校では、半数が「どちらかといえばよかった」と回答しており、「よかった」と合わせると7割を超える。

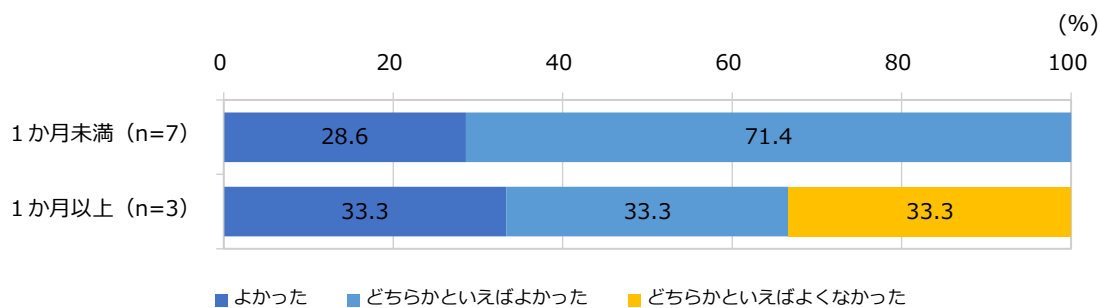
図表 3-255 相談した感想（子ども）

（特別支援学校、n=12）



図表 3-256 相談した感想（子ども）

（特別支援学校、欠席期間別）



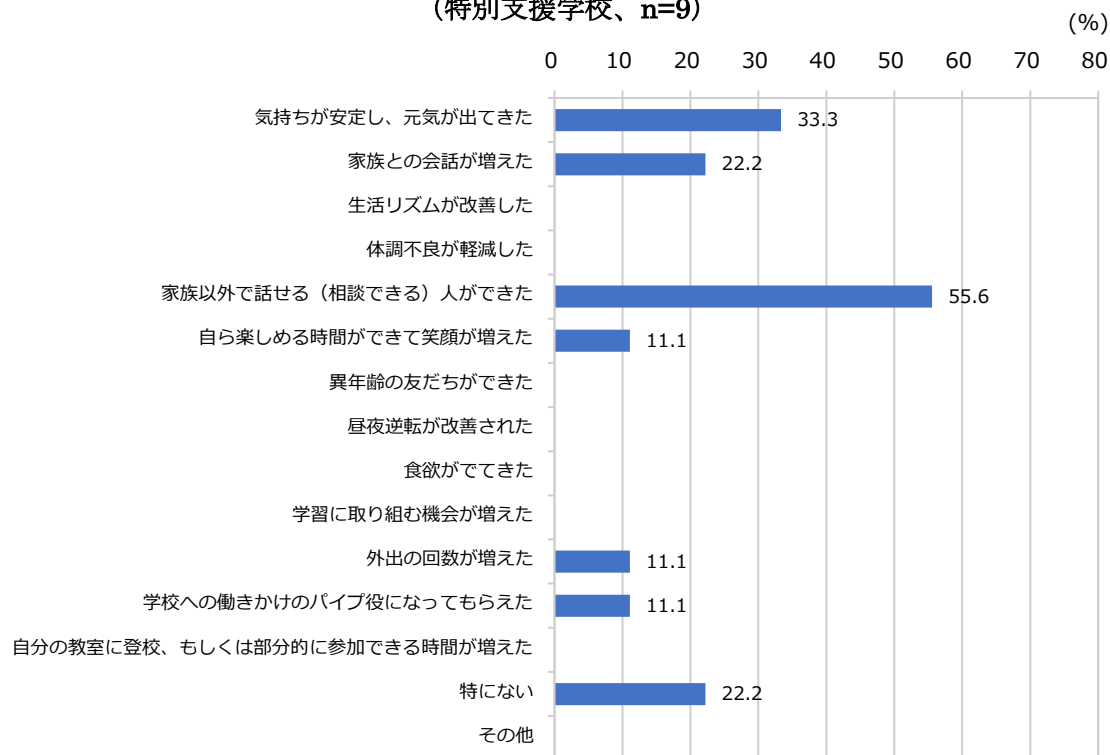
③相談してよかった理由（子ども）

15-2 15-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談してよかった理由についてみると、特別支援学校では、「家族以外で話せる人ができた」が55.6%と最も高い。次いで「気持ちが安定し、元気が出てきた（33.3%）」となっている。

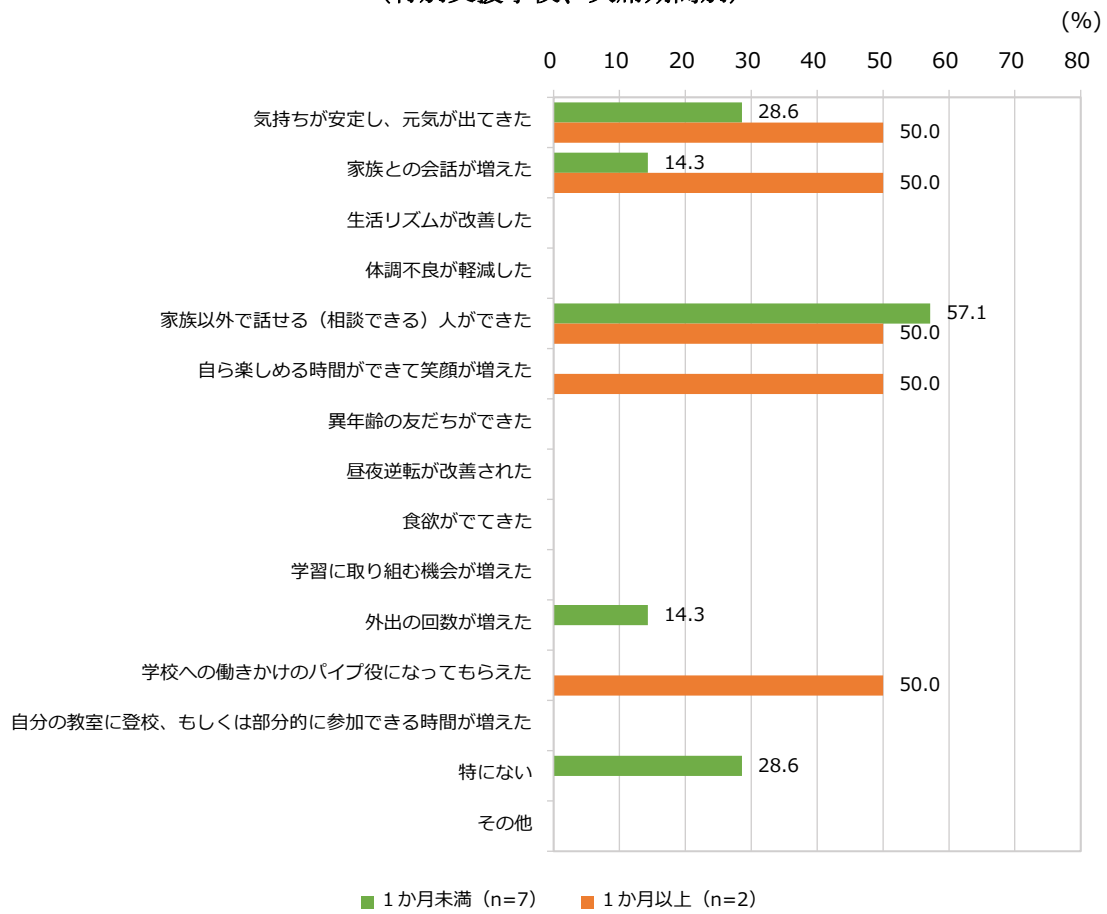
図表 3-257 相談してよかった理由（子ども）

（特別支援学校、n=9）



図表 3-258 相談してよかった理由（子ども）

（特別支援学校、欠席期間別）



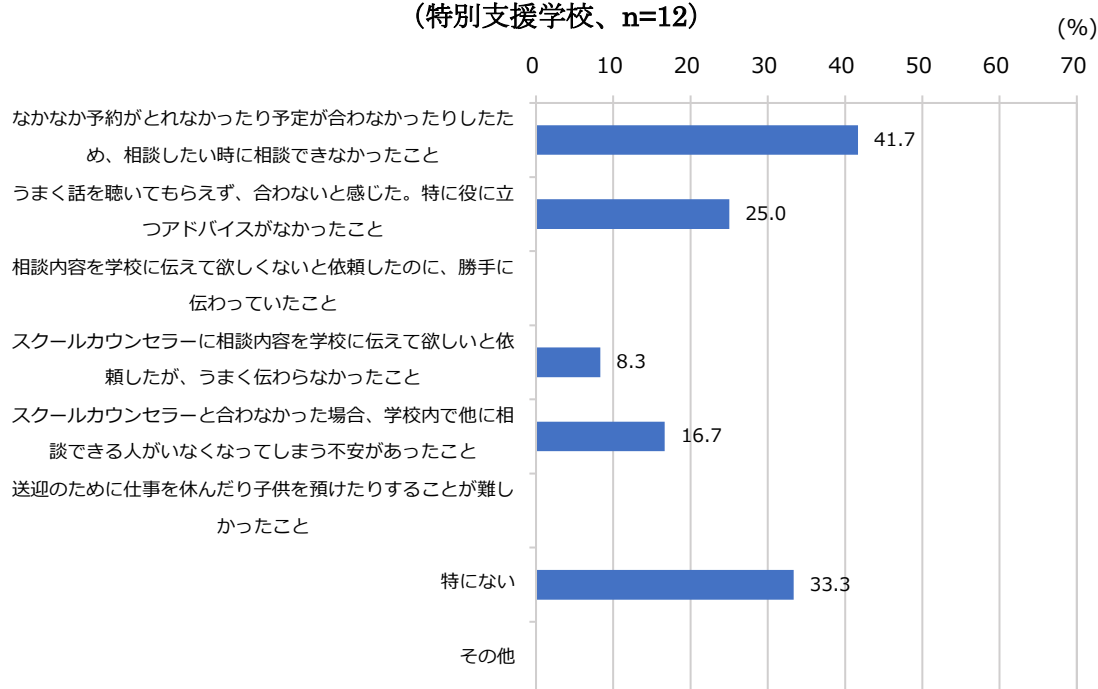
④相談した際に困ったこと（子ども）

15-3 15で「相談した」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談した際に困ったこととは何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談した際に困ったことについてみると、特別支援学校では、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」が41.7%と最も高い。次いで、「特にない」を除くと、「うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと（25.0%）」となっている。

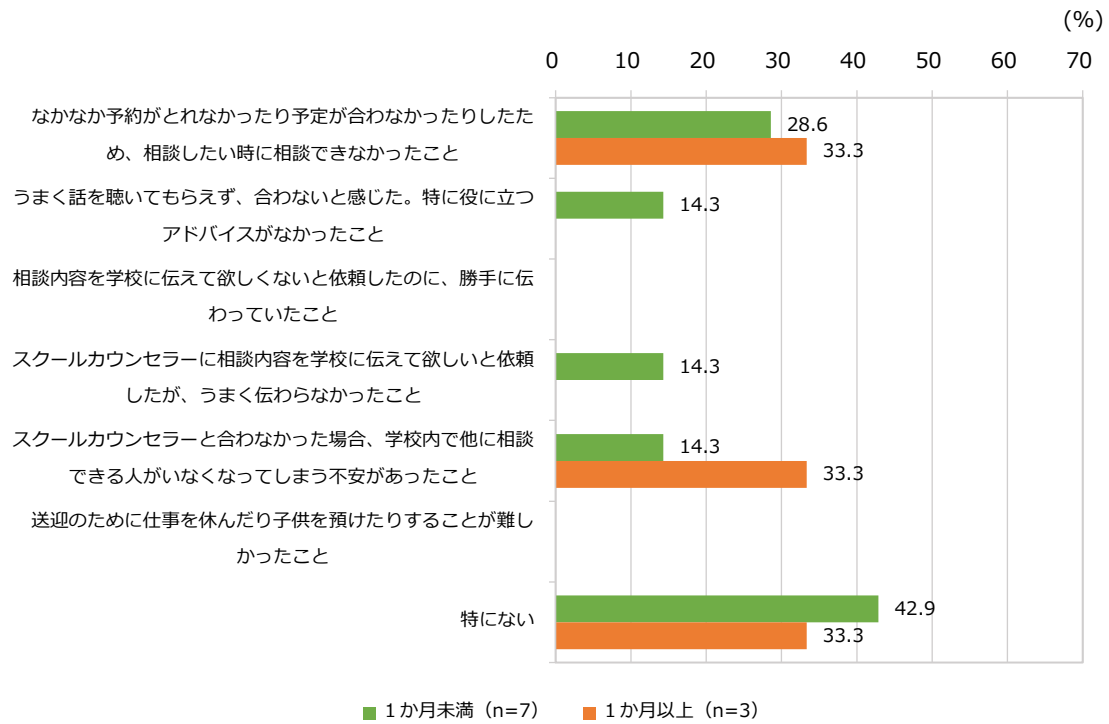
図表 3-259 相談した際に困ったこと（子ども）

（特別支援学校、n=12）



図表 3-260 相談した際に困ったこと（子ども）

（特別支援学校、欠席期間別）



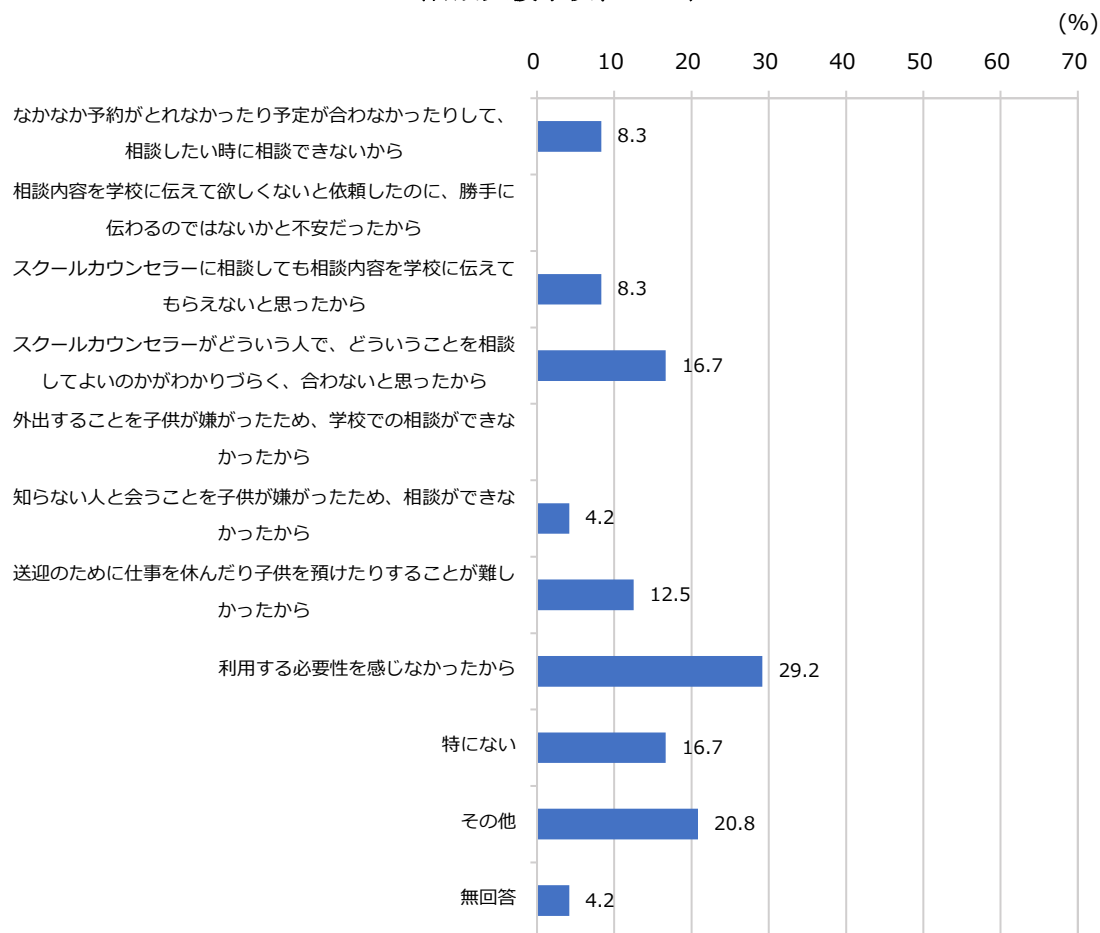
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

15-4 15で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、特別支援学校では、「利用する必要性を感じなかったから」が29.2%と最も高い。次いで、「特にない」、「その他」を除くと、「スクールカウンセラーがどういう人で、どういふことを相談してよいのかがわかりづらく、合わないと思ったから」の割合が高い。

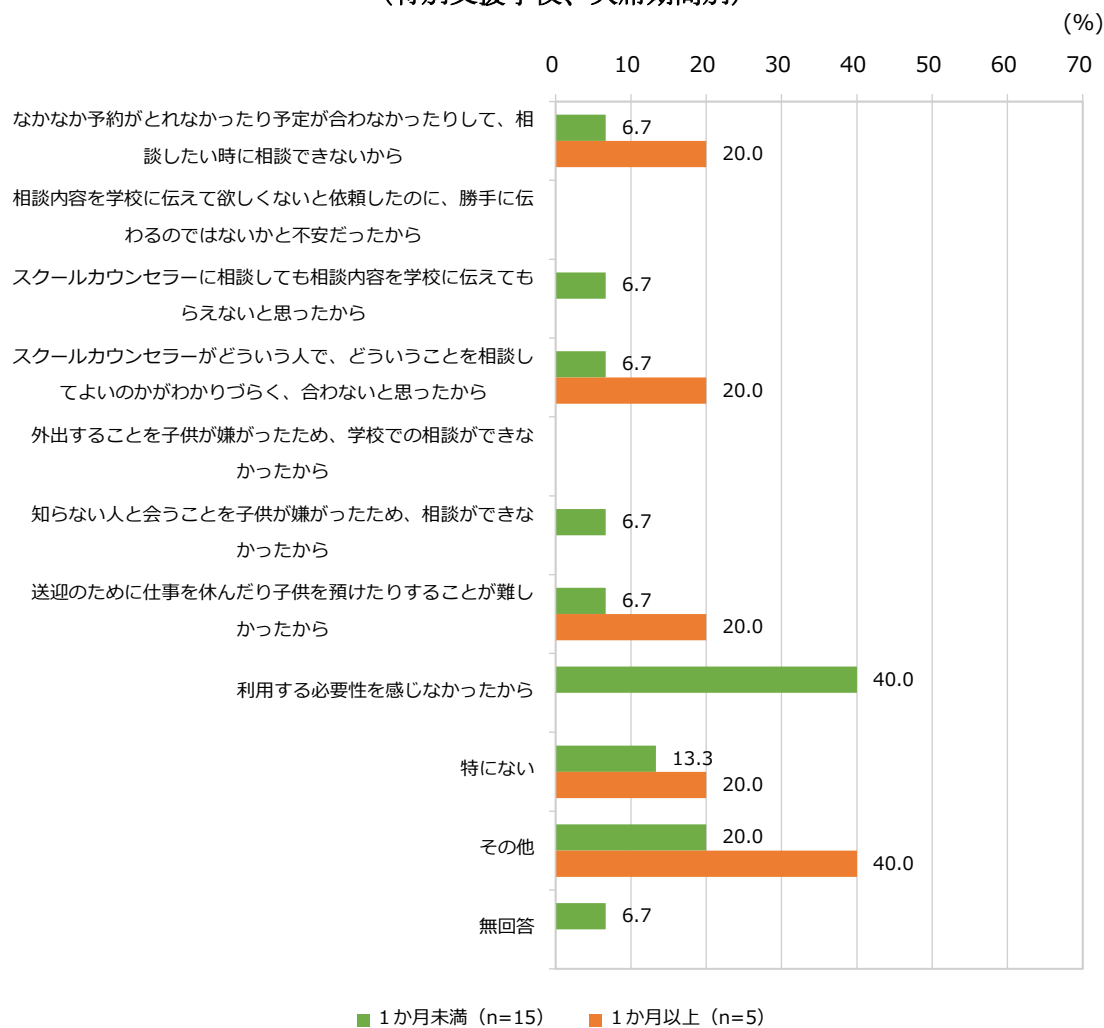
図表 3-261 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（特別支援学校、n=24）



図表 3-262 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（特別支援学校、欠席期間別）



3-4-5 保護者のスクールカウンセラーへの相談

(1) 小学校

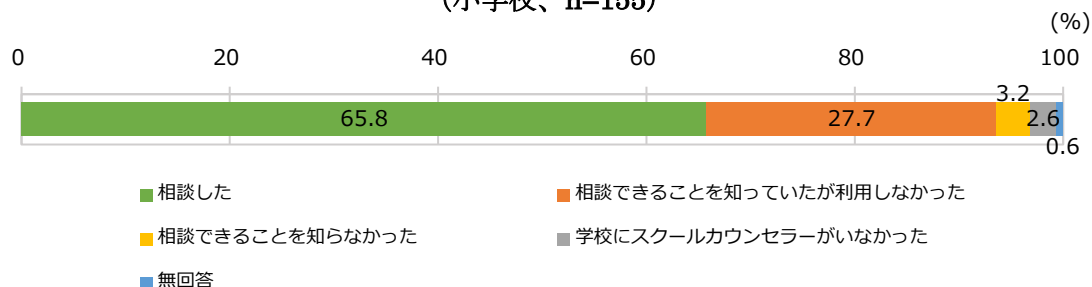
① 相談状況（保護者）

16 保護者はスクールカウンセラーへの相談をしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

保護者のスクールカウンセラーへの相談についてみると、小学校では、「相談した」の割合が65.8%と最も高い。

図表 3-263 スクールカウンセラーへの相談（保護者）

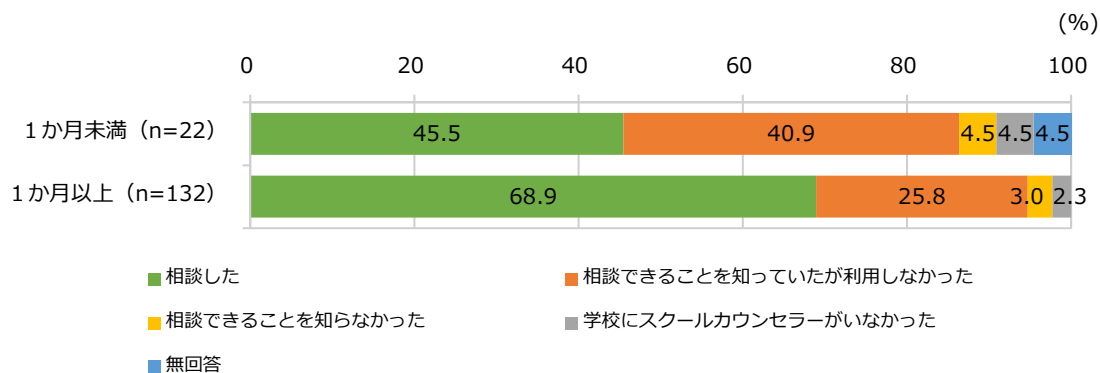
（小学校、n=155）



欠席期間別にみると、小学校では、1か月以上で68.9%が「相談した」と回答しており、1か月未満（45.5%）との差が大きい。

図表 3-264 スクールカウンセラーへの相談（保護者）

（小学校、欠席期間別）



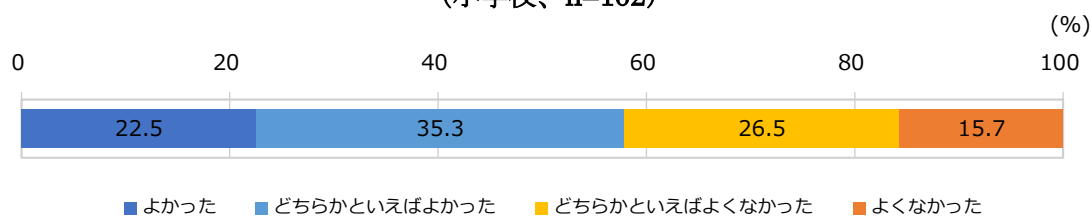
②相談した感想（保護者）

16-1 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

保護者がスクールカウンセラーに相談した感想についてみると、小学校では、57.8%が「どちらかといえばよかった」もしくは「よかった」と回答している。

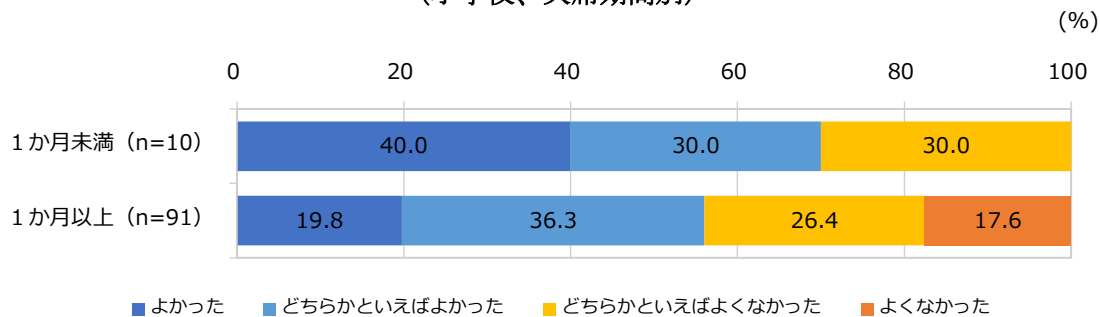
図表 3-265 相談した感想（保護者）

（小学校、n=102）



図表 3-266 相談した感想（保護者）

（小学校、欠席期間別）



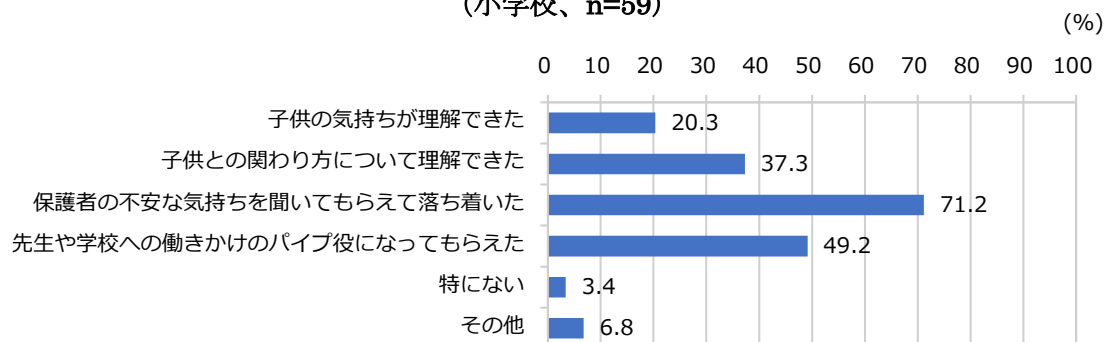
③相談してよかった理由（保護者）

16-2 16-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談してよかった理由についてみると、小学校では、「保護者の不安な気持ちを聞いてもらえて落ち着いた」が 71.2%と最も高い。次いで「先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらえた」となっている。

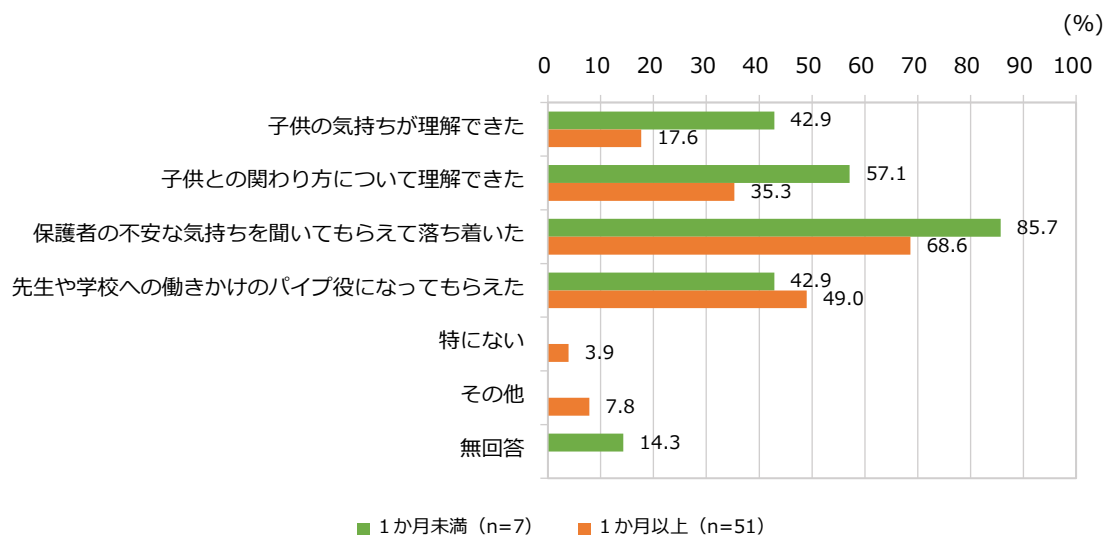
図表 3-267 相談してよかった理由（保護者）

（小学校、n=59）



図表 3-268 相談してよかった理由（保護者）

（小学校、欠席期間別）



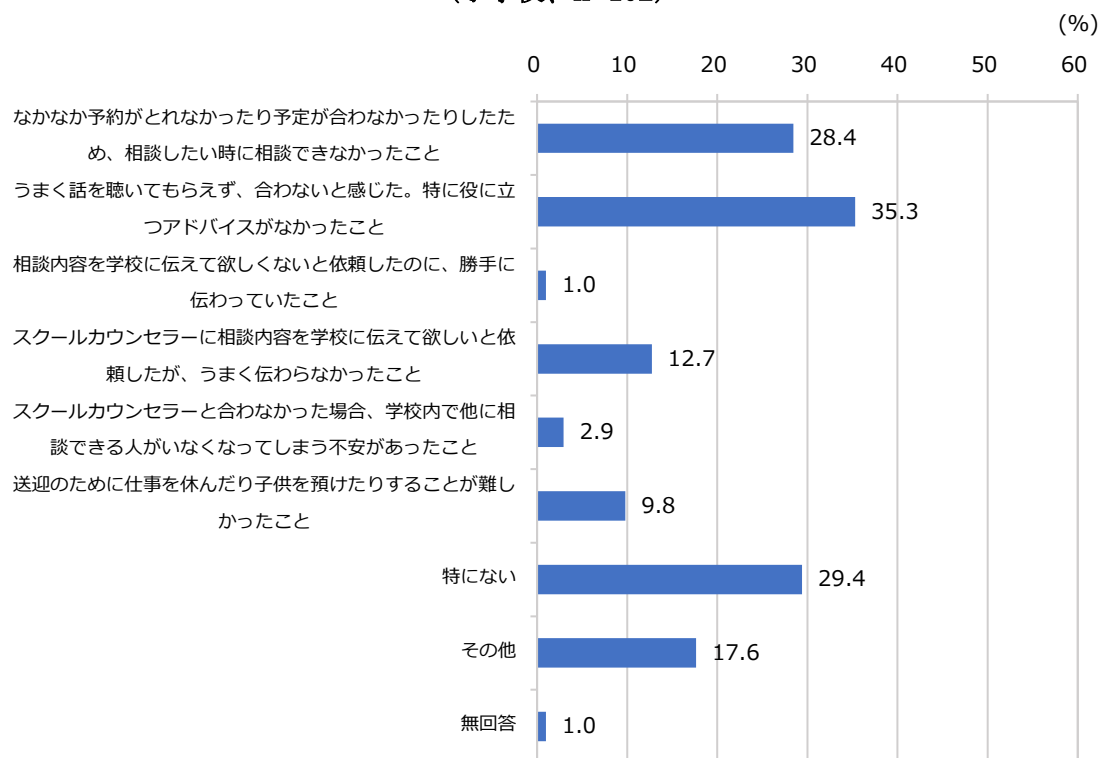
④相談した際に困ったこと（保護者）

16-3 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した際に困ったこととは何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談した際に困ったことについてみると、小学校では、「うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと」が35.3%と最も高い。次いで、「特にない」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」となっている。

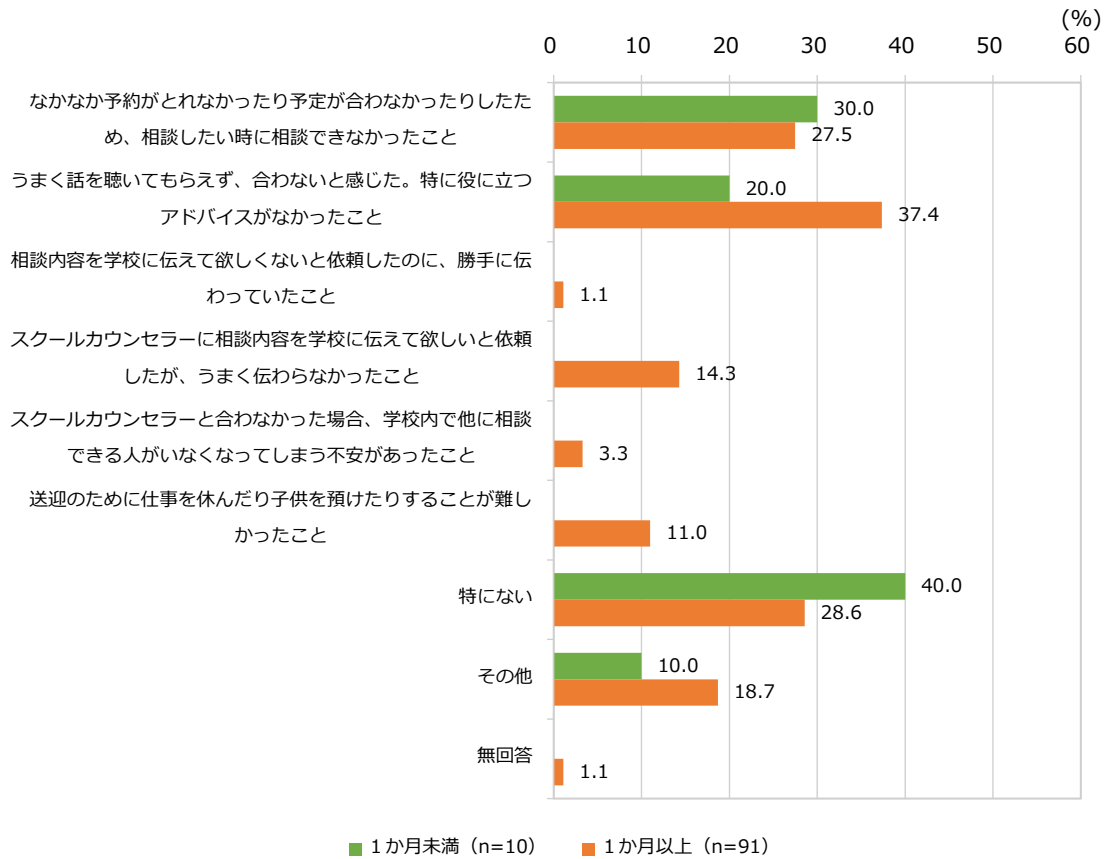
図表 3-269 相談した際に困ったこと（保護者）

（小学校、n=102）



図表 3-270 相談した際に困ったこと（保護者）

（小学校、欠席期間別）

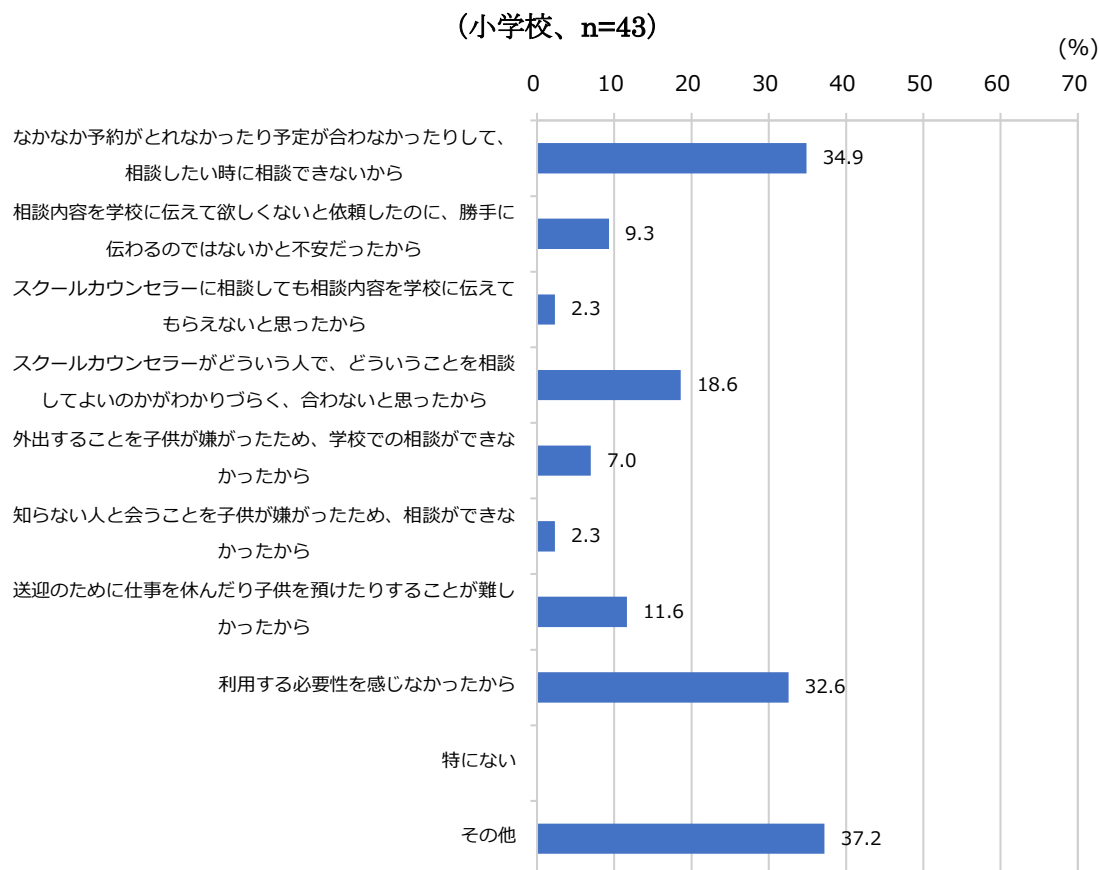


⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

16-4 16で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、小学校では、「その他」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりして、相談したい時に相談できないから」が34.9%と最も高い。次いで「利用する必要性を感じなかったから（32.6%）」となっている。

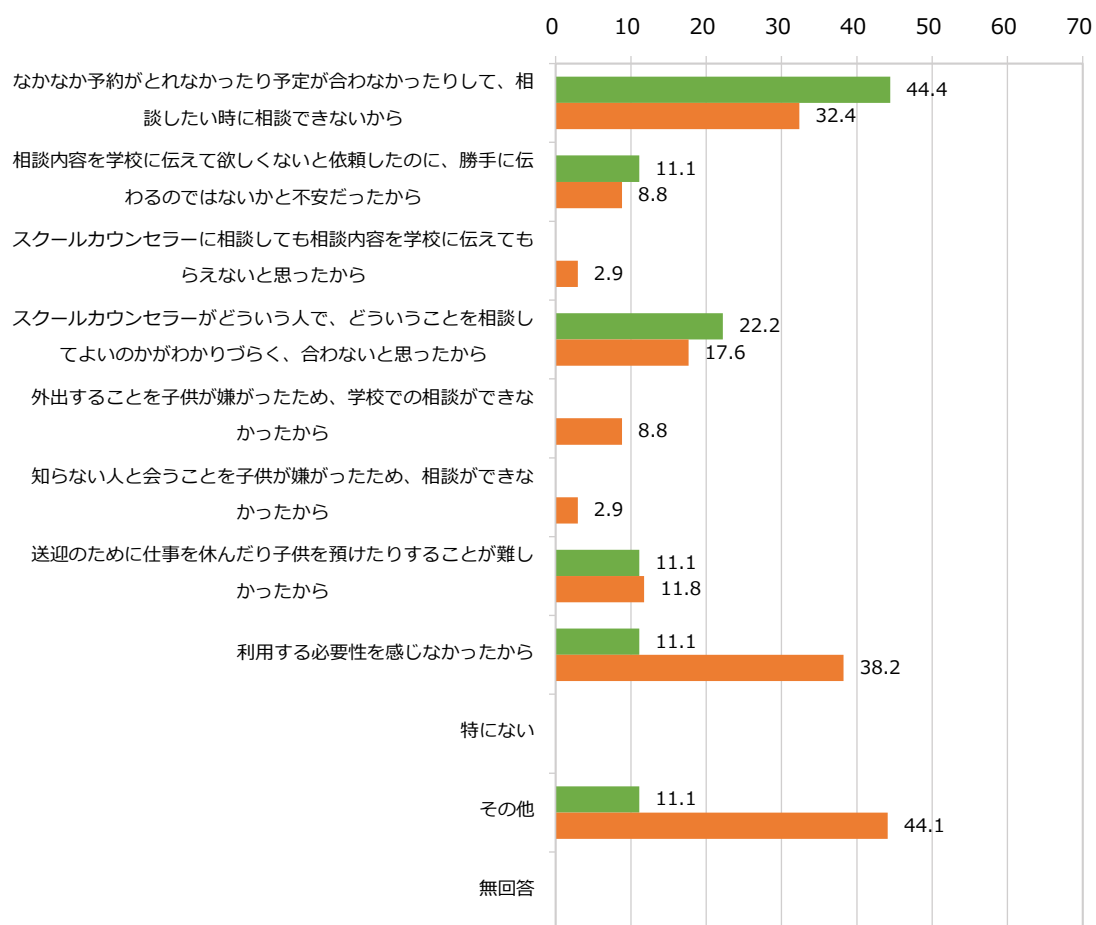
図表 3-271 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）



図表 3-272 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（小学校、欠席期間別）

（%）



■ 1か月未満 (n=9) ■ 1か月以上 (n=34)

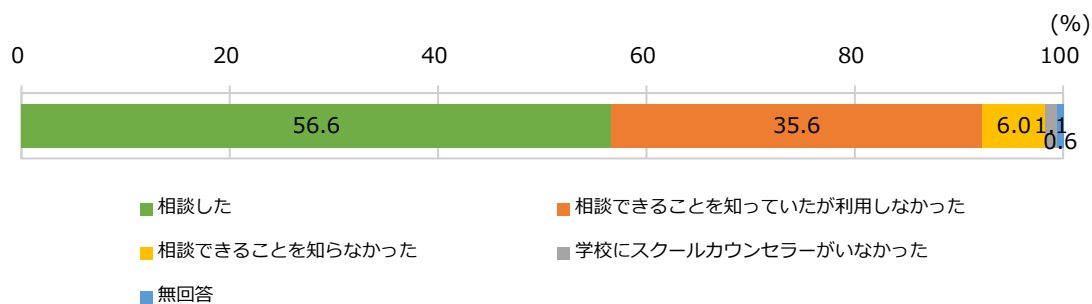
(2) 中学校

① 相談状況（保護者）

保護者のスクールカウンセラーへの相談についてみると、中学校では、「相談した」の割合が 56.6%と最も高い。

図表 3-273 スクールカウンセラーへの相談（保護者）

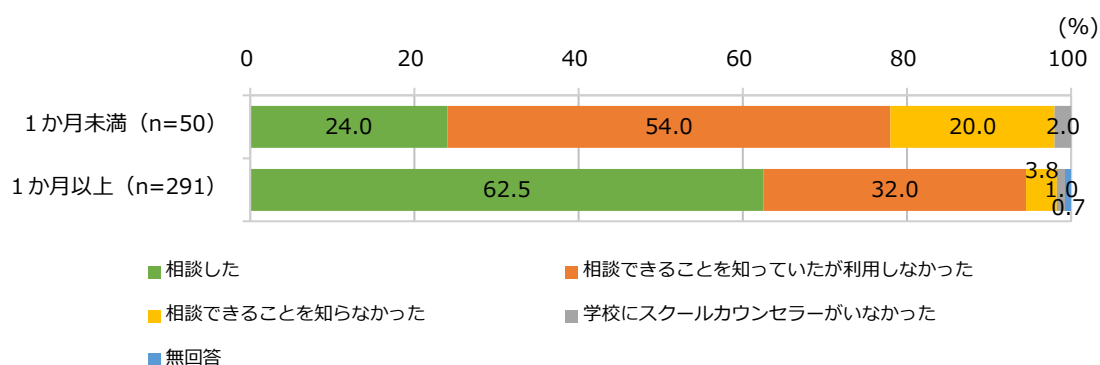
（中学校、n=348）



欠席期間別にみると、中学校では、1か月以上で 62.5%が「相談した」と回答しており、1か月未満（24.0%）との差が大きい。

図表 3-274 スクールカウンセラーへの相談（保護者）

（中学校、欠席期間別）



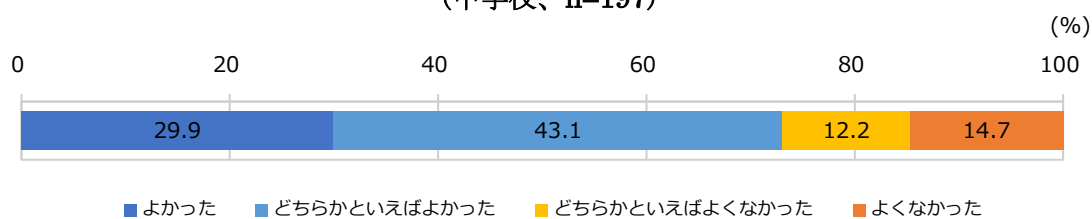
②相談した感想（保護者）

16-1 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

保護者がスクールカウンセラーに相談した感想についてみると、中学校では、73.0%が「どちらかといえばよかった」もしくは「よかった」と回答している。

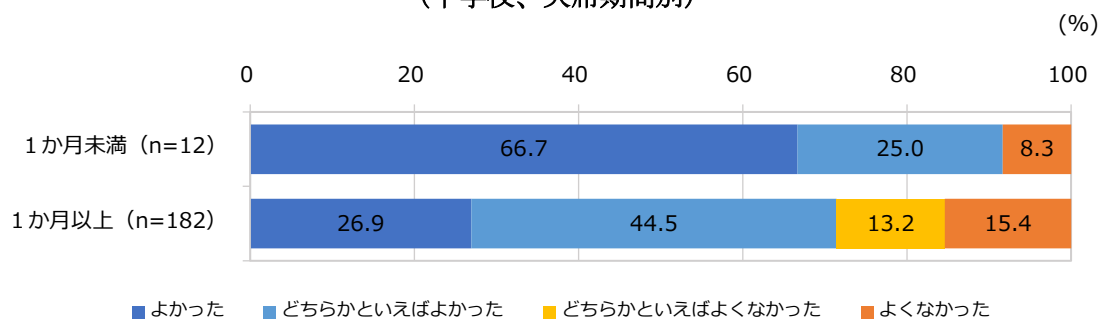
図表 3-275 相談した感想（保護者）

（中学校、n=197）



図表 3-276 相談した感想（保護者）

（中学校、欠席期間別）



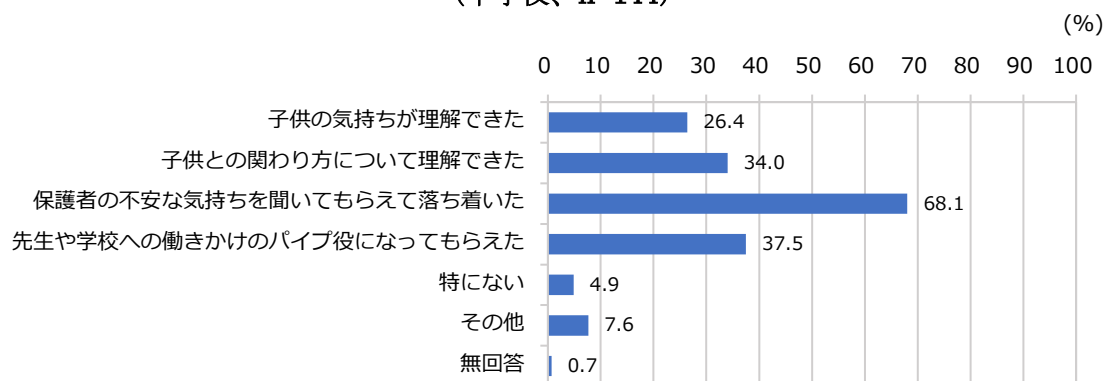
③相談してよかった理由（保護者）

16-2 16-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談してよかった理由についてみると、中学校では、「保護者の不安な気持ちを聞いてもらえて落ち着いた」が 68.1%と最も高い。次いで「先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらった」、「子供とのかかわり方について理解できた」と続いている。

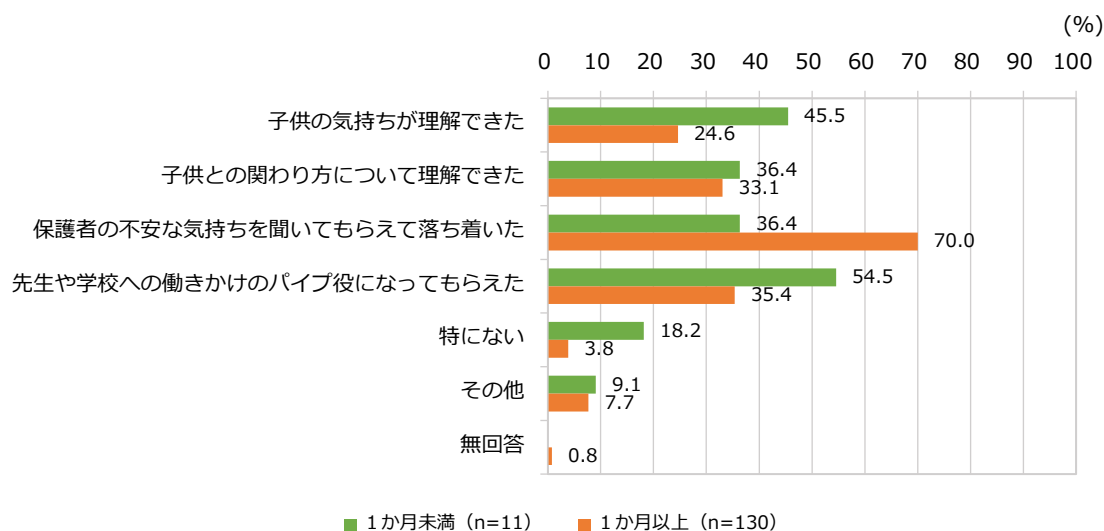
図表 3-277 相談してよかった理由（保護者）

（中学校、n=144）



図表 3-278 相談してよかった理由（保護者）

（中学校、欠席期間別）



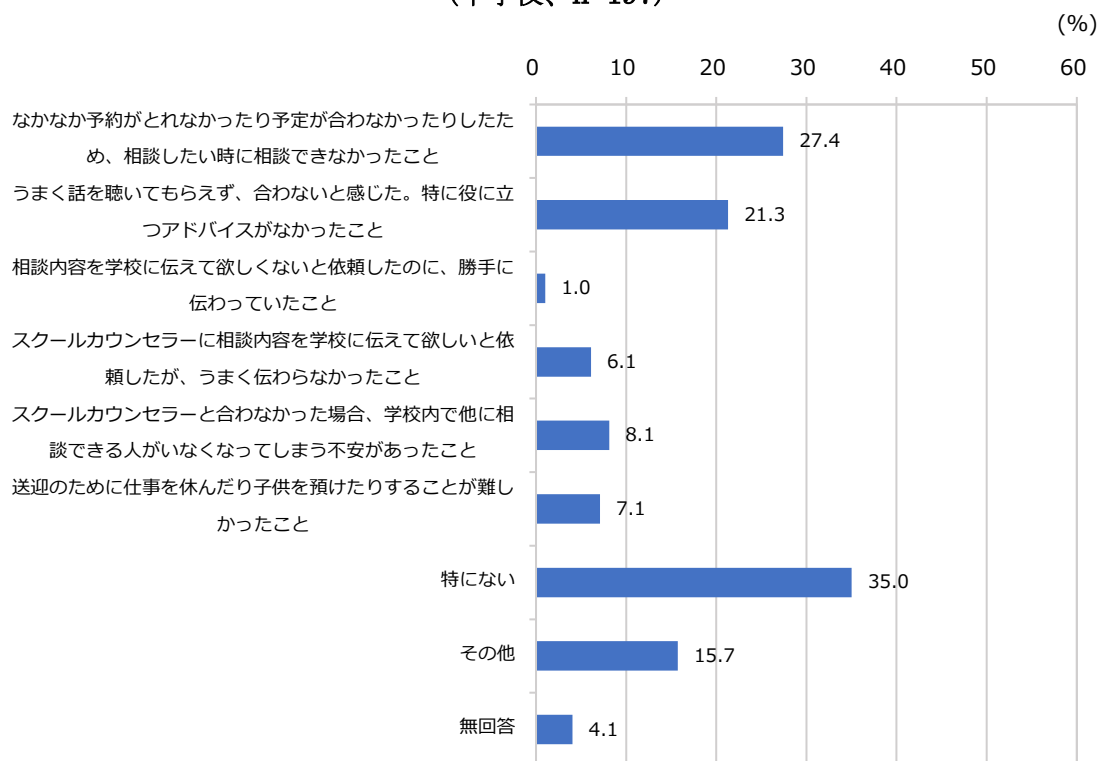
④相談した際に困ったこと（保護者）

16-3 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した際に困ったこととは何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談した際に困ったことについてみると、中学校では、「特にない」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」が27.4%と最も高い。次いで、「うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと」となっている。

図表 3-279 相談した際に困ったこと（保護者）

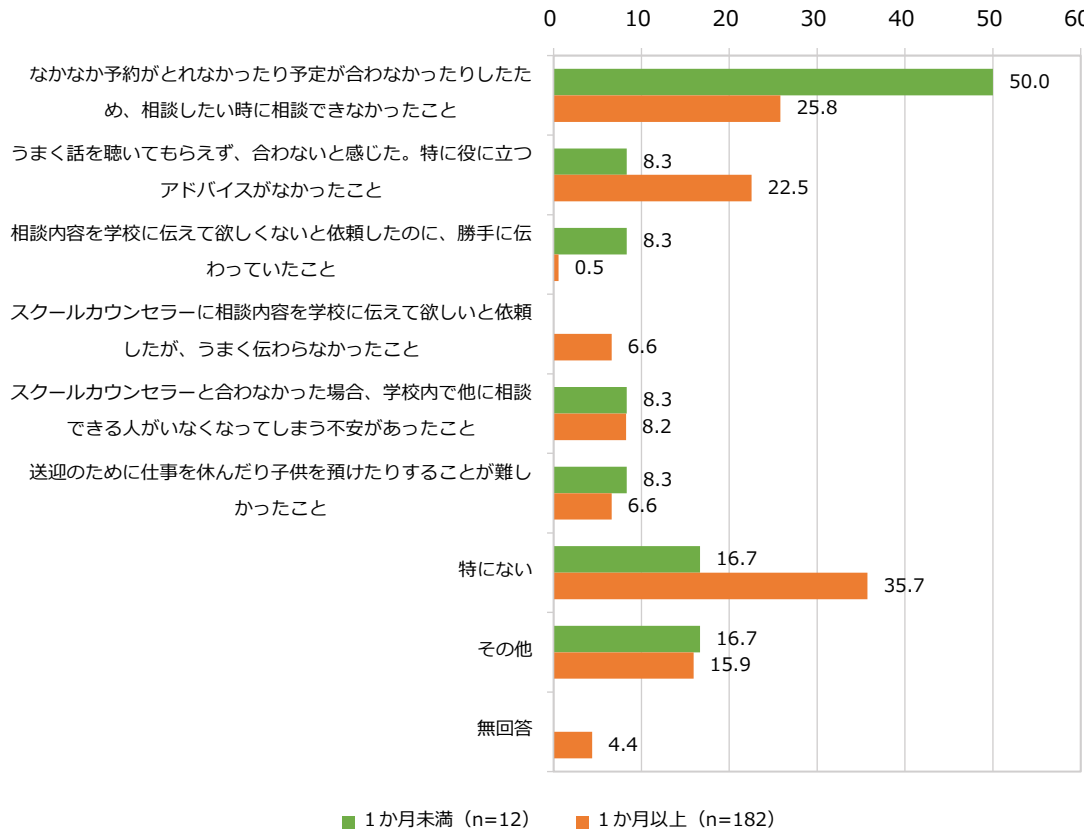
（中学校、n=197）



図表 3-280 相談した際に困ったこと（保護者）

（中学校、欠席期間別）

(%)



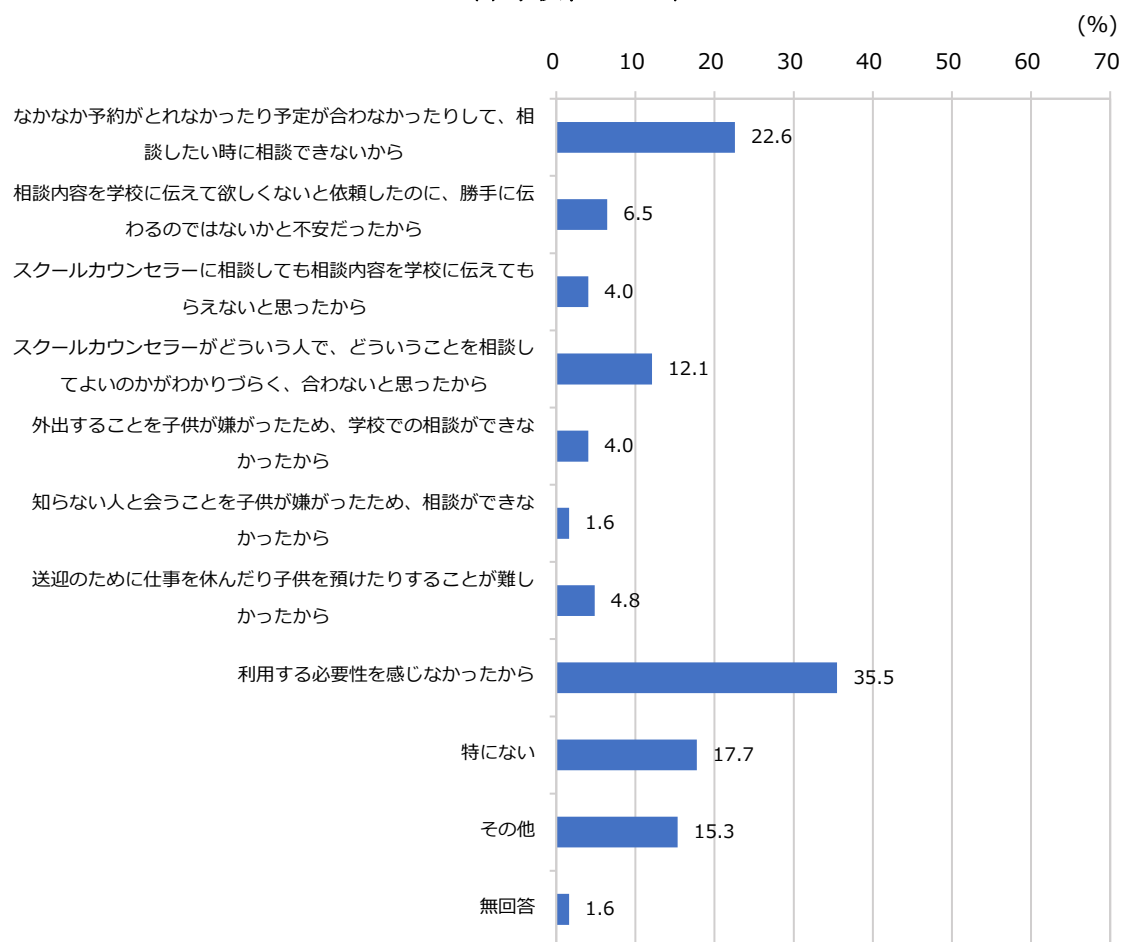
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

16-4 16で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、中学校では、「利用する必要性を感じなかったから」が35.5%と最も高い。次いで「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりして、相談したい時に相談できないから」となっている。

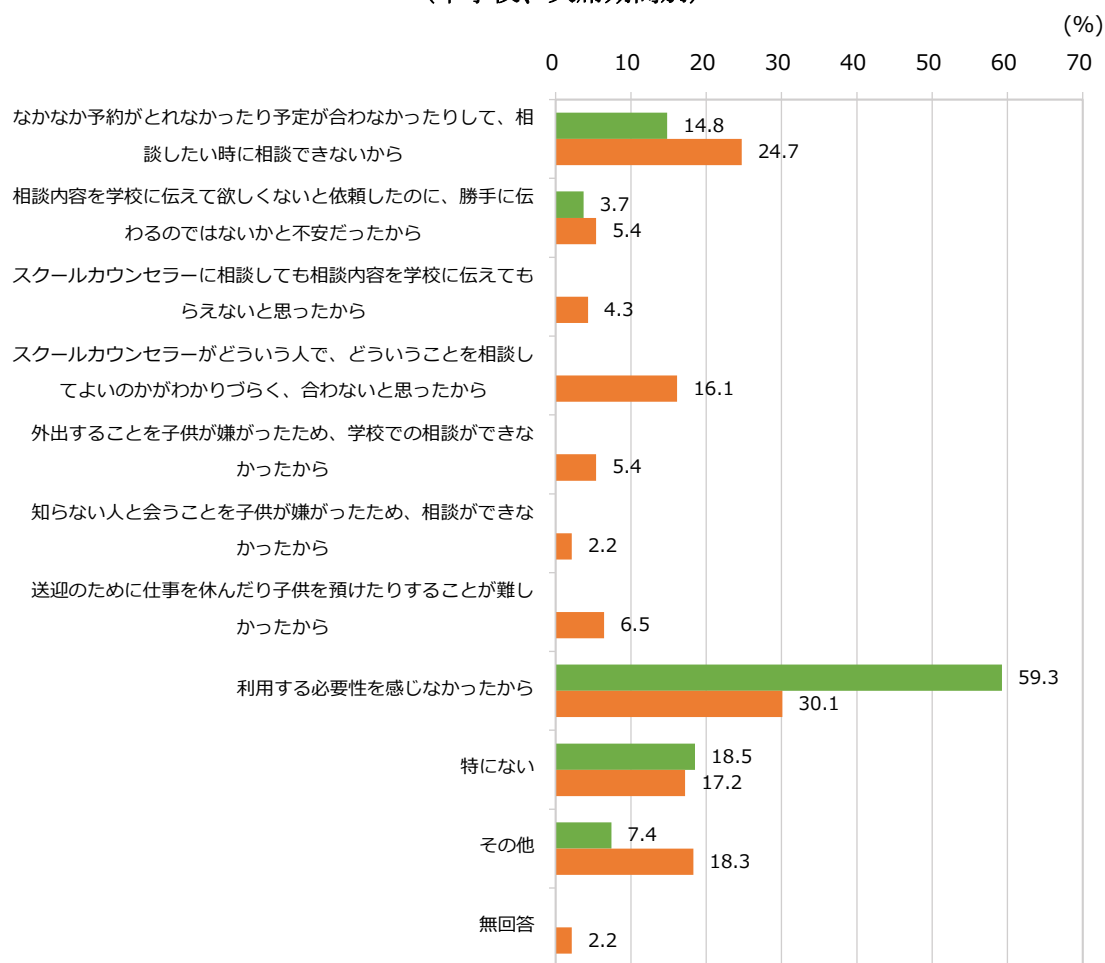
図表 3-281 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（中学校、n=124）



図表 3-282 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（中学校、欠席期間別）



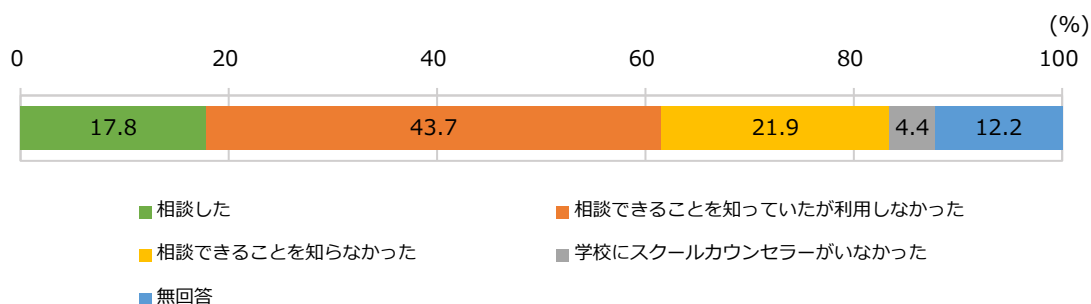
■ 1か月未満 (n=27) ■ 1か月以上 (n=93)

(3) 高等学校

① 相談状況（保護者）

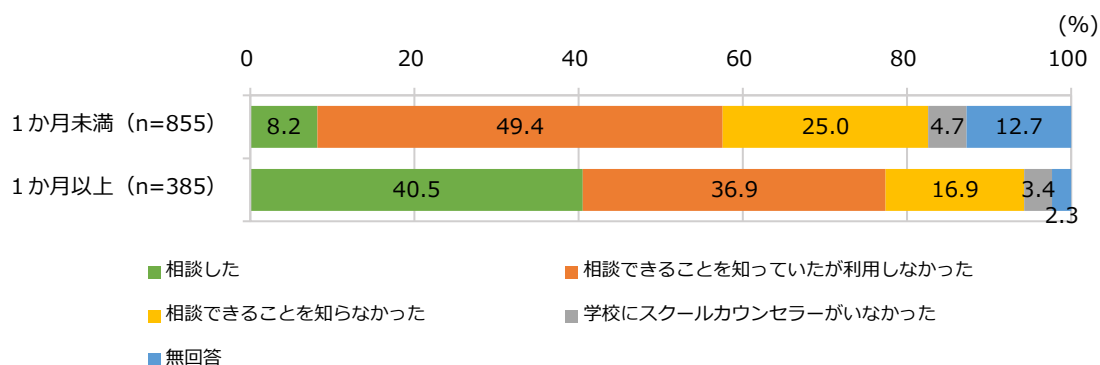
保護者のスクールカウンセラーへの相談についてみると、高等学校では、「相談できることを知っていたが利用しなかった」の割合が 43.7% と最も高い。

図表 3-283 保護者のスクールカウンセラーへの相談（保護者）
（高等学校、n=1,369）



欠席期間別にみると、高等学校では、1か月以上で 40.5% が「相談した」と回答しており、1か月未満（8.2%）との差が大きい。

図表 3-284 保護者のスクールカウンセラーへの相談（保護者）
（高等学校、欠席期間別）



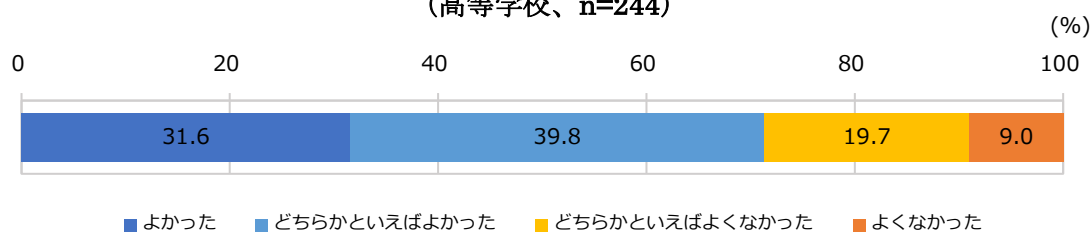
②相談した感想（保護者）

16-1 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

保護者がスクールカウンセラーに相談した感想についてみると、高等学校では、71.4%が「どちらかといえばよかった」もしくは「よかった」と回答している。

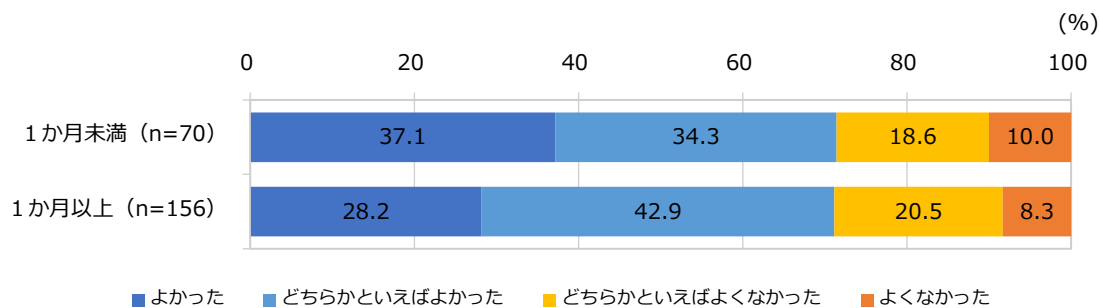
図表 3-285 相談した感想（保護者）

（高等学校、n=244）



図表 3-286 相談した感想（保護者）

（高等学校、欠席期間別）



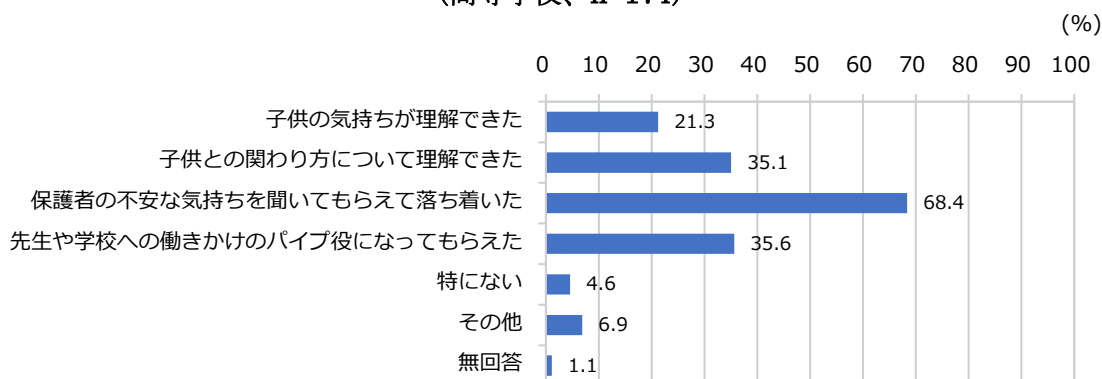
③相談してよかった理由（保護者）

16-2 16-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談してよかった理由についてみると、高等学校では、「保護者の不安な気持ちを聞いてもらえて落ち着いた」が 68.4%と最も高い。次いで「先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらった（35.6%）」、「子供との関わり方について理解できた（35.1%）」と続いている。

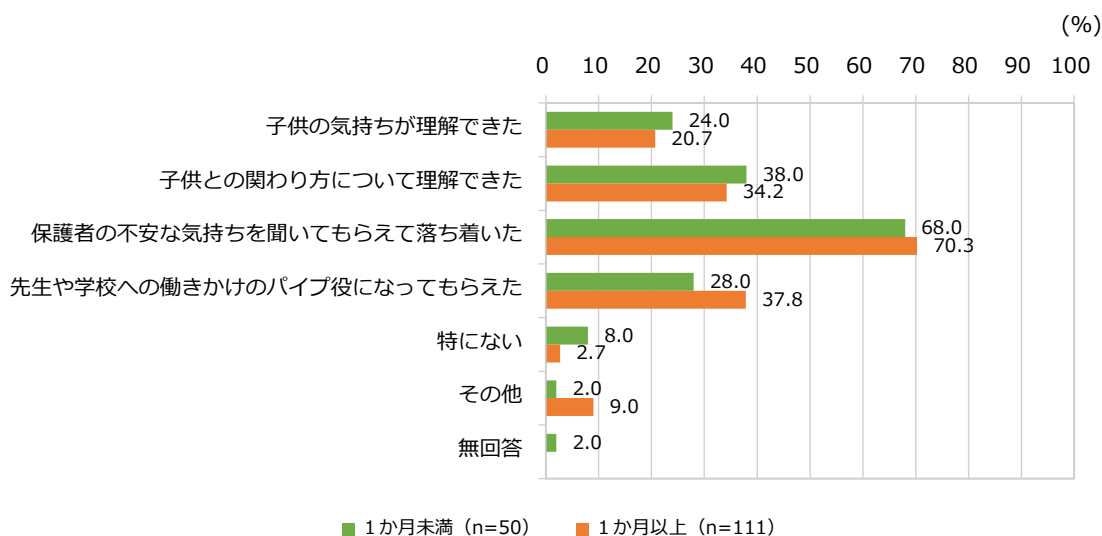
図表 3-287 相談してよかった理由（保護者）

（高等学校、n=174）



図表 3-288 相談してよかった理由（保護者）

（高等学校、欠席期間別）



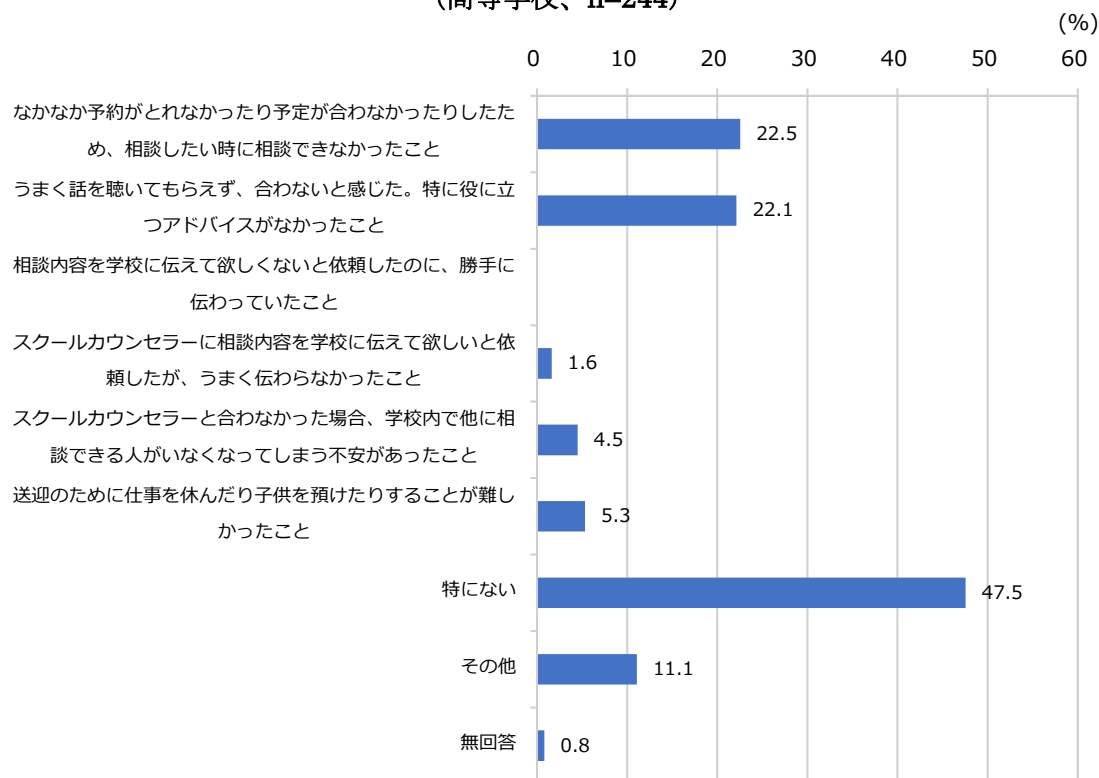
④相談した際に困ったこと（保護者）

16-3 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した際に困ったこととは何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談した際に困ったことについてみると、高等学校では、「特にない」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」と「うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと」の割合が高い。

図表 3-289 相談した際に困ったこと（保護者）

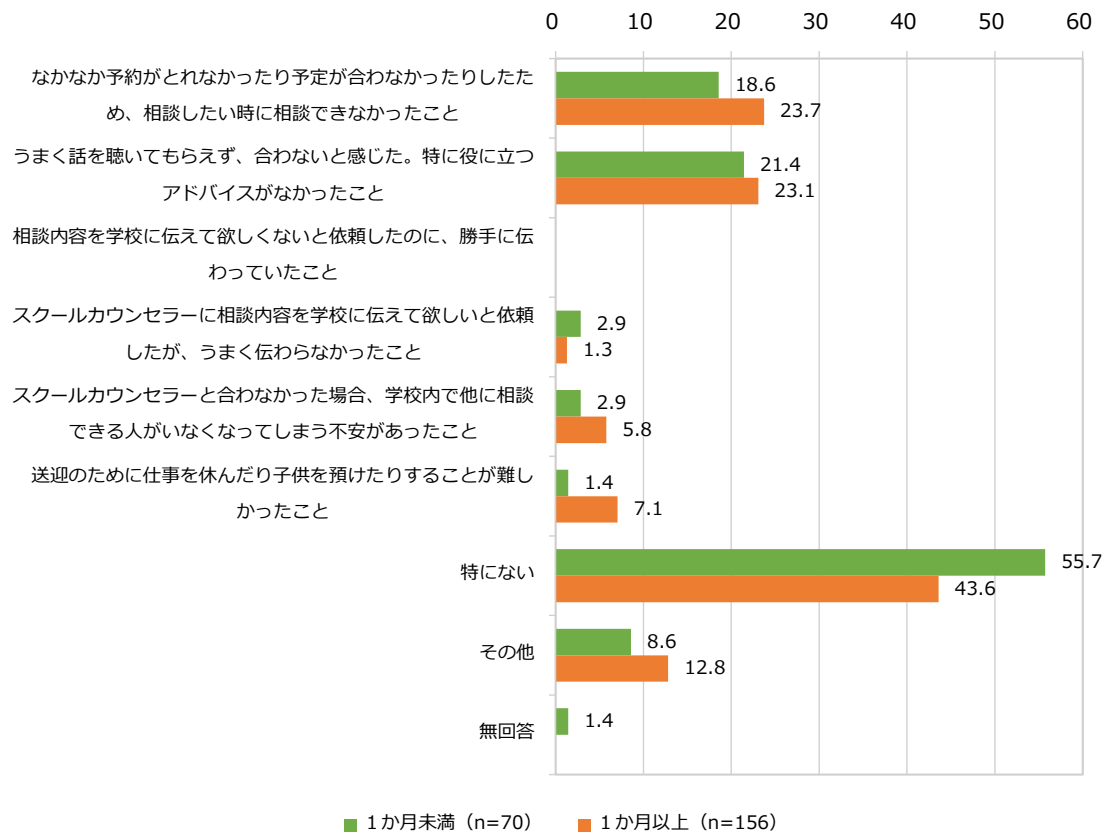
（高等学校、n=244）



図表 3-290 相談した際に困ったこと（保護者）

（高等学校、欠席期間別）

(%)



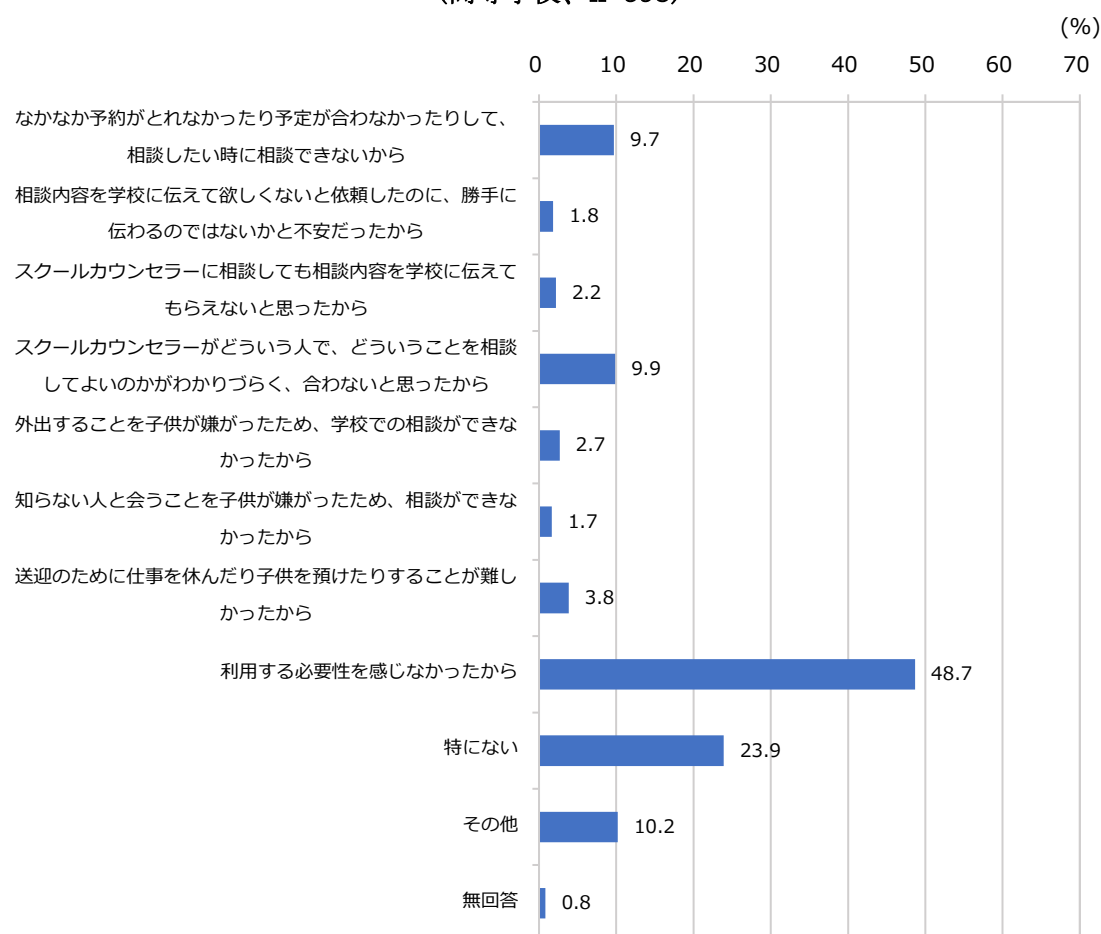
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

16-4 16で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、高等学校では、「利用する必要性を感じていなかったから」が48.7%と最も高い。

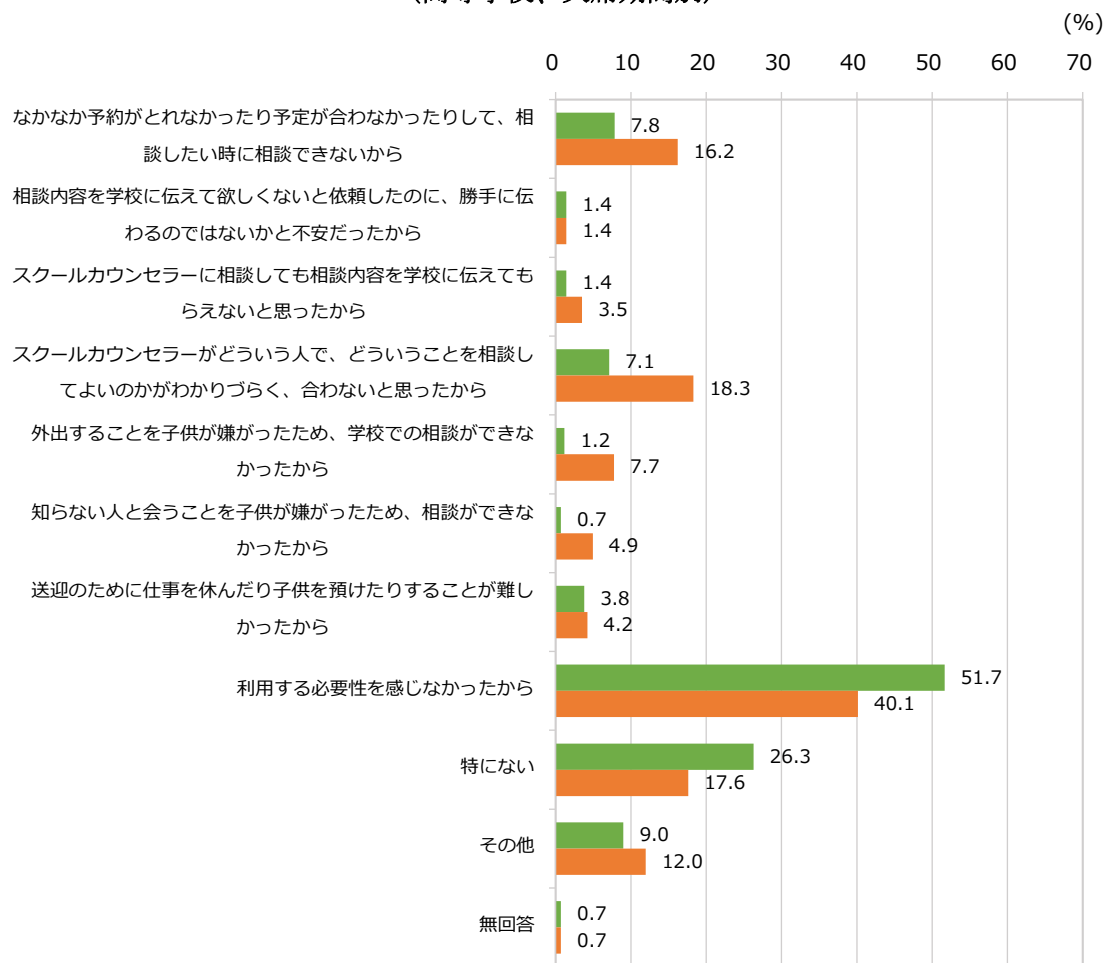
図表 3-291 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（高等学校、n=598）



図表 3-292 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（高等学校、欠席期間別）



■ 1か月未満 (n=422) ■ 1か月以上 (n=142)

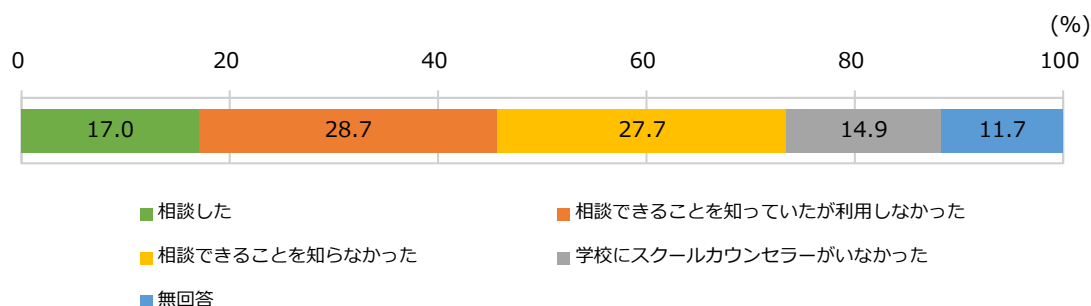
(4)特別支援学校

①相談状況（保護者）

保護者のスクールカウンセラーへの相談についてみると、特別支援学校では、「相談できることを知っていたが利用しなかった」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「相談できることを知らなかった（27.7%）」となっている。

図表 3-293 保護者のスクールカウンセラーへの相談（保護者）

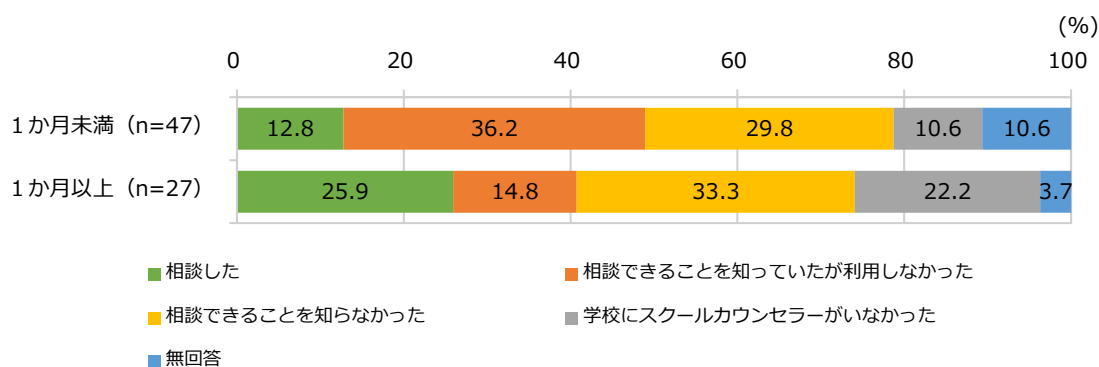
（特別支援学校、n=94）



欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月以上で 25.9%が「相談した」と回答しているが、1か月未満は 12.8%にとどまっている。

図表 3-294 保護者のスクールカウンセラーへの相談（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）



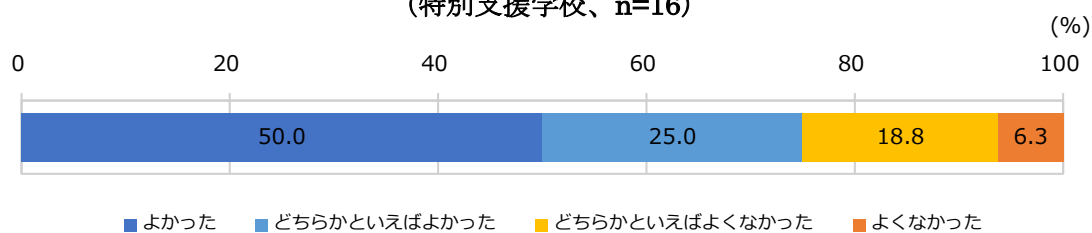
②相談した感想（保護者）

16-1 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

保護者がスクールカウンセラーに相談した感想についてみると、特別支援学校では、75.0%が「どちらかといえばよかった」もしくは「よかった」と回答している。

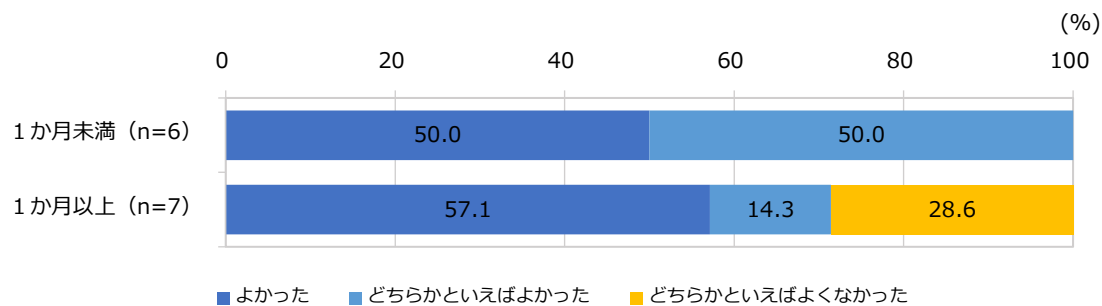
図表 3-295 相談した感想（保護者）

（特別支援学校、n=16）



図表 3-296 相談した感想（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）



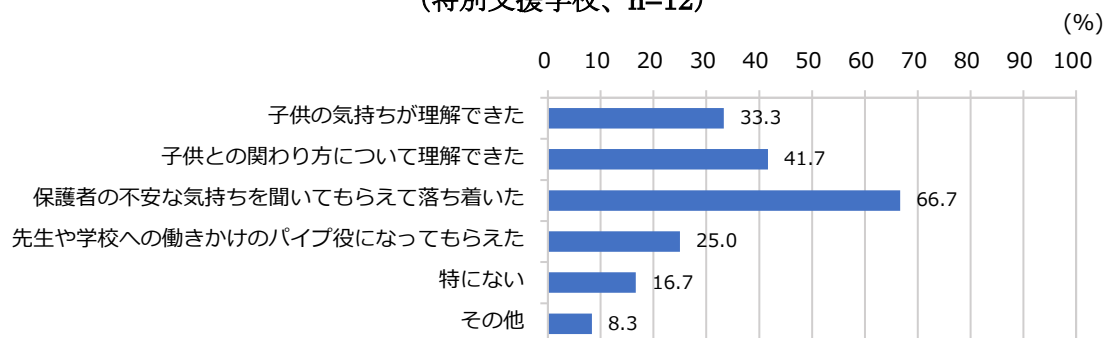
③相談してよかった理由（保護者）

16-2 16-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談してよかった理由についてみると、特別支援学校では、「保護者の不安な気持ちを聞いてもらえて落ち着いた」が66.7%と最も高い。次いで「子供との関わり方について理解できた(41.7%)」、「子供の気持ちが理解できた(33.3%)」と続いている。

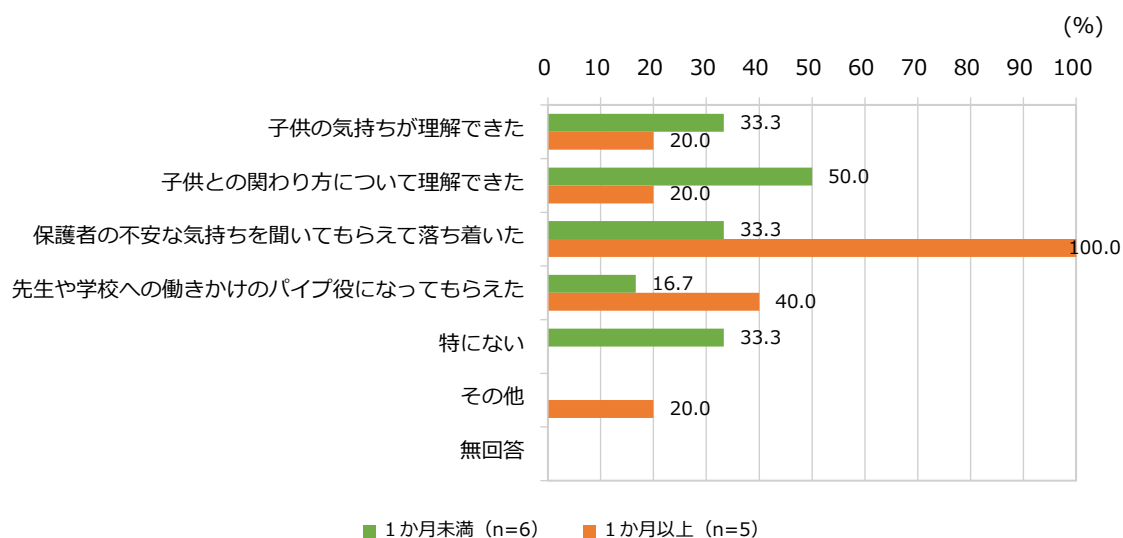
図表 3-297 相談してよかった理由（保護者）

（特別支援学校、n=12）



図表 3-298 相談してよかった理由（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）



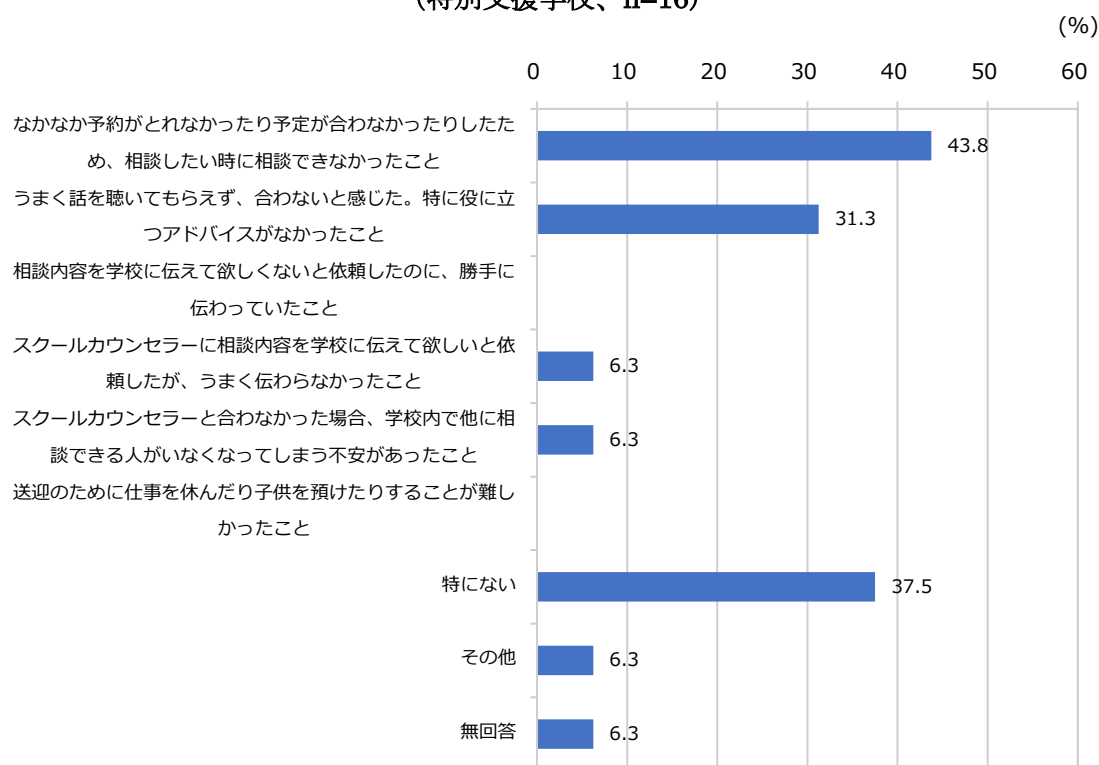
④相談した際に困ったこと（保護者）

16-3 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した際に困ったこととは何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールカウンセラーに相談した際に困ったことについてみると、特別支援学校では、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」の割合が43.8%と最も高い。次いで、「特にない」を除くと、「うまく話を聞いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと（31.3%）」となっている。

図表 3-299 相談した際に困ったこと（保護者）

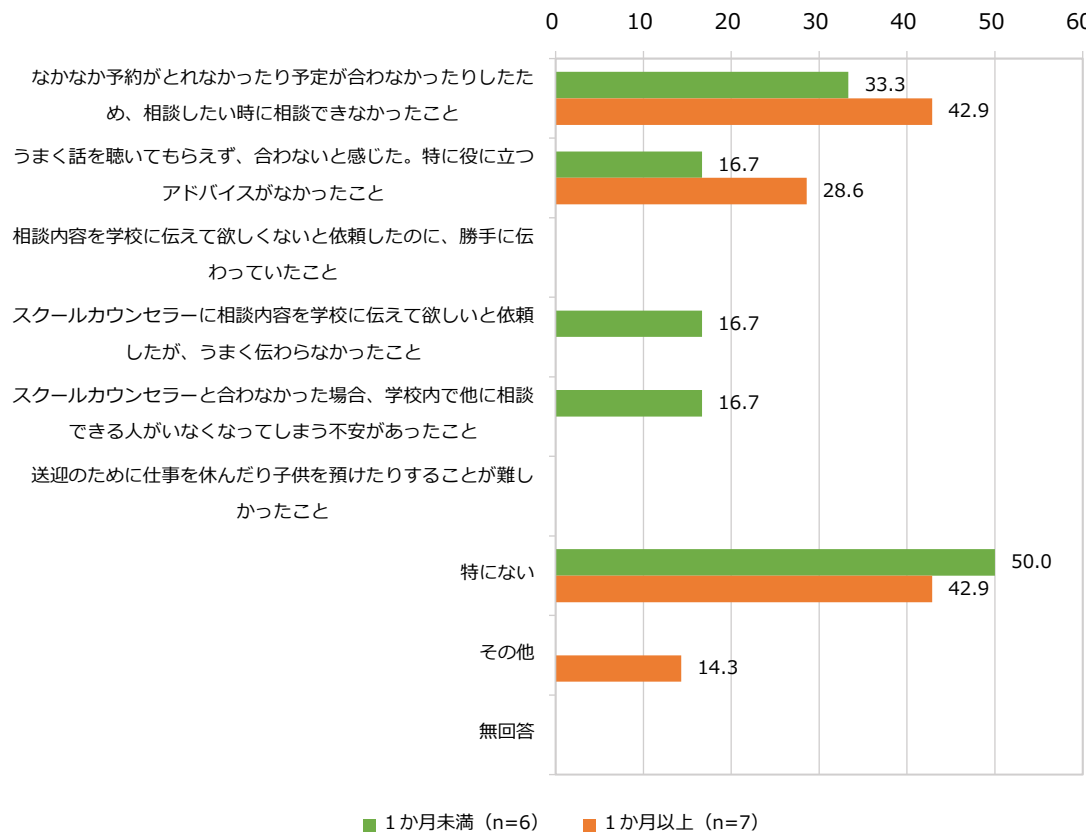
（特別支援学校、n=16）



図表 3-300 相談した際に困ったこと（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）

(%)

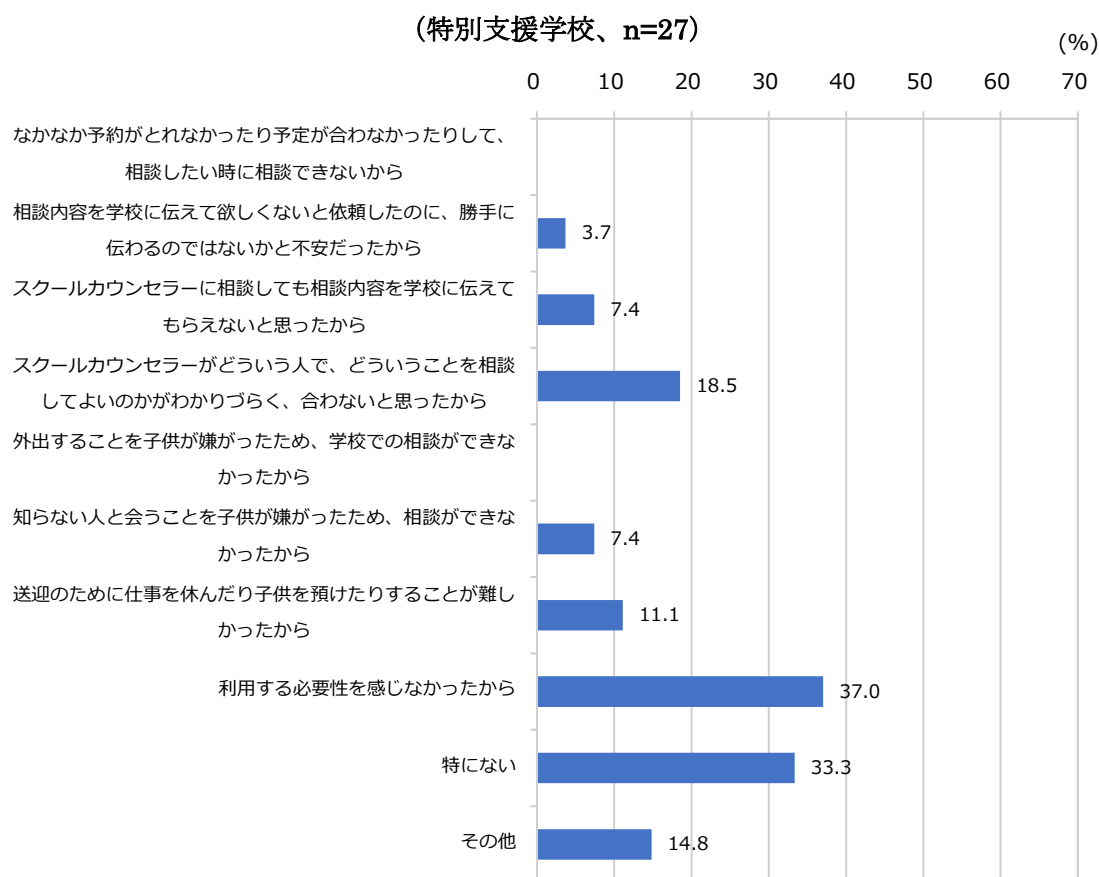


⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

16-4 16で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

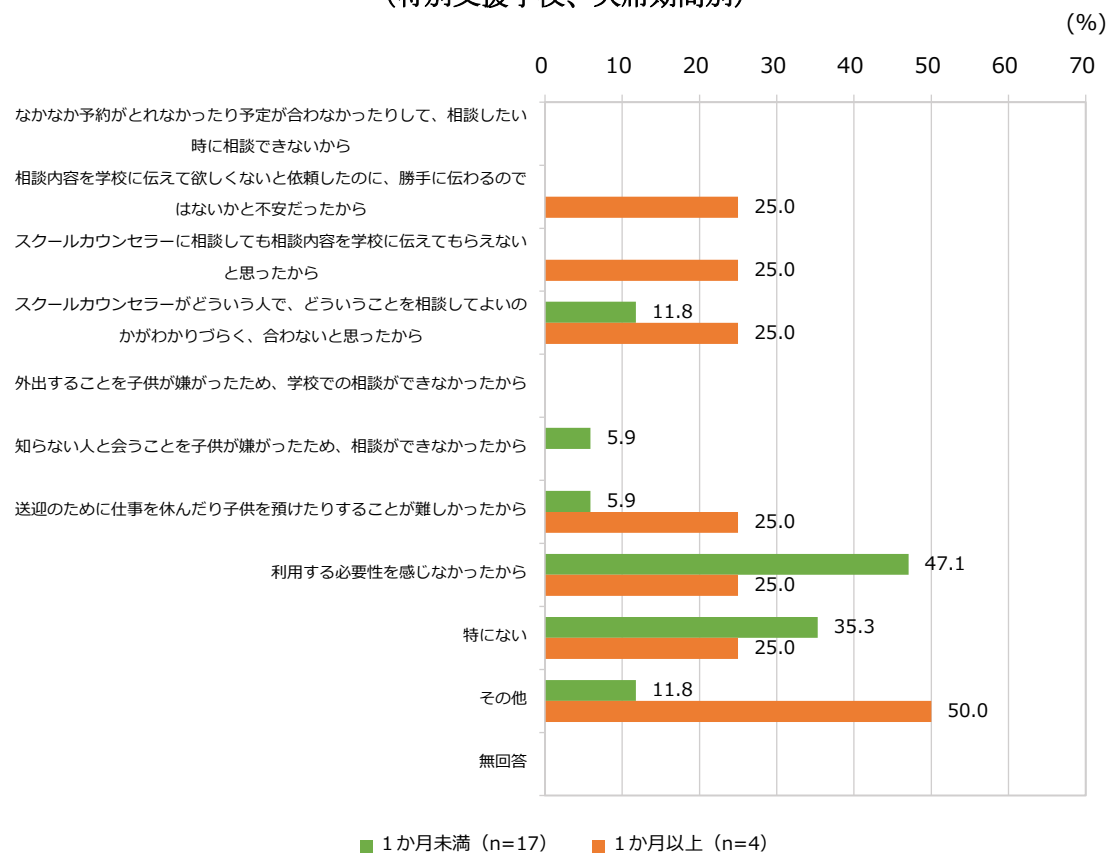
保護者がスクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、特別支援学校では、「利用する必要性を感じなかったから」が37.0%と最も高い。

図表 3-301 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）



図表 3-302 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）



3-4-6 子どものスクールソーシャルワーカーへの相談

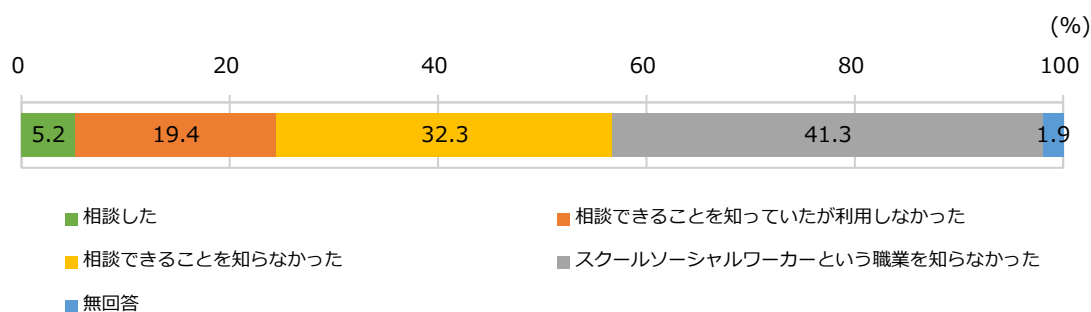
(1) 小学校

① 相談状況 (子ども)

17 お子さまはスクールソーシャルワーカーへの相談をしましたか。(複数回答)。

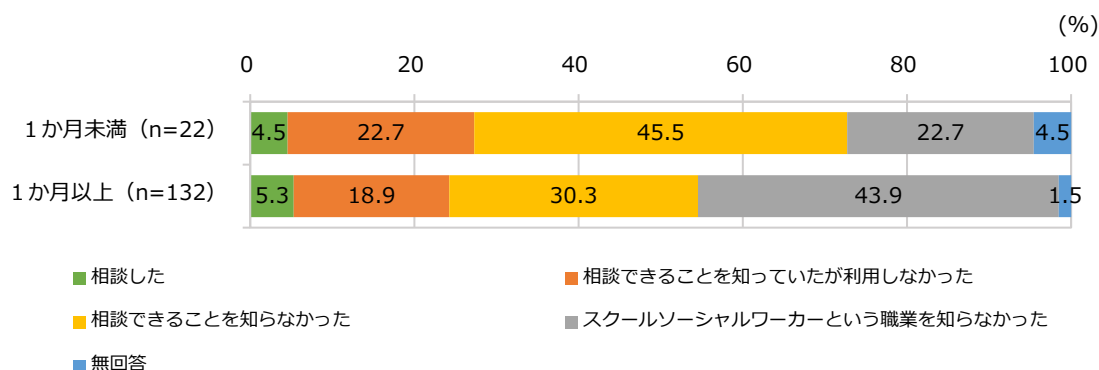
子どものスクールソーシャルワーカーへの相談についてみると、小学校では、「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」が41.3%と最も高い。

図表 3-303 スクールソーシャルワーカーへの相談 (子ども)
(小学校、n=155)



欠席期間別にみると、小学校では、1か月以上で「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」の割合が43.9%と、1か月未満(22.7%)と比べ高い。

図表 3-304 スクールソーシャルワーカーへの相談 (子ども)
(小学校、欠席期間別)



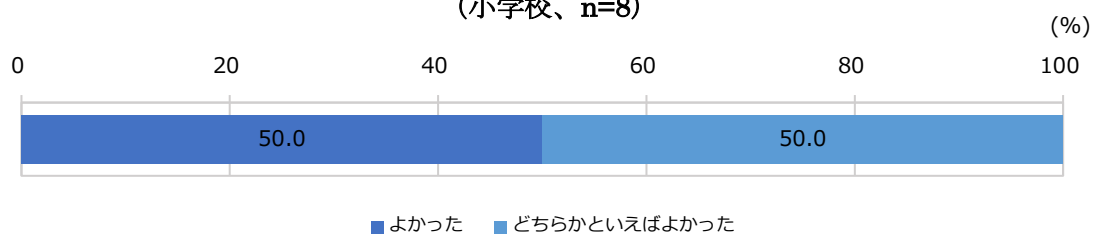
②相談した感想（子ども）

17-1 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談した感想についてみると、小学校では以下のとおりである。

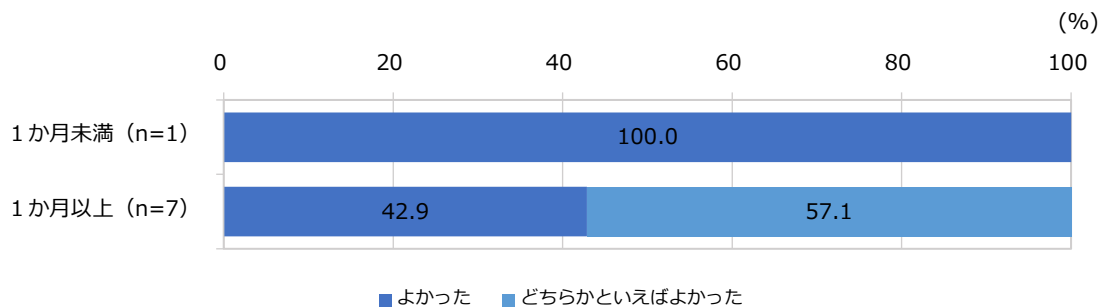
図表 3-305 相談した感想（子ども）

（小学校、n=8）



図表 3-306 相談した感想（子ども）

（小学校、欠席期間別）

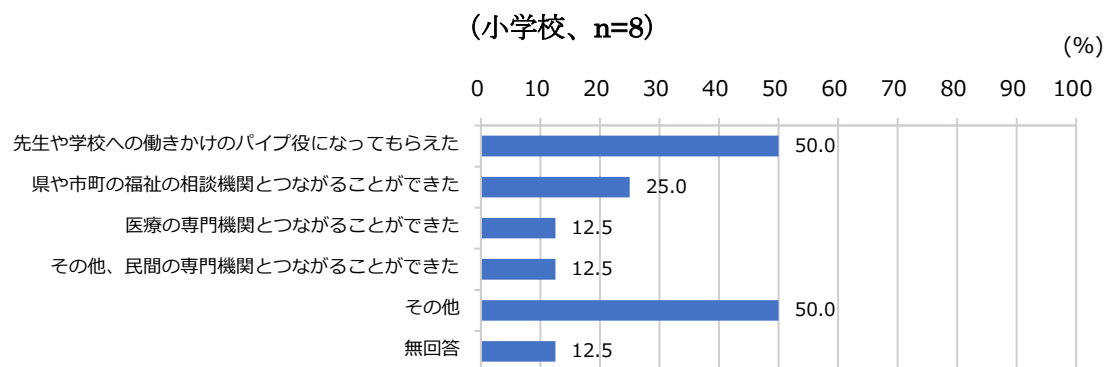


③ 相談してよかった理由（子ども）

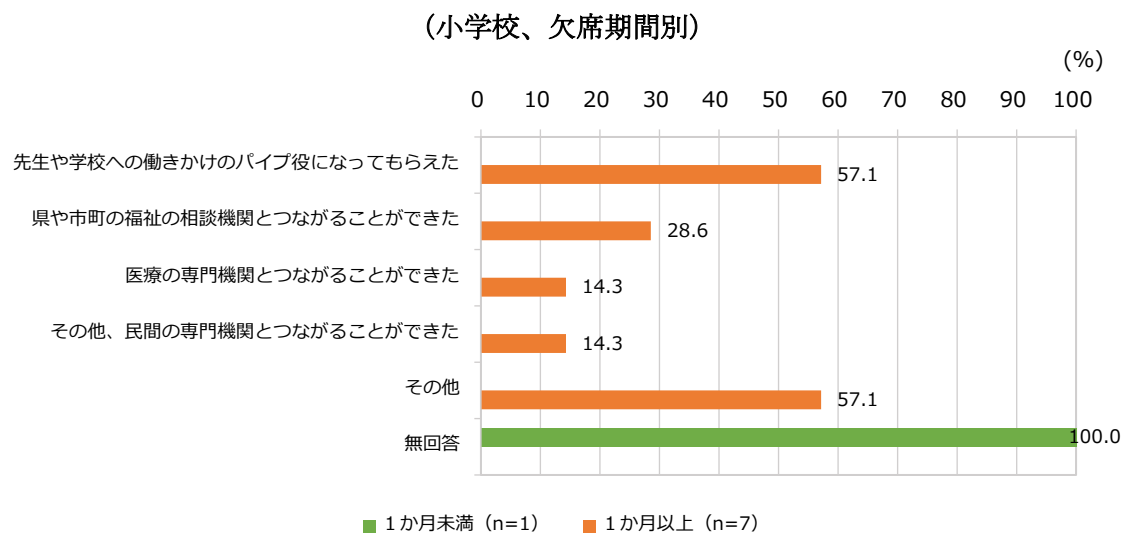
17-2 17-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由についてみると、小学校では以下のとおりである。

図表 3-307 相談してよかった理由（子ども）



図表 3-308 相談してよかった理由（子ども）

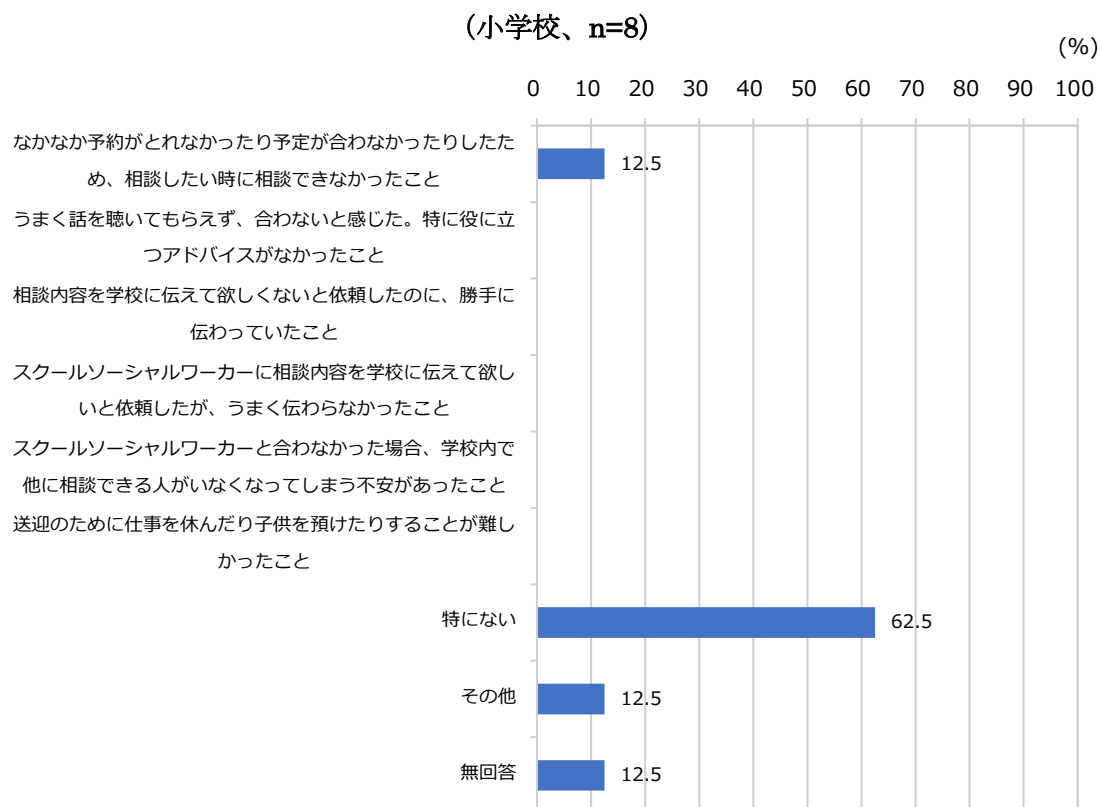


④相談した際に困ったこと（子ども）

17-3 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。（複数回答）。

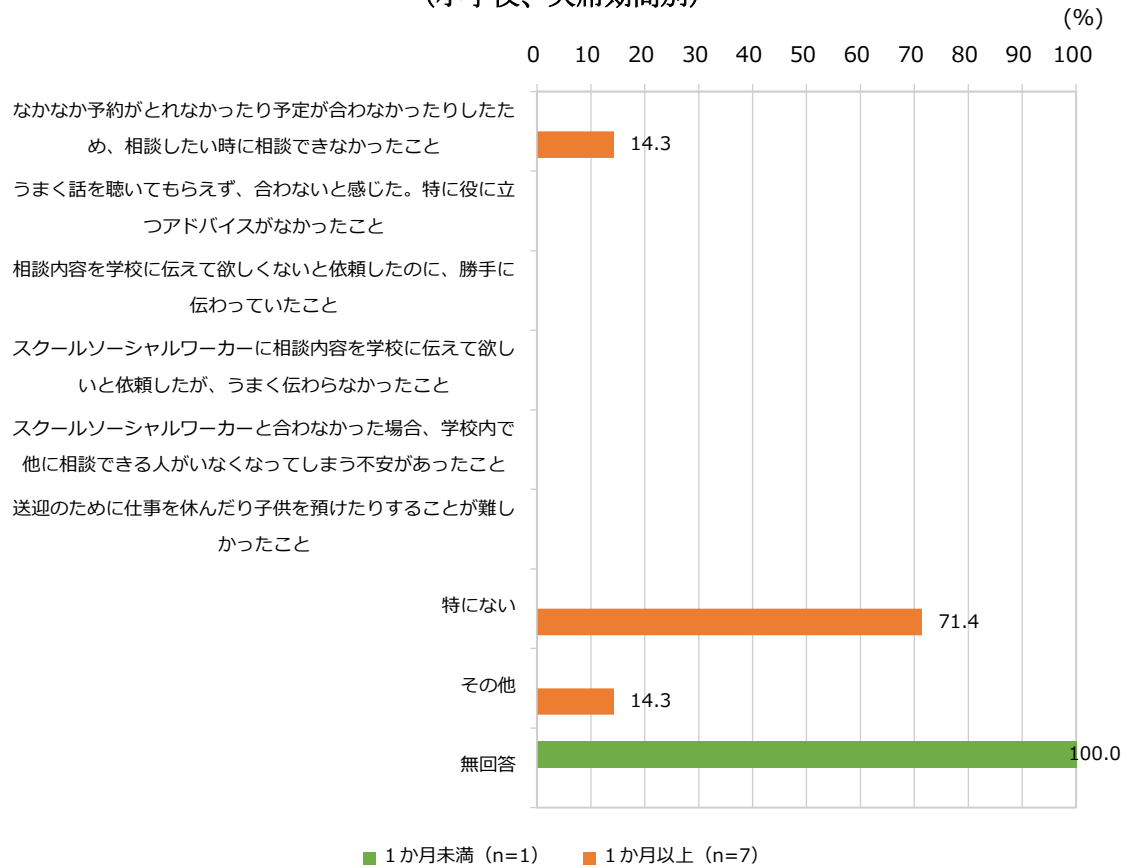
子どもがスクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことについてみると、小学校では、以下のとおりである。

図表 3-309 相談した際に困ったこと（子ども）



図表 3-310 相談した際に困ったこと（子ども）

（小学校、欠席期間別）



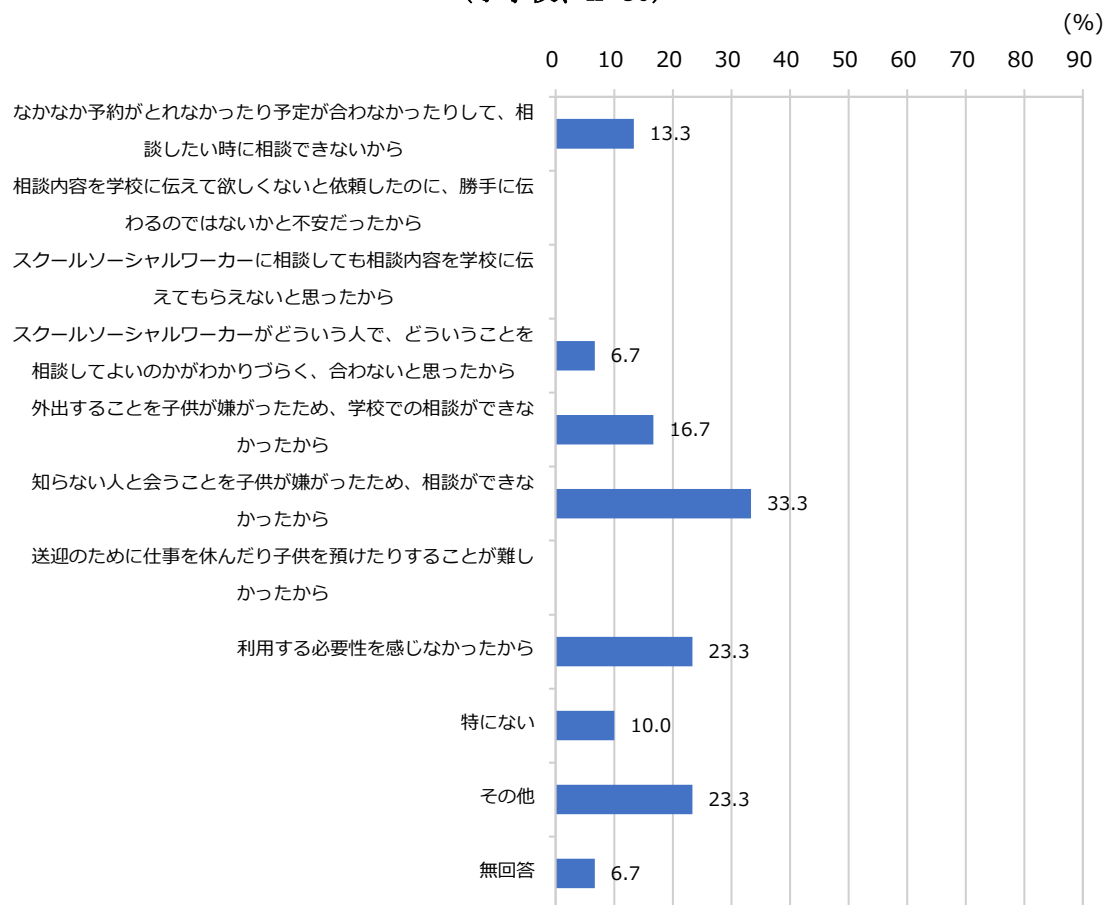
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

17-4 17で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、小学校では、「知らない人と会うことを子供が嫌がったため、相談ができなかったから」が33.3%と最も高い。次いで、「その他」を除くと、「利用する必要性を感じなかったから」の割合が高い。

図表 3-311 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

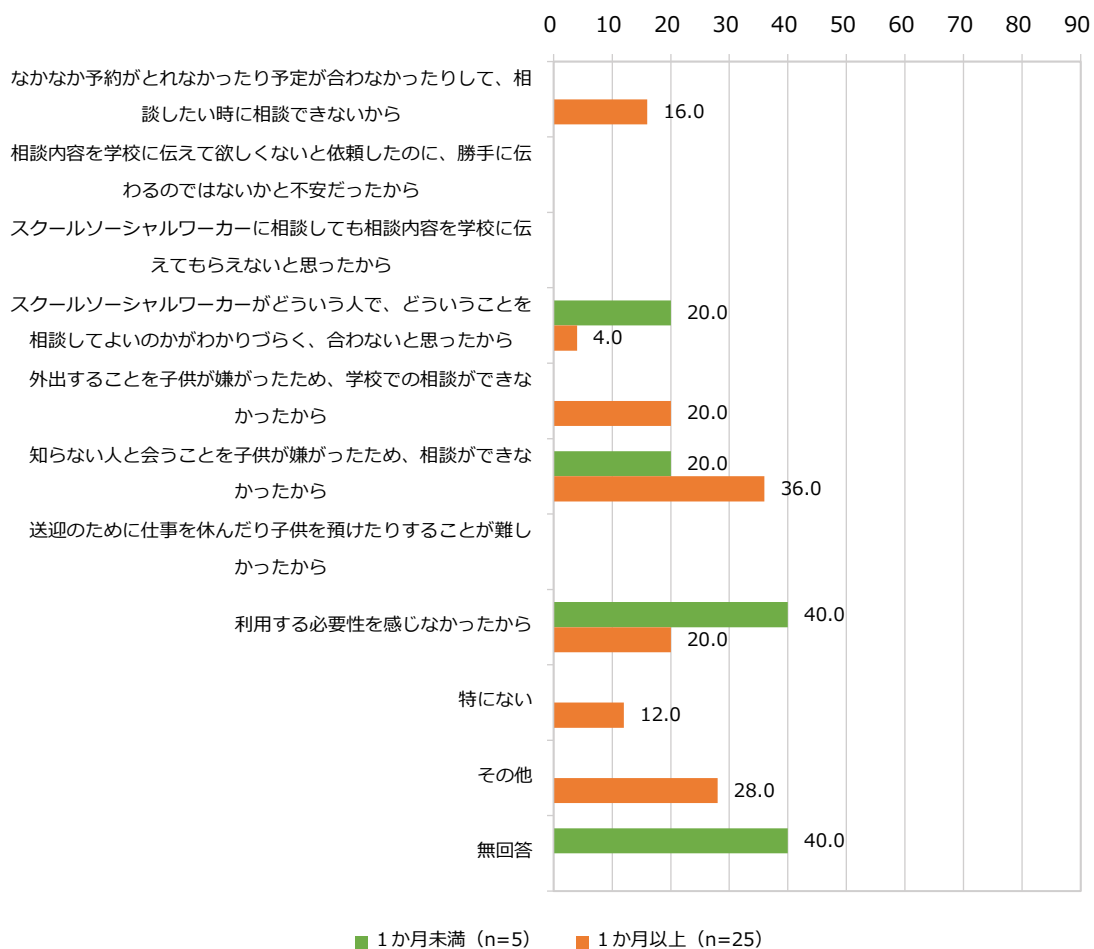
（小学校、n=30）



図表 3-312 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（小学校、欠席期間別）

（%）



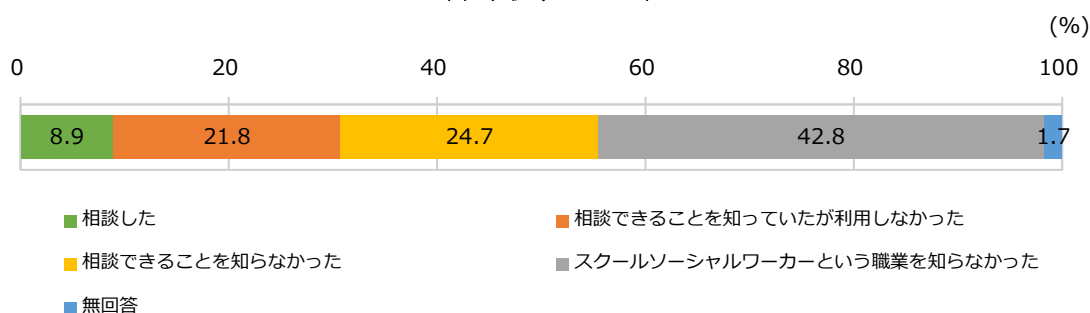
(2)中学校

①相談状況（子ども）

子どものスクールソーシャルワーカーへの相談についてみると、中学校では、「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」が42.8%と最も高い。

図表 3-313 スクールソーシャルワーカーへの相談（子ども）

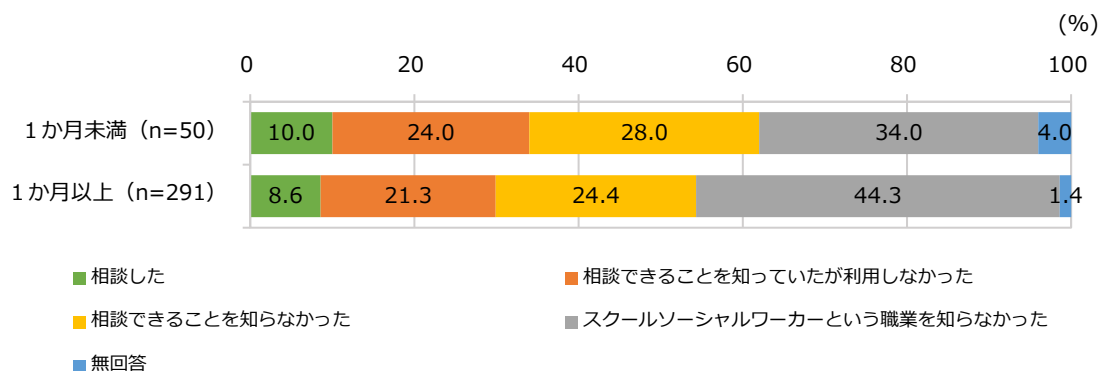
（中学校、n=348）



欠席期間別にみると、中学校では、1か月以上で「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」の割合が44.3%と、1か月未満（34.0%）と比べ高い。

図表 3-314 スクールソーシャルワーカーへの相談（子ども）

（中学校、欠席期間別）



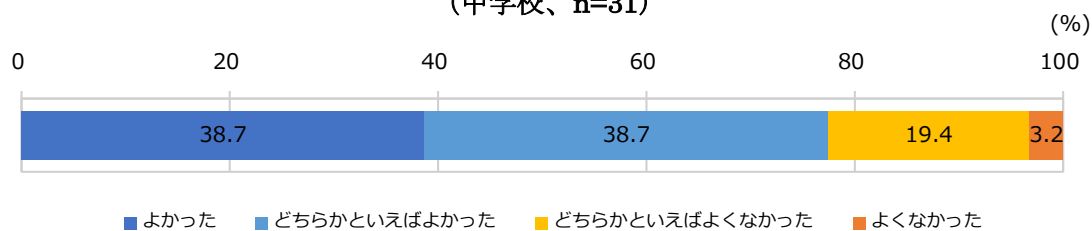
②相談した感想（子ども）

17-1 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談した感想についてみると、中学校では、77.4%が「よかった」もしくは「どちらかといえばよかった」と回答している。

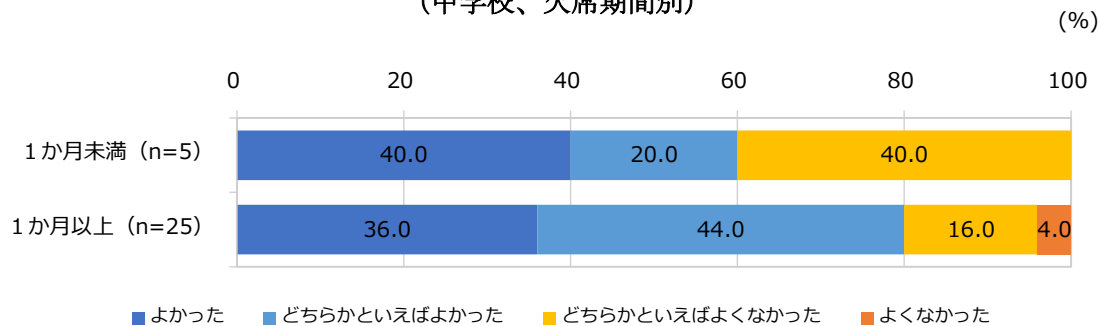
図表 3-315 相談した感想（子ども）

（中学校、n=31）



図表 3-316 相談した感想（子ども）

（中学校、欠席期間別）

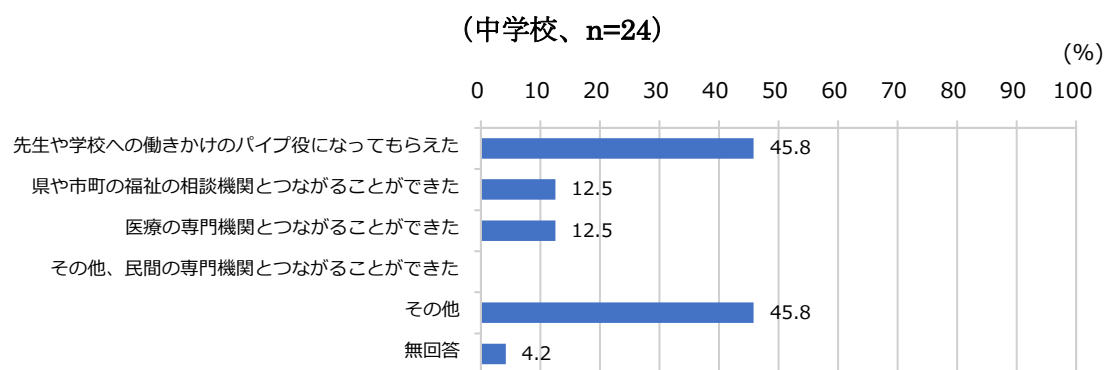


③相談してよかった理由（子ども）

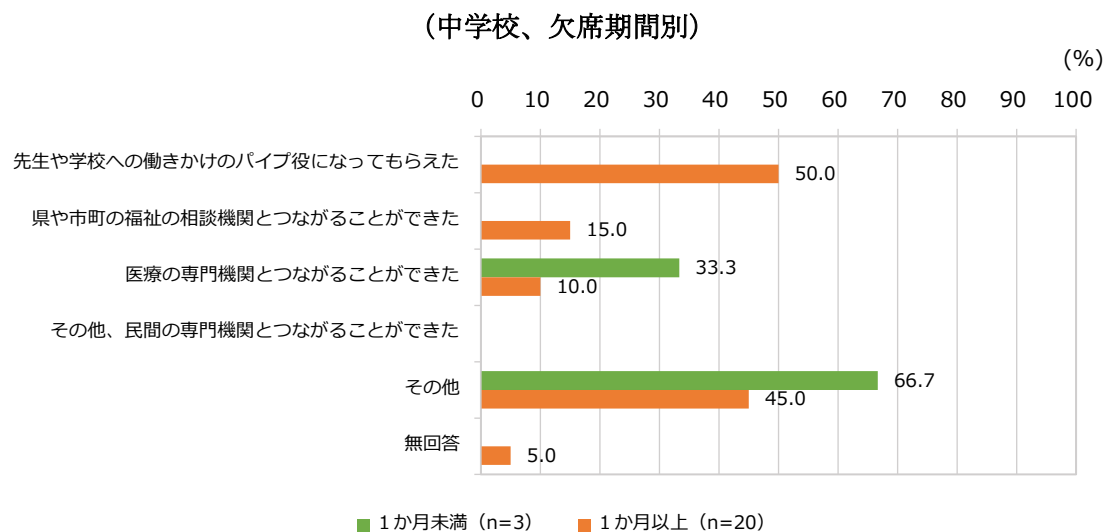
17-2 17-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由についてみると、中学校では、「その他」を除くと、「先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらえた」の割合が45.8%と最も高い。

図表 3-317 相談してよかった理由（子ども）



図表 3-318 相談してよかった理由（子ども）



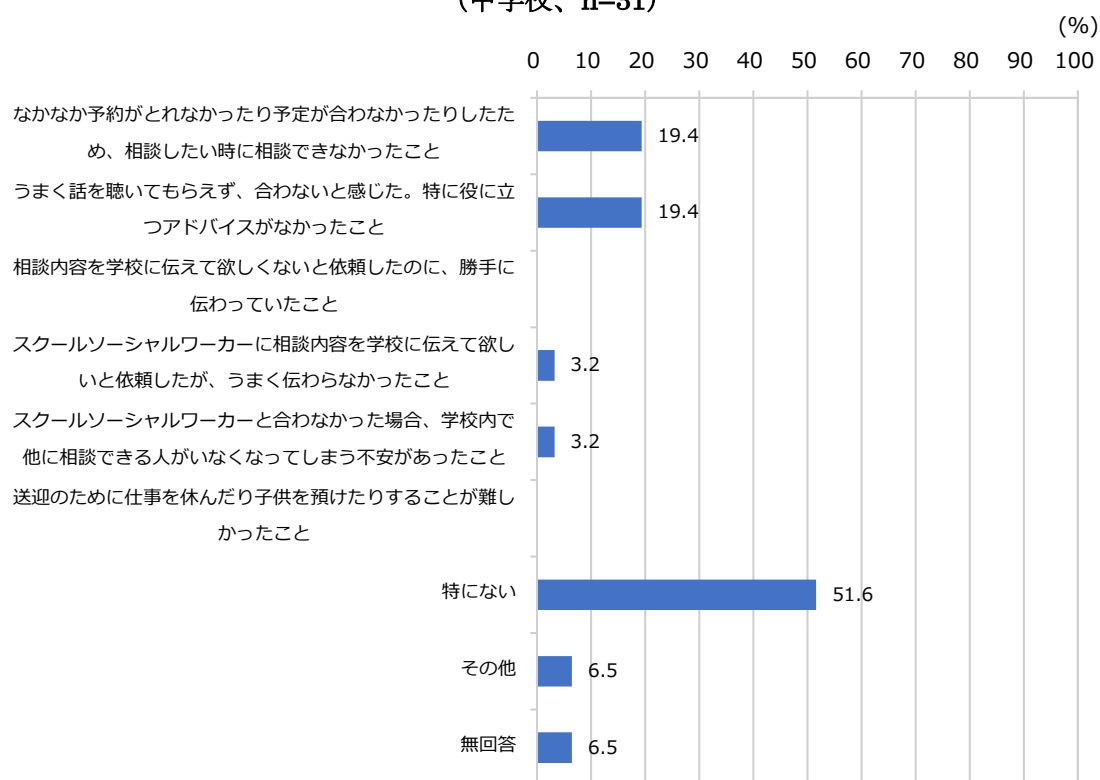
④相談した際に困ったこと（子ども）

17-3 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことについてみると、中学校では、「特にない」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」と「うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと」の割合が高い。

図表 3-319 相談した際に困ったこと（子ども）

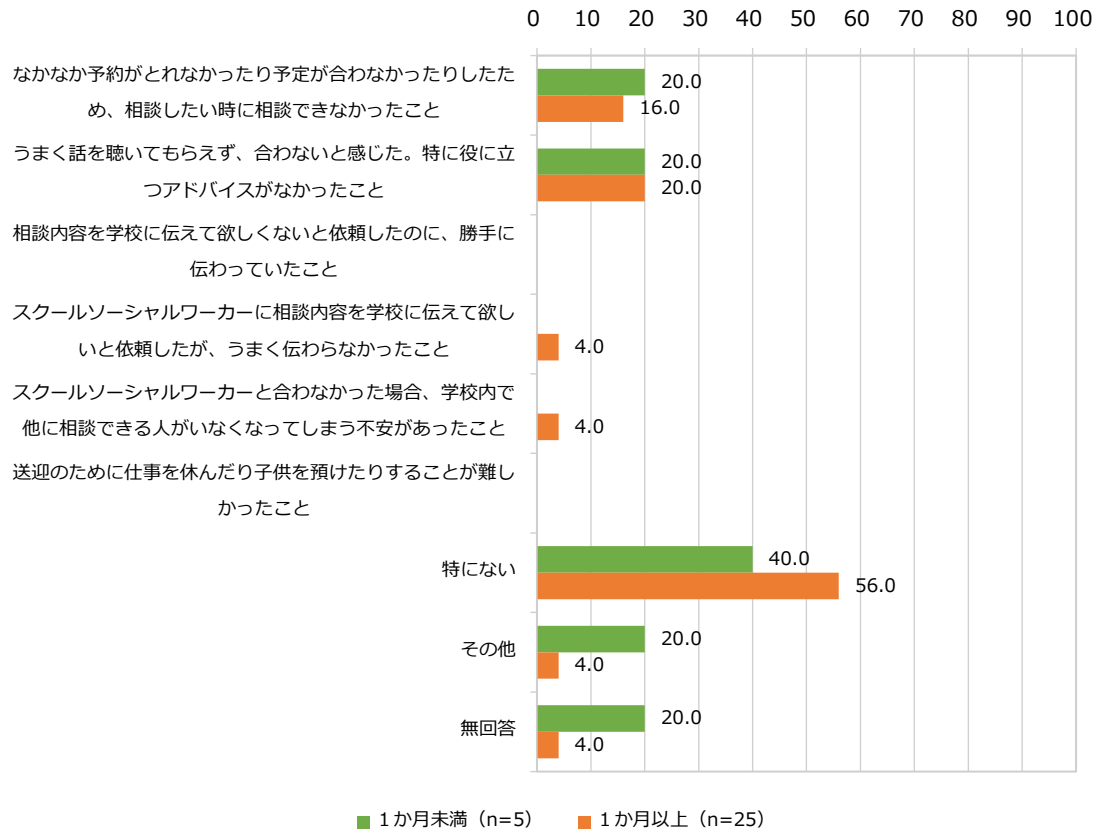
（中学校、n=31）



図表 3-320 相談した際に困ったこと（子ども）

（中学校、欠席期間別）

(%)



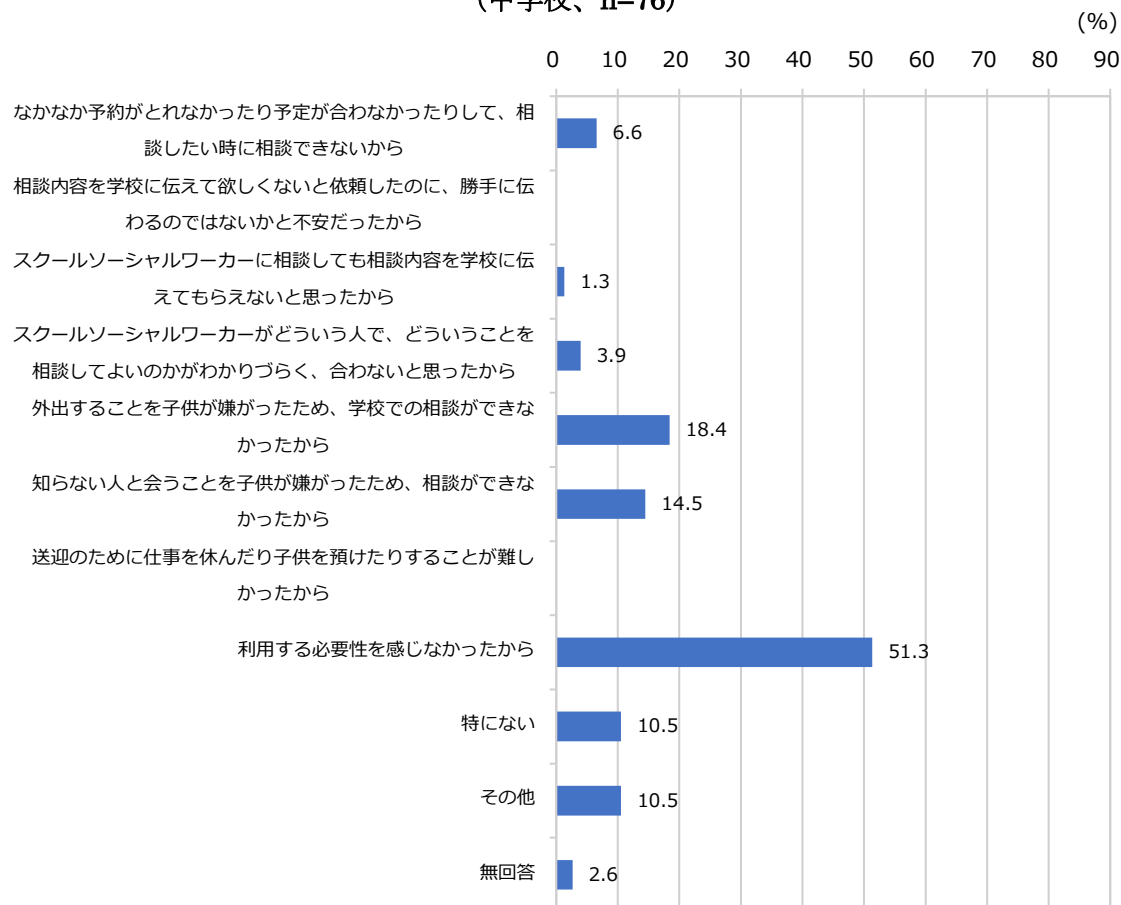
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

17-4 17で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、中学校では、「利用する必要性を感じなかったから」が51.3%と最も高い。

図表 3-321 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

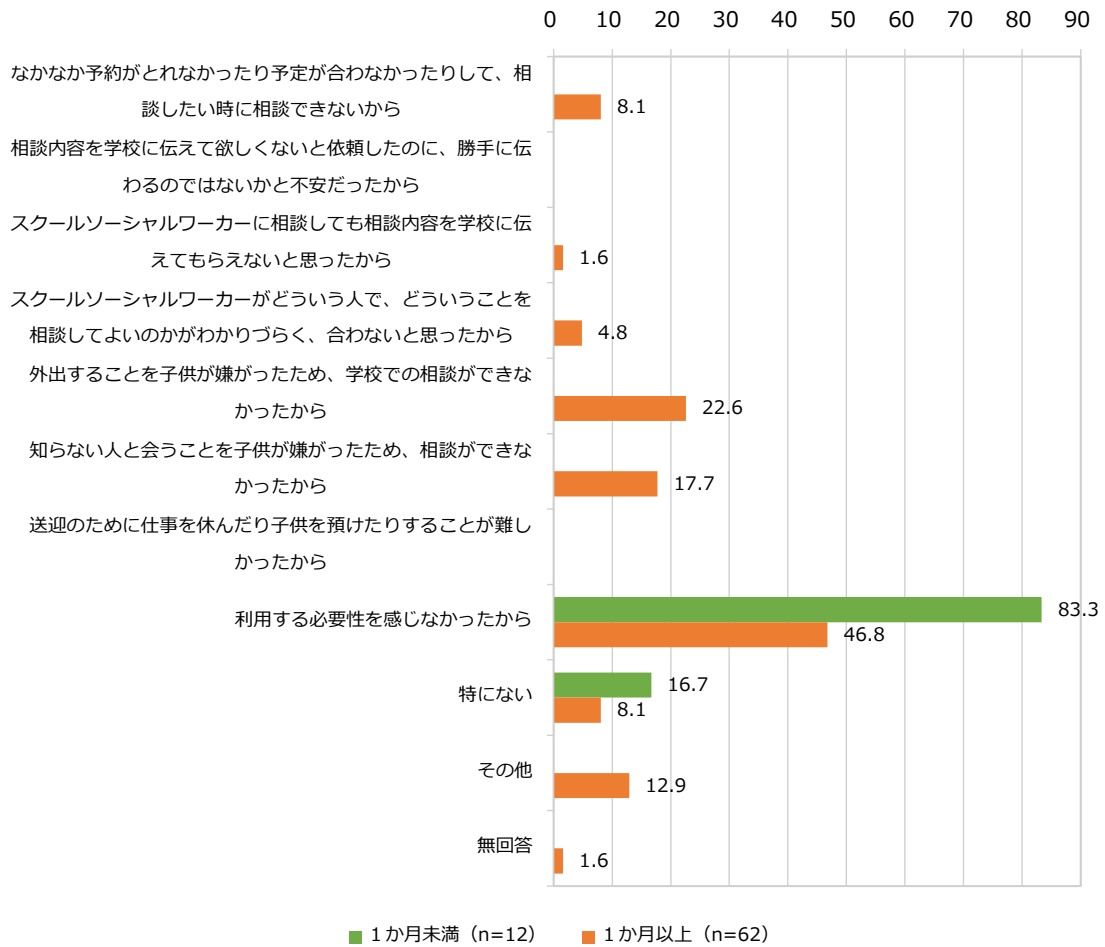
（中学校、n=76）



図表 3-322 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（中学校、欠席期間別）

(%)

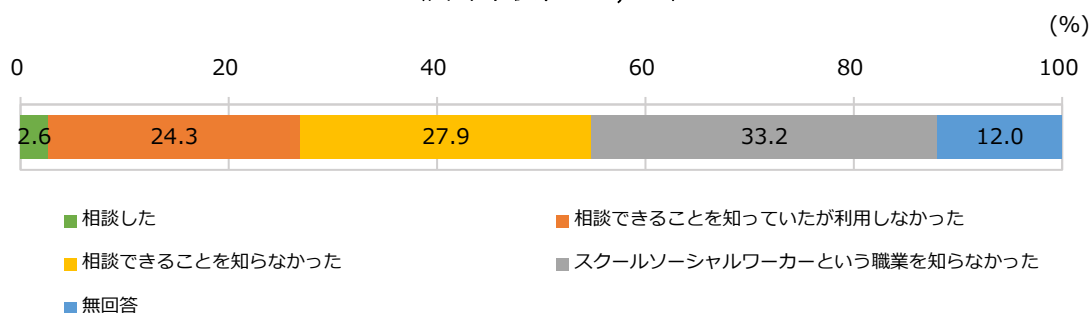


(3) 高等学校

① 相談状況（子ども）

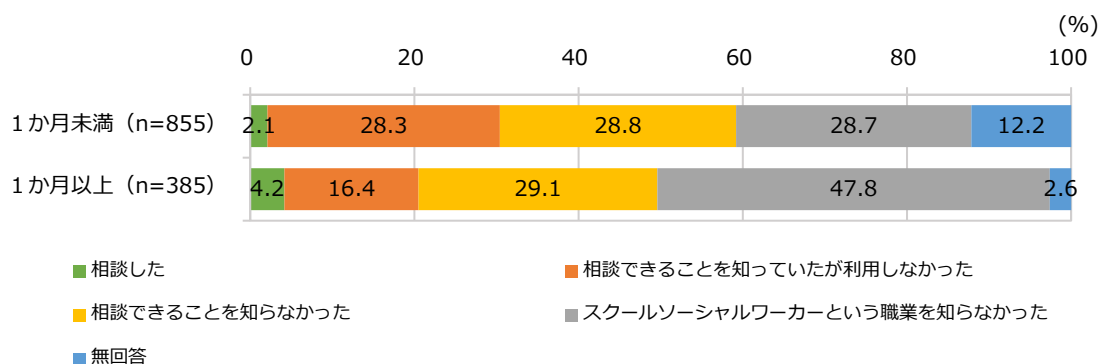
子どものスクールソーシャルワーカーへの相談についてみると、高等学校では、「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」が33.2%と最も高い。

図表 3-323 スクールソーシャルワーカーへの相談（子ども）
（高等学校、n=1,369）



欠席期間別にみると、高等学校では、1か月以上で「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」の割合が47.8%と、1か月未満（28.7%）と比べ高い。

図表 3-324 スクールソーシャルワーカーへの相談（子ども）
（高等学校、欠席期間別）



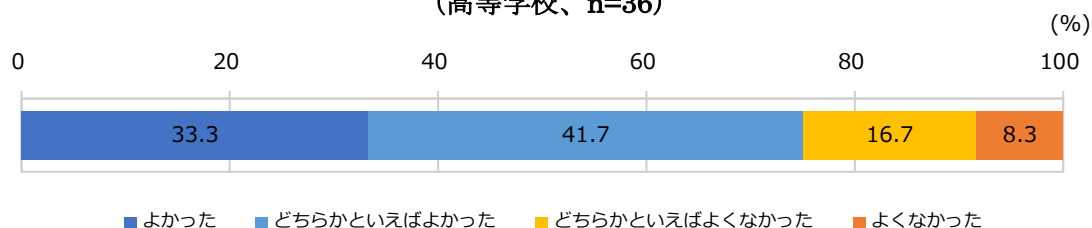
②相談した感想（子ども）

17-1 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談した感想についてみると、高等学校では、75.0%が「よかった」もしくは「どちらかといえばよかった」と回答している。

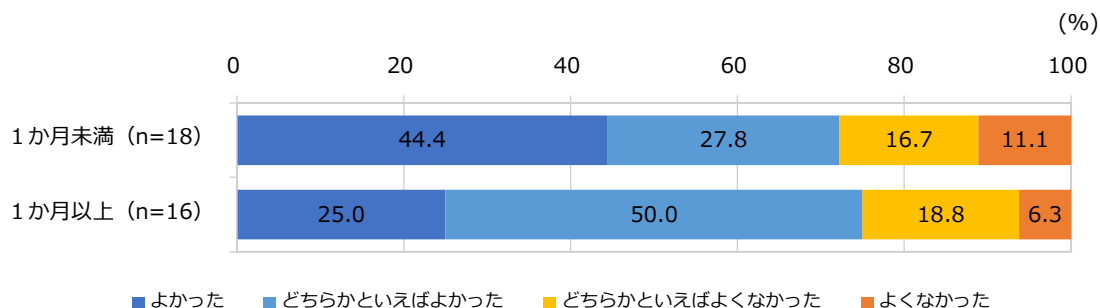
図表 3-325 相談した感想（子ども）

（高等学校、n=36）



図表 3-326 相談した感想（子ども）

（高等学校、欠席期間別）



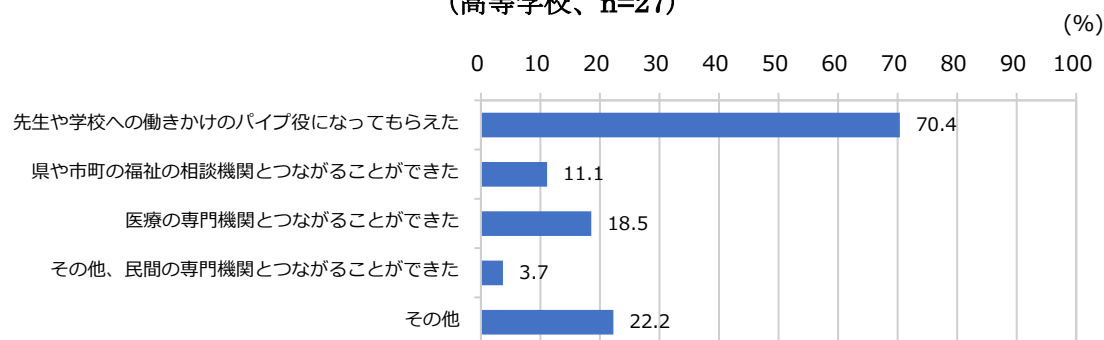
③相談してよかった理由（子ども）

17-2 17-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由についてみると、高等学校では、「先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらった」の割合が 70.4%と最も高い。

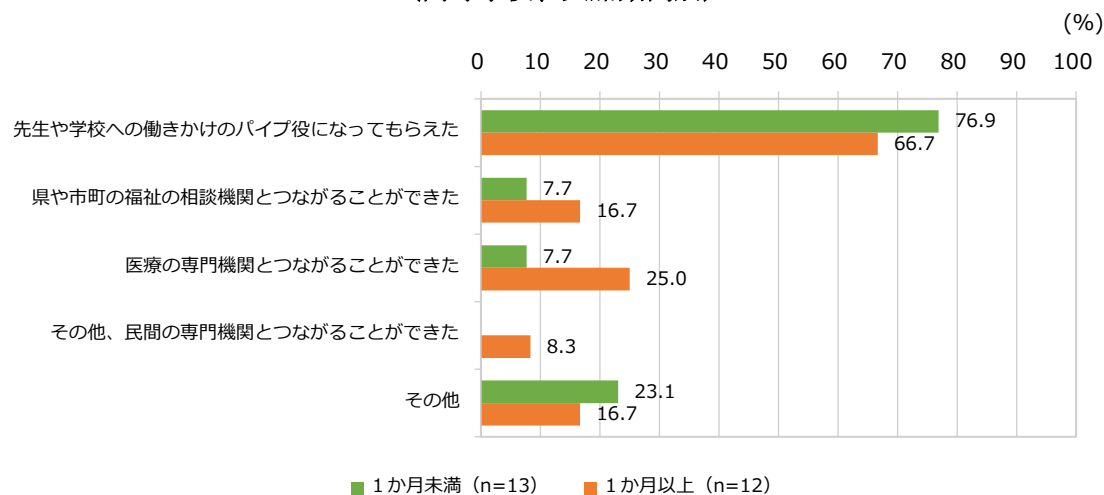
図表 3-327 相談してよかった理由（子ども）

（高等学校、n=27）



図表 3-328 相談してよかった理由（子ども）

（高等学校、欠席期間別）



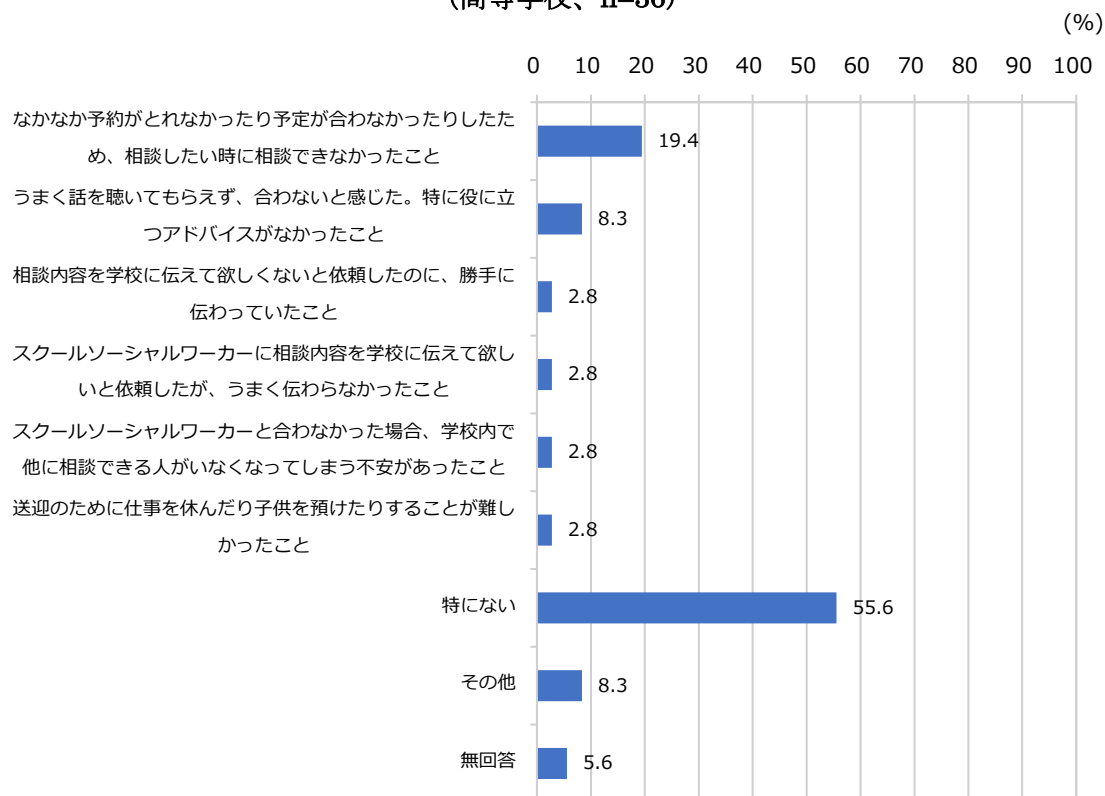
④相談した際に困ったこと（子ども）

17-3 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことについてみると、高等学校では、「特にない」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」の割合が高い。

図表 3-329 相談した際に困ったこと（子ども）

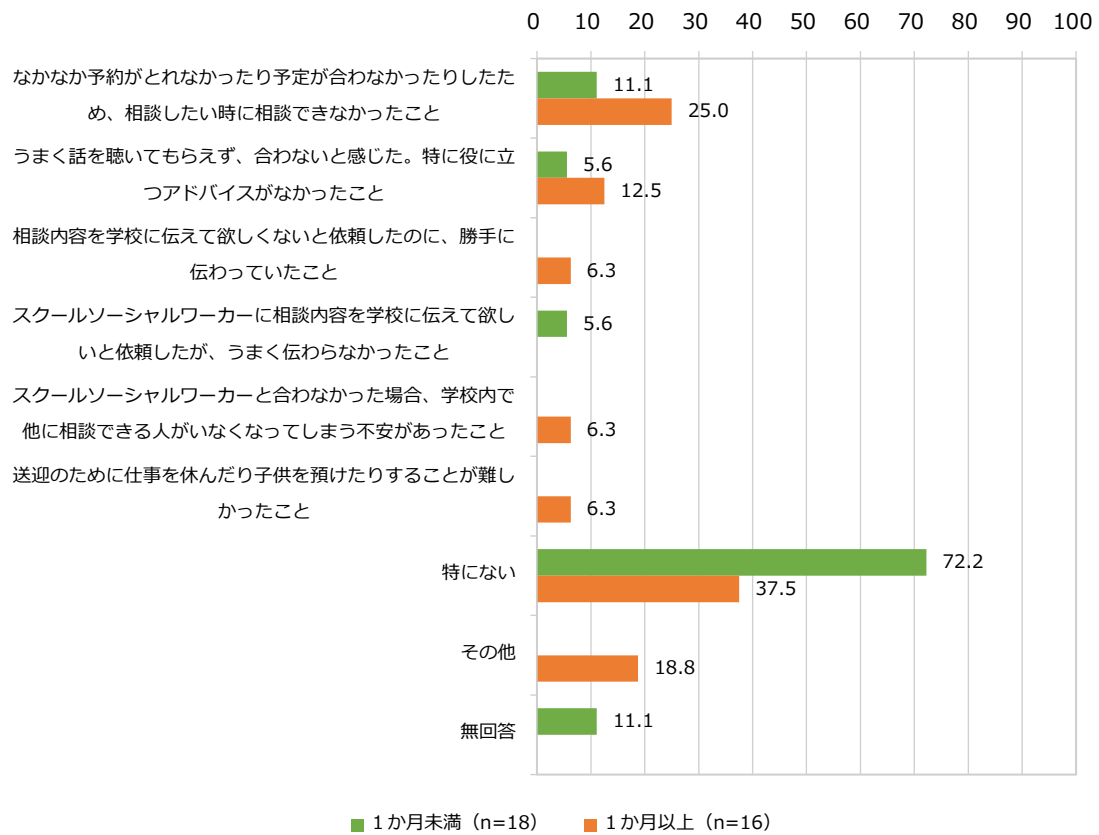
（高等学校、n=36）



図表 3-330 相談した際に困ったこと（子ども）

（高等学校、欠席期間別）

(%)



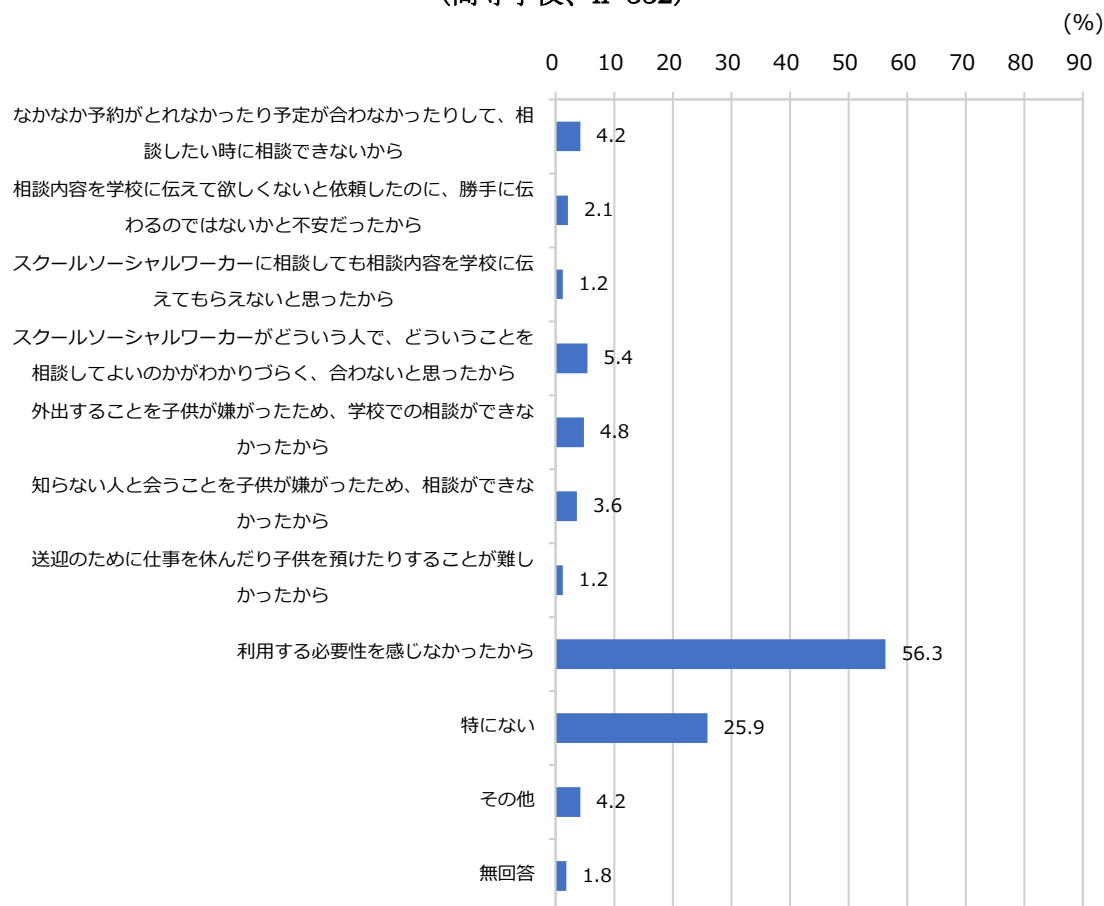
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

17-4 17で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、高等学校では、「利用する必要性を感じなかったから」が56.3%と最も高い。

図表 3-331 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

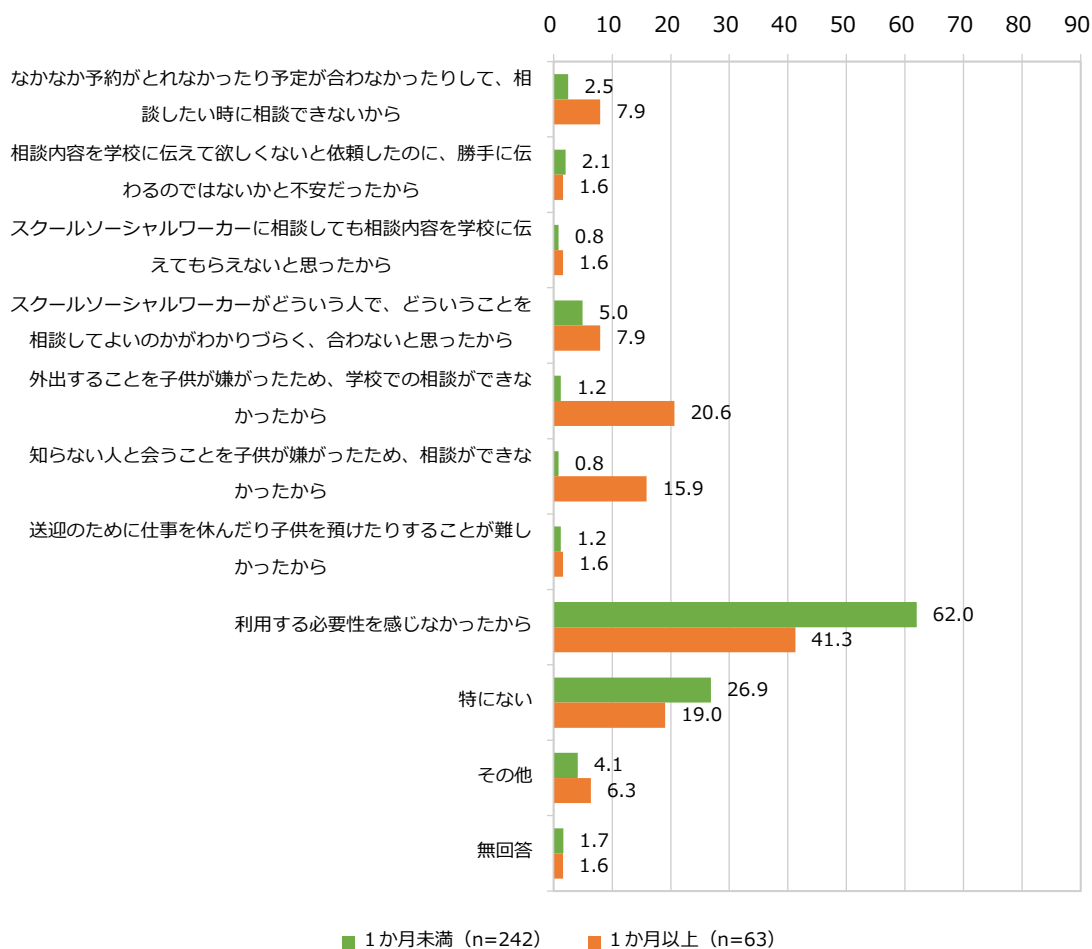
（高等学校、n=332）



図表 3-332 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（高等学校、欠席期間別）

(%)

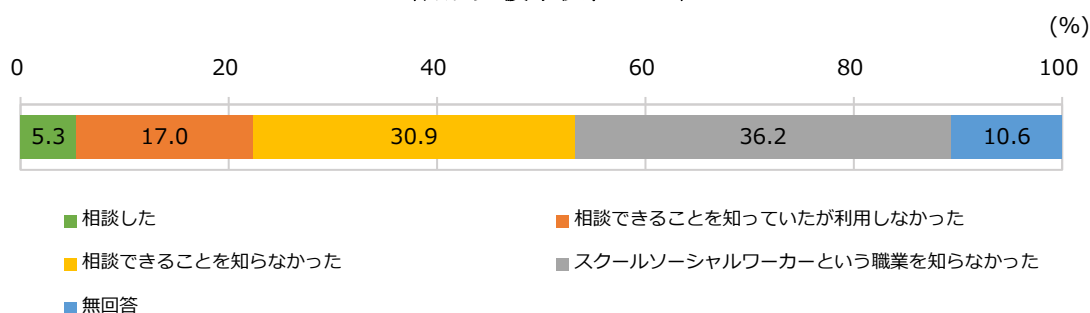


(4)特別支援学校

①相談状況（子ども）

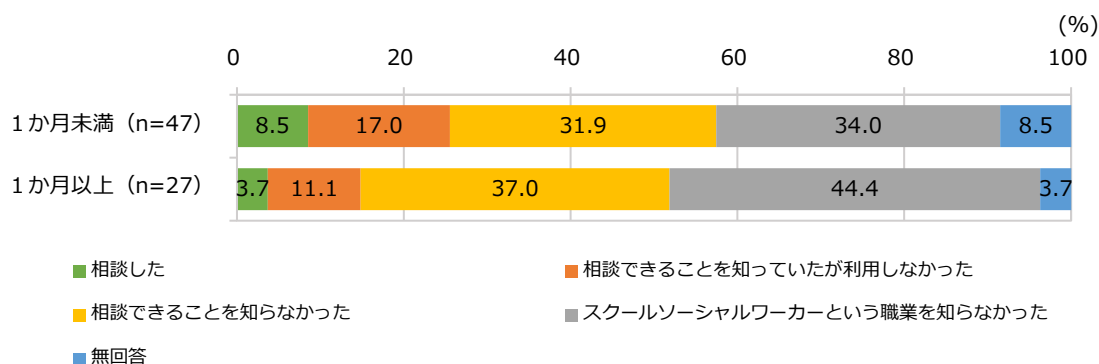
子どものスクールソーシャルワーカーへの相談についてみると、特別支援学校では、「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」が36.2%と最も高い。

図表 3-333 スクールソーシャルワーカーへの相談（子ども）
（特別支援学校、n=94）



欠席期間別にみると、高等学校では、1か月以上で「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」の割合が44.4%と、1か月未満（34.0%）と比べ高い。

図表 3-334 スクールソーシャルワーカーへの相談（子ども）
（特別支援学校、欠席期間別）



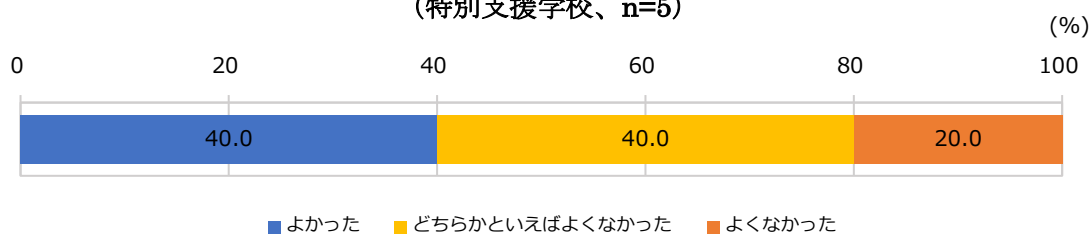
②相談した感想（子ども）

17-1 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談した感想についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

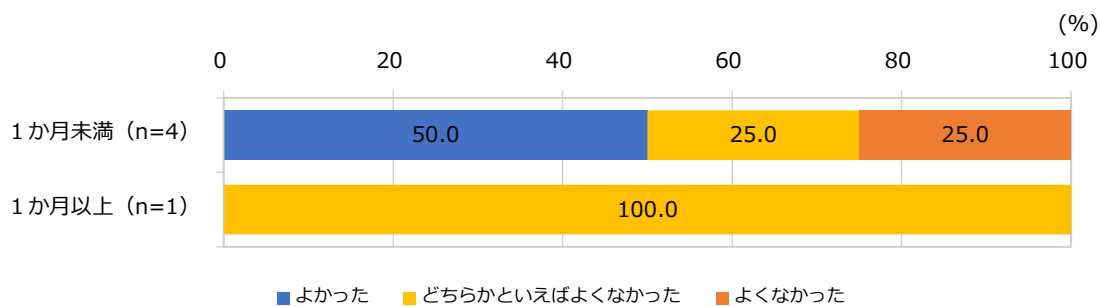
図表 3-335 相談した感想（子ども）

（特別支援学校、n=5）



図表 3-336 相談した感想（子ども）

（特別支援学校、欠席期間別）



③相談してよかった理由（子ども）

17-2 17-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談してよかったについてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

図表 3-337 相談してよかった理由（子ども）

（特別支援学校、n=2、1か月未満のみ）



④ 相談した際に困ったこと（子ども）

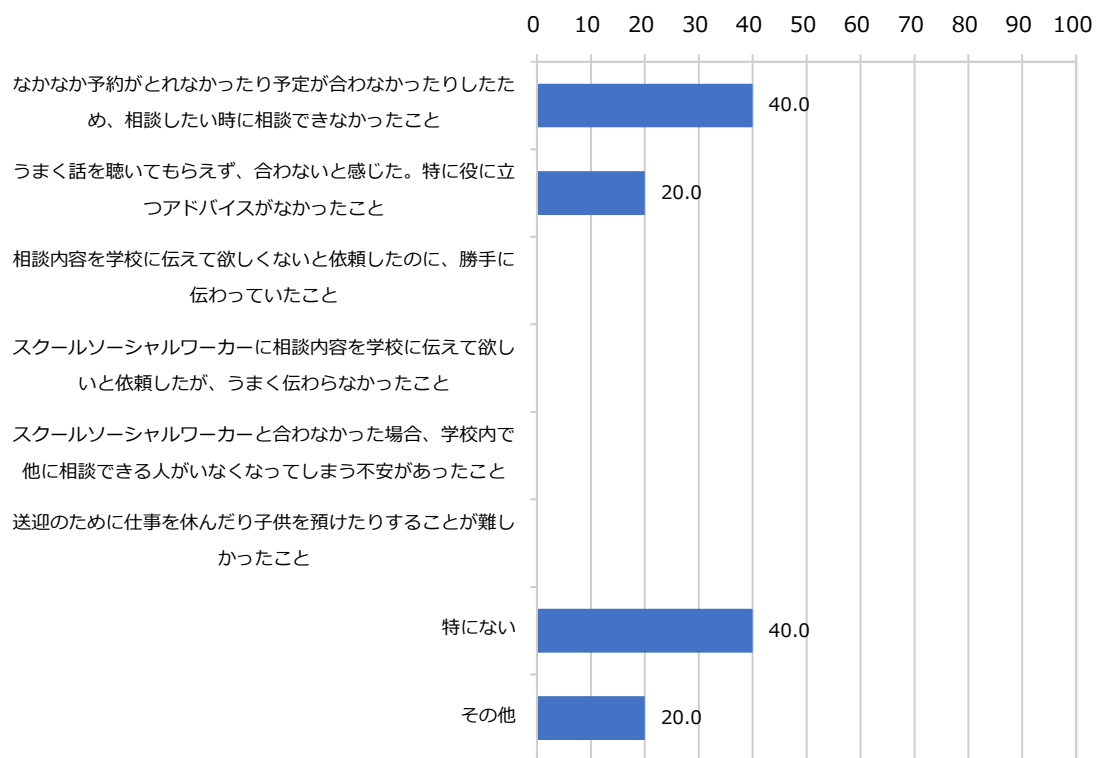
17-3 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことについてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

図表 3-338 相談した際に困ったこと（子ども）

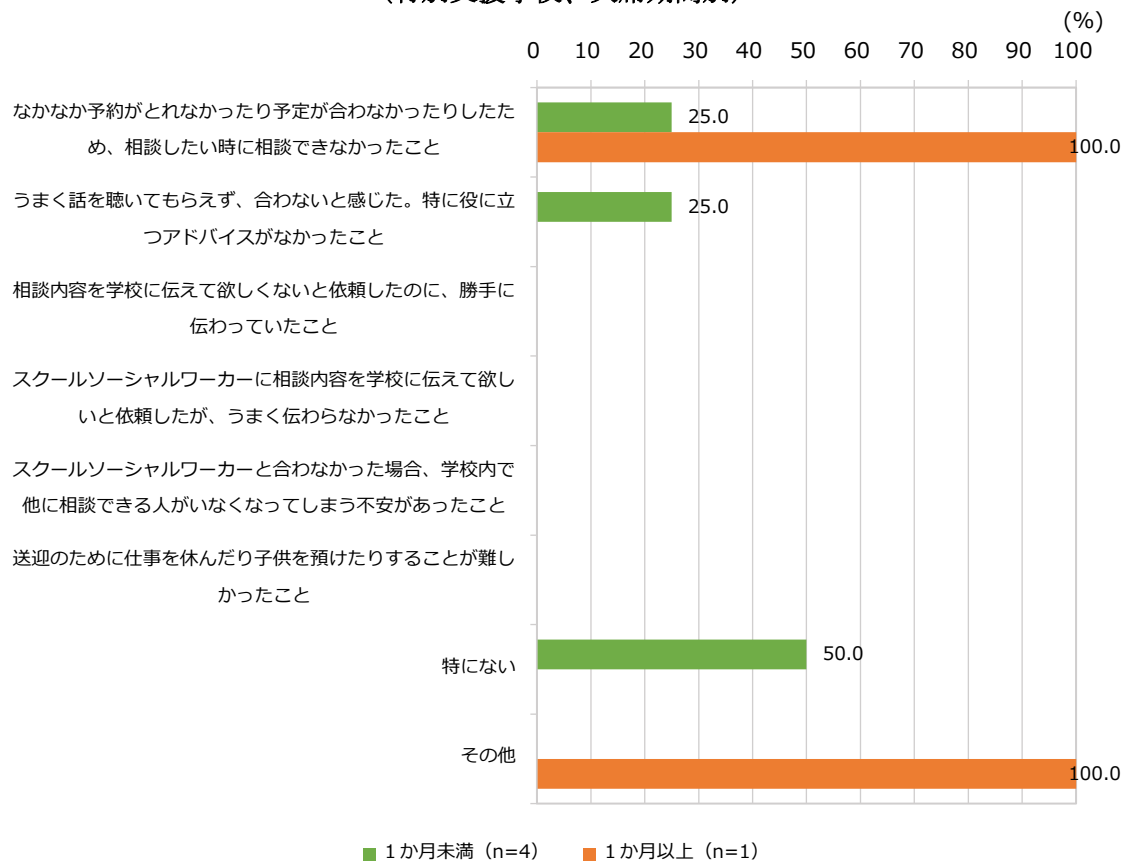
（特別支援学校、n=5）

(%)



図表 3-339 相談した際に困ったこと（子ども）

（特別支援学校、欠席期間別）



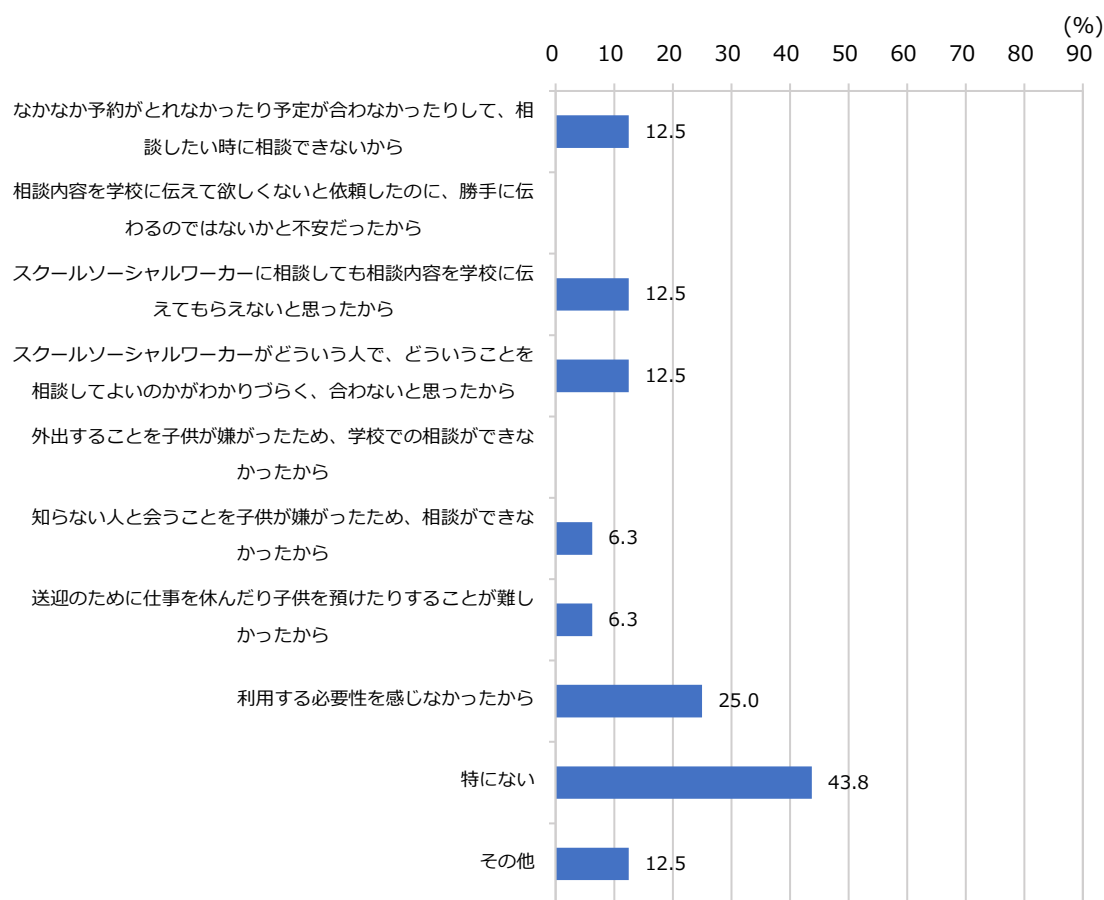
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

17-4 17で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

子どもがスクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

図表 3-340 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

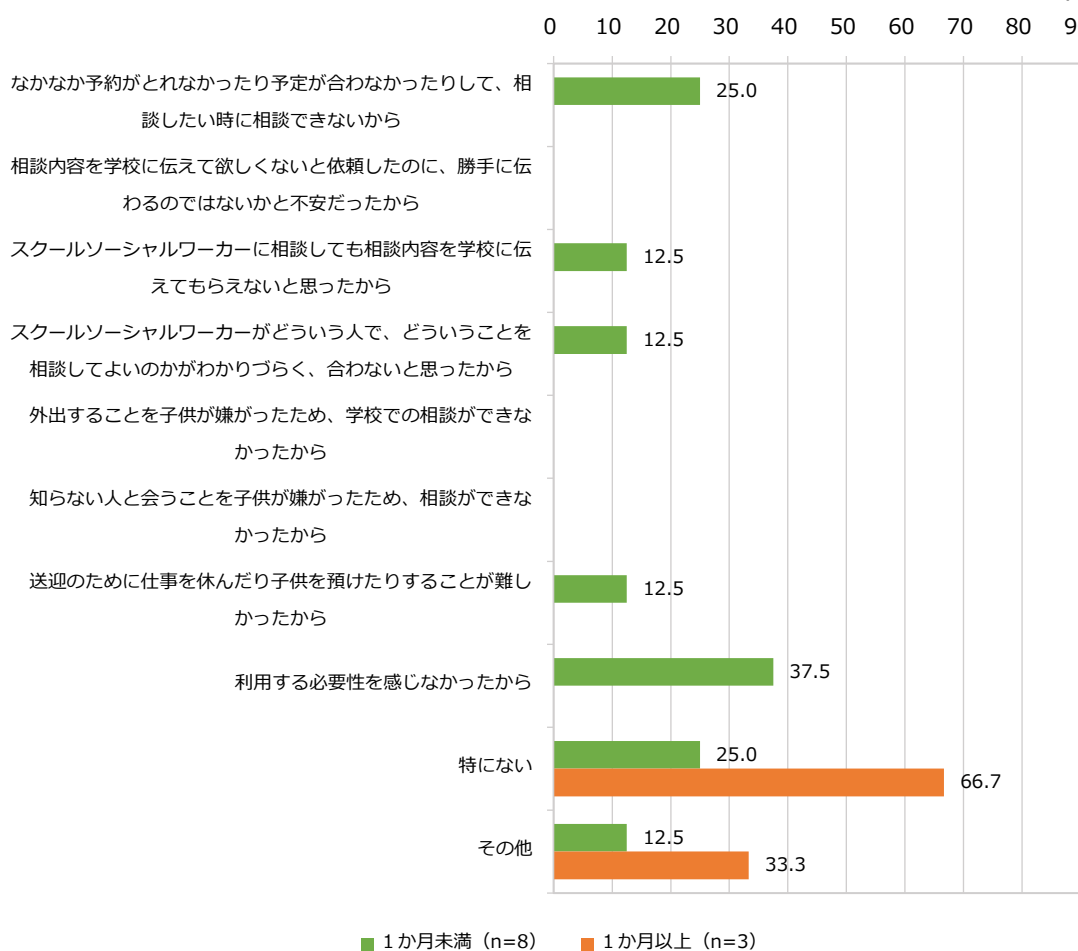
（特別支援学校、n=16）



図表 3-341 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（子ども）

（特別支援学校、欠席期間別）

(%)



3-4-7 保護者のスクールソーシャルワーカーへの相談

(1) 小学校

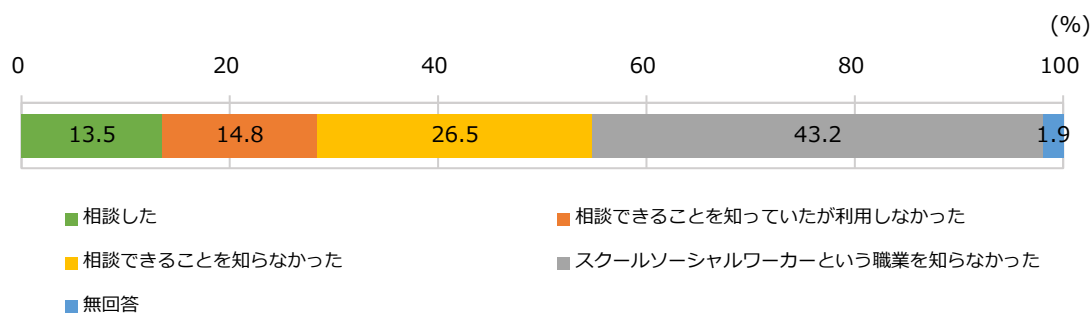
① 相談状況（保護者）

18 保護者はスクールソーシャルワーカーへの相談をしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

保護者のスクールソーシャルワーカーへの相談についてみると、小学校では、「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」が43.2%と最も高い。

図表 3-342 スクールソーシャルワーカーへの相談（保護者）

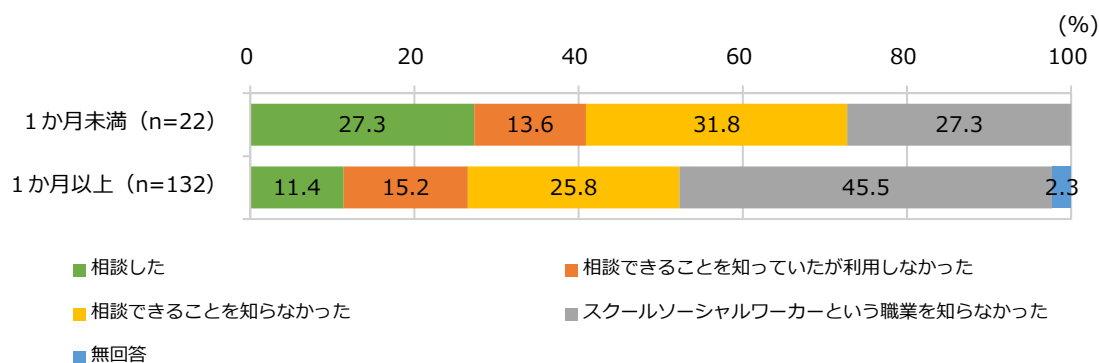
（小学校、n=155）



欠席期間別にみると、小学校では、1か月以上で「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」の割合が45.5%と、1か月未満（27.3%）と比べ高い。

図表 3-343 スクールソーシャルワーカーへの相談（保護者）

（小学校、欠席期間別）



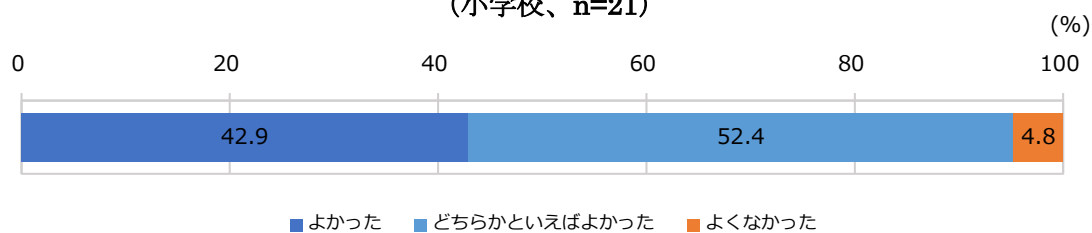
②相談した感想（保護者）

18-1 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談した感想についてみると、小学校では、95.3%が「どちらかといえばよかった」もしくは「よかった」と回答している。

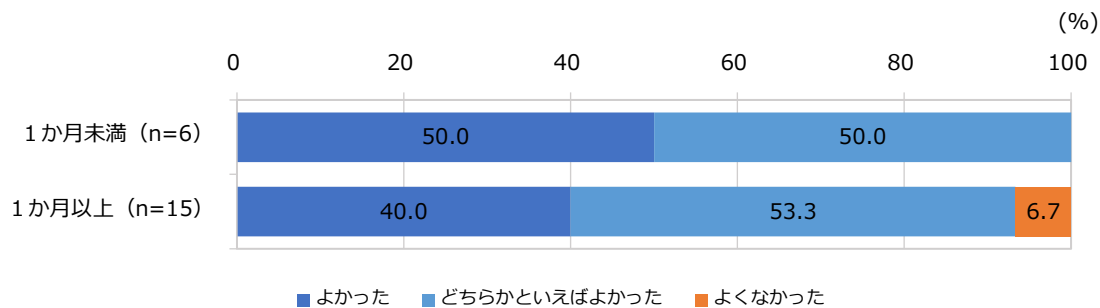
図表 3-344 相談した感想（保護者）

（小学校、n=21）



図表 3-345 相談した感想（保護者）

（小学校、欠席期間別）



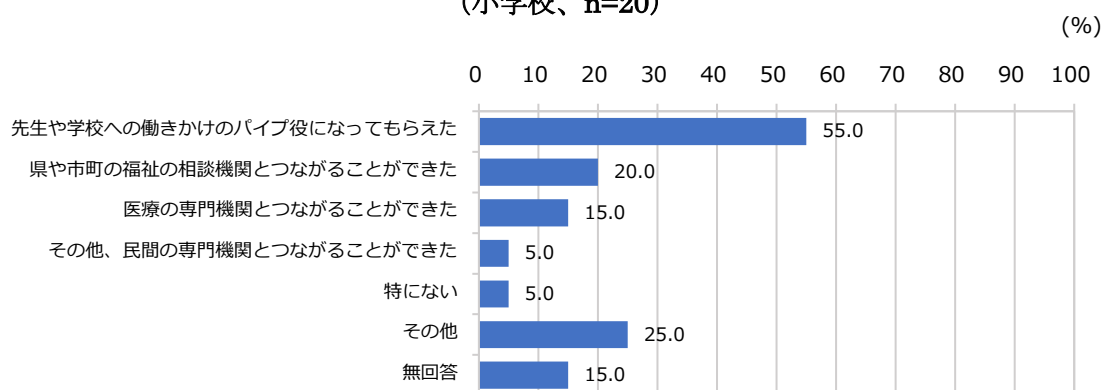
③相談してよかった理由（保護者）

18-2 18-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由についてみると、小学校では、「先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらえた」が55.0%と最も高い。

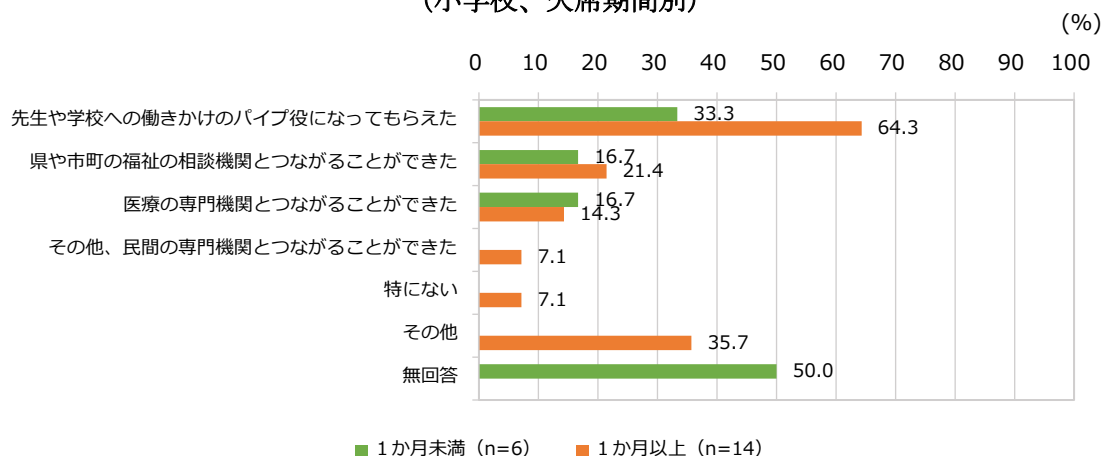
図表 3-346 相談してよかった理由（保護者）

（小学校、n=20）



図表 3-347 相談してよかった理由（保護者）

（小学校、欠席期間別）



④相談した際に困ったこと（保護者）

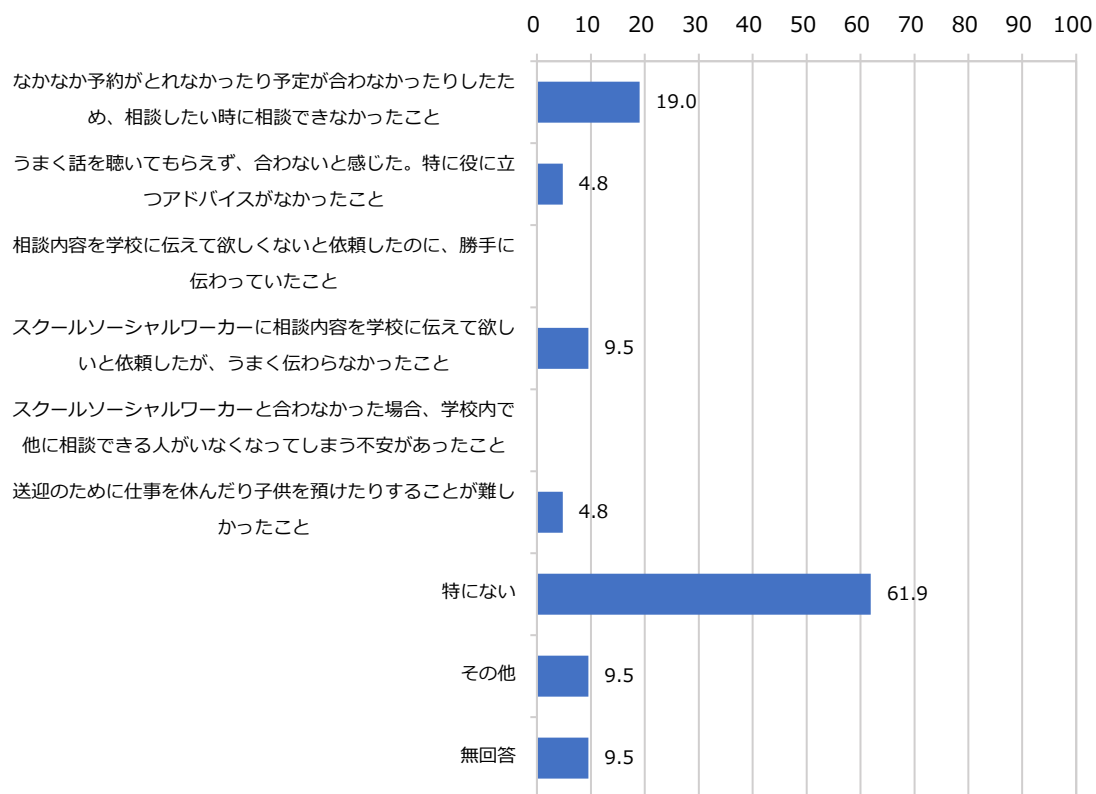
18-3 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことについてみると、小学校では、「特にない」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」の割合が高い。

図表 3-348 相談した際に困ったこと（保護者）

（小学校、n=21）

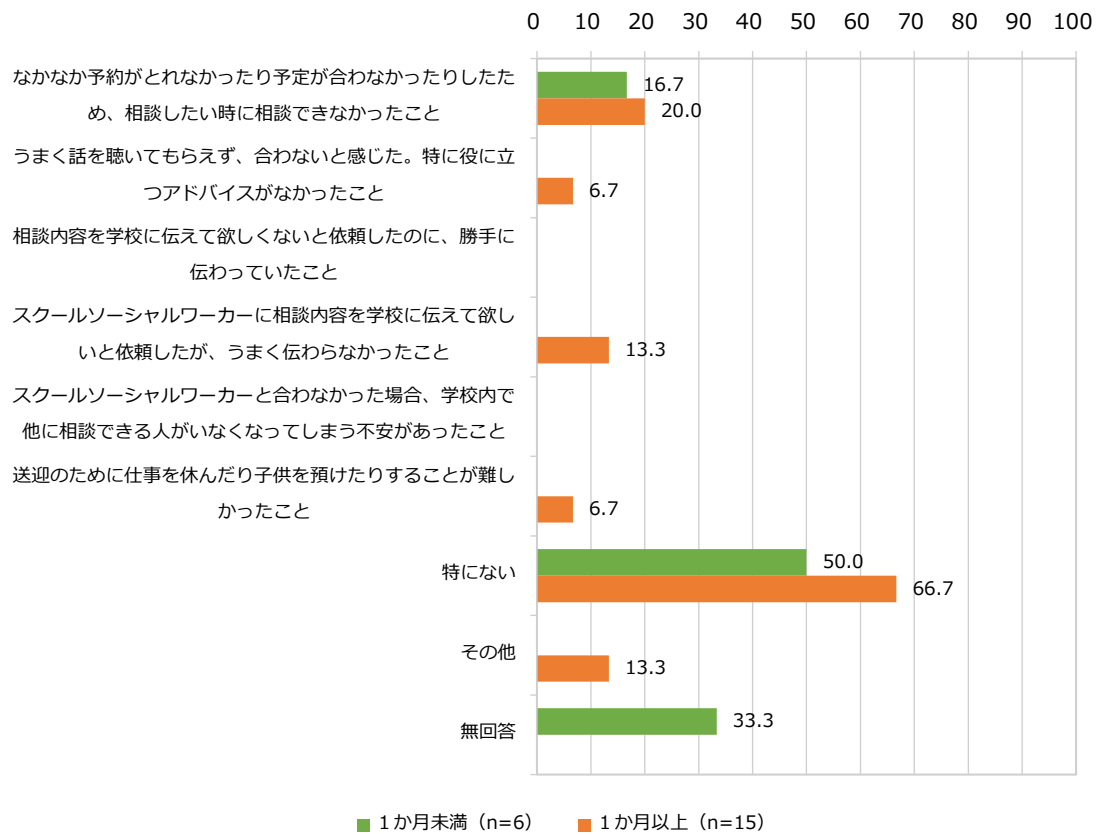
（%）



図表 3-349 相談した際に困ったこと（保護者）

（小学校、欠席期間別）

(%)



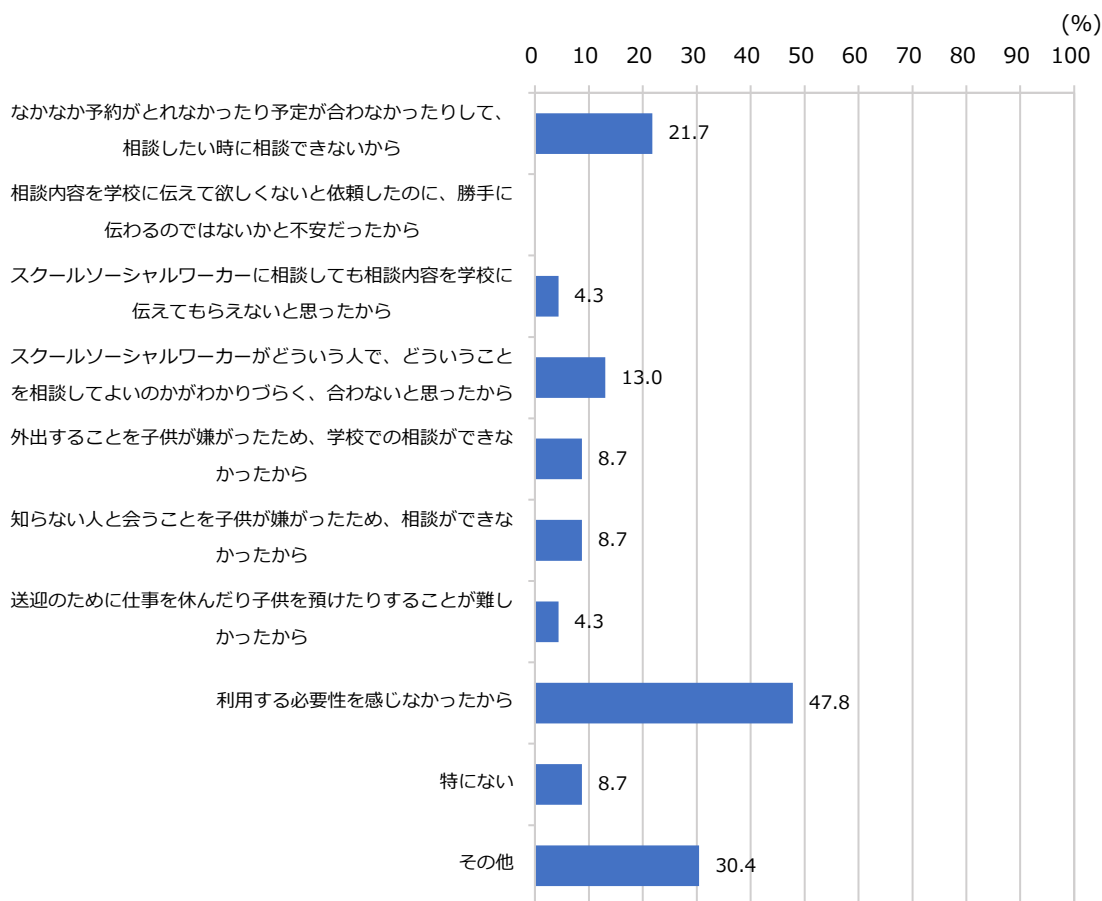
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

18-4 18で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、小学校では、「利用する必要性を感じなかったから」の割合が47.8%と最も高い。次いで、「その他」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりして、相談したい時に相談できないから」の割合が高い。

図表 3-350 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

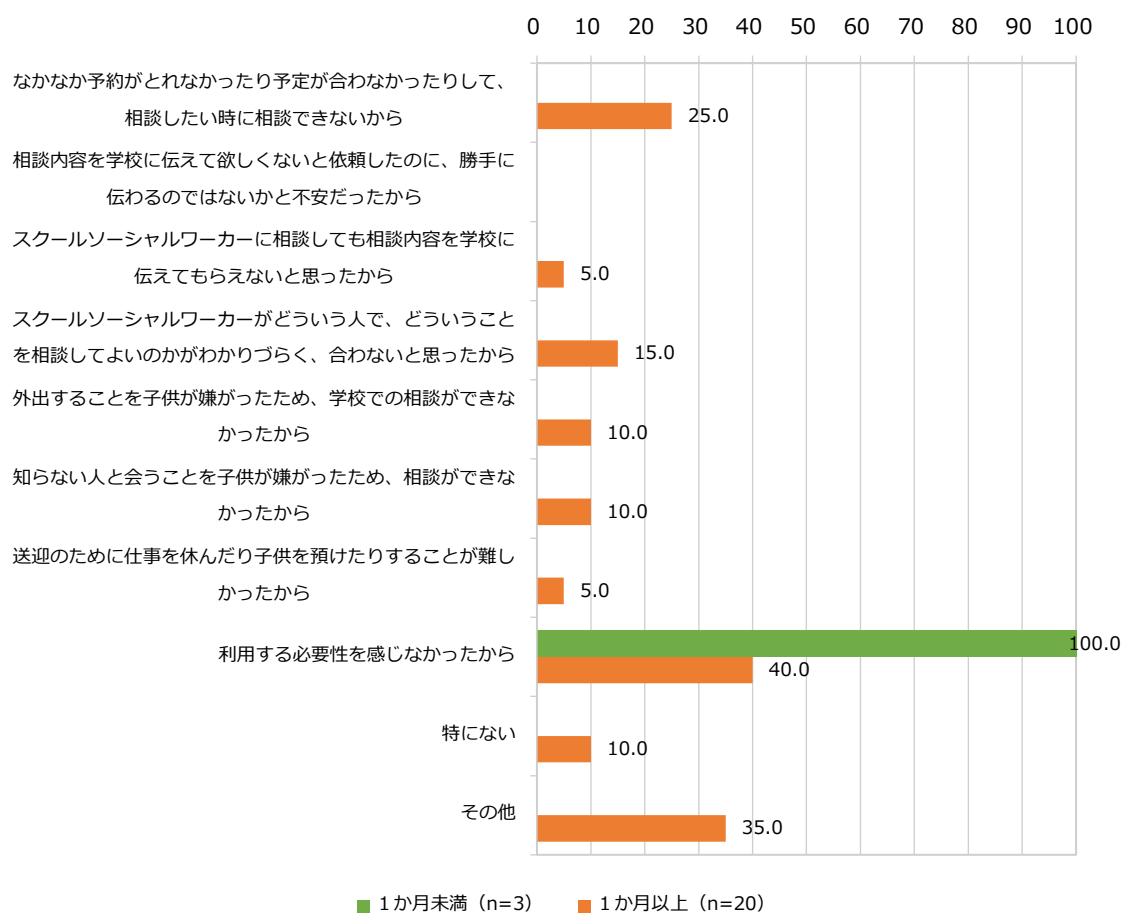
（小学校、n=23）



図表 3-351 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（小学校、欠席期間別）

（%）



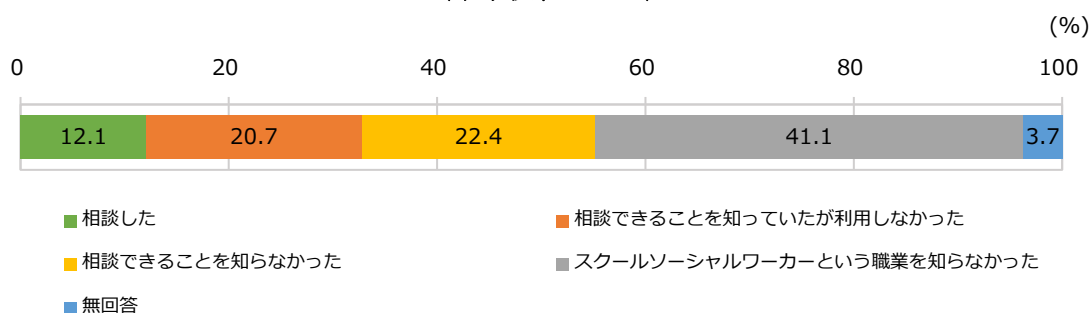
(2) 中学校

① 相談状況（保護者）

保護者のスクールソーシャルワーカーへの相談についてみると、中学校では、「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」が41.1%と最も高い。

図表 3-352 スクールソーシャルワーカーへの相談（保護者）

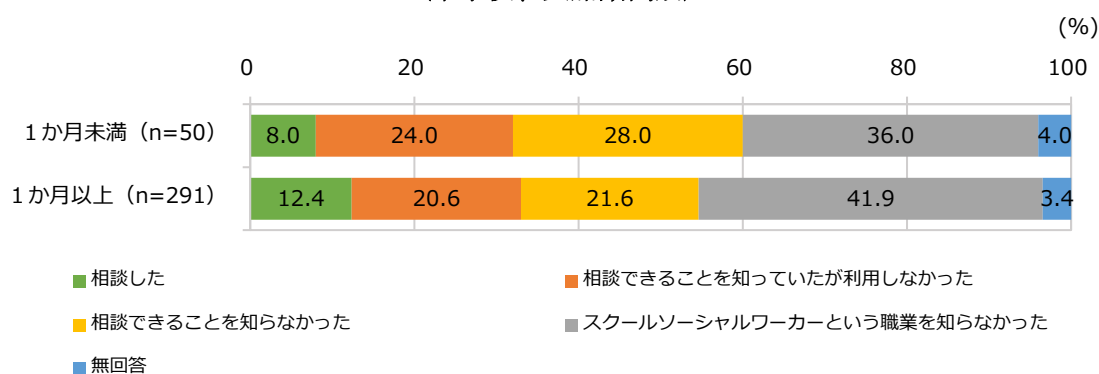
（中学校、n=348）



欠席期間別にみると、中学校では、1か月以上で「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」の割合が41.9%と、1か月未満（36.0%）と比べ高い。また、「相談した」割合は12.4%と、1か月未満（8.0%）と比べ高い。

図表 3-353 スクールソーシャルワーカーへの相談（保護者）

（中学校、欠席期間別）



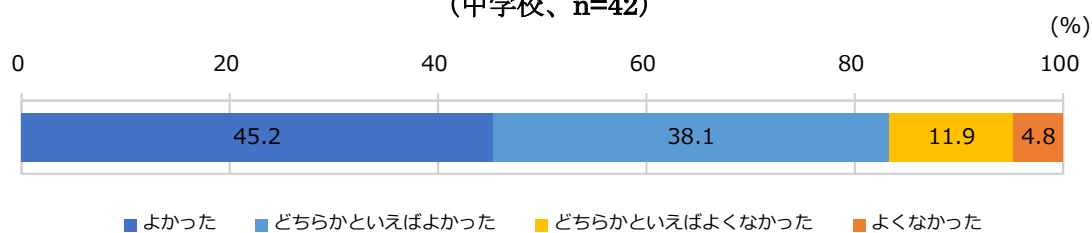
②相談した感想（保護者）

18-1 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談した感想についてみると、中学校では、83.3%が「よかった」もしくは「どちらかといえばよかった」と回答している。

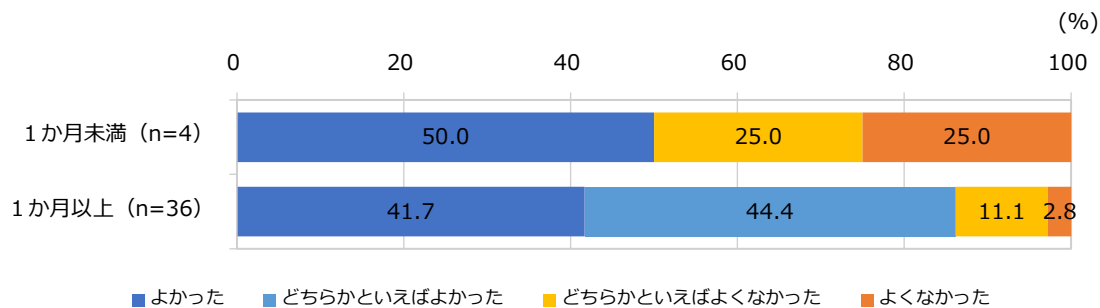
図表 3-354 相談した感想（保護者）

（中学校、n=42）



図表 3-355 相談した感想（保護者）

（中学校、欠席期間別）



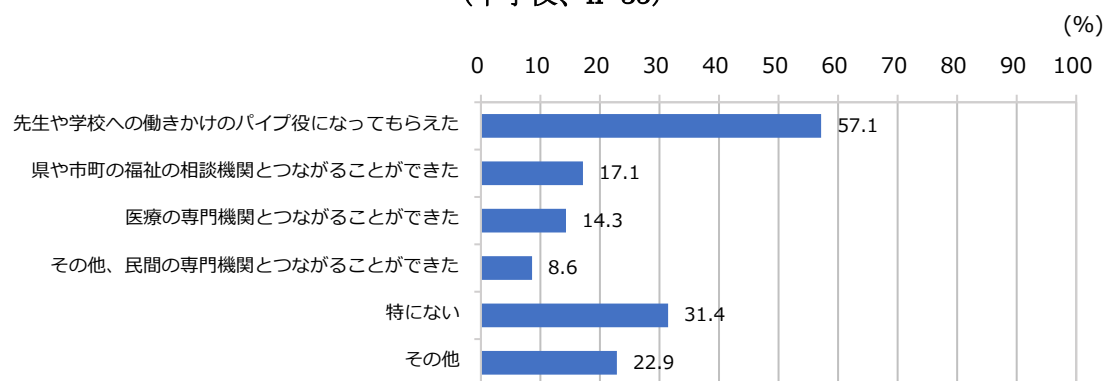
③相談してよかった理由（保護者）

18-2 18-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由についてみると、中学校では、「先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらえた」が 57.1%と最も高い。

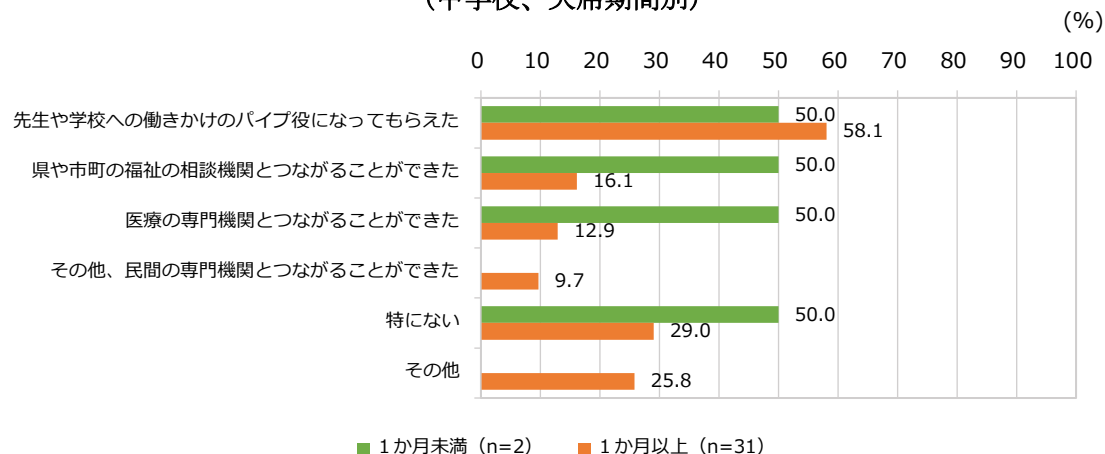
図表 3-356 相談してよかった理由（保護者）

（中学校、n=35）



図表 3-357 相談してよかった理由（保護者）

（中学校、欠席期間別）



④相談した際に困ったこと（保護者）

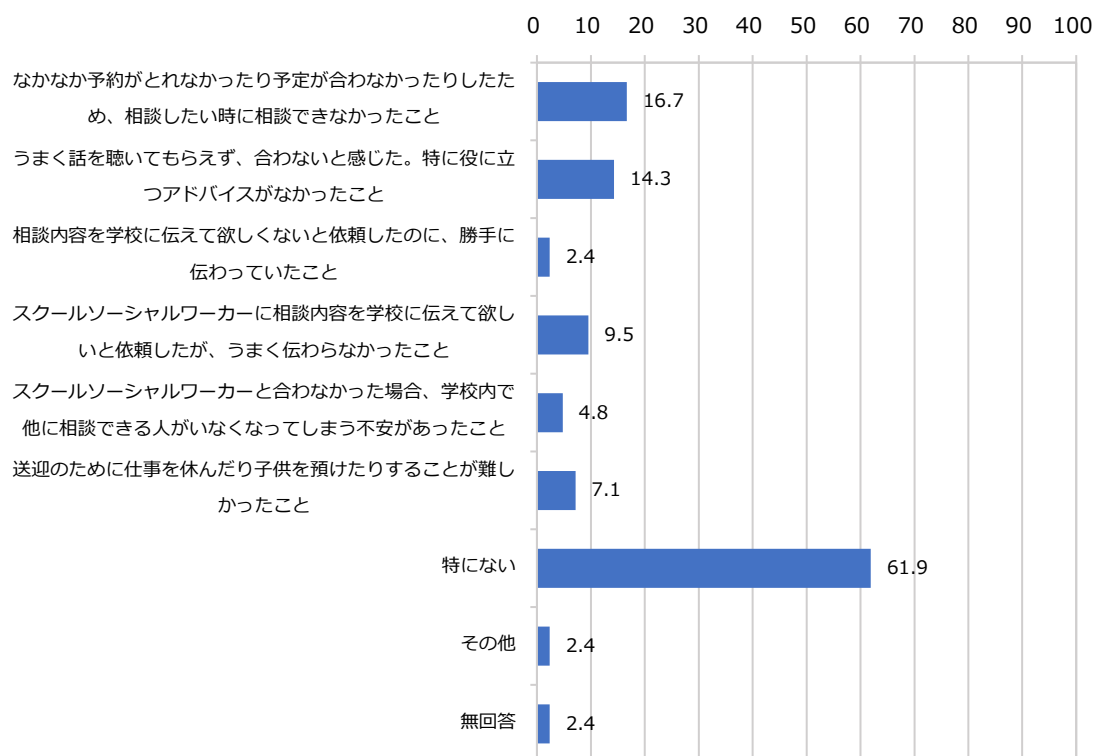
18-3 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことについてみると、中学校では、「特にない」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」と「うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと」の割合が高い。

図表 3-358 相談した際に困ったこと（保護者）

（中学校、n=42）

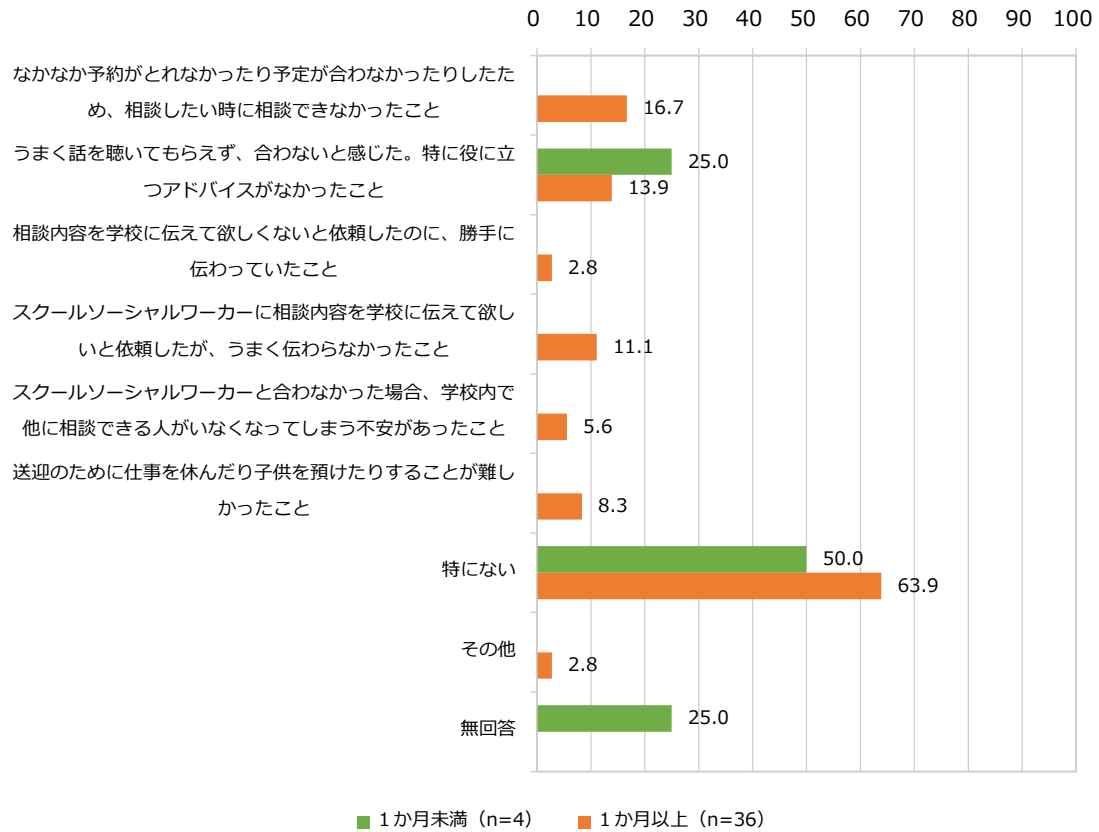
（%）



図表 3-359 相談した際に困ったこと（保護者）

（中学校、欠席期間別）

(%)



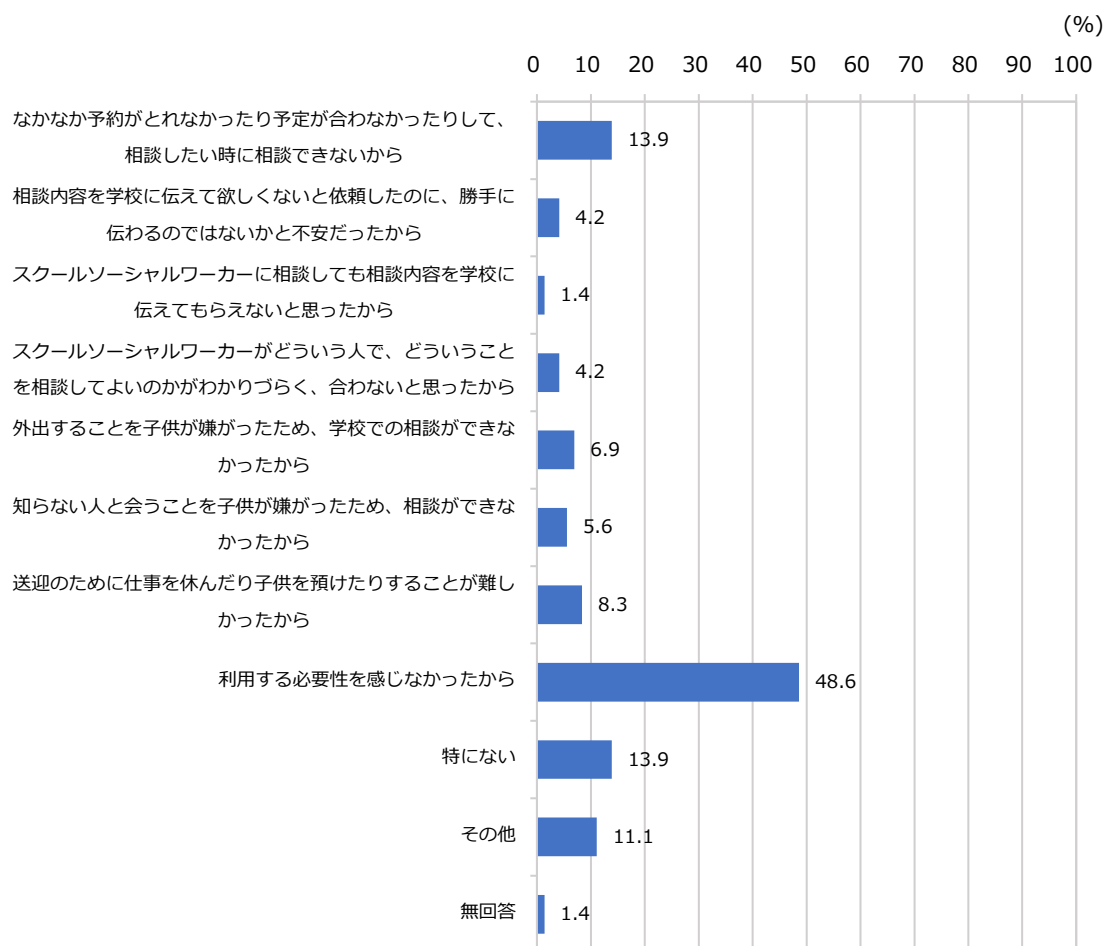
⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

18-4 18で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、中学校では、「利用する必要性を感じなかったから」の割合が48.6%と最も高い。次いで、「特にない」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりして、相談したい時に相談できないから」の割合が高い。

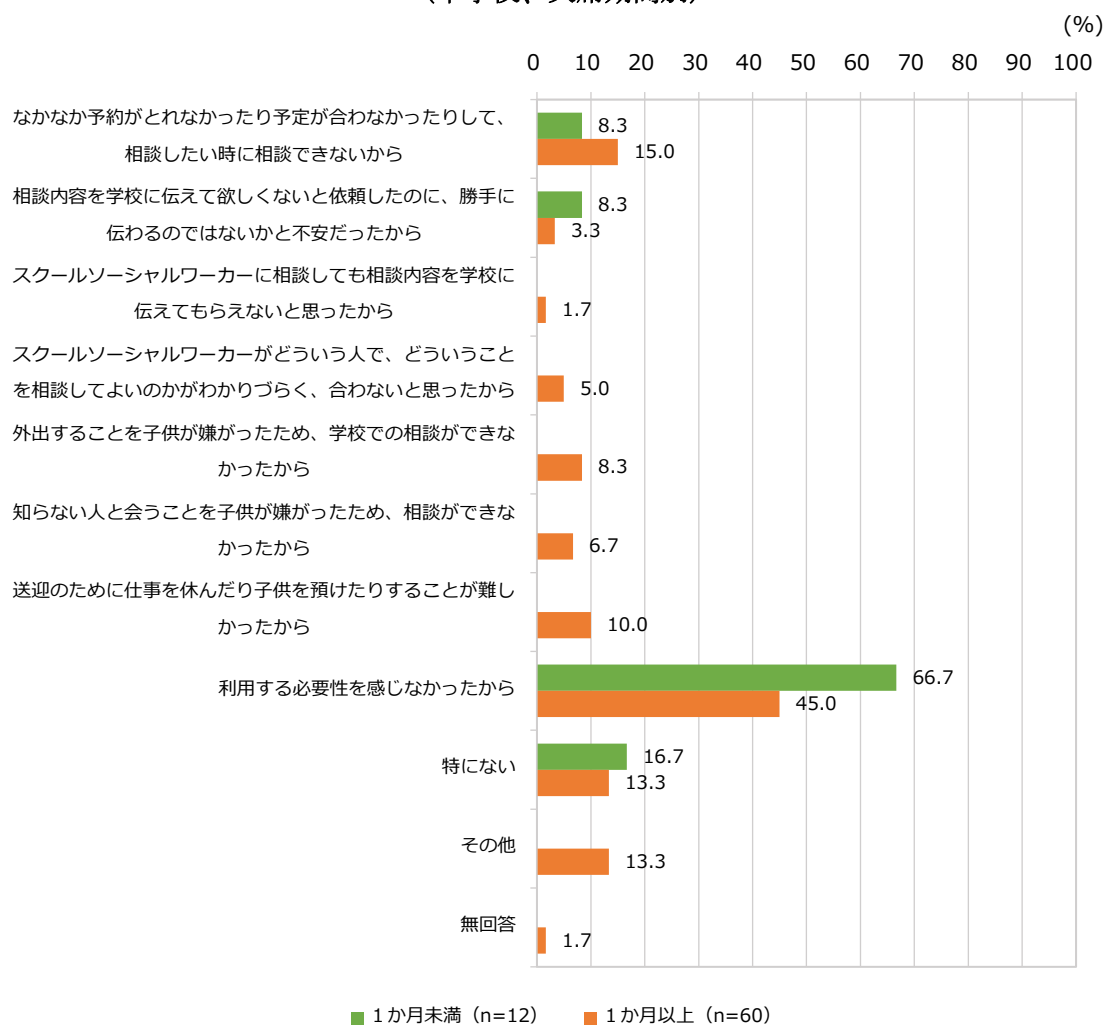
図表 3-360 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（中学校、n=72）



図表 3-361 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（中学校、欠席期間別）

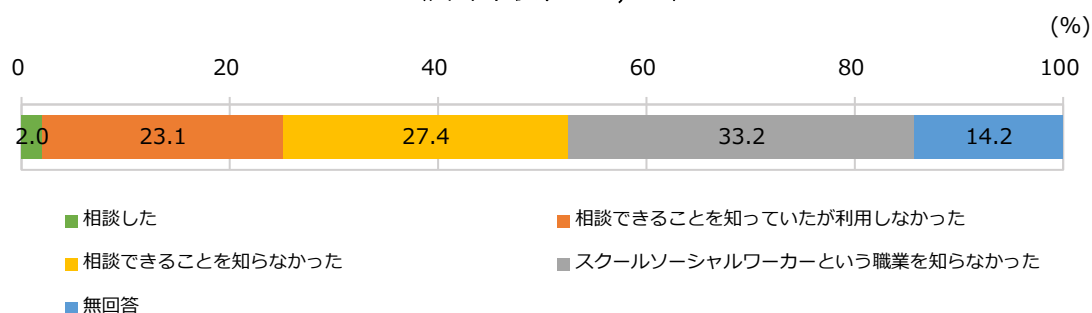


(3) 高等学校

① 相談状況（保護者）

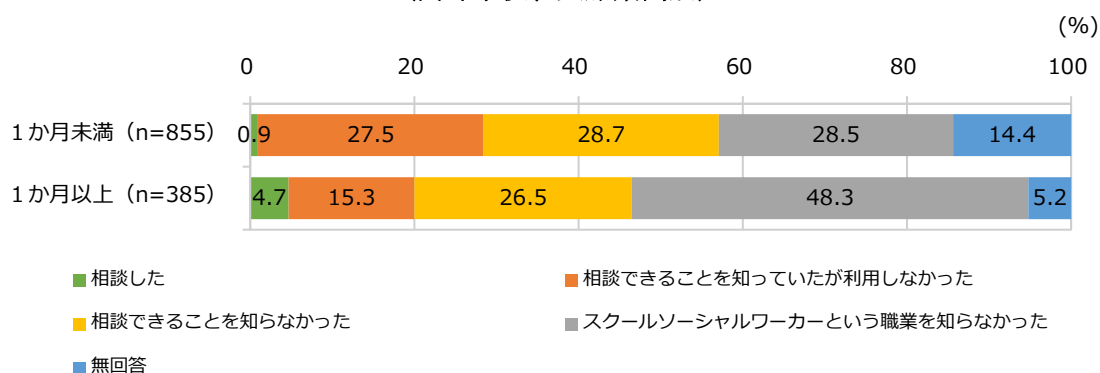
保護者のスクールソーシャルワーカーへの相談についてみると、高等学校では、「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」が33.2%と最も高い。

図表 3-362 スクールソーシャルワーカーへの相談（保護者）
（高等学校、n=1,369）



欠席期間別にみると、高等学校では、1か月以上で「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」の割合が48.3%と、1か月未満（28.5%）と比べ高い。

図表 3-363 スクールソーシャルワーカーへの相談（保護者）
（高等学校、欠席期間別）



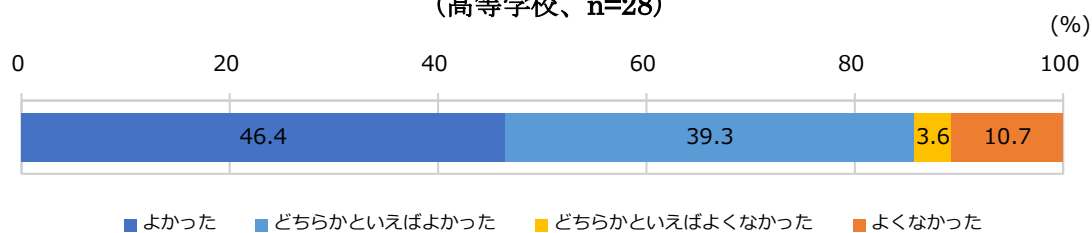
②相談した感想（保護者）

18-1 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談した感想についてみると、高等学校では、85.7%が「よかった」もしくは「どちらかといえばよかった」と回答している。

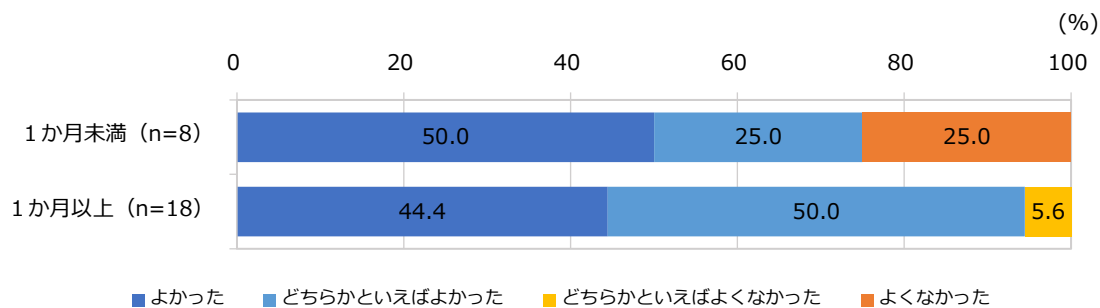
図表 3-364 相談した感想（保護者）

（高等学校、n=28）



図表 3-365 相談した感想（保護者）

（高等学校、欠席期間別）



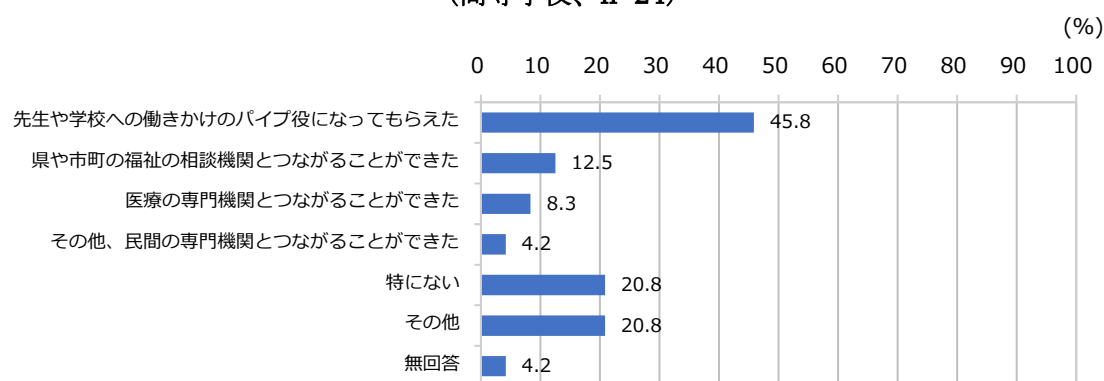
③相談してよかった理由（保護者）

18-2 18-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由についてみると、高等学校では、「先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらえた」が45.8%と最も高い。

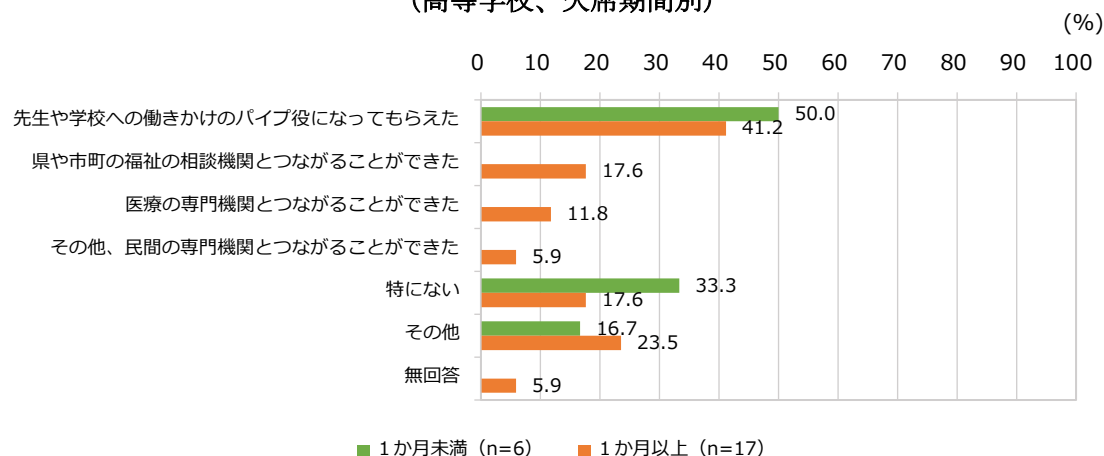
図表 3-366 相談してよかった理由（保護者）

（高等学校、n=24）



図表 3-367 相談してよかった理由（保護者）

（高等学校、欠席期間別）



④相談した際に困ったこと（保護者）

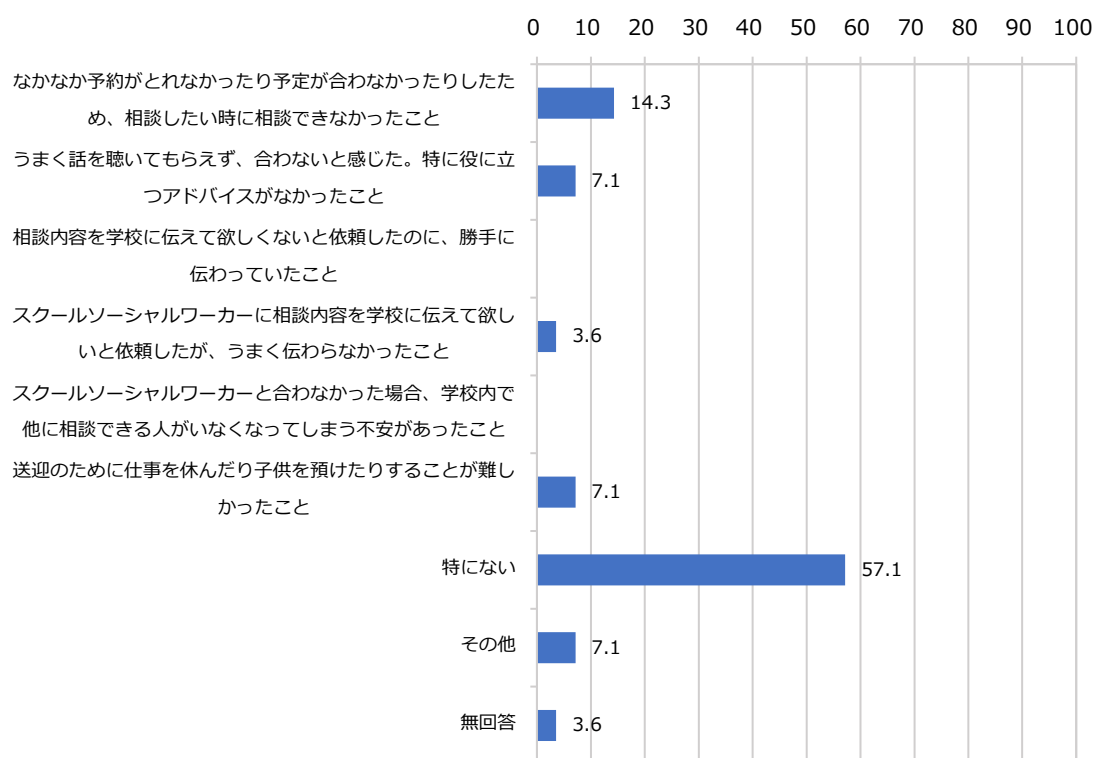
18-3 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことについてみると、高等学校では、「特にない」を除くと、「なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと」の割合が高い。

図表 3-368 相談した際に困ったこと（保護者）

（高等学校、n=28）

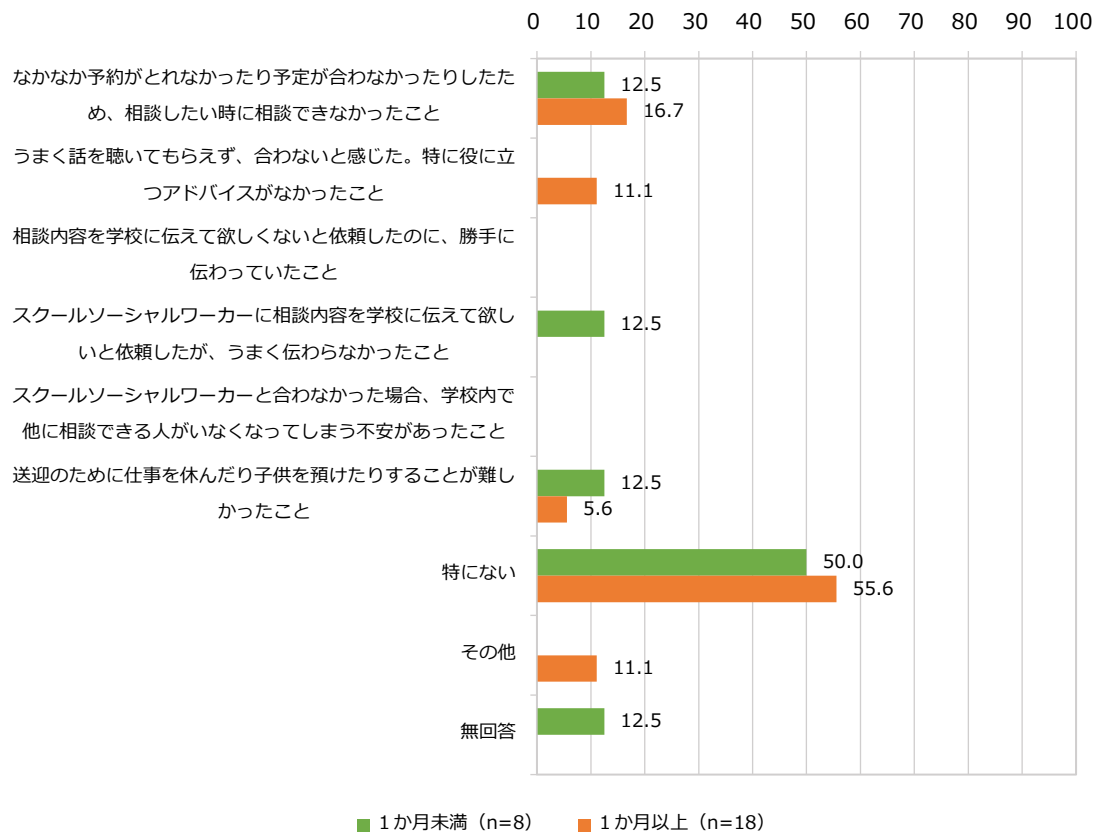
（%）



図表 3-369 相談した際に困ったこと（保護者）

（高等学校、欠席期間別）

(%)

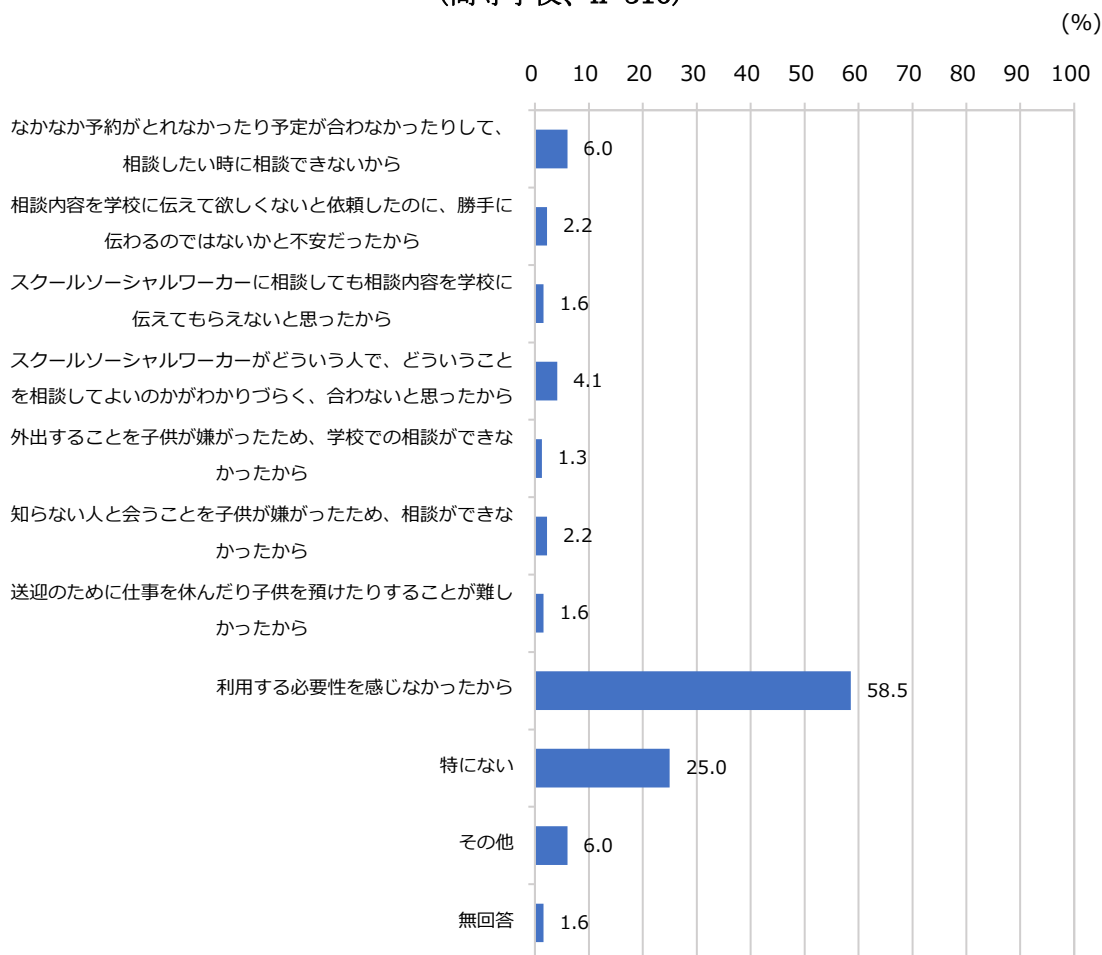


⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

18-4 18で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、高等学校では、「利用する必要性を感じなかったから」の割合が58.5%と最も高い。

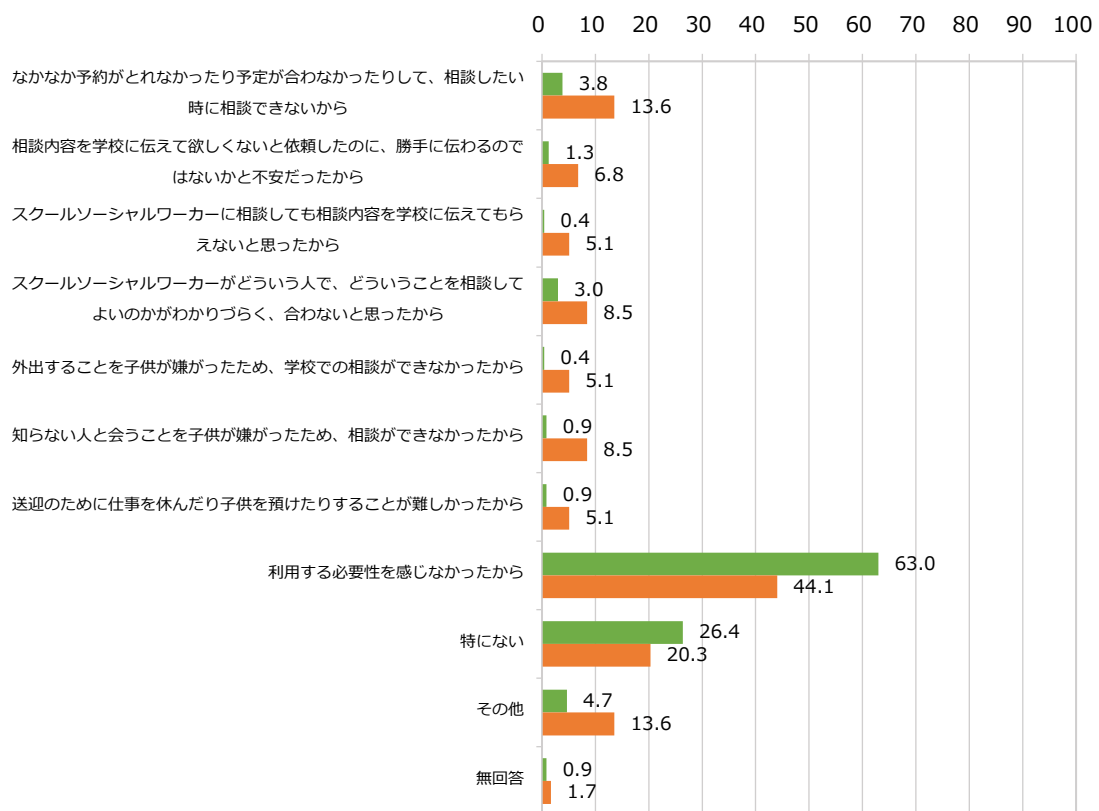
図表 3-370 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）
（高等学校、n=316）



図表 3-371 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（高等学校、欠席期間別）

(%)



■ 1か月未満 (n=235) ■ 1か月以上 (n=59)

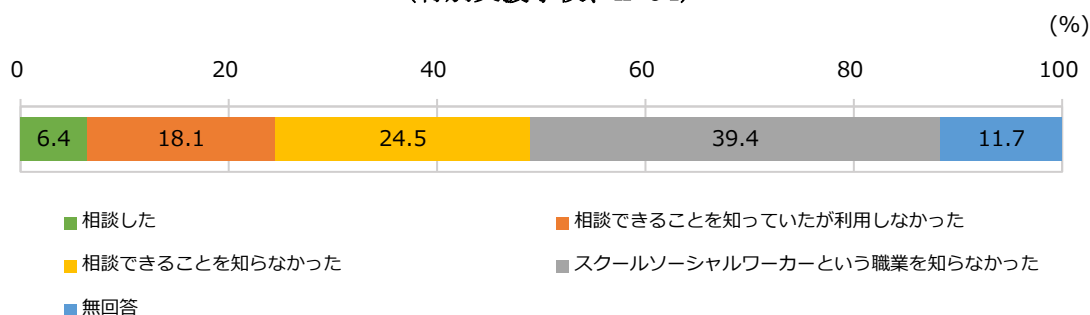
(4)特別支援学校

①相談状況（保護者）

保護者のスクールソーシャルワーカーへの相談についてみると、特別支援学校では、「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」が39.4%と最も高い。

図表 3-372 スクールソーシャルワーカーへの相談（保護者）

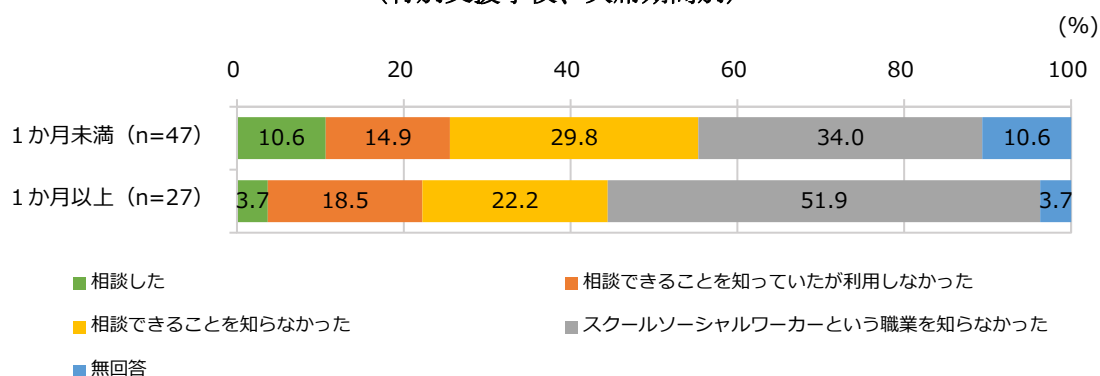
（特別支援学校、n=94）



欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月以上で「スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった」の割合が51.9%と、1か月未満（34.0%）と比べ高い。

図表 3-373 スクールソーシャルワーカーへの相談（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）



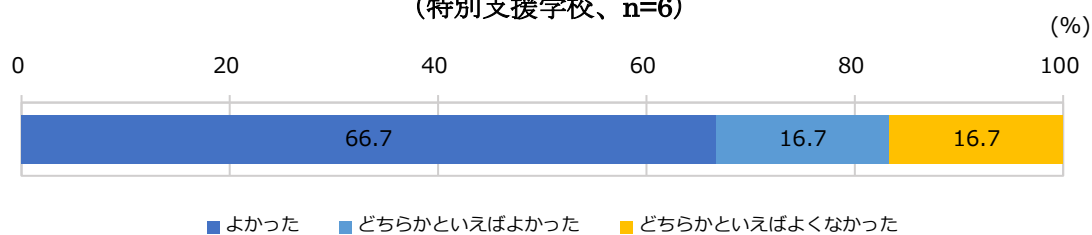
②相談した感想（保護者）

18-1 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談した感想についてみると、特別支援学校では、83.4%が「よかった」もしくは「どちらかといえばよかった」と回答している。

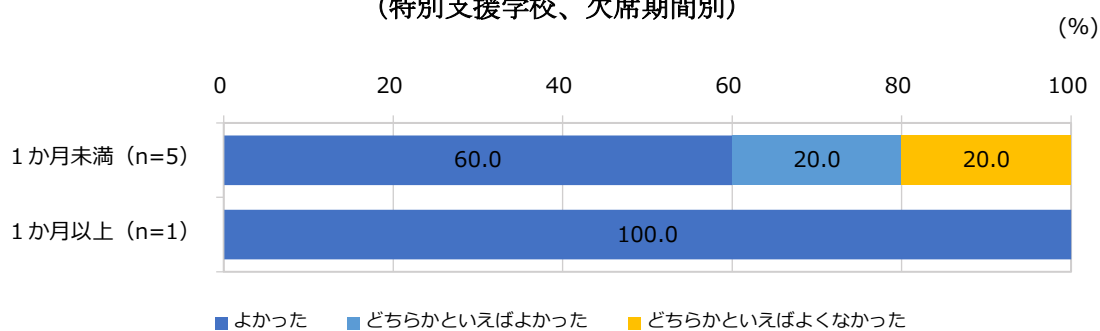
図表 3-374 相談した感想（保護者）

（特別支援学校、n=6）



図表 3-375 相談した感想（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）



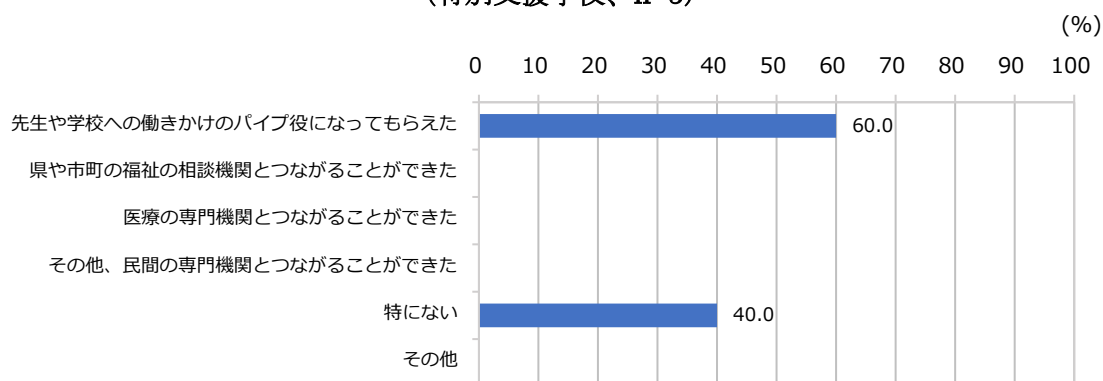
③相談してよかった理由（保護者）

18-2 18-1 で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由についてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

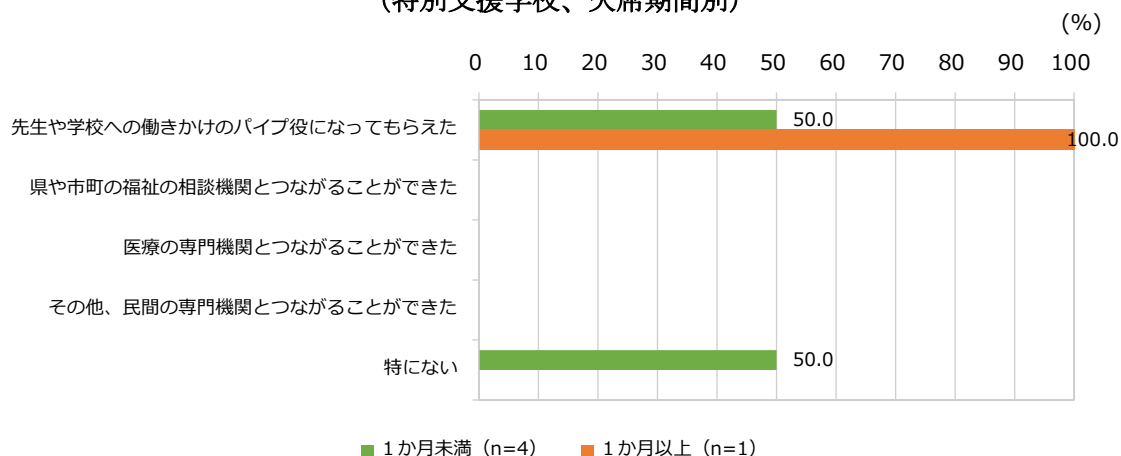
図表 3-376 相談してよかった理由（保護者）

（特別支援学校、n=5）



図表 3-377 相談してよかった理由（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）



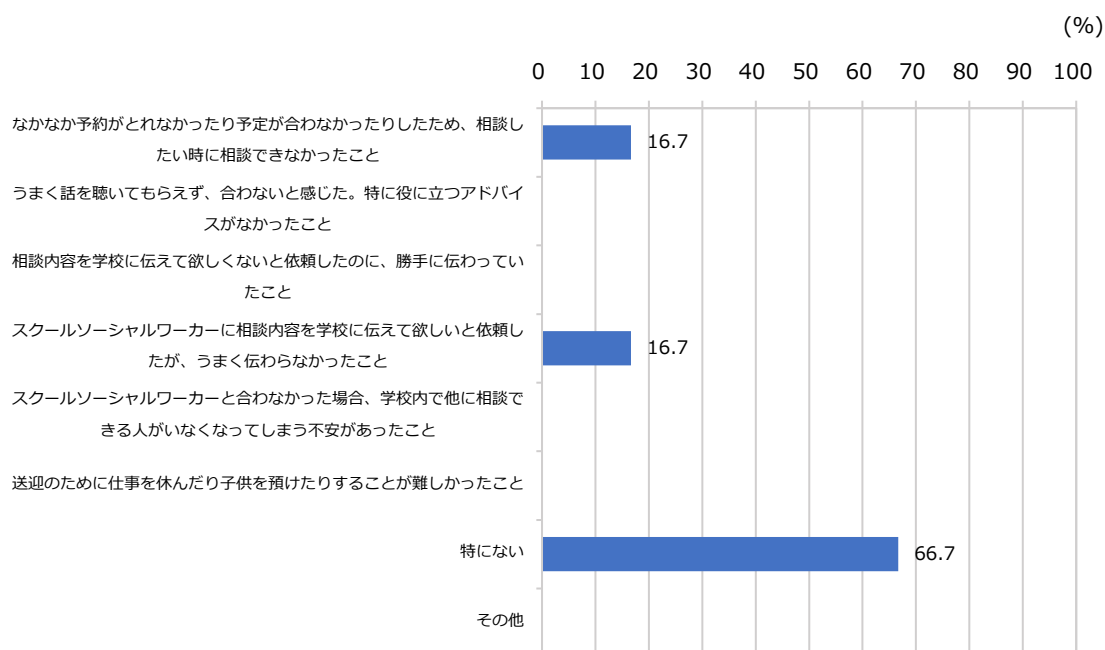
④相談した際に困ったこと（保護者）

18-3 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことについてみると、特別支援学校では以下のとおりである。

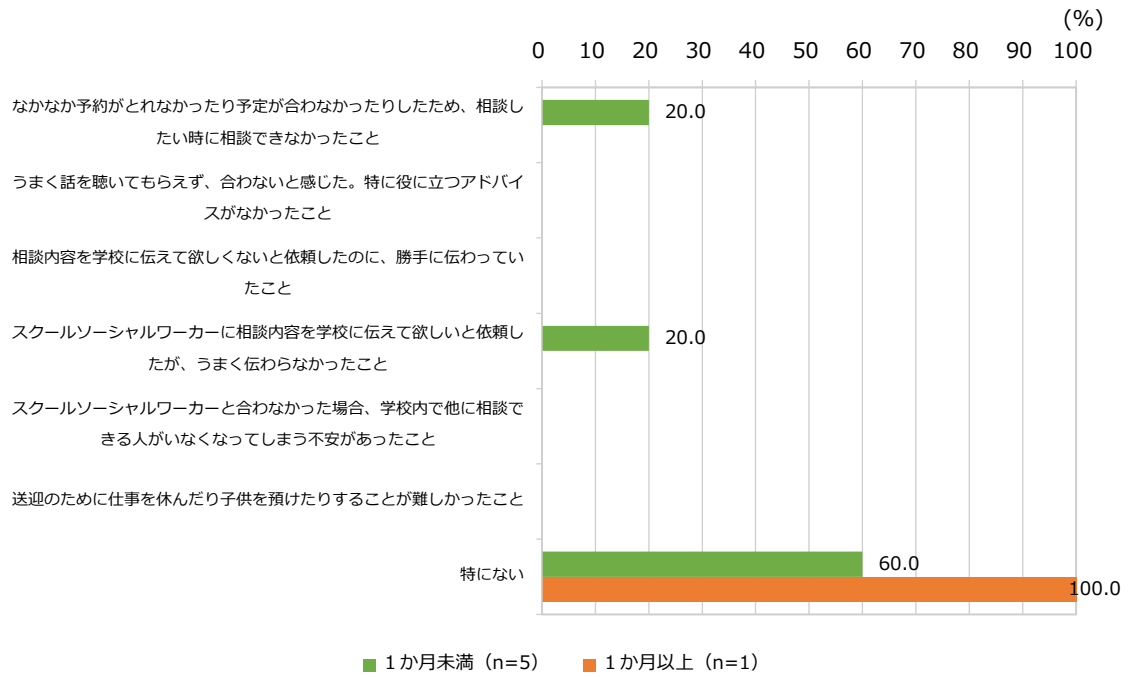
図表 3-378 相談した際に困ったこと（保護者）

（特別支援学校、n=6）



図表 3-379 相談した際に困ったこと（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）

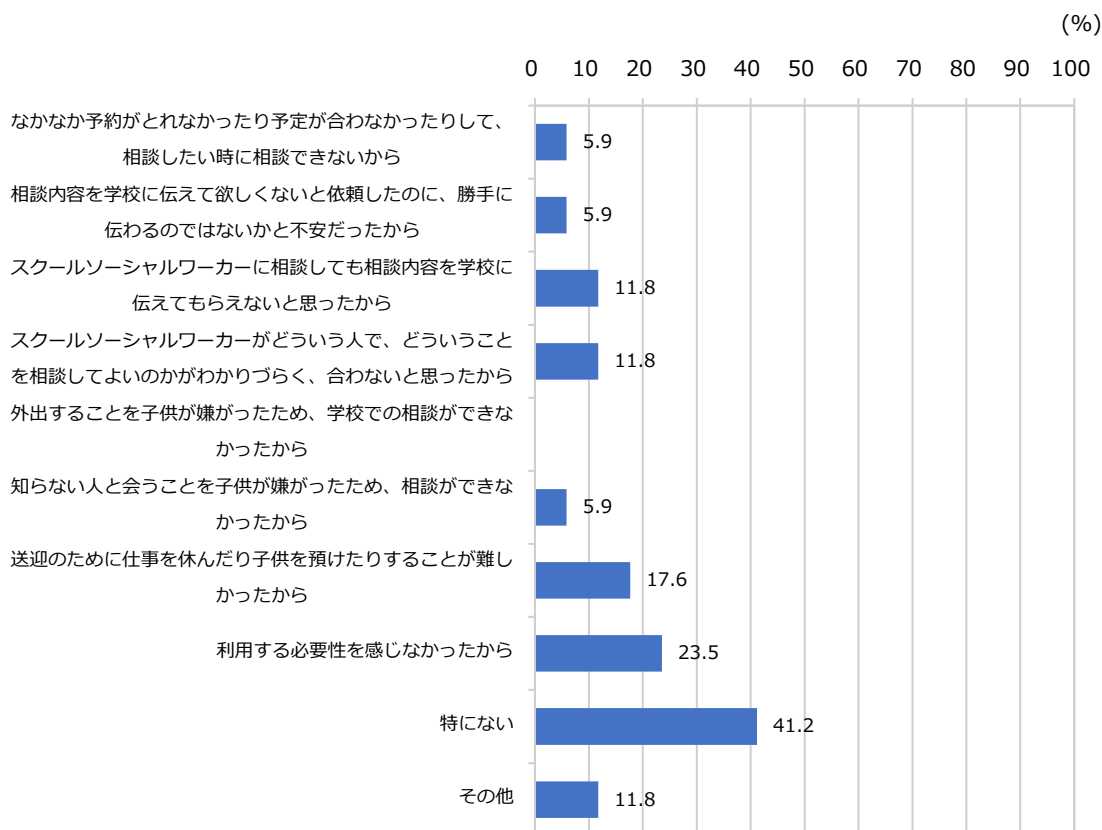


⑤相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

18-4 18で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きます。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）。

保護者がスクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由についてみると、特別支援学校では、「特にない」を除くと、「利用する必要性を感じなかったから」の割合が23.5%と最も高い。次いで「送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったから」の割合が高い。

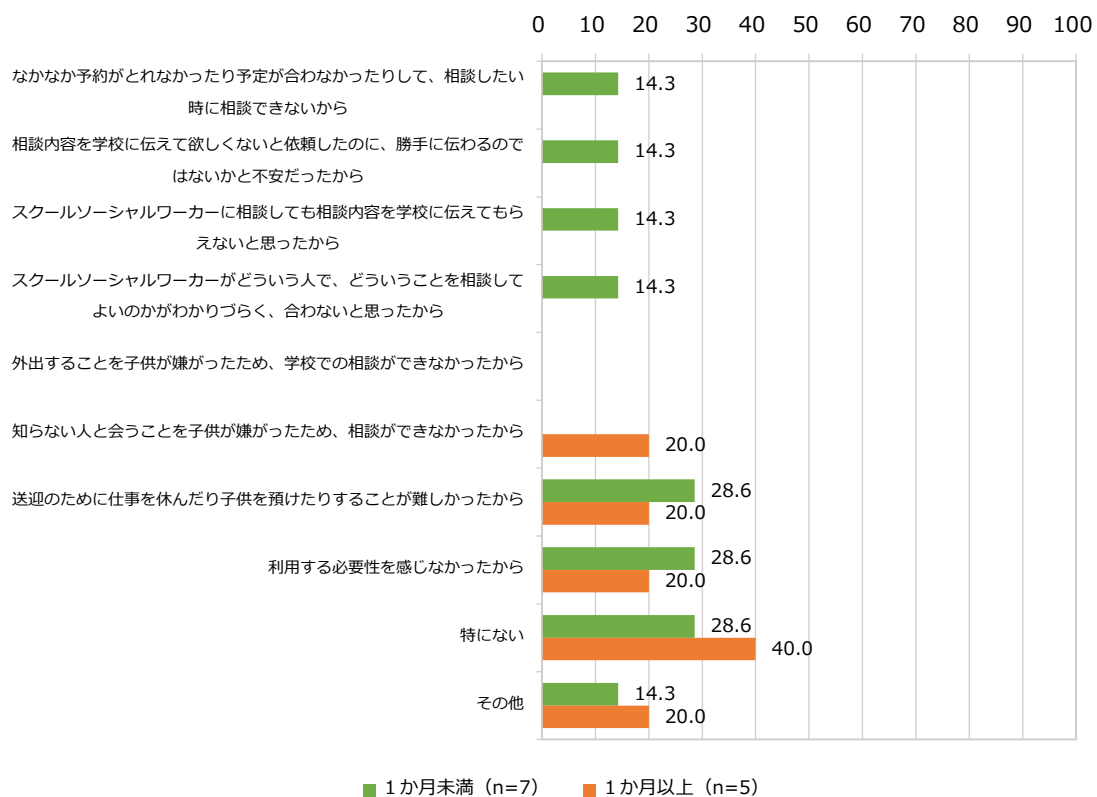
図表 3-380 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）
（特別支援学校、n=17）



図表 3-381 相談できることを知っていたが相談しなかった理由（保護者）

（特別支援学校、欠席期間別）

(%)



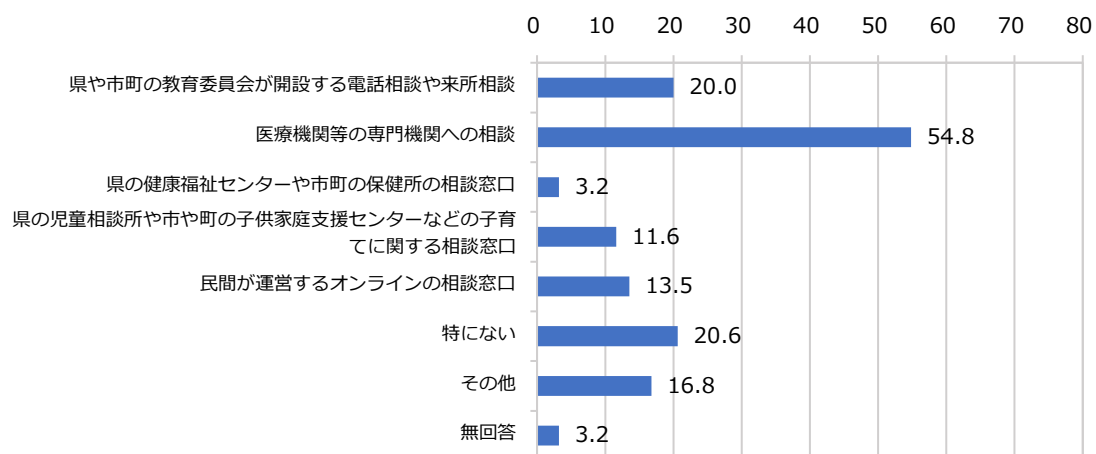
3-4-8 その他に子供や保護者が利用した相談窓口

19 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育支援センター、フリースクール以外で、お父さまや保護者が利用した相談窓口を全て選んでください。

(1) 小学校

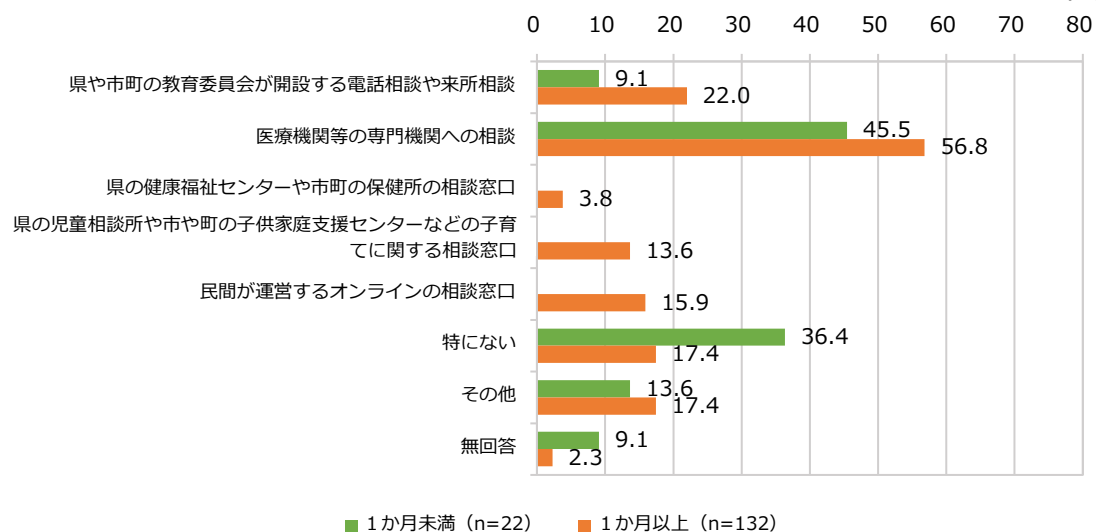
その他に子供や保護者が利用した相談窓口についてみると、小学校では、「医療機関等の専門機関への相談」が54.8%と最も割合が高い。

図表 3-382 その他に子供や保護者が利用した相談窓口（小学校、n=155） (%)



欠席期間別にみると、小学校では、1か月以上は「医療機関等の専門機関への相談」に次いで「県や市町の教育委員会が開設する電話相談や来所相談」の割合が高いが、1か月未満は「医療機関等の専門機関への相談」のほか「特にない」の割合が高い。

図表 3-383 その他に子供や保護者が利用した相談窓口（小学校、欠席期間別） (%)

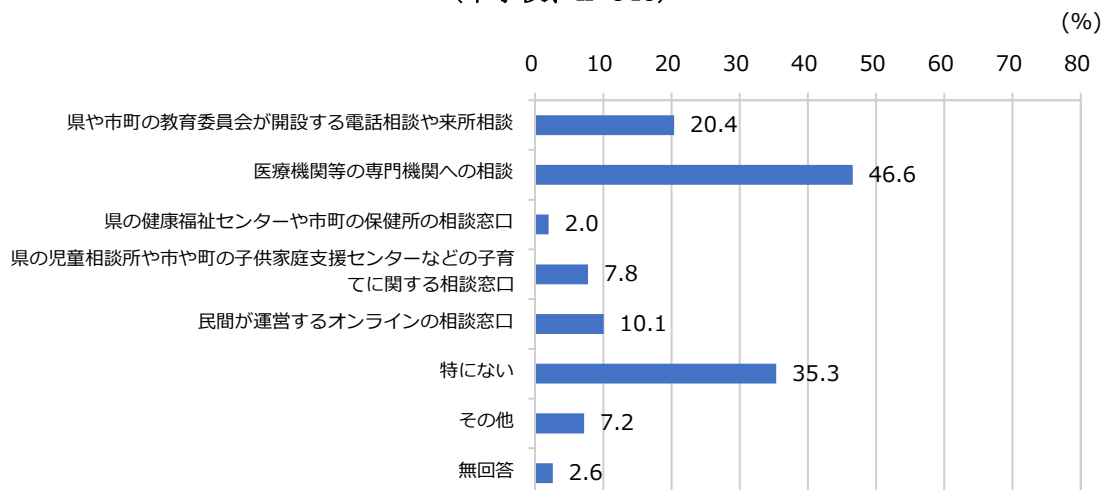


(2)中学校

その他に子供や保護者が利用した相談窓口についてみると、中学校では、「医療機関等の専門機関への相談」が46.6%と最も割合が高い。

図表 3-384 その他に子供や保護者が利用した相談窓口

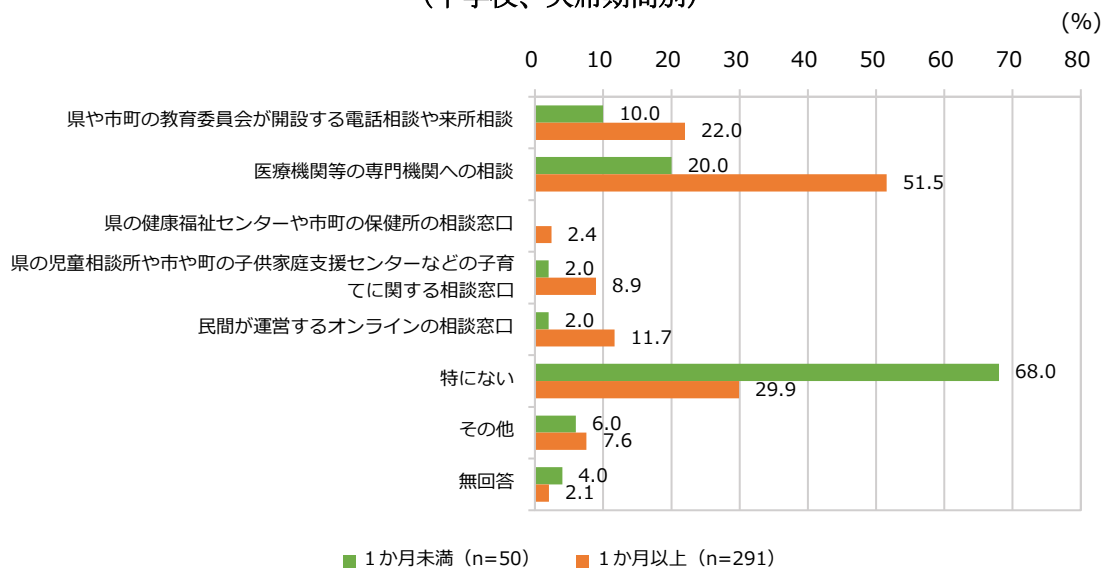
(中学校、n=348)



欠席期間別にみると、中学校では、1か月以上は「医療機関等の専門機関への相談」に次いで、「特にない」を除き、「県や市町の教育委員会が開設する電話相談や来所相談」の割合が高いが、1か月未満は「特にない」が68.0%と最も高い。

図表 3-385 その他に子供や保護者が利用した相談窓口

(中学校、欠席期間別)

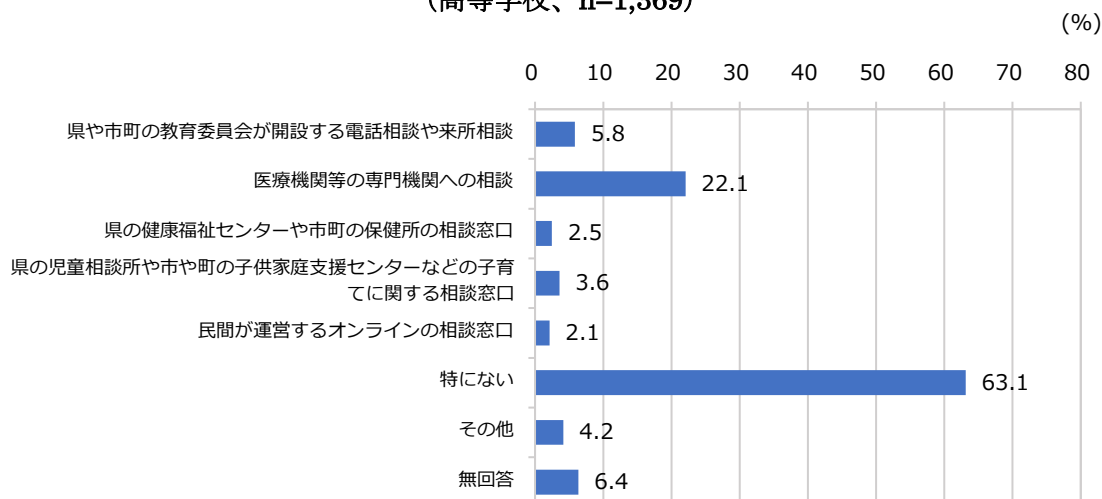


(3)高等学校

その他に子供や保護者が利用した相談窓口についてみると、高等学校では「特にない」が63.1%と最も割合が高く、次いで「医療機関等の専門機関への相談」の割合も高い。

図表 3-386 その他に子供や保護者が利用した相談窓口

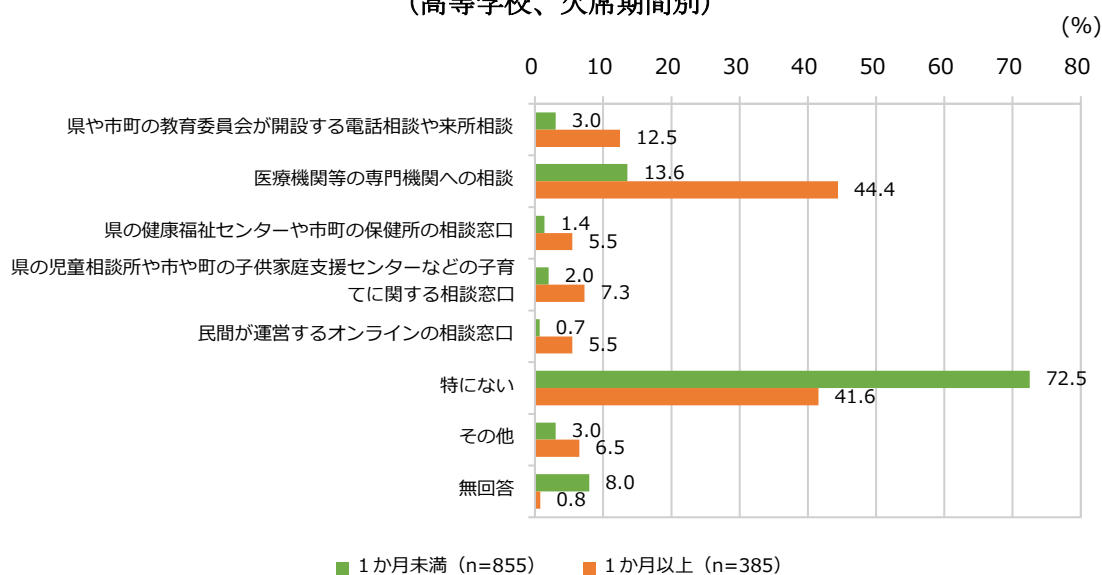
(高等学校、n=1,369)



欠席期間別にみると、高等学校では、1か月以上は「医療機関等の専門機関への相談」が44.4%と最も割合が高く、次いで「特にない」となっている。1か月未満は「特にない」の割合が72.5%と最も割合が高い。

図表 3-387 その他に子供や保護者が利用した相談窓口

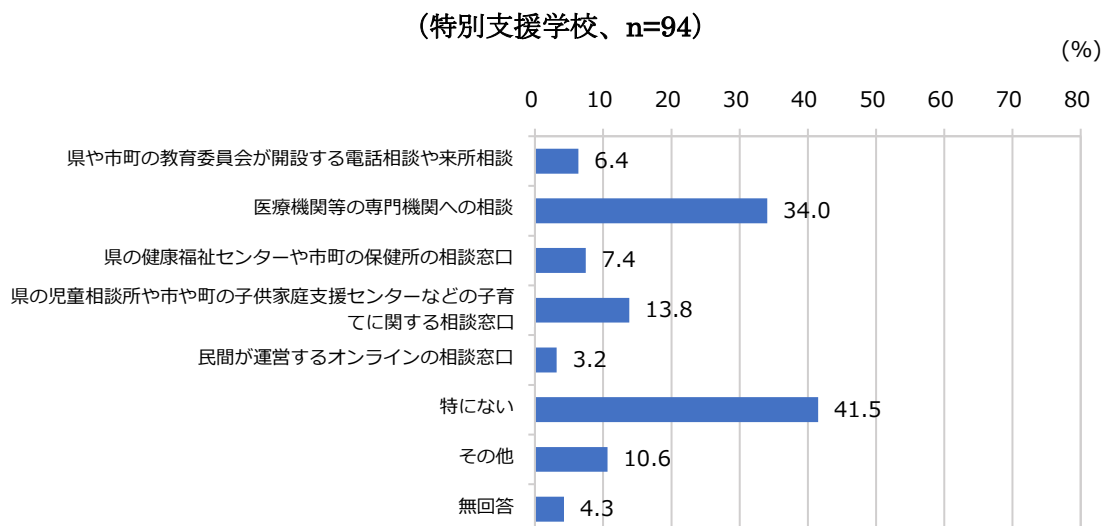
(高等学校、欠席期間別)



(4) 特別支援学校

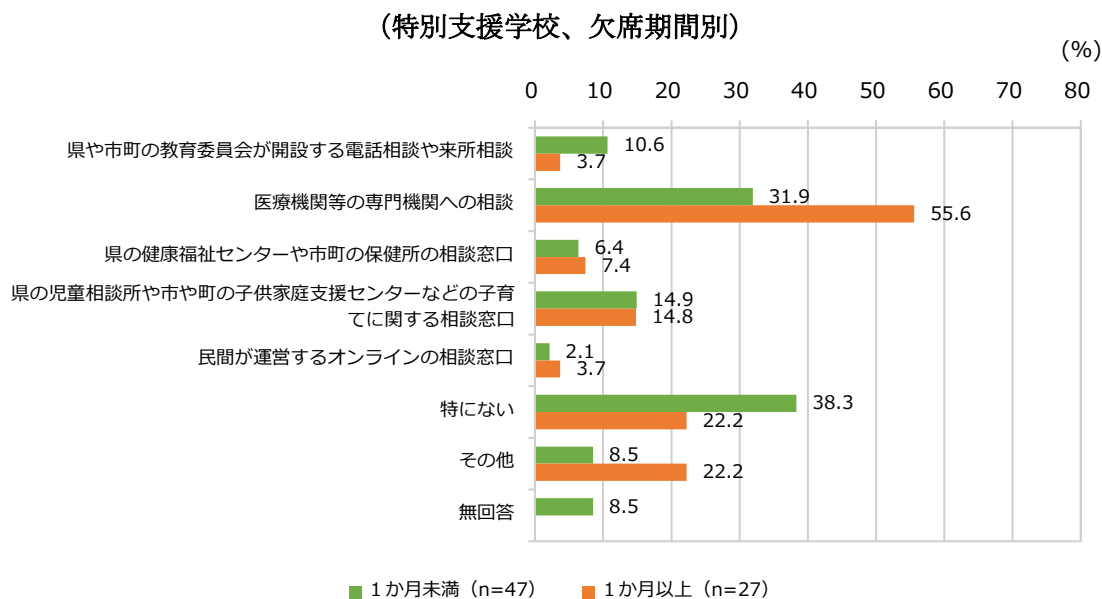
その他に子供や保護者が利用した相談窓口についてみると、特別支援学校では、「特にない」が41.5%と最も割合が高く、次いで「医療機関等の専門機関への相談」と続く。

図表 3-388 その他に子供や保護者が利用した相談窓口



欠席期間別にみると、特別支援学校では、1か月以上は「医療機関等の専門機関への相談」が55.6%と最も割合が高く、次いで「特にない」、「その他」となっている。1か月未満は「特にない」の割合が38.3%と最も割合が高く、次いで「医療機関等の専門機関への相談 (31.9%) 」となっている。

図表 3-389 その他に子供や保護者が利用した相談窓口

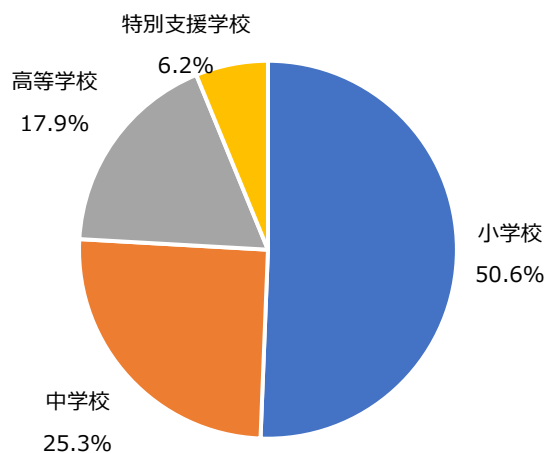


第4章 教員に対する調査

4-5 属性

4-5-1 勤務校の学校種

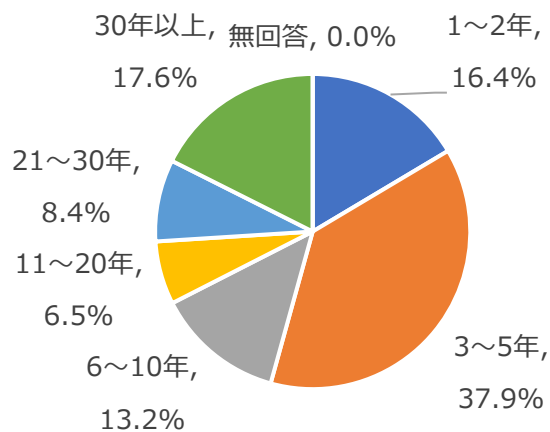
図表 4-1 学校種 (n=1033)



4-5-2 教職経験年数

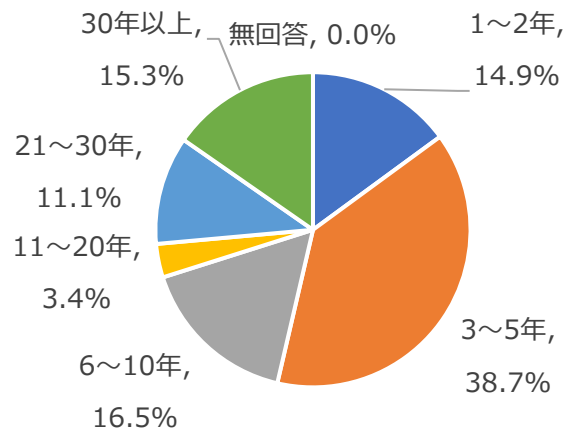
(1) 小学校

図表 4-2 経験年数 (n=523)



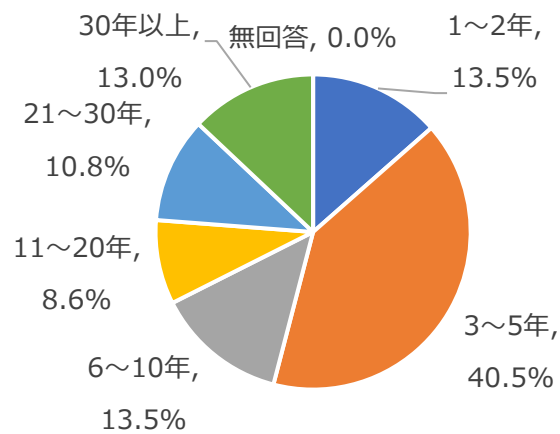
(2) 中学校

図表 4-3 経験年数 (n=261)



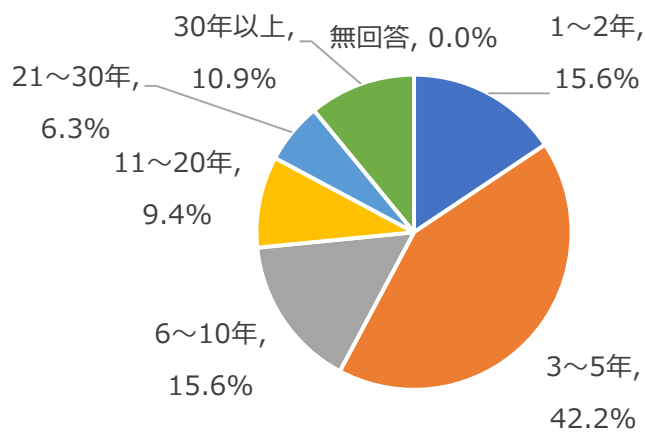
(3) 高等学校

図表 4-4 経験年数 (n=185)



(4) 特別支援学校

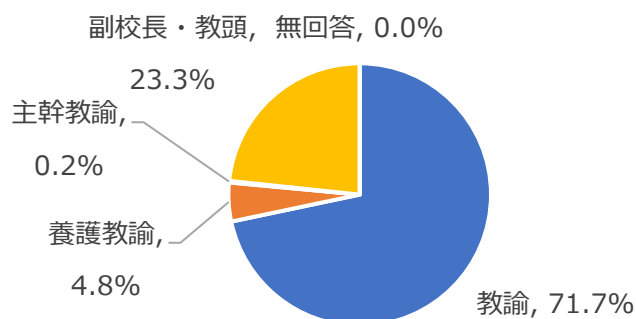
図表 4-5 経験年数 (n=64)



4-5-3 職名

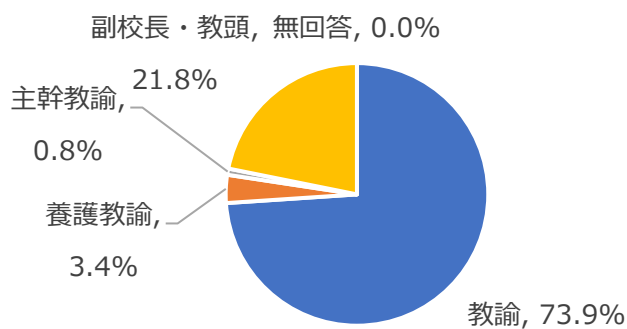
(1) 小学校

図表 4-6 職名 (n=523)



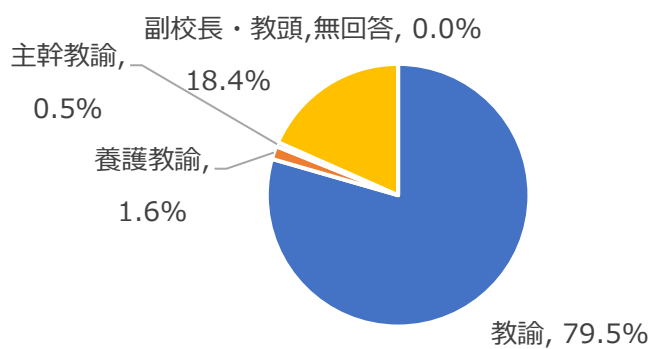
(2) 中学校

図表 4-7 職名 (n=261)



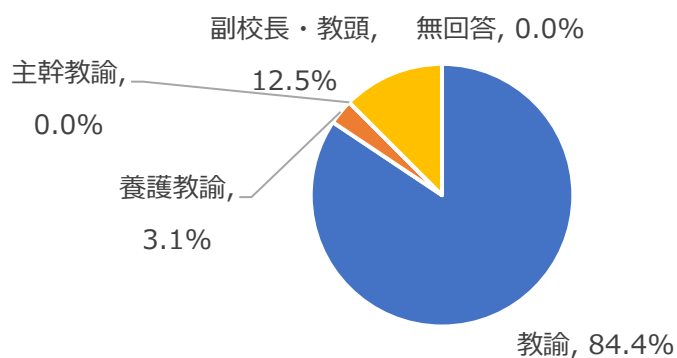
(3) 高等学校

図表 4-8 職名 (n=185)



(4) 特別支援学校

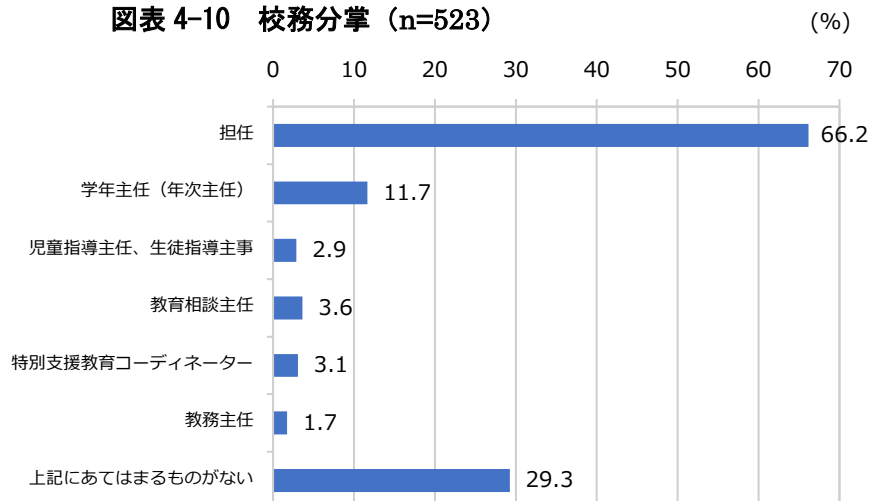
図表 4-9 職名 (n=64)



4-5-4 校務分掌

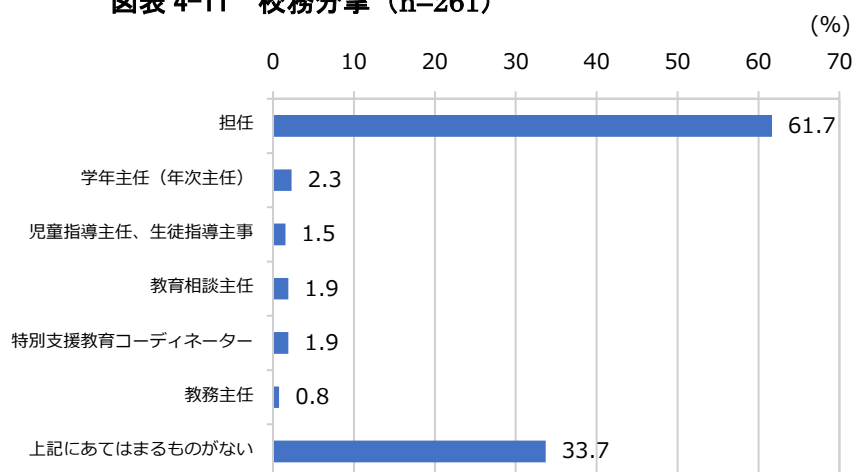
(1) 小学校

図表 4-10 校務分掌 (n=523)



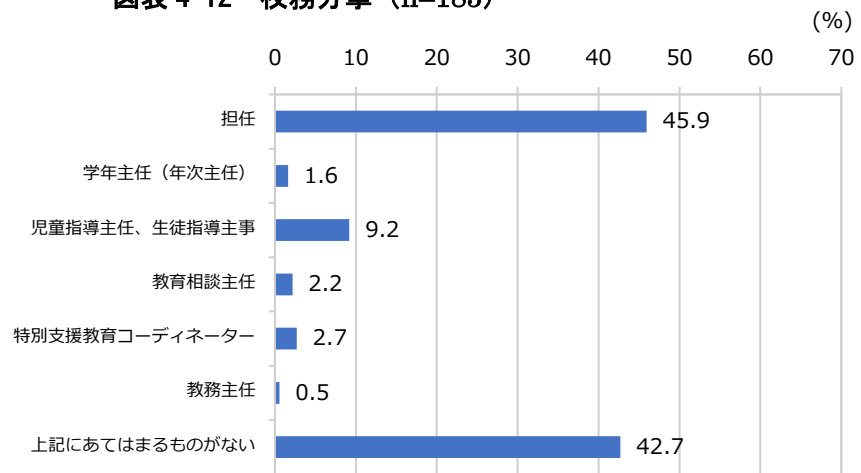
(2) 中学校

図表 4-11 校務分掌 (n=261)



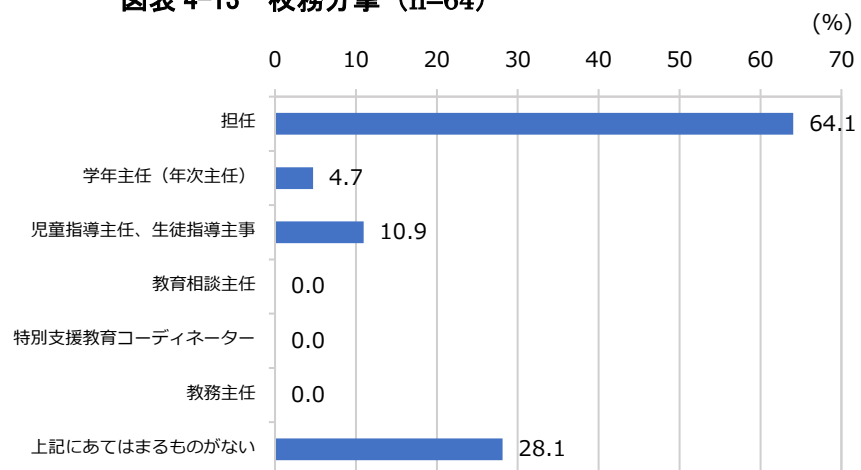
(3) 高等学校

図表 4-12 校務分掌 (n=185)



(4) 特別支援学校

図表 4-13 校務分掌 (n=64)

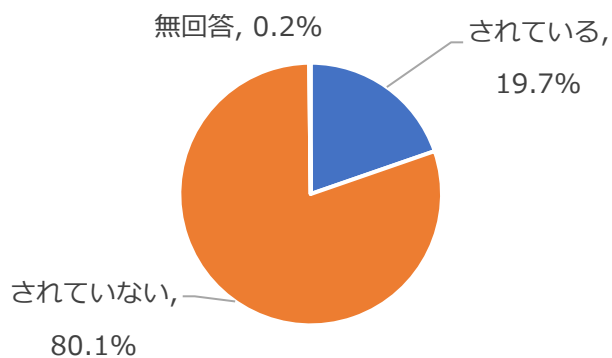


4-6 校内の不登校支援体制について

4-6-1 校内教育支援センターの設置

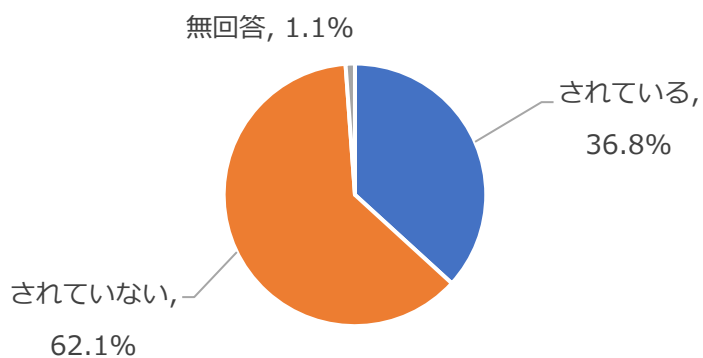
(1) 小学校

図表 4-14 校内教育支援センターの設置 (n=523)



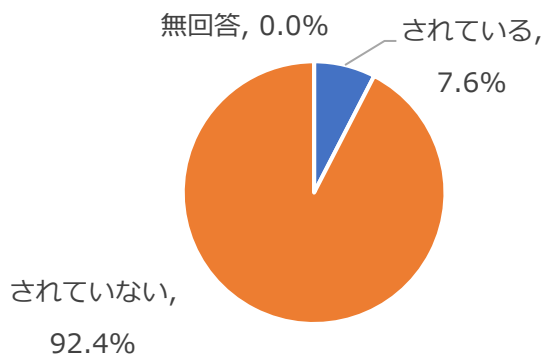
(2) 中学校

図表 4-15 校内教育支援センターの設置 (n=261)



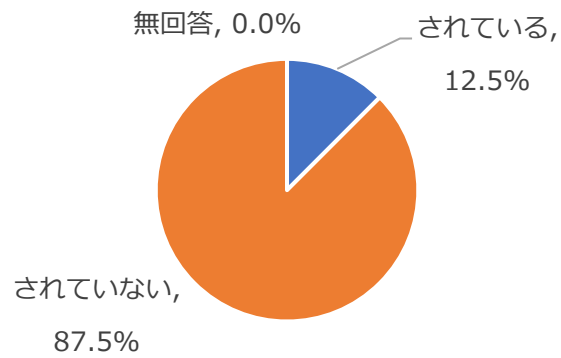
(3) 高等学校

図表 4-16 校内教育支援センターの設置 (n=185)



(4)特別支援学校

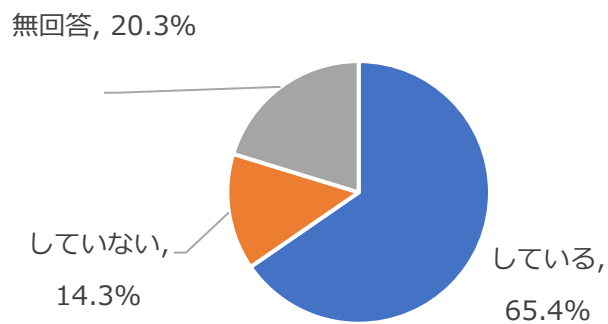
図表 4-17 校内教育支援センターの設置 (n=64)



4-6-2 不登校児童生徒への別室対応

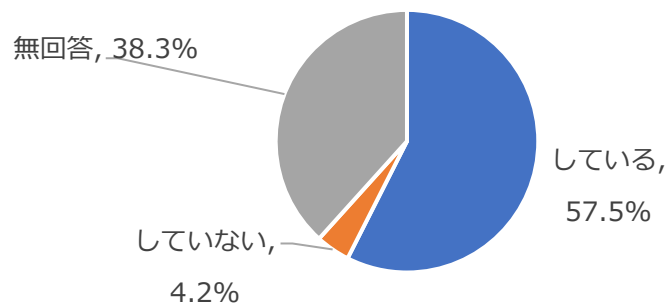
(1)小学校

図表 4-18 別室対応 (n=523)



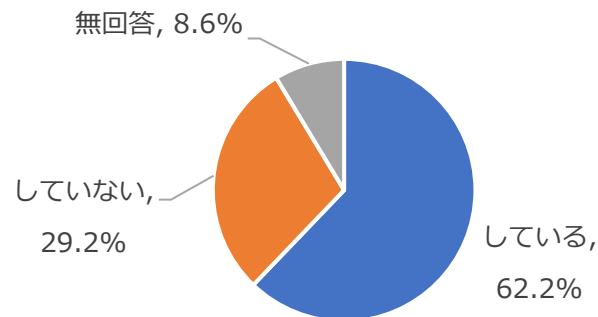
(2)中学校

図表 4-19 別室対応 (n=261)



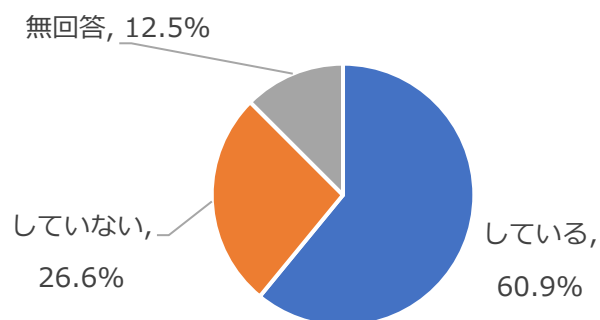
(3) 高等学校

図表 4-20 別室対応 (n=185)



(4) 特別支援学校

図表 4-21 別室対応 (n=64)

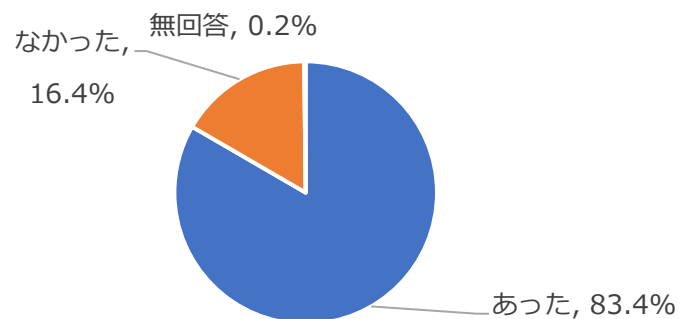


4-7 不登校児童生徒や保護者との関わり

4-7-1 不登校児童生徒や保護者への指導・支援への関わった経験の有無

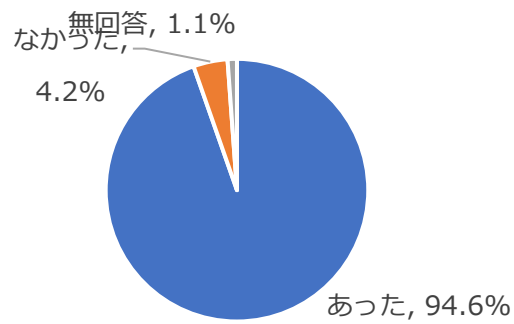
(1) 小学校

図表 4-22 不登校指導・支援への関わり (n=523)



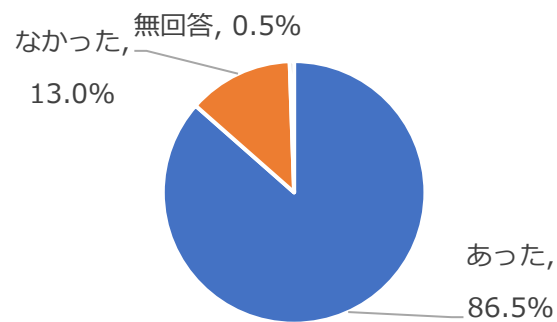
(2) 中学校

図表 4-23 不登校指導・支援への関わり (n=261)



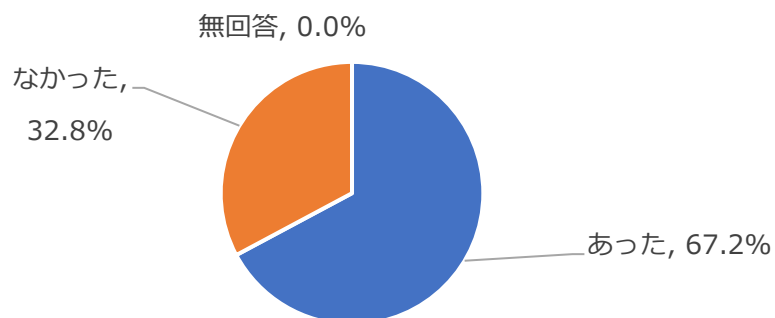
(3) 高等学校

図表 4-24 不登校指導・支援への関わり (n=185)



(4) 特別支援学校

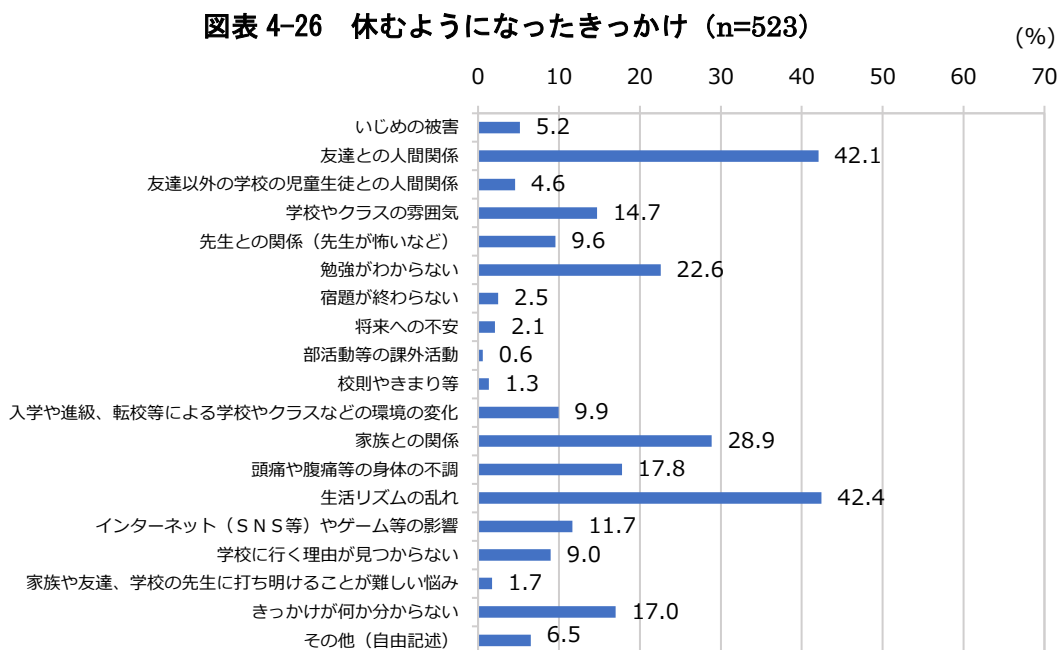
図表 4-25 不登校指導・支援への関わり (n=64)



4-7-2 関わった児童生徒が学校を休むようになったきっかけ（3つまで）

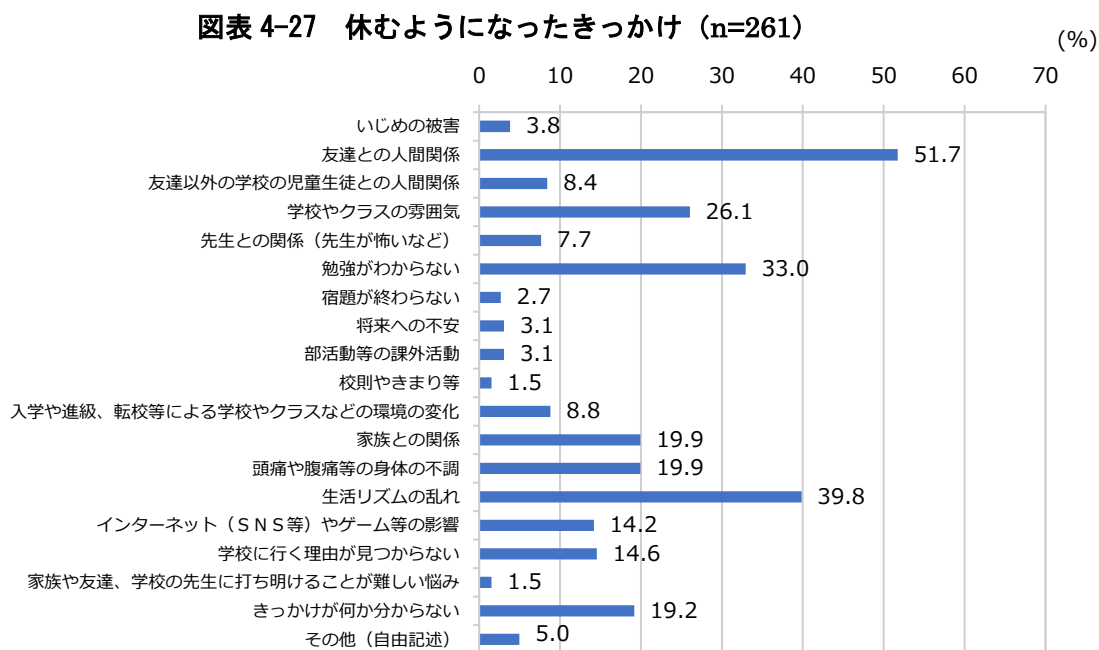
(1) 小学校

「生活リズムの乱れ」が42.4%と最も割合が高く、続いて、「友達との人間関係」が42.1%となっている。



(2) 中学校

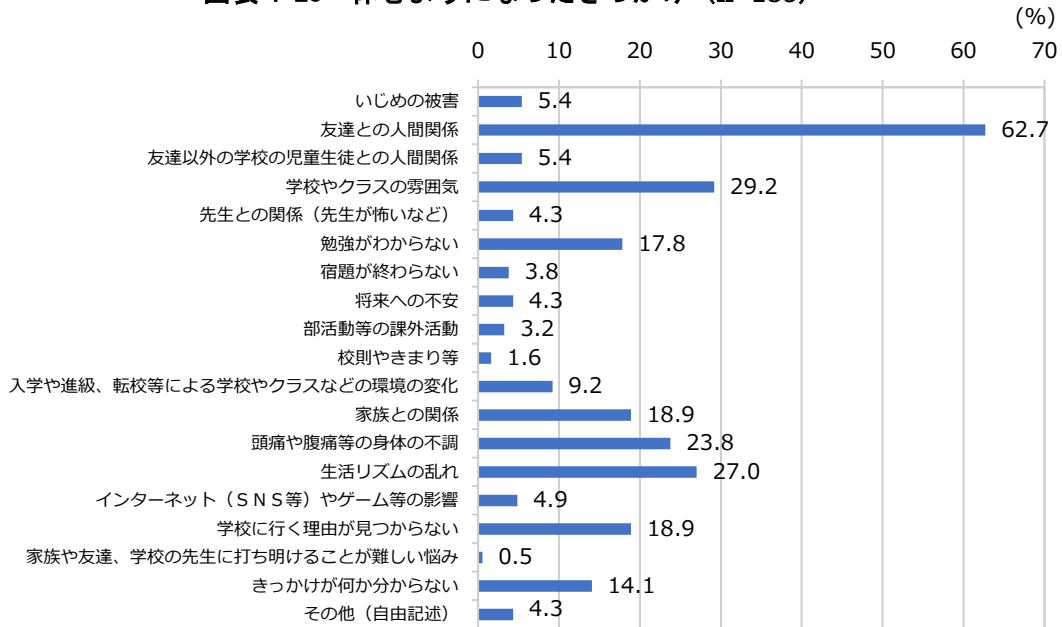
「友達との人間関係」が51.7%と最も割合が高く、続いて、「生活リズムの乱れ」「勉強がわからない」が3割を超えている。



(3) 高等学校

「友達との人間関係」が62.7%と最も割合が高く、続いて、「学校やクラスの雰囲気」「生活リズムの乱れ」が3割弱となっている。

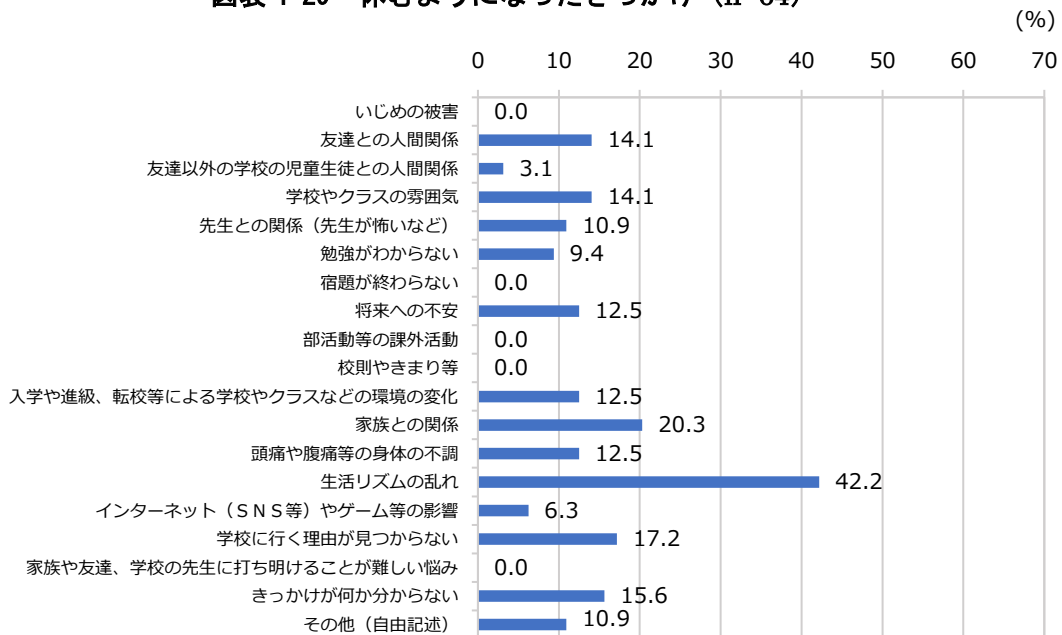
図表 4-28 休むようになったきっかけ (n=185)



(4) 特別支援学校

「生活リズムの乱れ」が42.2%と最も多く、続いて、「家族との関係」「学校に行く理由が見つからない」が2割前後となっている。

図表 4-29 休むようになったきっかけ (n=64)

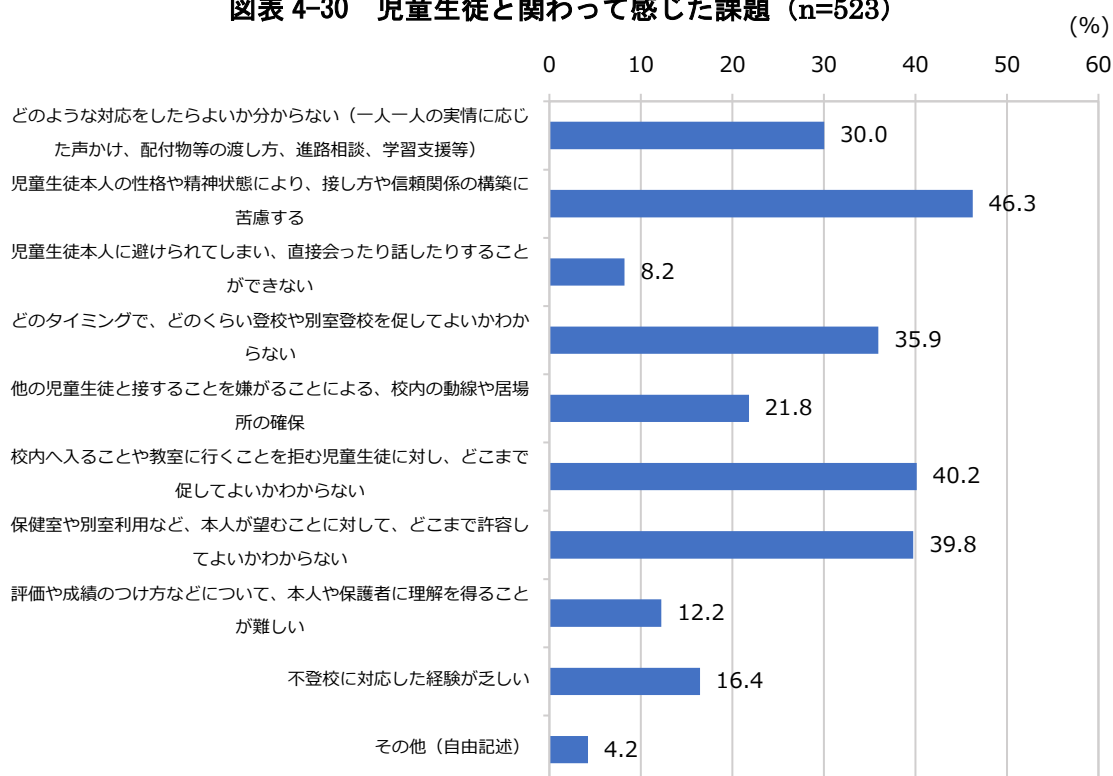


4-7-3 不登校児童生徒と直接関わって感じた課題

どの学校種でも「接し方や信頼関係の構築に苦慮する」を課題に感じている教員が最も多く、小学校 46.3%、中学校 49.8%、高等学校 53.5%、特別支援学校 43.8%となっている。

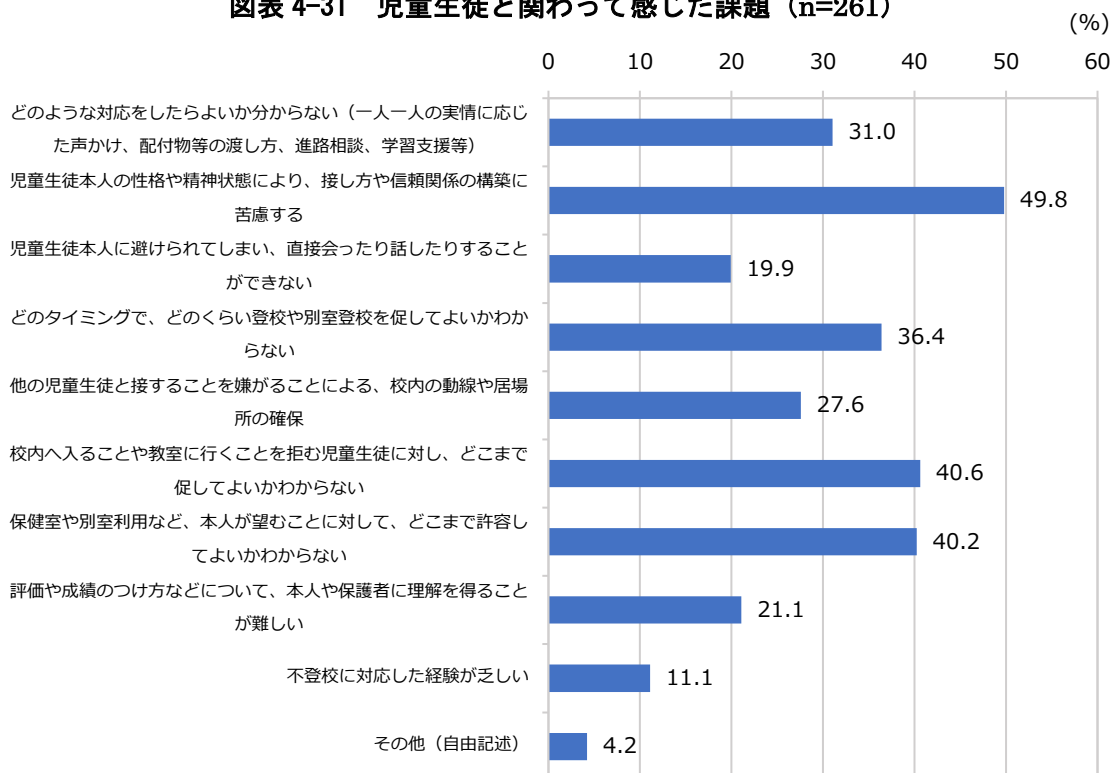
(1) 小学校

図表 4-30 児童生徒と関わって感じた課題 (n=523)



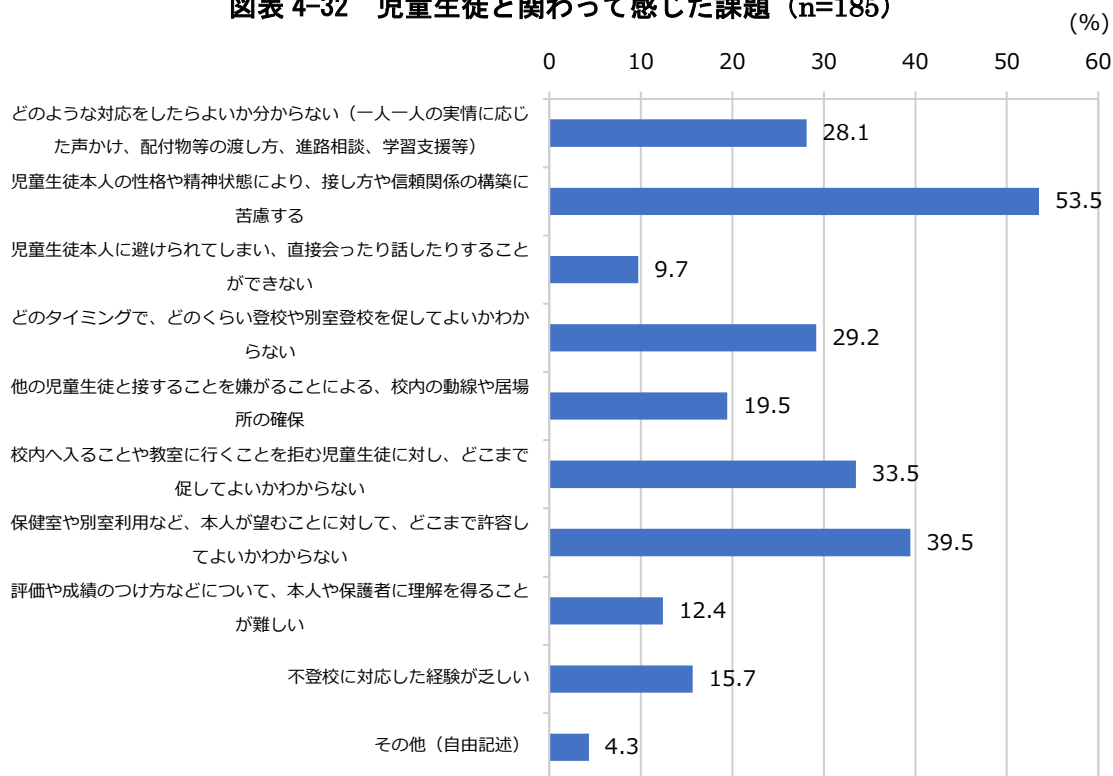
(2) 中学校

図表 4-31 児童生徒と関わって感じた課題 (n=261)



(3) 高等学校

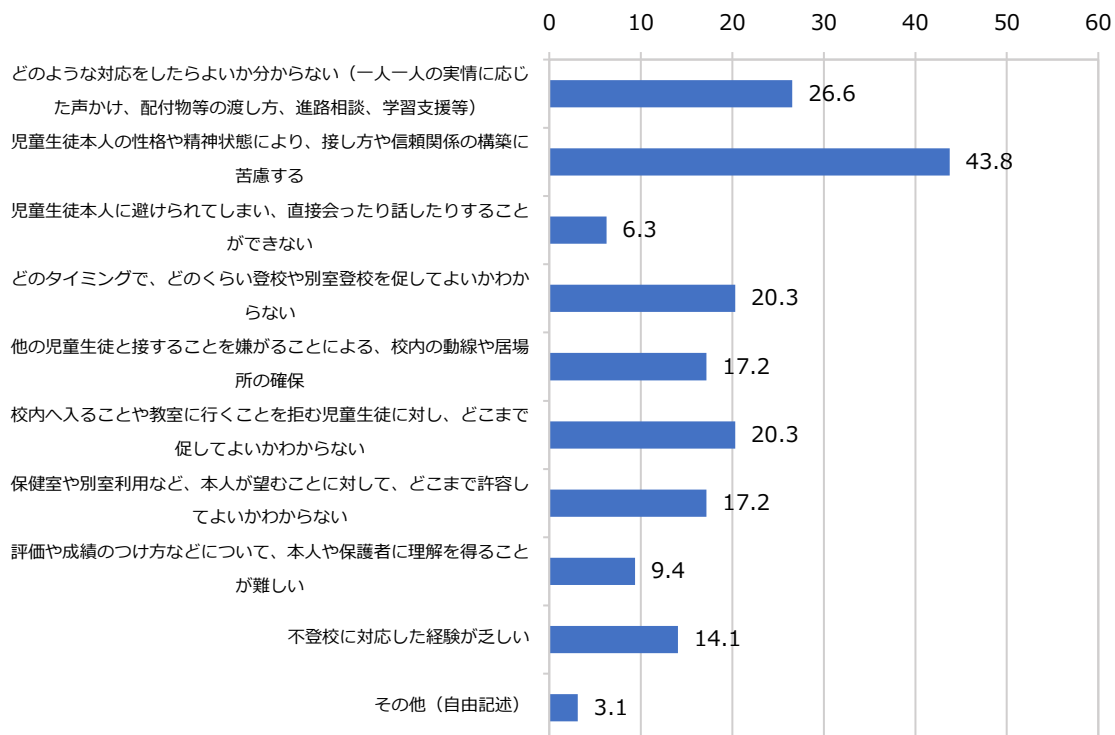
図表 4-32 児童生徒と関わって感じた課題 (n=185)



(4)特別支援学校

図表 4-33 児童生徒と関わって感じた課題 (n=64)

(%)

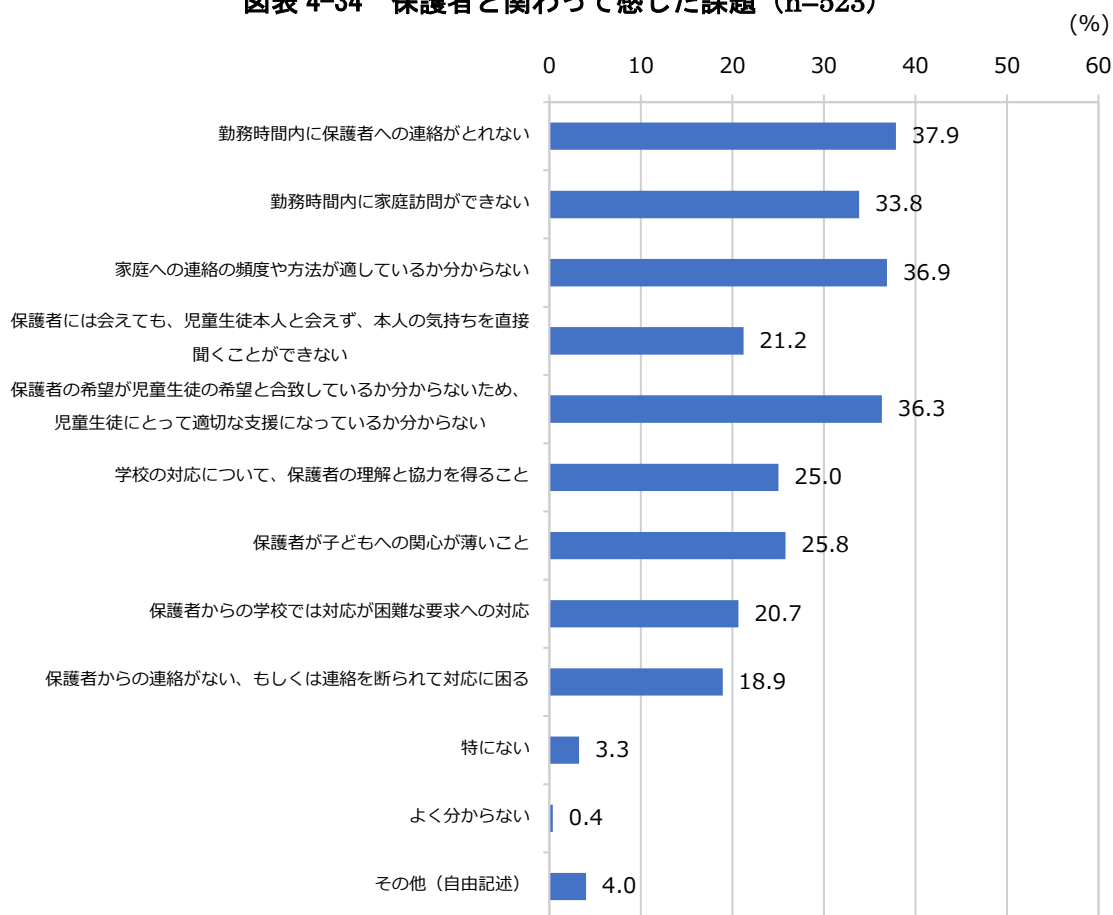


4-7-4 不登校児童生徒の保護者と直接関わって感じた課題

(1) 小学校

「勤務時間に保護者への連絡が取れない」「勤務時間に家庭訪問ができない」「家庭への連絡の頻度や方法が適しているか分からない」「保護者の希望が児童生徒の希望と合致しているかが分からないため、児童生徒にとって適切な支援になっているか分からない」を課題に感じている教員が多く、それぞれ 35.0%前後となっている。

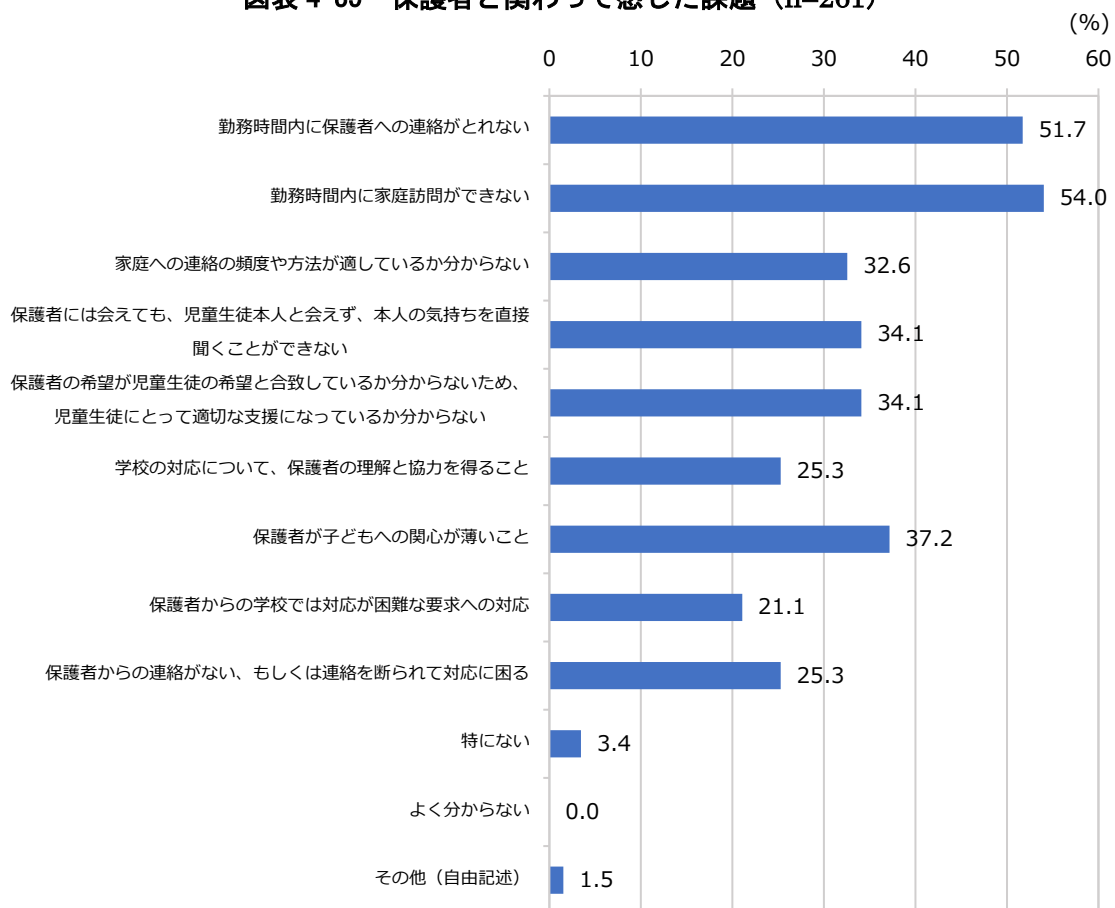
図表 4-34 保護者と関わって感じた課題 (n=523)



(2) 中学校

「勤務時間に保護者への連絡が取れない」「勤務時間に家庭訪問ができない」を課題に感じている教員が多く、50.0%を超えている。

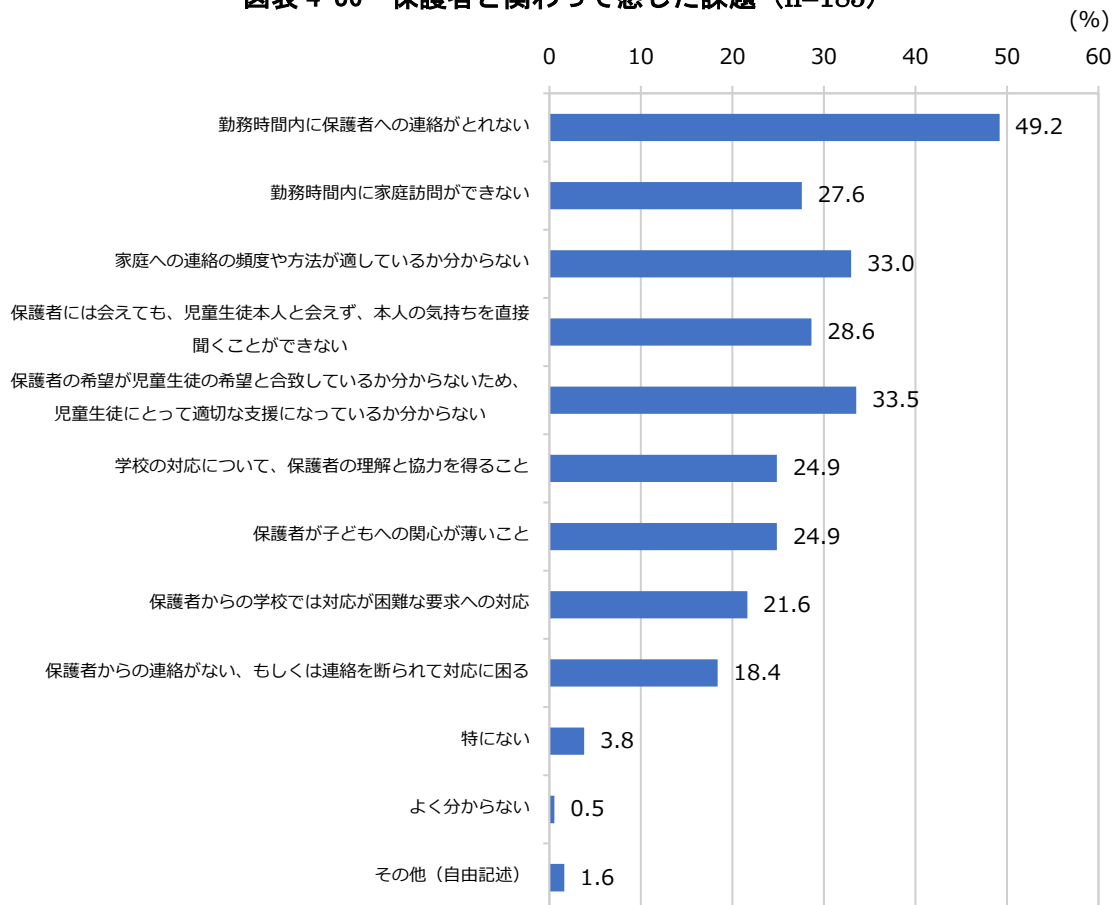
図表 4-35 保護者と関わって感じた課題 (n=261)



(3) 高等学校

「勤務時間に保護者への連絡が取れない」を課題に感じている教員が最も多く、49.2%となっている。

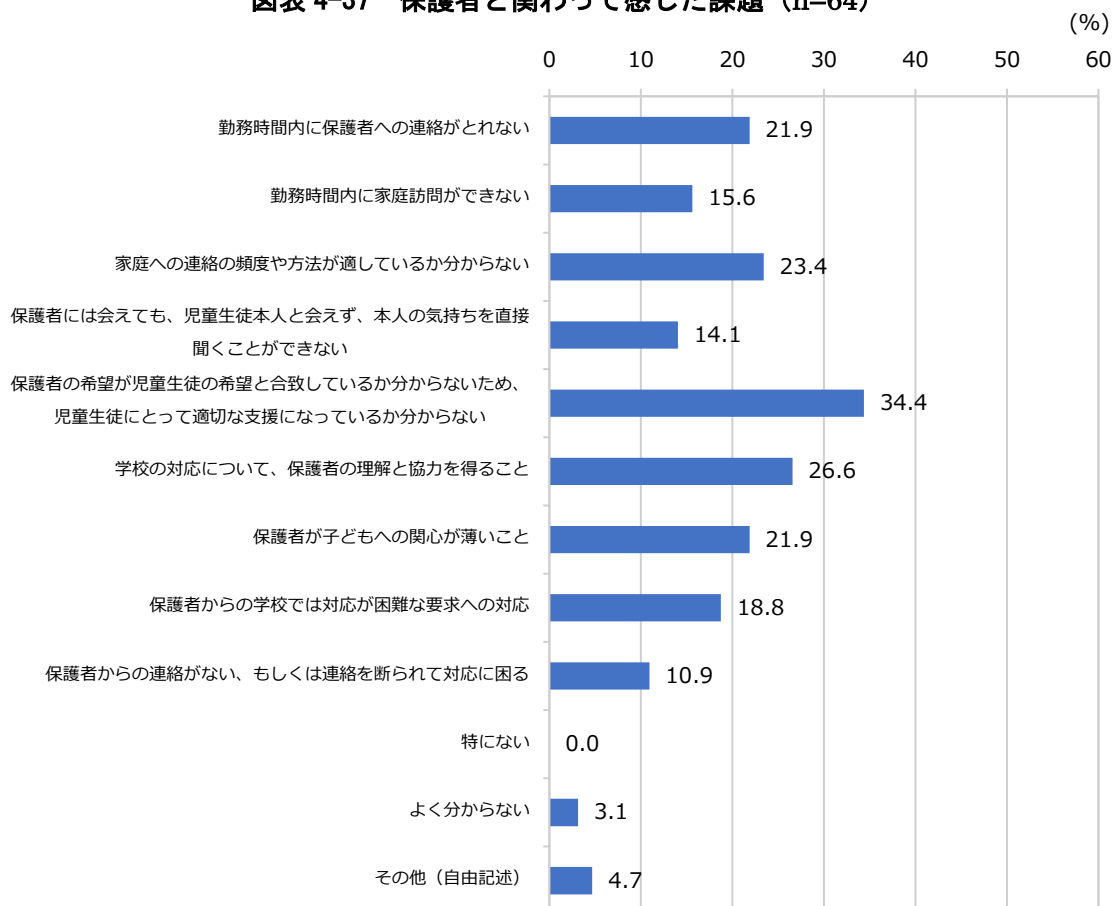
図表 4-36 保護者と関わって感じた課題 (n=185)



(4)特別支援学校

「保護者の希望が児童生徒の希望と合致しているかが分からないため、児童生徒にとって適切な支援になっているか分からない」「学校の対応について、保護者の協力と理解を得ること」を課題に感じている教員が多く、3割前後となっている。

図表 4-37 保護者と関わって感じた課題 (n=64)



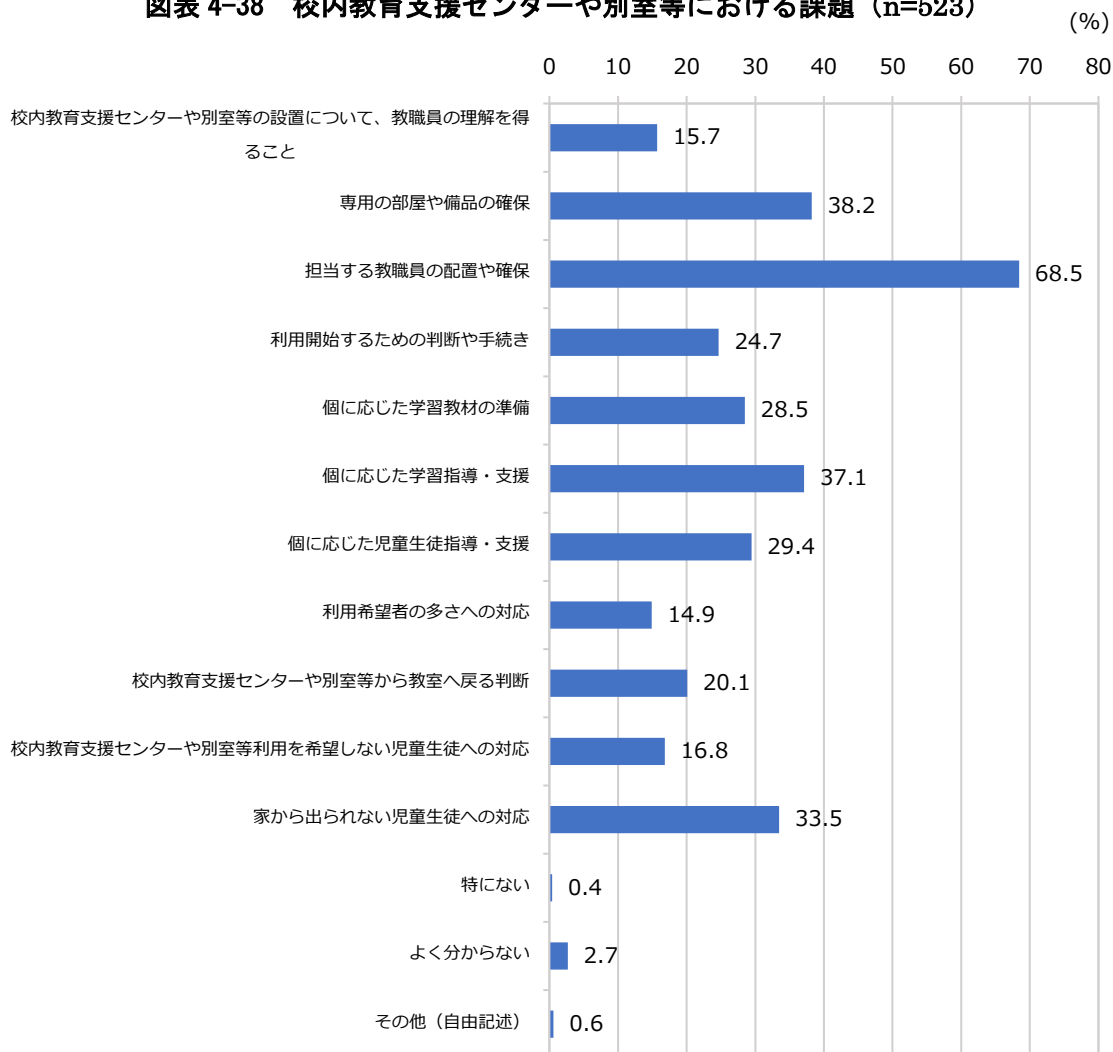
4-8 支援体制等の課題について

4-8-1 校内教育支援センターや別室等における課題

どの学校種でも「担当する教職員の配置や確保」を課題に感じている教員が最も多く、小学校 68.5%、中学校 72.8%、高等学校 66.5%、特別支援学校 43.8%となっている。

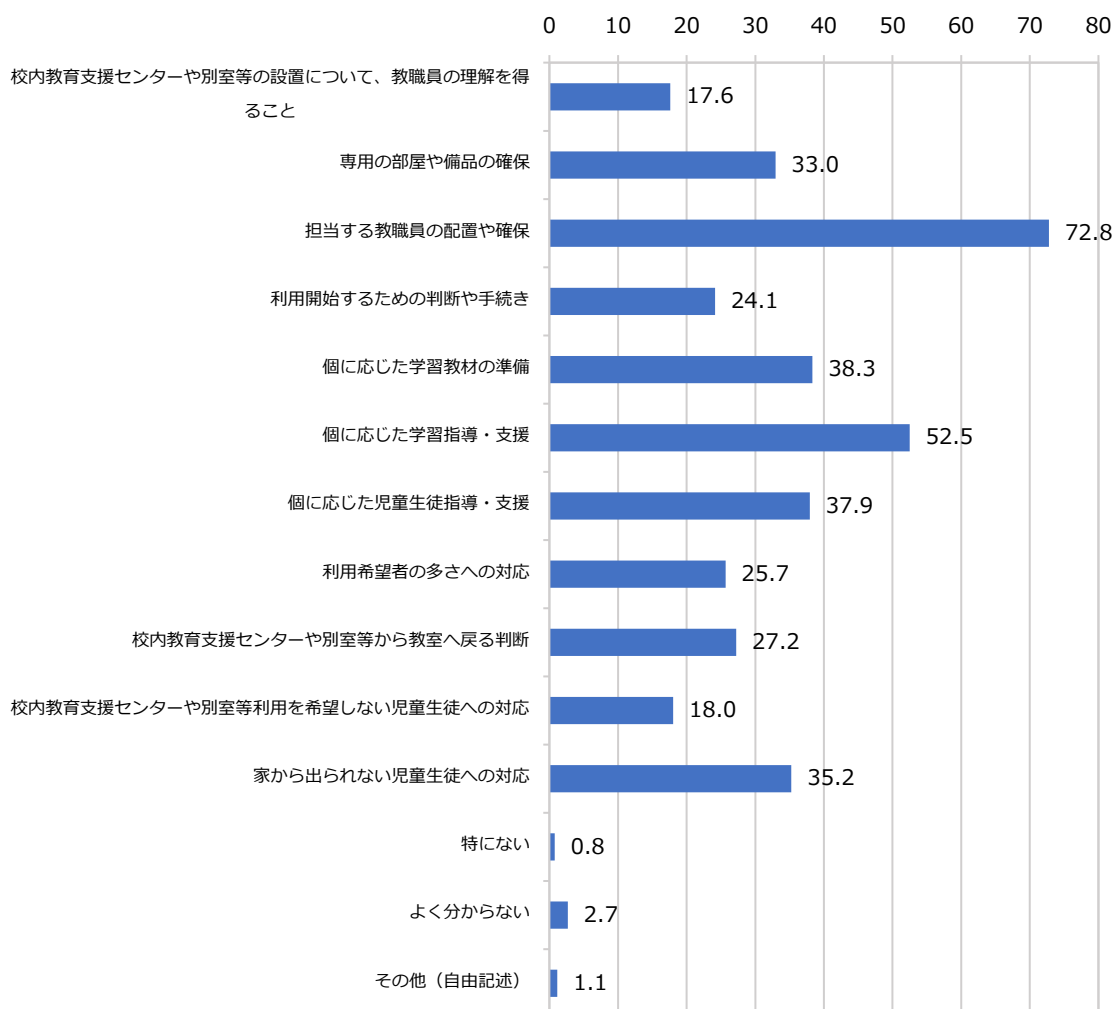
(1) 小学校

図表 4-38 校内教育支援センターや別室等における課題 (n=523)



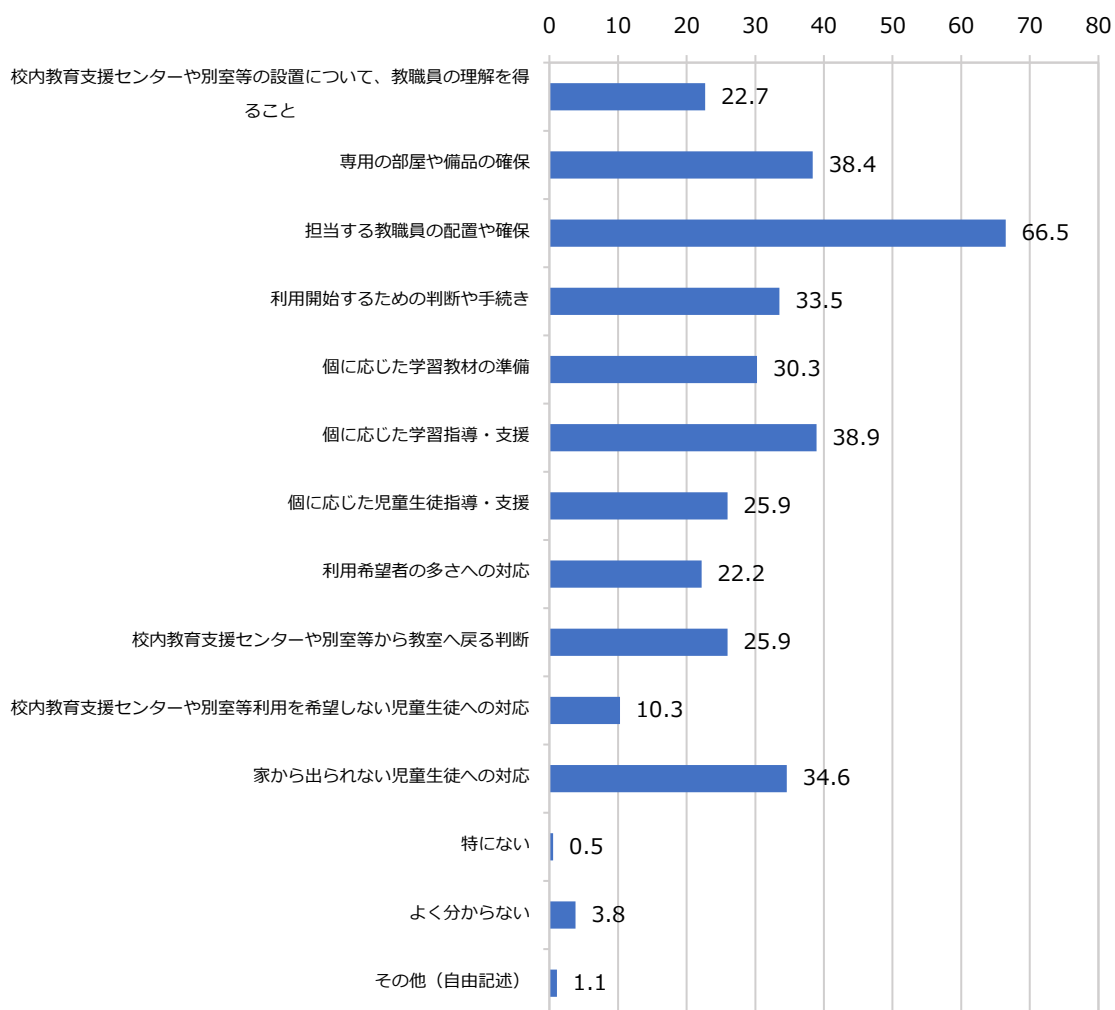
(2) 中学校

図表 4-39 校内教育支援センターや別室等における課題 (n=261) (%)



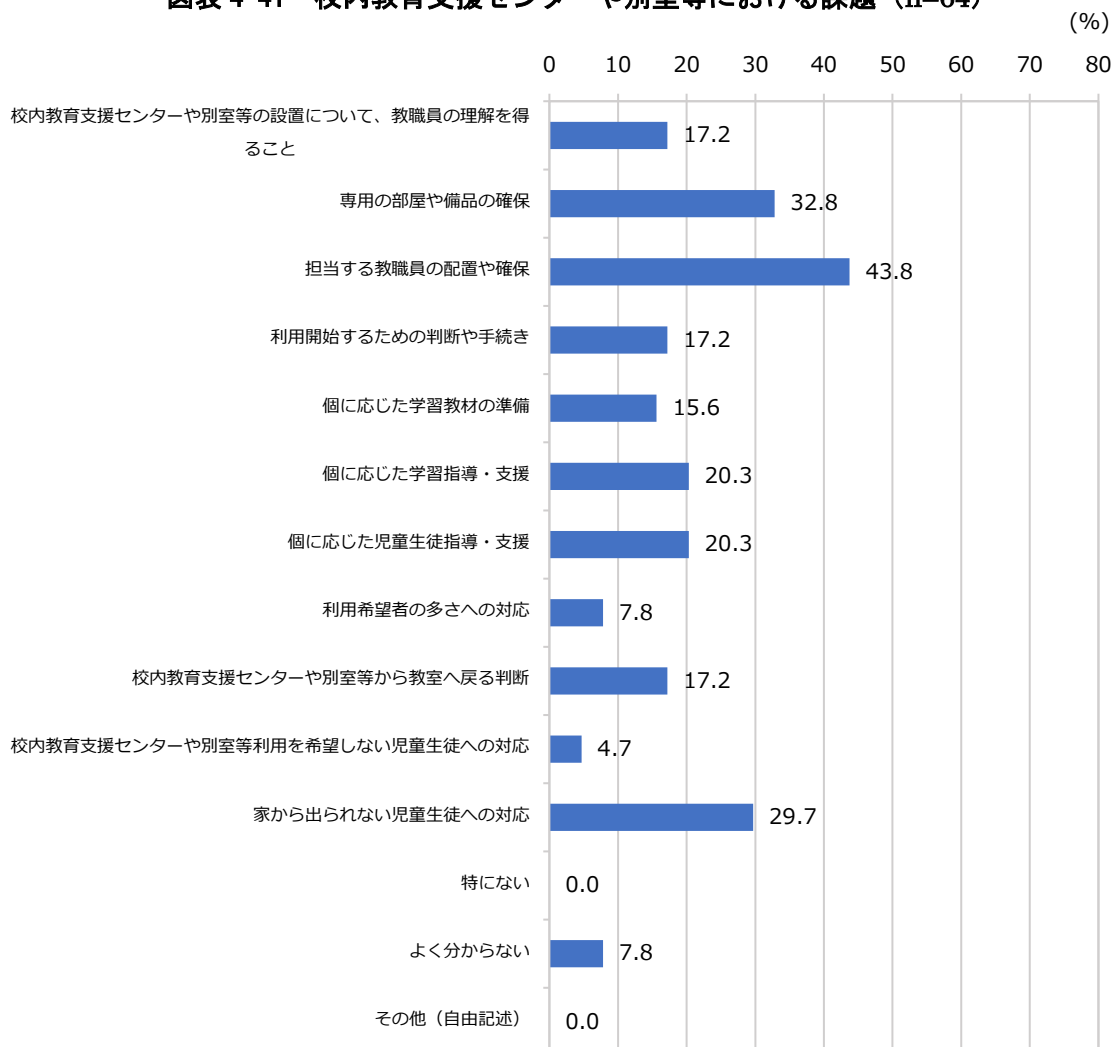
(3) 高等学校

図表 4-40 校内教育支援センターや別室等における課題 (n=185) (%)



(4)特別支援学校

図表 4-41 校内教育支援センターや別室等における課題 (n=64)

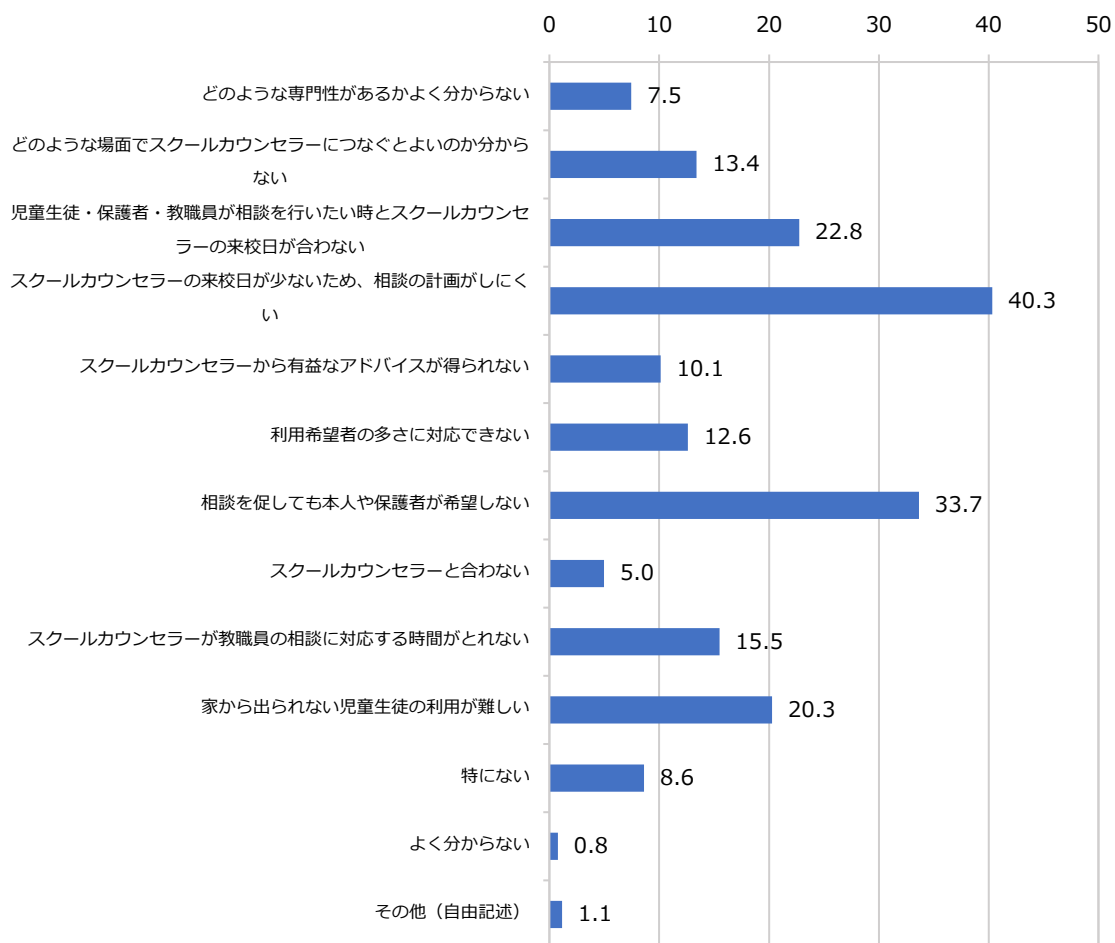


4-8-2 スクールカウンセラーの活用に関する課題

(1) 小学校

「スクールカウンセラーの来校日が少ないため、相談の計画がしにくい」が40.3%、「相談を促しても本人や保護者が希望しない」が33.7%と多く、続いて、「児童生徒・保護者・教職員が相談を行いたい時とスクールカウンセラーの来校日が合わない」が22.8%、「家から出られない児童生徒の利用が難しい」が20.3%となっている。

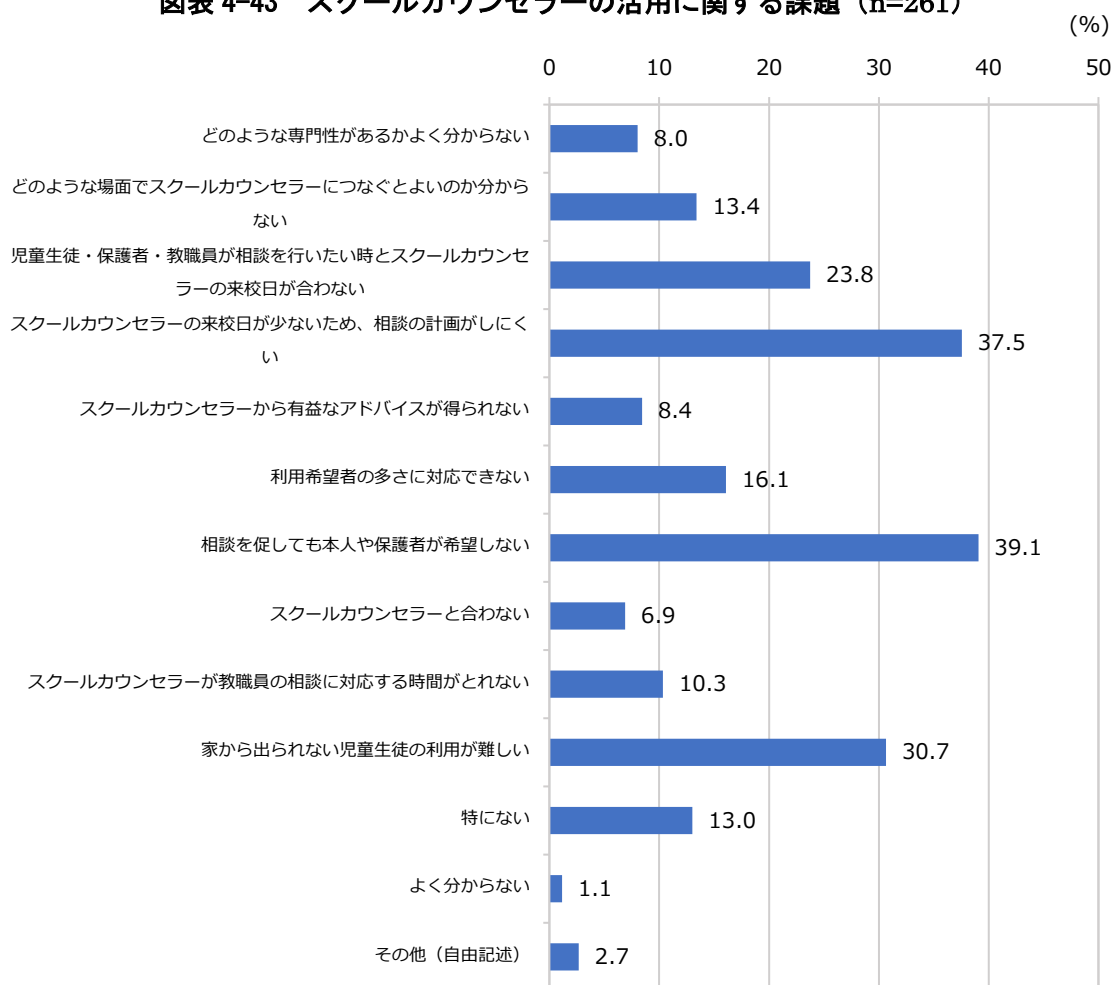
図表 4-42 スクールカウンセラーの活用に関する課題 (n=523) (%)



(2) 中学校

「相談を促しても本人や保護者が希望しない」が39.1%、「スクールカウンセラーの来校日が少ないため、相談の計画がしにくい」が37.5%と多く、続いて、「家から出られない児童生徒の利用が難しい」が30.7%、「児童生徒・保護者・教職員が相談を行いたい時とスクールカウンセラーの来校日が合わない」が23.8%となっている。

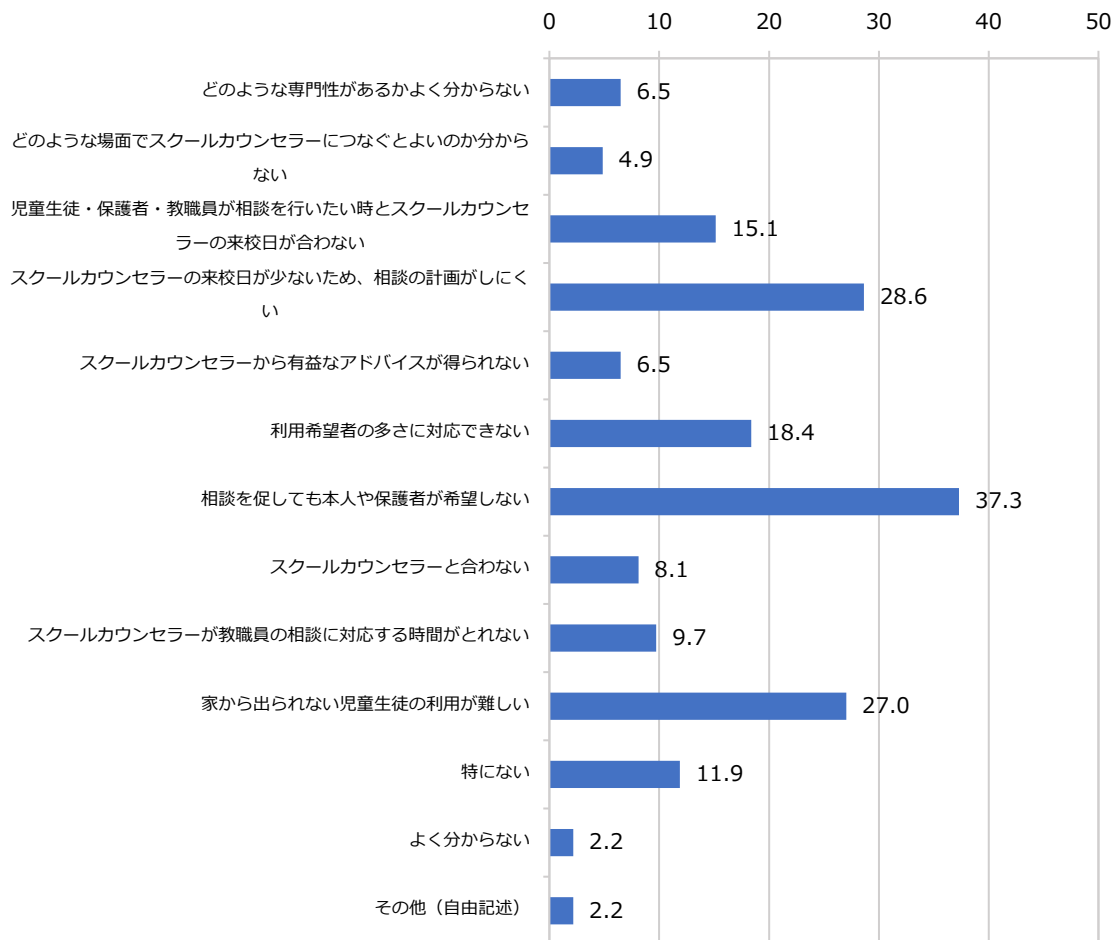
図表 4-43 スクールカウンセラーの活用に関する課題 (n=261)



(3) 高等学校

「相談を促しても本人や保護者が希望しない」が37.3%と最も多く、続いて、「スクールカウンセラーの来校日が少ないため、相談の計画がしにくい」が28.6%、「家から出られない児童生徒の利用が難しい」が27.0%となっている。

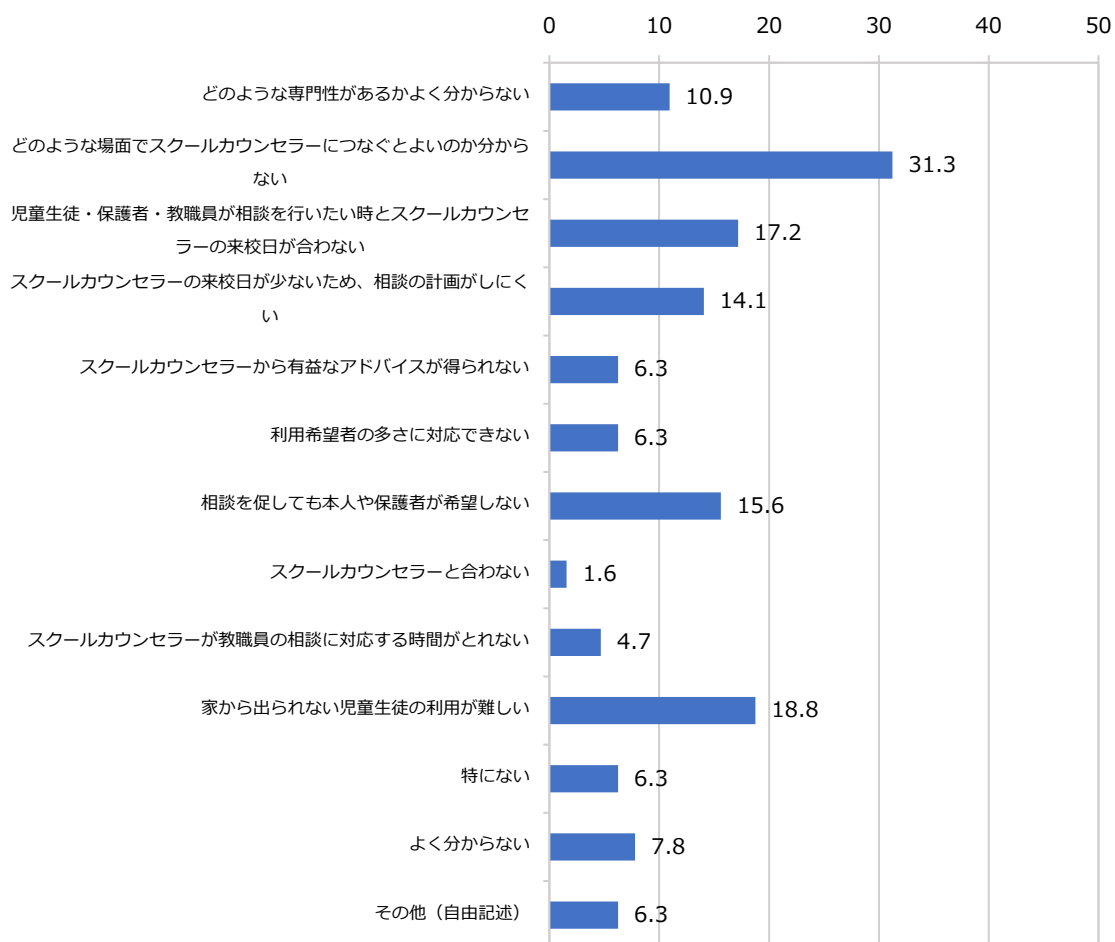
図表 4-44 スクールカウンセラーの活用に関する課題 (n=185) (%)



(4)特別支援学校

「どのような場面でスクールカウンセラーにつなぐとよいのか分からない」が31.3%と最も多く、続いて、「家から出られない児童生徒の利用が難しい」が18.8%、「児童生徒・保護者・教職員が相談を行いたい時とスクールカウンセラーの来校日が合わない」が17.2%となっている。

図表 4-45 スクールカウンセラーの活用に関する課題 (n=64) (%)

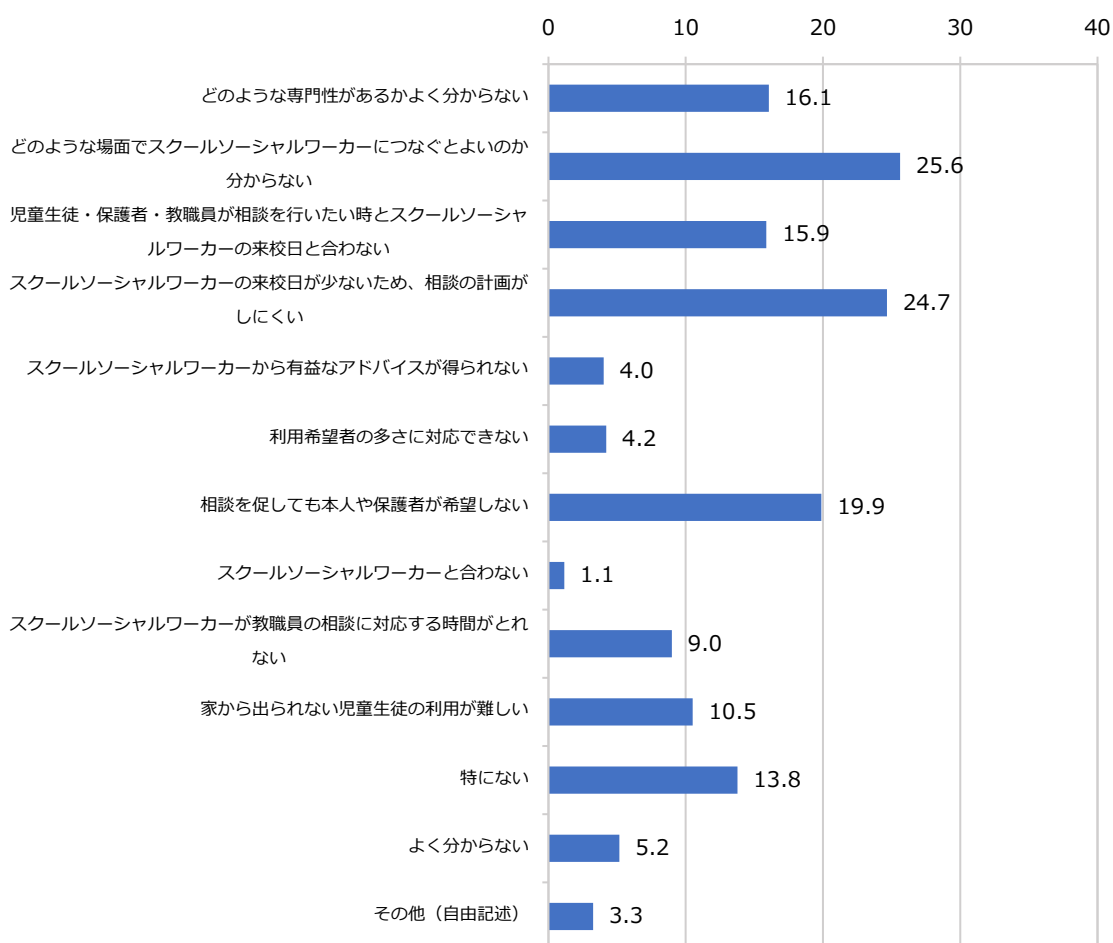


4-8-3 スクールソーシャルワーカーの活用に関する課題

(1) 小学校

「どのような場面でスクールソーシャルワーカーにつなぐとよいのかが分からない」が25.6%、「スクールソーシャルワーカーの来校日が少ないため、相談の計画がしにくい」が24.7%と多く、続いて、「相談を促しても本人や保護者が希望しない」が19.9%となっている。

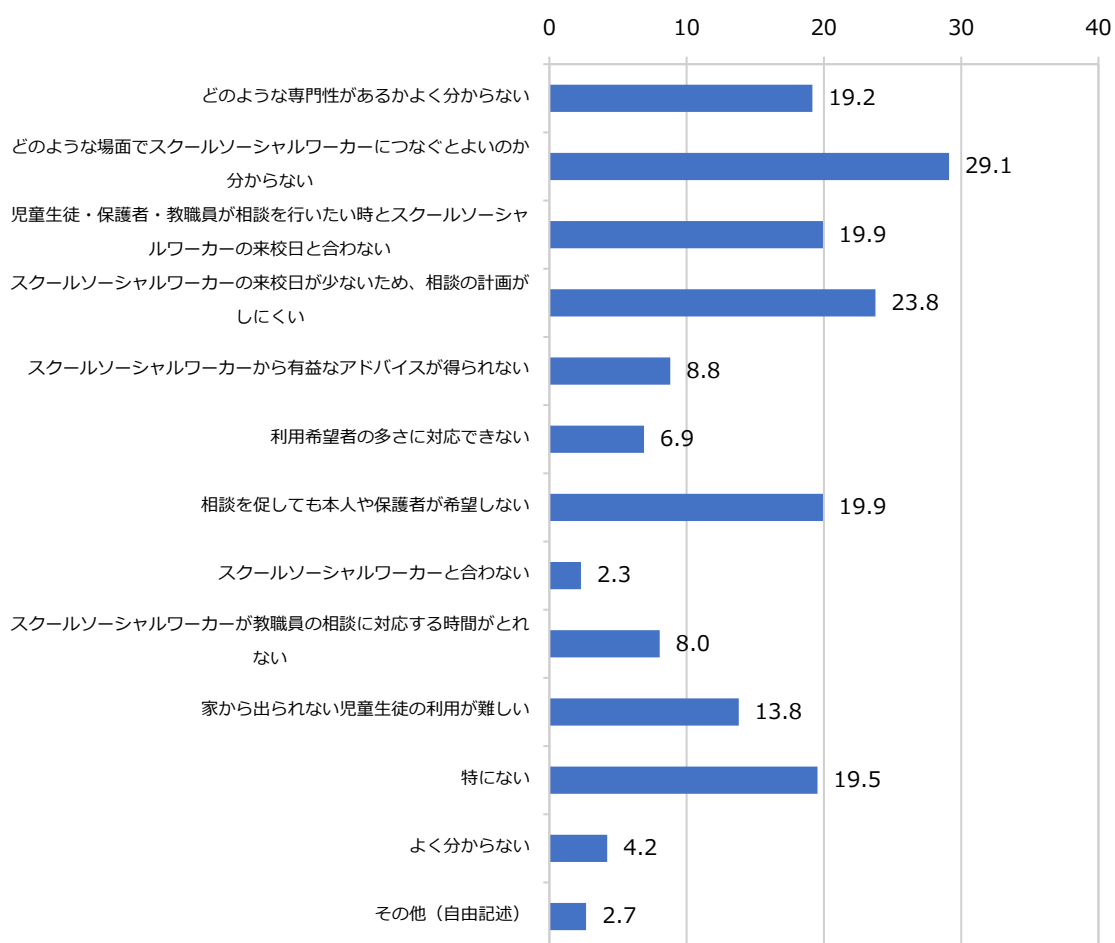
図表 4-46 スクールソーシャルワーカーの活用に関する課題 (n=523) (%)



(2) 中学校

「どのような場面でスクールソーシャルワーカーにつなぐとよいのかが分からない」が29.1%、「スクールソーシャルワーカーの来校日が少ないため、相談の計画がしにくい」が23.8%と多く、続いて、「児童生徒・保護者・教職員が相談を行いたい時とスクールカウンセラーの来校日が合わない」「相談を促しても本人や保護者が希望しない」が19.9%、「どのような専門性があるかよく分からない」が19.2%となっている。

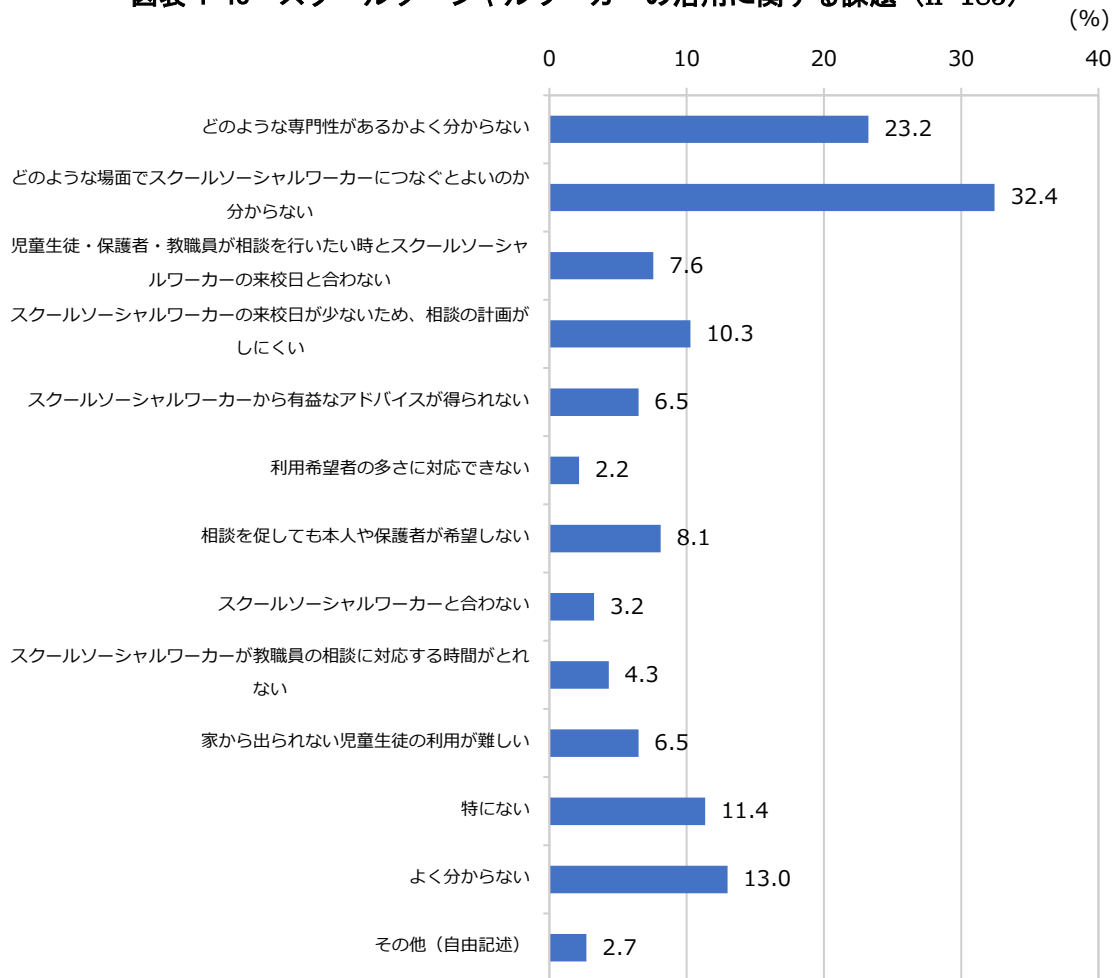
図表 4-47 スクールソーシャルワーカーの活用に関する課題 (n=261) (%)



(3) 高等学校

「どのような場面でスクールソーシャルワーカーにつなぐとよいのかが分からない」が32.4%と最も多く、次いで「どのような専門性があるかよく分からない」が23.2%と多くなっている。

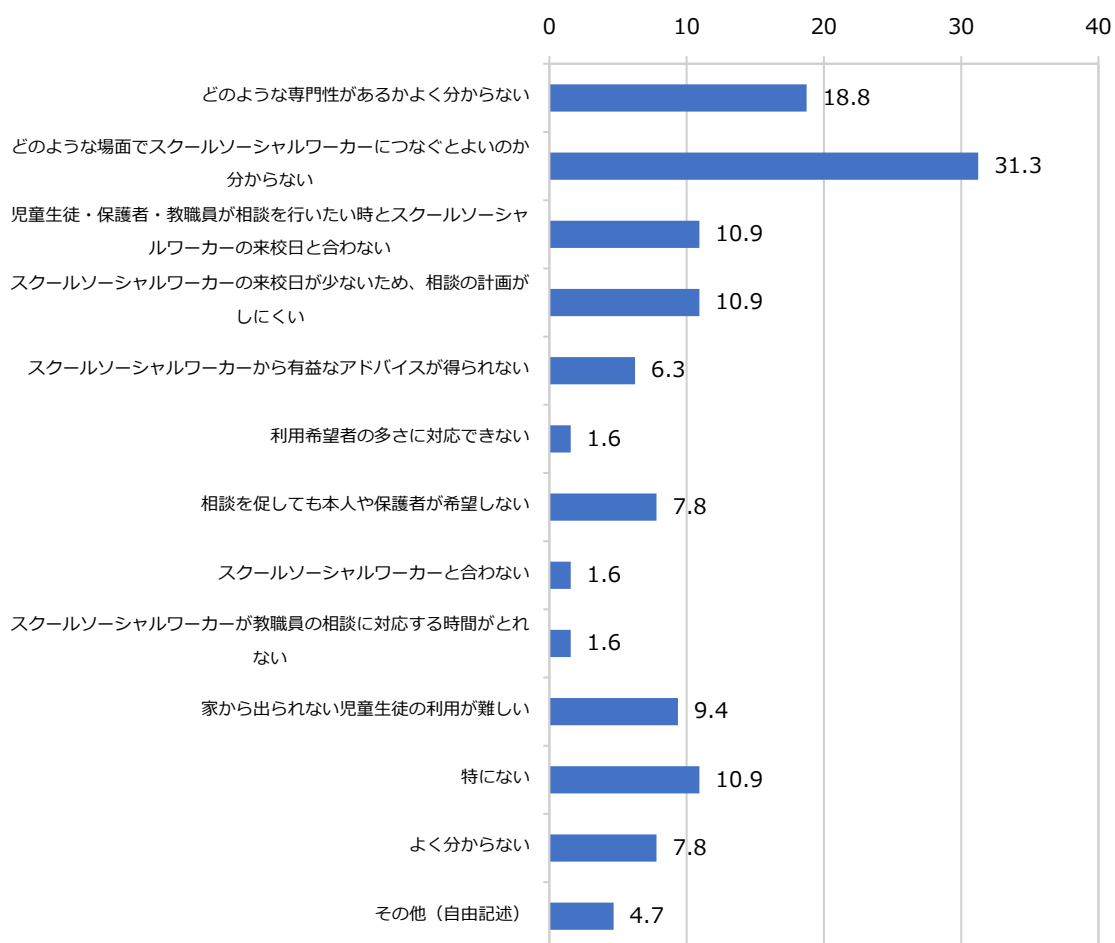
図表 4-48 スクールソーシャルワーカーの活用に関する課題 (n=185)



(4)特別支援学校

「どのような場面でスクールソーシャルワーカーにつなぐとよいのかが分からない」が31.3%と最も多く、次いで「どのような専門性があるかよく分からない」が18.8%と多くなっている。

図表 4-49 スクールソーシャルワーカーの活用に関する課題 (n=64) (%)

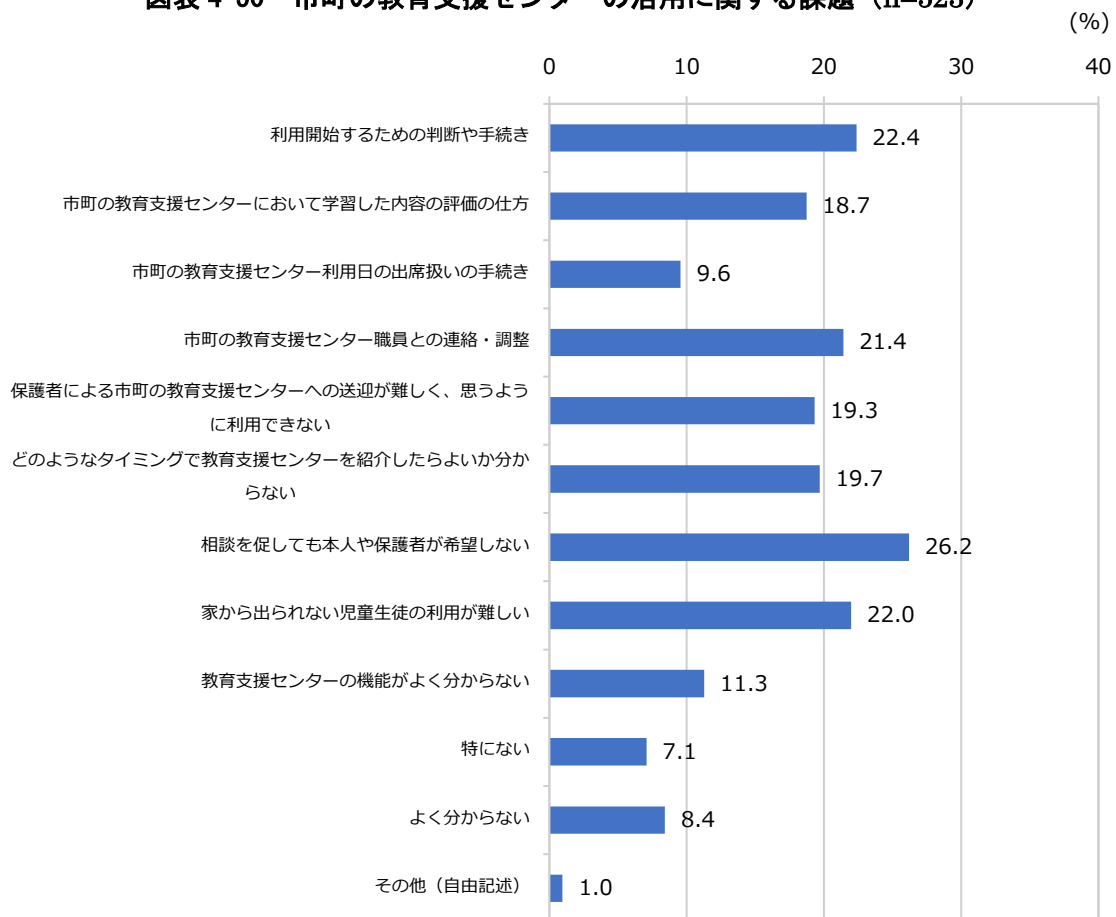


4-8-4 (市町立学校教員のみ回答) 市町の教育支援センター(教育委員会が設置する不登校の児童生徒に対して学習支援や相談等を実施する施設)の活用に関する課題

(1) 小学校

「相談を促しても本人や保護者が希望しない」が26.2%と最も多く、「利用開始するための判断や手続き」が22.4%、「家から出られない児童生徒の利用が難しい」が22.0%、「市町の教育支援センター職員との連絡・調整」「どのようなタイミングで紹介したらよいか分からない」「保護者による市町の教育支援センターへの送迎が難しく、思うように利用できない」が20%前後となっている。

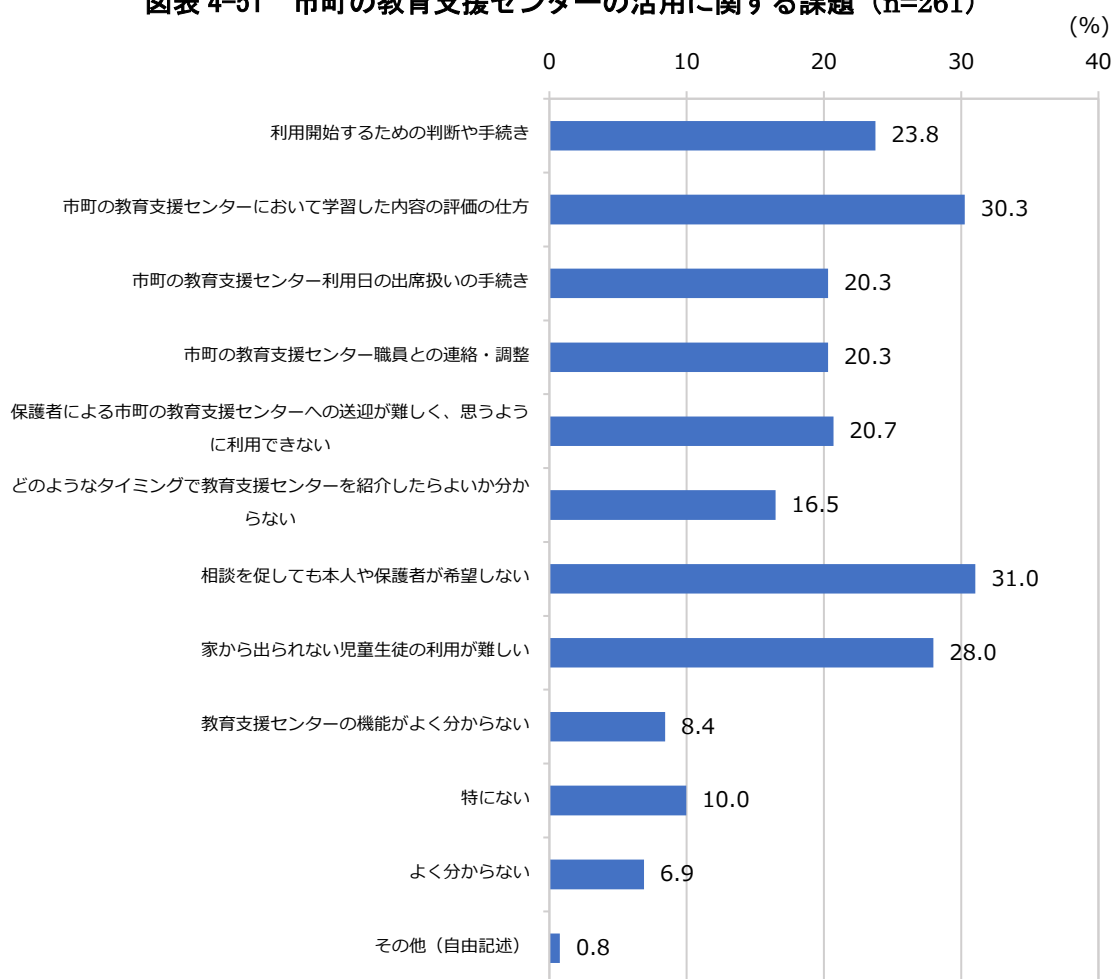
図表 4-50 市町の教育支援センターの活用に関する課題 (n=523)



(2) 中学校

「相談を促しても本人や保護者が希望しない」が31.0%、「市町の教育支援センターにおいて学習した内容の評価の仕方」が30.3%と多く、続いて、「家から出られない児童生徒の利用が難しい」が28.0%、「利用開始するための判断や手続き」が23.8%となっている。

図表 4-51 市町の教育支援センターの活用に関する課題 (n=261)

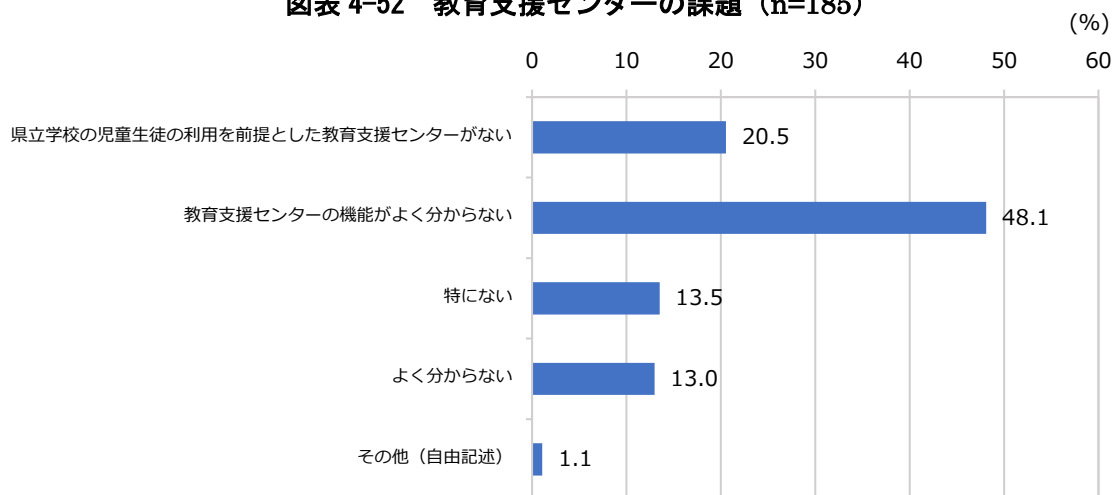


4-8-5 (県立学校教員のみ回答) 教育支援センター(教育委員会が設置する不登校の児童生徒に対して学習支援や相談等を実施する施設)の課題

(1) 高等学校

「教育支援センターの機能がよく分からない」が48.1%と最も多く、続いて、「県立学校の児童生徒の利用を前提とした教育支援センターがない」が20.5%となっている。

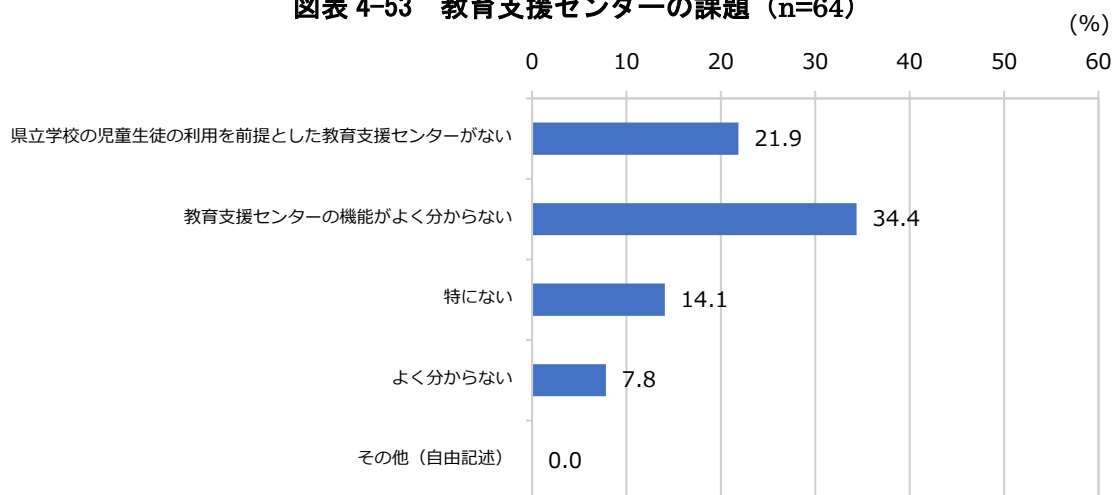
図表 4-52 教育支援センターの課題 (n=185)



(2) 特別支援学校

「教育支援センターの機能がよく分からない」が34.4%と最も多く、続いて、「県立学校の児童生徒の利用を前提とした教育支援センターがない」が21.9%となっている。

図表 4-53 教育支援センターの課題 (n=64)

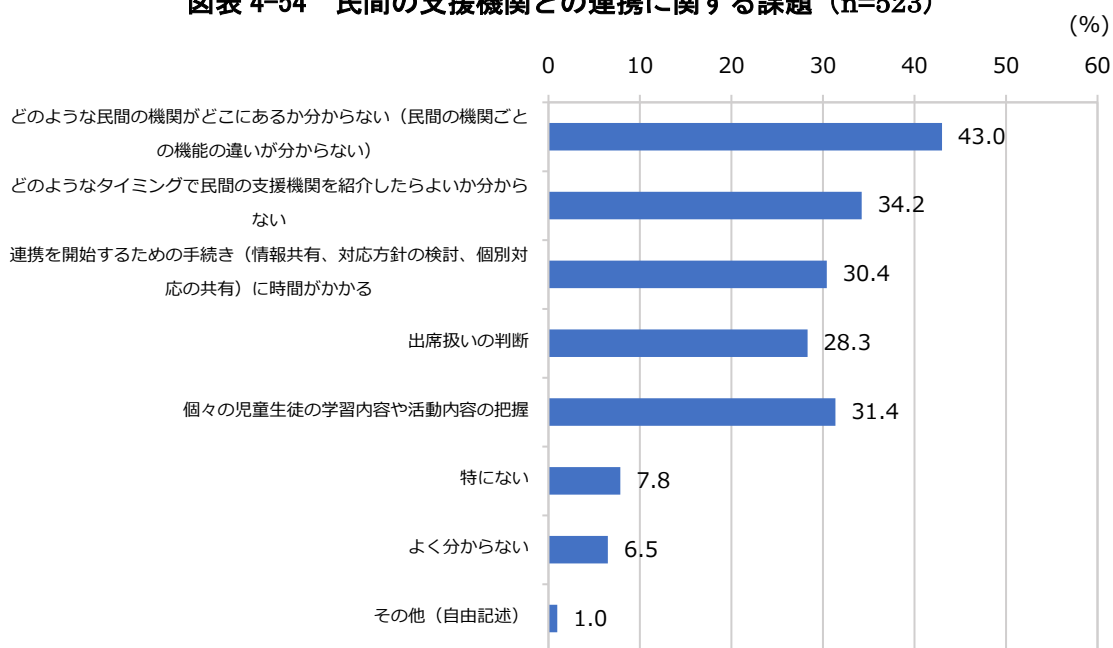


4-8-6 民間の支援機関（フリースクール、居場所等）との連携に関する課題

(1) 小学校

「どのような民間の期間がどこにあるのか分からない」が43.0%と最も多く、続いて、「どのようなタイミングで民間の支援機関を紹介したらよいか分からない」が34.2%、「連携を開始するための手続きに時間がかかる」「個々の児童生徒の学習内容や活動内容の把握」「出席扱いの判断」が30%前後となっている。

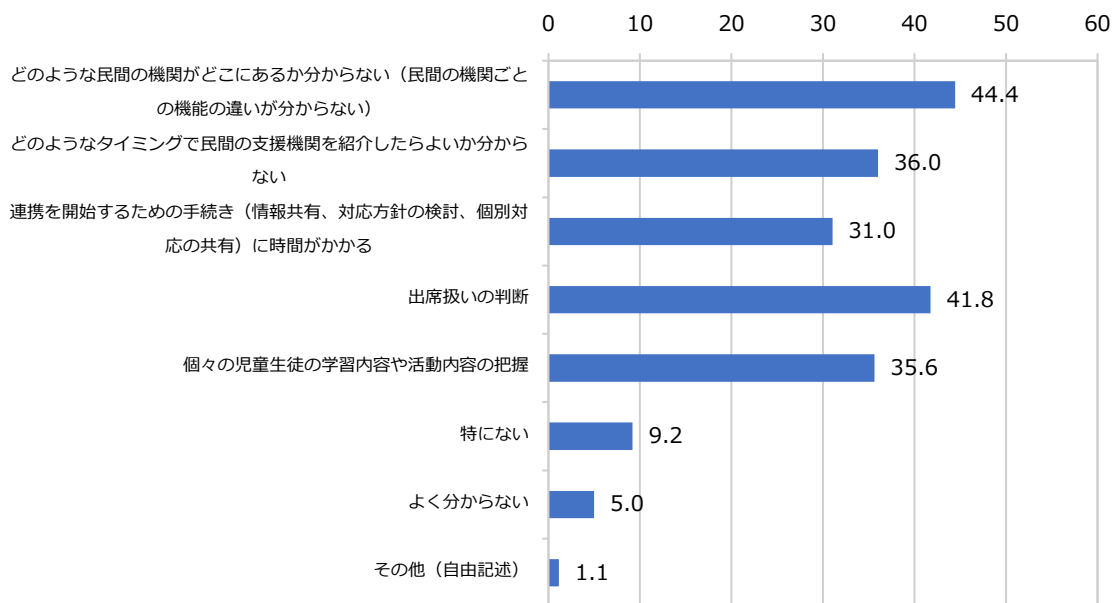
図表 4-54 民間の支援機関との連携に関する課題 (n=523)



(2) 中学校

「どのような民間の期間がどこにあるのか分からない」が44.4%、「出席扱いの判断」が41.8%と多く、続いて、「どのようなタイミングで民間の支援機関を紹介したらよいか分からない」が36.0%、「個々の児童生徒の学習内容や活動内容の把握」が35.6%となっている。

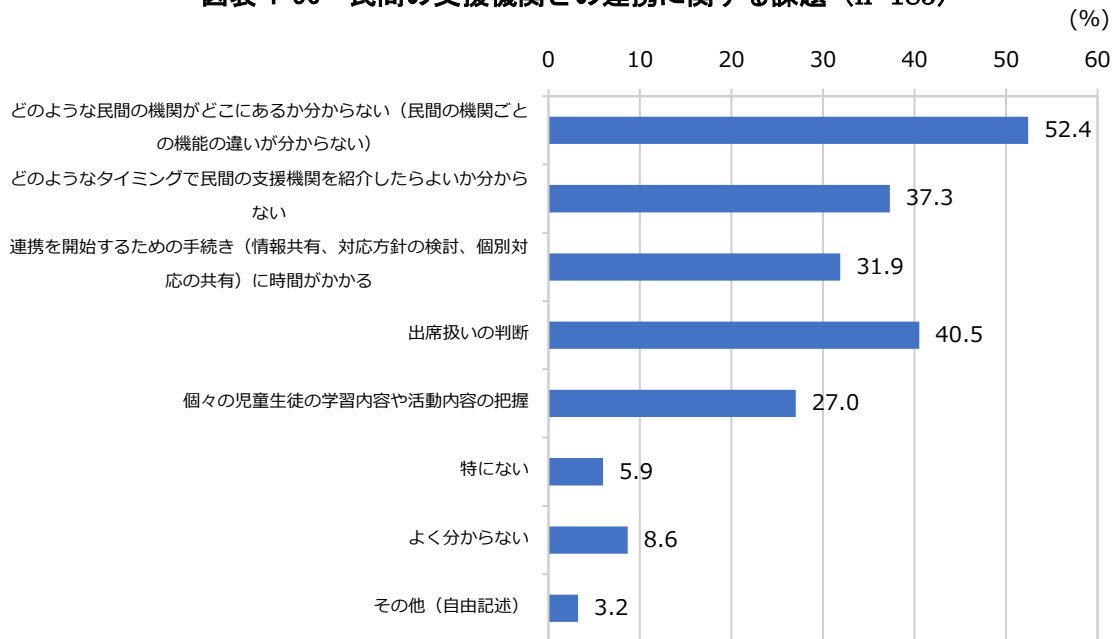
図表 4-55 民間の支援機関との連携に関する課題 (n=261) (%)



(3) 高等学校

「どのような民間の期間がどこにあるのか分からない」が52.4%と最も多く、続いて、「出席扱いの判断」が40.5%、「どのようなタイミングで民間の支援機関を紹介したらよいか分からない」が37.3%となっている。

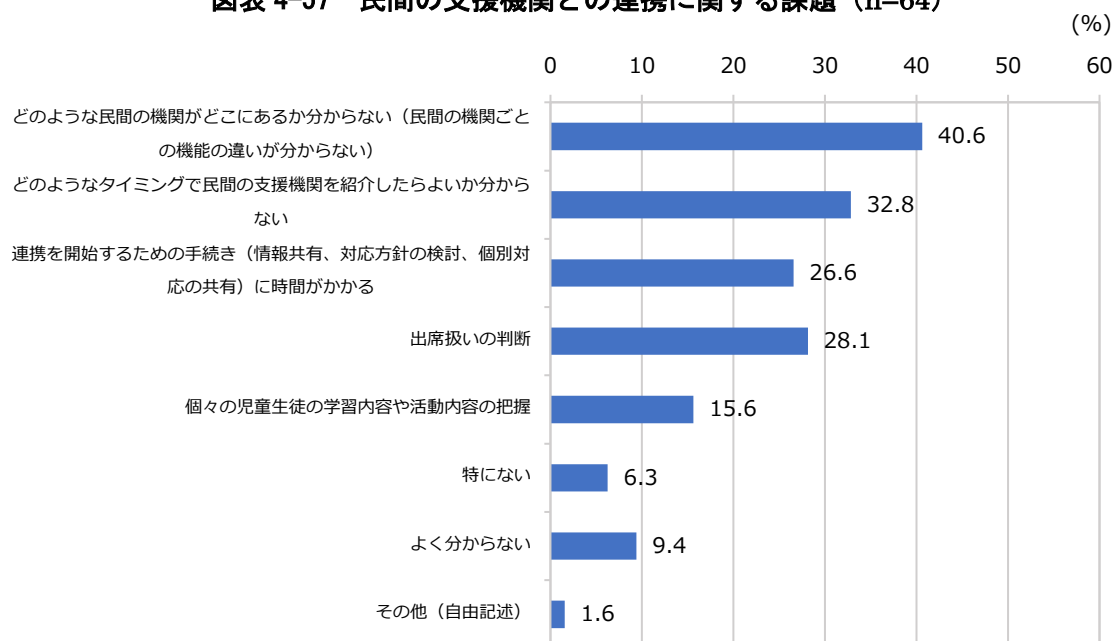
図表 4-56 民間の支援機関との連携に関する課題 (n=185)



(4)特別支援学校

「どのような民間の期間がどこにあるのか分からない」が40.6%と最も多く、続いて、「どのようなタイミングで民間の支援機関を紹介したらよいか分からない」が32.8%、「出席扱いの判断」が28.1%となっている。

図表 4-57 民間の支援機関との連携に関する課題 (n=64)

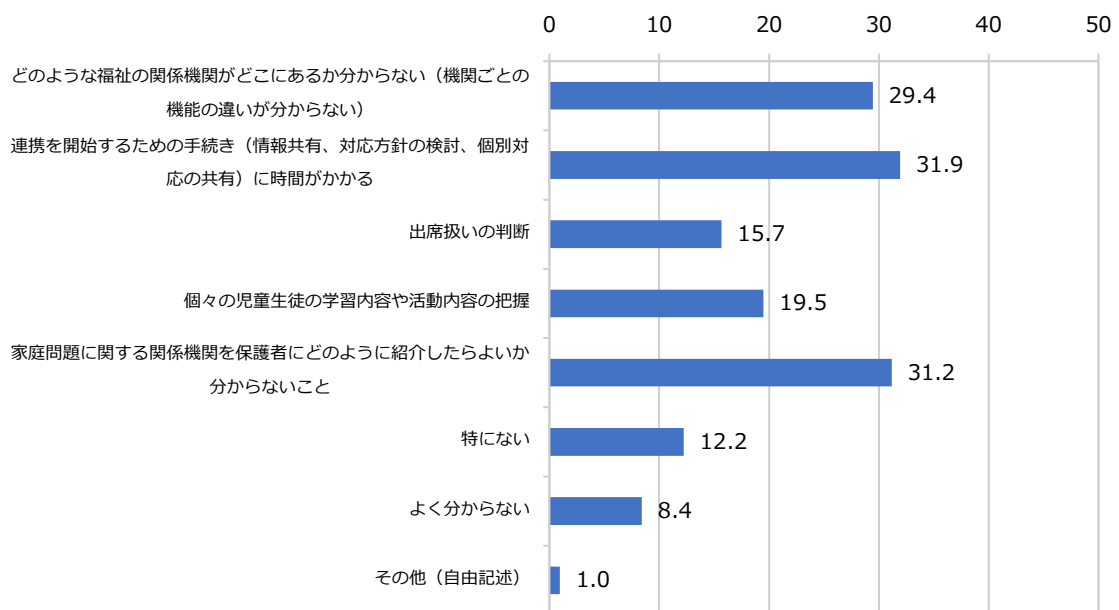


4-8-7 福祉の関係機関(児童相談所、精神保健福祉センター、地域包括支援センター等)
との連携に関する課題

(1) 小学校

「連携を開始するための手続きに時間がかかる」が31.9%、「家庭問題に関する関係機関を保護者にどのように紹介したら良いか分からない」が31.2%、「どのような福祉の関係機関がどこにあるか分からない」が29.4%と高くなっている。

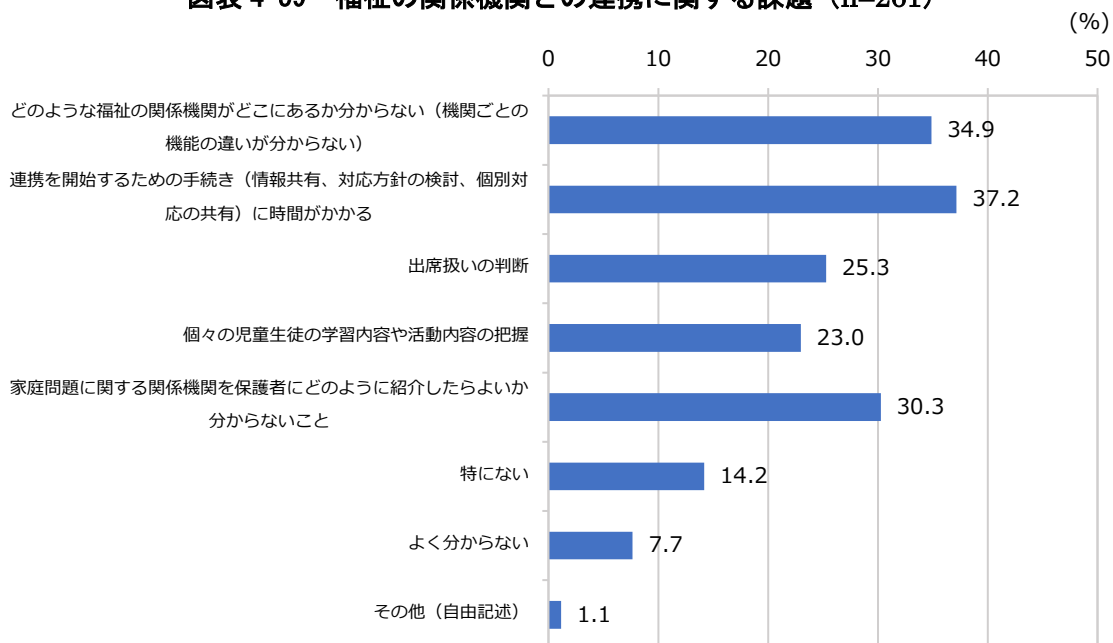
図表 4-58 福祉の関係機関との連携に関する課題 (n=523) (%)



(2) 中学校

「連携を開始するための手続きに時間がかかる」が37.2%、「どのような福祉の関係機関がどこにあるか分からない」が34.9%と高くなっている。

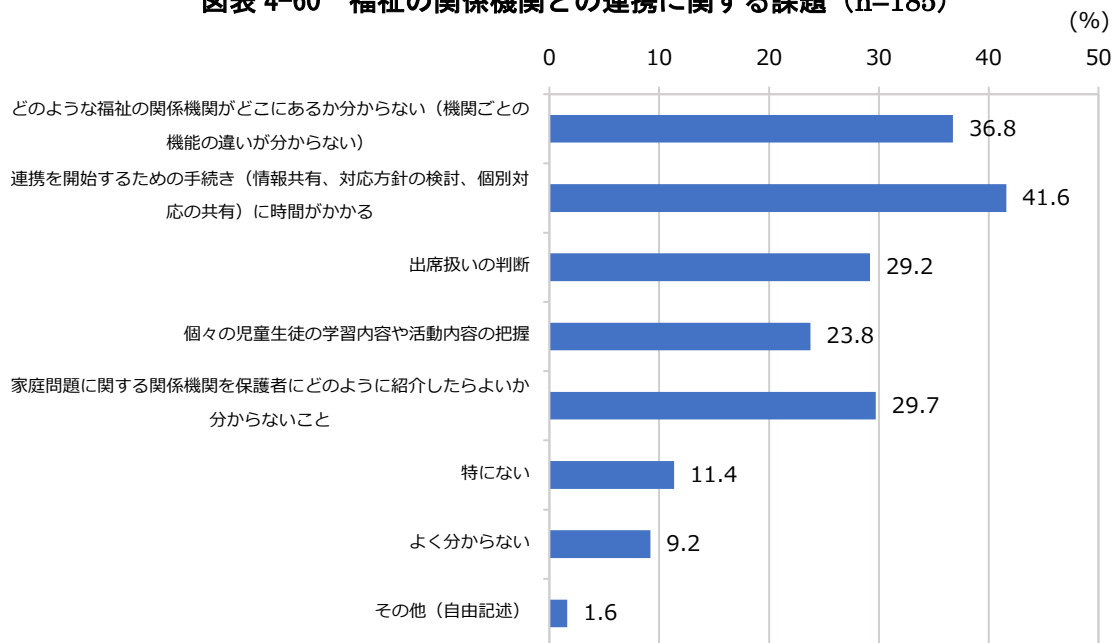
図表 4-59 福祉の関係機関との連携に関する課題 (n=261)



(3) 高等学校

「連携を開始するための手続きに時間がかかる」が41.6%、「どのような福祉の関係機関がどこにあるか分からない」が36.8%と高くなっている。

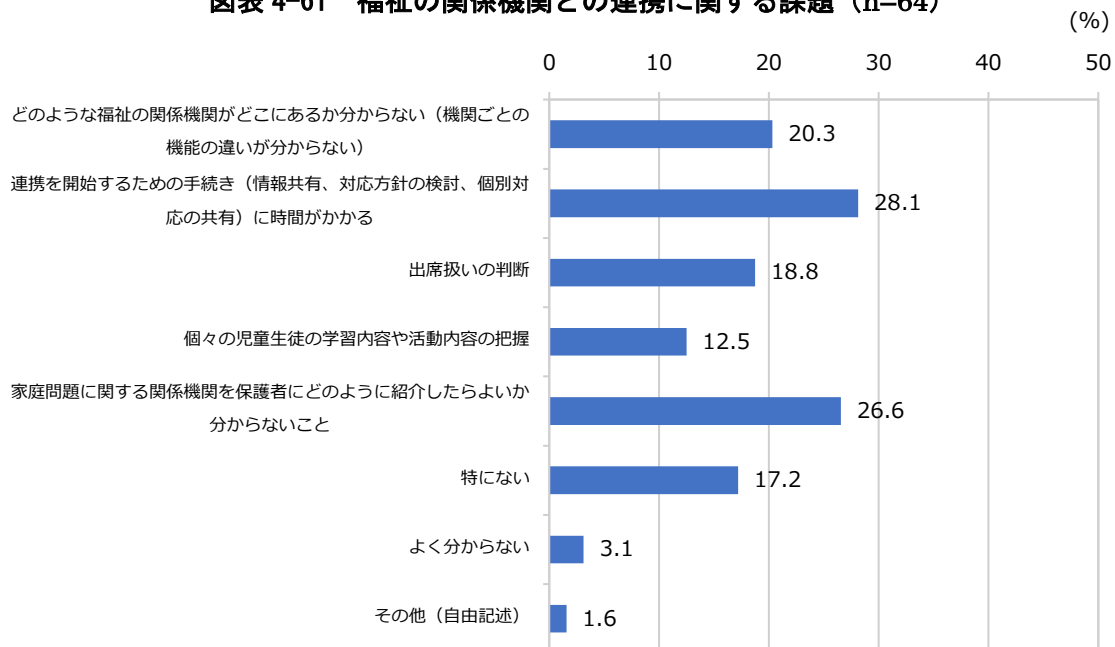
図表 4-60 福祉の関係機関との連携に関する課題 (n=185)



(4)特別支援学校

「連携を開始するための手続きに時間がかかる」が28.1%、「家庭問題に関する関係機関を保護者にどのように紹介したら良いか分からない」が26.6%と高くなっている。

図表 4-61 福祉の関係機関との連携に関する課題 (n=64)

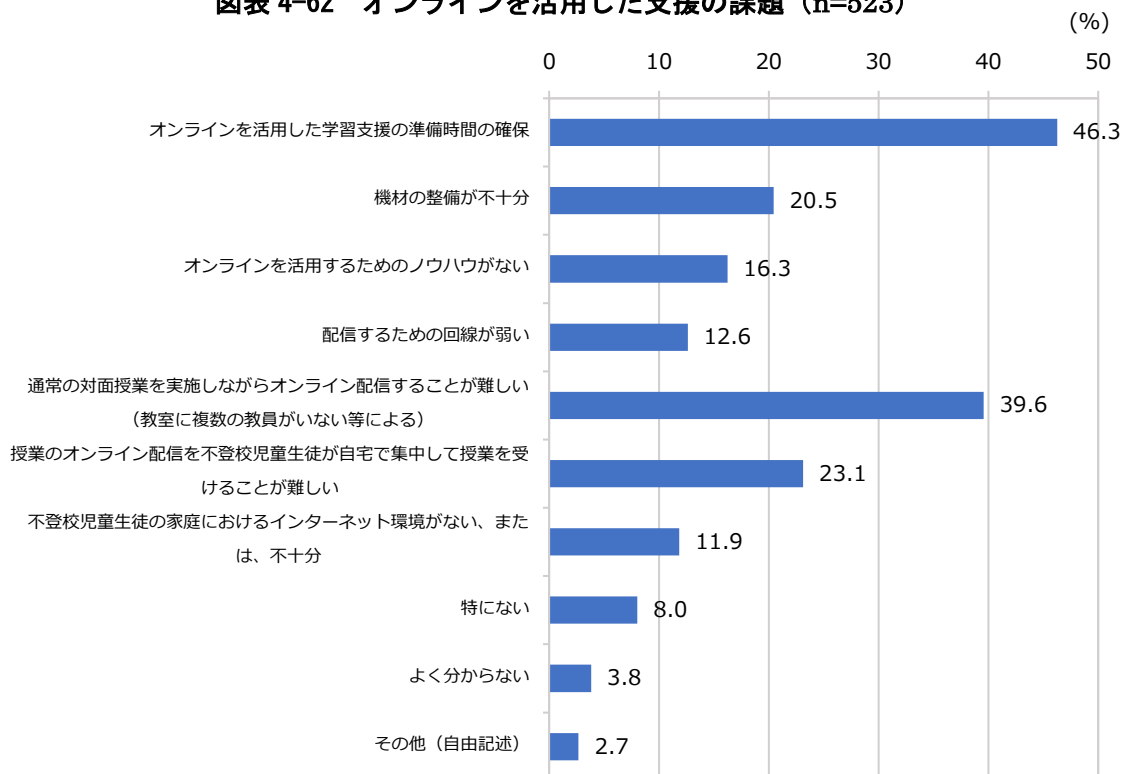


4-8-8 オンラインを活用した支援の課題

(1) 小学校

「オンラインを活用した学習支援の準備時間の確保」が46.3%と最も多く、続いて、「通常の対面授業を実施しながらオンライン配信することが難しい」が39.6%、「授業のオンライン配信を不登校児童生徒が自宅で集中して授業を受けることが難しい」が23.1%となっている。

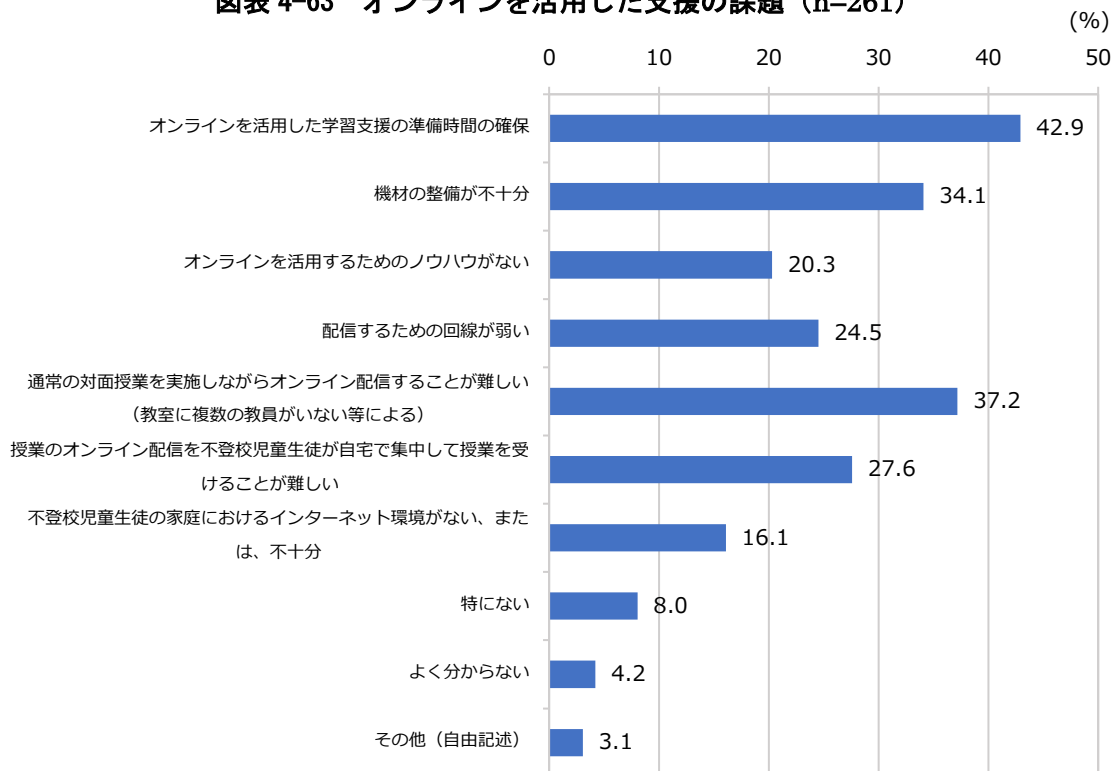
図表 4-62 オンラインを活用した支援の課題 (n=523)



(2) 中学校

「オンラインを活用した学習支援の準備時間の確保」が42.9%と最も多く、「通常の対面授業を実施しながらオンライン配信をすることが難しい」が37.2%、「機材の整備が不十分」が34.1%となっている。

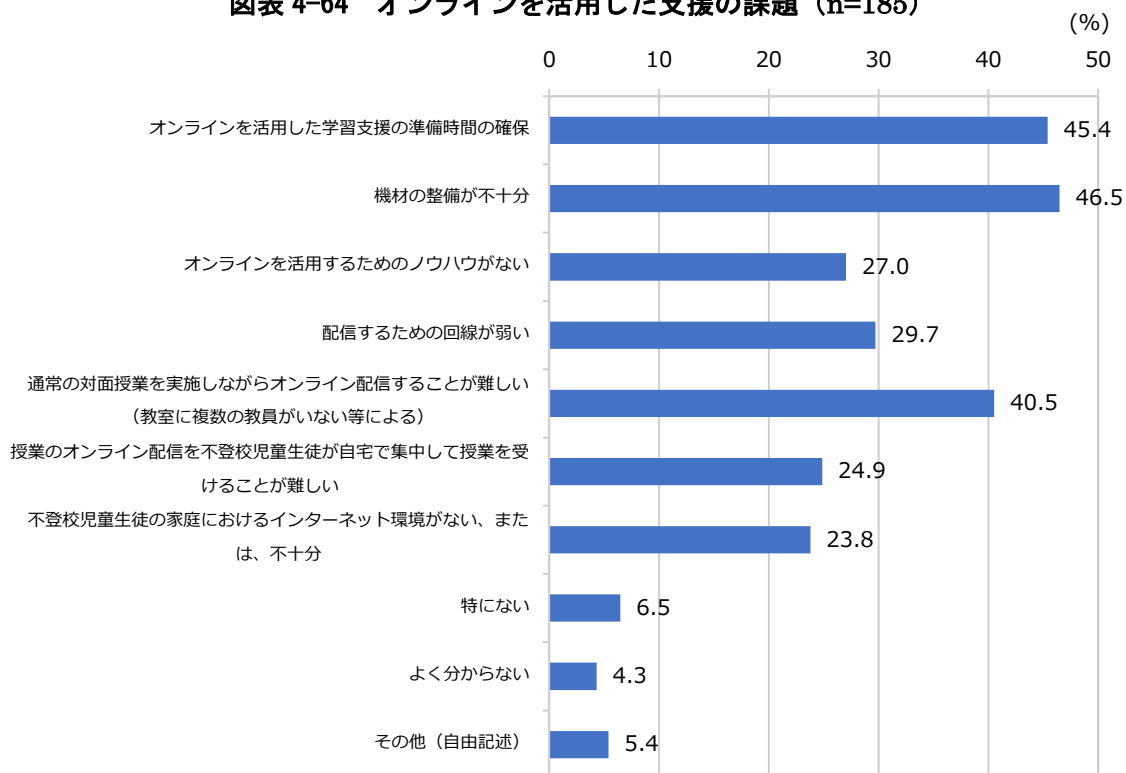
図表 4-63 オンラインを活用した支援の課題 (n=261)



(3) 高等学校

「機材の整備が不十分」が46.5%、「オンラインを活用した学習支援の準備時間の確保」が45.4%と高く、続いて、「通常の対面授業を実施しながらオンライン配信をすることが難しい」が40.5%となっている。

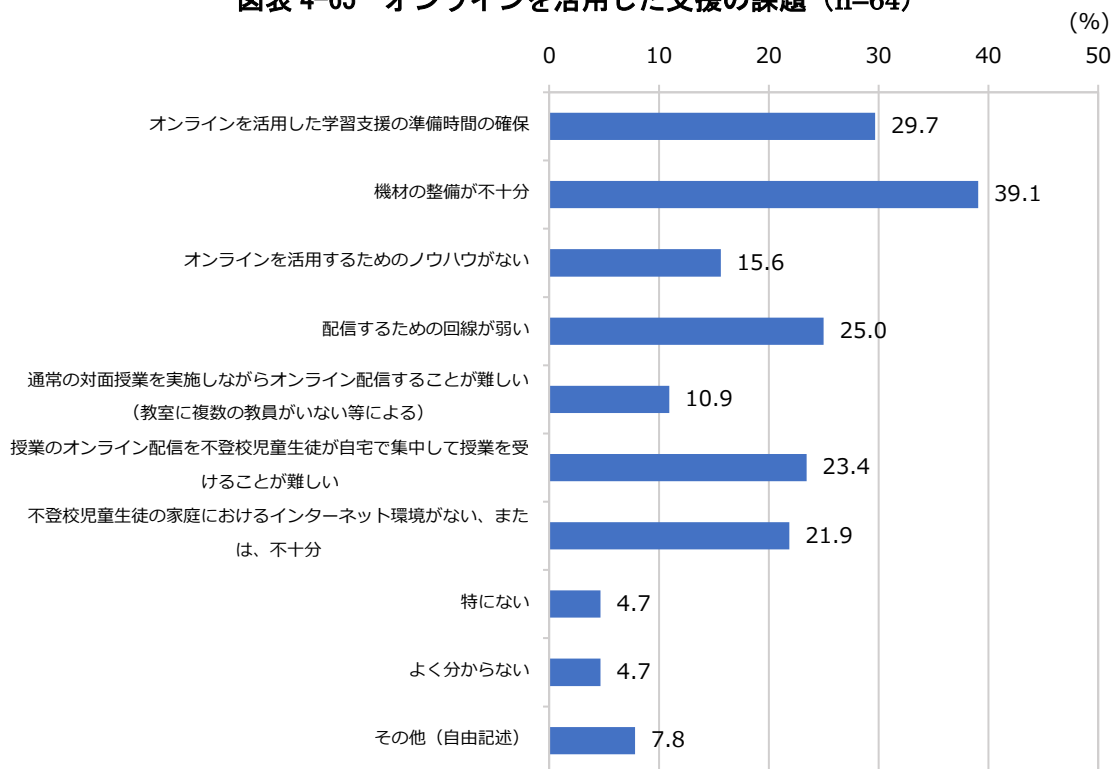
図表 4-64 オンラインを活用した支援の課題 (n=185)



(4)特別支援学校

「機材の整備が不十分」が39.1%と最も多く、続いて、「オンラインを活用した学習支援の準備時間の確保」が29.7%、「配信するための回線が弱い」が25.0%となっている。

図表 4-65 オンラインを活用した支援の課題 (n=64)

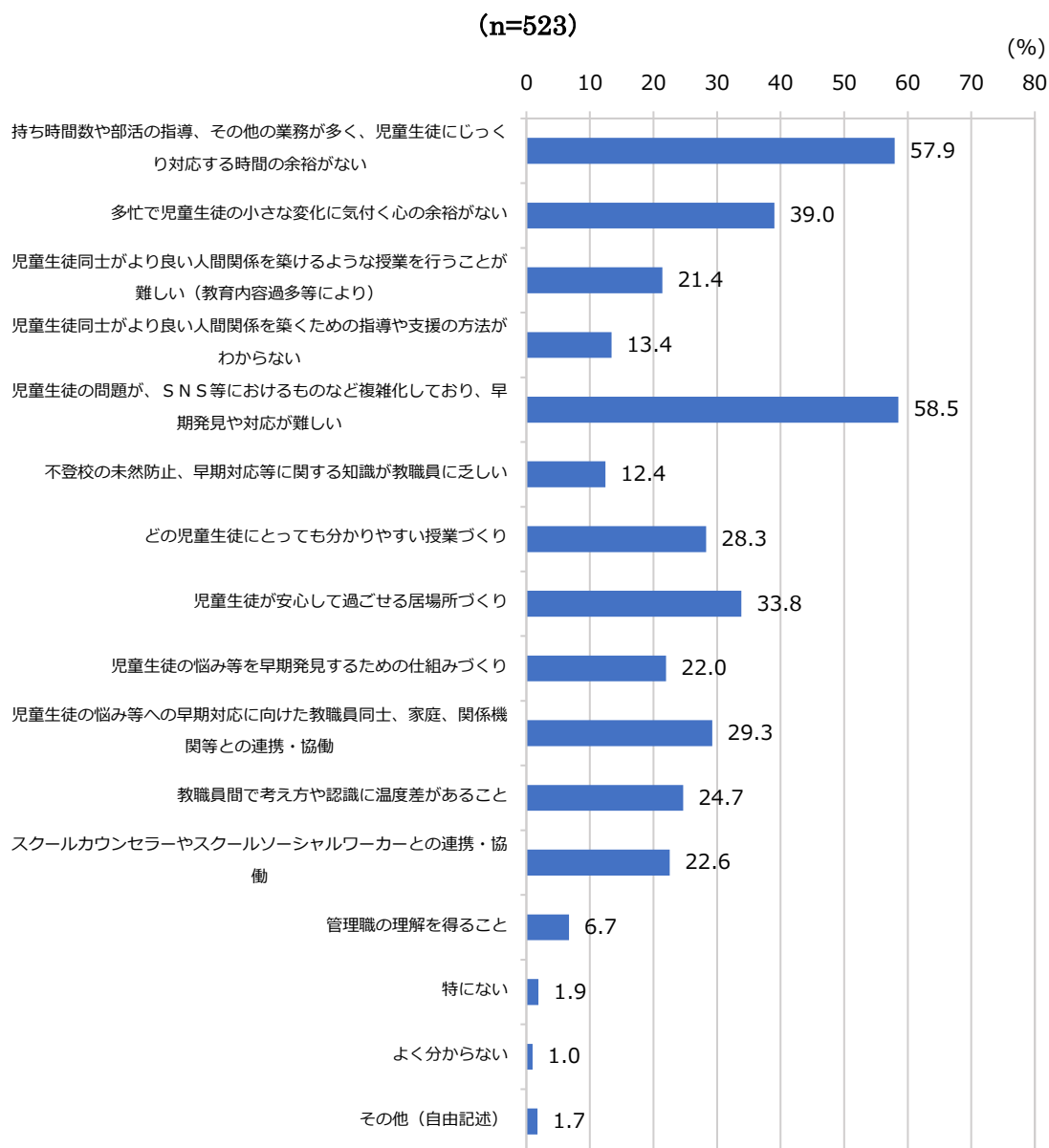


4-8-9 児童生徒や保護者へのきめ細かな対応や不登校の未然防止や早期対応等を充実
 するために、課題と思うこと

(1) 小学校

「児童生徒の問題が、SNS等によるものなど複雑化しており、早期発見や対応が難しい」が58.5%、「持ち時間数や部活の指導、その他の業務が多く、児童生徒にじっくり対応する時間の余裕がない」が57.9%と多く、続いて、「多忙で児童生徒の小さな変化に気付く心の余裕がない」が39.0%、「児童生徒が安心して過ごす居場所づくり」が33.8%となっている。

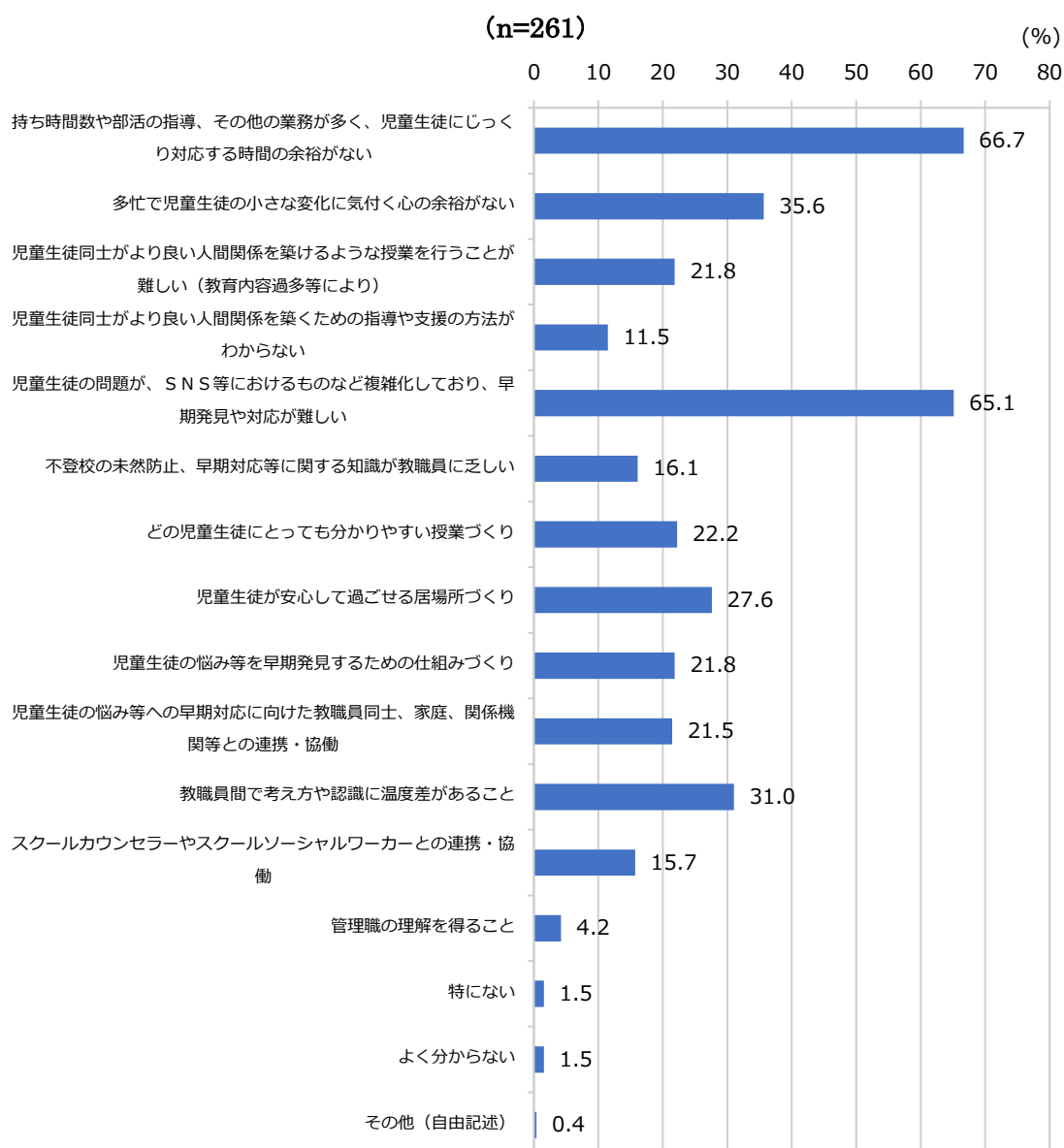
図表 4-66 きめ細かな対応や不登校の未然防止や早期対応等を充実に関する課題



(2) 中学校

「持ち時間数や部活の指導、その他の業務が多く、児童生徒にじっくり対応する時間の余裕がない」が66.7%、「児童生徒の問題が、SNS等によるものなど複雑化しており、早期発見や対応が難しい」が65.1%と多く、続いて、「多忙で児童生徒の小さな変化に気付く心の余裕がない」が35.6%、「教員間で考え方や認識に温度差があること」が31.0%となっている。

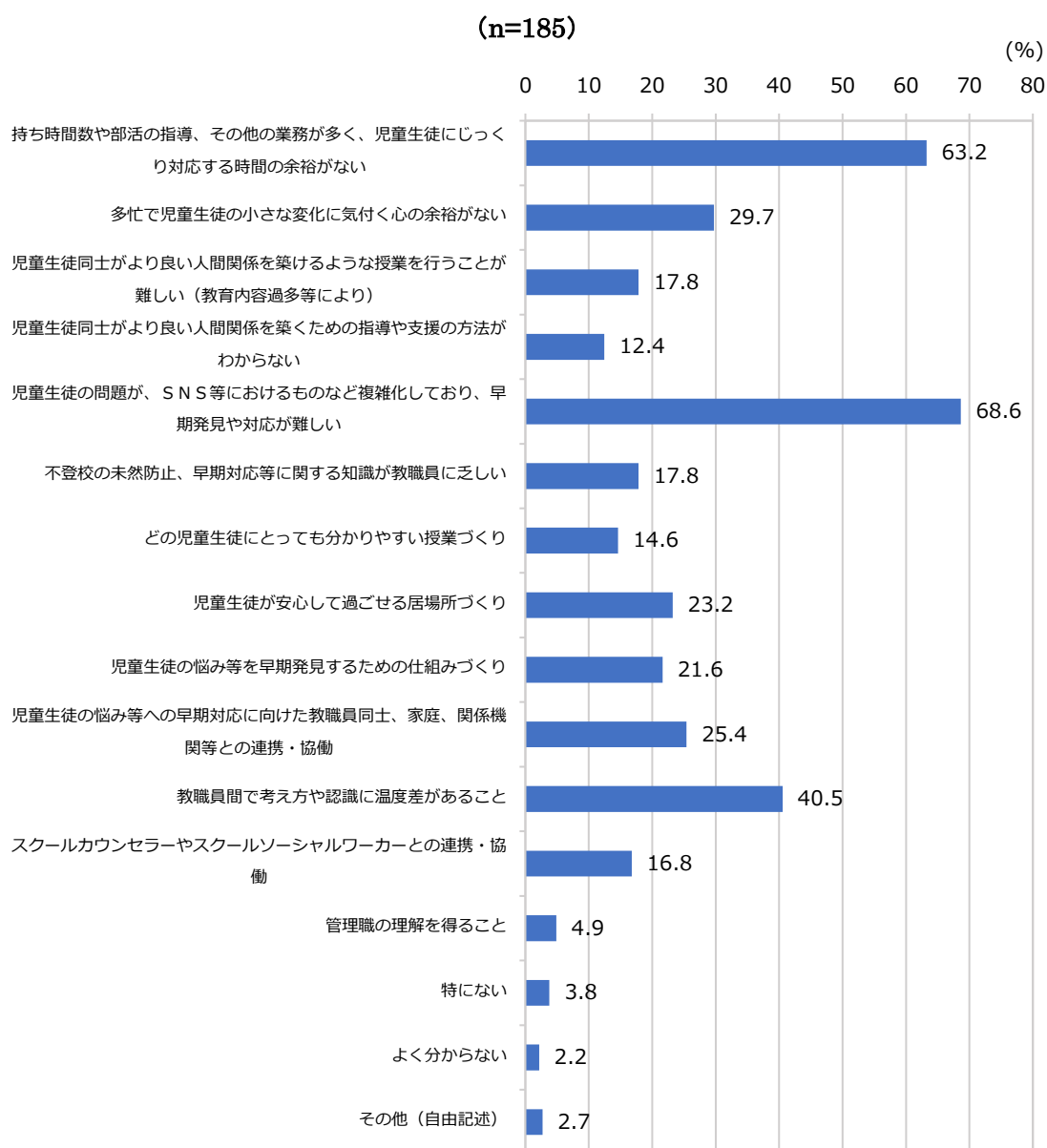
図表 4-67 きめ細かな対応や不登校の未然防止や早期対応等を充実に関する課題



(3) 高等学校

「児童生徒の問題が、SNS等によるものなど複雑化しており、早期発見や対応が難しい」が68.6%、「持ち時間数や部活の指導、その他の業務が多く、児童生徒にじっくり対応する時間の余裕がない」が63.2%と多く、続いて「職員間で考え方や認識に温度差があること」が40.5%、「多忙で児童生徒の小さな変化に気付く余裕がない」が29.7%となっている。

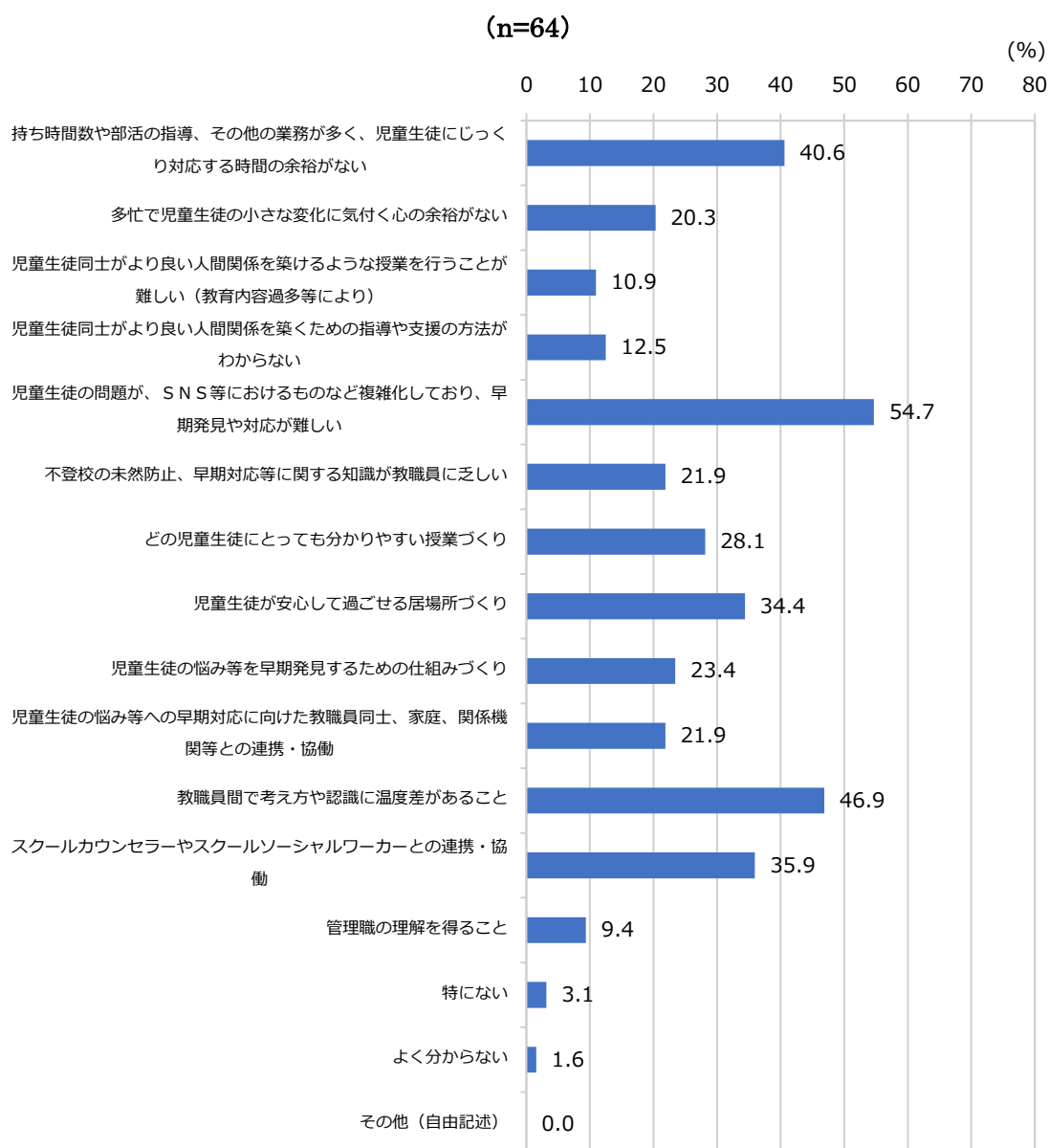
図表 4-68 きめ細かな対応や不登校の未然防止や早期対応等を充実に関する課題



(4)特別支援学校

「児童生徒の問題が、SNS等によるものなど複雑化しており、早期発見や対応が難しい」が54.7%と最も多く、続いて、「職員間で考え方や認識に温度差があること」が46.9%、「持ち時間数や部活の指導、その他の業務が多く、児童生徒にじっくり対応する時間の余裕がない」が40.6%、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携・協働」が35.9%となっている。

図表 4-69 きめ細かな対応や不登校の未然防止や早期対応等を充実に関する課題

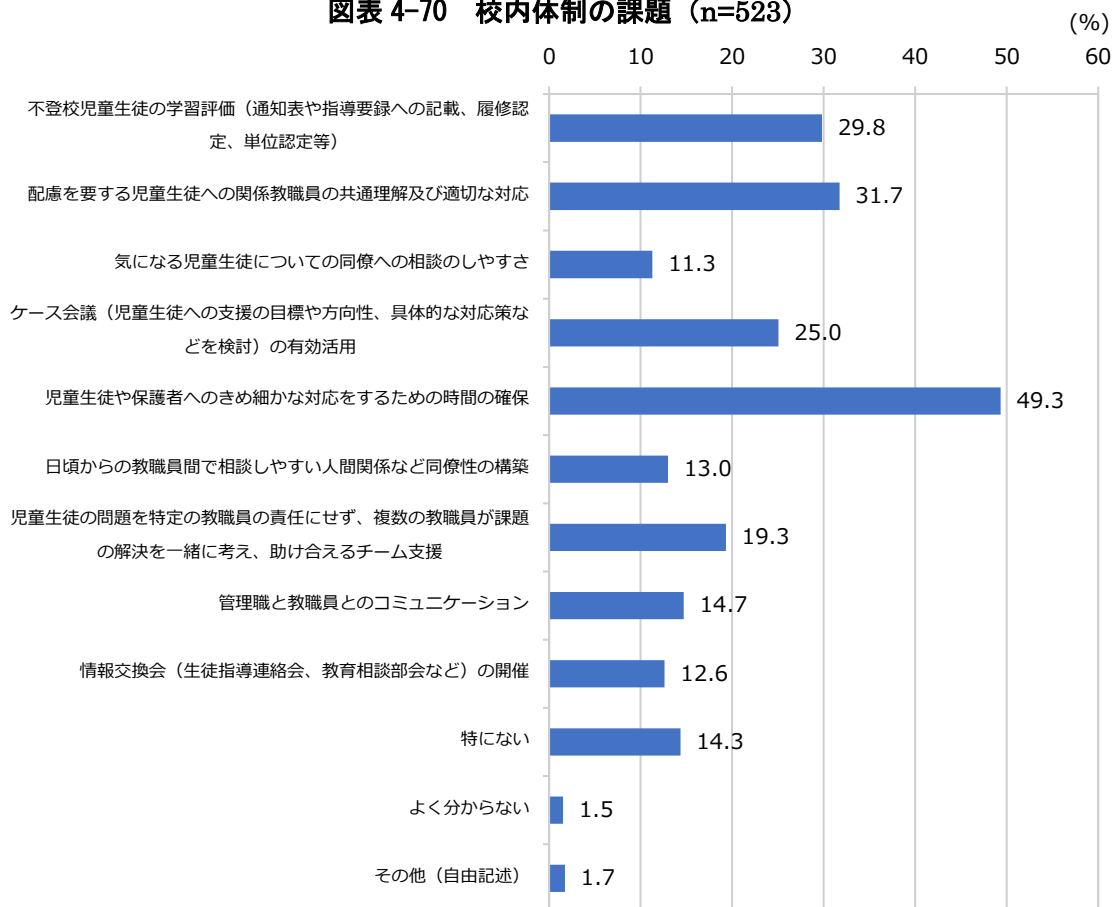


4-8-10 校内体制の課題

どの学校種でも「不登校児童生徒の学習評価」「配慮を要する児童生徒への関係協職員の共通理解及び適切な対応」「児童生徒や保護者へのきめ細かな対応をするための時間の確保」が上位3項目を占めている。

(1) 小学校

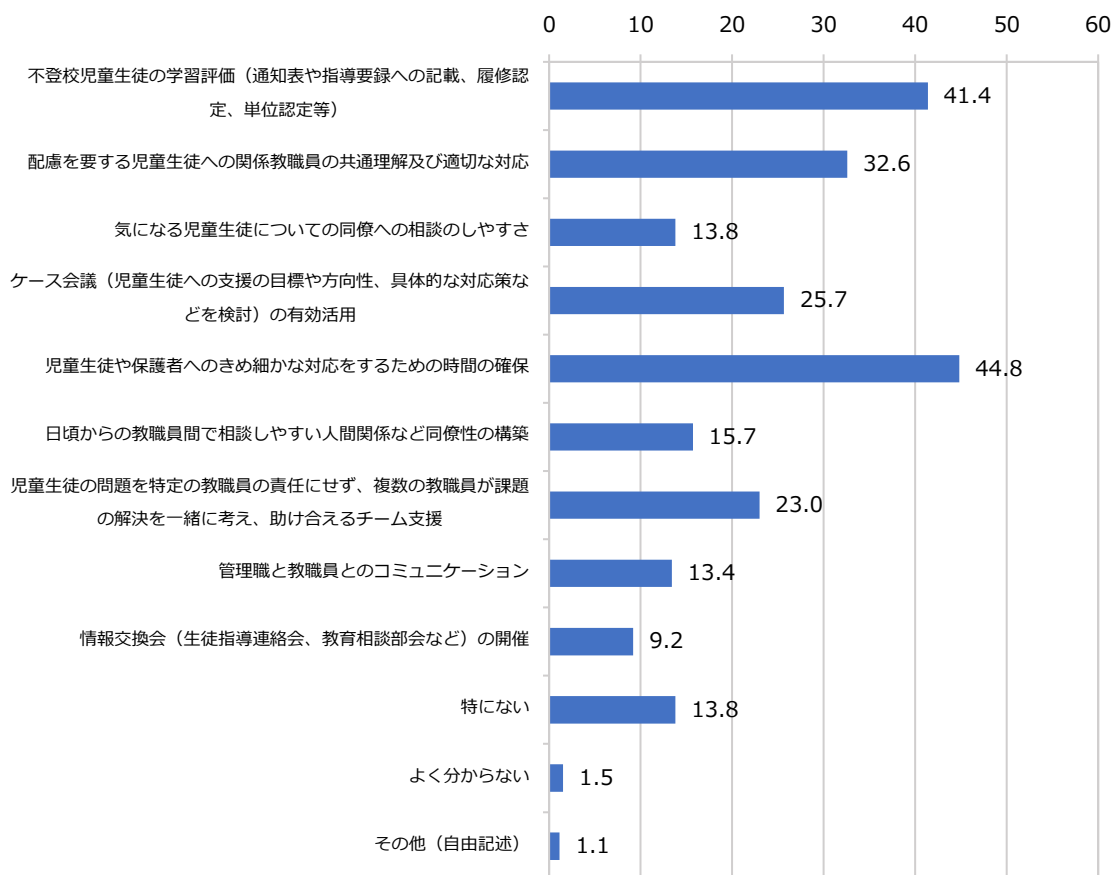
図表 4-70 校内体制の課題 (n=523)



(2) 中学校

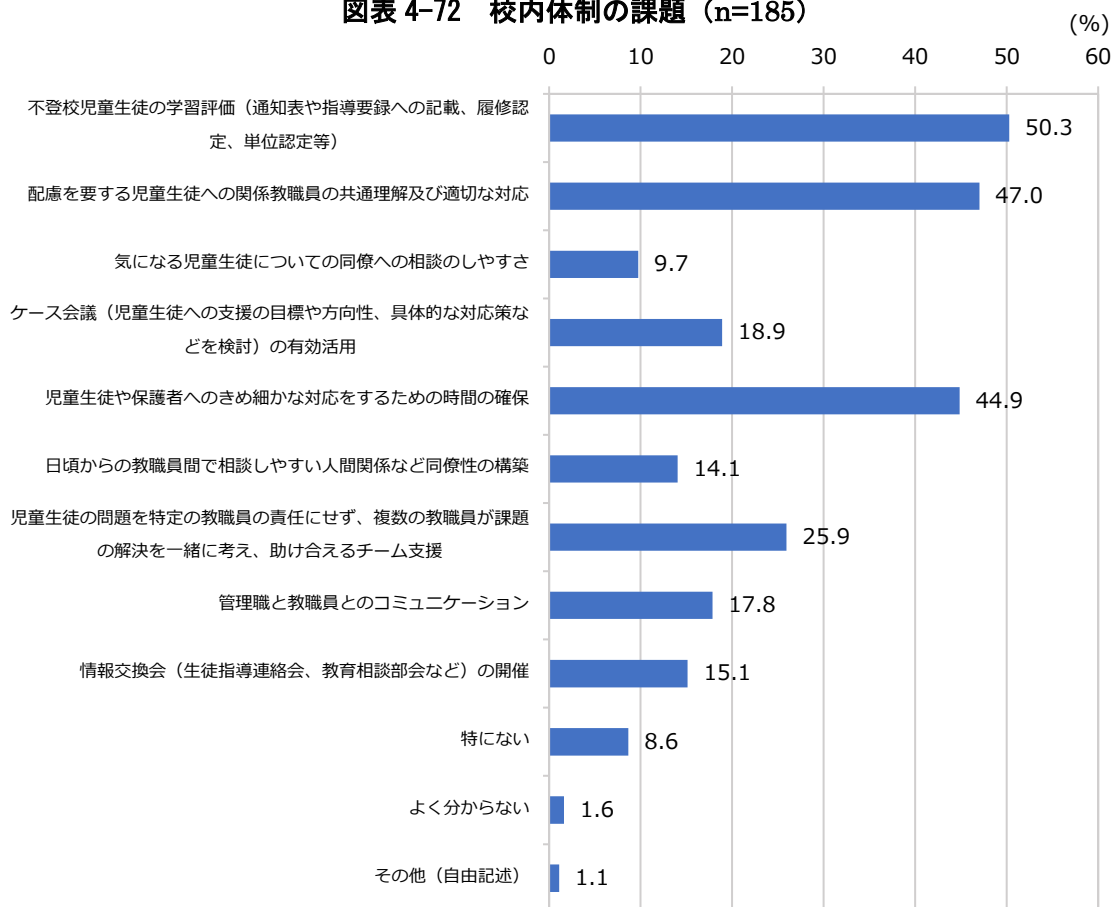
図表 4-71 校内体制の課題 (n=261)

(%)



(3) 高等学校

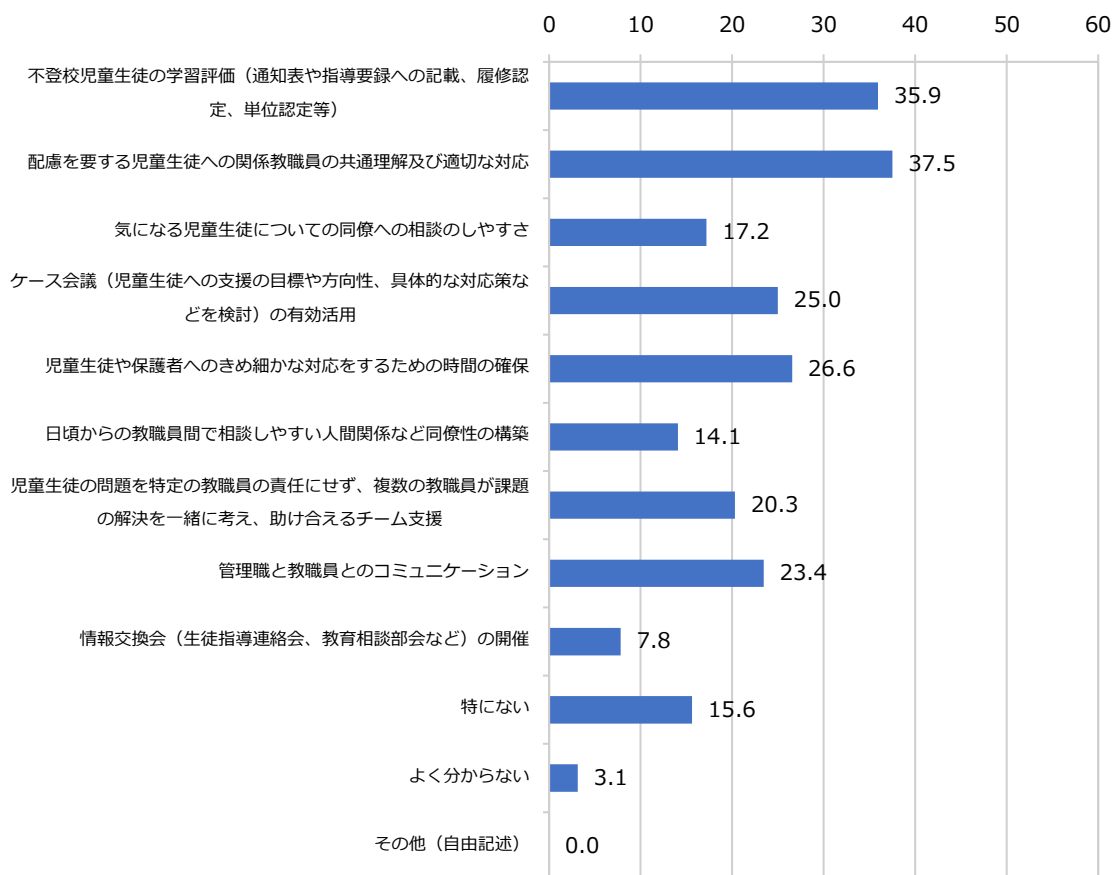
図表 4-72 校内体制の課題 (n=185)



(4)特別支援学校

図表 4-73 校内体制の課題 (n=64)

(%)

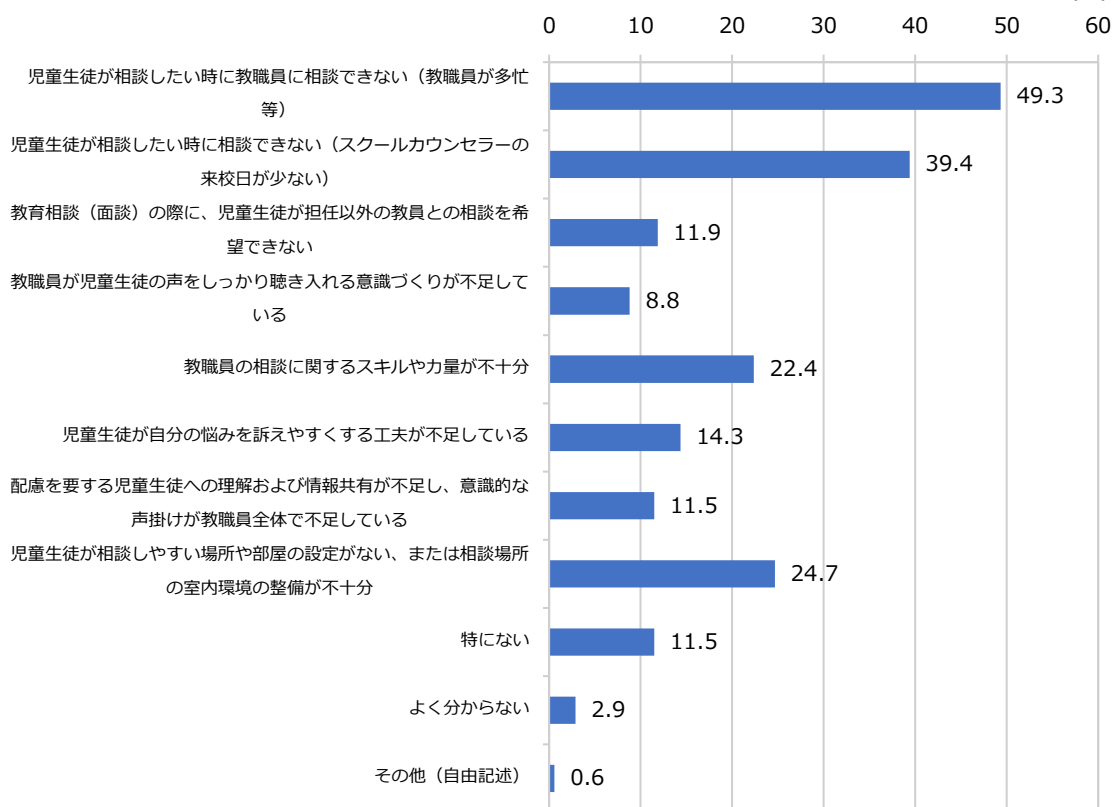


4-8-11 児童生徒が相談しやすい環境づくりに関する課題

(1) 小学校

「児童生徒が相談したい時に教職員に相談できない（教職員が多忙等）」が49.3%と最も多く、続いて、「児童生徒が相談したい時に教職員に相談できない（スクールカウンセラーの来校日が少ない）」が39.4%、「児童生徒が相談しやすい場所や部屋の設定がない、または相談場所の室内環境の整備が不十分」「教職員の相談に関するスキルや力量が不十分」が2割越えとなっている。

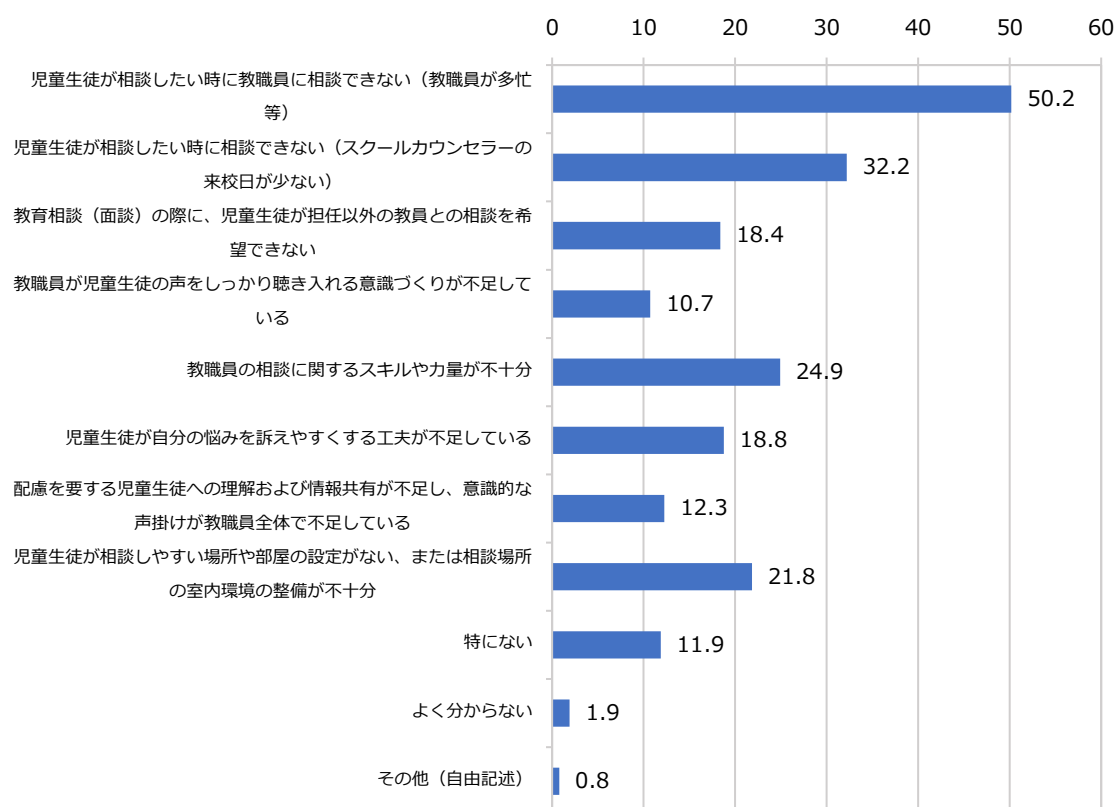
図表 4-74 相談しやすい環境づくりに関する課題 (n=523) (%)



(2) 中学校

「児童生徒が相談したい時に教職員に相談できない（教職員が多忙等）」が50.2%と最も多く、続いて、「児童生徒が相談したい時に教職員に相談できない（スクールカウンセラーの来校日が少ない）」が32.2%、「教職員の相談に関するスキルや力量が不十分」が24.9%となっている。

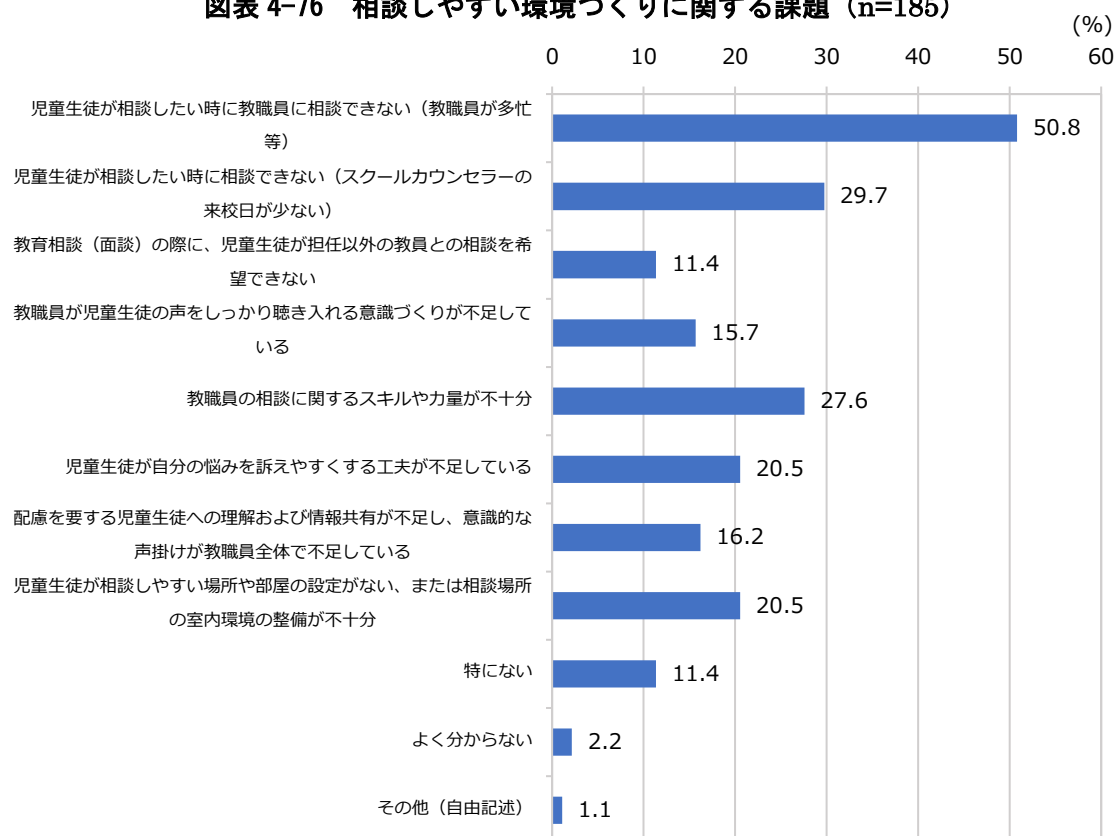
図表 4-75 相談しやすい環境づくりに関する課題 (n=261) (%)



(3) 高等学校

「児童生徒が相談したい時に教職員に相談できない（教職員が多忙等）」が50.8%と最も多く、続いて、「児童生徒が相談したい時に教職員に相談できない（スクールカウンセラーの来校日が少ない）」が29.7%、「教職員の相談に関するスキルや力量が不十分」が27.6%となっている。

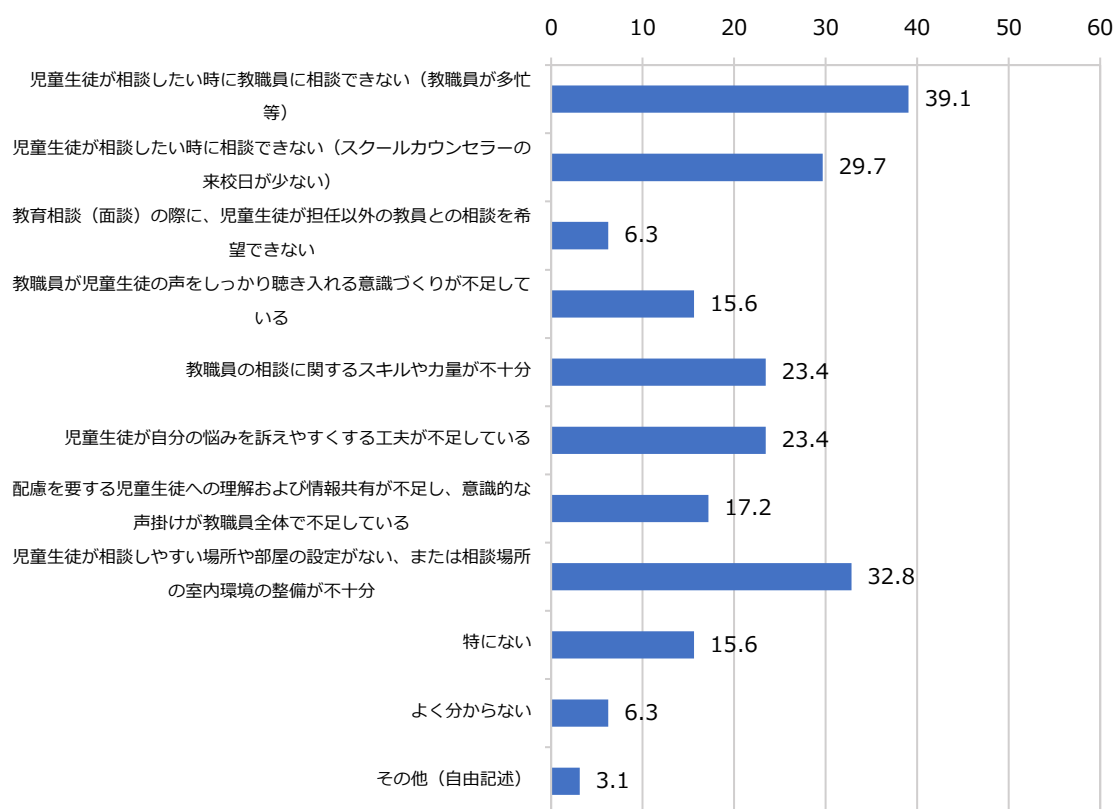
図表 4-76 相談しやすい環境づくりに関する課題 (n=185)



(4)特別支援学校

「児童生徒が相談したい時に教職員に相談できない（教職員が多忙等）」が39.1%と最も多く、続いて、「児童生徒が相談しやすい場所や部屋の設定がない、または相談場所の室内環境の整備が不十分」が32.8%、「児童生徒が相談したい時に教職員に相談できない（スクールカウンセラーの来校日が少ない）」が29.7%となっている。

図表 4-77 相談しやすい環境づくりに関する課題 (n=64) (%)



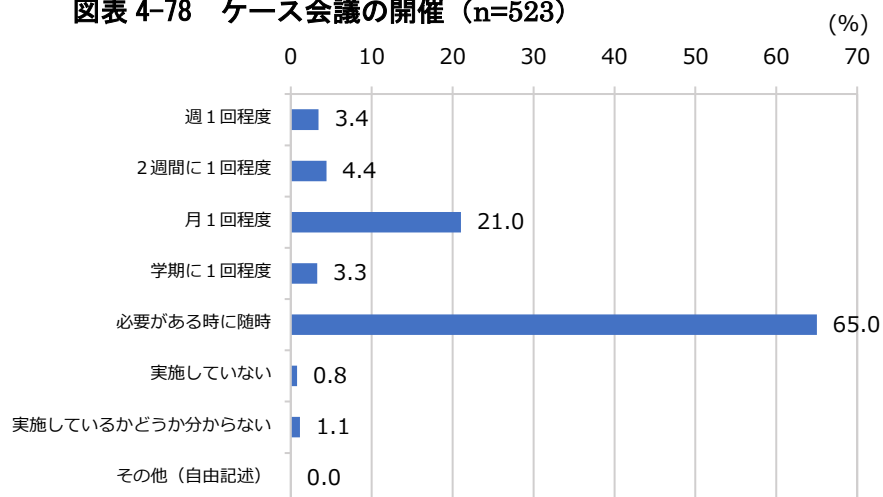
4-9 現在の状況

4-9-1 ケース会議（児童生徒への支援の目標や方向性、具体的な対応策などを検討）の開催

どの学校種でも「必要があるときに随時」が最も多く、続いて、小学校、高等学校、特別支援学校では「月に1回程度」、中学校では「週に1回程度」となっている。

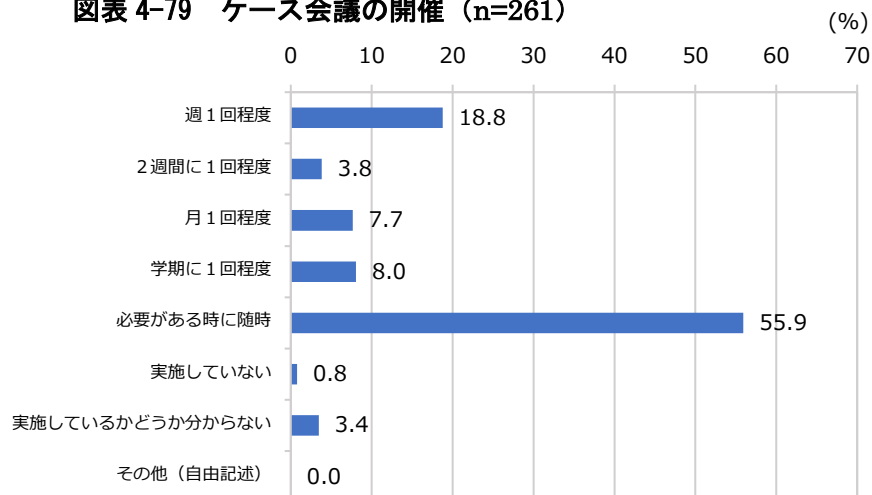
(1) 小学校

図表 4-78 ケース会議の開催（n=523）



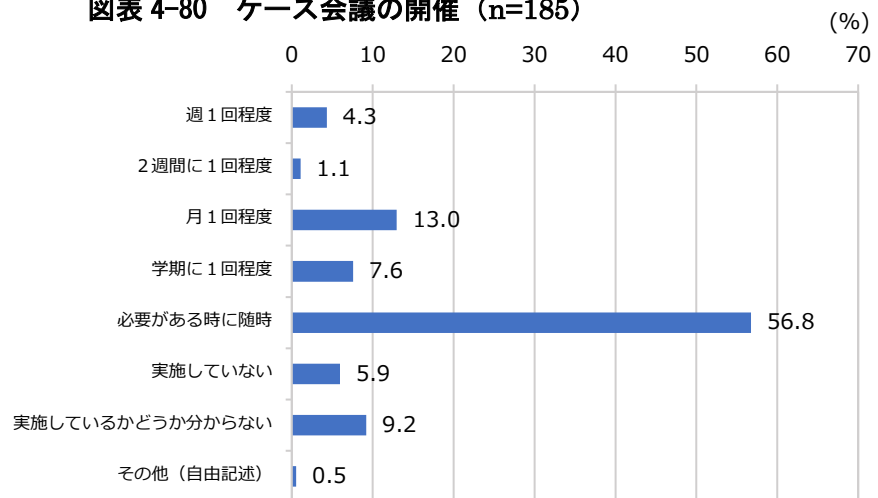
(2) 比中学校

図表 4-79 ケース会議の開催（n=261）



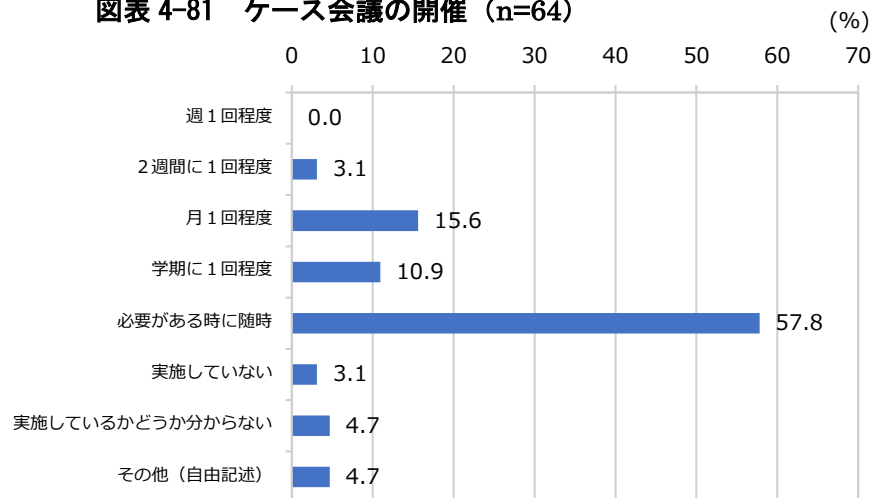
(3) 高等学校

図表 4-80 ケース会議の開催 (n=185)



(4) 特別支援学校

図表 4-81 ケース会議の開催 (n=64)

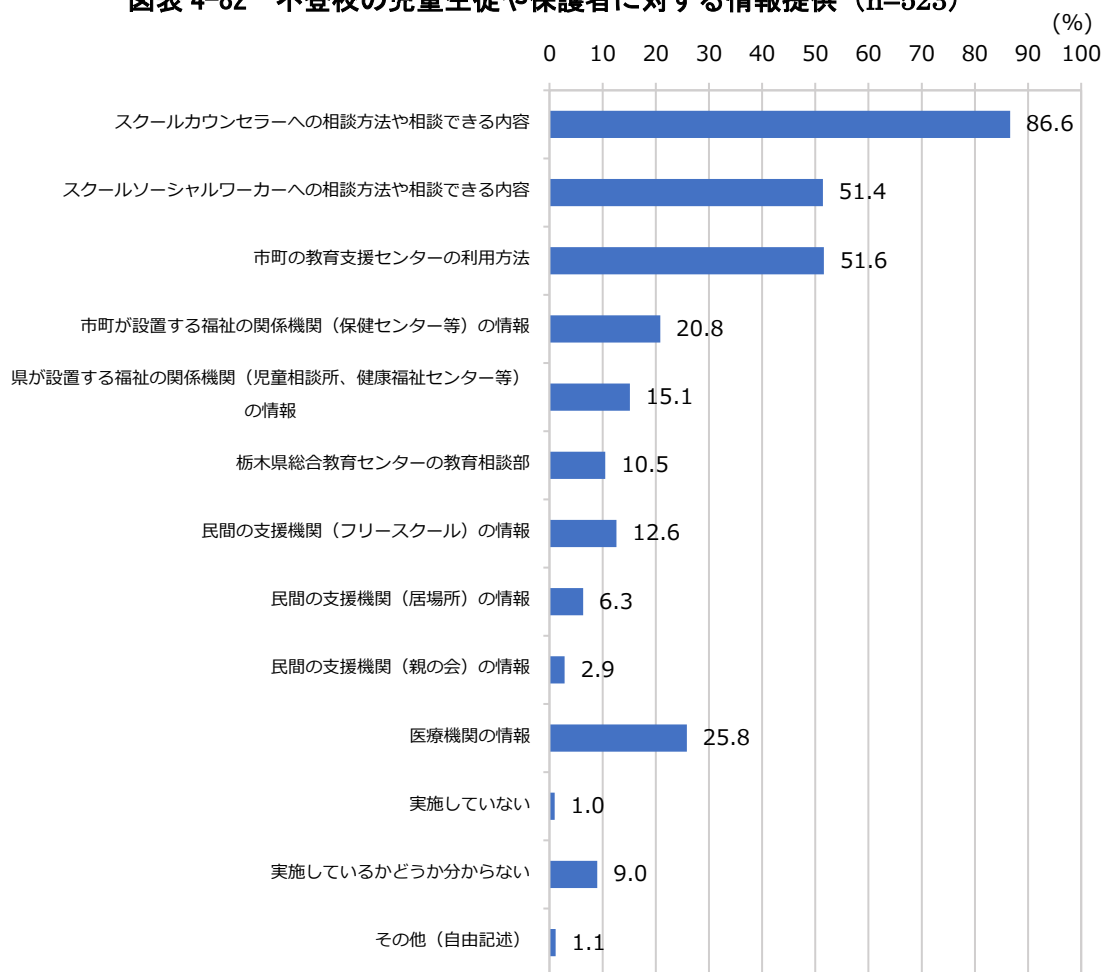


4-9-2 不登校の児童生徒や保護者に対して実施している情報提供

(1) 小学校

「スクールカウンセラーへの相談方法や相談できる内容」が86.6%と最も多く、続いて、「市町の教育支援センターの利用方法」が51.6%、「スクールソーシャルワーカーへの相談方法や相談できる内容」が51.4%となっている。

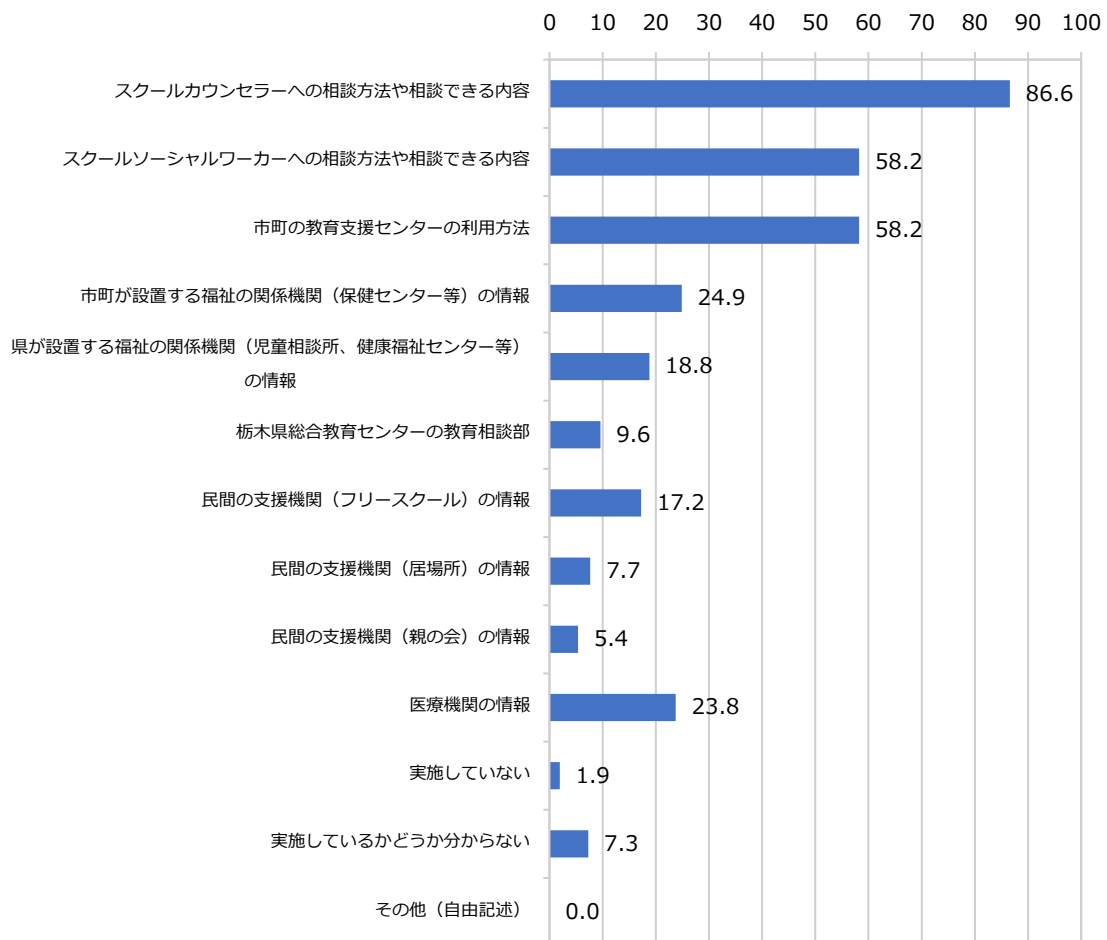
図表 4-82 不登校の児童生徒や保護者に対する情報提供 (n=523)



(2) 中学校

「スクールカウンセラーへの相談方法や相談できる内容」が86.6%と最も多く、続いて、「スクールソーシャルワーカーへの相談方法や相談できる内容」「市町の教育支援センターの利用方法」が58.2%となっている。

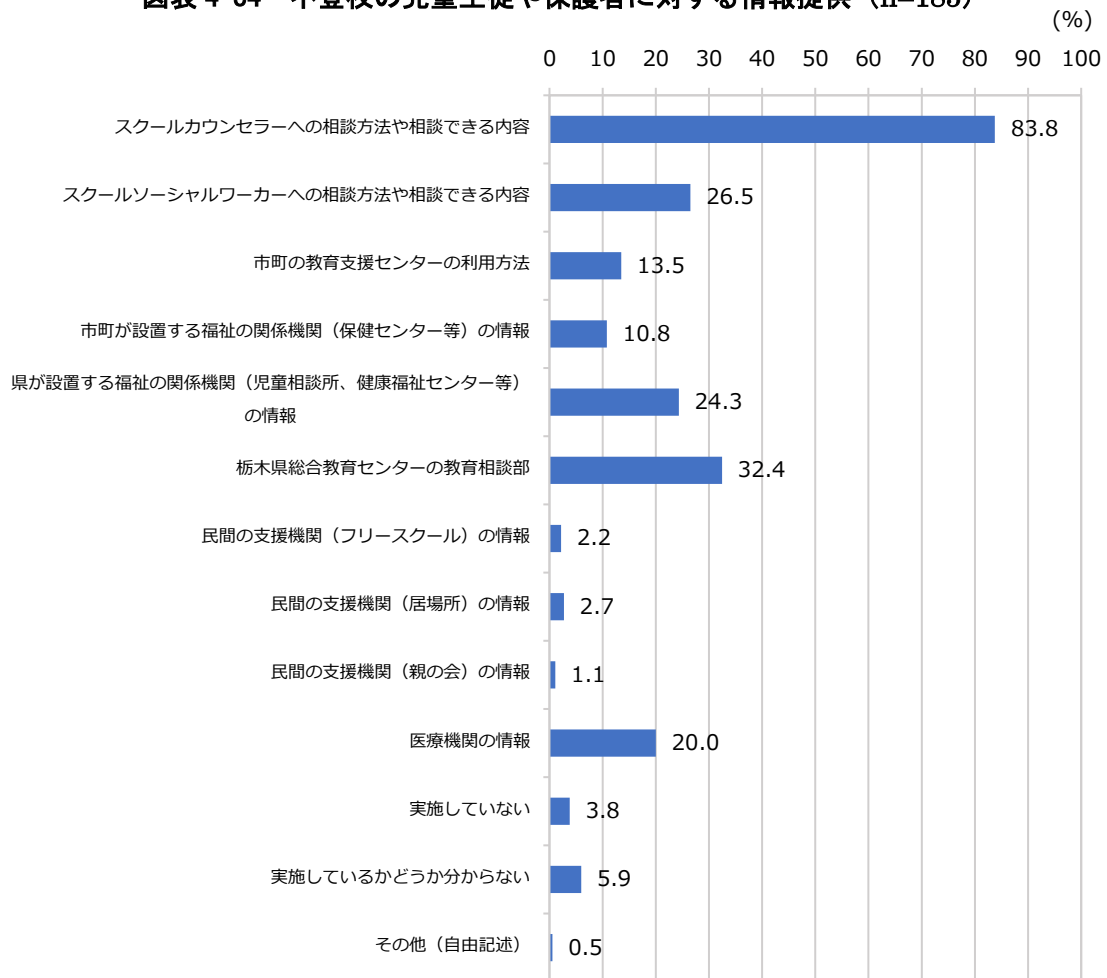
図表 4-83 不登校の児童生徒や保護者に対する情報提供 (n=261) (%)



(3) 高等学校

「スクールカウンセラーへの相談方法や相談できる内容」が83.8%と最も多く、続いて、「栃木県総合教育センターの相談部」が32.4%、「スクールソーシャルワーカーへの相談方法や相談できる内容」が26.5%となっている。

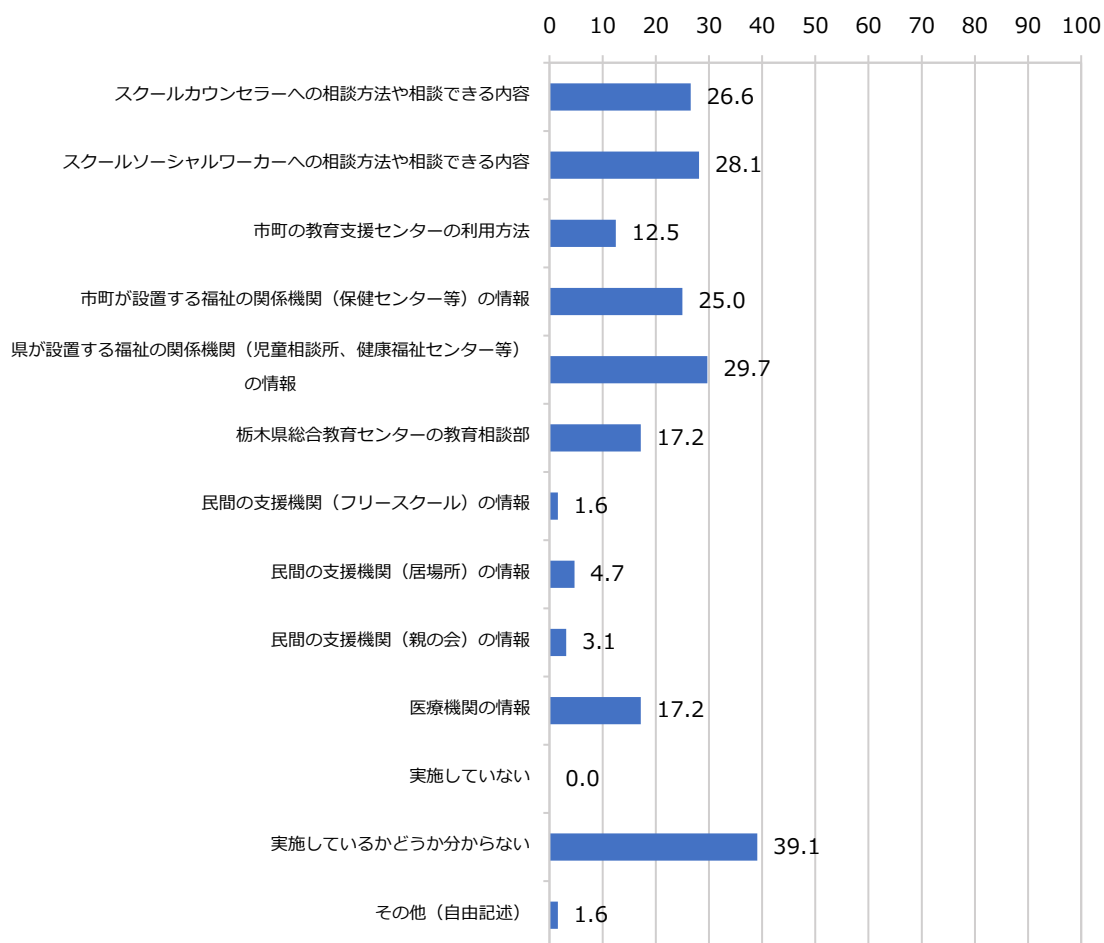
図表 4-84 不登校の児童生徒や保護者に対する情報提供 (n=185)



(4)特別支援学校

「実施しているかどうか分からない」が39.1%と最も多く、続いて、「県が設置する福祉の関係機関」が29.7%、スクールソーシャルワーカーへの相談方法や相談できる内容」が28.1%、「スクールカウンセラーへの相談方法や相談できる内容」が26.6%となっている。

図表 4-85 不登校の児童生徒や保護者に対する情報提供 (n=64) (%)

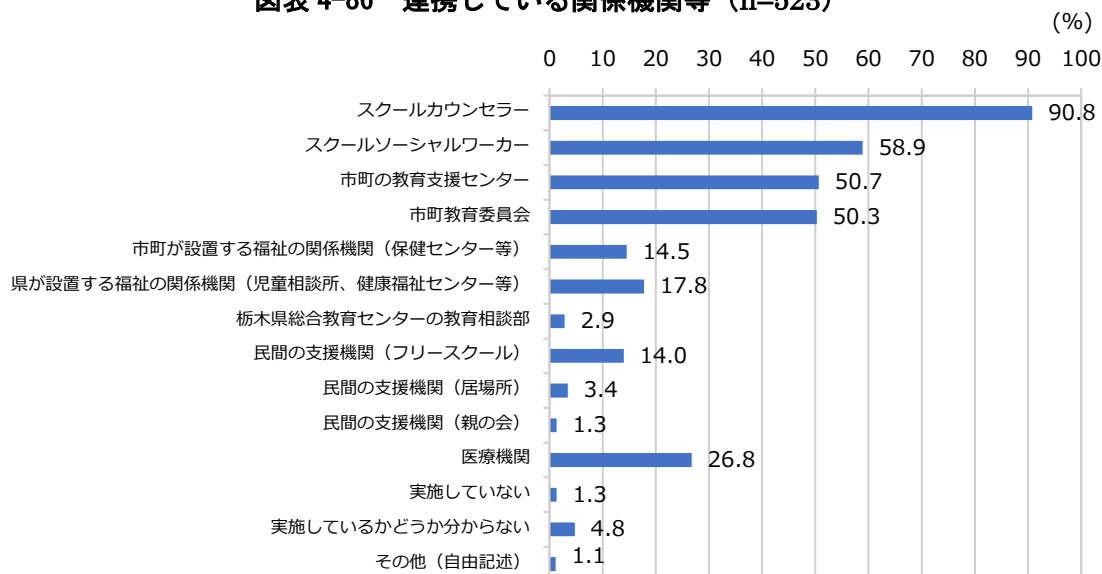


4-9-3 不登校児童生徒及び保護者の対応について、連携している関係機関等

(1) 小学校

「スクールカウンセラー」が90.8%と最も多く、続いて、「スクールソーシャルワーカー」が58.9%、「市町の教育支援センター」が50.7%、「市町教育委員会」が50.3%となっている。

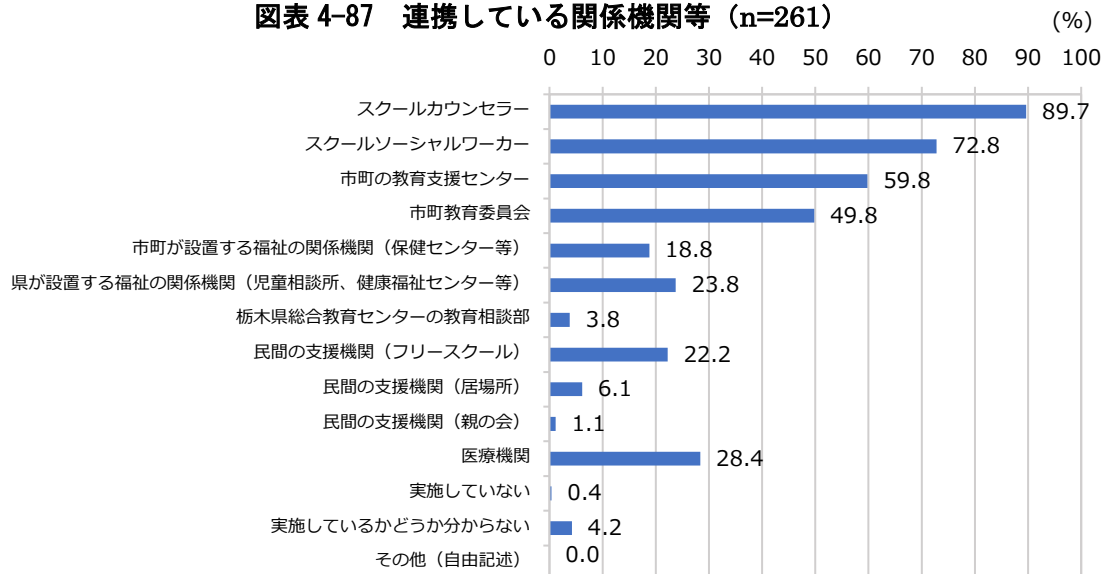
図表 4-86 連携している関係機関等 (n=523)



(2) 中学校

「スクールカウンセラー」が89.7%と最も多く、続いて、「スクールソーシャルワーカー」が72.8%、「市町の教育支援センター」が59.8%、「市町教育委員会」が49.8%となっている。

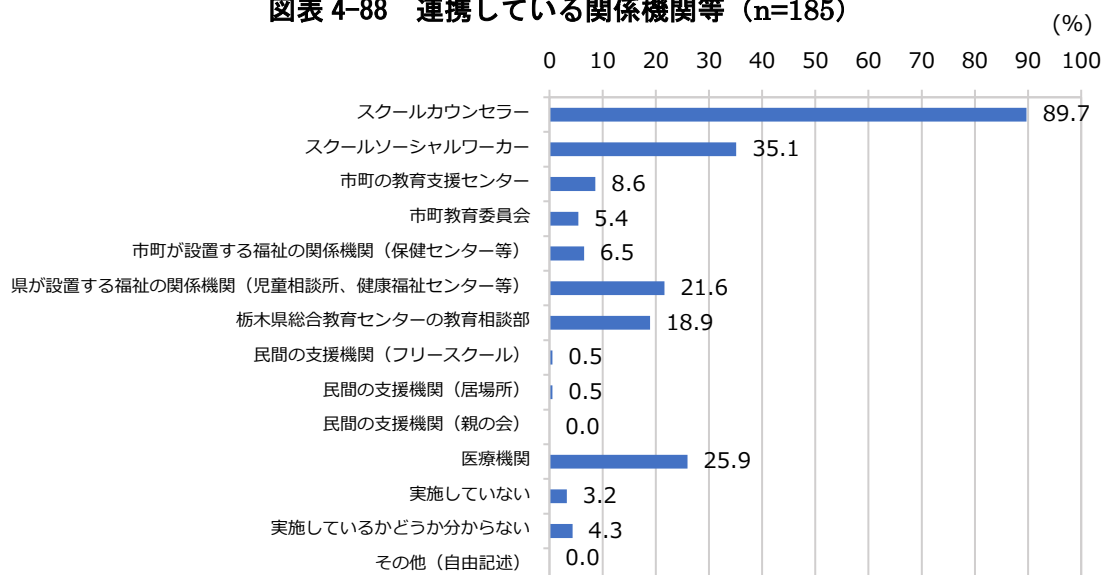
図表 4-87 連携している関係機関等 (n=261)



(3) 高等学校

「スクールカウンセラー」が89.7%と最も多く、続いて、「スクールソーシャルワーカー」が35.1%、「医療機関」が25.9%となっている。

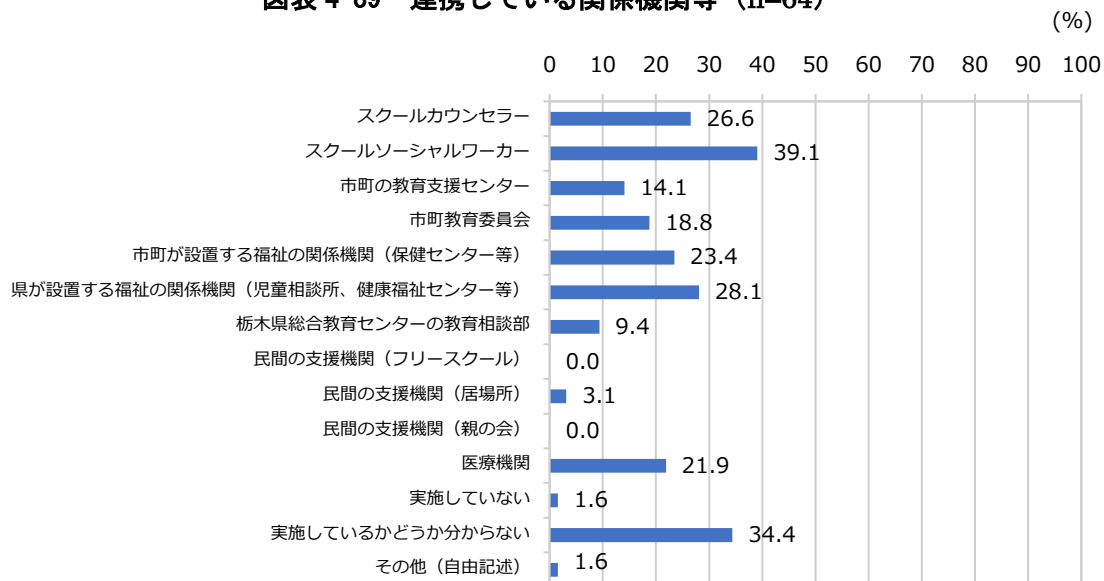
図表 4-88 連携している関係機関等 (n=185)



(4) 特別支援学校

「スクールソーシャルワーカー」が39.1%と最も多く、続いて、「実施しているかどうか分からない」が34.4%、「県が設置する福祉の関係機関」が28.1%、「スクールカウンセラー」が26.6%となっている。

図表 4-89 連携している関係機関等 (n=64)



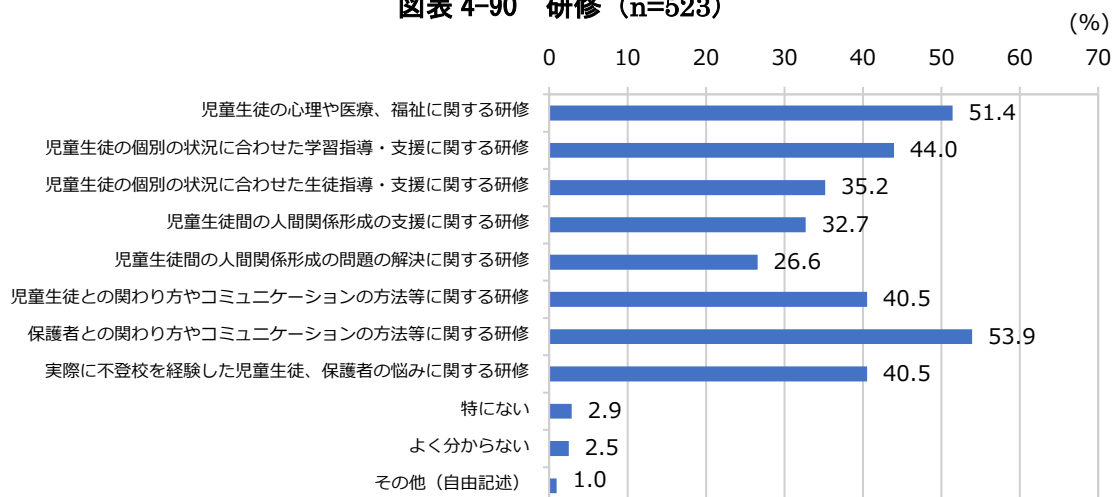
4-10 不登校支援に対する意見

4-10-1 不登校に関して、あるとよいと思う研修

(1) 小学校

「保護者との関わり方やコミュニケーションの方法等」が53.9%、「児童生徒の心理や医療、福祉」が51.4%と多く、続いて、「児童生徒の個別の状況に合わせた学習指導・支援」が44.0%となっている。

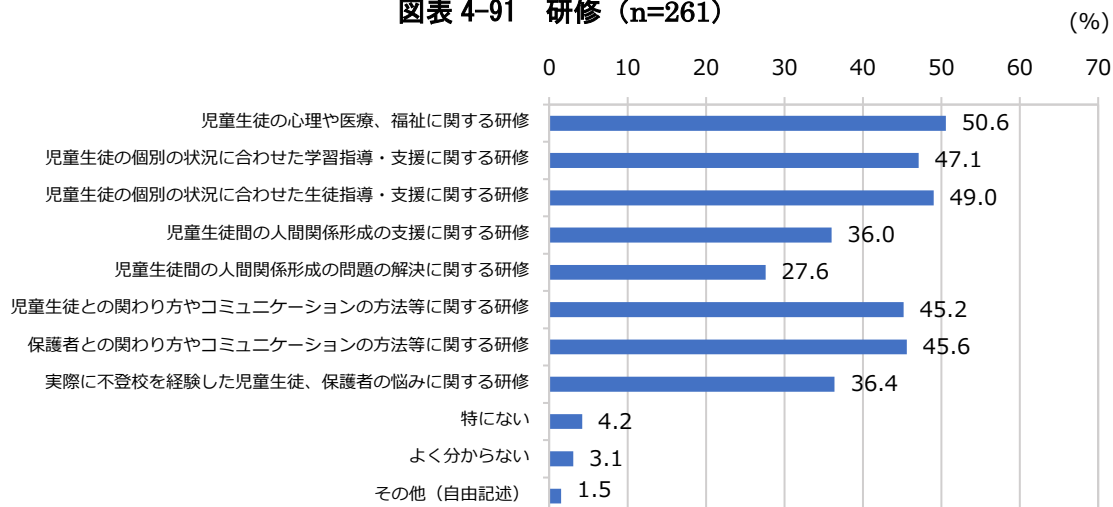
図表 4-90 研修 (n=523)



(2) 中学校

「児童生徒の心理や医療、福祉」が50.6%と最も多く、続いて、「児童生徒の個別の状況に合わせた生徒指導・支援」が49.0%、「児童生徒の個別の状況に合わせた学習指導・支援」が47.1%、「保護者との関わり方やコミュニケーションの方法等」が45.6%、「児童生徒との関わり方やコミュニケーションの方法等」が45.2%となっている。

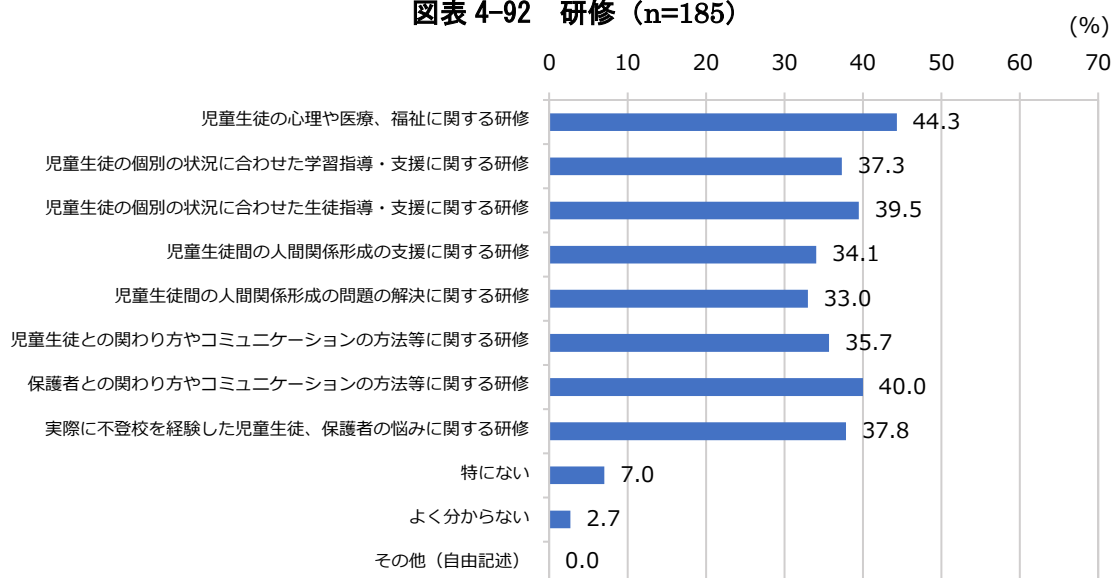
図表 4-91 研修 (n=261)



(3) 高等学校

「児童生徒の心理や医療、福祉」が44.3%と最も多く、他の項目においては全て30~40%程度となっている。

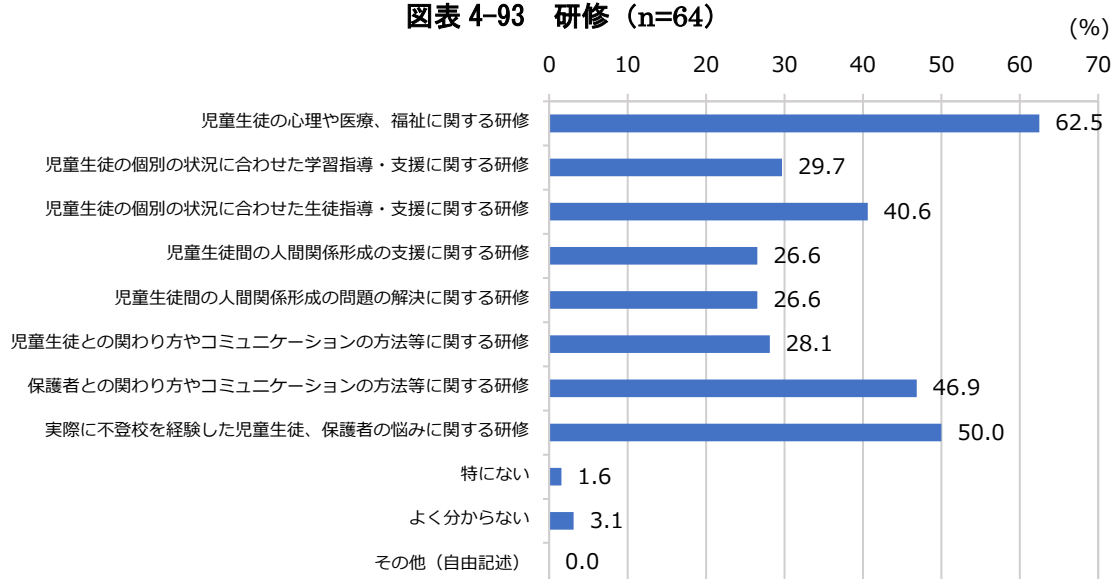
図表 4-92 研修 (n=185)



(4) 特別支援学校

「児童生徒の心理や医療、福祉」が62.5%と最も多く、続いて、「実際に不登校を経験した児童生徒、保護者の悩み」が50.0%、「保護者との関わり方やコミュニケーションの方法」が46.9%となっている。

図表 4-93 研修 (n=64)



4-10-2 不登校の「未然防止」に向けて、取り組んでいること（自由記述）

分類	自由記述の概要
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> - 月1回程度、児童生徒の様子を連絡帳で保護者に知らせる - 行き渋りの段階で、保護者や本人と連絡を密にとる - 保護者との関係を切らないように家庭訪問を行う
授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> - 分かりやすい授業の充実 - 分かる授業の実施 - 学業指導の充実 - 授業での合理的配慮
情報共有	<ul style="list-style-type: none"> - 気になる様子がある児童生徒がいたらこまめに情報共有をする - 学年会で情報共有をする - 教員同士で情報共有をして未然防止に努める - 職員会議に「児童・生徒指導」の時間を設け、各クラスの担任から必要に応じて児童生徒の様子を報告する
児童生徒とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> - 本人と話す時間を十分に確保する - こまめな声掛け - とにかく児童生徒とのコミュニケーションを大事にする - 生活ノートへのコメント - 児童生徒の気持ちに寄り添った指導 - 困ったときにすぐ相談できる関係構築
早期対応	<ul style="list-style-type: none"> - 連続して休んだ児童生徒の保護者へ連絡または家庭訪問をする - 欠席が増えた時に家庭に早期に連絡を取る - 欠席があれば必ず電話連絡して様子を聞く - 2日休んだら即家庭訪問を行う
居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> - 安心できる居場所づくり - 居がいのある学級づくり - クラス遊びなど帰属意識を高める
支援体制	<ul style="list-style-type: none"> - スクールカウンセラーとの連携 - 支援部会による個別の支援方法の検討 - ケース会議の実施 - 教職員の情報共有の時間を設けている - 管理職に相談、報告する
その他	<ul style="list-style-type: none"> - 小さなトラブルが起きたときの聞き取り - 宿題などが終わらないときは学校に来て教師と一緒にやれば大丈夫と約束する - 肯定感を高める指導 - 安心できる居場所づくり、困ったときにすぐ相談できる関係構築 - 学校生活アンケートの定期的な実態把握 - 業務削減が不登校の未然防止に繋がる

4-10-3 悩みを抱える児童生徒（不登校になる前の状態）への「早期発見・早期対応」について、取り組んでいること（取り組んだことがあること）でうまくいったこと（自由記述）

分類	自由記述の概要
情報共有	<ul style="list-style-type: none"> - 管理職、学年主任、児童・生徒指導主任への報告 - 部会での情報共有 - 全職員での情報共有 - 教職員間での共通理解
観察と声掛け	<ul style="list-style-type: none"> - 授業中や休み時間中の観察 - 表情や行動の観察 - いつもと違う様子が見られたら声をかける - 朝の様子を観察 - 日記のチェック - 心の健康観察の確認
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> - 教育相談期間の設定 - 教育相談アンケートの実施 - 相談ボックスの設置 - 教育相談の定期実施 - 教育相談の時間を十分に確保
児童生徒との関係構築	<ul style="list-style-type: none"> - こまめな言葉かけ - 休み時間等に共に過ごす - 話しやすい雰囲気づくり - 信頼関係の構築 - 児童生徒の話をよく聞く - 児童生徒との教育相談 - 児童生徒の悩みを把握
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> - 保護者との連絡、面談 - 保護者との信頼関係構築 - 保護者への情報共有 - 保護者へのフォローアップ - 保護者への相談
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> - 定期的なアンケートの実施 - いじめアンケートの実施 - 学校生活アンケートの実施 - 教育相談アンケートの実施
組織的対応	<ul style="list-style-type: none"> - チームでの対応 - スクールカウンセラーの活用 - 役割分担 - 部会やケース会議の実施 - 組織的対応のための共通理解
その他	<ul style="list-style-type: none"> - 教務主任としての校内巡視 - 教職員全員での児童生徒の見守り - 教職員全員での声掛け

4-10-4 不登校児童生徒への「支援」に向けて、取り組んでいること（取り組んだことがあること）でうまくいったこと（自由記述）

分類	自由記述の概要
別室登校	<ul style="list-style-type: none"> - 別室登校の体制構築 - 別室登校の際の保護者協力 - 別室登校の教室設置 - 別室登校の人数に応じたパーティションの工夫
家庭訪問	<ul style="list-style-type: none"> - 定期的な家庭訪問 - 家庭訪問での信頼関係構築 - 家庭訪問時の保護者との情報交換 - 家庭訪問での児童生徒の様子確認 - 家庭訪問での学習支援
オンラインによる支援	<ul style="list-style-type: none"> - オンラインでの授業参加 - オンライン授業での学習保障 - オンラインでのクラスの雰囲気共有 - オンラインでの学習内容の共有
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> - 保護者への定期的な電話連絡 - 保護者との定期面談 - 保護者との連携強化 - 保護者の負担軽減 - 保護者との信頼関係構築
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> - 市の教育支援センターとの連携 - スクールカウンセラーとの連携 - スクールソーシャルワーカーとの連携
放課後の支援	<ul style="list-style-type: none"> - 放課後の学習支援 - 放課後の面談
児童生徒との関わり	<ul style="list-style-type: none"> - 児童生徒の話を聞く - 児童生徒の特性や状況の把握 - 面談等で登校の機会を設ける
その他	<ul style="list-style-type: none"> - 学校の支援体制整備 - 定期的なケース会議 - 定期的な情報交換会

4-10-5 「学校生活における意識調査」「不登校に関する保護者の支援ニーズ等に関する調査」結果（概要）を見て感じたこと（自由記述）

分類	自由記述の概要
教職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> - 不登校の現状を理解し、保護者への支援を周知する必要がある - 担任の立ち居振る舞いが不登校児童を生まないようにする - 学級経営の大切さ、安心安全な学級作り - 教員の多忙さが課題
児童生徒の心理	<ul style="list-style-type: none"> - 不登校のきっかけに先生との関係性と答えた児童生徒が多い - 別室登校を希望する児童生徒が2割ほどいる - 義務感から休まないだけで不安を感じている子どもが多い
友人関係	<ul style="list-style-type: none"> - 不登校の原因として友達関係が多い - 安心して話せる友人がいることが大切 - 友人関係のトラブルの早期発見・早期解決が重要
保護者の支援	<ul style="list-style-type: none"> - 保護者の支援ニーズの多様化 - 保護者の支援ニーズに寄り添う必要がある - 保護者と学校の連携が重要 - 家庭環境の支援が必要
学校の環境	<ul style="list-style-type: none"> - 学校生活に安心感を持ってもらうことが大切 - 学校が楽しいと感じる環境作りが必要 - 学校に安心感を持ってない児童生徒が多い - 学校が安心できる場所であることが重要 - 相談しやすい環境作りが大切
外部機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> - 支援機関を利用して良かったと感じている子が多い - 支援機関の支援も必要 - 児童生徒だけでなく、保護者の支援にも有効
その他	<ul style="list-style-type: none"> - 相談の場、安心できる場としての保健室経営 - 不登校の原因として勉強が多い